

世田谷区
障害者（児）実態調査 報告書

令和5年3月

世 田 谷 区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果の概要	2
1	障害者（児）調査	2
2	サービス提供事業者調査	9
III	調査結果	12
1	障害者（児）	12
(1)	回答者属性	12
(2)	日常生活に関することについて	53
(3)	介助または支援の状況について	82
(4)	健康と医療について	121
(5)	あなたの住まいや暮らし方について	138
(6)	日中の活動について	147
(7)	通園・通学や就労の状況について	206
(8)	福祉の相談やサービス情報について	234
(9)	障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について	251
(10)	災害対策について	384
(11)	障害理解、差別の解消や権利擁護について	400
(12)	その他について	416
2	事業所	420
(1)	貴事業所の概要について	420
(2)	事業運営の概要について	459
(3)	貴事業所におけるサービスの提供体制について	489
(4)	サービスの質の向上のための取り組みについて	493
(5)	今後の事業展開について	502
IV	調査票	

I 調査の概要

1 調査の目的

世田谷区（以下「区」）が区内に住所を有する障害者（児）の生活や心身の状況、その置かれている環境等及び事業者のサービス供給体制等を把握し、令和6年度から令和8年度の3か年を計画期間とする、（仮称）せたがやノーマライゼーションプラン（世田谷区障害施策推進計画）の策定における基礎資料とするため、実態調査を実施しました。

2 調査対象

障害者（児）実態調査：令和4年10月1日時点で区内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方、障害福祉サービスの支給決定を受けている方、障害福祉サービス利用の対象となる難病指定を受けている方等

サービス提供事業所調査：世田谷区民に対してサービスを提供している世田谷区内の事業所

3 調査期間

令和4年11月4日（金）～令和4年11月30日（水）


4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
障害者（児）	5,500通	2,931通	53.3%
事業所	300通	157通	52.3%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果の概要

1 障害者（児）調査

(1) 回答者及び本人について

回答者は「あなた（ご本人）」が6割半ば、「父母」が2割近くとなっています。

性別は「男性」が5割を超え、「女性」が5割近くとなっています。

本人の年齢は「70歳～79歳」がほぼ2割、「80歳～89歳」が2割近く、「60歳～69歳」が1割半ばと割合が高くなっています。

同居者は「配偶者」が4割を超え、「母」が2割半ば、「子（子の配偶者を含む）」が2割を超えています。

同居人数は「2人」が4割近く、「3人」が3割近く、「4人」が2割近くとなっています。

住まいは「持ち家」が6割半ば、「民間賃貸住宅」が2割を超えています。

居住地域は「世田谷地域」が4割、「玉川地域」が2割近く、「北沢地域」、「砧地域」、「烏山地域」が1割を超えています。

障害の種類は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」が3割を超え、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」が2割半ば、「難病（特定疾病）」が2割を超えています。

発達障害は「自閉スペクトラム症（ASD）」がほぼ6割、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」が2割近くとなっています。

座位保持（体幹）は「座位保持できる」が8割近く、「座位保持できない」が1割となっています。

運動機能（下肢）は「走れる」が3割半ば、「歩ける」が3割を超え、「介助があれば歩ける」が1割を超えています。

日常的なコミュニケーションは「コミュニケーションに支障がない」が7割、「コミュニケーションが困難」が2割近くとなっています。

現在お持ちの手帳は「身体障害者手帳」が7割近く、「手帳は所持していない」が2割近く、「愛の手帳」が1割半ばとなっており、前回調査と比べて「身体障害者手帳」の所持割合が高くなっています。

身体障害者手帳の等級は「1級」が4割近く、「4級」が2割近く、「2級」が1割半ば、愛の手帳の等級は「4度」が4割近く、「2度」が3割を超え、「3度」が2割半ば、精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」が5割半ば、「3級」が3割を超えています。

障害の発生時期は「9歳以下」、「50～59歳」、「60歳～69歳」、「70～79歳」が1割半ば、「出生前または出生時」が1割を超えています。

障害支援区分は「認定を受けていない」が4割半ばとなっています。

要介護度は「要介護2」がほぼ2割、「要支援2」、「要介護3」が1割半ばとなっています。

(2) 日常生活に関することについて

日常生活で一人でできることについて「一人でできる」と「時間をかければ一人でできる」を合わせた《手助けを必要としていないこと》は「①食事」が8割半ば、「⑥屋内の移動」が8割を超え、「⑤トイレ」がほぼ8割、「③着替え・身だしなみ」が7割半ば、「④入浴」がほぼ7割、「⑪服薬の管理」、「⑮人とのコミュニケーション」が6割半ば、「②食事づくりや後かたづけ」、「⑦外出」、「⑫お金の管理」が6割を超え、「⑨掃除」、「⑩洗濯」が6割近く、「⑧日常の買い物」、「⑬交通手段の利用」が5割半ば、「⑭火災や地震などのときの避難」が4割を超えています。

意思疎通（コミュニケーション）の方法について「特別な技術や用具を使わなくてもできる」が6割半ば、「口話」が3割半ば、「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」が3割近くとなっています。

情報を入手する際にインターネットを活用しているかについて「はい」が5割を超え、「いいえ」が4割半ばとなっています。

インターネットを活用する際に使用する機器について「スマートフォン」が8割半ば、「パソコン」が6割近く、「タブレット端末」が3割近くとなっています。

機器を使用する際に活用する機能、ソフト（アプリ）、周辺機器等について「特に使用していない」が8割を超えています。

情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることについて「特に困らない」が3割を超え、「初めて行くところでは、不安になる」が2割半ば、「インターネットやメールの使い方がよくわからない」が2割近くとなっています。

(3) 介助または支援の状況について

介助または支援の有無は「受けていない」がほぼ6割、「受けている」が3割半ばとなっています。

介助の必要日数は「毎日」が5割半ば、「週に2～3日」がほぼ2割、「週に1日以下」が1割を超えています。

介助の必要時間は「11時間超」、「1時間超2時間以内」が2割を超え、「2時間超3時間以内」がほぼ1割となっています。

主な介助者・支援者は「配偶者（夫・妻）」が1割を超えています。

主な介助者・支援者について、【年齢】は「60歳～64歳」、「70歳～74歳」が1割を超えています。

【1日の介助・支援時間】は「11時間超」が2割近く、「1時間超2時間以内」、「2時間超3時間以内」が1割を超えています。

【健康状態】は「健康である」が5割近く、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」が4割となっています。

【就労状況】は「(就労)していない」が5割、「(就労)している」が4割半ばとなっています。

【勤務形態】は「常勤」「アルバイト・パート」が3割を超え、「自営」が1割半ばとなっています。

【就労時間】は「7～8時間」が4割近く、「4～6時間」が3割近く、「1～3時間」がほぼ2割となっています。

【勤務形態等に関する考え方】は、勤務形態の変更を「考えていない」が5割近く、「考えている」、「わからない」が1割半ばとなっています。

【勤務形態等の変更希望】は「アルバイト・パート」が4割半ば、「常勤」がほぼ2割、「非常勤」が1割を超えています。

【通学の有無】は「(通学)していない」が8割となっています。

【不安や悩み】は「精神的な負担が大きい」が3割を超え、「自分の時間が持てない」が3割、「介助者自身の高齢化が進んでいる」が3割近くとなっています。

主な介助者・支援者が思う、本人が希望する暮らしを実現するために必要なことは「移動支援の充実」、「医療やリハビリテーションの充実」が3割を超え、「防犯・災害時の支援」が3割となっています。

(4) 健康と医療について

医師の治療の有無は「定期的に通院している」が8割近く、「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」が1割を超えています。

かかりつけ医療機関の有無は「ある」が8割半ば、「ない」がほぼ1割となっています。

かかりつけ医療機関の種別は「区内の診療所や医院」が6割近く、「区外の総合病院や大学病院」が4割近く、「区内の総合病院や大学病院」が2割半ばとなっています。

医療的ケアの受診状況は「受けていない」が7割を超えています。

健康診断・歯科検診の受診状況は「歯科検診を受けた」が4割近く、「その他の健康診断を受けた(区外医療機関等で受診)」が2割半ば、「受けていない」が2割を超えています。

健康や医療面での不安や悩みは「特に困っていることや不安はない」が4割近く、「障害が重度化したり難病が悪化している」、「医療費の負担が大きい」が1割を超えています。

(5) 住まいや暮らし方について

希望する暮らし方は「今の家族と暮らしたい」が5割半ば、「わからない」、「ひとりで暮らしたい」が1割を超えています。

希望する暮らしを実現するために必要なことは「周囲の人の障害への理解」が2割半ば、「特にない」、「高齢になっても通える場所の充実」が2割近くとなっています。

1か月の平均収入は「月に30万円以上」が2割近く、「月に5～10万円未満」、「月に10～15万円未満」が1割半ばとなっています。

1か月の収入の種類は「年金」が6割半ば、「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」が3割半ば、「手当」がほぼ1割となっています。

(6) 日中の活動について

【レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出】は「ほとんどしない」が3割半ば、「1か月に数回」が3割近く、「週1～2日程度」が2割となっています。

【買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出】は「週3～6日程度」が3割、「ほぼ毎日」が2割半ば、「週1～2日程度」が1割半ばとなっています。

外出しない理由は「新型コロナウイルスの影響」が3割半ば、「障害が重いため」、「外出する用事がなかったため」がほぼ2割となっています。

外出時に困ること・不便なことは、「特になし」がほぼ3割、「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」が2割半ば、「歩道、道路、出入口の段差」が2割を超えています。

余暇時間の過ごし方は「家族と過ごしている」が5割を超え、「一人であることが多い」が3割、「趣味やスポーツの活動をしている」が2割近くとなっています。

外出時の移動手段等は、「電車」が6割、「バス」が5割近く、「徒歩」が4割半ばとなっています。

参加したことのある活動は「④旅行」が6割を超え、「①コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が5割を超え、「⑤学習や趣味、文化・芸術活動」が4割、「②スポーツなどの観戦」が3割、「③スポーツ活動」が3割近く、「⑥ボランティアなどの社会貢献活動」、「⑦地域での交流、自治会などの活動」が1割半ば、「⑧障害者団体などの活動」が1割を超え、「⑨SNS等を使った活動」が1割近くとなっています。

今後も参加したいと思う活動は「④旅行」が6割を超え、「①コンサートや映画の鑑賞」が5割半ば、「⑤学習や趣味、文化・芸術活動」が4割半ば、「②スポーツなどの観戦」が4割近く、「③スポーツ活動」が3割を超え、「⑥ボランティアなどの社会貢献活動」が2割半ば、「⑦地域での交流、自治会などの活動」が2割を超え、「⑧障害者団体などの活動」が2割、「⑨SNS等を使った活動」が1割を超えています。

趣味、学習、スポーツ、社会活動等に使う金額は、「5千円未満」が3割を超え、「5千円～1万円未満」、「1万円～3万円未満」が2割近くとなっています。

趣味、学習、スポーツ、社会活動等参加に必要なことは「身近なところで活動できる」が2割を超え、「心身の健康状態の維持・向上」がほぼ2割、「友人や仲間がいる」が2割近くとなっています。

1年間のスポーツや運動の頻度は「行わなかった」がほぼ5割、「週に1～2回」が1割半ば、「週に3回以上」が1割となっています。

スポーツや運動をする理由は「健康の維持・増進」が6割半ば、「運動不足による」が4割半ば、「楽しみや余暇活動として」がほぼ4割となっています。

興味があるスポーツは「特になし」が3割を超え、「野球」、「水泳」が1割を超えています。

障害者スポーツ推進に必要な取組みは「障害のある人とない人がともに楽しめるスポーツ大会などの実施」が3割近く、「定期的・継続的なパラスポーツ教室の実施」が2割半ば、「指導者やスタッフ、ボランティアなどの人材育成」が2割となっています。

(7) 通園・通学・就労や通所の状況について

平日昼間の活動は「上の1～3（就学等、就労、通所）にあてはまらない」が4割を超え、「企業等で仕事をしている」がほぼ2割、「施設等に通所している」が1割半ばとなっています。

通園・通学先は「保育園・幼稚園」が2割半ば、「特別支援学校小・中学部」が2割近くとなっています。

通園・通学で困っていることは「特にない」が4割半ば、「通園・通学先が遠い」が2割を超え、「通園・通学の付き添いの確保」が1割半ばとなっています。

希望する進学先は「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」がほぼ3割、「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」が2割を超え、「わからない、決まっていない」が1割半ばとなっています。

放課後・長期休暇の過ごし方は「自分の家」が8割、「放課後等デイサービス」が3割半ば、「遊び場・公園等」がほぼ2割となっています。

就労形態は「正社員」が4割を超え、「パート・アルバイト」がほぼ2割、「契約期限のある契約社員」が1割半ばとなっており、前回調査と比べて「正社員」の割合が高くなっています。

仕事の内容は「事務の仕事」が3割近く、「パソコンを使った仕事」が2割近くとなっています。

仕事上の悩みや不満は「特に悩みや不満はない」が4割を超え、「工作中的体調の変化に不安がある」が2割近く、「賃金や待遇面で不満がある」が1割半ばとなっています。

施設への通所で困ることは「特に困っていることはない」が4割を超え、「自分の考えを伝えられない」が1割を超えています。

今後希望する過ごし方は「現在の施設に通いたい」が5割近く、「自宅ですごしたい」が2割半ば、「一般企業に就職したい」が2割近くとなっています。

就労する際に希望する働き方では、「正社員」が3割を超え、「契約社員・派遣社員・非常勤社員」が1割を超えており、前回調査と比べて「正社員」の割合が低くなっています。

就職するために希望する支援では、「求職活動の支援」が5割を超え、「障害がある人が働く企業等の見学」がほぼ5割、「仕事への適性の見極め」が4割半ばとなっています。

通園・通学・就労等をしない理由は「高齢または体調不良のため」がほぼ5割、「障害のため仕事や作業ができない」が2割を超えています。

(8) 福祉の相談やサービス情報について

福祉サービスの情報入手先は「区のおしらせ」が4割を超え、「障害者のしおり」が3割半ばとなっています。

福祉の相談先は「家族」が4割、「区役所の福祉の窓口」が3割半ば、「病院・診療所」が1割半ばとなっています。

相談したいことは「将来の生活のこと」がほぼ3割、「身体・健康のこと」が3割近く、「特にない」が2割半ばとなっています。

(9) 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について

成年後見制度の利用状況について「利用していない」が7割近くとなっています。

区にどのような機能を強化してほしいかについて「あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能」が4割近く、「あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能」が2割近くとなっています。

現在利用しているサービスは「居宅介護（ホームヘルプ）」が1割を超え、「計画相談支援《個別計画》」「移動支援」が1割近くとなっています。

利用しているサービスの満足度について「満足」と「ほぼ満足」を合わせた《満足度が高い》は「児童発達支援」が7割半ば、「放課後等デイサービス」が7割、「居宅介護（ホームヘルプ）」が7割近くとなっています。

利用しているサービスの満足度のうち「やや不満」と「不満」を合わせた《満足度が低い》は「住宅入居等支援」が4割を超え、「障害児入所支援」が3割となっています。

サービスに満足できない時の相談先は「区役所の福祉の窓口相談した」が1割半ば、「相談支援事業所に相談した」がほぼ1割、「どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった」が1割となっています。

サービス提供事業者を選んだ理由は「人から勧められた」が2割半ば、「所在地が近かった」が2割、「サービス内容で決めた」がほぼ2割となっています。

サービス提供事業者に望むことは「満足できるサービスを提供できる体制の確保」が4割近く、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」が3割を超え、「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」が2割を超えています。

月額負担上限額は「0円」が3割近く、「4,600円」、「37,200円」が1割を超えています。

サービスを利用していない理由は「サービスを利用する必要がないから」が4割半ばとなっています。

介護保険で利用しているサービスは「介護保険サービスを利用していない」が4割半ば、「訪問介護（ホームヘルプ）」が1割半ば、「通所介護（デイサービス）」が1割となっています。

(10) 災害対策について

災害発生時に必要なことは「在宅避難の充実」が5割近く、「医療や医薬品を確保してほしい」がほぼ4割、「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」が4割近くとなっています。

避難場所の周知度は「知っている」が6割を超えています。

災害時のために周囲の人に要援護者であることを申し出ているかは「いいえ」が7割近くとなっています。

災害対策に対する現状については、ハザードマップ、防災マップ等を持っているかは「はい」が5割を超え、防災アプリ、気象情報アプリを利用しているかは「いいえ」が5割、日常備蓄・ローリングストックを理解しているかは「はい」が5割を超えています。蓄電池等、停電に対する備えはあるかについて「いいえ」が5割を超え、自主避難、在宅避難、縁故避難等を理解しているかは「はい」が5割近く、一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を理解しているかは「はい」が5割を超えています。風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか理解しているかは「いいえ」が5割半ば、避難を支援してくれる人はいるかは、「はい」がほぼ5割となっています。

(11) 障害理解、差別の解消や権利擁護について

地域の理解を進めるために必要なことは「学校での障害に関する教育や情報の提供」が3割を超え、「障害者の地域生活についての理解の促進」が3割、「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等と一緒にいる場を増やすこと」が2割半ばとなっています。

障害で差別や偏見を感じたことは「ない」が4割近く、「ある」、「わからない」が2割近くとなっています。

差別や偏見を感じた場面は「人間関係」が5割近く、「仕事や収入」が3割を超え、「道路・交通機関」が3割近くとなっています。

障害者差別解消法の周知度は「知らない」が7割を超えています。

障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口について「知らない」が8割近くとなっています。

虐待の相談窓口について「知らない」が6割を超えています。

「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」について「知らない」が8割を超えています。

選挙の投票に行っているかは「はい」が7割近くとなっています。

新型コロナウイルス感染症における生活の変化について「友人・知人との交流機会が減った」が4割半ば、「人とのコミュニケーションが減った」、「運動量が減った」が3割半ばとなっています。

2 サービス提供事業者調査

(1) 事業所の概要について

事業形態は「営利企業（会社）」が4割を超え、「社会福祉法人」が3割を超え、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が1割半ばとなっています。

事業所の所在地は「世田谷総合支所管内」が3割を超え、「砧総合支所管内」が2割、「烏山総合支所管内」が2割近く、「玉川総合支所管内」が1割半ば、「北沢総合支所管内」が1割を超えています。

提供しているサービスは「居宅介護」が4割近く、「重度訪問介護」が3割を超え、「計画相談支援」が1割半ばとなっています。

従たる事業所の有無は「なし」が5割となっています。

職員【総数】は「5～10人未満」が2割を超え、「5人未満」が1割となっています。

【常勤職員数】は「5人未満」が6割近く、「5～10人未満」が2割半ば、「10～20人未満」が1割となっています。

【非常勤職員数】は「5人未満」が3割、「5～10人未満」が2割半ば、「10～20人未満」が2割となっています。

【その他職員数】は「いない」が1割を超え、「5人未満」が1割となっています。

職種別の職員数について、【生活支援員】は「5人未満」が2割を超え、「5～10人未満」が1割半ばとなっています。【介護職員】は「10～20人未満」が1割半ば、「5人未満」がほぼ1割、「5～10人未満」が1割となっています。【看護師】は「5人未満」が1割を超え、【栄養士】、【理学療法士】、【作業療法士】は「いない」が1割近くとなっています。【職業指導員】は「5人未満」が1割を超え、【事務職員】は「5人未満」が2割半ば、【その他】は「5人未満」が3割を超えています。

経験年数別の職員数について、【6か月未満】は「5人未満」が2割、【6か月以上1年未満】は「5人未満」がほぼ3割、【1年以上3年未満】、【3年以上5年未満】は「5人未満」が4割を超えています。【5年以上10年未満】は「5人未満」が5割、「5～10人未満」は1割を超え、【10年以上】で「5人未満」が4割近く、「5～10人未満」が2割近く、「10～20人未満」が1割を超えています。

職員の過不足状況は「やや不足している」が3割半ば、「適当である」、「不足している」が2割を超えています。

不足している職員の職種は「介護職員」が3割半ば、「生活支援員」が3割、「不足している職種はない」が1割半ばとなっています。

令和3年度中の退職者【総数】は「5人未満」が5割近く、「いない」が4割近くとなっています。

退職が多い理由については「報酬が低い」は3割近く、「勤務時間が長い、不規則」が1割近くとなっています。

人材確保のために取り組んでいることは「報酬の改善」が6割を超え、「ハローワークを通じた募集」が5割を超え、「インターネット人材募集サービスを通じた募集」が5割となっています。

人材育成のために取り組んでいることは「事業所内での研修の実施」が9割近く、「OJTの実施」が6割を超え、「資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援」が5割半ばとなっています。

連携している機関や団体は「ハローワーク」が5割近く、「福祉人材センター」、「介護・医療・福祉分野の事業者団体」が3割を超えています。

(2) 事業運営の概要について

収入の増減は「変わらない」が3割を超え、「増加した」がほぼ3割、「減少した」が3割近くとなっています。

支出の増減は「変わらない」が4割、「増加した」が3割を超え、「減少した」が1割を超えています。

収支の状況は「変わらない」が3割半ば、「減収した」が3割を超え、「増収した」が2割を超えています。

増収減収の理由は「新型コロナウイルス感染症」が4割半ば、「利用者の増加」、「サービス報酬の改定」が3割近くとなっています。

収入の変化に対する対応策は「講じている（考えている）」が4割を超え、「講じていない（考えていない）」が4割となっています。

事業の採算性については「やや厳しい」が3割を超え、「とても厳しい」、「余裕がある」が1割半ばとなっています。

事業運営上の課題は「スタッフの確保」が4割を超え、「スタッフの人材育成」が3割近く、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」が2割半ばとなっています。

(3) サービスの提供体制について

サービスを提供しようとしてできなかったことは「ある」が4割近く、「ない」が5割を超えています。

(4) サービスの質の向上のための取り組みについて

質の向上のために行っている法人等の取り組みは「法人として、感染症予防マニュアルを作成している」が8割半ば、「法人として、苦情解決の対応マニュアルを作成している」がほぼ8割、「法人として、事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」が8割となっています。

質の向上のために今後考えている取り組みは「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化（DX化）」、「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」、「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」がほぼ3割、「法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成」が3割となっています。

利用者からの苦情や要望は「職員やスタッフに関すること」が4割、「特に苦情や要望はない」が2割半ば、「介助の内容や個別支援計画等に関すること」が2割を超えています。

問題があった場合の相談先は「区」が7割半ば、「相談支援事業所」が4割を超え、「法人本部」が3割半ばとなっています。

相談した内容は「困難な事例への対応に関すること」が6割、「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」が5割、「施設の運営・整備の支援に関すること」が4割近くとなっています。

区が力を入れるべきサービスや支援は「在宅での福祉サービスの充実」が5割、「移動・外出支援の充実」が5割近く、「障害者が地域で共同生活できる場の充実」が4割を超えています。

(5) 今後の事業展開について

事業の新規開設・拡大で重視する点は、「新規開設・拡大は考えていない」が3割半ば、「当該地域の利用者数の今後の見込み」が2割半ば、「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」が2割を超えています。

障害福祉サービスへの新規参入を促進するために必要なことは「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報を提供する」が4割を超え、「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報を提供する」が4割、「サービス展開のための土地・建物に関する情報を提供する」が3割半ばとなっています。

今後4か年に新たに開始又は拡大する予定のサービスの受け入れ予定数は「居宅介護（ホームヘルプ）」と「共同生活援助」が高くなっています。

新型コロナウイルス感染症拡大により困ったことは「従業員等で陽性者、濃厚接触者となった場合の人員不足、シフトの調整」が6割半ば、「陽性者、濃厚接触者が発生した場合の保健所や区役所との調整」がほぼ4割、「利用者の利用控え等による利益の減少」が3割を超えています。

Ⅲ 調査結果

1 障害者（児）

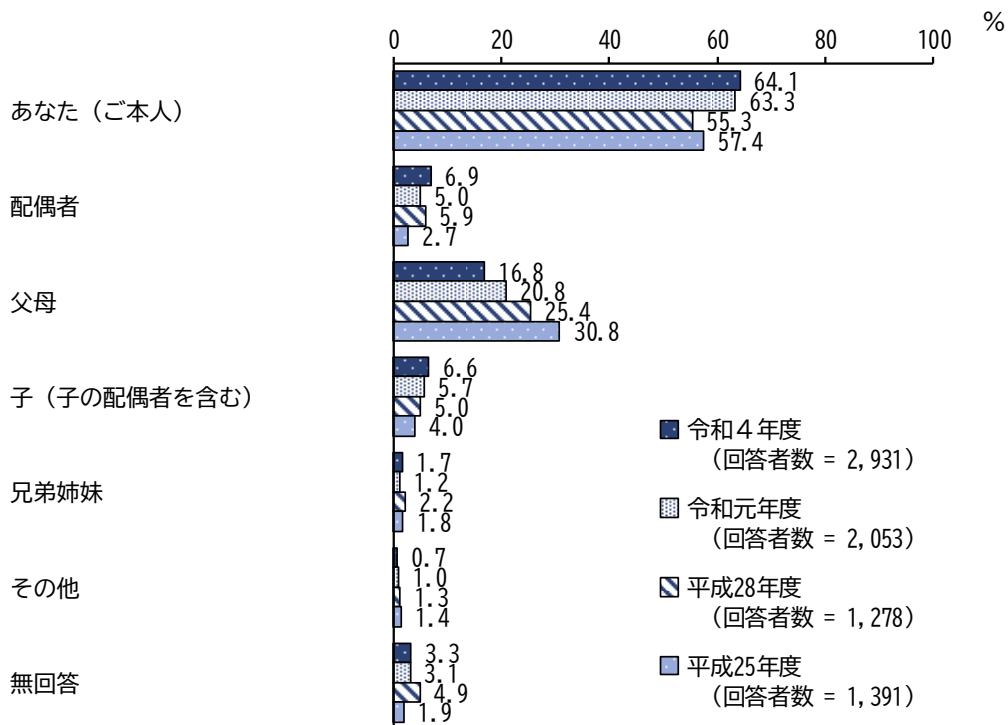
(1) 回答者属性

この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。（1つに○）

「あなた（ご本人）」の割合が64.1%と最も高く、次いで「父母」の割合が16.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

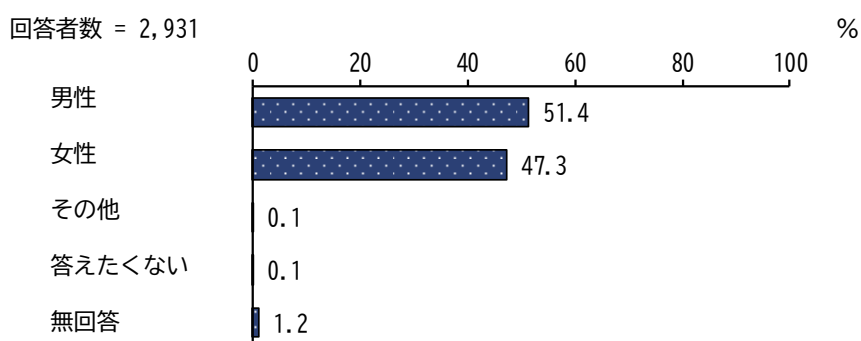
障害別にみると、他に比べ、知的障害で「父母」の割合が、発達障害で「あなた（ご本人）」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「あなた（ご本人）」の割合が高くなっています。また、知的障害で「あなた（ご本人）」の割合が、発達障害で「あなた（ご本人）」の割合が、高次脳機能障害で「あなた（ご本人）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あなた (ご本人)	配偶者	父母	子 (子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	その他	無回答
全 体	2931	64.1	6.9	16.8	6.6	1.7	0.7	3.3
視覚障害	138	52.9	10.1	10.9	11.6	2.9	1.4	10.1
聴覚・平衡機能障害	181	63.0	8.8	11.6	11.6	2.8	—	2.2
音声・言語・そしゃく機能障害	130	38.5	27.7	20.0	7.7	2.3	0.8	3.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動機能障害等）	908	63.1	13.0	10.6	7.4	2.1	1.0	2.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝 臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能 等）	725	79.9	5.9	3.9	6.8	0.4	0.7	2.5
知的障害	417	16.8	1.2	70.7	3.6	5.0	1.2	1.4
発達障害	367	25.9	1.4	62.9	7.1	0.5	0.5	1.6
精神障害	145	74.5	4.8	11.7	—	4.8	1.4	2.8
高次脳機能障害	130	36.9	33.8	10.0	6.9	6.9	3.1	2.3
難病（特定疾病）	677	77.7	8.0	6.6	3.8	0.7	0.4	2.7
その他	95	66.3	4.2	17.9	10.5	1.1	—	—

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

「男性」の割合が51.4%と最も高く、次いで「女性」の割合が47.3%となっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「男性」の割合が、難病（特定疾病）で「女性」の割合が、知的障害で「男性」の割合が高くなっています。また、発達障害で「女性」の割合が、難病（特定疾病）で「男性」の割合が、知的障害で「女性」の割合が低くなっています。

単位：%

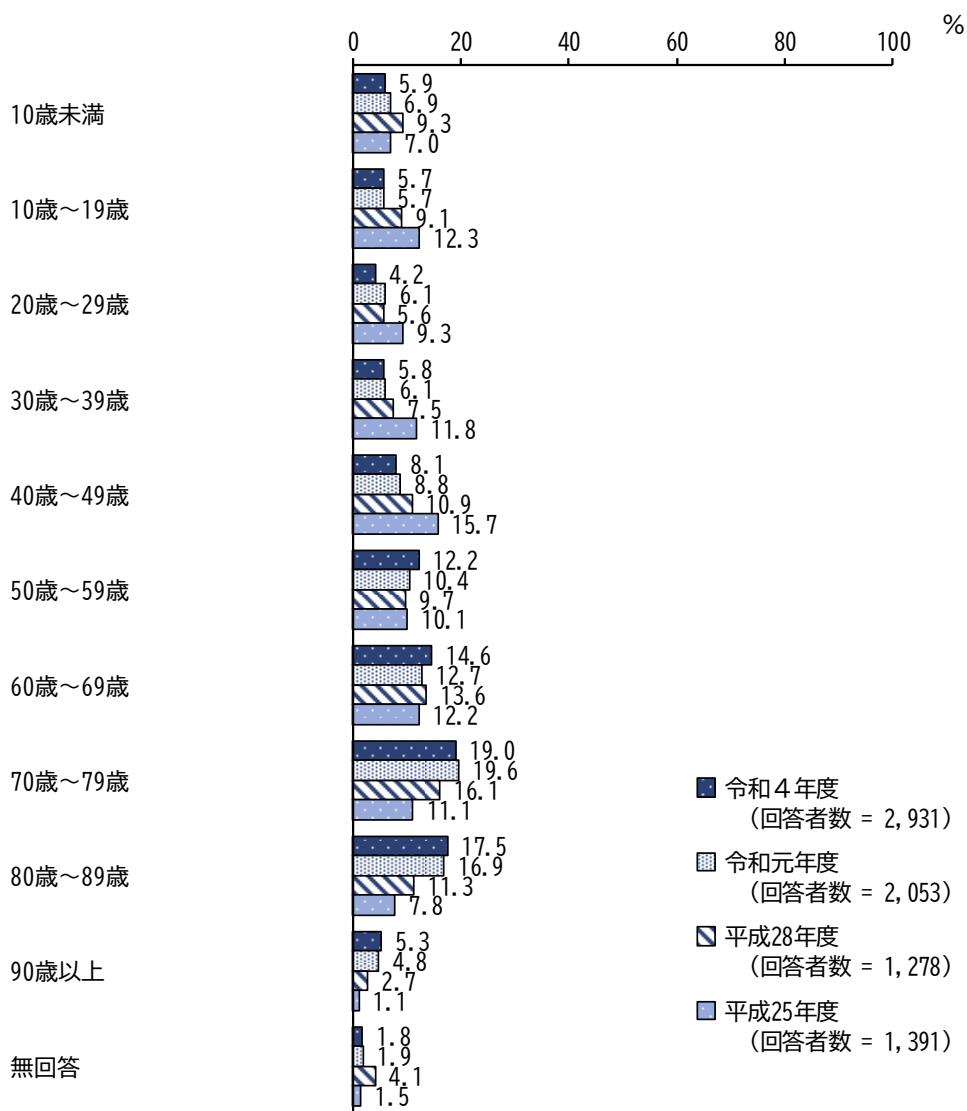
区分	回答者数(件)	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
全体	2931	51.4	47.3	0.1	0.1	1.2
視覚障害	138	51.4	46.4	—	—	2.2
聴覚・平衡機能障害	181	45.9	52.5	0.6	—	1.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	58.5	41.5	—	—	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	45.0	53.9	—	0.1	1.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	58.6	41.0	—	—	0.4
知的障害	417	61.4	38.4	—	—	0.2
発達障害	367	64.9	33.5	0.3	0.8	0.5
精神障害	145	51.7	44.1	0.7	2.1	1.4
高次脳機能障害	130	53.8	45.4	—	—	0.8
難病（特定疾病）	677	41.5	58.2	—	—	0.3
その他	95	50.5	49.5	—	—	—

問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)

「70歳～79歳」の割合が19.0%と最も高く、次いで「80歳～89歳」の割合が17.5%、「60歳～69歳」の割合が14.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、その他で「80歳～89歳」の割合が、精神障害で「50歳～59歳」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「80歳～89歳」の割合が高くなっています。また、知的障害で「70歳～79歳」「80歳～89歳」の割合が、発達障害で「70歳～79歳」の割合が低くなっています。

単位：％

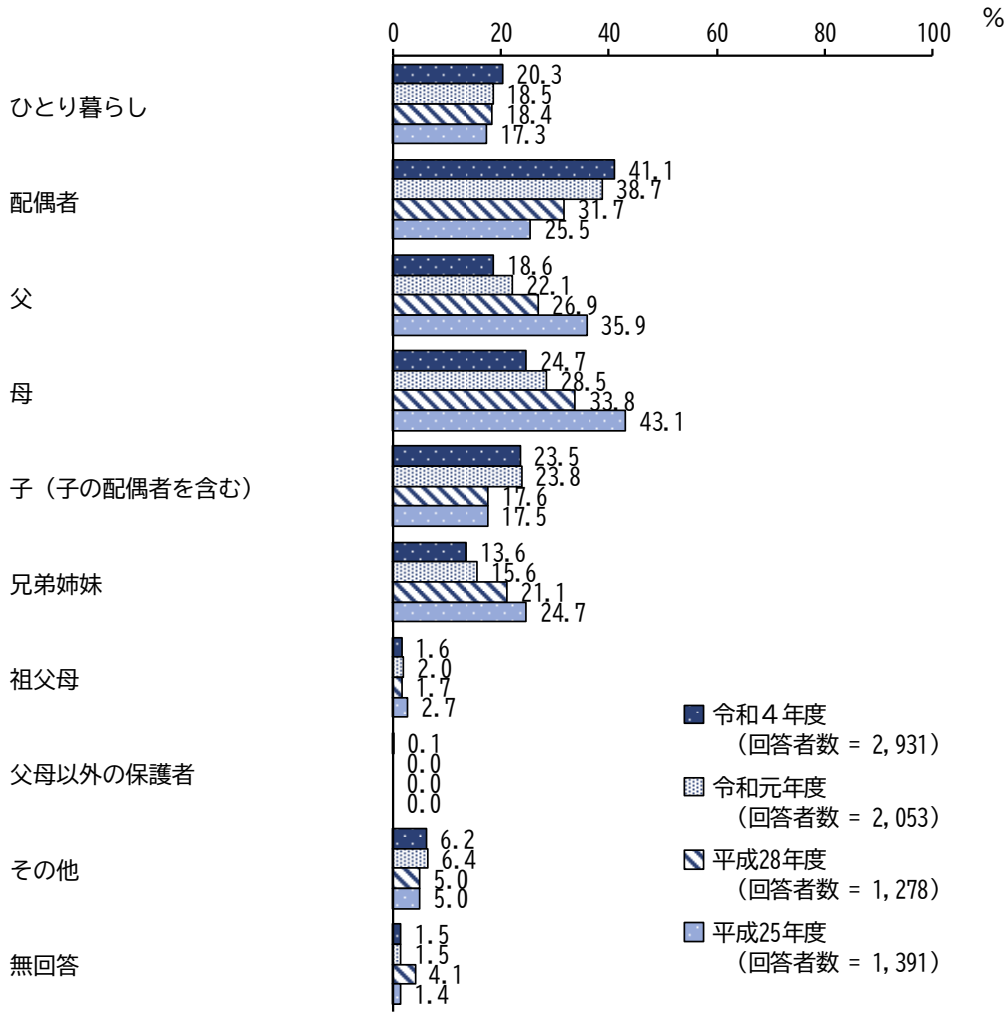
区分	回答者数 (件)	10歳未満	10歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳～ 89歳	90歳以上	無回答
全 体	2931	5.9	5.7	4.2	5.8	8.1	12.2	14.6	19.0	17.5	5.3	1.8
視覚障害	138	4.3	3.6	1.4	2.2	8.0	9.4	13.8	16.7	26.1	10.1	4.3
聴覚・平衡機能障害	181	5.0	5.5	2.8	2.2	5.5	5.5	8.8	16.0	29.8	17.1	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	6.2	5.4	0.8	2.3	10.0	13.1	16.9	24.6	12.3	5.4	3.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動機能障害等）	908	2.6	3.5	2.3	3.3	6.7	13.1	15.7	24.0	20.8	6.3	1.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、 肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫 機能等）	725	1.2	1.8	1.4	2.3	4.7	9.7	16.0	27.4	25.0	9.2	1.2
知的障害	417	13.9	24.2	15.8	17.5	14.9	8.6	1.9	1.0	1.7	0.2	0.2
発達障害	367	33.5	21.3	10.1	10.6	10.6	5.7	1.1	1.9	2.7	1.6	0.8
精神障害	145	2.1	3.4	5.5	17.9	21.4	25.5	12.4	4.8	4.8	—	2.1
高次脳機能障害	130	1.5	2.3	3.1	0.8	12.3	19.2	25.4	15.4	13.8	3.1	3.1
難病（特定疾病）	677	1.8	2.2	3.8	4.7	10.0	18.9	20.2	20.1	15.1	2.2	0.9
その他	95	12.6	3.2	1.1	4.2	3.2	5.3	12.6	11.6	36.8	8.4	1.1

問3 あなたは、どなたと一緒に住みますか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」の割合が41.1%と最も高く、次いで「母」の割合が24.7%、「子（子の配偶者を含む）」の割合が23.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「父母以外の保護者」の選択肢はありませんでした。

【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳未満で「父」「母」の割合が、10歳～19歳で「母」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「配偶者」の割合が、20歳～29歳で「配偶者」の割合が、10歳～19歳で「配偶者」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとり暮らし	配偶者	父	母	子(子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	父母以外の保護者	その他	無回答
全体	2931	20.3	41.1	18.6	24.7	23.5	13.6	1.6	0.1	6.2	1.5
10歳未満	172	—	1.2	93.0	97.1	1.7	61.6	8.1	—	0.6	—
10歳～19歳	167	0.6	3.0	85.6	93.4	3.0	61.1	9.0	0.6	1.8	1.2
20歳～29歳	123	13.8	2.4	63.4	74.0	1.6	44.7	6.5	—	6.5	0.8
30歳～39歳	169	18.9	16.0	41.4	59.2	14.2	17.2	3.6	0.6	5.9	0.6
40歳～49歳	236	23.3	33.5	23.3	33.9	30.5	10.6	0.8	0.4	5.5	0.8
50歳～59歳	359	25.9	40.9	8.6	20.9	24.0	9.5	—	0.3	7.8	—
60歳～69歳	429	24.0	59.0	1.6	9.1	26.1	4.4	0.2	—	5.8	0.2
70歳～79歳	556	21.9	65.6	—	1.6	25.4	2.3	0.2	—	5.0	0.4
80歳～89歳	513	23.8	53.8	0.2	0.2	33.9	2.7	—	—	7.8	0.4
90歳以上	155	29.7	22.6	—	—	39.4	1.3	—	—	16.8	3.2

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「母」の割合が、発達障害で「母」「父」の割合が高くなっています。また、知的障害で「配偶者」の割合が、発達障害で「配偶者」の割合が、精神障害で「配偶者」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとり暮らし	配偶者	父	母	子(子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	父母以外の保護者	その他	無回答
全体	2931	20.3	41.1	18.6	24.7	23.5	13.6	1.6	0.1	6.2	1.5
視覚障害	138	23.9	44.2	10.1	15.9	23.9	9.4	2.2	—	7.2	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	26.0	35.4	13.3	16.6	27.6	15.5	1.1	—	5.5	1.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	16.9	47.7	18.5	23.1	26.9	13.8	0.8	—	10.8	—
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	23.2	43.4	11.9	16.3	24.8	9.3	0.9	0.1	7.3	1.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	21.5	54.9	5.2	10.3	28.7	5.1	0.4	—	6.2	0.8
知的障害	417	5.0	7.2	63.3	76.5	7.0	42.4	5.8	0.5	8.2	0.5
発達障害	367	7.1	12.5	64.3	74.1	11.2	41.7	6.5	0.3	3.3	0.8
精神障害	145	44.8	14.5	20.0	26.2	9.7	10.3	0.7	0.7	6.9	1.4
高次脳機能障害	130	14.6	52.3	11.5	20.0	23.1	10.8	—	—	14.6	0.8
難病(特定疾病)	677	20.4	53.9	9.6	15.1	29.4	6.6	1.0	0.1	5.8	0.6
その他	95	24.2	32.6	18.9	26.3	21.1	11.6	2.1	—	9.5	1.1

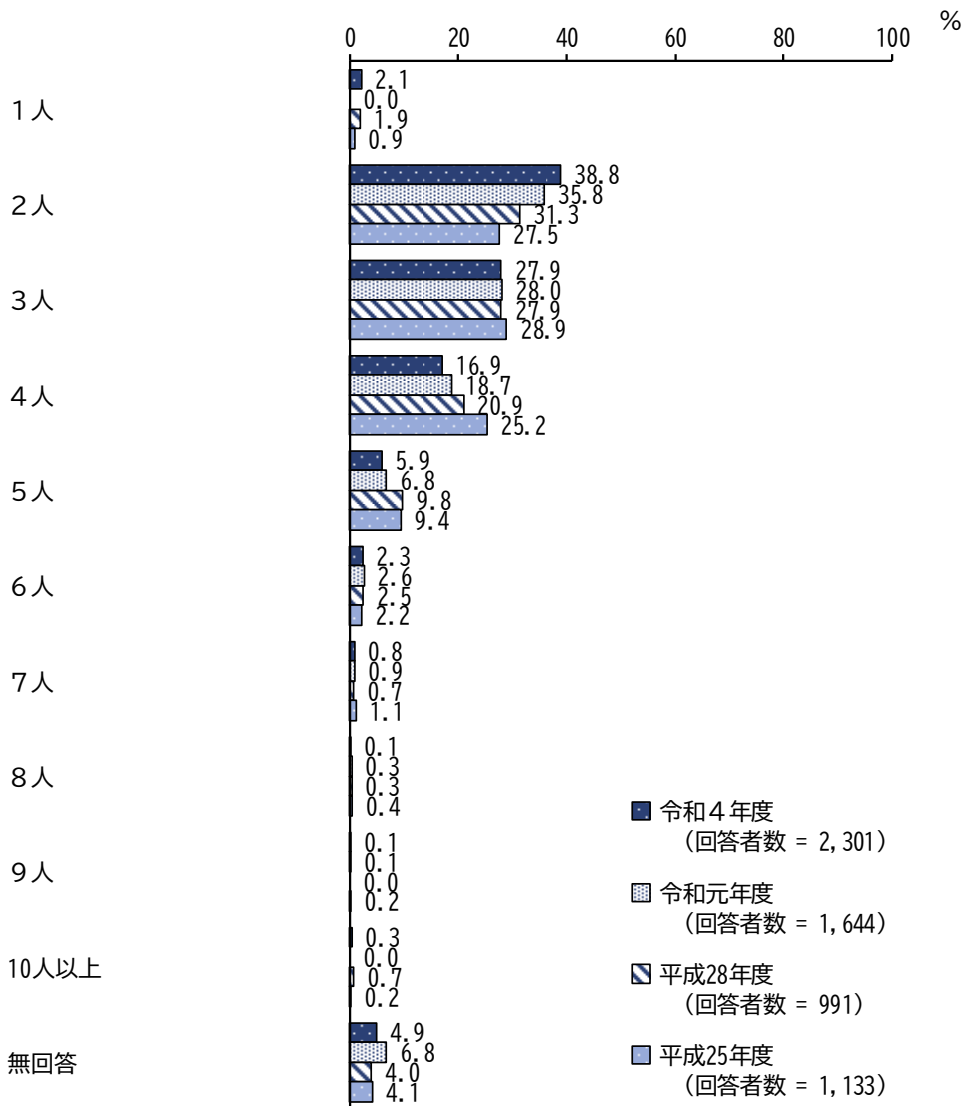
問3で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします

問3-1 あなたと同居しているご家族は、あなたを含め合計で何人ですか。
(数字を記入)

「2人」の割合が38.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が27.9%、「4人」の割合が16.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳未満で「4人」の割合が、70歳～79歳で「2人」の割合が、10歳～19歳で「4人」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「2人」の割合が、10歳～19歳で「2人」の割合が、20歳～29歳で「2人」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
全体	2301	2.1	38.8	27.9	16.9	5.9	2.3	0.8	0.1	0.1	0.3	4.9
10歳未満	172	0.6	2.9	30.8	49.4	8.7	3.5	2.3	—	—	—	1.7
10歳～19歳	164	—	3.7	29.9	37.2	22.6	3.7	0.6	0.6	—	—	1.8
20歳～29歳	105	1.0	9.5	35.2	32.4	12.4	1.9	—	—	—	—	7.6
30歳～39歳	136	2.2	19.1	44.9	22.8	5.9	—	0.7	—	—	—	4.4
40歳～49歳	179	2.2	21.8	37.4	26.8	3.9	2.8	1.7	—	—	0.6	2.8
50歳～59歳	267	2.6	44.6	29.6	12.0	4.9	0.4	—	0.4	0.4	—	5.2
60歳～69歳	326	3.1	53.4	26.7	9.8	1.2	2.8	0.3	—	—	—	2.8
70歳～79歳	433	2.8	61.2	20.6	6.2	2.3	1.6	0.7	—	0.2	0.2	4.2
80歳～89歳	392	1.5	51.0	22.2	8.9	4.6	3.6	1.3	—	—	0.5	6.4
90歳以上	108	2.8	38.0	24.1	3.7	8.3	1.9	—	—	—	0.9	20.4

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「4人」の割合が、知的障害で「3人」の割合が、精神障害で「3人」の割合が高くなっています。また、発達障害で「2人」の割合が、知的障害で「2人」の割合が、高次脳機能障害で「3人」の割合が低くなっています。

単位：%

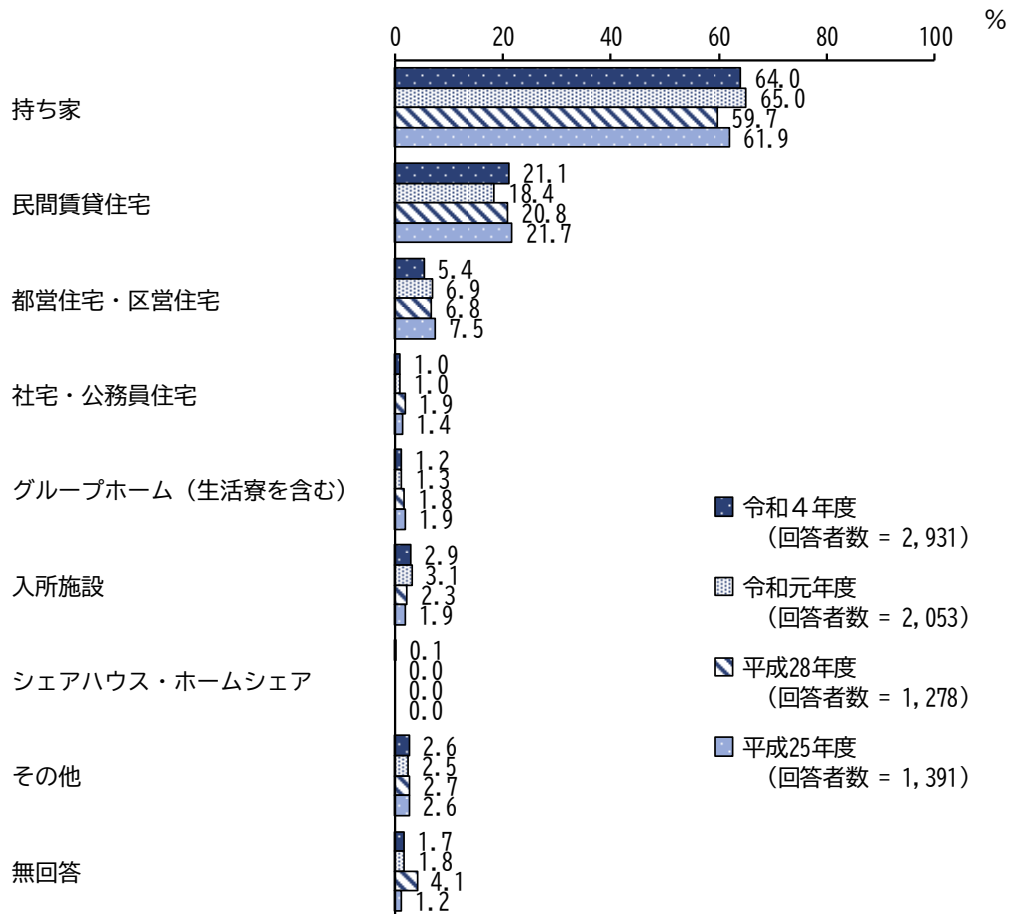
区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
全体	2301	2.1	38.8	27.9	16.9	5.9	2.3	0.8	0.1	0.1	0.3	4.9
視覚障害	101	—	44.6	27.7	10.9	6.9	2.0	—	—	—	—	7.9
聴覚・平衡機能障害	133	0.8	35.3	29.3	17.3	9.8	2.3	—	—	—	—	5.3
音声・言語・そしゃく機能障害	111	2.7	38.7	28.8	15.3	7.2	2.7	0.9	—	—	—	3.6
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	690	2.5	44.5	28.0	10.6	5.5	2.2	0.6	0.1	0.1	0.4	5.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	566	2.5	50.0	24.6	11.0	4.1	2.1	0.4	0.2	0.2	0.2	4.9
知的障害	395	1.3	11.4	34.9	30.6	11.6	2.0	1.8	0.3	—	0.3	5.8
発達障害	338	1.2	10.1	34.0	35.5	10.1	4.4	1.2	—	—	—	3.6
精神障害	78	2.6	28.2	39.7	11.5	3.8	2.6	—	—	1.3	—	10.3
高次脳機能障害	112	3.6	44.6	17.0	15.2	7.1	2.7	0.9	—	0.9	—	8.0
難病(特定疾病)	536	2.2	44.8	28.2	14.6	3.0	2.1	0.9	—	—	0.6	3.7
その他	71	5.6	39.4	23.9	18.3	4.2	—	2.8	—	—	—	5.6

問4 あなたの現在のお住まい（親等のご家族と同居の場合は、その方のお住まい）は次のどれですか。（1つに○）

「持ち家」の割合が64.0%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」の割合が21.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、40歳～49歳で「民間賃貸住宅」の割合が、50歳～59歳で「民間賃貸住宅」の割合が、10歳未満で「民間賃貸住宅」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「民間賃貸住宅」の割合が、40歳～49歳で「持ち家」の割合が、30歳～39歳で「持ち家」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	持ち家	民間賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	グループホーム (生活寮を含む)	入所施設	シェアハウス・ホームシェア	その他	無回答
全体	2931	64.0	21.1	5.4	1.0	1.2	2.9	0.1	2.6	1.7
10歳未満	172	62.2	32.0	0.6	4.1	—	—	—	1.2	—
10歳～19歳	167	63.5	26.3	4.8	2.4	0.6	—	—	1.8	0.6
20歳～29歳	123	58.5	27.6	4.1	1.6	4.1	2.4	—	0.8	0.8
30歳～39歳	169	52.1	30.2	5.3	3.0	3.6	2.4	—	2.4	1.2
40歳～49歳	236	50.8	33.5	7.2	0.8	2.5	2.1	—	1.7	1.3
50歳～59歳	359	55.4	32.6	5.6	1.1	1.7	1.7	—	1.4	0.6
60歳～69歳	429	67.6	21.2	4.7	0.2	0.7	1.9	0.2	2.6	0.9
70歳～79歳	556	72.1	14.4	6.7	0.5	0.2	2.7	—	3.1	0.4
80歳～89歳	513	73.1	10.3	6.8	0.2	0.8	5.1	—	3.1	0.6
90歳以上	155	67.7	3.9	4.5	—	1.9	11.6	0.6	8.4	1.3

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「民間賃貸住宅」の割合が、発達障害で「民間賃貸住宅」の割合が高くなっています。また、精神障害で「持ち家」の割合が、高次脳機能障害で「民間賃貸住宅」の割合が低くなっています。

単位：％

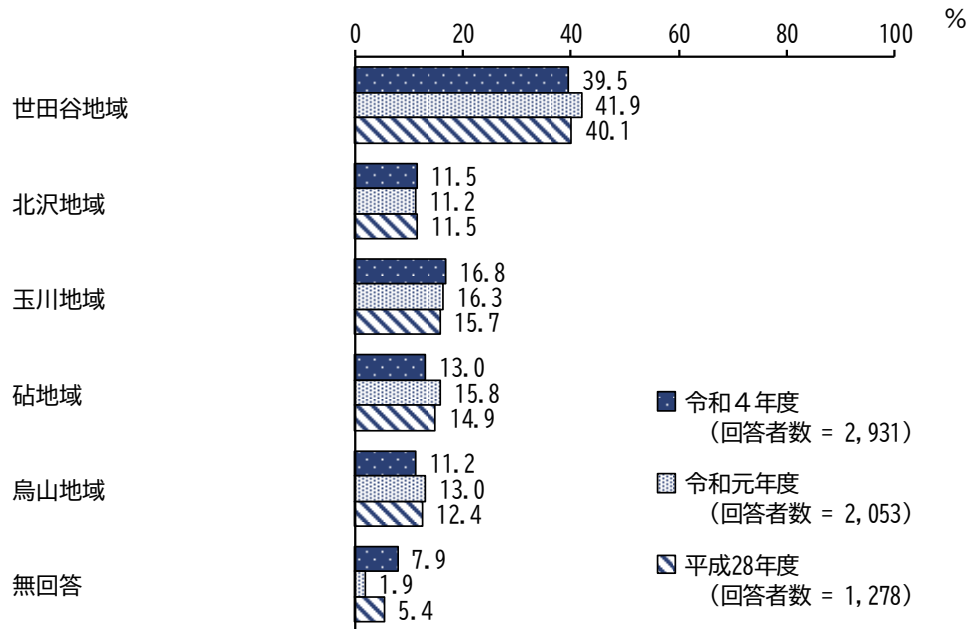
区分	回答者数 (件)	持ち家	民間賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	グループホーム(生活寮を含む)	入所施設	シェアハウス・ホームシェア	その他	無回答
全体	2931	64.0	21.1	5.4	1.0	1.2	2.9	0.1	2.6	1.7
視覚障害	138	64.5	17.4	7.2	0.7	—	5.1	—	1.4	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	59.1	20.4	7.2	0.6	0.6	5.0	0.6	5.0	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	61.5	20.8	5.4	2.3	—	6.9	—	2.3	0.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	66.0	18.3	5.6	0.2	0.8	4.7	—	3.0	1.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	68.6	20.4	4.8	0.7	0.3	2.2	—	2.3	0.7
知的障害	417	63.5	19.4	6.2	1.9	4.1	2.6	—	1.7	0.5
発達障害	367	61.3	26.7	2.7	2.2	1.9	1.1	—	3.3	0.8
精神障害	145	44.8	32.4	8.3	0.7	5.5	2.1	—	2.8	3.4
高次脳機能障害	130	65.4	13.1	3.1	—	1.5	10.8	—	4.6	1.5
難病(特定疾病)	677	64.7	23.2	4.6	1.5	0.4	3.0	0.1	1.9	0.6
その他	95	61.1	20.0	6.3	1.1	2.1	1.1	—	6.3	2.1

問5 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(1つに○)

「世田谷地域」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「玉川地域」の割合が 16.8%、「砧地域」の割合が 13.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、80歳～89歳で「世田谷地域」の割合が、10歳～19歳で「砧地域」の割合が、10歳未満で「砧地域」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「世田谷地域」の割合が、10歳～19歳で「世田谷地域」の割合が、90歳以上で「北沢地域」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	無回答
全体	2931	39.5	11.5	16.8	13.0	11.2	7.9
10歳未満	172	23.8	15.7	23.3	20.3	12.8	4.1
10歳～19歳	167	25.7	12.6	21.0	21.0	13.8	6.0
20歳～29歳	123	39.8	12.2	14.6	13.8	13.0	6.5
30歳～39歳	169	35.5	11.2	18.9	17.8	12.4	4.1
40歳～49歳	236	38.1	13.1	14.4	11.0	13.6	9.7
50歳～59歳	359	37.3	14.8	17.8	12.3	11.7	6.1
60歳～69歳	429	38.5	12.6	13.3	14.7	10.0	11.0
70歳～79歳	556	46.0	9.0	17.3	10.8	10.6	6.3
80歳～89歳	513	47.8	10.3	16.6	10.7	9.4	5.3
90歳以上	155	45.2	6.5	18.7	8.4	11.6	9.7

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、その他で「世田谷地域」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「玉川地域」の割合が高くなっています。また、発達障害で「世田谷地域」の割合が、精神障害で「玉川地域」の割合が、その他で「玉川地域」の割合が低くなっています。

単位：％

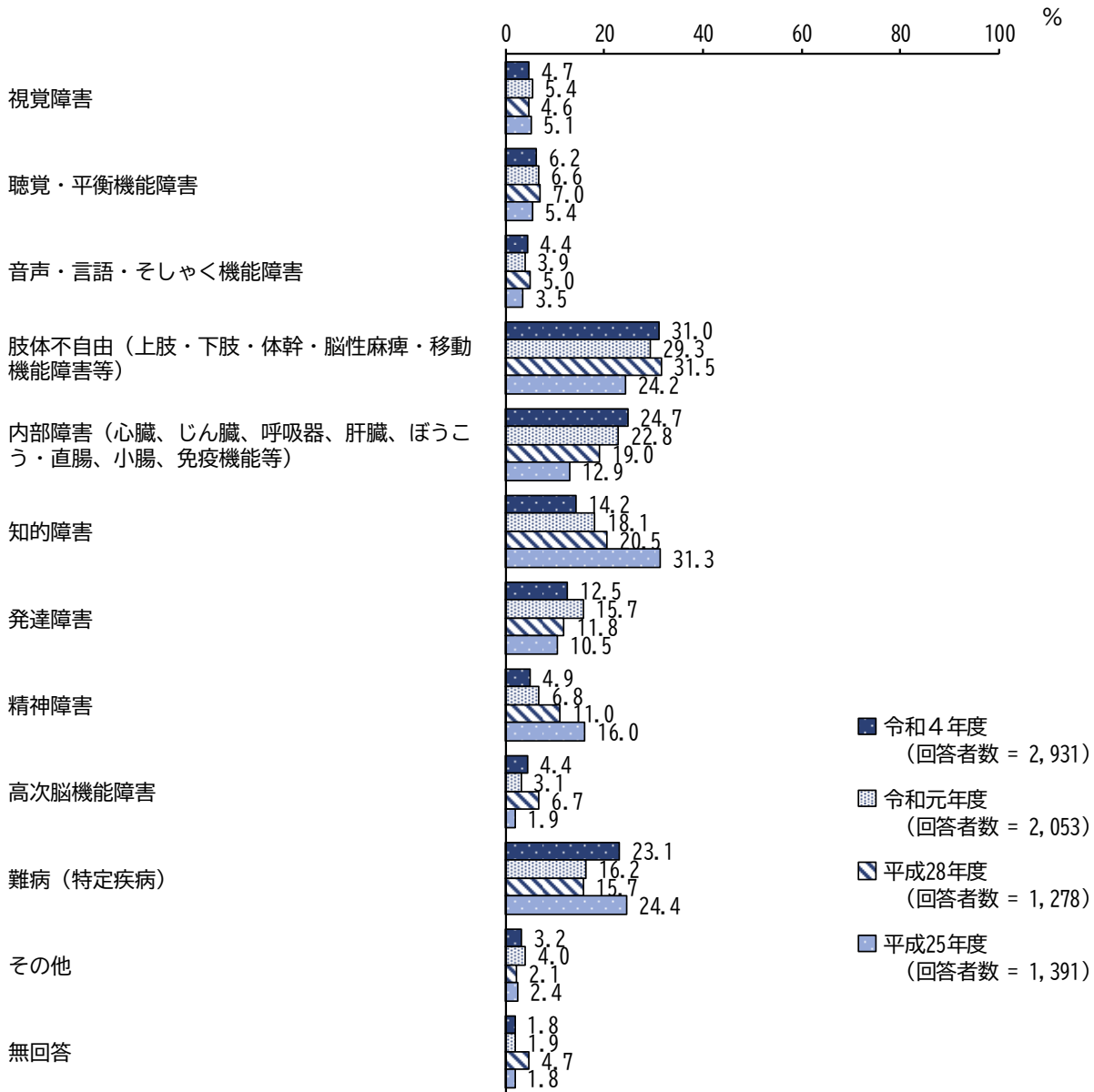
区分	回答者数 (件)	世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	無回答
全 体	2931	39.5	11.5	16.8	13.0	11.2	7.9
視覚障害	138	43.5	10.9	15.9	10.1	10.9	8.7
聴覚・平衡機能障害	181	42.0	8.8	17.7	12.2	7.7	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	31.5	13.8	24.6	12.3	12.3	5.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動機能障害等）	908	37.6	12.6	17.8	14.0	10.1	7.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、 肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫 機能等）	725	41.5	11.4	15.2	12.3	11.4	8.1
知的障害	417	32.6	14.1	19.7	17.3	12.9	3.4
発達障害	367	28.9	14.4	19.1	16.3	14.7	6.5
精神障害	145	42.1	15.9	8.3	10.3	13.8	9.7
高次脳機能障害	130	31.5	14.6	20.0	16.2	10.8	6.9
難病（特定疾病）	677	39.7	11.4	16.4	12.6	12.0	8.0
その他	95	55.8	7.4	8.4	11.6	11.6	5.3

問6 あなたの障害は次のどれに該当しますか。(あてはまるものすべてに○)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」の割合が31.0%と最も高く、次いで「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」の割合が24.7%、「難病（特定疾病）」の割合が23.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「難病（特定疾病）」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳未満で「発達障害」の割合が、10歳～19歳で「知的障害」の割合が、20歳～29歳で「知的障害」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」の割合が、10歳～19歳で「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病(特定疾病)	その他	無回答
全 体	2931	4.7	6.2	4.4	31.0	24.7	14.2	12.5	4.9	4.4	23.1	3.2	1.8
10歳未満	172	3.5	5.2	4.7	14.0	5.2	33.7	71.5	1.7	1.2	7.0	7.0	0.6
10歳～19歳	167	3.0	6.0	4.2	19.2	7.8	60.5	46.7	3.0	1.8	9.0	1.8	—
20歳～29歳	123	1.6	4.1	0.8	17.1	8.1	53.7	30.1	6.5	3.3	21.1	0.8	—
30歳～39歳	169	1.8	2.4	1.8	17.8	10.1	43.2	23.1	15.4	0.6	18.9	2.4	—
40歳～49歳	236	4.7	4.2	5.5	25.8	14.4	26.3	16.5	13.1	6.8	28.8	1.3	0.8
50歳～59歳	359	3.6	2.8	4.7	33.1	19.5	10.0	5.8	10.3	7.0	35.7	1.4	1.4
60歳～69歳	429	4.4	3.7	5.1	33.3	27.0	1.9	0.9	4.2	7.7	31.9	2.8	1.6
70歳～79歳	556	4.1	5.2	5.8	39.2	35.8	0.7	1.3	1.3	3.6	24.5	2.0	1.3
80歳～89歳	513	7.0	10.5	3.1	36.8	35.3	1.4	1.9	1.4	3.5	19.9	6.8	2.9
90歳以上	155	9.0	20.0	4.5	36.8	43.2	0.6	3.9	—	2.6	9.7	5.2	1.3

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」の割合が、知的障害で「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしやく機能障害	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病（特定疾病）	その他	無回答
全 体	2931	4.7	6.2	4.4	31.0	24.7	14.2	12.5	4.9	4.4	23.1	3.2	1.8
視覚障害	138	100.0	13.0	6.5	24.6	19.6	10.1	5.1	3.6	5.8	13.8	0.7	—
聴覚・平衡機能障害	181	9.9	100.0	10.5	27.6	15.5	9.4	5.0	2.8	3.3	6.1	2.2	—
音声・言語・そしやく機能障害	130	6.9	14.6	100.0	68.5	16.2	14.6	6.2	4.6	26.9	16.9	1.5	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	3.7	5.5	9.8	100.0	11.2	8.1	3.0	2.9	9.5	14.0	1.3	—
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	3.7	3.9	2.9	14.1	100.0	2.6	1.9	1.4	2.1	12.6	1.5	—
知的障害	417	3.4	4.1	4.6	17.7	4.6	100.0	35.7	4.8	2.2	8.2	2.2	—
発達障害	367	1.9	2.5	2.2	7.4	3.8	40.6	100.0	8.2	1.1	3.5	2.7	—
精神障害	145	3.4	3.4	4.1	17.9	6.9	13.8	20.7	100.0	7.6	11.7	0.7	—
高次脳機能障害	130	6.2	4.6	26.9	66.2	11.5	6.9	3.1	8.5	100.0	9.2	2.3	—
難病（特定疾病）	677	2.8	1.6	3.2	18.8	13.4	5.0	1.9	2.5	1.8	100.0	1.2	—
その他	95	1.1	4.2	2.1	12.6	11.6	9.5	10.5	1.1	3.2	8.4	100.0	—

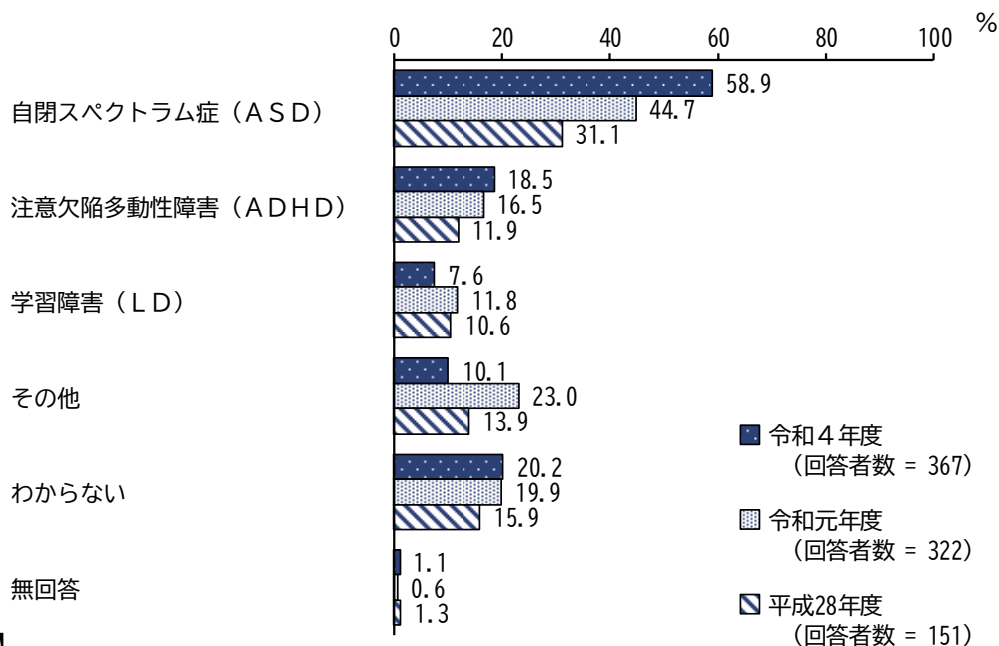
問6で「7. 発達障害」とお答えの方におたずねします

問6-1 発達障害の種類は次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

「自閉スペクトラム症 (ASD)」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.2%、「注意欠陥多動性障害 (ADHD)」の割合が 18.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「自閉スペクトラム症 (ASD)」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、80歳～89歳で「わからない」の割合が、20歳～29歳で「自閉スペクトラム症 (ASD)」の割合が、40歳～49歳で「わからない」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「わからない」の割合が、50歳～59歳で「自閉スペクトラム症 (ASD)」の割合が、20歳～29歳で「わからない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自閉スペクトラム症 (ASD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)	その他	わからない	無回答
全体	367	58.9	18.5	7.6	10.1	20.2	1.1
10歳未満	123	65.9	17.1	2.4	9.8	19.5	—
10歳～19歳	78	67.9	19.2	7.7	5.1	20.5	—
20歳～29歳	37	75.7	18.9	2.7	10.8	5.4	—
30歳～39歳	39	66.7	28.2	17.9	2.6	2.6	2.6
40歳～49歳	39	46.2	17.9	5.1	10.3	33.3	2.6
50歳～59歳	21	42.9	28.6	33.3	4.8	9.5	4.8
60歳～69歳	4	25.0	—	25.0	50.0	25.0	—
70歳～79歳	7	—	—	—	57.1	57.1	—
80歳～89歳	10	—	—	—	20.0	80.0	—
90歳以上	6	—	—	—	50.0	33.3	16.7

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、その他で「わからない」の割合が、精神障害で「注意欠陥多動性障害（ADHD）」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「わからない」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「自閉スペクトラム症（ASD）」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「自閉スペクトラム症（ASD）」の割合が、その他で「自閉スペクトラム症（ASD）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自閉スペクトラム症 (ASD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)	その他	わからない	無回答
全 体	367	58.9	18.5	7.6	10.1	20.2	1.1
視覚障害	7	42.9	—	—	14.3	42.9	—
聴覚・平衡機能障害	9	11.1	22.2	11.1	22.2	44.4	—
音声・言語・そしゃく機能障害	8	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	27	22.2	7.4	7.4	25.9	37.0	7.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	14	14.3	21.4	14.3	21.4	42.9	7.1
知的障害	149	76.5	10.7	9.4	7.4	8.7	0.7
発達障害	367	58.9	18.5	7.6	10.1	20.2	1.1
精神障害	30	53.3	43.3	10.0	13.3	3.3	6.7
高次脳機能障害	4	25.0	25.0	25.0	50.0	—	—
難病（特定疾病）	13	53.8	30.8	23.1	23.1	—	7.7
その他	10	30.0	10.0	—	20.0	50.0	—

問6で「10. 難病（特定疾病）」とお答えの方におたずねします

問6-2 あなたの難病（特定疾病）は何ですか。疾病名についてご記入ください。

難病（特定疾病）の名称については、「パーキンソン病」が78件と最も高く、次いで「潰瘍性大腸炎」が52件、「慢性腎不全」が31件です。その他の疾病名については下表の通りです。

<難病（特定疾病）の名称一覧>

疾病名	件数	疾病名	件数
パーキンソン病	78	全身性アミロイドーシス	4
潰瘍性大腸炎	52	多発性筋炎	4
慢性腎不全	31	大脳皮質基底核変性症	4
好酸球性副鼻腔炎	23	特発性血小板減少性紫斑病	4
全身性エリテマトーデス	23	脳梗塞	4
シェーグレン症候群	17	拡張型心筋症	3
脊髄小脳変性症	16	間質性肺炎	3
後縦靭帯骨化症	15	強直性脊髄炎	3
網膜色素変性症	14	強皮症	3
サルコイドーシス	13	筋萎縮性側索硬化症	3
重症筋無力症	12	顕微鏡的多発血管炎	3
多発性のう胞腎	10	心臓病	3
多発性硬化症	10	成人スチル病	3
潰瘍性大腸炎	9	難治性てんかん	3
腎臓	8	皮膚筋炎	3
下垂体前葉機能低下症	8	慢性腎臓病	3
全身性強皮症	8	H I V	2
多系統萎縮症	8	ネフローゼ	2
I g A腎症	7	プラダーウィリー症候群	2
S L E	7	マルファン症候群	2
ベーチェット病	7	ライソゾーム病（ファブリ病）	2
筋ジストロフィー	7	悪性リウマチ	2
自己免疫性肝炎	7	一次性ネフローゼ症候群	2
進行性核上性麻痺	7	下垂体性ADH分泌異常症、下垂体前葉	2
腎不全	7	巨細胞性動脈炎	2
膠原病	7	頸椎後縦靭帯骨化症	2
もやもや病	6	高安動脈炎	2
特発性拡張型心筋症	6	再生不良性貧血	2
特発性大腿骨頭壊死症	6	視覚障害	2
A L S	5	大腿骨骨頭壊死	2
クローン病	5	糖尿病	2
セキズイ小脳変性症	5	特発性間質性肺炎	2
てんかん	5	突発性拡張型心筋症	2
リウマチ	5	脳下垂体機能不全	2
原発性胆汁性胆管炎	5	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2
混合性結合組織病	5	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2
関節リウマチ	4	類天疱瘡	2
球脊髄性筋萎縮症	4		

<難病（特定疾病）の名称一覧>

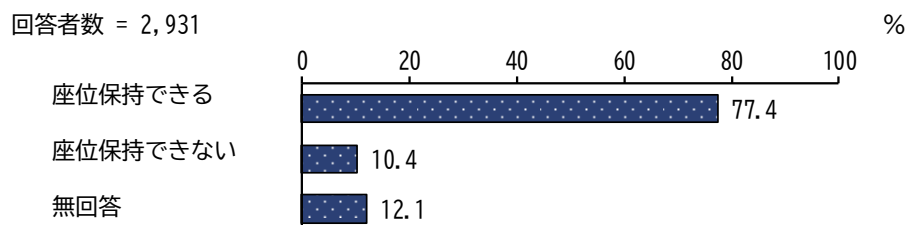
その他、各1件

疾病名	件数	疾病名	件数
<p>21トリソミー、ADPKD、ALS筋萎縮性側索硬化症、B型ウイルス肝炎、B型肝炎、CIDP、ITP、MCT、MG、アナフィラキシー、アルポート症候群、アンジュルマン症候群、ウィルソン病、ウエスト症候群、カンシツセイハイエン、クッシング病、けいついしょう、ケツアツ、こうじゅうじんたいこっかしょう、こかんせつ（変形性こかんせつ症）、じびいんこうか、しゃべることできない、シャルコ・マリー・トウース病、シュエグレン、スチール痛、せきずい空洞症、ソウウツ病、たんかん炎、チャージ症候群、とうによろ病、のうこうそく、ひふ筋炎、フェニルケトン尿症、ペースメーカー使用。ポウコウガン（尿路変向）、ランゲルハンス細胞組織球症、リンパ脈管筋腫症、レノックス・ガストー症候群、悪性関節リウマチ、遺伝性嚢胞腎、一級（じん臓）、右房粘液腫、遠位型ミオパチー、下垂体機能不全、下垂体性PRL分泌亢進症、下垂体性TSH分泌亢進症、下垂体性成長ホルモン分泌抗進症、加齢黄斑変性、家族性アミロイドポリニューロパチー（全身性アミロイドーシス）、歌舞伎症候、感音性難聴、急速進行性糸球体腎炎、筋無力症、頸椎軸椎歯突起後方偽腫瘍他、結節性硬化症、血管型エーラスダンロス症候群、血小板減少症紫斑病、血友病、原発性硬化性胆管炎、かいよう性大腸炎、原発性免疫不全症候群、広汎性発達障害、広範脊柱管狭窄症腰部脊柱管狭窄症、両膝変形性膝関節症骨形成不全症、骨髄小脳変性症、骨髄線維症、左心低形成、13トリソミー、左被殻出血、右半身麻痺</p>	<p>各1件 計125 件</p>	<p>失語症、血友病A第13因子発見、再発性多発軟骨炎、視神経脊髄炎、小脳出血による障害と体幹失調、小脳変性症、症候性てんかん、心アミロイドーシス、神経ベーチェット病、進行性筋ジストロフィー、腎のうほう（多発）、腎臓病、脊柱管狭窄症、先天性ネフローゼ、先天性血液凝固因子欠乏症（血友病A重症型）Ⅷ因子、先天性胆道閉塞症（肝移植）、前頭側頭葉変性症、全前脳胞症、総排泄腔遺残症、多発性関節拘縮症、フリーマンシエルドン症候群、多発性石化症、多発性嚢胞腎、大腸にある大動りゅう。大脳間質基底核変性症、胆道閉鎖症、中枢性尿崩症、直腸機能障害、天疱瘡、點頭てんかん、統合失調症、特発性多中心性キャッスルマン病、特発性多中心性キャッスルマン病、特発性血小板減少性紫斑病、特発性大腿骨とうえん、特発性大腿骨骨頭壊死、突発性間質性肺炎、突発性心筋症、突発性大腿骨骨頭壊死症、突発性大腿骨骨頭壊死、難治頻回部分発作重積型急性脳炎、難聴、脳アミロイドアンキョパチー・透析（慢性腎不全）、脳こうそく、脳しん障害、膿疱性乾癬、肺動脈高血圧症、皮膚てんポウソー、皮膚筋炎合併間質性肺炎、肥大型心筋症、コステロ症候群、変形性脊椎症、股関節脱臼体幹機能障害3級、C. I. P. P、慢性突発性偽性腸閉塞症、慢性肺疾患、免疫機能障害、網膜芽細胞腫、両大血管右室起始症、無脾症候群、多系統萎縮症、膠原病強皮症・原発性胆汁性胆肝炎、頸椎後縦靱帯骨化症、高安病</p>	<p>各1件 計125 件</p>

問7 心身の状態について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

1) 座位保持 (体幹)

「座位保持できる」の割合が 77.4%、「座位保持できない」の割合が 10.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、20歳～29歳で「座位保持できる」の割合が、10歳未満で「座位保持できる」の割合が、30歳～39歳で「座位保持できる」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「座位保持できる」の割合が、80歳～89歳で「座位保持できる」の割合が、20歳～29歳で「座位保持できない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	座位保持できる	座位保持できない	無回答
全 体	2931	77.4	10.4	12.1
10歳未満	172	92.4	5.2	2.3
10歳～19歳	167	88.6	7.2	4.2
20歳～29歳	123	95.1	4.9	—
30歳～39歳	169	88.8	6.5	4.7
40歳～49歳	236	86.4	6.4	7.2
50歳～59歳	359	82.5	6.4	11.1
60歳～69歳	429	80.2	10.5	9.3
70歳～79歳	556	72.7	11.9	15.5
80歳～89歳	513	63.4	16.2	20.5
90歳以上	155	63.2	20.0	16.8

【障害別】

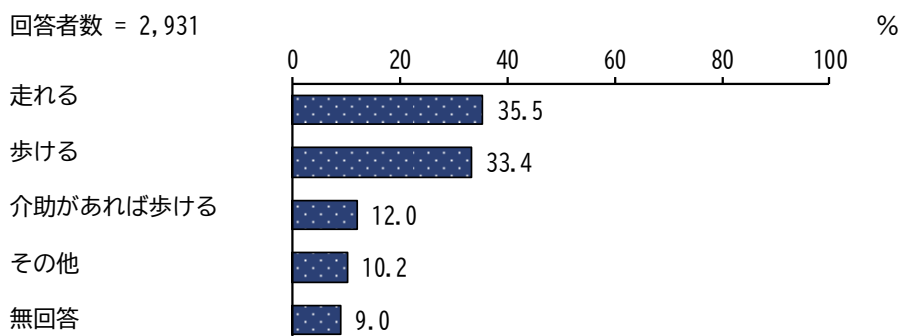
障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「座位保持できない」の割合が、高次脳機能障害で「座位保持できない」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「座位保持できない」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「座位保持できる」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「座位保持できる」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「座位保持できる」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	座位保持できる	座位保持できない	無回答
全 体	2931	77.4	10.4	12.1
視覚障害	138	72.5	11.6	15.9
聴覚・平衡機能障害	181	65.7	14.9	19.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	60.8	30.8	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	67.4	21.7	10.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	81.5	8.1	10.3
知的障害	417	88.0	5.8	6.2
発達障害	367	88.3	4.6	7.1
精神障害	145	79.3	5.5	15.2
高次脳機能障害	130	67.7	22.3	10.0
難病（特定疾病）	677	79.3	13.7	6.9
その他	95	69.5	12.6	17.9

2) 運動機能（下肢）

「走れる」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「歩ける」の割合が 33.4%、「介助があれば歩ける」の割合が 12.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、20歳～29歳で「走れる」の割合が、10歳未満で「走れる」の割合が、10歳～19歳で「走れる」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「走れる」の割合が、10歳未満で「歩ける」の割合が、80歳～89歳で「走れる」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	走れる	歩ける	介助があれば歩ける	その他	無回答
全体	2931	35.5	33.4	12.0	10.2	9.0
10歳未満	172	82.0	1.2	5.8	6.4	4.7
10歳～19歳	167	78.4	5.4	3.0	9.0	4.2
20歳～29歳	123	82.9	6.5	4.9	3.3	2.4
30歳～39歳	169	72.8	11.2	2.4	7.7	5.9
40歳～49歳	236	56.8	22.9	6.8	7.6	5.9
50歳～59歳	359	43.7	34.8	5.0	7.8	8.6
60歳～69歳	429	28.7	42.9	7.7	12.1	8.6
70歳～79歳	556	14.6	48.6	14.0	12.4	10.4
80歳～89歳	513	7.2	48.3	21.8	11.7	10.9
90歳以上	155	3.2	28.4	38.1	17.4	12.9

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「走れる」の割合が、知的障害で「走れる」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「歩ける」の割合が高くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「走れる」の割合が、発達障害で「歩ける」の割合が、高次脳機能障害で「走れる」の割合が低くなっています。

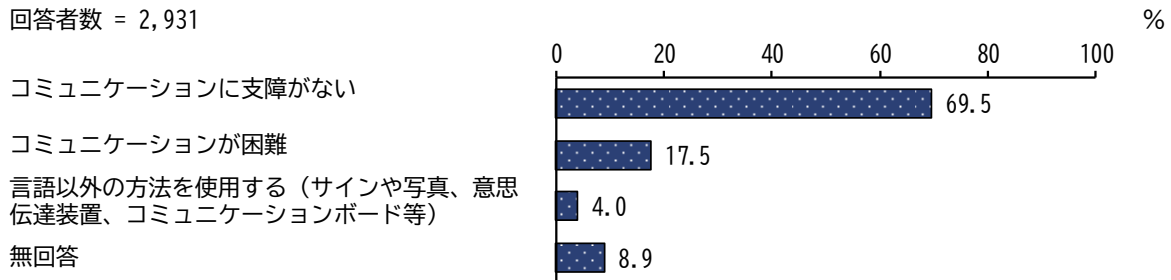
単位：％

区分	回答者数 (件)	走れる	歩ける	介助があれば歩ける	その他	無回答
全体	2931	35.5	33.4	12.0	10.2	9.0
視覚障害	138	24.6	34.1	18.8	10.9	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	26.0	28.7	21.5	12.2	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	17.7	26.2	19.2	28.5	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	8.0	37.9	21.9	24.1	8.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	26.5	47.0	12.0	6.9	7.6
知的障害	417	69.1	12.9	6.2	6.0	5.8
発達障害	367	81.2	7.4	3.0	3.0	5.4
精神障害	145	49.0	29.0	4.8	7.6	9.7
高次脳機能障害	130	12.3	32.3	19.2	25.4	10.8
難病（特定疾病）	677	36.9	32.5	11.7	13.3	5.6
その他	95	26.3	42.1	11.6	8.4	11.6

3) 日常的なコミュニケーション

「コミュニケーションに支障がない」の割合が69.5%と最も高く、次いで「コミュニケーションが困難」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 2,931



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、20歳～29歳で「コミュニケーションが困難」の割合が、10歳未満で「コミュニケーションが困難」の割合が、10歳～19歳で「コミュニケーションが困難」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「コミュニケーションに支障がない」の割合が、10歳～19歳で「コミュニケーションに支障がない」の割合が、20歳～29歳で「コミュニケーションに支障がない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	コミュニケーションに支障がない	コミュニケーションが困難	言語以外の方法を使用する(サインや写真、意思伝達装置、コミュニケーションボード等)	無回答
全体	2931	69.5	17.5	4.0	8.9
10歳未満	172	48.8	34.9	12.2	4.1
10歳～19歳	167	50.9	32.3	13.8	3.0
20歳～29歳	123	52.8	40.7	6.5	—
30歳～39歳	169	65.1	22.5	7.1	5.3
40歳～49歳	236	68.2	22.9	3.8	5.1
50歳～59歳	359	79.4	10.9	1.7	8.1
60歳～69歳	429	78.1	11.4	2.3	8.2
70歳～79歳	556	75.2	11.2	2.7	11.0
80歳～89歳	513	72.1	13.5	2.1	12.3
90歳以上	155	65.8	20.6	1.9	11.6

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「コミュニケーションが困難」の割合が、知的障害で「コミュニケーションが困難」の割合が、高次脳機能障害で「コミュニケーションが困難」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「コミュニケーションに支障がない」の割合が、知的障害で「コミュニケーションに支障がない」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「コミュニケーションに支障がない」の割合が低くなっています。

単位：％

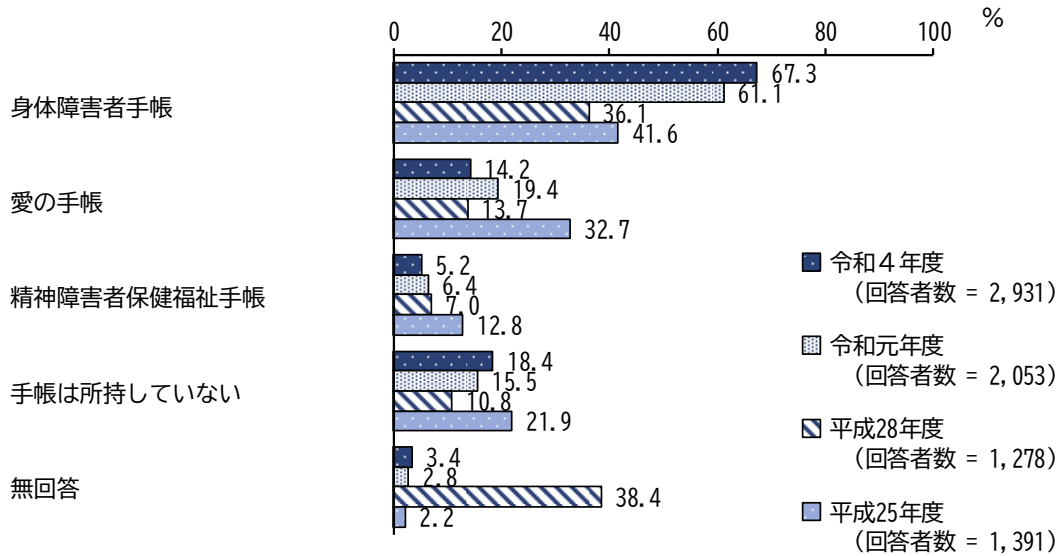
区分	回答者数(件)	コミュニケーションに支障がない	コミュニケーションが困難	言語以外の方法を使用する(サインや写真、意思伝達装置、コミュニケーションボード等)	無回答
全体	2931	69.5	17.5	4.0	8.9
視覚障害	138	68.1	13.0	5.8	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	37.6	37.6	14.4	10.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.8	53.1	20.0	3.1
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	67.4	19.9	4.4	8.3
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	82.8	7.3	1.9	8.0
知的障害	417	36.2	47.0	12.2	4.6
発達障害	367	50.7	36.0	7.6	5.7
精神障害	145	61.4	24.8	4.1	9.7
高次脳機能障害	130	43.1	42.3	7.7	6.9
難病(特定疾病)	677	79.2	12.7	3.0	5.2
その他	95	71.6	12.6	3.2	12.6

問8 あなたが、現在お持ちの手帳の等級は何級または何度ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「身体障害者手帳」の割合が67.3%と最も高く、次いで「手帳は所持していない」の割合が18.4%、「愛の手帳」の割合が14.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「身体障害者手帳」の割合が増加しています。一方、「愛の手帳」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「愛の手帳」の割合が、難病（特定疾病）で「手帳は所持していない」の割合が、発達障害で「愛の手帳」の割合が高くなっています。また、発達障害で「身体障害者手帳」の割合が、知的障害で「身体障害者手帳」の割合が、難病（特定疾病）で「身体障害者手帳」の割合が低くなっています。

単位：％

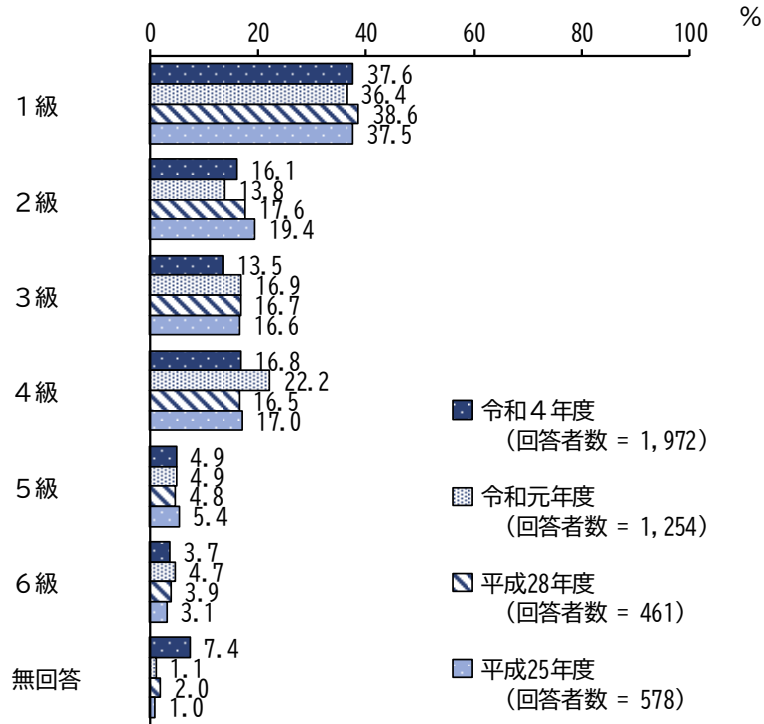
区分	回答者数 (件)	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳は所持していない	無回答
全 体	2931	67.3	14.2	5.2	18.4	3.4
視覚障害	138	95.7	4.3	2.9	2.2	2.2
聴覚・平衡機能障害	181	93.9	3.9	1.1	2.2	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	90.8	9.2	3.1	3.8	1.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	95.5	6.6	2.3	1.9	2.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	94.6	1.8	1.1	4.3	1.0
知的障害	417	26.4	89.0	5.5	3.6	1.4
発達障害	367	23.7	44.1	13.9	34.6	3.0
精神障害	145	86.9	12.4	72.4	7.6	2.1
高次脳機能障害	130	95.4	4.6	14.6	1.5	2.3
難病（特定疾病）	677	42.2	5.0	1.8	52.9	2.5
その他	95	69.5	8.4	2.1	21.1	3.2

身体障害者手帳

「1級」の割合が37.6%と最も高く、次いで「4級」の割合が16.8%、「2級」の割合が16.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「4級」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「1級」の割合が、視覚障害で「2級」の割合が、高次脳機能障害で「2級」の割合が高くなっています。また、精神障害で「1級」の割合が、発達障害で「1級」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「1級」の割合が低くなっています。

単位：%

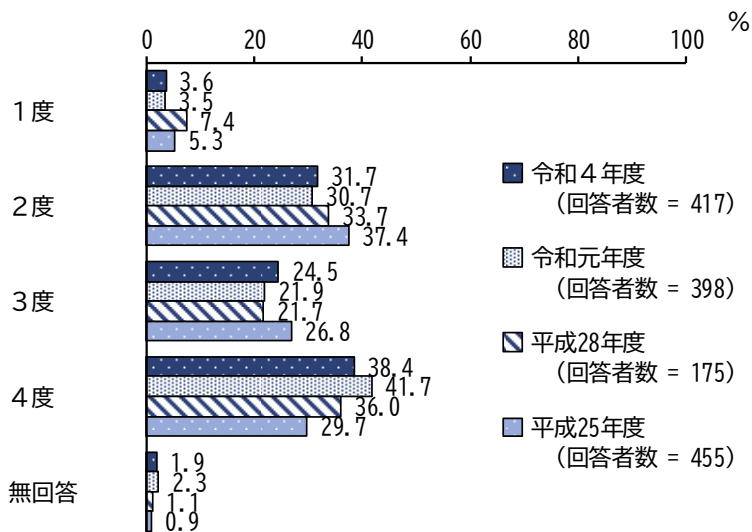
区分	回答者数 (件)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体	1972	37.6	16.1	13.5	16.8	4.9	3.7	7.4
視覚障害	132	33.3	32.6	8.3	9.1	12.1	0.8	3.8
聴覚・平衡機能障害	170	18.2	25.3	11.8	24.7	1.8	17.1	1.2
音声・言語・そしゃく機能障害	118	44.9	25.4	17.8	8.5	0.8	1.7	0.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	867	28.0	23.2	16.0	18.6	8.1	4.6	1.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	686	66.3	4.4	10.2	16.0	0.6	0.9	1.6
知的障害	110	42.7	16.4	8.2	6.4	4.5	3.6	18.2
発達障害	87	11.5	8.0	6.9	13.8	3.4	2.3	54.0
精神障害	126	6.3	14.3	4.0	3.2	2.4	1.6	68.3
高次脳機能障害	124	41.9	31.5	6.5	9.7	0.8	2.4	7.3
難病（特定疾病）	286	47.9	19.9	13.3	8.4	5.2	0.7	4.5
その他	66	39.4	7.6	16.7	25.8	4.5	1.5	4.5

愛の手帳

「4度」の割合が38.4%と最も高く、次いで「2度」の割合が31.7%、「3度」の割合が24.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「4度」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「2度」の割合が、難病（特定疾病）で「4度」の割合が高くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「4度」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「4度」の割合が、精神障害で「3度」の割合が低くなっています。

単位：%

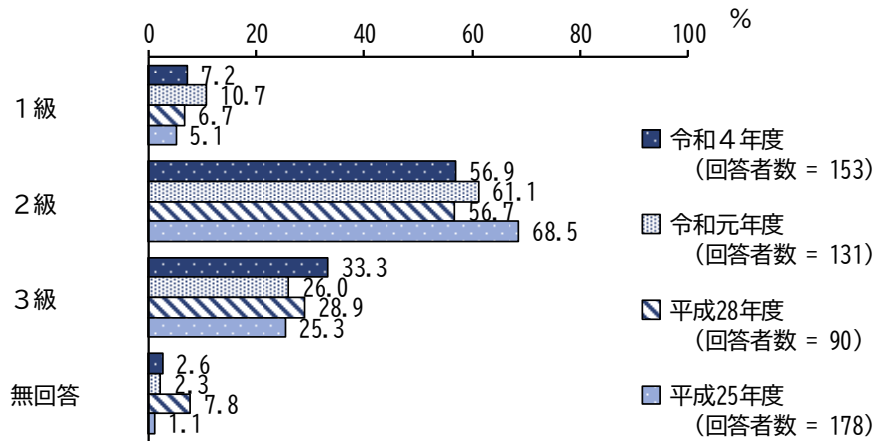
区分	回答者数(件)	1度	2度	3度	4度	無回答
全体	417	3.6	31.7	24.5	38.4	1.9
視覚障害	6	16.7	66.7	—	16.7	—
聴覚・平衡機能障害	7	—	85.7	—	14.3	—
音声・言語・そしゃく機能障害	12	16.7	33.3	16.7	33.3	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	60	16.7	48.3	18.3	15.0	1.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	13	23.1	30.8	30.8	15.4	—
知的障害	371	3.0	34.0	25.6	35.6	1.9
発達障害	162	0.6	24.7	28.4	45.1	1.2
精神障害	18	—	27.8	5.6	61.1	5.6
高次脳機能障害	6	16.7	16.7	16.7	50.0	—
難病（特定疾病）	34	8.8	26.5	17.6	47.1	—
その他	8	12.5	37.5	37.5	12.5	—

精神障害者保健福祉手帳

「2級」の割合が56.9%と最も高く、次いで「3級」の割合が33.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「3級」の割合が増加しています。



【障害別】

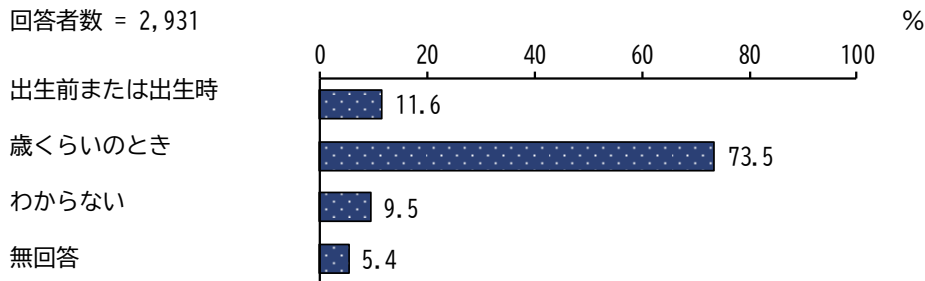
障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「2級」の割合が、発達障害で「3級」の割合が、精神障害で「2級」の割合が高くなっています。また、知的障害で「2級」の割合が、難病（特定疾病）で「3級」の割合が、高次脳機能障害で「3級」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1級	2級	3級	無回答
全体	153	7.2	56.9	33.3	2.6
視覚障害	4	—	50.0	50.0	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	—	50.0	50.0
音声・言語・そしゃく機能障害	4	25.0	50.0	25.0	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	21	14.3	52.4	28.6	4.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	8	12.5	62.5	12.5	12.5
知的障害	23	26.1	39.1	26.1	8.7
発達障害	51	5.9	47.1	43.1	3.9
精神障害	105	4.8	64.8	27.6	2.9
高次脳機能障害	19	10.5	68.4	21.1	—
難病（特定疾病）	12	25.0	58.3	16.7	—
その他	2	—	100.0	—	—

問9 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。(1つに○)

「歳くらいのとき」の割合が73.5%と最も高く、次いで「出生前または出生時」の割合が11.6%となっています。



【障害別】

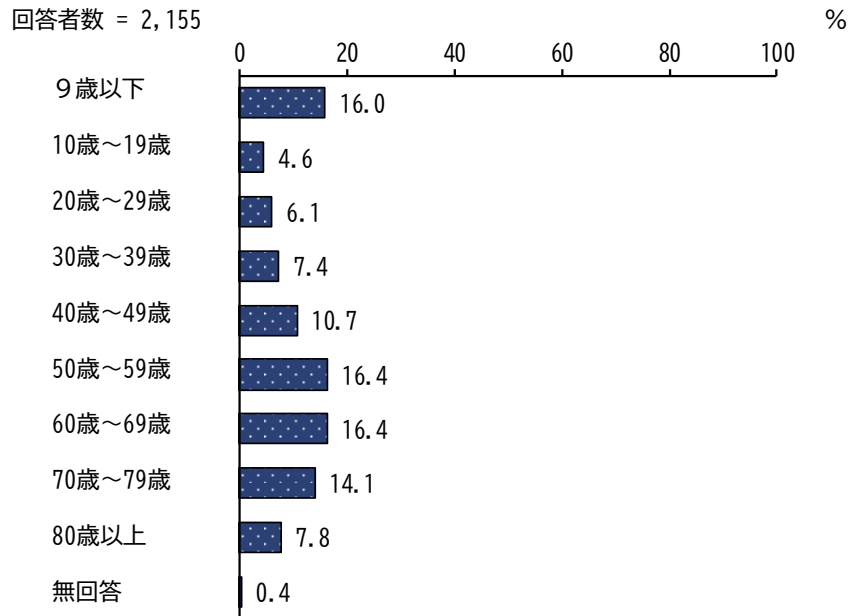
障害別にみると、他に比べ、知的障害で「出生前または出生時」の割合が、高次脳機能障害で「歳くらいのとき」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「歳くらいのとき」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「歳くらいのとき」の割合が高くなっています。また、知的障害で「歳くらいのとき」の割合が、発達障害で「歳くらいのとき」の割合が、高次脳機能障害で「出生前または出生時」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	出生前または出生時	歳くらいのとき	わからない	無回答
全体	2931	11.6	73.5	9.5	5.4
視覚障害	138	14.5	71.0	8.7	5.8
聴覚・平衡機能障害	181	18.2	67.4	12.7	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	11.5	84.6	3.8	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	13.7	78.3	5.2	2.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	6.3	84.6	5.7	3.4
知的障害	417	41.5	41.7	14.9	1.9
発達障害	367	15.0	60.2	22.1	2.7
精神障害	145	6.2	72.4	15.9	5.5
高次脳機能障害	130	2.3	91.5	3.1	3.1
難病（特定疾病）	677	5.8	79.9	8.4	5.9
その他	95	6.3	74.7	12.6	6.3

何歳くらいのとき

「50歳～59歳」「60歳～69歳」の割合が16.4%と最も高く、次いで「9歳以下」の割合が16.0%、「70歳～79歳」の割合が14.1%となっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「9歳以下」の割合が、発達障害で「9歳以下」の割合が、高次脳機能障害で「50歳～59歳」の割合が高くなっています。また、知的障害で「50歳～59歳」の割合が、高次脳機能障害で「9歳以下」の割合が、発達障害で「50歳～59歳」の割合が低くなっています。

単位：％

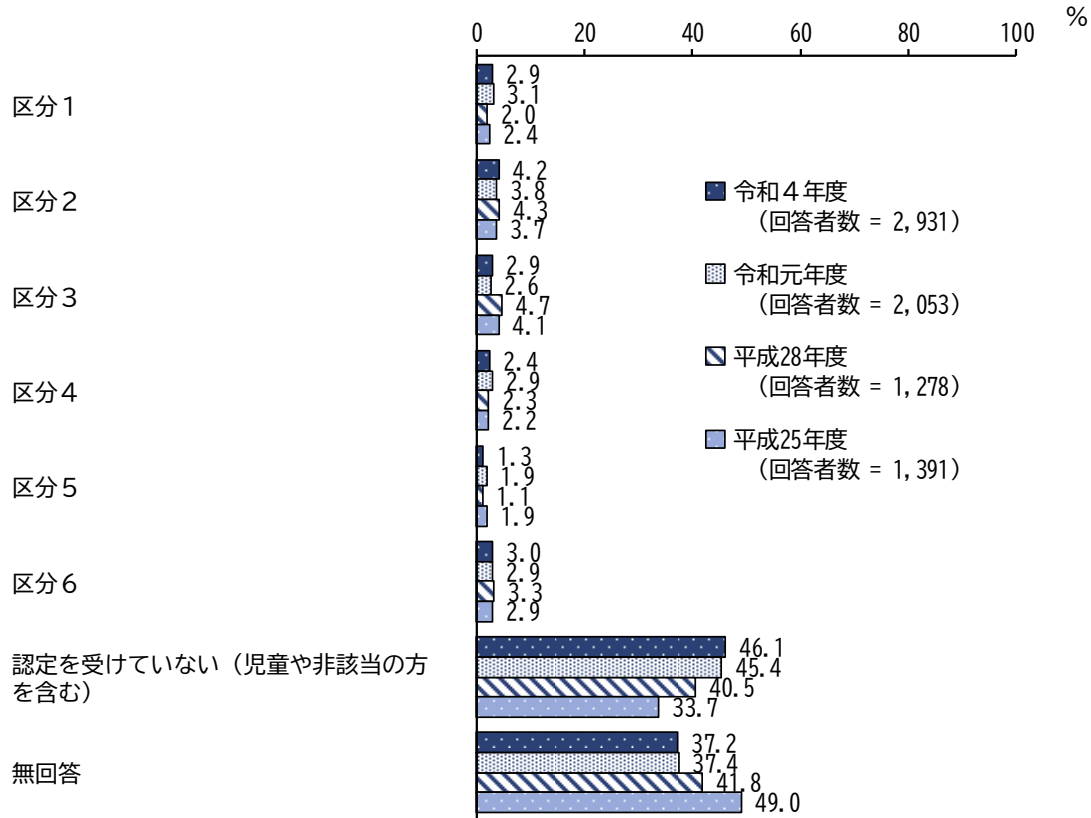
区分	回答者数 (件)	9歳以下	10歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	無回答
全 体	2155	16.0	4.6	6.1	7.4	10.7	16.4	16.4	14.1	7.8	0.4
視覚障害	98	10.2	6.1	7.1	9.2	9.2	19.4	13.3	15.3	8.2	2.0
聴覚・平衡機能障害	122	17.2	4.1	—	4.1	9.0	12.3	15.6	18.9	18.0	0.8
音声・言語・そしゃく機能障害	110	9.1	3.6	4.5	3.6	10.0	24.5	22.7	13.6	7.3	0.9
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	711	11.1	4.6	5.1	7.0	12.0	19.4	19.8	12.5	7.7	0.7
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	613	2.1	2.4	3.8	5.2	10.4	16.6	21.2	24.0	13.4	0.8
知的障害	174	88.5	4.6	2.9	0.6	0.6	0.6	—	1.1	1.1	—
発達障害	221	83.7	3.6	2.3	0.5	0.9	2.3	3.6	2.7	0.5	—
精神障害	105	9.5	23.8	27.6	18.1	6.7	6.7	2.9	2.9	1.9	—
高次脳機能障害	119	1.7	5.0	3.4	8.4	20.2	26.9	16.8	11.8	5.9	—
難病(特定疾病)	541	3.7	6.5	9.1	12.0	16.6	20.3	14.6	10.9	5.9	0.4
その他	71	14.1	2.8	4.2	4.2	7.0	15.5	19.7	19.7	12.7	—

問 10 あなたの障害者総合支援法での障害支援区分は次のどれですか。(1つに○)

「認定を受けていない(児童や非該当の方を含む)」の割合が46.1%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」の割合が、難病（特定疾病）で「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」の割合が、精神障害で「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」の割合が、視覚障害で「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	認定を受けていない (児童や非該当の 方を含む)	無回答
全 体	2931	2.9	4.2	2.9	2.4	1.3	3.0	46.1	37.2
視覚障害	138	4.3	4.3	2.9	0.7	0.7	1.4	34.8	50.7
聴覚・平衡機能障害	181	4.4	3.3	2.8	1.7	0.6	2.2	37.6	47.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	1.5	4.6	4.6	3.1	0.8	8.5	36.2	40.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	2.8	4.1	3.2	2.3	2.1	5.9	40.0	39.6
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	6.6	2.9	0.8	1.0	0.4	0.8	45.1	42.3
知的障害	417	1.0	10.3	8.4	8.2	4.1	11.0	37.9	19.2
発達障害	367	0.5	5.2	3.8	3.8	1.4	4.1	59.9	21.3
精神障害	145	0.7	11.0	11.7	2.1	2.1	2.8	32.4	37.2
高次脳機能障害	130	1.5	6.2	8.5	3.1	1.5	5.4	30.0	43.8
難病(特定疾病)	677	1.8	3.2	2.2	2.1	0.9	3.1	54.9	31.8
その他	95	3.2	4.2	1.1	4.2	1.1	1.1	43.2	42.1

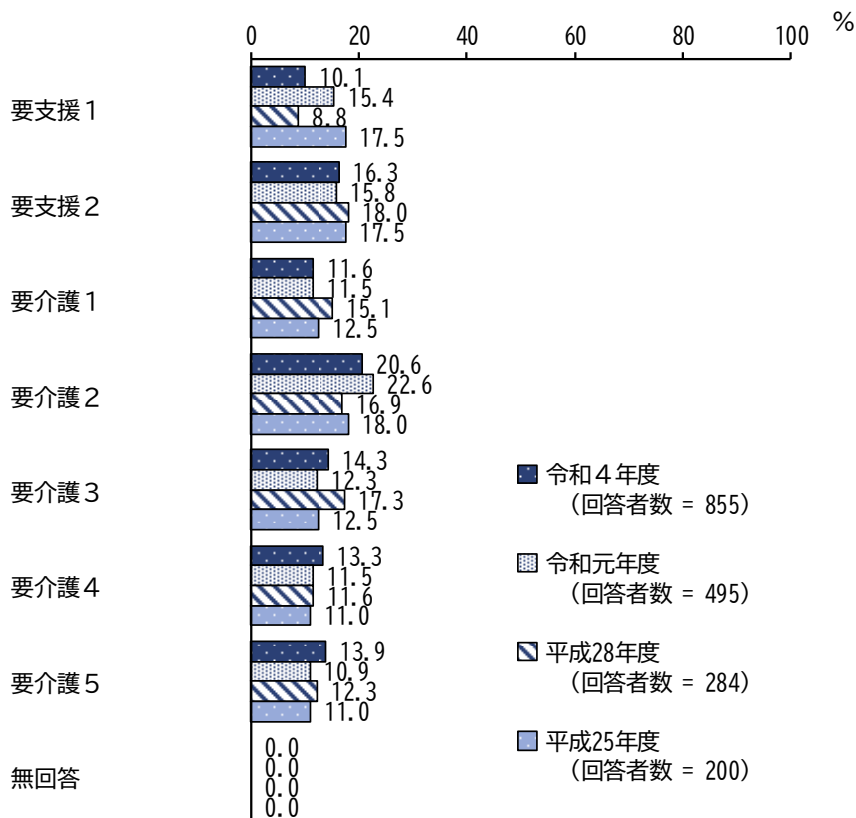
介護保険を受けている方におたずねします

問 11 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。(1つに○)

「要介護2」の割合が20.6%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が16.3%、「要介護3」の割合が14.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「要支援1」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「要介護5」の割合が、精神障害で「要支援2」の割合が、高次脳機能障害で「要介護5」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「要支援2」の割合が、精神障害で「要介護2」の割合が、発達障害で「要支援2」の割合が、高次脳機能障害で「要支援2」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全 体	855	10.1	16.3	11.6	20.6	14.3	13.3	13.9	—
視覚障害	55	12.7	12.7	12.7	16.4	14.5	20.0	10.9	—
聴覚・平衡機能障害	77	11.7	19.5	13.0	11.7	20.8	11.7	11.7	—
音声・言語・そしゃく機能障害	70	2.9	4.3	7.1	12.9	14.3	22.9	35.7	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	435	5.7	14.9	10.8	20.9	13.3	17.0	17.2	—
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	233	11.2	18.5	14.2	24.9	12.9	11.2	7.3	—
知的障害	16	18.8	12.5	6.3	31.3	18.8	12.5	—	—
発達障害	22	18.2	4.5	18.2	18.2	13.6	18.2	9.1	—
精神障害	23	13.0	34.8	13.0	8.7	17.4	4.3	8.7	—
高次脳機能障害	89	1.1	4.5	11.2	23.6	12.4	16.9	30.3	—
難病（特定疾病）	200	8.0	16.5	10.0	18.5	14.5	11.5	21.0	—
その他	36	19.4	11.1	8.3	25.0	16.7	5.6	13.9	—

(2) 日常生活に関することについて

問 12 あなたは、次の項目について一人ですることができますか。

(それぞれ1つに○)

補装具や特別な技術、用具等を使用してできる場合も、「できる」とします。

日常生活で一人でできることのうち、「一人でできる」については、『①食事』が78.0%と最も高く、次いで『⑥屋内の移動』が73.5%、『⑤トイレ』が72.1%となっています。一方、『⑭火災や地震などのときの避難』が43.9%、『⑨掃除』が46.3%と他の項目に比べ、低くなっています。

「時間をかければ一人でできる」については、『③着替え・身だしなみ』が11.0%と最も高く、次いで『⑨掃除』が10.7%となっています。

「部分的に手助けが必要」については、『⑭火災や地震などのときの避難』が15.1%と最も高く、次いで『⑮人とのコミュニケーション』が14.8%となっています。

「いつも手助けが必要」については、『⑭火災や地震などのときの避難』が32.9%と最も高く、次いで『⑬交通手段の利用』が29.7%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一人で できる	時間 を か け れ ば 一 人 で 可 能	部 分 的 に 手 助 け が 必 要	い つ も 手 助 け が 必 要	無 回 答	
①食事	令和4年度	2931	78.0	6.2	5.9	6.8	3.2
	令和元年度	2053	77.3	7.7	6.2	6.5	2.3
	平成28年度	1278	72.3	7.9	6.8	10.6	2.3
②食事づくりや後かたづけ	令和4年度	2931	51.1	9.9	8.9	25.0	5.0
	令和元年度	2053	50.6	8.7	11.0	25.2	4.5
	平成28年度	1278	41.9	10.1	11.5	31.6	4.9
③着替え・身だしなみ	令和4年度	2931	64.0	11.0	10.2	11.7	3.1
	令和元年度	2053	65.6	10.4	11.7	9.9	2.4
	平成28年度	1278	59.2	11.7	12.1	14.6	2.3
④入浴	令和4年度	2931	61.9	7.3	9.4	18.5	2.9
	令和元年度	2053	65.2	6.7	9.6	16.4	2.2
	平成28年度	1278	59.5	7.7	10.6	19.7	2.4
⑤トイレ	令和4年度	2931	72.1	7.1	7.3	10.7	2.7
	令和元年度	2053	74.2	6.8	7.4	9.4	2.1
	平成28年度	1278	69.0	7.7	7.2	14.2	1.9

単位：%

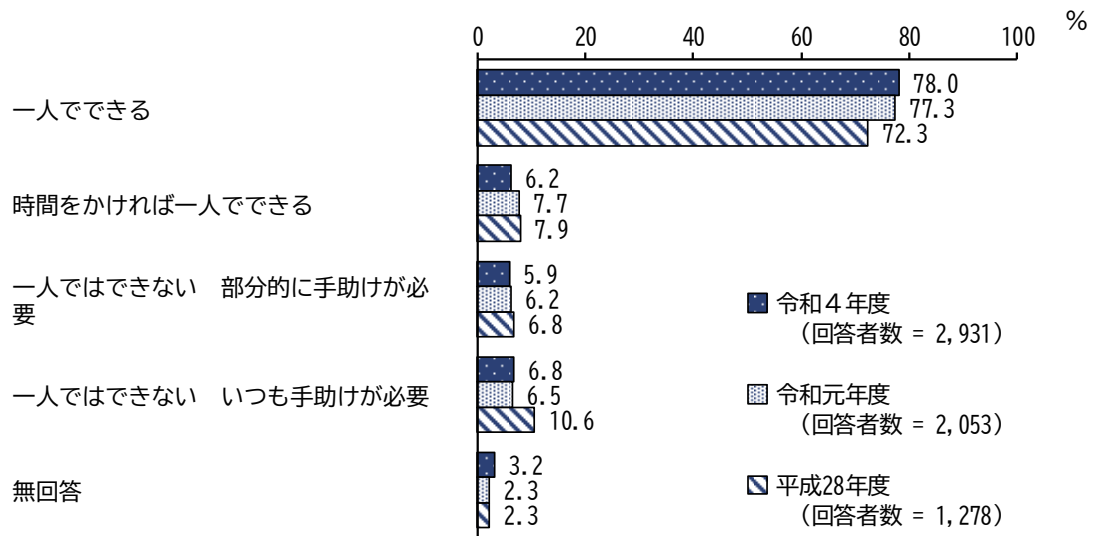
⑥屋内移動	令和4年度	2931	73.5	8.1	5.5	9.8	3.1
	令和元年度	2053	76.5	8.1	5.4	7.4	2.6
	平成28年度	1278	70.7	8.9	7.1	11.2	2.1
⑦外出	令和4年度	2931	52.7	8.5	11.1	24.2	3.5
	令和元年度	2053	54.2	7.9	11.6	23.4	2.8
	平成28年度	1278	49.9	6.7	13.5	27.2	2.7
⑧日常の買い物	令和4年度	2931	47.9	8.5	10.8	27.8	5.0
	令和元年度	2053	49.3	7.5	10.6	28.3	4.1
	平成28年度	1278	43.6	7.9	11.8	32.7	4.0
⑨掃除	令和4年度	2931	46.3	10.7	11.1	26.9	5.1
	令和元年度	2053	45.6	10.9	11.7	26.8	5.0
	平成28年度	1278	39.2	11.0	13.1	32.4	4.3
⑩洗濯	令和4年度	2931	48.0	9.8	7.8	28.6	5.8
	令和元年度	2053	48.3	10.1	8.3	28.0	5.3
	平成28年度	1278	42.0	8.8	10.4	33.9	4.9
⑪服薬の管理	令和4年度	2931	58.6	5.7	8.1	23.2	4.5
	令和元年度	2053	58.0	5.1	8.8	23.9	4.3
	平成28年度	1278	52.3	5.4	9.2	29.0	4.1
⑫お金の管理	令和4年度	2931	56.8	5.2	8.4	25.1	4.5
	令和元年度	2053	54.7	5.3	9.6	26.0	4.4
	平成28年度	1278	48.5	5.1	9.9	32.4	4.1
⑬交通手段の利用	令和4年度	2931	48.0	7.6	9.6	29.7	5.2
	令和元年度	2053	49.5	7.1	10.6	28.5	4.3
	平成28年度	1278	44.9	6.8	11.7	32.8	3.8
⑭火災や地震などのときの避難	令和4年度	2931	43.9	0.0	15.1	32.9	8.1
	令和元年度	2053	43.7	0.0	15.9	33.1	7.3
	平成28年度	1278	38.3	0.0	17.2	38.1	6.4
⑮人とのコミュニケーション	令和4年度	2931	65.9	0.0	14.8	12.7	6.6
	令和元年度	2053	63.2	0.0	18.3	13.0	5.6
	平成28年度	1278	56.0	0.0	20.3	17.8	5.8

前のページの表 続き

① 食事

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「一人できる」の割合が、高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「一人できる」の割合が低くなっています。

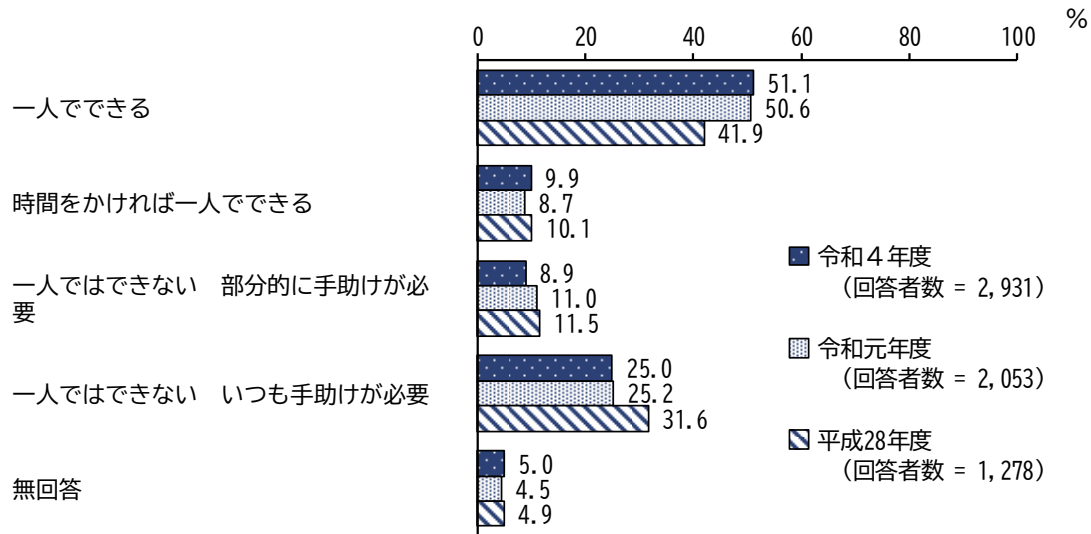
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	一人ではできない 部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	78.0	6.2	5.9	6.8	3.2
視覚障害	138	68.8	5.8	11.6	10.1	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	72.9	7.2	6.6	8.3	5.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	43.8	13.8	10.8	27.7	3.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	65.4	10.5	7.0	14.4	2.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	87.6	4.3	2.5	3.9	1.8
知的障害	417	66.2	5.3	12.7	14.1	1.7
発達障害	367	74.7	7.4	11.4	5.2	1.4
精神障害	145	77.9	11.0	7.6	2.1	1.4
高次脳機能障害	130	55.4	10.8	11.5	21.5	0.8
難病（特定疾病）	677	78.1	5.5	4.9	9.0	2.5
その他	95	81.1	5.3	6.3	5.3	2.1

② 食事づくりや後かたづけ

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人のできる」の割合が、知的障害で「一人のできる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人のできる」の割合が低くなっています。

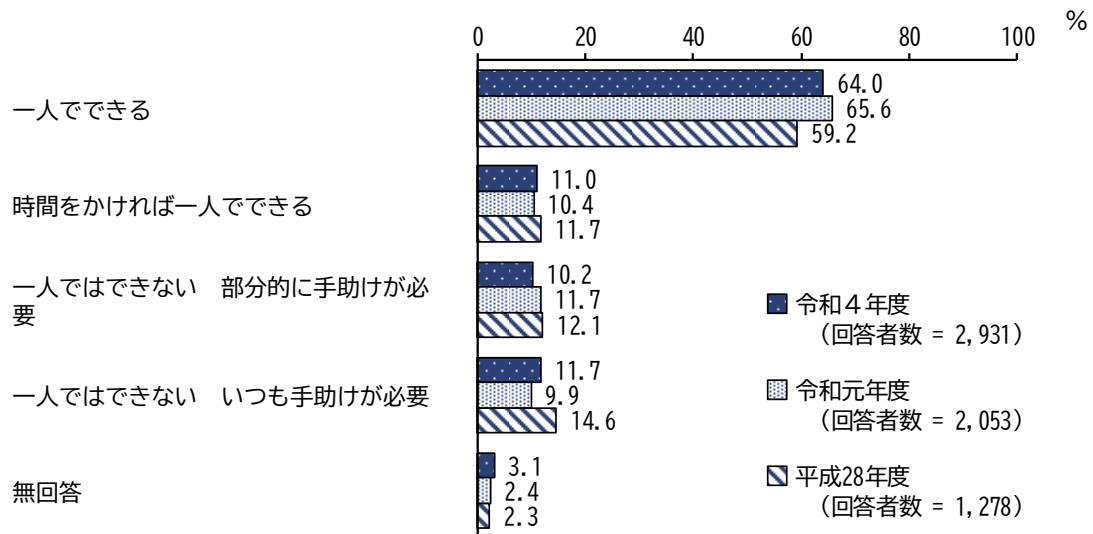
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人のできる	時間をかければ一人のできる	部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	51.1	9.9	8.9	25.0	5.0
視覚障害	138	39.9	10.9	8.7	29.7	10.9
聴覚・平衡機能障害	181	51.9	13.3	3.9	26.0	5.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	26.9	7.7	6.2	55.4	3.8
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	37.4	11.6	8.1	38.5	4.3
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	65.4	9.4	5.1	15.4	4.7
知的障害	417	18.2	5.5	19.7	54.0	2.6
発達障害	367	30.2	10.4	18.0	37.3	4.1
精神障害	145	48.3	17.2	15.2	17.9	1.4
高次脳機能障害	130	13.8	10.0	14.6	58.5	3.1
難病 (特定疾病)	677	60.1	9.3	5.3	21.4	3.8
その他	95	48.4	13.7	11.6	21.1	5.3

③ 着替え・身だしなみ

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない 部分的に手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

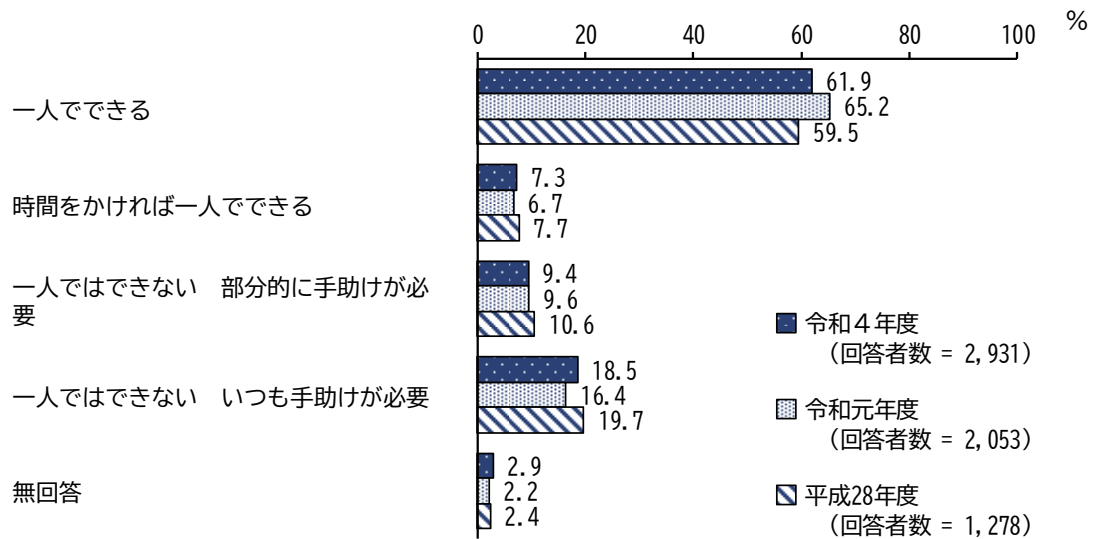
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	一 人 で 可 能 な ら ば 時 間 を か け ら れ ば	必 要 な ら ば 一 人 で は 可 能 な ら ず	一 人 で は 可 能 な ら ず い つ も 手 助 け が 必 要	無 回 答
全 体	2931	64.0	11.0	10.2	11.7	3.1
視覚障害	138	56.5	10.1	14.5	14.5	4.3
聴覚・平衡機能障害	181	62.4	9.4	7.7	14.9	5.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	32.3	14.6	11.5	39.2	2.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	46.7	14.6	11.9	24.4	2.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	76.6	9.0	5.1	6.9	2.5
知的障害	417	42.2	10.3	26.9	18.9	1.7
発達障害	367	54.8	13.4	22.9	7.9	1.1
精神障害	145	67.6	19.3	8.3	4.1	0.7
高次脳機能障害	130	29.2	15.4	19.2	34.6	1.5
難病（特定疾病）	677	66.6	10.6	7.5	13.4	1.8
その他	95	70.5	10.5	6.3	11.6	1.1

④ 入浴

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「一人できる」の割合が低くなっています。

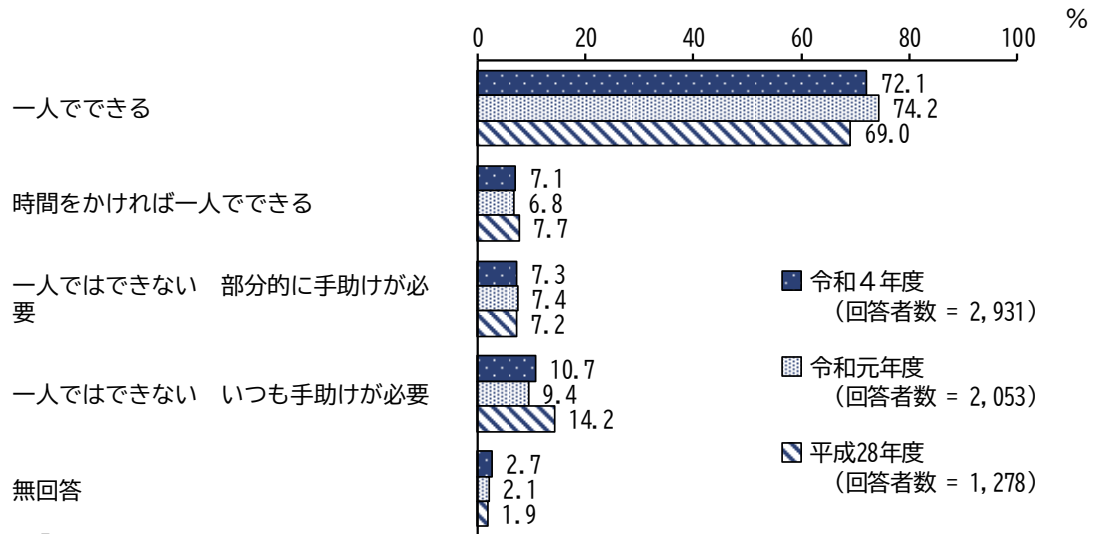
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	一人ではできない 部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	61.9	7.3	9.4	18.5	2.9
視覚障害	138	56.5	8.7	10.9	20.3	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	61.3	5.5	8.3	21.0	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	33.8	3.8	7.7	52.3	2.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	43.0	9.9	8.9	35.8	2.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	74.1	6.2	5.8	12.1	1.8
知的障害	417	44.6	4.8	19.9	29.7	1.0
発達障害	367	48.5	8.2	22.1	20.4	0.8
精神障害	145	69.7	14.5	8.3	7.6	—
高次脳機能障害	130	24.6	11.5	12.3	50.0	1.5
難病（特定疾病）	677	66.5	7.8	6.2	17.4	2.1
その他	95	66.3	8.4	10.5	13.7	1.1

⑤ トイレ

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

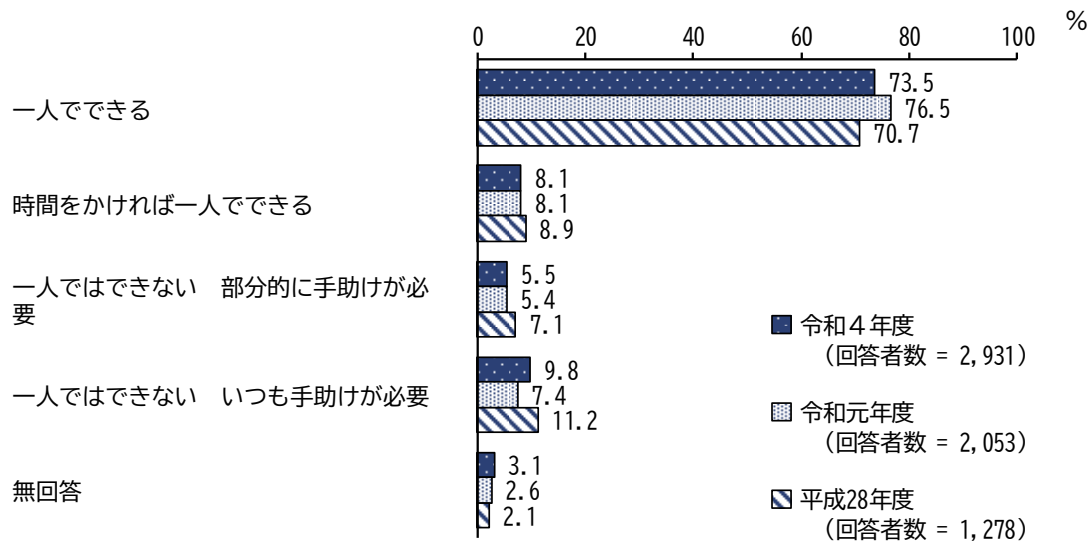
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	時 間 を か け れ ば 一 人 で 可 能	必 要 部 分 的 に 手 助 け が 必 要	一 人 で は 可 能 な い も 手 助 け が 必 要	無 回 答
全 体	2931	72.1	7.1	7.3	10.7	2.7
視覚障害	138	65.2	10.9	7.2	13.8	2.9
聴覚・平衡機能障害	181	68.0	8.3	7.2	13.8	2.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	41.5	9.2	10.8	36.2	2.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	56.7	10.8	8.1	22.2	2.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	81.2	6.1	4.8	6.1	1.8
知的障害	417	55.6	4.3	18.5	19.9	1.7
発達障害	367	67.0	4.9	16.9	10.4	0.8
精神障害	145	83.4	4.8	6.9	4.1	0.7
高次脳機能障害	130	46.2	10.8	12.3	30.0	0.8
難病（特定疾病）	677	72.8	8.6	4.7	12.1	1.8
その他	95	74.7	10.5	4.2	9.5	1.1

⑥ 屋内の移動

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「一人できる」の割合が、発達障害で「一人できる」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「一人できる」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「一人できる」の割合が低くなっています。

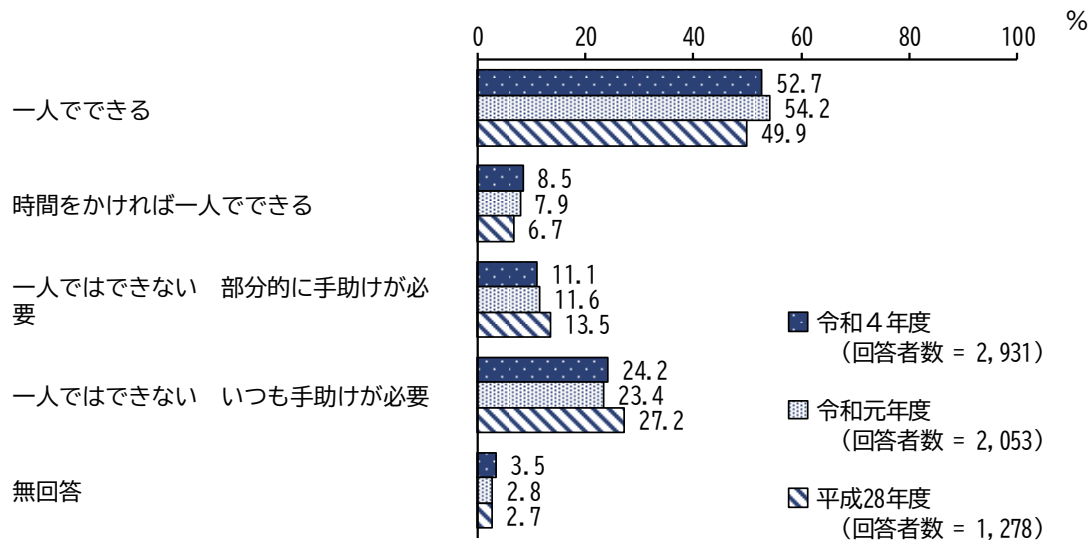
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	一 人 で 可 能 な ら ば	必 要 な ら ば	一 人 で 可 能 な ら ば	無 回 答
全 体	2931	73.5	8.1	5.5	9.8	3.1
視覚障害	138	61.6	13.0	8.7	12.3	4.3
聴覚・平衡機能障害	181	66.9	11.0	6.6	12.2	3.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	44.6	12.3	6.2	35.4	1.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	53.7	13.8	8.0	21.6	2.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	81.4	6.6	4.1	5.8	2.1
知的障害	417	73.4	2.6	8.4	13.2	2.4
発達障害	367	84.2	2.7	6.0	5.7	1.4
精神障害	145	84.8	6.2	5.5	2.8	0.7
高次脳機能障害	130	46.2	13.1	8.5	30.8	1.5
難病（特定疾病）	677	71.9	8.7	5.5	12.7	1.2
その他	95	74.7	8.4	4.2	9.5	3.2

⑦ 外出

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

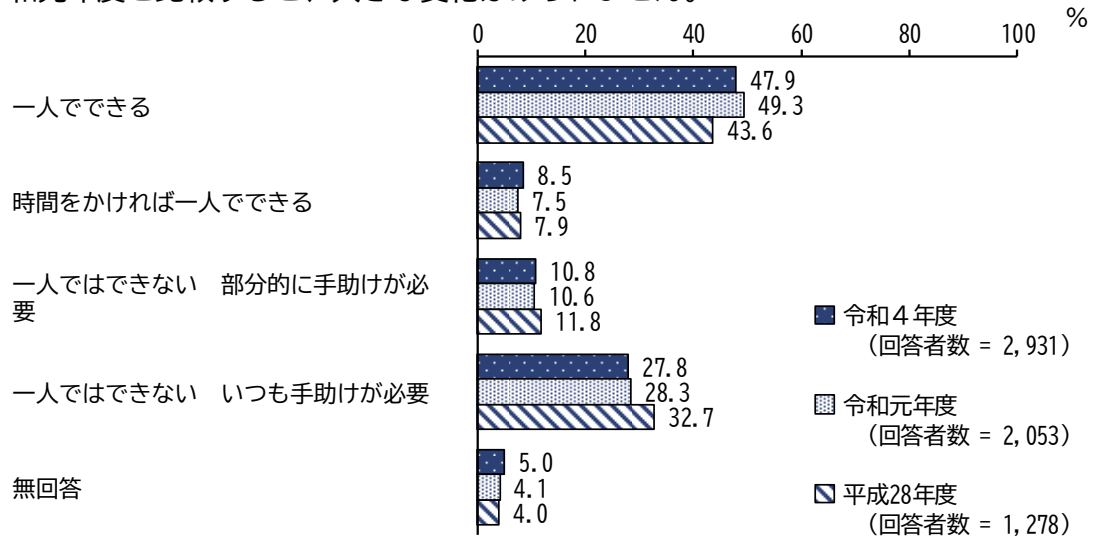
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	一 人 で 可 能 な ら ば 時 間 を か け ら れ ば	必 要 な ら ば 一 人 で は 可 能 な ら ず	一 人 で は 可 能 な ら ず い つ も 手 助 け が 必 要	無 回 答
全 体	2931	52.7	8.5	11.1	24.2	3.5
視覚障害	138	39.1	6.5	14.5	34.8	5.1
聴覚・平衡機能障害	181	50.8	9.9	9.4	26.5	3.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	30.0	7.7	7.7	53.1	1.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	36.0	11.9	10.9	38.5	2.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	66.1	9.7	6.5	15.3	2.5
知的障害	417	28.3	3.1	20.9	46.5	1.2
発達障害	367	37.1	3.8	21.3	35.4	2.5
精神障害	145	58.6	13.1	15.2	12.4	0.7
高次脳機能障害	130	21.5	12.3	16.9	47.7	1.5
難病（特定疾病）	677	57.5	8.7	10.3	21.4	2.1
その他	95	50.5	11.6	16.8	18.9	2.1

⑧ 日常の買い物

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

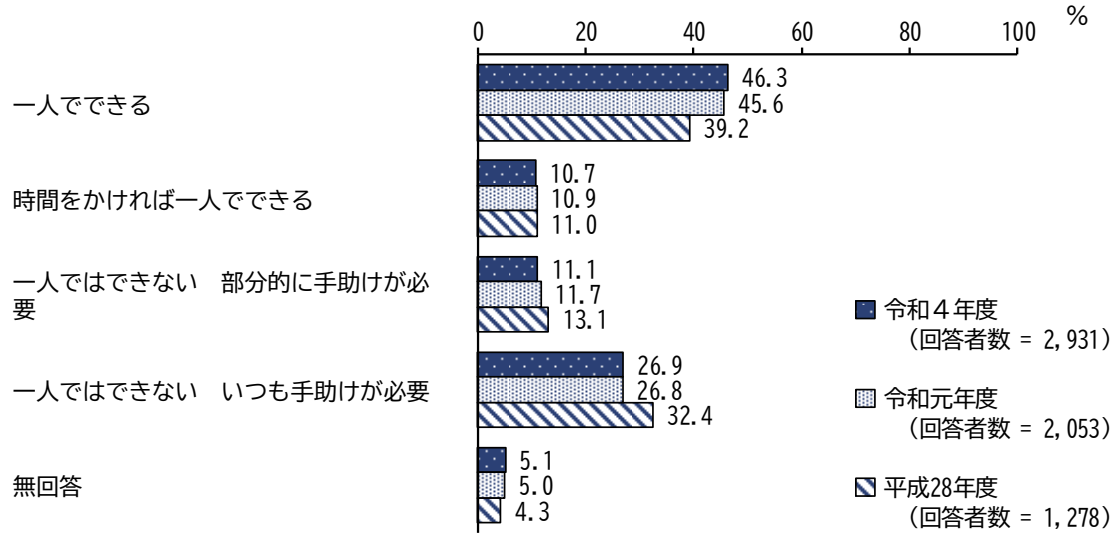
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	一人ではできない 部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	47.9	8.5	10.8	27.8	5.0
視覚障害	138	34.1	7.2	14.5	39.1	5.1
聴覚・平衡機能障害	181	48.1	10.5	8.3	29.3	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	25.4	5.4	8.5	56.2	4.6
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	32.4	10.4	12.1	40.5	4.6
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	61.5	8.8	7.4	18.1	4.1
知的障害	417	18.5	6.7	19.2	53.2	2.4
発達障害	367	30.0	7.4	15.5	43.3	3.8
精神障害	145	55.2	13.1	15.9	13.1	2.8
高次脳機能障害	130	15.4	9.2	16.9	53.1	5.4
難病 (特定疾病)	677	55.4	9.0	9.3	23.0	3.2
その他	95	45.3	7.4	14.7	27.4	5.3

⑨ 掃除

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

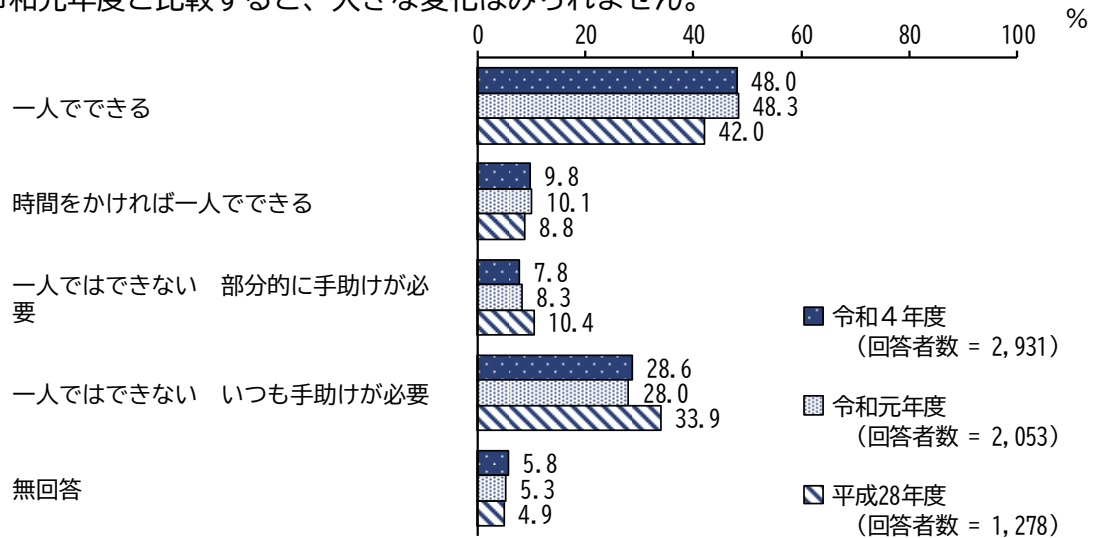
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	一人ではできない 部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	46.3	10.7	11.1	26.9	5.1
視覚障害	138	34.8	10.1	12.3	35.5	7.2
聴覚・平衡機能障害	181	45.9	13.3	11.0	26.0	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.8	6.2	6.9	59.2	3.8
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	31.2	10.9	10.7	42.2	5.1
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	60.6	10.3	6.5	18.2	4.4
知的障害	417	21.1	8.6	18.2	49.9	2.2
発達障害	367	25.6	13.1	18.0	39.0	4.4
精神障害	145	46.2	16.6	17.2	18.6	1.4
高次脳機能障害	130	13.8	10.0	14.6	56.2	5.4
難病 (特定疾病)	677	55.1	9.3	9.5	22.7	3.4
その他	95	42.1	8.4	17.9	27.4	4.2

⑩ 洗濯

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が、発達障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

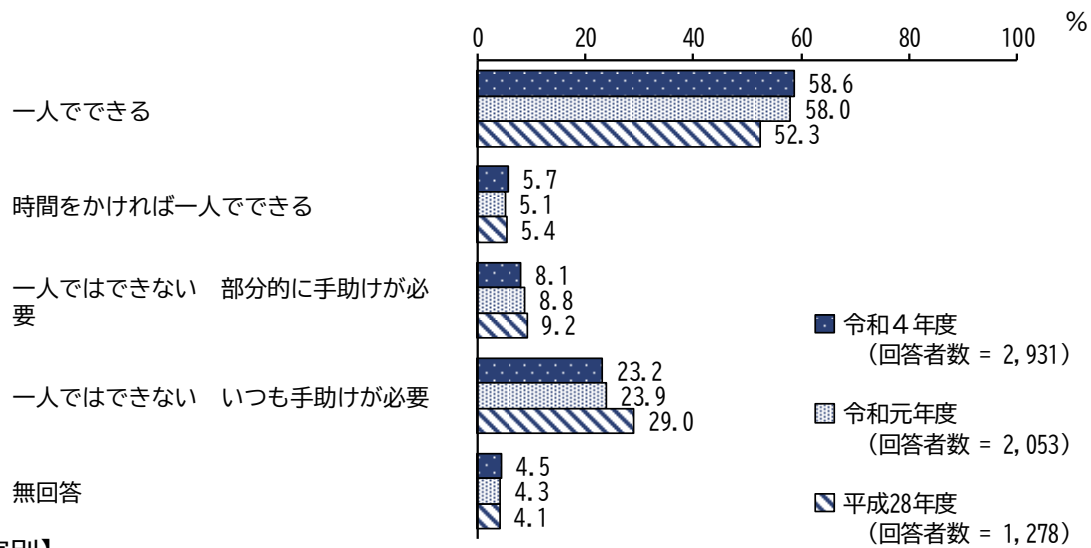
単位：％

区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	一 人 で 可 能 な ら ば 時 間 を か け ら れ ば	必 要 な ら ば 一 人 で は 可 能 な ら ず	一 人 で は 可 能 な ら ず い つ も 手 助 け が 必 要	無 回 答
全 体	2931	48.0	9.8	7.8	28.6	5.8
視覚障害	138	38.4	9.4	10.1	34.1	8.0
聴覚・平衡機能障害	181	47.0	11.6	7.7	28.7	5.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	6.9	6.2	57.7	4.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	34.8	11.6	6.8	40.9	5.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	62.2	8.7	5.8	17.7	5.7
知的障害	417	17.3	6.2	15.8	57.8	2.9
発達障害	367	22.3	10.6	12.8	49.9	4.4
精神障害	145	57.2	12.4	9.7	19.3	1.4
高次脳機能障害	130	16.2	10.8	9.2	58.5	5.4
難病（特定疾病）	677	56.9	10.2	5.6	23.6	3.7
その他	95	45.3	12.6	10.5	26.3	5.3

① 服薬の管理

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、発達障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、知的障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、発達障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

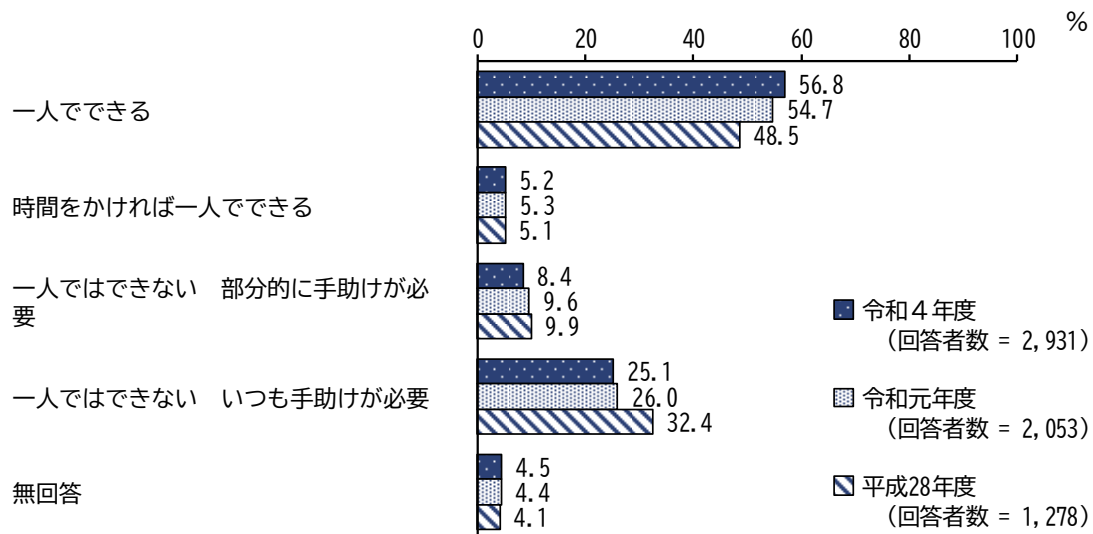
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	58.6	5.7	8.1	23.2	4.5
視覚障害	138	50.7	7.2	11.6	26.8	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	60.8	7.2	6.6	21.5	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	30.8	7.7	4.6	53.1	3.8
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	52.4	7.8	6.8	29.3	3.6
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	75.3	4.8	4.6	12.6	2.8
知的障害	417	17.5	3.6	18.9	57.6	2.4
発達障害	367	27.0	5.4	14.2	48.5	4.9
精神障害	145	62.1	7.6	14.5	15.9	—
高次脳機能障害	130	26.2	8.5	13.1	46.2	6.2
難病 (特定疾病)	677	68.7	4.7	5.2	18.9	2.5
その他	95	53.7	8.4	5.3	28.4	4.2

⑫ お金の管理

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、発達障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、知的障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、発達障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

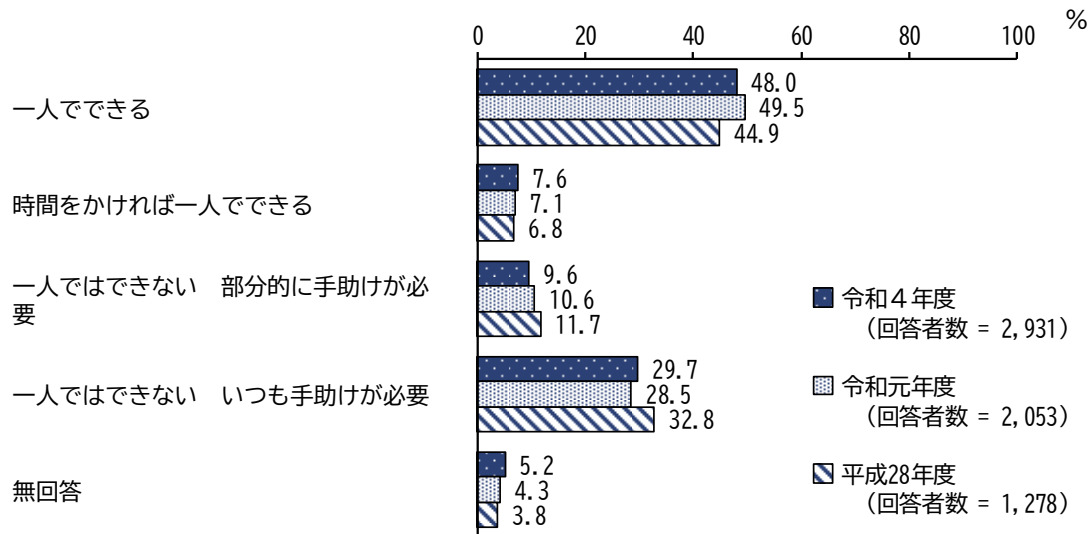
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	56.8	5.2	8.4	25.1	4.5
視覚障害	138	50.0	5.8	9.4	31.2	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	57.5	5.5	7.2	26.0	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	7.7	8.5	53.8	5.4
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	51.3	5.8	9.0	29.8	4.0
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	75.7	5.0	4.4	12.8	2.1
知的障害	417	11.3	2.9	14.9	68.1	2.9
発達障害	367	21.3	6.0	12.3	55.6	4.9
精神障害	145	58.6	9.0	15.2	16.6	0.7
高次脳機能障害	130	16.9	8.5	19.2	50.0	5.4
難病 (特定疾病)	677	68.2	5.6	5.9	18.0	2.2
その他	95	53.7	8.4	7.4	25.3	5.3

⑬ 交通手段の利用

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が、知的障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

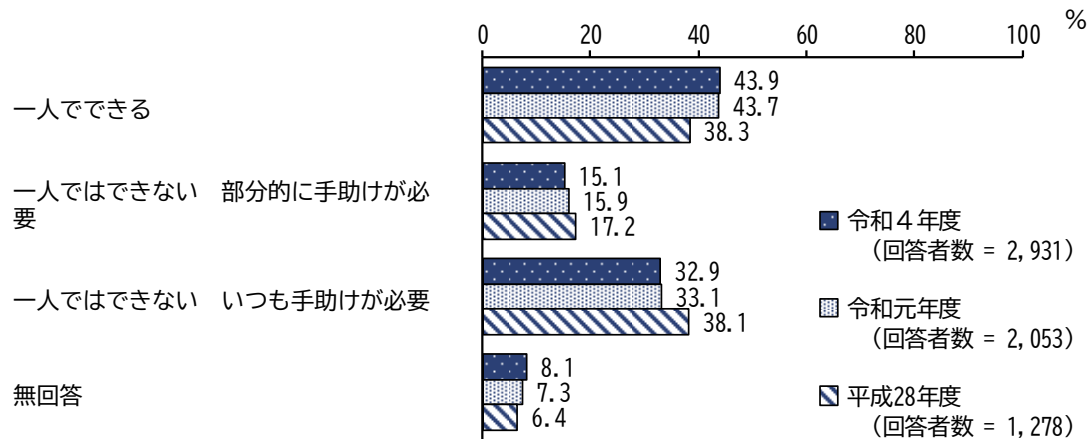
単位：%

区分	回答者数 (件)	一人できる	時間をかければ一人できる	一人ではできない 部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	48.0	7.6	9.6	29.7	5.2
視覚障害	138	32.6	5.8	17.4	38.4	5.8
聴覚・平衡機能障害	181	42.5	12.2	6.1	34.3	5.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	6.9	5.4	57.7	5.4
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	32.8	8.9	11.2	42.4	4.6
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	63.6	7.3	5.0	20.8	3.3
知的障害	417	20.6	5.5	18.9	52.8	2.2
発達障害	367	28.6	5.7	15.0	45.8	4.9
精神障害	145	55.9	15.9	11.7	15.2	1.4
高次脳機能障害	130	15.4	6.9	17.7	55.4	4.6
難病 (特定疾病)	677	55.8	8.0	6.9	25.4	3.8
その他	95	40.0	12.6	10.5	30.5	6.3

⑭ 火災や地震などのときの避難

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。

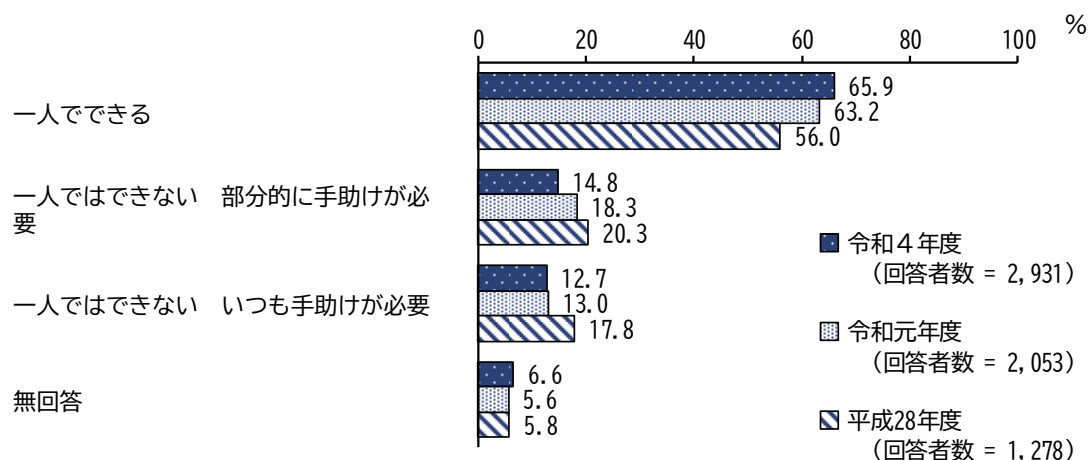
単位：%

区分	回答者数(件)	一人できる	部分的に手助けが必要	一人ではできない いつも手助けが必要	無回答
全体	2931	43.9	15.1	32.9	8.1
視覚障害	138	23.9	18.8	45.7	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	38.7	16.6	36.5	8.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.8	7.7	62.3	6.2
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	28.1	18.6	45.4	7.9
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	59.4	11.9	21.1	7.6
知的障害	417	12.9	18.7	65.0	3.4
発達障害	367	22.3	15.3	54.0	8.4
精神障害	145	51.7	24.1	18.6	5.5
高次脳機能障害	130	11.5	19.2	62.3	6.9
難病(特定疾病)	677	54.9	13.6	27.0	4.4
その他	95	40.0	15.8	31.6	12.6

⑮ 人とのコミュニケーション

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が、知的障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」「一人ではできない部分的に手助けが必要」の割合が、高次脳機能障害で「一人ではできない いつも手助けが必要」の割合が高くなっています。また、知的障害で「一人できる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一人できる」の割合が、高次脳機能障害で「一人できる」の割合が低くなっています。

単位：％

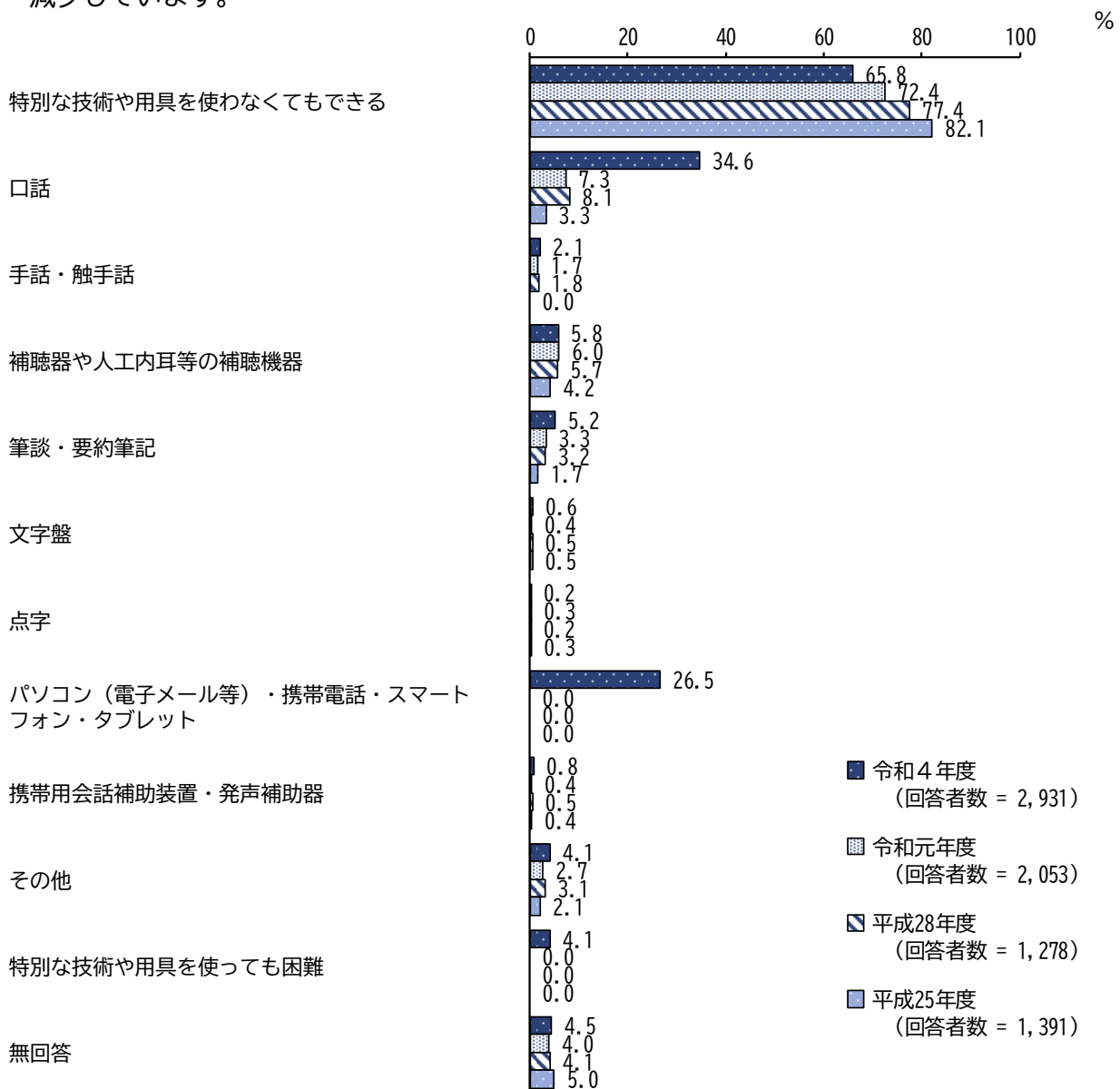
区分	回答者数 (件)	一人 で 可 能	必 要 一 人 で は 可 能 に は 手 助 け が な い	要 い 一 人 で は 手 助 け が 必 ず	無 回 答
全 体	2931	65.9	14.8	12.7	6.6
視覚障害	138	61.6	13.0	14.5	10.9
聴覚・平衡機能障害	181	46.4	21.0	21.0	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	28.5	23.8	43.1	4.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	64.1	13.3	16.9	5.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	80.6	8.3	6.2	5.0
知的障害	417	24.0	32.1	40.8	3.1
発達障害	367	37.9	30.8	24.0	7.4
精神障害	145	64.1	24.8	6.2	4.8
高次脳機能障害	130	37.7	26.2	30.0	6.2
難病（特定疾病）	677	76.7	8.9	10.8	3.7
その他	95	63.2	12.6	13.7	10.5

問13 あなたは、他の人とどのように意思疎通（コミュニケーション）を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が65.8%と最も高く、次いで「口話」の割合が34.6%、「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」の割合が26.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「口話」「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」の割合が増加しています。一方、「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が減少しています。



※「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」の選択肢は、前回「パソコン（電子メール等）」と「携帯電話・スマートフォン・タブレット」の選択肢に分かれていました。
 ※前回は「特別な技術や用具を使っても困難」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が、精神障害で「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」の割合が、難病（特定疾病）で「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が、知的障害で「特別な技術や用具を使わなくてもできる」の割合が低くなっています。

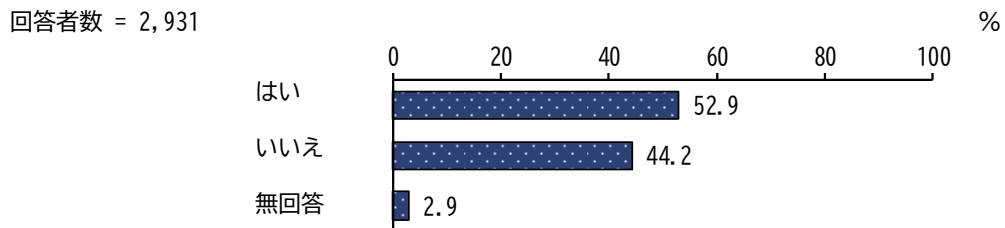
単位：％

区分	回答者数（件）	特別な技術や用具を使わなくてもできる	口話	手話・触手話	補聴器や人工内耳等の補聴機器	筆談・要約筆記	文字盤
全体	2931	65.8	34.6	2.1	5.8	5.2	0.6
視覚障害	138	61.6	37.7	2.2	8.0	4.3	—
聴覚・平衡機能障害	181	22.7	33.7	16.6	60.8	33.7	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	26.2	6.9	5.4	21.5	4.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	61.9	36.1	2.0	4.5	4.5	1.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	76.3	35.3	0.8	5.7	2.9	0.6
知的障害	417	42.7	39.8	5.0	1.4	3.4	0.7
発達障害	367	56.1	38.1	1.4	1.9	3.3	0.3
精神障害	145	66.2	41.4	0.7	2.8	7.6	—
高次脳機能障害	130	47.7	34.6	0.8	3.1	10.8	1.5
難病（特定疾病）	677	74.3	32.3	0.4	2.5	1.8	0.6
その他	95	67.4	36.8	2.1	6.3	5.3	—

区分	点字	パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット	携帯用会話補助装置・発声補助器	その他	特別な技術や用具を使っても困難	無回答
全体	0.2	26.5	0.8	4.1	4.1	4.5
視覚障害	4.3	21.0	—	8.0	4.3	4.3
聴覚・平衡機能障害	—	22.1	2.8	5.5	5.5	2.2
音声・言語・そしゃく機能障害	—	21.5	6.9	11.5	22.3	3.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	—	28.3	0.6	5.1	7.7	3.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	0.1	32.1	0.7	1.1	1.9	2.5
知的障害	—	14.4	0.2	13.2	14.6	4.3
発達障害	—	18.0	0.3	9.5	7.1	3.3
精神障害	—	35.9	0.7	4.1	3.4	2.1
高次脳機能障害	—	23.1	—	9.2	11.5	5.4
難病（特定疾病）	—	27.6	0.9	3.1	3.7	3.0
その他	—	25.3	—	7.4	2.1	7.4

問 14 あなたは情報を入手する際にインターネットを活用していますか。(1つに○)

「はい」の割合が52.9%、「いいえ」の割合が44.2%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「いいえ」の割合が、50歳～59歳で「はい」の割合が、80歳～89歳で「いいえ」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「はい」の割合が、80歳～89歳で「はい」の割合が、50歳～59歳で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	52.9	44.2	2.9
10歳未満	172	28.5	67.4	4.1
10歳～19歳	167	61.1	37.7	1.2
20歳～29歳	123	72.4	26.0	1.6
30歳～39歳	169	66.9	32.5	0.6
40歳～49歳	236	73.3	25.8	0.8
50歳～59歳	359	82.2	16.4	1.4
60歳～69歳	429	74.4	24.2	1.4
70歳～79歳	556	46.6	50.5	2.9
80歳～89歳	513	22.4	73.3	4.3
90歳以上	155	10.3	87.1	2.6

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

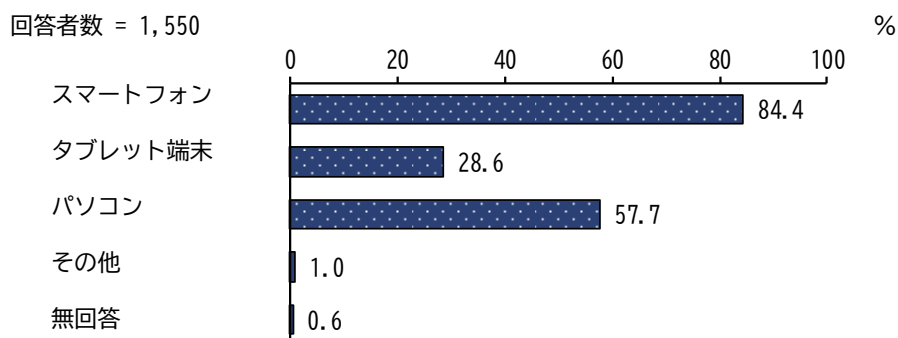
単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	52.9	44.2	2.9
視覚障害	138	39.1	56.5	4.3
聴覚・平衡機能障害	181	38.7	60.2	1.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	34.6	63.1	2.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	47.6	50.2	2.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	53.8	44.0	2.2
知的障害	417	36.9	61.6	1.4
発達障害	367	51.0	46.3	2.7
精神障害	145	66.9	32.4	0.7
高次脳機能障害	130	46.2	51.5	2.3
難病（特定疾病）	677	64.1	34.1	1.8
その他	95	42.1	53.7	4.2

問 14 で「1」とお答えの方におたずねします

問 14-1 あなたがインターネットを活用する際に使用する機器を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

「スマートフォン」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 57.7%、「タブレット端末」の割合が 28.6%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳～19歳で「タブレット端末」の割合が、10歳未満で「タブレット端末」の割合が、20歳～29歳で「スマートフォン」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「スマートフォン」の割合が、10歳未満で「パソコン」「スマートフォン」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	その他	無回答
全体	1550	84.4	28.6	57.7	1.0	0.6
10歳未満	49	59.2	71.4	26.5	4.1	—
10歳～19歳	102	70.6	72.5	40.2	1.0	—
20歳～29歳	89	95.5	30.3	57.3	1.1	—
30歳～39歳	113	93.8	28.3	57.5	—	—
40歳～49歳	173	91.3	26.6	59.0	0.6	—
50歳～59歳	295	92.2	30.8	62.4	1.0	0.3
60歳～69歳	319	86.8	26.6	58.3	0.3	0.6
70歳～79歳	259	79.9	15.1	61.4	—	—
80歳～89歳	115	66.1	7.8	64.3	1.7	4.3
90歳以上	16	50.0	—	62.5	12.5	6.3

【障害別】

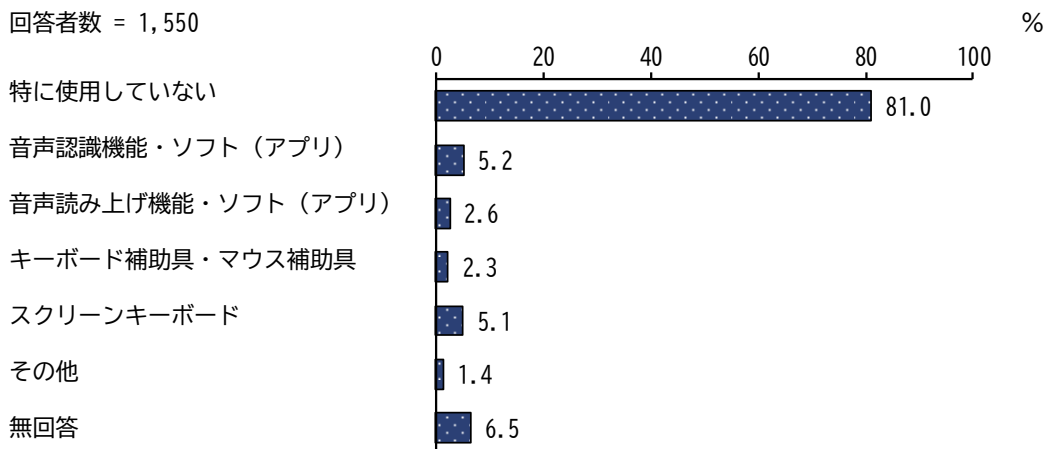
障害別にみると、他に比べ、発達障害で「タブレット端末」の割合が、知的障害で「タブレット端末」の割合が、難病（特定疾病）で「パソコン」の割合が高くなっています。また、知的障害で「パソコン」の割合が、視覚障害で「スマートフォン」の割合が、精神障害で「タブレット端末」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	スマートフォン	タブレット 端末	パソコン	その他	無回答
全 体	1550	84.4	28.6	57.7	1.0	0.6
視覚障害	54	72.2	22.2	51.9	1.9	3.7
聴覚・平衡機能障害	70	77.1	25.7	60.0	—	2.9
音声・言語・そしゃく機能障害	45	84.4	28.9	62.2	—	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	432	82.6	25.7	60.6	2.1	0.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	390	84.1	25.6	61.0	—	1.0
知的障害	154	77.9	42.9	31.8	1.9	—
発達障害	187	78.1	47.6	48.7	2.1	—
精神障害	97	86.6	17.5	50.5	2.1	—
高次脳機能障害	60	88.3	21.7	46.7	3.3	—
難病（特定疾病）	434	89.9	25.8	63.6	0.5	0.9
その他	40	80.0	25.0	57.5	5.0	—

問 14-2 あなたが問 14-1 でお答えいただいた機器を使用する際に活用する機能、ソフト（アプリ）、周辺機器等を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「特に使用していない」の割合が 81.0%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、20歳～29歳で「特に使用していない」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「特に使用していない」の割合が、80歳～89歳で「特に使用していない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	特に使用していない	音声認識機能・ソフト（アプリ）	音声読み上げ機能・ソフト（アプリ）	キーボード補助具・マウス補助具	スクリーンキーボード	その他	無回答
全体	1550	81.0	5.2	2.6	2.3	5.1	1.4	6.5
10歳未満	49	85.7	2.0	—	—	2.0	4.1	6.1
10歳～19歳	102	78.4	8.8	3.9	3.9	10.8	2.9	2.0
20歳～29歳	89	89.9	1.1	—	1.1	3.4	2.2	4.5
30歳～39歳	113	85.0	4.4	2.7	0.9	1.8	2.7	4.4
40歳～49歳	173	79.2	5.2	2.9	2.9	8.1	0.6	6.4
50歳～59歳	295	80.7	6.4	3.7	2.7	5.4	2.0	5.1
60歳～69歳	319	82.1	3.4	2.2	2.2	4.4	0.9	7.8
70歳～79歳	259	80.3	5.8	2.3	1.2	4.2	—	8.5
80歳～89歳	115	75.7	6.1	2.6	5.2	5.2	1.7	7.0
90歳以上	16	75.0	6.3	—	6.3	—	—	12.5

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「特に使用していない」の割合が、音声・言語・そしやく機能障害で「特に使用していない」の割合が、高次脳機能障害で「特に使用していない」の割合が低くなっています。

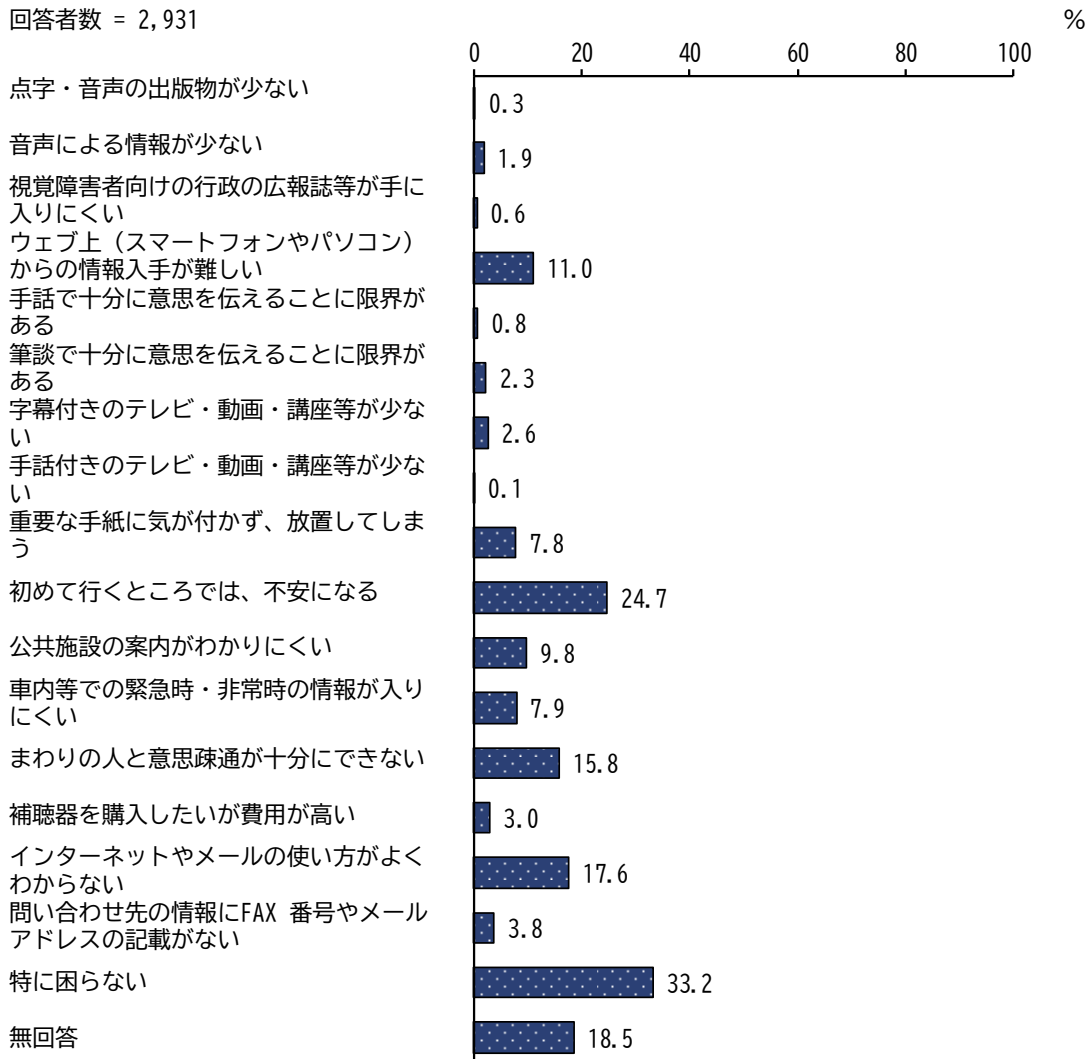
単位：％

区分	回答者数(件)	特に使用していない	音声認識機能・ソフト(アプリ)	音声読み上げ機能・ソフト(アプリ)	キーボード補助具・マウス補助具	スクリーンキーボード	その他	無回答
全 体	1550	81.0	5.2	2.6	2.3	5.1	1.4	6.5
視覚障害	54	66.7	18.5	24.1	3.7	7.4	3.7	1.9
聴覚・平衡機能障害	70	78.6	8.6	—	2.9	4.3	—	8.6
音声・言語・そしやく機能障害	45	73.3	6.7	8.9	4.4	6.7	4.4	4.4
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	432	80.1	6.3	2.3	2.5	5.3	2.5	5.3
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	390	83.6	3.3	1.8	2.6	3.8	0.3	7.7
知的障害	154	78.6	7.8	3.2	1.9	6.5	4.5	3.2
発達障害	187	80.7	7.0	2.7	1.6	5.9	3.2	4.8
精神障害	97	81.4	5.2	2.1	4.1	6.2	2.1	5.2
高次脳機能障害	60	75.0	3.3	6.7	3.3	6.7	1.7	8.3
難病(特定疾病)	434	82.5	4.4	2.1	2.3	4.6	1.6	7.1
その他	40	77.5	2.5	5.0	2.5	—	5.0	7.5

問 15 あなたが情報入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることはなんですか。(5つまで○)

「特に困らない」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「初めて行くところでは、不安になる」の割合が 24.7%、「インターネットやメールの使い方がよくわからない」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 2,931



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が、知的障害で「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が、精神障害で「初めて行くところでは、不安になる」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「特に困らない」の割合が、知的障害で「特に困らない」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「特に困らない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	難しい ウェブ上(スマートフォンやパソコン)からの情報入手が	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	2931	0.3	1.9	0.6	11.0	0.8	2.3	2.6	0.1	7.8
視覚障害	138	4.3	10.9	8.7	13.0	1.4	2.2	2.2	0.7	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	—	3.9	—	9.9	8.3	12.7	19.9	2.2	9.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	—	0.8	—	13.8	2.3	14.6	1.5	0.8	8.5
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	0.1	0.9	0.4	11.2	0.8	1.9	2.1	0.1	8.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	0.3	1.8	0.1	12.8	0.3	1.0	1.7	0.3	4.6
知的障害	417	—	1.4	—	11.3	2.6	2.6	1.0	0.2	14.4
発達障害	367	—	2.2	—	9.3	0.8	1.6	1.1	—	14.2
精神障害	145	—	2.1	0.7	15.9	—	1.4	1.4	—	17.2
高次脳機能障害	130	—	—	0.8	10.8	—	6.2	0.8	—	14.6
難病(特定疾病)	677	0.1	2.1	0.4	10.3	0.1	1.9	2.2	0.1	5.6
その他	95	—	2.1	—	12.6	1.1	2.1	3.2	—	8.4

単位：％

区分	初めて行くところでは、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	補聴器を購入したいが費用が高い	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問い合わせ先の情報に「FAX 番号」や「メールアドレス」の記載がない	特に困らない	無回答
全 体	24.7	9.8	7.9	15.8	3.0	17.6	3.8	33.2	18.5
視覚障害	40.6	18.8	11.6	11.6	5.8	12.3	1.4	10.1	25.4
聴覚・平衡機能障害	26.5	9.4	23.8	30.4	19.3	19.3	7.7	9.4	21.5
音声・言語・そしゃく機能障害	23.8	7.7	6.9	45.4	3.1	16.9	4.6	6.9	26.9
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	26.8	10.2	7.2	15.9	2.9	19.9	3.5	29.4	20.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	16.1	8.8	5.1	7.2	4.1	21.2	4.1	42.9	16.1
知的障害	39.6	15.3	16.1	45.1	0.2	16.5	2.4	9.1	23.0
発達障害	37.3	12.3	11.2	34.9	0.3	13.1	2.7	18.3	18.3
精神障害	49.7	15.9	6.9	21.4	0.7	21.4	6.2	21.4	13.8
高次脳機能障害	30.8	14.6	12.3	32.3	1.5	18.5	3.8	13.1	25.4
難病（特定疾病）	18.3	7.2	5.5	9.6	2.5	14.6	3.7	45.5	16.2
その他	22.1	11.6	9.5	9.5	1.1	18.9	4.2	36.8	22.1

問 15 その他困っていることがあれば、自由にご記載ください。

※一部抜粋

(1) 外出先での情報について

- ・車内の放送が早くてわからない時がある。
- ・スーパーなどの自動レジは視覚に障害があると使いにくい。一部は対面にしてほしい。

(2) 新聞、雑誌などの刊行物やインターネット上の情報について

- ・テレビ、ラジオの番組の放送内容と時間が分からない。点字の番組案内がない。
- ・インターネットのみの問い合わせで、電話番号が書いていない。
- ・FAX番号が書いてあるのが少ないです。
- ・文字が大きく見やすくしてほしい。

- ・区報に「障害者」欄あり、極力読むが見出しの「障害者」もっと目立つようにするか、毎号同じ頁か一定してほしい。
- ・記号が上手く読めないため思うように地図が読めない。

(3) コミュニケーションについて

- ・現在使用している補聴器が古くなり（10年使用）特に会話がむづかしい。購入したいが性能が良い物は高額で買えない。
- ・文字を書くのが難しい。
- ・ニュアンスがわからない。
- ・あまり他の人とのコミュニケーションをとろうとはしないが、テレビ、パソコン等で情報を得る事はできる。
- ・パニックになることが多く、困りごとを冷静に正確に、また適切に伝えることが難しい。
- ・初めて会う人や知り合って間もない人に、どれ位の理解力か認知度があるか、分かってもらえず赤ちゃん扱いされてしまう。
- ・失語症なので、ゆっくり話してもらう、数字などは紙に書いてもらうなどすると理解しやすいのですが、「失語症」そのものの認知がまだ社会に広がっていないので、何をどうしてもらいたいかを本人が説明するのがまた困難。
- ・片マヒのため手話は片手のみの表現です。指にもマヒがあり、うまく伝わりません。
- ・話したことを記憶できないため、必要に応じてメモをとる。
- ・電話が困難なため、メールでのやりとりを依頼する事が多いのですが、世田谷区役所内でも一部しか対応して頂けず不便を感じています。部署毎にメールでの窓口対応をして頂けると助かります。

(4) その他

- ・ひとりで留守番中、音に弱く聞こえが悪いので困っています。
- ・幾つもの情報が一つになっていると分かりにくい。
- ・漢字が読めない。
- ・公文書などの無機質な文章が読めない。（話し言葉でないと会話などコミュニケーションのやりとりができない）
- ・行政の詳細な発信不足に困惑することが多い。
- ・マスクが補聴器と絡んでかけにくい。話者の口が見えず、声がかもるので聞きとりにくい。

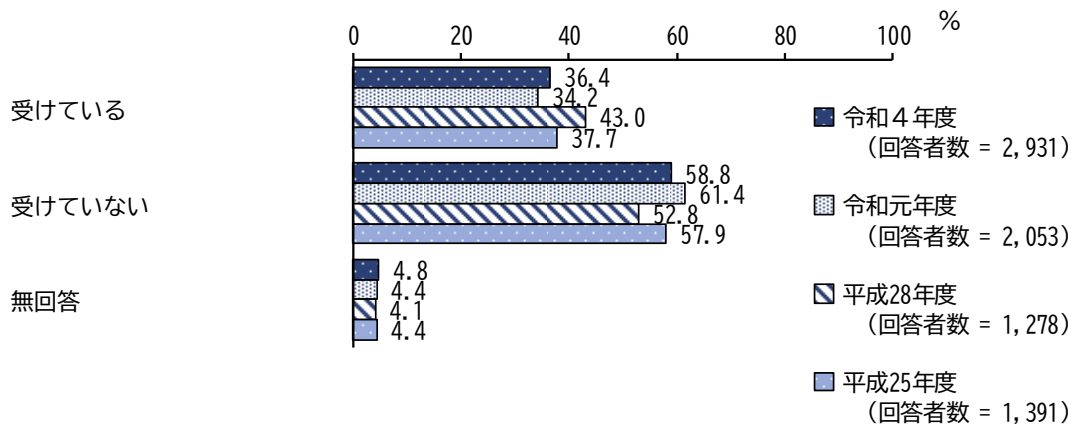
(3) 介助または支援の状況について

問 16 あなたは、何らかの介助または支援を受けていますか。(1つに○)

「受けている」の割合が36.4%、「受けていない」の割合が58.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「受けている」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「受けている」の割合が、知的障害で「受けている」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「受けていない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「受けていない」の割合が、知的障害で「受けていない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	受けている	受けていない	無回答
全 体	2931	36.4	58.8	4.8
視覚障害	138	46.4	47.1	6.5
聴覚・平衡機能障害	181	41.4	51.9	6.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	64.6	30.8	4.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	53.7	42.0	4.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	25.0	70.5	4.6
知的障害	417	57.8	39.1	3.1
発達障害	367	38.4	57.2	4.4
精神障害	145	44.1	51.7	4.1
高次脳機能障害	130	80.0	18.5	1.5
難病（特定疾病）	677	31.9	64.5	3.5
その他	95	37.9	57.9	4.2

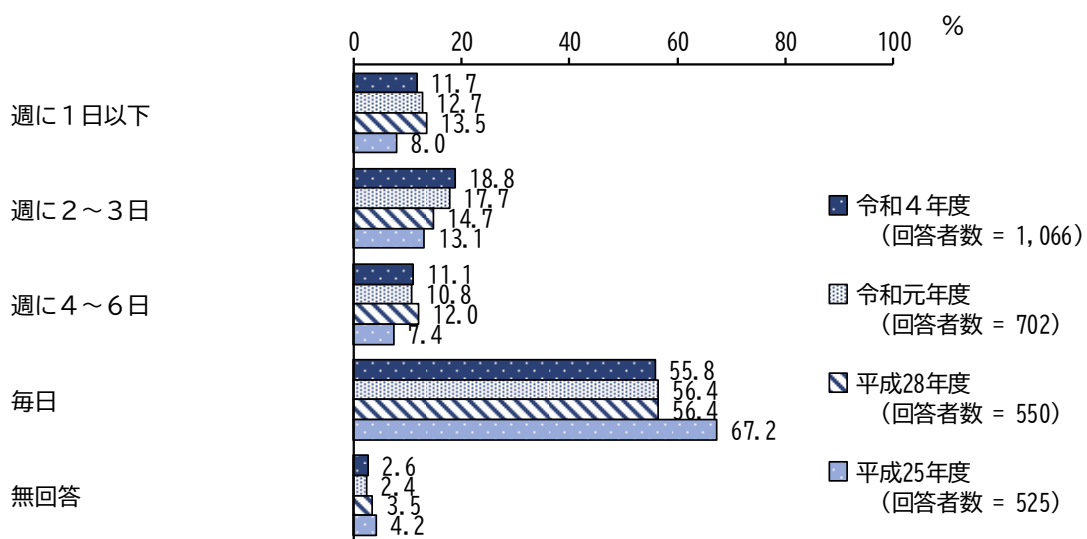
問 16 で「1. 受けている」とお答えの方におたずねします

問 16-1 介助または支援が必要なのは、1 週間のうち平均何日ぐらいですか。
(1 つに○)

「毎日」の割合が 55.8% と最も高く、次いで「週に 2～3 日」の割合が 18.8%、「週に 1 日以下」の割合が 11.7% となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「週に1日以下」の割合が、知的障害で「毎日」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「毎日」の割合が高くなっています。また、精神障害で「毎日」の割合が、知的障害で「週に2～3日」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「週に2～3日」の割合が低くなっています。

単位：％

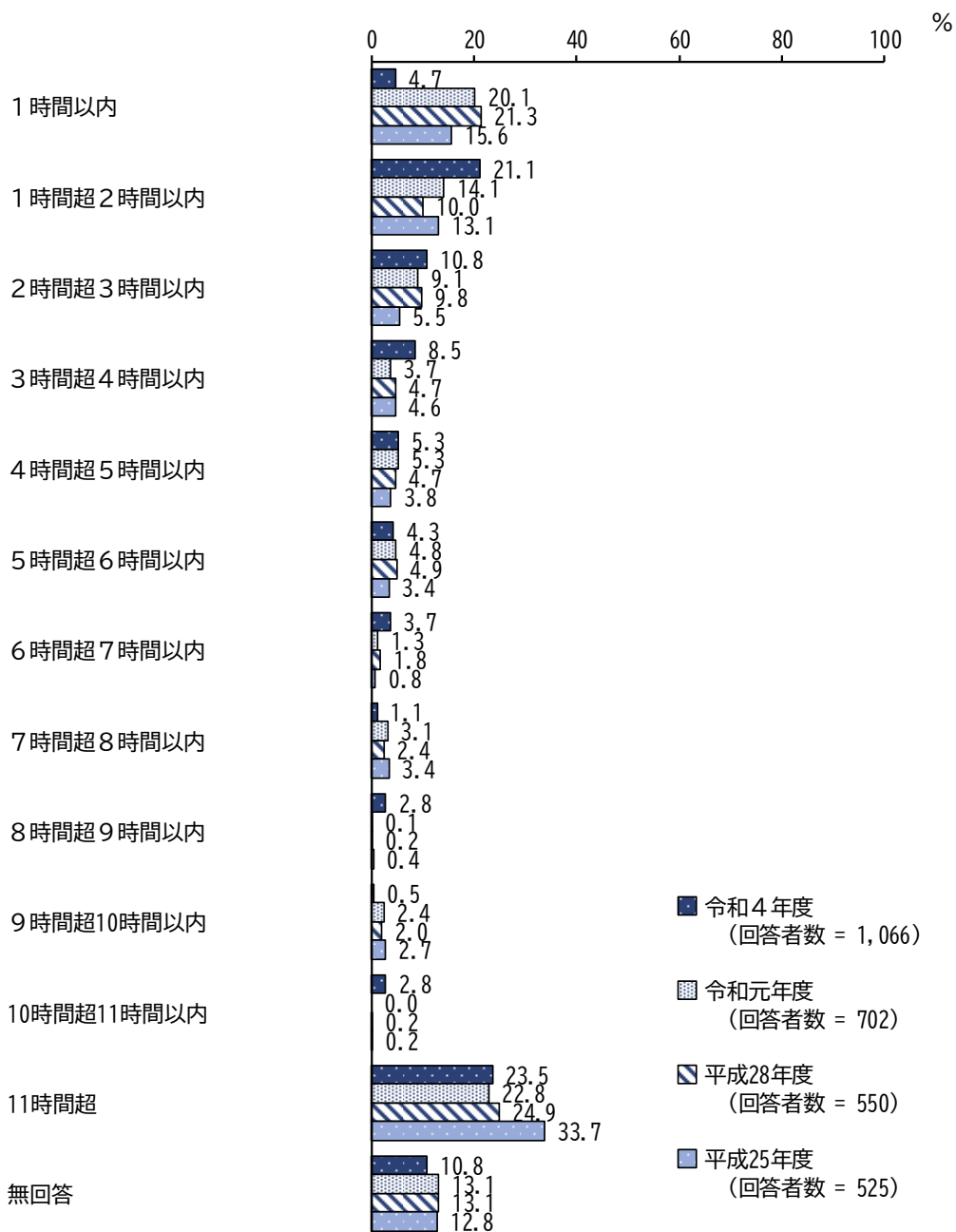
区分	回答者数 (件)	週に1日以下	週に2～3日	週に4～6日	毎日	無回答
全 体	1066	11.7	18.8	11.1	55.8	2.6
視覚障害	64	12.5	23.4	14.1	48.4	1.6
聴覚・平衡機能障害	75	10.7	21.3	6.7	57.3	4.0
音声・言語・そしゃく機能障害	84	4.8	9.5	11.9	73.8	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	488	9.0	16.4	11.7	61.1	1.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	181	12.7	21.0	8.8	54.1	3.3
知的障害	241	5.0	6.6	8.3	78.8	1.2
発達障害	141	11.3	12.8	7.8	66.7	1.4
精神障害	64	39.1	17.2	15.6	25.0	3.1
高次脳機能障害	104	5.8	18.3	12.5	57.7	5.8
難病（特定疾病）	216	7.4	21.3	13.9	54.6	2.8
その他	36	19.4	22.2	5.6	50.0	2.8

問 16-2 あなたが介助または支援を受けている時間は、平均すると1日何時間くらいですか。(数字を記入)

「11時間超」の割合が23.5%と最も高く、次いで「1時間超2時間以内」の割合が21.1%、「2時間超3時間以内」の割合が10.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「1時間超2時間以内」の割合が増加しています。一方、「1時間以内」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「11時間超」の割合が、精神障害で「1時間超2時間以内」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「11時間超」の割合が高くなっています。また、知的障害で「1時間超2時間以内」の割合が、発達障害で「1時間超2時間以内」の割合が、その他で「11時間超」の割合が低くなっています。

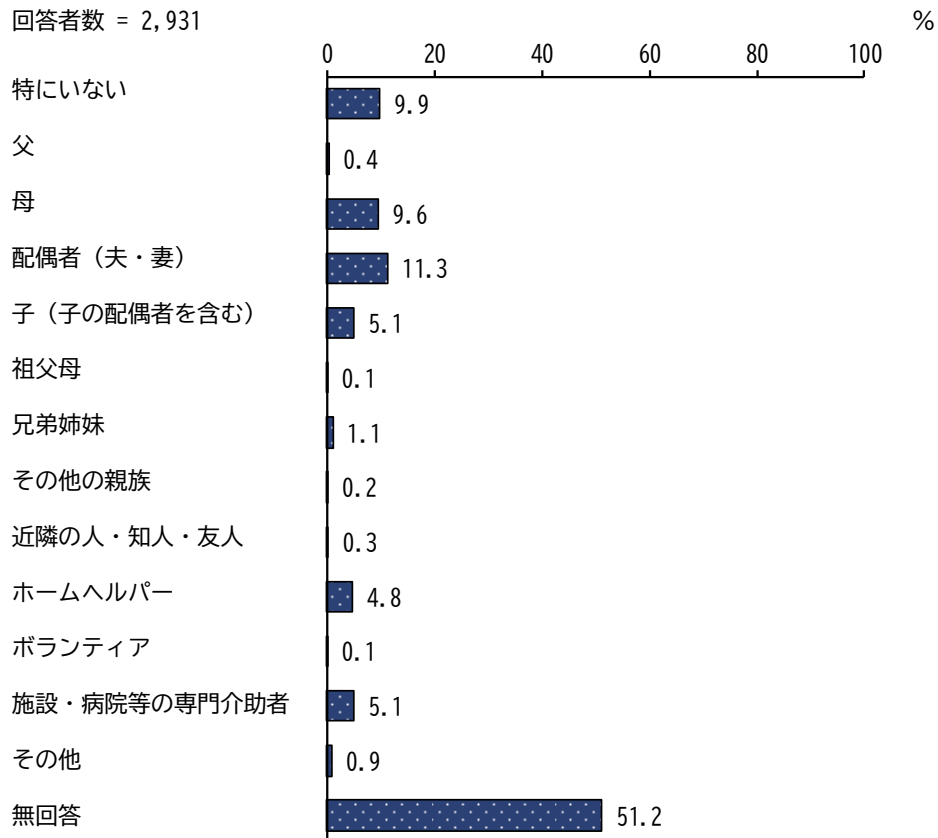
単位：%

区分	回答者数 (件)	1時間以内	1時間超2時間以内	2時間超3時間以内	3時間超4時間以内	4時間超5時間以内	5時間超6時間以内	6時間超7時間以内	7時間超8時間以内	8時間超9時間以内	9時間超10時間以内	10時間超11時間以内	11時間超	無回答
全 体	1066	4.7	21.1	10.8	8.5	5.3	4.3	3.7	1.1	2.8	0.5	2.8	23.5	10.8
視覚障害	64	3.1	21.9	9.4	4.7	7.8	4.7	3.1	3.1	4.7	—	1.6	29.7	6.3
聴覚・平衡機能障害	75	4.0	16.0	13.3	8.0	2.7	5.3	9.3	1.3	4.0	—	1.3	24.0	10.7
音声・言語・そしゃく機能障害	84	—	11.9	9.5	9.5	7.1	3.6	2.4	1.2	3.6	3.6	4.8	38.1	4.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	488	3.3	23.4	10.2	8.2	4.9	3.1	2.5	0.8	2.7	1.0	2.9	28.7	8.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	181	5.5	23.2	8.8	9.9	8.8	2.2	4.4	1.1	1.1	—	3.3	18.8	12.7
知的障害	241	0.4	7.9	10.0	5.8	2.9	6.2	2.5	2.1	2.5	—	5.0	43.2	11.6
発達障害	141	6.4	9.2	12.8	6.4	5.7	7.8	2.8	2.1	3.5	—	2.8	29.8	10.6
精神障害	64	9.4	39.1	12.5	10.9	—	3.1	3.1	—	1.6	—	—	15.6	4.7
高次脳機能障害	104	1.9	16.3	17.3	9.6	7.7	2.9	1.9	—	1.9	1.0	1.9	26.0	11.5
難病（特定疾病）	216	3.7	21.8	11.6	10.6	5.1	3.2	5.1	—	0.9	0.5	3.2	23.1	11.1
その他	36	11.1	25.0	8.3	11.1	5.6	—	5.6	—	—	—	—	13.9	19.4

問17 あなたを主に介助または支援しているのはどなたですか。(1つに○) また、その他に介助または支援しているのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

ア. 主な介助者または支援者 (1つに○)

「配偶者 (夫・妻)」の割合が11.3%と最も高くなっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「配偶者（夫・妻）」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「配偶者（夫・妻）」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「配偶者（夫・妻）」の割合が高くなっています。また、発達障害で「配偶者（夫・妻）」の割合が、知的障害で「配偶者（夫・妻）」の割合が、精神障害で「配偶者（夫・妻）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	特 に い な い	父	母	配 偶 者 (夫 ・ 妻)	子 (子 の 配 偶 者 を 含 む)	祖 父 母	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	近 隣 の 人 ・ 知 人 ・ 友 人	ホ ー ム ヘ ル パ ー	ボ ラ ン テ ィ ア	介 助 者 施 設 ・ 病 院 等 の 専 門	そ の 他	無 回 答
全 体	2931	9.9	0.4	9.6	11.3	5.1	0.1	1.1	0.2	0.3	4.8	0.1	5.1	0.9	51.2
視覚障害	138	7.2	—	8.7	13.8	8.0	—	1.4	—	—	5.8	—	7.2	2.9	44.9
聴覚・平衡機能 障害	181	8.8	—	7.7	12.7	15.5	—	1.7	—	0.6	5.0	—	6.1	0.6	41.4
音声・言語・そし ゃく機能障害	130	3.1	0.8	13.1	26.2	5.4	—	0.8	—	0.8	5.4	—	10.0	0.8	33.8
肢体不自由（上 肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動 機能障害等）	908	7.6	0.2	8.7	17.7	6.1	—	1.4	0.2	0.6	8.6	0.1	7.4	0.8	40.6
内部障害（心臓、 じん臓、呼吸器、 肝臓、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫 機能等）	725	13.5	—	3.3	13.2	7.2	0.1	0.4	0.4	0.1	3.7	0.1	3.4	0.3	54.1
知的障害	417	1.4	1.7	42.2	1.2	0.5	0.7	2.2	—	0.2	1.7	—	4.6	1.4	42.2
発達障害	367	6.3	1.1	26.2	1.1	0.5	0.5	0.5	—	0.3	1.9	—	2.7	2.5	56.4
精神障害	145	7.6	1.4	8.3	4.8	—	—	1.4	—	—	13.1	—	9.0	4.1	50.3
高次脳機能障害	130	0.8	—	6.2	29.2	3.8	—	2.3	0.8	0.8	7.7	—	16.2	0.8	31.5
難病 (特定疾病)	677	10.6	0.3	5.9	13.0	3.5	—	0.4	—	0.1	4.1	0.1	4.6	0.4	56.7
その他	95	12.6	—	12.6	9.5	8.4	—	—	—	1.1	4.2	1.1	7.4	—	43.2

【障害支援区分別】

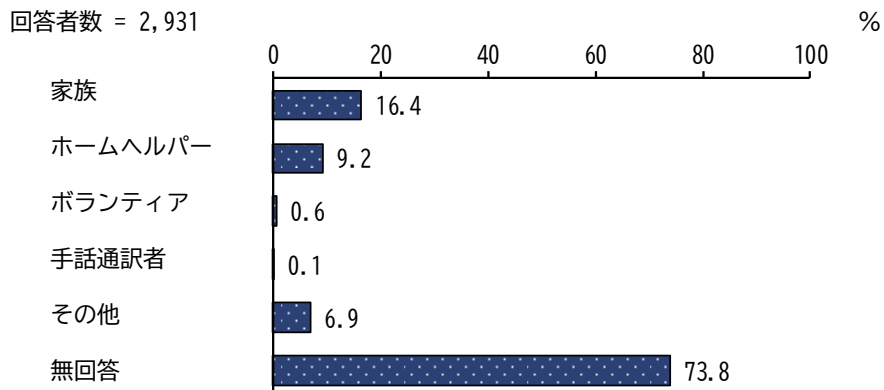
障害支援区分別にみると、区分5で「配偶者（夫・妻）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	特 に い ない	父	母	配 偶 者 (夫 ・ 妻)	子 (子 の 配 偶 者 を 含 む)	祖 父 母	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	近 隣 の 人 ・ 知 人 ・ 友 人	ホ ー ム ヘル パー	ボ ラ ン ティ ア	介 助 者 施 設 ・ 病 院 等 の 専 門	そ の 他	無 回 答
全 体	2931	9.9	0.4	9.6	11.3	5.1	0.1	1.1	0.2	0.3	4.8	0.1	5.1	0.9	51.2
区分1	86	11.6	—	2.3	11.6	5.8	—	—	—	—	9.3	1.2	9.3	—	48.8
区分2	124	4.8	—	13.7	12.1	4.0	—	—	—	—	9.7	—	9.7	2.4	43.5
区分3	84	2.4	3.6	23.8	9.5	1.2	—	7.1	—	1.2	9.5	—	6.0	1.2	34.5
区分4	70	7.1	2.9	18.6	10.0	2.9	—	1.4	—	—	4.3	—	4.3	2.9	45.7
区分5	38	5.3	2.6	23.7	5.3	2.6	—	2.6	—	—	13.2	—	13.2	—	31.6
区分6	87	—	—	44.8	6.9	—	—	1.1	—	—	19.5	—	9.2	—	18.4
認定を受けていない(児童や非該当の方を含む)	1352	13.2	0.1	9.6	9.6	4.0	0.2	0.7	0.1	0.2	2.2	—	3.3	1.0	55.7

イ. 他の介助者または支援者（あてはまるものすべてに○）

「家族」の割合が16.4%と最も高くなっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「家族」の割合が、高次脳機能障害で「家族」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「家族」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「家族」の割合が、精神障害で「家族」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族	ホームヘルパー	ボランティア	手話通訳者	その他	無回答
全体	2931	16.4	9.2	0.6	0.1	6.9	73.8
視覚障害	138	20.3	10.9	—	0.7	6.5	68.1
聴覚・平衡機能障害	181	21.5	10.5	0.6	2.2	7.2	67.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	25.4	22.3	0.8	—	13.8	56.9
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	19.6	16.7	1.3	—	9.5	64.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	10.6	4.3	0.6	0.1	4.6	83.0
知的障害	417	37.9	15.1	1.7	—	16.3	48.7
発達障害	367	23.2	7.4	0.8	—	12.0	65.9
精神障害	145	11.0	11.0	—	—	6.2	73.1
高次脳機能障害	130	27.7	16.9	1.5	—	13.8	55.4
難病（特定疾病）	677	14.8	8.7	0.7	—	6.2	76.2
その他	95	17.9	12.6	—	—	9.5	67.4

【障害支援区分別】

障害支援区分別にみると、他に比べ、区分6で「家族」割合が、区分3で「家族」、区分5で「家族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	ホームヘルパー	ボランティア	手話通訳者	その他	無回答
全 体	2931	16.4	9.2	0.6	0.1	6.9	73.8
区分1	86	16.3	9.3	1.2	1.2	2.3	73.3
区分2	124	18.5	17.7	－	－	7.3	65.3
区分3	84	28.6	22.6	1.2	－	13.1	48.8
区分4	70	24.3	15.7	1.4	－	14.3	62.9
区分5	38	26.3	26.3	2.6	－	10.5	52.6
区分6	87	40.2	39.1	4.6	－	25.3	29.9
認定を受けていない (児童や非該当の方を含む)	1352	16.1	5.3	0.3	0.1	6.6	77.4

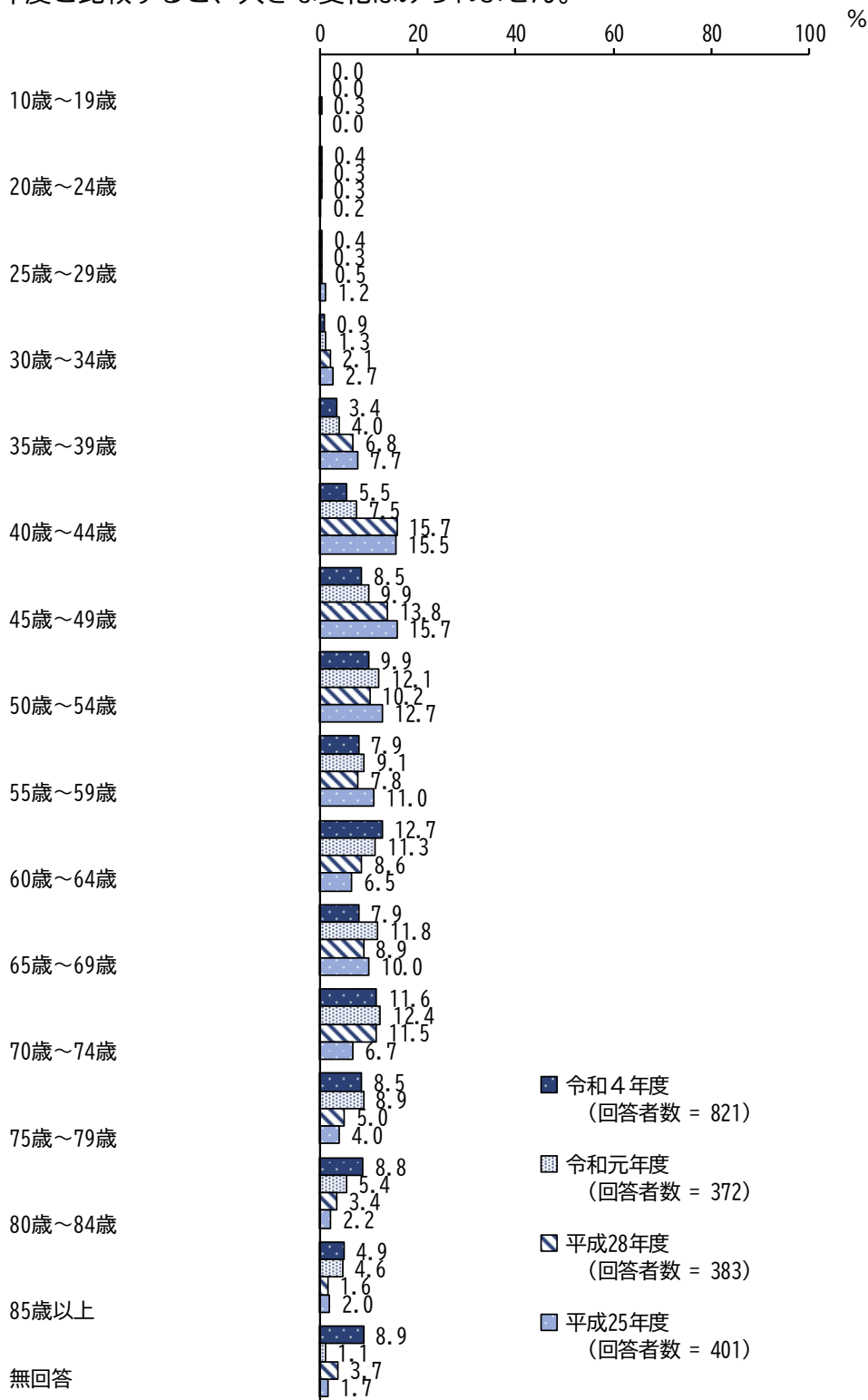
問 17-1～17-8の質問は、問 17のア. 主な介助者または支援者で「2」～「9」とお答えの方におたずねします

問 17-1 主な介助者または支援者の方の年齢を記入してください。(数字を記入)

「60歳～64歳」の割合が12.7%と最も高く、次いで「70歳～74歳」の割合が11.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「70歳～74歳」の割合が、その他で「60歳～64歳」の割合が、高次脳機能障害で「60歳～64歳」の割合が高くなっています。また、発達障害で「70歳～74歳」「60歳～64歳」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「60歳～64歳」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳
全 体	821	—	0.4	0.4	0.9	3.4	5.5	8.5	9.9
視覚障害	44	—	—	—	—	4.5	4.5	9.1	9.1
聴覚・平衡機能障害	69	—	1.4	1.4	—	1.4	2.9	8.7	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	61	—	1.6	—	—	1.6	9.8	6.6	9.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	317	—	0.3	0.3	0.9	2.8	5.0	7.9	8.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	180	—	—	0.6	—	1.7	3.3	5.0	5.0
知的障害	203	—	0.5	—	—	6.4	9.4	15.3	15.8
発達障害	111	—	0.9	—	3.6	12.6	16.2	17.1	15.3
精神障害	23	—	—	—	—	—	4.3	21.7	13.0
高次脳機能障害	56	—	—	—	—	—	—	3.6	16.1
難病（特定疾病）	158	—	—	—	—	1.9	5.1	9.5	8.9
その他	30	—	—	—	—	6.7	3.3	13.3	6.7

単位：％

区分	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
全体	7.9	12.7	7.9	11.6	8.5	8.8	4.9	8.9
視覚障害	6.8	11.4	2.3	18.2	6.8	6.8	9.1	11.4
聴覚・平衡機能障害	5.8	17.4	7.2	5.8	1.4	10.1	8.7	15.9
音声・言語・そしゃく機能障害	8.2	4.9	4.9	26.2	8.2	11.5	3.3	3.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	7.9	12.0	8.8	15.1	9.8	8.2	5.7	6.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	6.1	16.1	10.6	14.4	9.4	12.2	3.9	11.7
知的障害	12.3	11.3	7.4	5.9	3.9	3.9	1.5	6.4
発達障害	9.0	6.3	4.5	0.9	0.9	2.7	1.8	8.1
精神障害	8.7	8.7	8.7	13.0	—	8.7	4.3	8.7
高次脳機能障害	7.1	19.6	14.3	10.7	12.5	1.8	3.6	10.7
難病（特定疾病）	7.0	10.1	7.0	17.7	8.9	12.0	5.7	6.3
その他	10.0	20.0	—	10.0	10.0	13.3	3.3	3.3

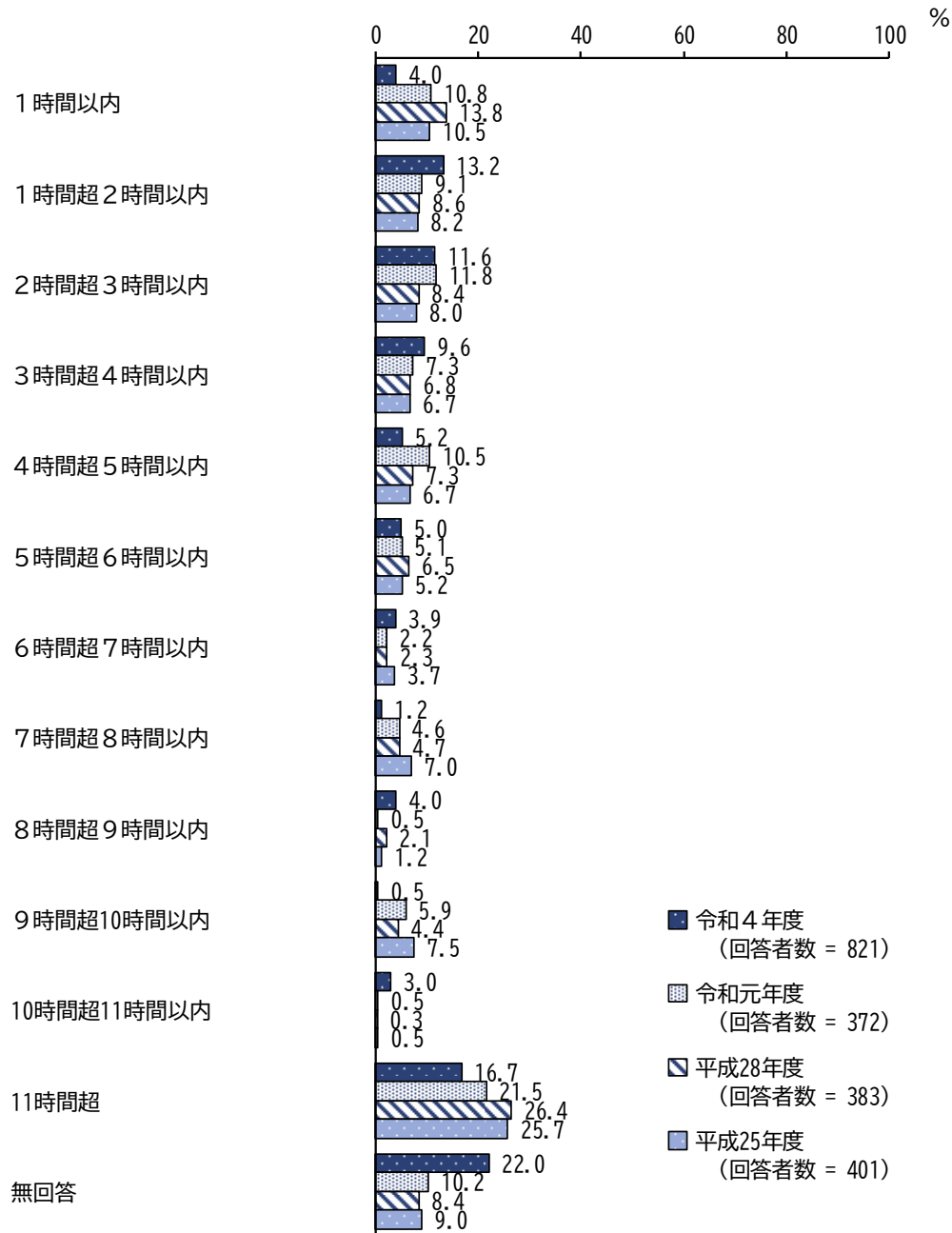
前ページの続き 表

問 17-2 主な介助者または支援者の方が介助または支援している1日の平均的な介助時間を記入してください。(数字を記入)

「11時間超」の割合が16.7%と最も高く、次いで「1時間超2時間以内」の割合が13.2%、「2時間超3時間以内」の割合が11.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「1時間以内」「4時間超5時間以内」「9時間超10時間以内」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「11時間超」の割合が、知的障害で「11時間超」の割合が、その他で「11時間超」の割合が高くなっています。また、その他で「1時間超2時間以内」の割合が、精神障害で「1時間超2時間以内」の割合が、知的障害で「1時間超2時間以内」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	1時間以内	1時間超2時間以内	2時間超3時間以内	3時間超4時間以内	4時間超5時間以内	5時間超6時間以内	6時間超7時間以内	7時間超8時間以内	8時間超9時間以内	9時間超10時間以内	10時間超11時間以内	11時間超	無回答
全 体	821	4.0	13.2	11.6	9.6	5.2	5.0	3.9	1.2	4.0	0.5	3.0	16.7	22.0
視覚障害	44	2.3	11.4	13.6	6.8	4.5	9.1	2.3	—	2.3	—	—	20.5	27.3
聴覚・平衡機能障害	69	5.8	14.5	14.5	7.2	1.4	—	5.8	—	4.3	—	1.4	17.4	27.5
音声・言語・そしゃく機能障害	61	1.6	6.6	6.6	8.2	4.9	3.3	4.9	—	4.9	—	6.6	42.6	9.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	317	3.2	14.8	12.3	8.8	5.7	4.7	3.2	0.6	5.4	0.3	3.8	21.8	15.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	180	2.8	13.3	9.4	12.8	9.4	3.3	4.4	—	—	—	3.9	11.1	29.4
知的障害	203	1.5	4.4	7.9	9.4	3.0	8.4	4.4	2.0	8.9	2.0	5.4	27.6	15.3
発達障害	111	2.7	4.5	9.0	8.1	4.5	10.8	6.3	1.8	8.1	1.8	3.6	20.7	18.0
精神障害	23	8.7	4.3	13.0	26.1	—	4.3	4.3	—	4.3	—	—	21.7	13.0
高次脳機能障害	56	—	12.5	21.4	14.3	7.1	7.1	—	—	—	—	1.8	25.0	10.7
難病(特定疾病)	158	4.4	12.0	10.8	13.9	1.9	2.5	3.8	1.3	3.8	—	3.8	19.6	22.2
その他	30	10.0	3.3	10.0	10.0	6.7	3.3	—	6.7	—	—	—	26.7	23.3

【障害支援区分別】

障害支援区分別にみると、他に比べ、区分6で「11時間超」の割合が、区分2で「2時間超3時間以内」の割合が、区分3で「1時間超2時間以内」の割合が高くなっています。また、区分6で「2時間超3時間以内」の割合が、区分2で「1時間超2時間以内」の割合が、区分1で「1時間超2時間以内」の割合が低くなっています。

単位：%

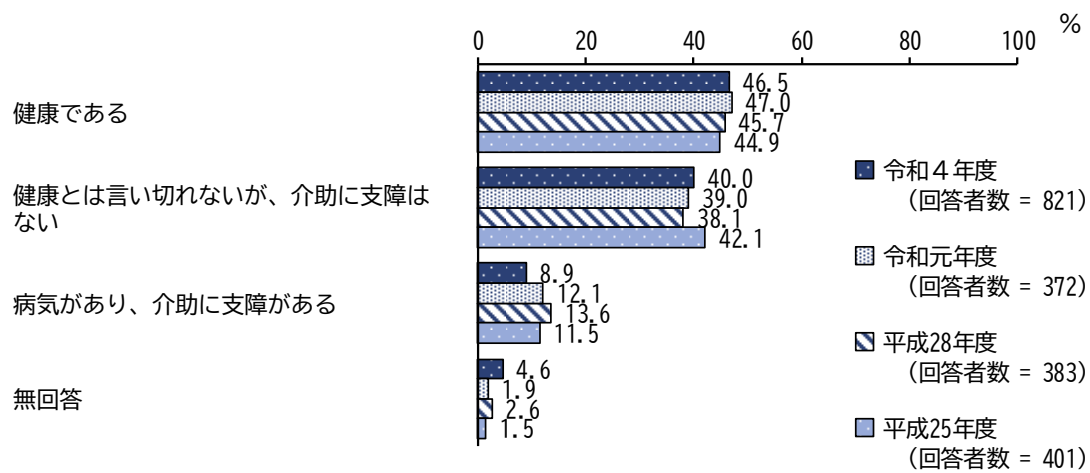
区分	回答者数 (件)	1時間以内	1時間超2時間以内	2時間超3時間以内	3時間超4時間以内	4時間超5時間以内	5時間超6時間以内	6時間超7時間以内	7時間超8時間以内	8時間超9時間以内	9時間超10時間以内	10時間超11時間以内	11時間超	無回答
全 体	821	4.0	13.2	11.6	9.6	5.2	5.0	3.9	1.2	4.0	0.5	3.0	16.7	22.0
区分1	17	—	5.9	17.6	5.9	17.6	—	5.9	—	—	—	—	11.8	35.3
区分2	37	—	5.4	29.7	10.8	2.7	8.1	—	—	—	—	—	13.5	29.7
区分3	39	2.6	23.1	12.8	12.8	2.6	7.7	—	2.6	12.8	—	—	12.8	10.3
区分4	25	—	12.0	16.0	12.0	4.0	4.0	12.0	—	16.0	—	8.0	12.0	4.0
区分5	14	—	7.1	14.3	14.3	—	7.1	7.1	7.1	14.3	—	7.1	14.3	7.1
区分6	46	—	—	2.2	2.2	2.2	6.5	4.3	—	4.3	2.2	8.7	60.9	6.5
認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）	333	4.2	15.9	10.8	11.7	5.7	4.8	3.3	2.1	3.9	0.6	2.7	15.3	18.9

問 17-3 主な介助者または支援者の方の健康状態はいかがですか。(1つに○)

「健康である」の割合が46.5%と最も高く、次いで「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」の割合が40.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「健康である」の割合が、難病（特定疾病）で「健康とはいき切れないが、介助に支障はない」の割合が高くなっています。また、精神障害で「健康とはいき切れないが、介助に支障はない」の割合が、難病（特定疾病）で「健康である」の割合が、高次脳機能障害で「健康である」の割合が低くなっています。

単位：％

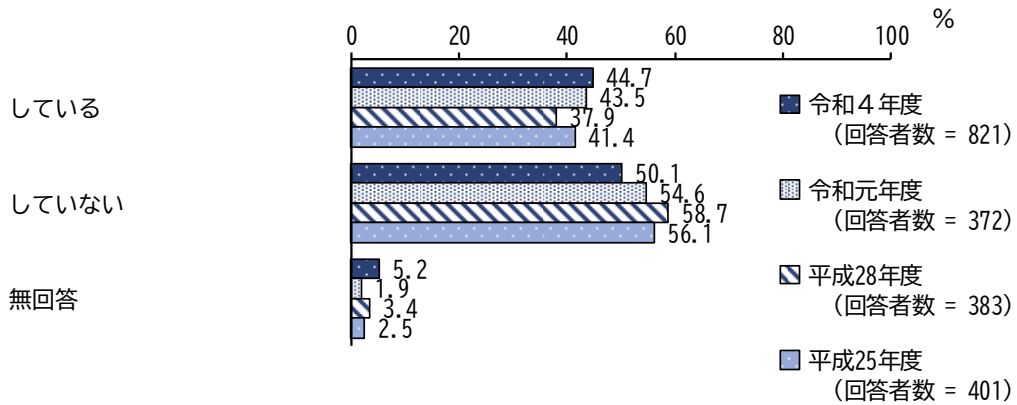
区分	回答者数 (件)	健康である	健康とはいき切れないが、介助に支障はない	病気があり、介助に支障がある	無回答
全 体	821	46.5	40.0	8.9	4.6
視覚障害	44	43.2	40.9	6.8	9.1
聴覚・平衡機能障害	69	43.5	43.5	7.2	5.8
音声・言語・そしゃく機能障害	61	39.3	39.3	19.7	1.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	317	41.6	43.8	12.3	2.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	180	43.9	41.1	11.7	3.3
知的障害	203	43.8	42.9	8.4	4.9
発達障害	111	54.1	36.0	7.2	2.7
精神障害	23	43.5	30.4	21.7	4.3
高次脳機能障害	56	37.5	44.6	12.5	5.4
難病（特定疾病）	158	37.3	46.2	13.3	3.2
その他	30	46.7	33.3	20.0	—

問 17-4 主な介助者または支援者の方は収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

「している」の割合が44.7%、「していない」の割合が50.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「している」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「している」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「していない」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「していない」の割合が、視覚障害で「していない」の割合が、精神障害で「していない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	821	44.7	50.1	5.2
視覚障害	44	56.8	36.4	6.8
聴覚・平衡機能障害	69	56.5	36.2	7.2
音声・言語・そしゃく機能障害	61	39.3	59.0	1.6
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	317	43.5	52.7	3.8
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	180	42.2	50.0	7.8
知的障害	203	45.8	51.2	3.0
発達障害	111	49.5	47.7	2.7
精神障害	23	47.8	39.1	13.0
高次脳機能障害	56	42.9	53.6	3.6
難病 (特定疾病)	158	42.4	53.2	4.4
その他	30	46.7	46.7	6.7

【主な介助者または支援者別】

主な介助者または支援者別にみると、他に比べ、子（子の配偶者を含む）で「している」の割合が、兄弟姉妹で「している」の割合が、配偶者（夫・妻）で「していない」の割合が高くなっています。また、父で「していない」の割合が、子（子の配偶者を含む）で「していない」の割合が、兄弟姉妹で「していない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	821	44.7	50.1	5.2
特にいない	—	—	—	—
父	12	50.0	25.0	25.0
母	280	44.6	53.6	1.8
配偶者（夫・妻）	331	34.4	58.6	6.9
子（子の配偶者を含む）	149	63.1	30.9	6.0
祖父母	4	50.0	50.0	—
兄弟姉妹	31	58.1	35.5	6.5
その他の親族	5	80.0	20.0	—
近隣の人・知人・友人	9	44.4	44.4	11.1
ホームヘルパー	—	—	—	—
ボランティア	—	—	—	—
施設・病院等の専門介助者	—	—	—	—
その他	—	—	—	—

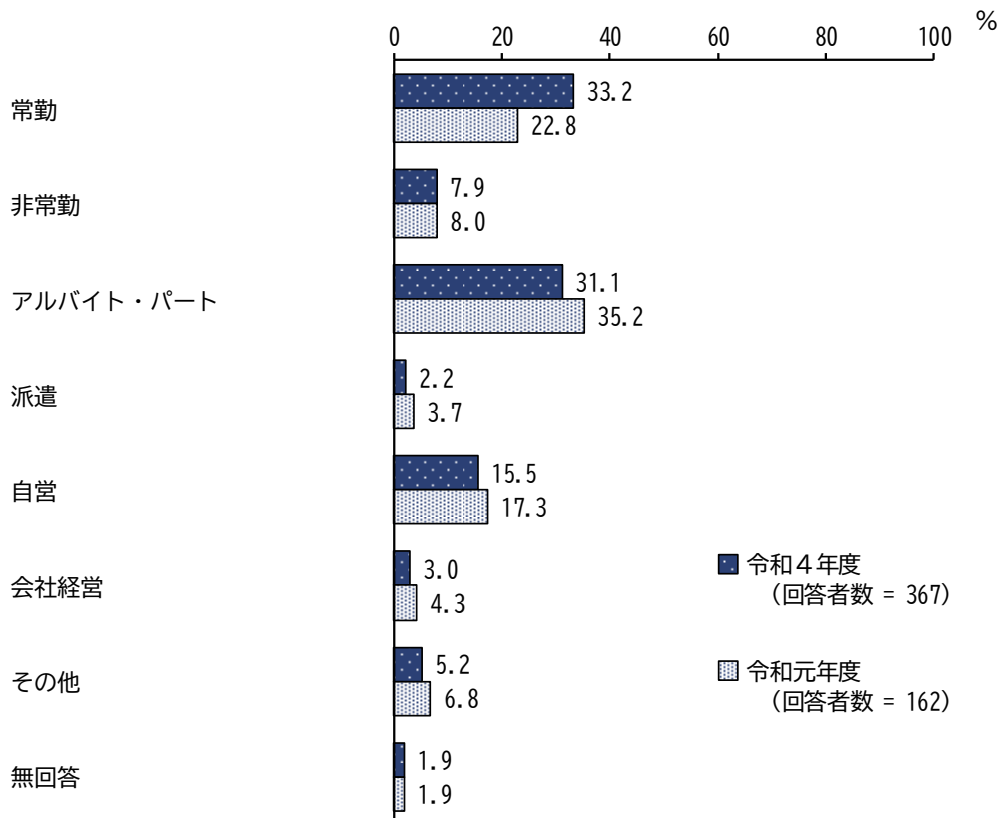
問 17-4で「1. している」とお答えの方におたずねします。

問 17-4-1 現在の勤務形態等はどのような形態ですか。(1つに○)

「常勤」の割合が33.2%と最も高く、次いで「アルバイト・パート」の割合が31.1%、「自営」の割合が15.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「常勤」の割合が増加しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「アルバイト・パート」の割合が、精神障害で「アルバイト・パート」の割合が、知的障害で「アルバイト・パート」の割合が高くなっています。また、精神障害で「常勤」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「常勤」「自営」の割合が低くなっています。

単位：％

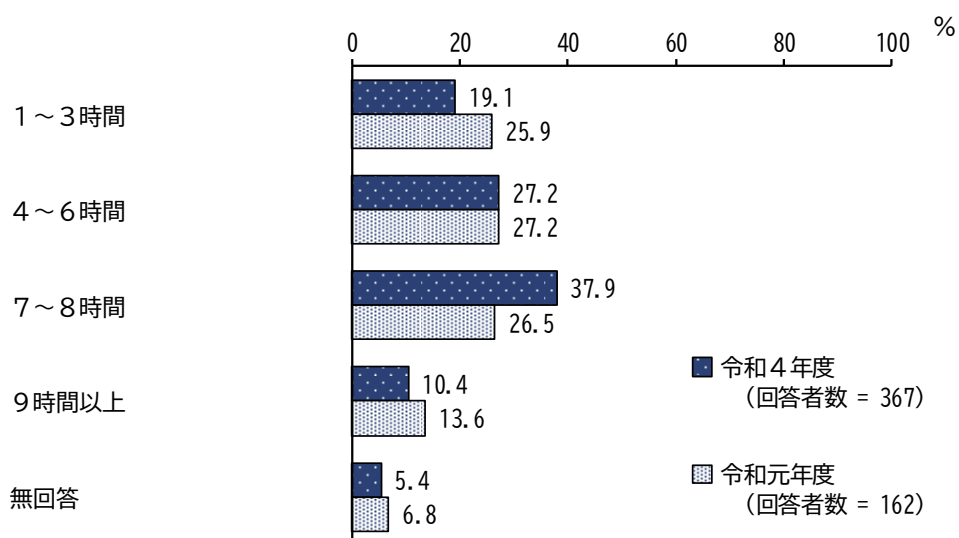
区分	回答者数 (件)	常勤	非常勤	アルバイト・パート	派遣	自営	会社経営	その他	無回答
全 体	367	33.2	7.9	31.1	2.2	15.5	3.0	5.2	1.9
視覚障害	25	40.0	4.0	36.0	－	12.0	－	4.0	4.0
聴覚・平衡機能障害	39	35.9	2.6	25.6	－	17.9	2.6	7.7	7.7
音声・言語・そしゃく機能障害	24	20.8	4.2	45.8	－	4.2	8.3	12.5	4.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	138	26.8	9.4	25.4	3.6	18.8	5.1	8.7	2.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	76	32.9	6.6	30.3	3.9	19.7	1.3	2.6	2.6
知的障害	93	26.9	12.9	39.8	1.1	11.8	3.2	3.2	1.1
発達障害	55	30.9	10.9	38.2	－	12.7	－	7.3	－
精神障害	11	18.2	9.1	45.5	9.1	18.2	－	－	－
高次脳機能障害	24	33.3	－	37.5	－	16.7	4.2	8.3	－
難病（特定疾病）	67	35.8	7.5	31.3	－	14.9	3.0	6.0	1.5
その他	14	35.7	－	35.7	－	－	－	21.4	7.1

問 17-4-2 直近の1か月間において1日あたり平均で何時間仕事に就いていますか。
(1つに○)

「7～8時間」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4～6時間」の割合が27.2%、「1～3時間」の割合が19.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「7～8時間」の割合が増加しています。一方、「1～3時間」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「1～3時間」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「1～3時間」「4～6時間」の割合が、高次脳機能障害で「1～3時間」の割合が高くなっています。また、精神障害で「7～8時間」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「7～8時間」の割合が、高次脳機能障害で「7～8時間」の割合が低くなっています。

単位：％

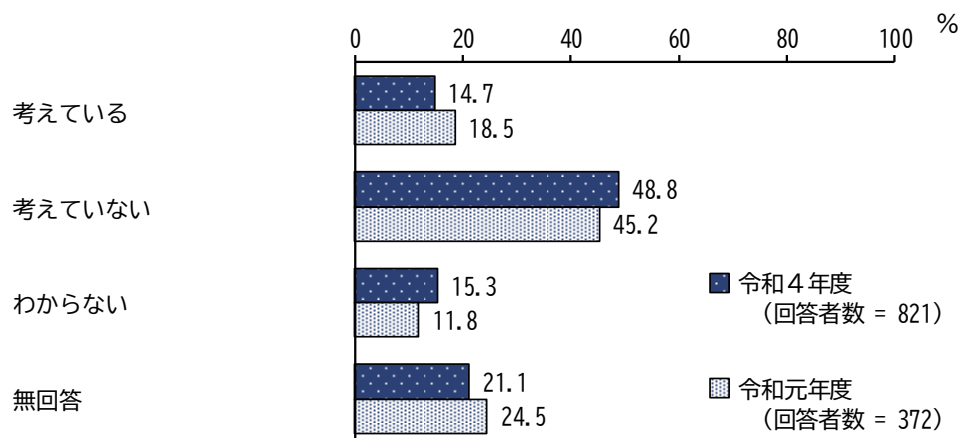
区分	回答者数 (件)	1 ～ 3 時間	4 ～ 6 時間	7 ～ 8 時間	9 時 間 以 上	無 回 答
全 体	367	19.1	27.2	37.9	10.4	5.4
視覚障害	25	16.0	40.0	32.0	8.0	4.0
聴覚・平衡機能障害	39	12.8	35.9	30.8	10.3	10.3
音声・言語・そしゃく機能障害	24	37.5	41.7	16.7	4.2	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	138	23.2	25.4	36.2	10.9	4.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	76	15.8	26.3	42.1	9.2	6.6
知的障害	93	18.3	38.7	33.3	7.5	2.2
発達障害	55	21.8	34.5	38.2	3.6	1.8
精神障害	11	54.5	18.2	9.1	18.2	—
高次脳機能障害	24	37.5	20.8	25.0	8.3	8.3
難病（特定疾病）	67	26.9	20.9	35.8	10.4	6.0
その他	14	14.3	28.6	35.7	7.1	14.3

問 17-5 主な介助者または支援者全員におたずねします。現在の勤務形態等を変更したい、または新たに仕事をしたいと考えていますか。(1つに○)

「考えていない」の割合が48.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が15.3%、「考えている」の割合が14.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「考えていない」の割合が、発達障害で「考えている」「わからない」の割合が高くなっています。また、発達障害で「考えていない」の割合が、精神障害で「考えていない」の割合が、その他で「考えていない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	考えている	考えていない	わからない	無回答
全 体	821	14.7	48.8	15.3	21.1
視覚障害	44	9.1	70.5	6.8	13.6
聴覚・平衡機能障害	69	11.6	47.8	15.9	24.6
音声・言語・そしゃく機能障害	61	16.4	55.7	9.8	18.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	317	14.2	52.1	14.8	18.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	180	10.6	50.0	11.7	27.8
知的障害	203	22.2	48.8	15.3	13.8
発達障害	111	30.6	32.4	28.8	8.1
精神障害	23	13.0	34.8	26.1	26.1
高次脳機能障害	56	19.6	48.2	8.9	23.2
難病（特定疾病）	158	14.6	46.2	20.3	19.0
その他	30	13.3	40.0	26.7	20.0

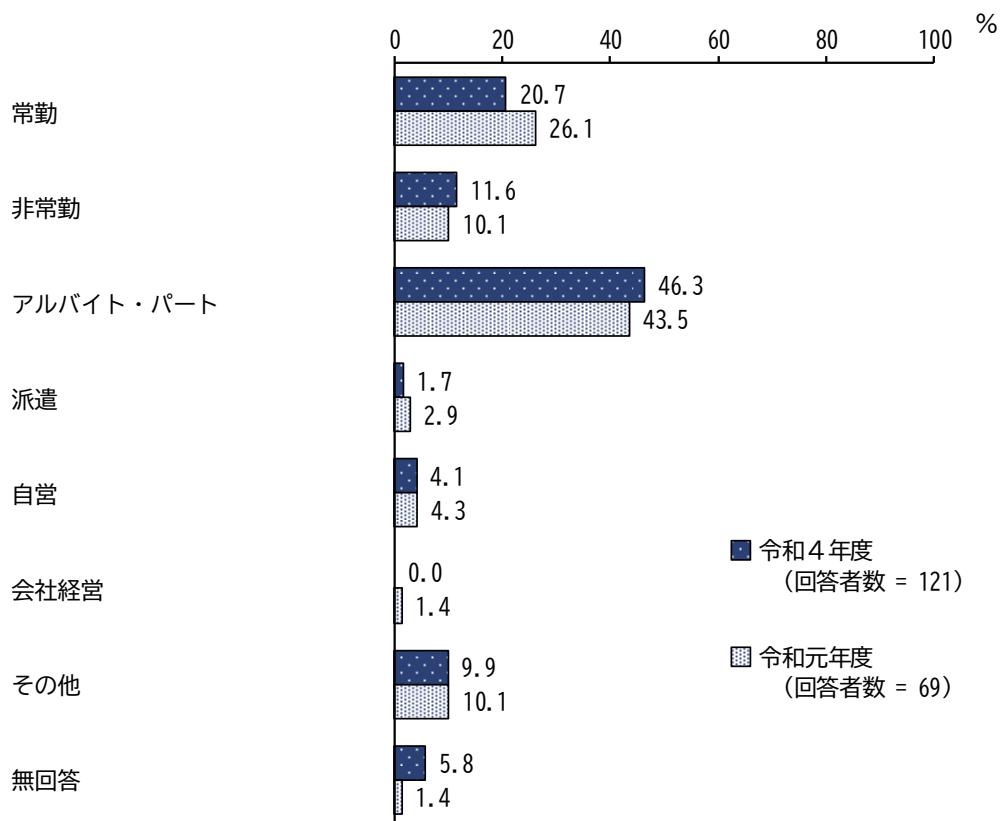
問 17-5 で「1. 考えている」とお答えの方におたずねします。

問 17-5-1 どのような勤務形態等に変更または就きたいとお考えですか。(1つに○)

「アルバイト・パート」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「常勤」の割合が 20.7%、「非常勤」の割合が 11.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「常勤」の割合が減少しています。



【障害別】

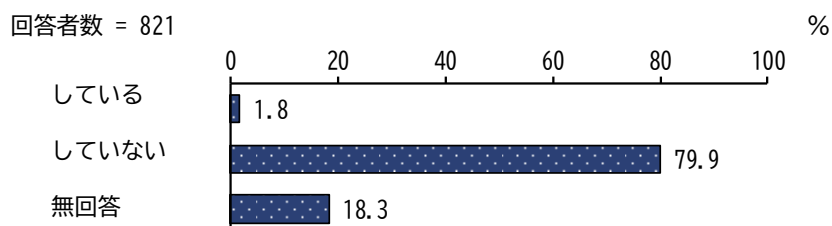
障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「非常勤」の割合が、難病（特定疾病）で「非常勤」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「非常勤」の割合が、知的障害で「非常勤」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「アルバイト・パート」の割合が、知的障害で「アルバイト・パート」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「アルバイト・パート」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「アルバイト・パート」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	常勤	非常勤	アルバイト・パート	派遣	自営	会社経営	その他	無回答
全 体	121	20.7	11.6	46.3	1.7	4.1	—	9.9	5.8
視覚障害	4	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	8	37.5	—	37.5	—	12.5	—	12.5	—
音声・言語・そしゃく機能障害	10	20.0	20.0	40.0	—	—	—	20.0	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	45	20.0	11.1	40.0	2.2	4.4	—	17.8	4.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	19	15.8	10.5	52.6	5.3	—	—	10.5	5.3
知的障害	45	24.4	20.0	35.6	—	—	—	11.1	8.9
発達障害	34	17.6	14.7	50.0	—	2.9	—	5.9	8.8
精神障害	3	—	—	66.7	33.3	—	—	—	—
高次脳機能障害	11	18.2	27.3	27.3	9.1	9.1	—	9.1	—
難病（特定疾病）	23	17.4	21.7	43.5	—	4.3	—	8.7	4.3
その他	4	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—

問 17-6 主な介助者または支援者の方は学校に通学していますか。(1つに○)

「している」の割合が1.8%、「していない」の割合が79.9%となっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「していない」の割合が、発達障害で「していない」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「していない」の割合が、精神障害で「していない」の割合が低くなっています。

単位：%

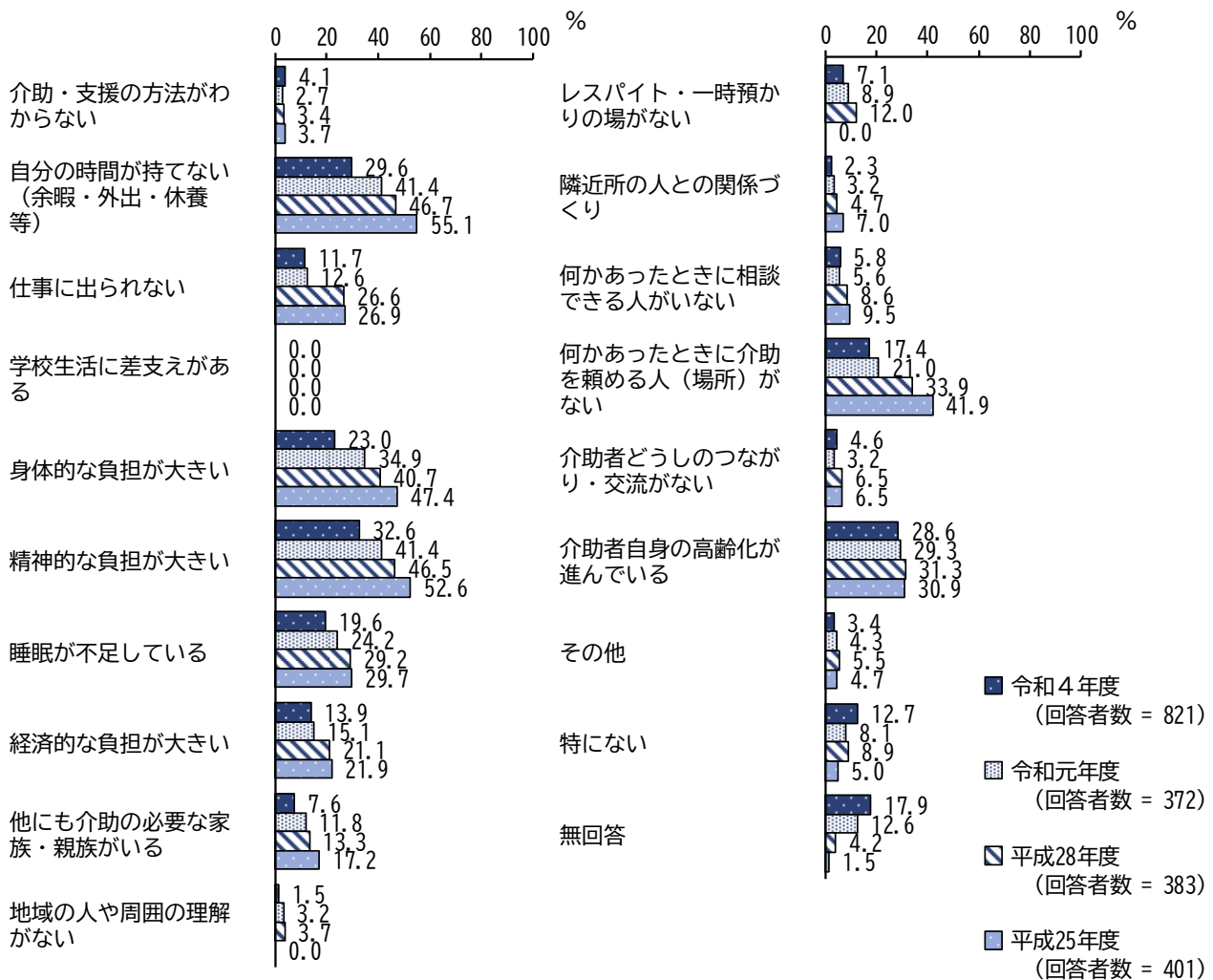
区分	回答者数 (件)	している	していない	無回答
全 体	821	1.8	79.9	18.3
視覚障害	44	—	81.8	18.2
聴覚・平衡機能障害	69	—	69.6	30.4
音声・言語・そしゃく機能障害	61	3.3	82.0	14.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	317	1.9	81.1	17.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	180	0.6	78.3	21.1
知的障害	203	2.5	87.2	10.3
発達障害	111	5.4	85.6	9.0
精神障害	23	—	73.9	26.1
高次脳機能障害	56	—	82.1	17.9
難病(特定疾病)	158	1.3	82.9	15.8
その他	30	—	83.3	16.7

問 17-7 主な介助者または支援者の方は、介助または支援にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。(5つまで○)

「精神的な負担が大きい」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「自分の時間が持てない(余暇・外出・休養等)」の割合が 29.6%、「介助者自身の高齢化が進んでいる」の割合が 28.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「自分の時間が持てない(余暇・外出・休養等)」「身体的な負担が大きい」「精神的な負担が大きい」の割合が減少しています。



※前回は「学校生活に差支えがある」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「睡眠が不足している」「身体的な負担が大きい」の割合が、発達障害で「精神的な負担が大きい」の割合が高くなっています。また、発達障害で「介助者自身の高齢化が進んでいる」の割合が、精神障害で「介助者自身の高齢化が進んでいる」の割合が、その他で「何かあったときに介助を頼める人（場所）がない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	介助・支援の方法がわからない	自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）	仕事に出られない	学校生活に差支えがある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠が不足している	経済的な負担が大きい	他にも介助の必要な家族・親族がいる
全 体	821	4.1	29.6	11.7	—	23.0	32.6	19.6	13.9	7.6
視覚障害	44	—	40.9	4.5	—	31.8	38.6	27.3	13.6	6.8
聴覚・平衡機能障害	69	2.9	23.2	8.7	—	24.6	30.4	21.7	11.6	2.9
音声・言語・そしゃく機能障害	61	1.6	37.7	9.8	—	45.9	37.7	42.6	18.0	8.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	317	3.5	30.0	8.5	—	27.4	30.6	21.1	12.9	6.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	180	3.3	25.6	9.4	—	18.9	24.4	18.9	13.3	5.0
知的障害	203	3.4	39.4	21.2	—	33.5	49.3	28.1	12.3	11.3
発達障害	111	6.3	41.4	28.8	—	27.0	52.3	26.1	20.7	9.0
精神障害	23	8.7	30.4	17.4	—	17.4	43.5	21.7	21.7	21.7
高次脳機能障害	56	3.6	37.5	16.1	—	19.6	41.1	23.2	25.0	14.3
難病（特定疾病）	158	3.2	31.6	12.7	—	25.3	29.1	20.9	14.6	5.1
その他	30	—	30.0	13.3	—	23.3	23.3	16.7	16.7	10.0

単位：%

区分	地域の人や周囲の理解がない	レスパイト・一時預かりの場がない	隣近所の人との関係づくり	何かあったときに相談できる人がいない	何かあったときに介助を頼める人(場所)がない	介助者どうしのつながり・交流がない	介助者自身の高齢化が進んでいる	その他	特にない	無回答
全 体	1.5	7.1	2.3	5.8	17.4	4.6	28.6	3.4	12.7	17.9
視覚障害	—	9.1	—	9.1	18.2	11.4	36.4	2.3	6.8	20.5
聴覚・平衡機能障害	1.4	4.3	—	5.8	14.5	4.3	23.2	2.9	13.0	24.6
音声・言語・そしゃく機能障害	—	13.1	—	3.3	24.6	11.5	41.0	4.9	—	16.4
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	0.6	7.3	1.9	5.0	16.7	5.7	31.5	3.8	10.4	17.7
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	—	6.7	1.1	7.2	13.3	3.3	28.9	1.7	13.9	23.3
知的障害	3.4	13.3	5.4	5.9	31.0	4.9	29.6	5.4	6.9	11.3
発達障害	5.4	14.4	6.3	7.2	30.6	2.7	12.6	2.7	10.8	9.0
精神障害	4.3	4.3	—	8.7	21.7	4.3	17.4	—	—	30.4
高次脳機能障害	—	5.4	1.8	3.6	17.9	3.6	26.8	5.4	5.4	16.1
難病(特定疾病)	0.6	4.4	1.3	5.7	15.8	7.0	27.2	3.8	15.8	16.5
その他	3.3	—	—	—	6.7	3.3	23.3	6.7	20.0	13.3

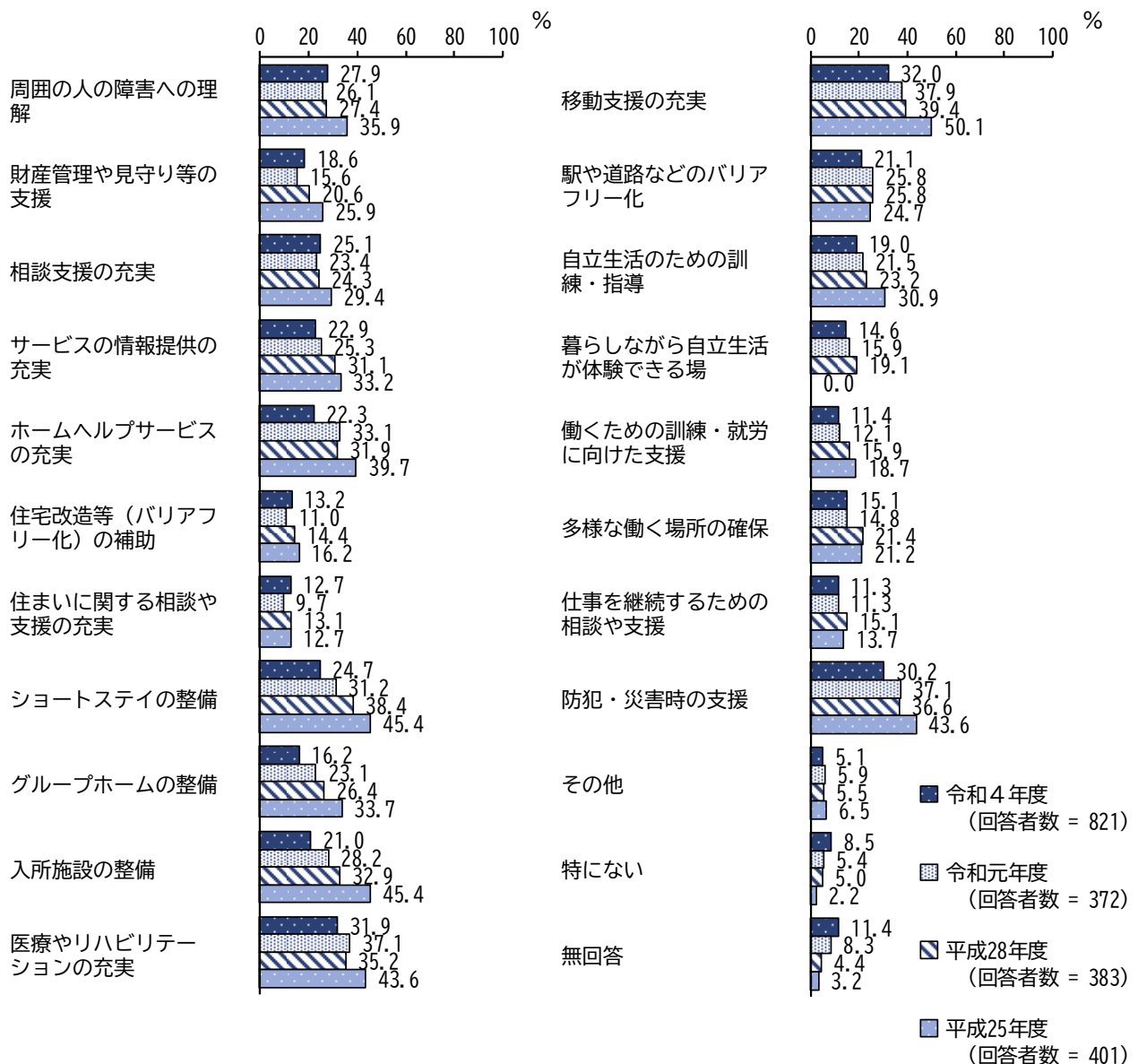
※前ページの続き 表

問 17-8 主な介助者または支援者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するために、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「移動支援の充実」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」の割合が 31.9%、「防犯・災害時の支援」の割合が 30.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「ホームヘルプサービスの充実」「ショートステイの整備」「グループホームの整備」「入所施設の整備」「医療やリハビリテーションの充実」「移動支援の充実」「防犯・災害時の支援」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「グループホームの整備」「財産管理や見守り等の支援」の割合が、発達障害で「周囲の人の障害への理解」の割合が高くなっています。また、精神障害で「駅や道路などのバリアフリー化」の割合が、その他で「移動支援の充実」の割合が、発達障害で「駅や道路などのバリアフリー化」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	サービスの情報提供の充実	ホームヘルプサービスの充実	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	ショートステイの整備	グループホームの整備	入所施設の整備	医療やリハビリテーションの充実
全体	821	27.9	18.6	25.1	22.9	22.3	13.2	12.7	24.7	16.2	21.0	31.9
視覚障害	44	31.8	25.0	25.0	18.2	20.5	18.2	11.4	22.7	20.5	25.0	29.5
聴覚・平衡機能障害	69	24.6	10.1	21.7	30.4	14.5	14.5	11.6	23.2	7.2	15.9	37.7
音声・言語・そしゃく機能障害	61	27.9	21.3	36.1	29.5	29.5	24.6	18.0	39.3	19.7	37.7	44.3
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	317	24.9	15.8	27.1	23.7	25.9	19.2	14.2	27.4	11.4	21.8	39.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	180	13.3	8.9	16.7	18.9	18.3	11.7	9.4	17.2	5.0	14.4	28.9
知的障害	203	52.7	46.3	42.9	34.5	35.0	12.8	19.7	49.3	53.7	45.3	34.0
発達障害	111	56.8	40.5	42.3	33.3	25.2	6.3	13.5	36.0	31.5	27.9	30.6
精神障害	23	43.5	21.7	21.7	26.1	30.4	8.7	17.4	21.7	21.7	26.1	26.1
高次脳機能障害	56	16.1	17.9	30.4	17.9	14.3	16.1	12.5	23.2	5.4	16.1	44.6
難病(特定疾病)	158	25.3	15.8	25.9	25.3	25.3	16.5	13.9	22.8	10.8	21.5	39.9
その他	30	23.3	16.7	20.0	33.3	13.3	10.0	33.3	23.3	13.3	13.3	30.0

単位：％

区分	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	暮らしながら自立生活が体験できる場	働くための訓練・就労に向けた支援	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
全体	32.0	21.1	19.0	14.6	11.4	15.1	11.3	30.2	5.1	8.5	11.4
視覚障害	31.8	27.3	13.6	11.4	13.6	18.2	6.8	34.1	2.3	9.1	13.6
聴覚・平衡機能障害	27.5	10.1	8.7	5.8	4.3	10.1	5.8	31.9	4.3	13.0	13.0
音声・言語・そしゃく機能障害	42.6	34.4	19.7	14.8	9.8	11.5	6.6	50.8	4.9	3.3	11.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	33.8	36.3	12.6	10.4	7.3	10.4	5.7	37.2	6.6	8.8	9.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	28.3	21.1	10.0	7.2	4.4	5.6	4.4	25.6	2.8	13.3	15.0
知的障害	46.3	13.8	40.9	39.4	29.6	35.0	26.1	39.4	7.4	1.5	5.9
発達障害	43.2	6.3	43.2	37.8	30.6	39.6	34.2	40.5	10.8	0.9	3.6
精神障害	30.4	4.3	30.4	21.7	4.3	26.1	26.1	21.7	4.3	—	17.4
高次脳機能障害	28.6	37.5	12.5	5.4	10.7	10.7	7.1	30.4	7.1	1.8	10.7
難病（特定疾病）	32.9	26.6	17.1	15.2	8.2	13.9	7.0	26.6	7.0	11.4	7.6
その他	16.7	16.7	26.7	20.0	13.3	10.0	10.0	26.7	6.7	20.0	6.7

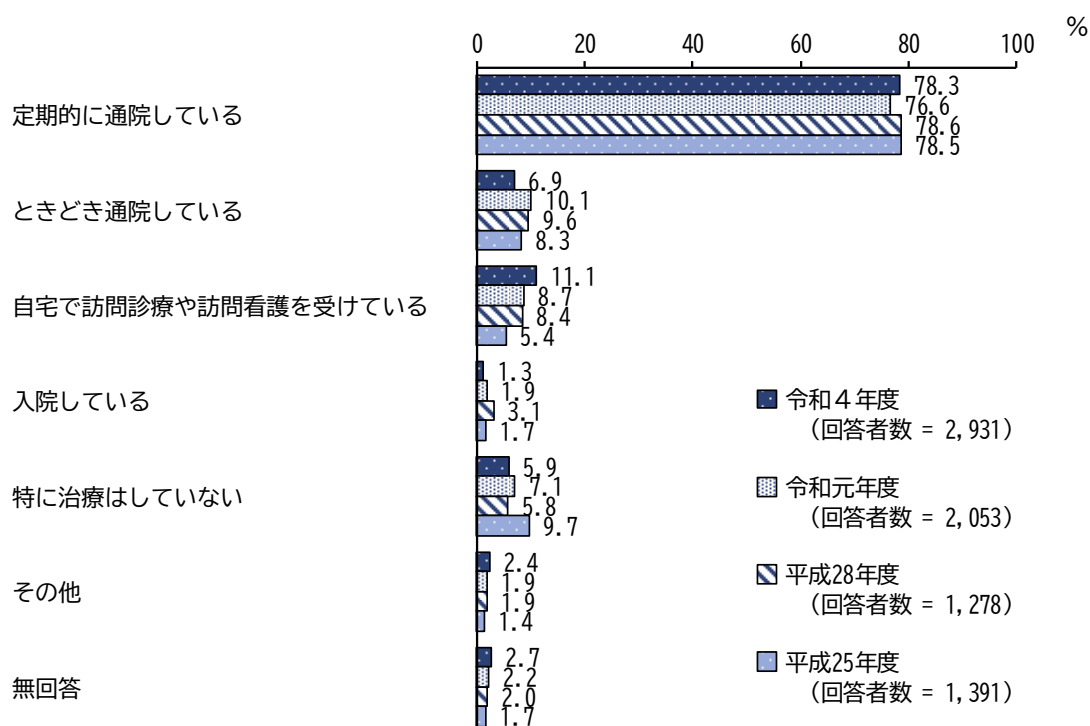
(4) 健康と医療について

問 18 あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

「定期的に通院している」の割合が78.3%と最も高く、次いで「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」の割合が11.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」の割合が、高次脳機能障害で「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「定期的に通院している」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「定期的に通院している」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「定期的に通院している」の割合が、発達障害で「定期的に通院している」の割合が低くなっています。

単位：％

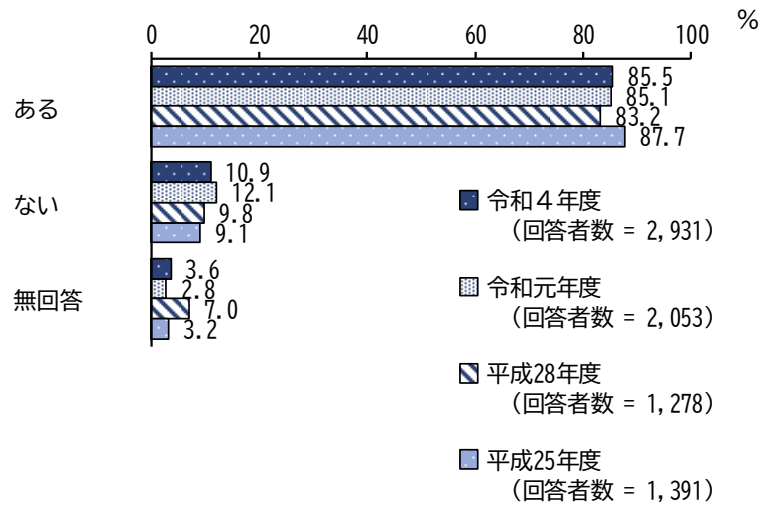
区分	回答者数 (件)	定期的に通院している	とむとむに通院している	自宅で訪問診療や訪問看護を受けている	入院している	特に治療はしていない	その他	無回答
全 体	2931	78.3	6.9	11.1	1.3	5.9	2.4	2.7
視覚障害	138	79.0	5.8	13.0	0.7	4.3	3.6	2.2
聴覚・平衡機能障害	181	74.6	14.9	15.5	1.1	4.4	3.3	1.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	64.6	6.9	38.5	2.3	1.5	4.6	1.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	71.9	8.6	22.0	1.9	3.4	3.6	2.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	89.8	4.8	9.9	1.7	0.8	1.5	1.9
知的障害	417	73.4	10.1	6.5	—	13.9	1.4	1.4
発達障害	367	65.9	10.1	3.3	0.3	20.7	1.1	2.5
精神障害	145	87.6	4.1	9.7	1.4	3.4	0.7	3.4
高次脳機能障害	130	63.1	4.6	29.2	5.4	1.5	6.2	1.5
難病（特定疾病）	677	86.6	3.2	14.3	1.9	1.0	2.1	1.6
その他	95	83.2	5.3	10.5	1.1	5.3	3.2	1.1

問 19 あなたには、継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。(1つに○)

「ある」の割合が 85.5%、「ない」の割合が 10.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「ない」の割合が、難病（特定疾病）で「ある」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ある」の割合が高くなっています。また、発達障害で「ある」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ない」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「ある」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体	2931	85.5	10.9	3.6
視覚障害	138	86.2	11.6	2.2
聴覚・平衡機能障害	181	80.1	16.6	3.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	88.5	8.5	3.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	85.2	11.0	3.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	92.4	5.0	2.6
知的障害	417	82.0	16.8	1.2
発達障害	367	77.4	19.9	2.7
精神障害	145	87.6	7.6	4.8
高次脳機能障害	130	82.3	16.2	1.5
難病（特定疾病）	677	92.5	5.5	2.1
その他	95	87.4	10.5	2.1

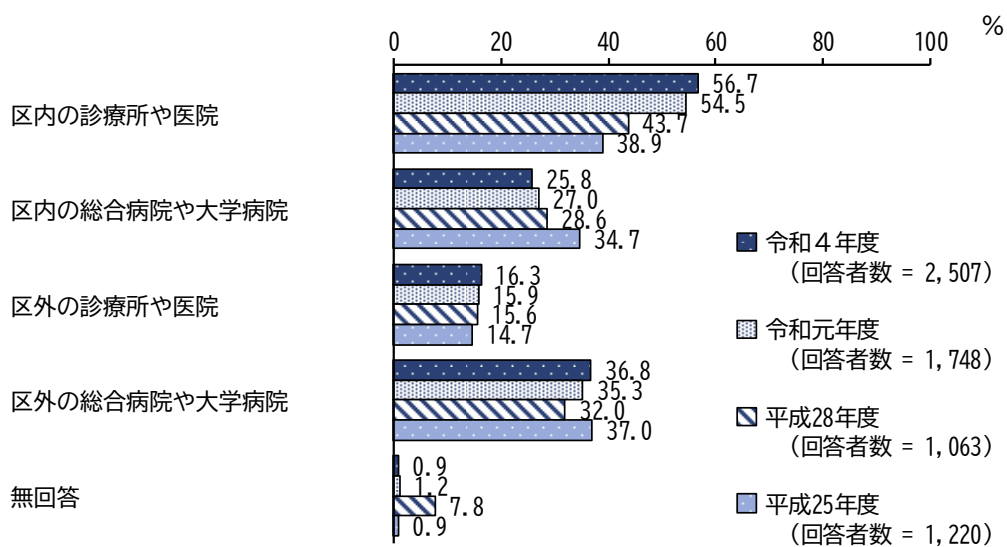
問19で「1. ある」とお答えの方におたずねします

問19-1 どのような医療機関ですか。(あてはまるものすべてに○をし、受診科をご記入ください)

「区内の診療所や医院」の割合が56.7%と最も高く、次いで「区外の総合病院や大学病院」の割合が36.8%、「区内の総合病院や大学病院」の割合が25.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、聴覚・平衡機能障害で「区内の診療所や医院」の割合が、難病（特定疾病）で「区外の総合病院や大学病院」の割合が、その他で「区内の診療所や医院」の割合が高くなっています。また、発達障害で「区外の総合病院や大学病院」の割合が、知的障害で「区外の総合病院や大学病院」の割合が、難病（特定疾病）で「区内の診療所や医院」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	区内の診療所や 医院	区内の総合病院や 大学病院	区外の診療所や 医院	区外の総合病院 や 大学病院	無回答
全 体	2507	56.7	25.8	16.3	36.8	0.9
視覚障害	119	67.2	25.2	18.5	33.6	0.8
聴覚・平衡機能障害	145	71.7	31.7	16.6	31.0	—
音声・言語・そしゃく機能障害	115	62.6	28.7	12.2	37.4	2.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・ 移動機能障害等）	774	61.0	26.7	14.6	39.1	1.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、 ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	670	54.3	27.2	16.1	45.8	0.3
知的障害	342	62.9	32.7	19.3	20.2	2.0
発達障害	284	68.0	23.9	21.5	14.1	1.4
精神障害	127	52.0	20.5	27.6	32.3	0.8
高次脳機能障害	107	54.2	29.0	12.1	31.8	0.9
難病（特定疾病）	626	43.0	27.6	14.7	50.8	0.5
その他	83	68.7	28.9	14.5	33.7	1.2

<受診科の集計結果>

1. 区内の診療所や医院

受診科名	件数	受診科名	件数
内科	632	脳神経内科	6
歯科	227	総合内科	6
整形外科	105	婦人科	5
小児科	91	アレルギー科	4
眼科	90	訪問診療	4
皮膚科	63	リウマチ膠原病科	4
医療機関名記載あり	58	整骨院	4
精神科	57	脳神経科	4
人工透析科	37	呼吸器科	4
耳鼻咽喉科	35	小児発達障害外来	3
神経内科	26	血圧	3
リハビリテーション科	24	在宅療養支援	3
心療内科	22	膠原病科	2
クリニック医院	20	脳神経科	2
人工透析内科	19	総合病院	2
発達障害外来	19	整体	2
腎臓内科	17	発達相談室	2
外科	17	全般	2
循環器内科	17	心臓内科	2
脳神経外科	15	神経科	2
メンタルケア	14	形成外科	1
児童精神科	12	小児歯科	1
訪問診療	12	予防ワクチン等	1
腎臓科	11	心臓外科	1
糖尿病科	10	膠原病内科	1
リウマチ科	9	腎臓内科	1
泌尿器科	9	血管外科	1
胃腸科	9	乳腺外科	1
循環器科	7	呼吸内器科	1
消化器内科	7	てんかん	1
消化器科	6	移植外科	1
その他	6	麻酔科	1

<受診科の集計結果>

2. 区内の総合病院や大学病院

受診科名	件数	受診科名	件数
内科	87	値段等記載あり	3
整形外科	68	脳神経科	2
医療機関名記載あり	63	代謝内分泌科	2
眼科	61	消化器外科	2
神経内科	52	形成外科	2
精神科	36	総合内科	2
循環器内科	35	膠原病科	2
耳鼻咽喉科	29	血液腫瘍科	2
泌尿器科	29	ストーマ	2
歯科	28	クリニック医院	2
外科	26	血管内科	2
総合診療科	26	小児外科	1
皮膚科	25	新生児科	1
脳神経外科	24	脳動脈瘤	1
腎臓内科	24	心臓内科	1
脳神経内科	23	移植外科	1
内分泌科	22	母性内科	1
循環器科	14	健康診断	1
呼吸器科	11	変形股関節（人工）両症	1
消化器内科	11	腎臓科	1
血液内科	10	肝臓科	1
小児科	9	小児眼科	1
糖尿病内科	9	免疫科	1
遺伝科	9	胃腸科	1
リハビリテーション科	9	訪問歯科	1
消化器科	9	心臓血管内科	1
心臓外科	8	大腸肛門科	1
心臓血管外科	7	口腔外科	1
リウマチ科	7	感染症科	1
肝胆膵内科	7	人工透析内科	1
児童精神科	5	乳腺外科	1
アレルギー科	5	胸部外科	1
人工透析科	4	在宅訪問	1
呼吸器内科	4	大腸外科	1
リウマチ膠原病内科	4	脊髄科	1
麻酔科	4	整骨	1
こころの診療部	4	血圧	1
遺伝診療科	3	高脂血症	1
リウマチ膠原病科	3	がん	1
心療内科	3	腎臓外科	1
婦人科	3		

<受診科の集計結果>

3. 区外の診療所や医院

受診科名	件数	受診科名	件数
内科	69	腎移植	2
歯科	43	心臓血管外科	1
精神科	39	アレルギー科	1
眼科	23	形成外科	1
整形外科	22	糖尿病科	1
医療機関名記載あり	17	人工透析内科	1
耳鼻咽喉科	15	訪問医療	1
神経内科	14	値段等記載あり	1
クリニック医院	13	メンタルケア	1
人工透析科	12	脳神経科	1
循環器科	11	遺伝外来	1
心療内科	10	歯科訪問	1
脳神経外科	10	内分泌内科	1
皮膚科	9	内分泌科	1
発達障害外来	8	消化器肝臓内科	1
小児科	8	漢方	1
泌尿器科	7	漢方内科	1
甲状腺科	7	漢方外来	1
リハビリテーション科	6	神経外科	1
循環器内科	6	小児外科	1
消化器内科	6	腎臓外科	1
その他	6	血管外科	1
外科	5	血液内科	1
リウマチ内科	5	血液外来	1
リウマチ科	5	胃腸内科	1
婦人科	5	心臓内科	1
神経科	5	肝胆膵内科	1
腎臓内科	4	肛門科	1
てんかん	4	補聴器外来	1
胃腸科	4	糖尿病外来	1
麻酔科	4	カウンセリング	1
膠原病科	4	総合診療	1
児童精神科	3	口腔外科	1
腎臓科	3	針灸院	1
心臓外科	3	後遺症外来	1
糖尿病内科	2	定期検診	1
呼吸器科	2	IBD専門外来	1
脳神経内科	2		

<受診科の集計結果>

4. 区外の総合病院や大学病院

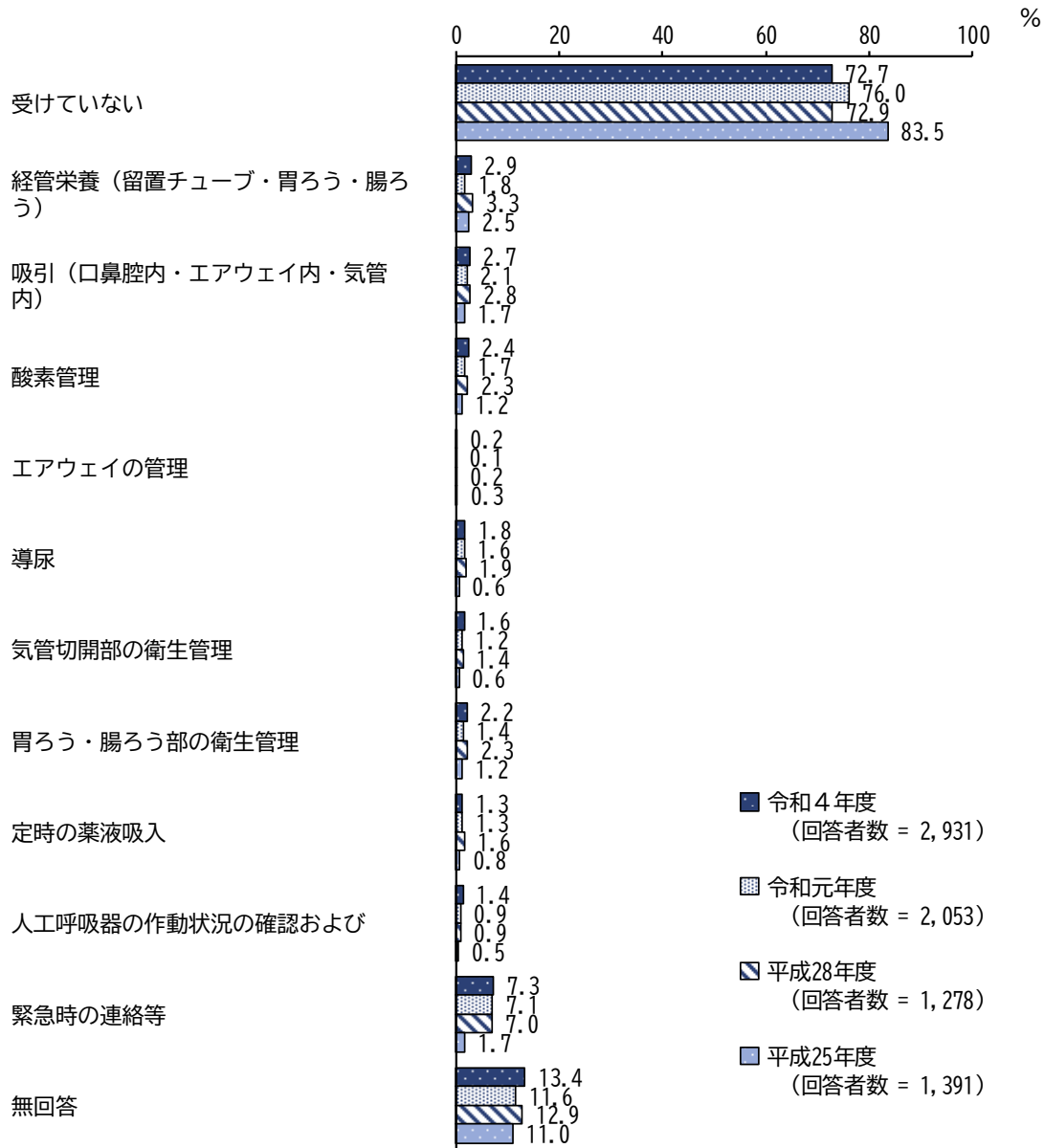
受診科名	件数	受診科名	件数
整形外科	117	大腸外科	3
医療機関名記載あり	80	乳腺外科	3
内科	75	乳腺外科	3
循環器内科	61	アレルギー科	2
眼科	49	ストーマ外来	2
循環器科	48	クリニック医院	2
脳神経外科	44	神経科	2
神経内科	44	胃腸科	2
脳神経内科	43	頭頸科	2
消化器内科	39	頭頸外科	2
腎臓内科	39	心臓ペースメーカー	2
泌尿器科	37	メンタルヘルス科	2
精神科	36	小児循環器科	2
小児科	27	脊椎脊髄外科	2
リウマチ科	26	内分泌代謝科	1
その他	21	内分泌内科	1
心臓血管外科	21	呼吸器外科	1
呼吸器内科	19	循環器外科	1
外科	18	膠原病外科	1
歯科	18	肛門科	1
消化器科	17	肛門大腸外科	1
膠原病内科	15	脳神経科	1
耳鼻咽喉科	14	化学療法科	1
リウマチ膠原内科	13	ダウン症外来	1
血液内科	13	脳下垂体外科	1
リハビリテーション科	12	血管外科	1
皮膚科	12	I B D科	1
糖尿病内科	11	ファブリー病専門外来	1
心臓内科	11	腫瘍内科	1
内分泌科	10	ゲノム診療科	1
膠原病科	10	神経内科	1
消化器外科	8	甲状腺科	1
腎臓科	8	フットケア科	1
婦人科	8	血液外来	1
呼吸器科	7	血液膠原病科	1
形成外科	7	神経小児科	1
がん	6	肝臓内科	1
リウマチ膠原病科	6	頭頸部・食道内科	1
麻酔科	5	児童精神科	1
小児外科	5	内視鏡科	1
値段等記載あり	4	難病科	1
遺伝子科	4	心臓専門医	1
総合内科	4	診療内科	1
腎臓外科	3	乳腺放射線	1
ペースメーカー外来	3	高血圧	1
移植外科	3	炎症性腸疾患科	1
口腔外科	3	血管外科	1
人工透析科	3	股関節センター	1
心療内科	3	医療介護	1

問 20 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「受けていない」の割合が72.7%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「受けていない」の割合が、知的障害で「受けていない」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「受けていない」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「受けていない」の割合が、視覚障害で「受けていない」の割合が低くなっています。

単位：％

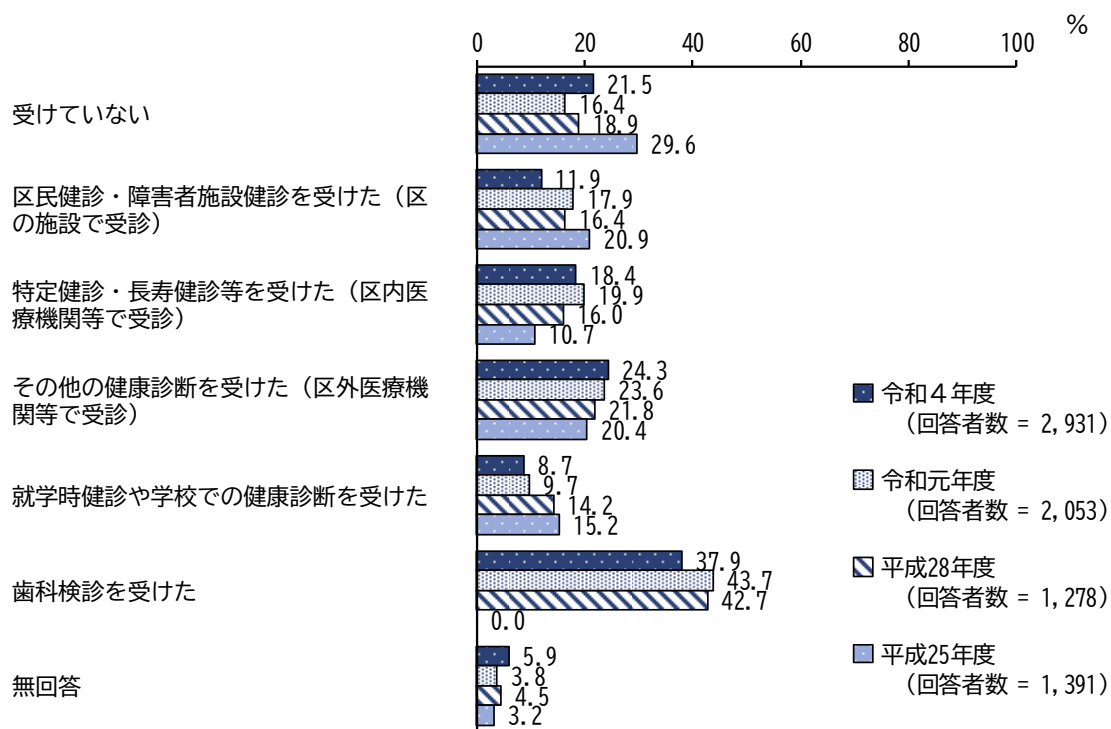
区分	回答者数 (件)	受けていない	経管栄養(留置チューブ・胃ろう・腸ろう)	吸引(口鼻腔内・エアウェイ内・気管内)	酸素管理	エアウェイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理	管理 胃ろう・腸ろう部の衛生	定時の薬液吸入	確認および 人工呼吸器の作動状況の	緊急時の連絡等	無回答
全 体	2931	72.7	2.9	2.7	2.4	0.2	1.8	1.6	2.2	1.3	1.4	7.3	13.4
視覚障害	138	65.2	4.3	5.1	2.2	0.7	4.3	4.3	3.6	2.9	2.2	8.7	16.7
聴覚・平衡機能障害	181	72.4	3.3	4.4	3.3	—	3.3	3.3	3.3	2.8	2.8	3.9	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	60.8	18.5	17.7	6.2	2.3	4.6	10.8	15.4	7.7	5.4	6.2	6.2
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	68.9	6.5	5.9	3.6	0.3	3.2	3.3	5.1	2.5	2.6	5.9	13.2
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	61.2	2.2	2.3	4.4	0.4	2.9	1.8	1.7	1.8	2.3	16.6	12.7
知的障害	417	82.7	3.1	3.8	2.2	0.5	0.7	2.2	2.2	1.7	1.9	4.8	8.2
発達障害	367	86.6	0.8	0.5	0.5	—	—	0.3	0.3	0.5	0.3	2.2	10.1
精神障害	145	73.8	0.7	1.4	0.7	0.7	—	—	2.1	1.4	—	7.6	15.2
高次脳機能障害	130	67.7	10.0	5.4	3.1	3.1	5.4	3.1	7.7	2.3	1.5	6.2	13.1
難病(特定疾病)	677	71.3	5.8	5.6	4.1	0.3	3.0	3.2	4.7	2.8	3.4	7.4	11.2
その他	95	71.6	3.2	1.1	2.1	—	1.1	1.1	—	—	1.1	16.8	8.4

問 21 あなたは、過去1年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

「歯科検診を受けた」の割合が37.9%と最も高く、次いで「その他の健康診断を受けた(区外医療機関等で受診)」の割合が24.3%、「受けていない」の割合が21.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「受けていない」の割合が増加しています。一方、「区民健診・障害者施設健診を受けた(区の施設で受診)」「歯科検診を受けた」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「歯科検診を受けた」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」の割合が、高次脳機能障害で「受けていない」の割合が高くなっています。また、知的障害で「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」の割合が、発達障害で「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」「その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）」の割合が低くなっています。

単位：％

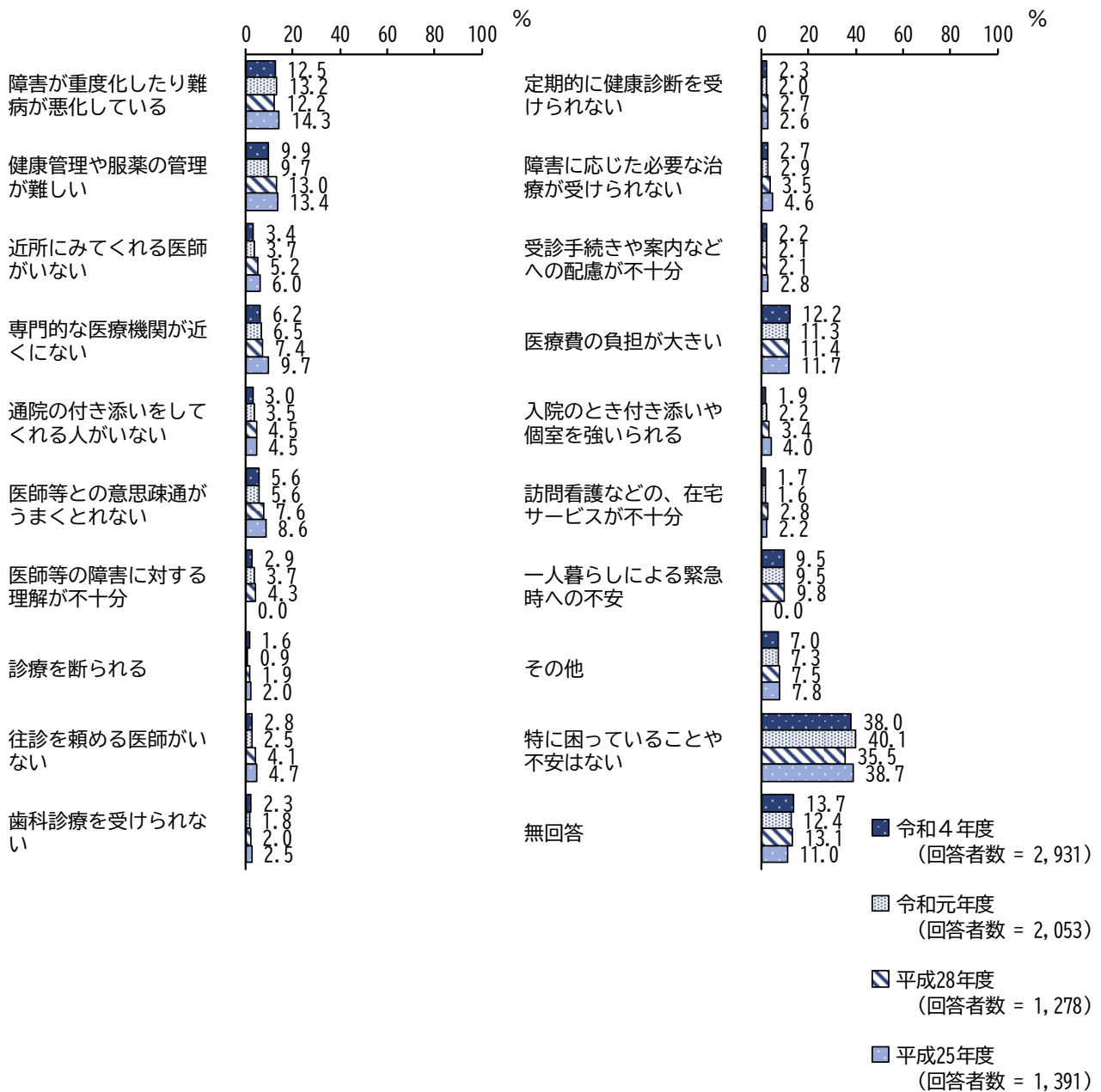
区分	回答者数（件）	受けていない	区民健診・障害者施設健診を受けた（区の施設で受診）	特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）	その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）	就学時健診や学校での健康診断を受けた	歯科検診を受けた	無回答
全 体	2931	21.5	11.9	18.4	24.3	8.7	37.9	5.9
視覚障害	138	22.5	14.5	23.2	25.4	5.8	35.5	5.1
聴覚・平衡機能障害	181	16.0	14.4	28.7	22.1	6.1	39.8	7.2
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.1	11.5	22.3	23.1	8.5	39.2	5.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	22.4	12.1	23.3	22.8	4.2	40.2	5.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	24.1	8.8	21.5	26.3	3.0	35.9	6.2
知的障害	417	12.9	21.8	4.1	20.1	26.6	50.6	2.6
発達障害	367	15.5	9.5	5.4	14.4	39.5	46.0	5.4
精神障害	145	29.0	15.9	19.3	19.3	2.1	29.7	4.8
高次脳機能障害	130	31.5	9.2	23.1	18.5	—	36.9	6.9
難病（特定疾病）	677	27.5	8.6	17.0	27.3	2.8	34.6	5.5
その他	95	22.1	12.6	16.8	25.3	10.5	37.9	5.3

問 22 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特に困っていることや不安はない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「障害が重度化したり難病が悪化している」の割合が12.5%、「医療費の負担が大きい」の割合が12.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「障害が重度化したり難病が悪化している」の割合が、視覚障害で「障害が重度化したり難病が悪化している」の割合が、精神障害で「医療費の負担が大きい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「障害が重度化したり難病が悪化している」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「特に困っていることや不安はない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「特に困っていることや不安はない」の割合が、精神障害で「特に困っていることや不安はない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	障害が重度化したり難病が悪化している	健康管理や服薬の管理が難しい	近所にみえてくれる医師がいない	専門的な医療機関が近くにない	通院の付き添いをしてくれる人がいない	医師等との意思疎通がうまくとれない	医師等の障害に対する理解が不十分	診療を断られる	往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない
全体	2931	12.5	9.9	3.4	6.2	3.0	5.6	2.9	1.6	2.8	2.3
視覚障害	138	21.0	8.7	4.3	5.8	6.5	4.3	0.7	1.4	4.3	3.6
聴覚・平衡機能障害	181	12.7	10.5	2.8	5.5	5.0	9.4	6.1	1.1	4.4	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	20.0	10.8	1.5	5.4	3.8	13.8	3.8	3.1	5.4	1.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	16.6	8.7	3.6	7.4	4.0	5.4	3.6	1.8	3.9	2.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	10.8	6.3	3.0	3.6	2.5	2.9	1.7	1.4	3.0	1.5
知的障害	417	6.0	23.7	5.0	11.0	4.8	18.2	7.0	4.6	4.6	5.3
発達障害	367	3.5	17.2	4.9	10.4	3.8	12.0	6.0	5.2	2.5	4.4
精神障害	145	16.6	26.9	2.8	6.2	6.2	7.6	4.8	2.8	2.1	4.1
高次脳機能障害	130	12.3	12.3	2.3	4.6	3.8	11.5	2.3	1.5	2.3	2.3
難病（特定疾病）	677	26.3	11.4	3.7	7.8	3.5	3.5	2.1	0.7	2.7	1.8
その他	95	7.4	8.4	2.1	3.2	4.2	4.2	2.1	1.1	3.2	2.1

単位：%

区分	定期的に健康診断を受けられない	障害に応じた必要な治療が受けられない	受診手続きや案内などへの配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや個室を強いられる	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	一人暮らしによる緊急時への不安	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
全体	2.3	2.7	2.2	12.2	1.9	1.7	9.5	7.0	38.0	13.7
視覚障害	—	2.9	3.6	9.4	3.6	1.4	12.3	10.1	23.2	15.9
聴覚・平衡機能障害	1.7	2.8	3.9	12.7	1.7	1.1	10.5	5.5	28.7	18.8
音声・言語・そしゃく機能障害	6.2	6.9	2.3	14.6	3.8	3.1	8.5	12.3	26.2	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	2.9	3.6	1.8	12.4	2.5	2.9	10.7	8.0	34.4	13.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1.9	1.2	1.5	11.9	1.1	1.7	10.3	6.3	45.1	12.4
知的障害	2.6	6.0	6.2	7.0	7.0	1.7	4.1	6.5	30.5	13.7
発達障害	4.1	6.5	6.0	7.9	3.8	1.4	5.4	7.4	40.9	13.1
精神障害	6.2	1.4	2.8	20.7	3.4	5.5	23.4	6.9	28.3	8.3
高次脳機能障害	6.2	7.7	3.8	16.9	3.8	1.5	7.7	5.4	30.0	16.2
難病（特定疾病）	2.1	1.8	1.5	18.5	1.8	1.6	10.2	9.6	30.9	9.3
その他	2.1	1.1	1.1	16.8	—	1.1	12.6	11.6	41.1	11.6

前ページの続き 表

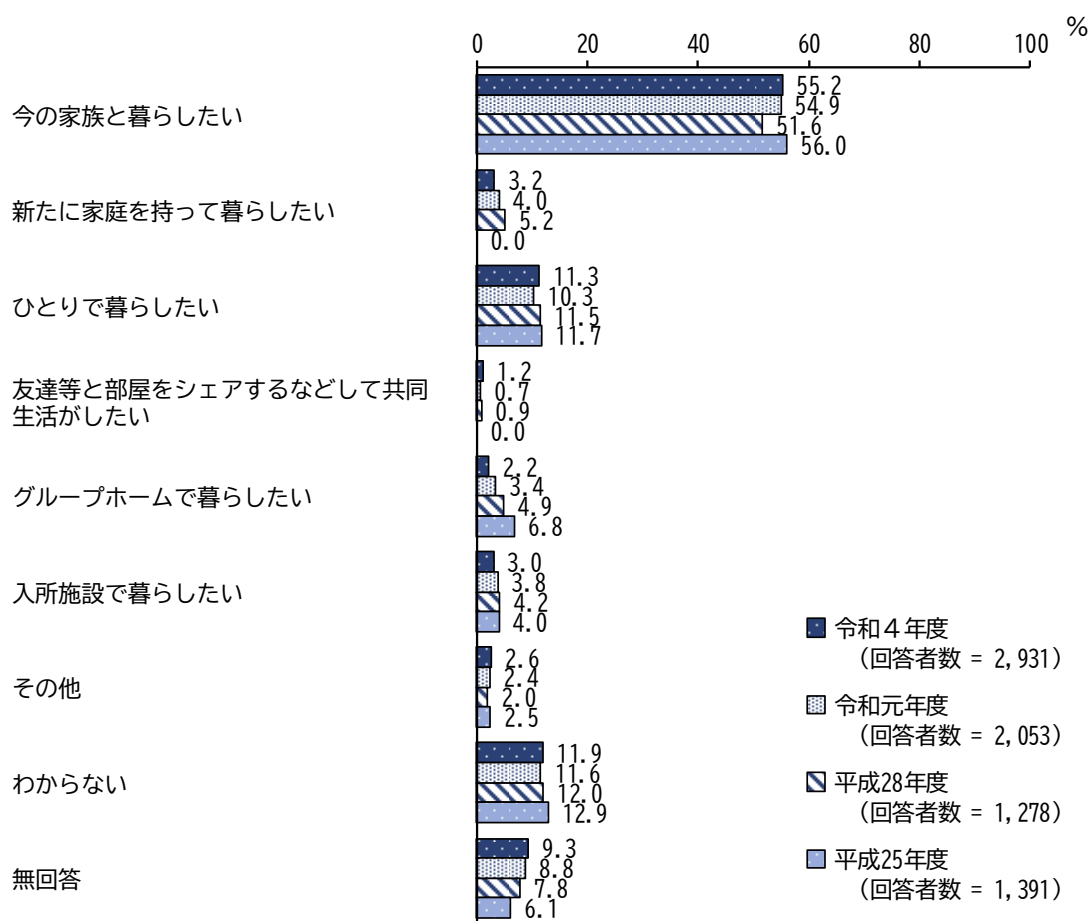
(5) あなたの住まいや暮らし方について

問23 あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが18歳未満の場合は、18歳以降のことを想定してお答えください。(1つに○)

「今の家族と暮らしたい」の割合が55.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が11.9%、「ひとりで暮らしたい」の割合が11.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「ひとりで暮らしたい」の割合が、その他で「わからない」の割合が、発達障害で「わからない」の割合が高くなっています。また、精神障害で「今の家族と暮らしたい」の割合が、その他で「今の家族と暮らしたい」の割合が、発達障害で「今の家族と暮らしたい」の割合が低くなっています。

単位：％

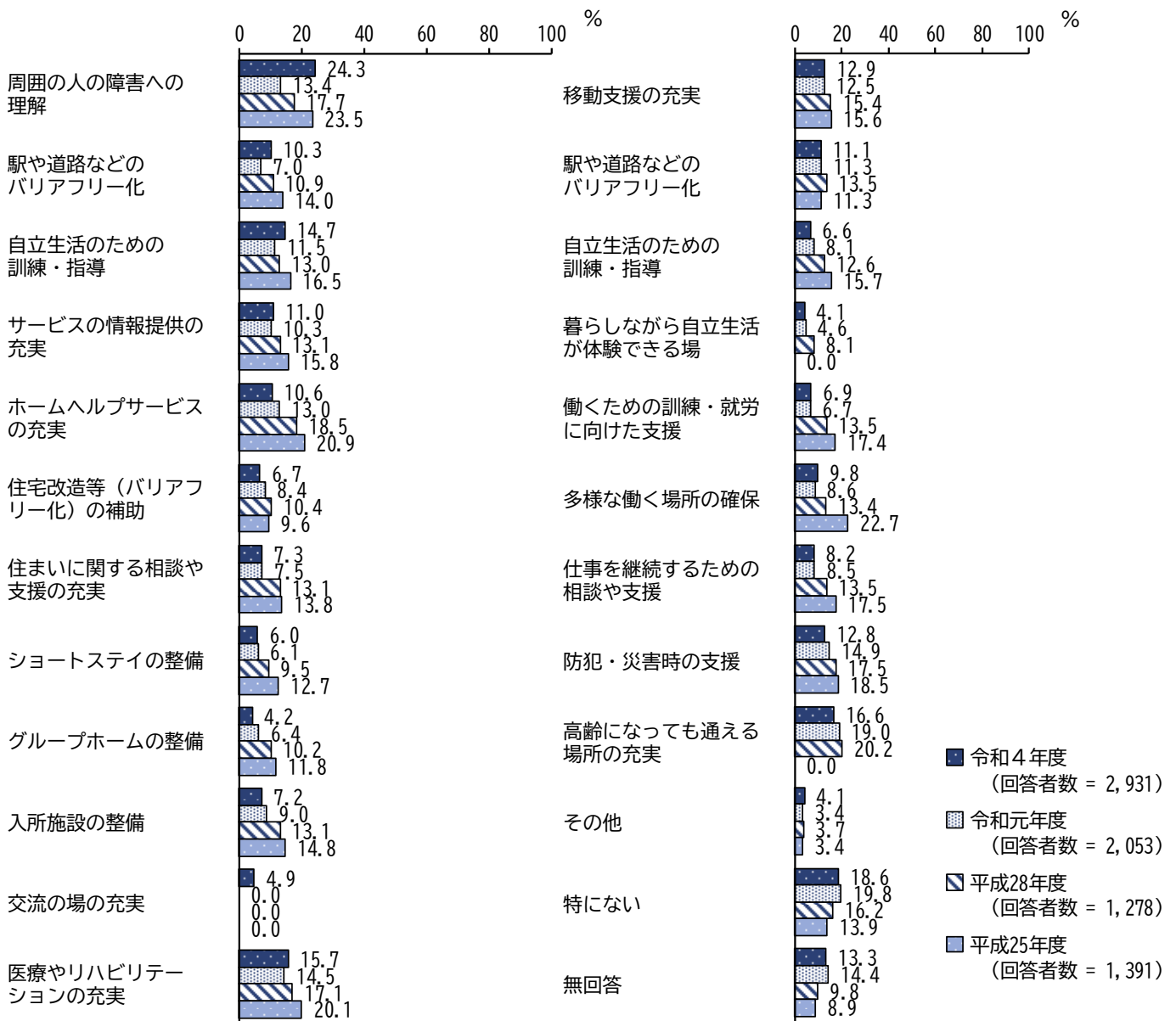
区分	回答者数 (件)	今の家族と暮らしたい	新たに家庭を持って暮らしたい	ひとりで暮らしたい	友達等と部屋をシェアするなどして共同生活がしたい	グループホームで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全 体	2931	55.2	3.2	11.3	1.2	2.2	3.0	2.6	11.9	9.3
視覚障害	138	53.6	2.9	7.2	—	3.6	1.4	5.1	13.0	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	53.0	3.3	11.0	1.7	1.1	2.2	4.4	11.6	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	56.2	3.1	6.9	1.5	1.5	2.3	3.8	16.2	8.5
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	54.5	2.1	11.2	1.0	1.5	4.0	3.2	12.8	9.7
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	63.6	2.5	10.1	0.8	1.1	3.7	2.9	7.7	7.6
知的障害	417	48.2	2.4	7.2	2.6	12.0	4.6	0.7	15.1	7.2
発達障害	367	45.8	4.9	10.9	1.1	3.8	1.9	0.8	21.8	9.0
精神障害	145	29.0	11.0	26.2	1.4	2.8	2.8	4.1	11.0	11.7
高次脳機能障害	130	60.8	1.5	6.2	1.5	1.5	6.2	0.8	9.2	12.3
難病(特定疾病)	677	61.3	3.0	12.1	1.8	0.3	2.1	2.2	9.9	7.4
その他	95	42.1	3.2	13.7	1.1	2.1	2.1	4.2	24.2	7.4

問 24 あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(5つまで○)

「周囲の人の障害への理解」の割合が24.3%と最も高く、次いで「特にない」の割合が18.6%、「高齢になっても通える場所の充実」の割合が16.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「周囲の人の障害への理解」の割合が増加しています。



※前回は「交流の場の充実」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「財産管理や見守り等の支援」の割合が、発達障害で「周囲の人の障害への理解」の割合が、精神障害で「周囲の人の障害への理解」の割合が高くなっています。また、発達障害で「駅や道路などのバリアフリー化」「医療やリハビリテーションの充実」の割合が、知的障害で「駅や道路などのバリアフリー化」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	サービスの充実	ホームヘルプサービスの充実	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	シヨートステイの整備	グループホームの整備	入所施設の整備	交流の場の充実	医療やリハビリテーションの充実
全体	2931	24.3	10.3	14.7	11.0	10.6	6.7	7.3	6.0	4.2	7.2	4.9	15.7
視覚障害	138	23.9	9.4	13.8	10.9	13.0	9.4	4.3	8.7	7.2	10.9	6.5	15.2
聴覚・平衡機能障害	181	30.9	5.5	14.4	10.5	11.0	6.6	7.2	8.8	3.9	11.0	6.1	19.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.1	10.8	11.5	14.6	20.0	6.9	9.2	13.1	6.2	13.8	—	31.5
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	19.5	7.0	11.5	11.0	15.1	10.9	8.3	7.9	3.4	8.7	3.9	22.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	18.3	4.3	12.0	11.6	8.7	7.7	6.9	5.4	1.9	6.8	3.9	17.8
知的障害	417	40.8	35.7	19.7	7.9	13.9	2.2	4.3	17.3	20.9	19.2	6.2	9.8
発達障害	367	42.5	25.1	22.9	9.3	5.7	1.1	5.7	7.4	8.2	9.5	7.4	7.6
精神障害	145	42.1	17.2	26.2	10.3	12.4	2.1	11.0	4.1	8.3	6.9	13.8	15.2
高次脳機能障害	130	23.8	16.2	16.2	9.2	13.1	7.7	6.9	13.1	3.8	12.3	6.2	33.1
難病(特定疾病)	677	22.2	6.9	14.5	13.0	12.3	8.7	8.1	4.6	1.8	4.0	4.0	19.4
その他	95	16.8	4.2	12.6	9.5	9.5	2.1	6.3	1.1	2.1	3.2	5.3	11.6

単位：%

区分	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	暮らしながら自立生活が体験できる場	働くための訓練・就労に向けた支援	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	高齢になっても通える場所の充実	その他	特にない	無回答
全 体	12.9	11.1	6.6	4.1	6.9	9.8	8.2	12.8	16.6	4.1	18.6	13.3
視覚障害	19.6	19.6	5.1	2.2	2.9	6.5	3.6	18.1	13.8	6.5	8.7	13.0
聴覚・平衡機能障害	13.3	8.3	4.4	2.2	3.9	9.9	3.3	20.4	21.0	2.2	11.0	16.0
音声・言語・そしゃく機能障害	13.8	13.1	6.2	1.5	4.6	6.9	6.2	19.2	16.2	6.2	11.5	14.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	15.5	20.2	5.0	3.0	2.6	4.8	4.2	15.1	16.5	4.5	16.2	14.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	12.3	11.3	2.8	2.5	2.9	6.6	5.0	13.5	16.7	3.9	25.8	10.5
知的障害	20.6	1.7	18.7	11.0	14.6	14.6	12.9	11.0	22.3	4.6	5.5	14.9
発達障害	12.5	1.1	21.0	12.3	24.3	25.9	18.5	10.9	12.8	6.0	7.4	13.6
精神障害	10.3	4.8	11.0	8.3	18.6	17.2	21.4	15.9	23.4	8.3	6.2	11.0
高次脳機能障害	16.9	24.6	10.0	2.3	9.2	5.4	3.8	13.8	20.0	7.7	8.5	16.2
難病（特定疾病）	12.9	11.5	3.7	1.9	5.0	10.2	8.9	12.0	14.8	5.2	21.6	10.9
その他	5.3	9.5	6.3	3.2	3.2	4.2	4.2	8.4	21.1	6.3	29.5	13.7

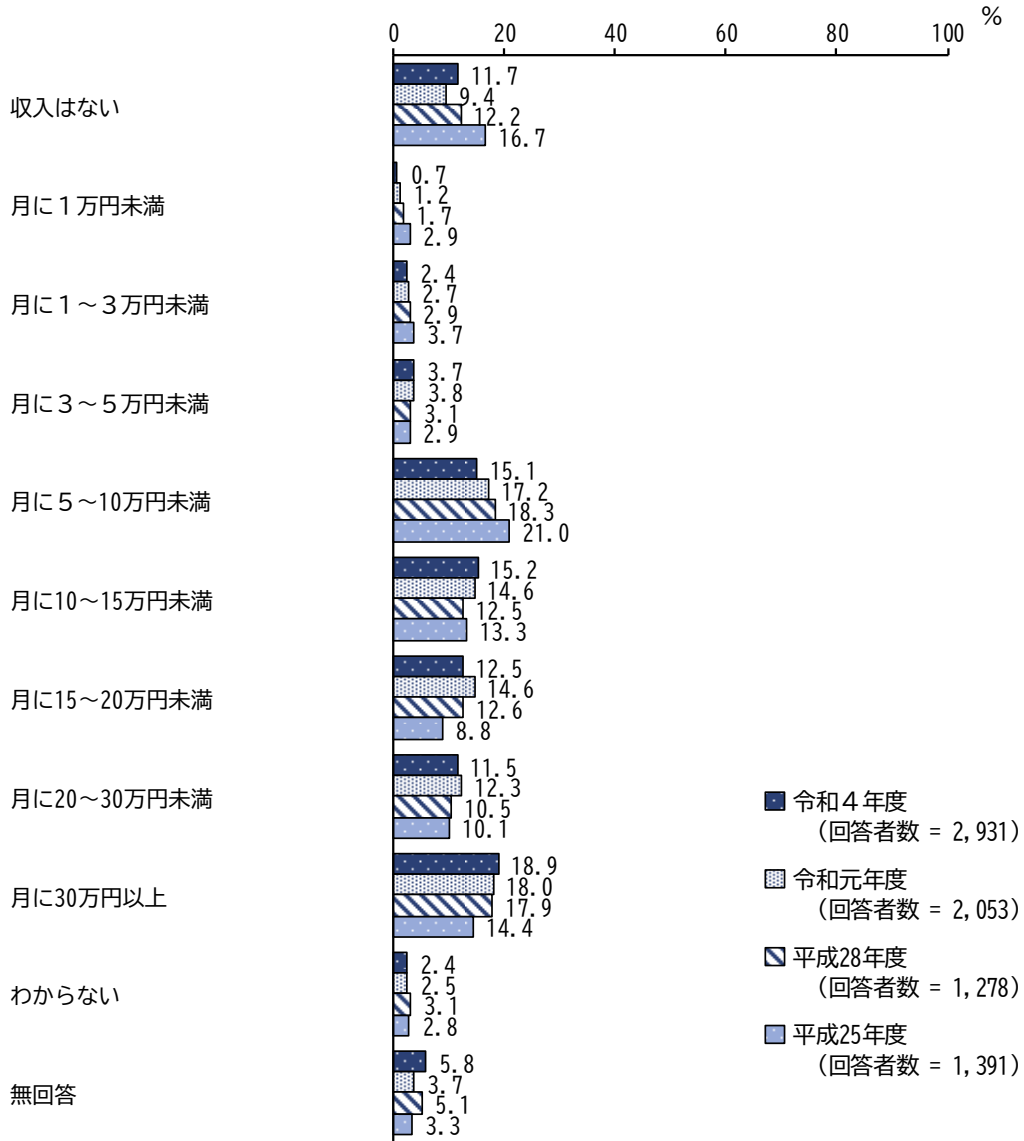
前ページの続き 表

問 25 あなたお一人の1か月の平均収入（税込み）はどのくらいですか。（1つに○）

「月に30万円以上」の割合が18.9%と最も高く、次いで「月に10～15万円未満」の割合が15.2%、「月に5～10万円未満」の割合が15.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「月に30万円以上」「収入はない」の割合が、その他で「月に10～15万円未満」の割合が高くなっています。また、精神障害で「月に30万円以上」の割合が、発達障害で「月に15～20万円未満」「月に5～10万円未満」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	収入はない	月に1万円未満	月に1～3万円未満	月に3～5万円未満	月に5～10万円未満	月に10～15万円未満	月に15～20万円未満	月に20～30万円未満	月に30万円以上	わからない	無回答
全 体	2931	11.7	0.7	2.4	3.7	15.1	15.2	12.5	11.5	18.9	2.4	5.8
視覚障害	138	10.9	—	2.9	2.2	19.6	17.4	9.4	8.7	14.5	5.8	8.7
聴覚・平衡機能障害	181	11.0	1.7	2.8	7.7	12.7	17.7	13.3	11.0	14.9	1.1	6.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	11.5	0.8	1.5	3.1	11.5	14.6	15.4	10.8	24.6	2.3	3.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	11.3	0.9	2.1	3.7	17.5	17.8	12.9	10.9	15.3	2.0	5.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	8.0	0.3	1.5	3.9	14.9	15.2	16.4	13.8	20.4	1.8	3.9
知的障害	417	13.7	1.2	3.1	1.4	18.0	16.8	8.2	8.2	21.1	4.1	4.3
発達障害	367	19.1	0.5	3.0	1.1	7.9	9.5	4.9	12.0	30.0	4.6	7.4
精神障害	145	15.9	4.1	6.2	5.5	20.7	20.0	5.5	5.5	7.6	1.4	7.6
高次脳機能障害	130	13.1	0.8	1.5	4.6	14.6	19.2	14.6	10.8	12.3	3.1	5.4
難病(特定疾病)	677	13.0	0.3	3.7	4.0	14.5	12.6	13.6	11.7	20.8	2.5	3.4
その他	95	12.6	1.1	3.2	3.2	13.7	21.1	12.6	8.4	14.7	3.2	6.3

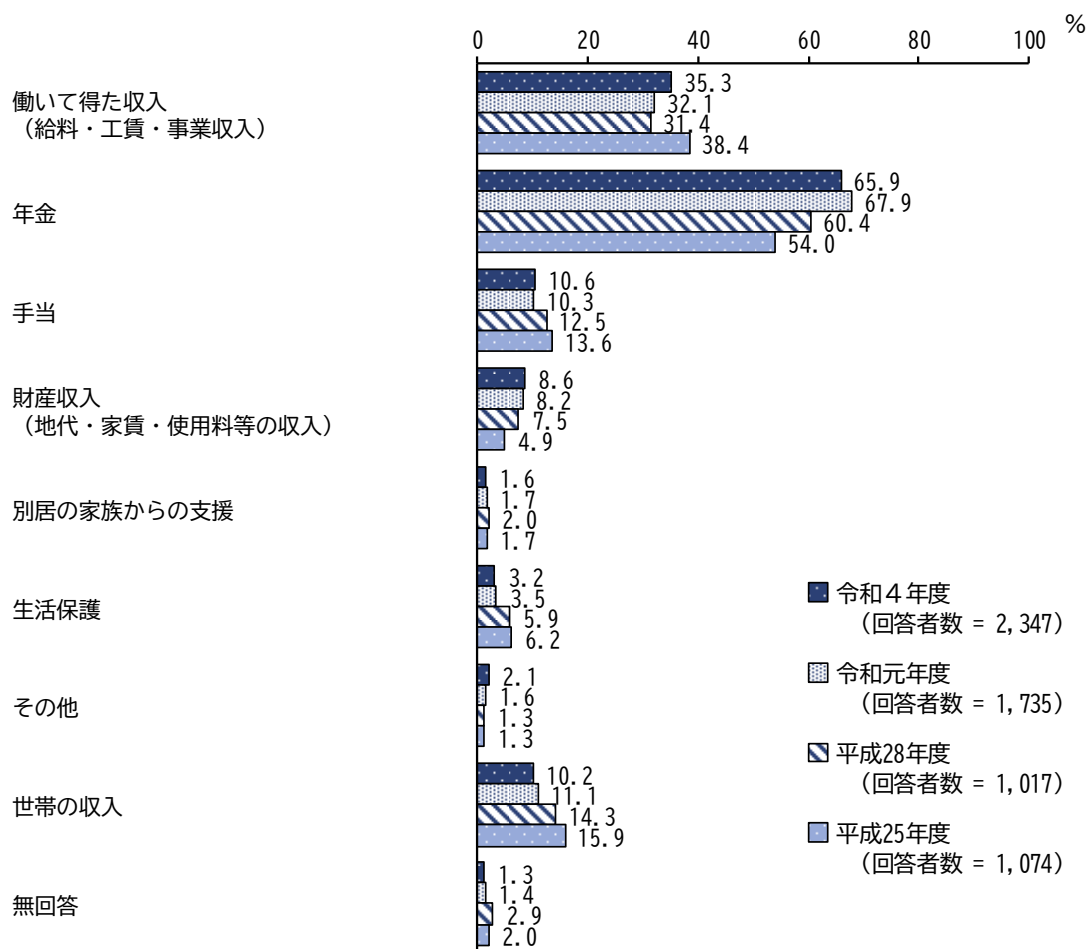
問 25 で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします

問 25-1 あなたの収入の種類はどれですか。(あてはまるものすべてに○) 18 歳未満の場合は、「8. 世帯の収入」に○をつけてください。

「年金」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」の割合が 35.3%、「手当」の割合が 10.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「世帯の収入」の割合が、高次脳機能障害で「年金」の割合が、知的障害で「世帯の収入」の割合が高くなっています。また、発達障害で「年金」の割合が、知的障害で「年金」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)	年金	手当	財産収入(地代・家賃・ 使用料等の収入)	別居の家族からの支 援	生活保護	その他	世帯の収入	無回答
全 体	2347	35.3	65.9	10.6	8.6	1.6	3.2	2.1	10.2	1.3
視覚障害	103	23.3	69.9	10.7	6.8	1.0	4.9	2.9	9.7	1.9
聴覚・平衡機能障害	148	19.6	74.3	8.8	4.1	3.4	4.1	2.0	8.1	0.7
音声・言語・そしゃく機 能障害	107	20.6	75.7	11.2	15.0	0.9	2.8	8.4	11.2	—
肢体不自由(上肢・下肢・ 体幹・脳性麻痺・移動機 能障害等)	737	24.6	77.6	11.4	8.7	1.9	3.5	3.3	6.5	0.8
内部障害(心臓、じん臓、 呼吸器、肝臓、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫機能等)	626	31.0	74.6	6.5	12.6	1.0	2.6	1.8	3.8	1.9
知的障害	325	45.2	49.2	23.4	1.8	0.9	1.8	0.6	29.5	1.5
発達障害	253	39.9	29.6	8.7	0.8	1.6	2.4	0.8	44.7	0.8
精神障害	109	45.9	63.3	7.3	7.3	5.5	16.5	7.3	4.6	1.8
高次脳機能障害	102	22.5	87.3	9.8	10.8	2.9	2.9	4.9	6.9	—
難病(特定疾病)	549	44.1	58.8	14.9	9.1	2.4	2.2	1.3	5.6	0.9
その他	74	24.3	71.6	6.8	5.4	—	6.8	2.7	13.5	—

(6) 日中の活動について

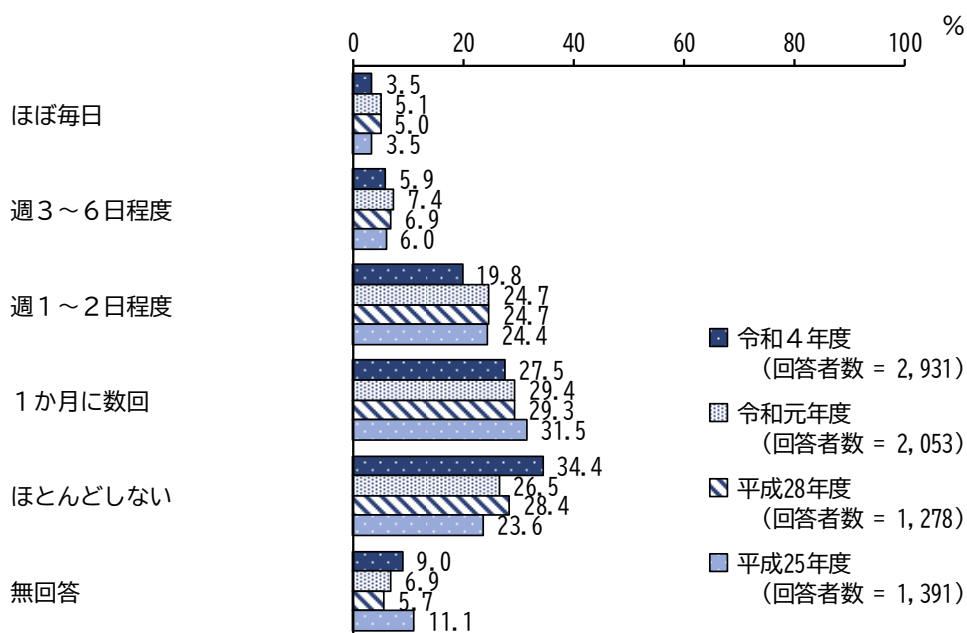
問26 あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。
(それぞれ1つに○)

①レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出

「ほとんどしない」の割合が34.4%と最も高く、次いで「1か月に数回」の割合が27.5%、「週1～2日程度」の割合が19.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「ほとんどしない」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳未満で「週1～2日程度」の割合が、90歳以上で「ほとんどしない」の割合が、20歳～29歳で「週1～2日程度」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「ほとんどしない」の割合が、10歳～19歳で「ほとんどしない」の割合が、20歳～29歳で「ほとんどしない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～6日程度	週1～2日程度	1か月に数回	ほとんどしない	無回答
全 体	2931	3.5	5.9	19.8	27.5	34.4	9.0
10歳未満	172	2.9	8.1	49.4	27.3	8.7	3.5
10歳～19歳	167	5.4	6.6	30.5	35.9	19.2	2.4
20歳～29歳	123	6.5	7.3	35.8	29.3	19.5	1.6
30歳～39歳	169	3.6	3.0	26.0	40.8	20.7	5.9
40歳～49歳	236	5.5	4.2	21.2	33.9	31.4	3.8
50歳～59歳	359	3.9	6.1	20.6	28.1	37.3	3.9
60歳～69歳	429	3.5	7.7	14.2	34.0	33.6	7.0
70歳～79歳	556	1.8	6.7	14.7	24.8	39.7	12.2
80歳～89歳	513	3.3	5.3	13.1	19.1	44.4	14.8
90歳以上	155	2.6	2.6	9.0	12.9	58.1	14.8

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「ほとんどしない」の割合が、発達障害で「週1～2日程度」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。また、発達障害で「ほとんどしない」の割合が、高次脳機能障害で「週1～2日程度」の割合が、知的障害で「ほとんどしない」の割合が低くなっています。

単位：%

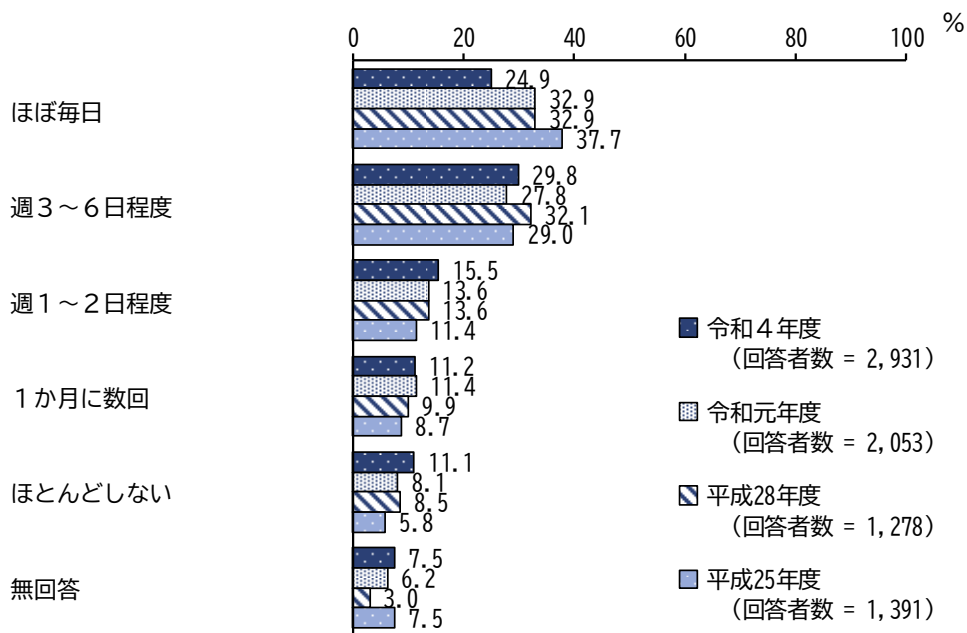
区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～6日程度	週1～2日程度	1か月に数回	ほとんどしない	無回答
全 体	2931	3.5	5.9	19.8	27.5	34.4	9.0
視覚障害	138	2.2	5.8	13.0	26.1	40.6	12.3
聴覚・平衡機能障害	181	8.3	3.9	19.3	19.3	38.1	11.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	0.8	6.2	11.5	27.7	46.2	7.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	1.7	5.2	16.0	24.8	42.7	9.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	4.0	6.6	18.2	28.3	35.2	7.7
知的障害	417	3.1	4.8	27.6	33.3	25.2	6.0
発達障害	367	4.6	6.5	34.6	30.2	18.5	5.4
精神障害	145	4.1	3.4	15.9	26.9	42.8	6.9
高次脳機能障害	130	—	5.4	8.5	23.1	50.0	13.1
難病（特定疾病）	677	3.2	5.5	15.8	29.1	38.4	8.0
その他	95	2.1	7.4	17.9	28.4	37.9	6.3

②買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出

「週3～6日程度」の割合が29.8%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が24.9%、「週1～2日程度」の割合が15.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳～19歳で「ほぼ毎日」の割合が、90歳以上で「ほとんどしない」の割合が、10歳未満で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「ほぼ毎日」「週3～6日程度」の割合が、80歳～89歳で「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～6日程度	週1～2日程度	1か月に数回	ほとんどしない	無回答
全 体	2931	24.9	29.8	15.5	11.2	11.1	7.5
10歳未満	172	47.7	39.0	5.2	2.3	3.5	2.3
10歳～19歳	167	53.3	35.3	3.0	4.8	1.2	2.4
20歳～29歳	123	37.4	45.5	6.5	4.9	3.3	2.4
30歳～39歳	169	38.5	39.1	8.9	5.9	4.1	3.6
40歳～49歳	236	35.2	26.3	13.6	9.3	9.7	5.9
50歳～59歳	359	32.0	36.5	14.2	7.0	6.7	3.6
60歳～69歳	429	24.0	28.9	17.5	14.5	8.4	6.8
70歳～79歳	556	15.8	27.5	22.1	14.2	11.5	8.8
80歳～89歳	513	9.0	23.8	20.5	14.8	19.3	12.7
90歳以上	155	3.2	13.5	15.5	19.4	37.4	11.0

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「ほぼ毎日」の割合が、高次脳機能障害で「ほとんどしない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「ほぼ毎日」の割合が、発達障害で「週1～2日程度」の割合が、知的障害で「週1～2日程度」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3～6日程度	週1～2日程度	1か月に数回	ほとんどしない	無回答
全 体	2931	24.9	29.8	15.5	11.2	11.1	7.5
視覚障害	138	20.3	23.9	15.2	13.0	14.5	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	20.4	20.4	22.7	11.6	17.1	7.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	17.7	25.4	16.9	9.2	26.2	4.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	15.6	25.2	19.2	14.0	18.5	7.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	20.6	35.4	14.5	11.4	10.9	7.2
知的障害	417	37.6	40.3	5.8	5.3	6.5	4.6
発達障害	367	42.5	36.8	5.4	4.6	5.2	5.4
精神障害	145	26.2	40.0	10.3	10.3	6.2	6.9
高次脳機能障害	130	10.0	26.9	13.1	12.3	27.7	10.0
難病（特定疾病）	677	19.8	29.1	17.4	14.2	12.7	6.8
その他	95	25.3	26.3	11.6	12.6	14.7	9.5

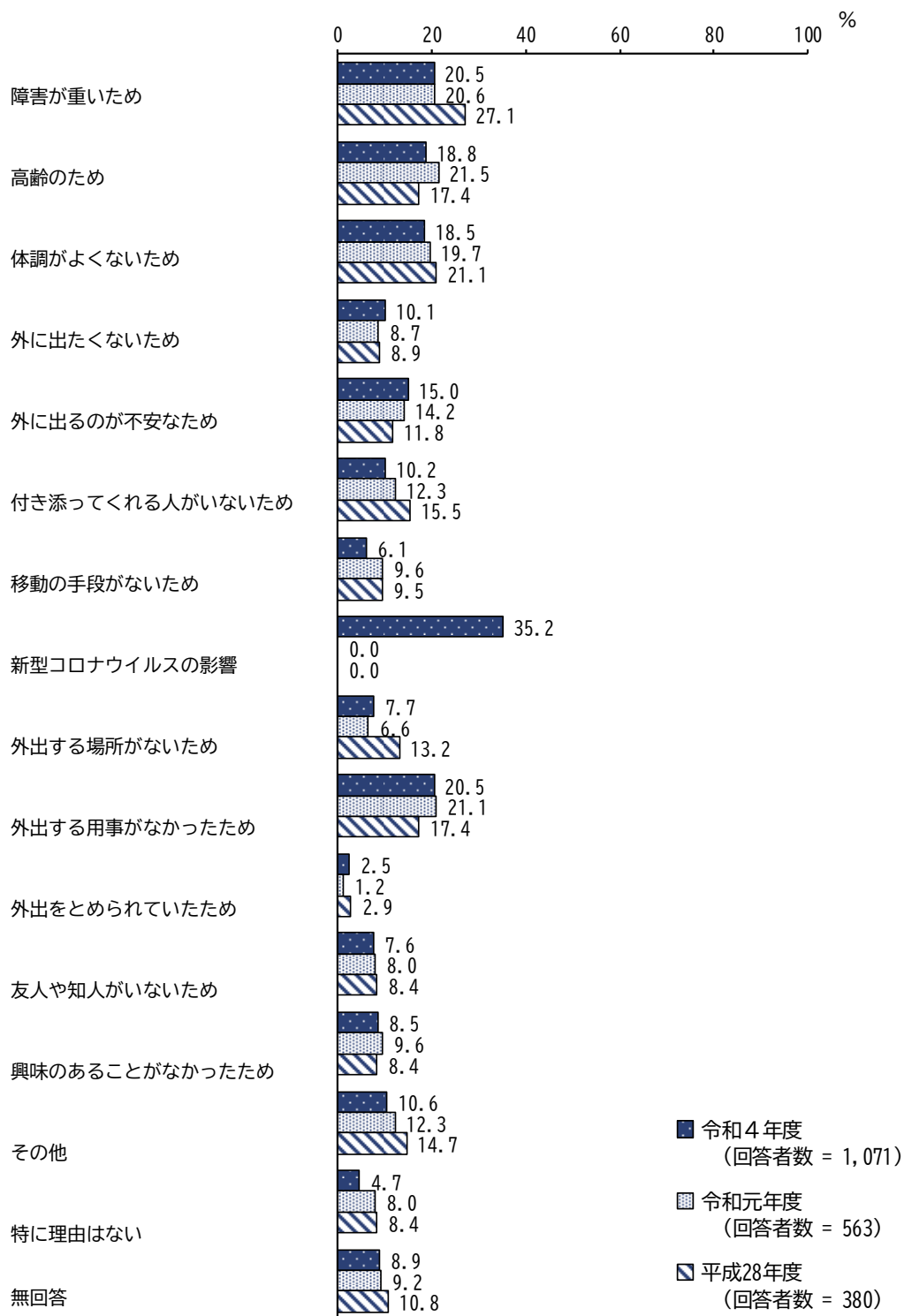
問 26 で「5. ほとんどしない」とお答えの方におたずねします。

問 26-1 外出しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「新型コロナウイルスの影響」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「障害が重いため」、「外出する用事がなかったため」の割合が 20.5%となっています。

【経年比較】

「新型コロナウイルスの影響」を除くと、令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「新型コロナウイルスの影響」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、90歳以上で「高齢のため」の割合が、80歳～89歳で「高齢のため」の割合が、30歳～39歳で「新型コロナウイルスの影響」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「障害が重いため」の割合が、60歳～69歳で「高齢のため」の割合が、10歳未満で「体調がよくないため」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害が重いため	高齢のため	体調がよくないため	外に出たくないため	外に出るのが不安なため	付き添ってくれる人がいないため	移動の手段がないため	新型コロナウイルスの影響
全体	1071	20.5	18.8	18.5	10.1	15.0	10.2	6.1	35.2
10歳未満	18	22.2	—	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	44.4
10歳～19歳	33	27.3	—	6.1	18.2	18.2	24.2	15.2	39.4
20歳～29歳	26	26.9	—	11.5	15.4	19.2	7.7	7.7	38.5
30歳～39歳	38	5.3	—	18.4	13.2	13.2	13.2	—	50.0
40歳～49歳	76	17.1	—	18.4	13.2	14.5	6.6	5.3	38.2
50歳～59歳	138	12.3	—	19.6	8.7	18.8	11.6	4.3	36.2
60歳～69歳	149	18.8	4.7	16.1	10.1	13.4	6.7	3.4	33.6
70歳～79歳	231	23.8	12.6	19.5	9.5	12.1	8.2	6.5	34.6
80歳～89歳	247	24.3	42.1	24.3	10.1	15.4	12.1	8.9	32.8
90歳以上	104	21.2	57.7	14.4	5.8	17.3	11.5	4.8	34.6

区分	外出する場所がないため	外出する用事がないため	外出をとめられていたため	友人や知人がいないため	興味のあることがなかったため	その他	特に理由はない	無回答
全体	7.7	20.5	2.5	7.6	8.5	10.6	4.7	8.9
10歳未満	5.6	11.1	—	—	—	27.8	5.6	11.1
10歳～19歳	21.2	33.3	3.0	15.2	12.1	—	3.0	3.0
20歳～29歳	19.2	26.9	—	34.6	19.2	23.1	—	3.8
30歳～39歳	15.8	23.7	—	5.3	13.2	5.3	2.6	13.2
40歳～49歳	13.2	26.3	2.6	14.5	7.9	15.8	3.9	10.5
50歳～59歳	8.7	25.4	0.7	10.9	13.8	10.9	6.5	8.0
60歳～69歳	6.0	18.1	1.3	7.4	6.0	9.4	6.7	10.1
70歳～79歳	5.2	21.2	2.6	2.6	6.5	12.6	3.9	9.1
80歳～89歳	5.7	14.6	4.0	6.5	7.3	8.1	5.7	6.1
90歳以上	6.7	22.1	4.8	4.8	8.7	9.6	1.9	11.5

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「障害が重いため」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「高齢のため」の割合が、高次脳機能障害で「障害が重いため」の割合が高くなっています。また、知的障害で「高齢のため」の割合が、精神障害で「高齢のため」の割合が、発達障害で「高齢のため」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	障害が重いため	高齢のため	体調がよくないため	外に出たくないため	外に出るのが不安なため	付き添ってくれる人がいないため	移動の手段がないため	新型コロナウイルスの影響
全体	1071	20.5	18.8	18.5	10.1	15.0	10.2	6.1	35.2
視覚障害	60	35.0	30.0	11.7	11.7	13.3	20.0	6.7	30.0
聴覚・平衡機能障害	76	25.0	47.4	23.7	9.2	21.1	11.8	5.3	31.6
音声・言語・そしゃく機能障害	69	52.2	7.2	26.1	8.7	10.1	10.1	11.6	31.9
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	421	31.8	17.6	17.8	7.8	16.2	12.6	9.5	35.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	274	17.5	27.7	22.6	9.1	13.5	10.6	6.9	39.1
知的障害	112	22.3	2.7	10.7	11.6	12.5	12.5	6.3	42.0
発達障害	77	14.3	3.9	13.0	18.2	18.2	11.7	3.9	32.5
精神障害	62	6.5	3.2	29.0	29.0	29.0	12.9	3.2	25.8
高次脳機能障害	72	45.8	8.3	13.9	4.2	12.5	18.1	12.5	27.8
難病(特定疾病)	271	27.3	15.5	25.5	9.2	17.7	8.9	7.4	36.9
その他	41	12.2	41.5	19.5	4.9	17.1	4.9	7.3	36.6

単位：%

区分	外出する場所がないため	外出する用事がないため	外出をとめられていたため	友人や知人がいないため	興味のあることがなかったため	その他	特に理由はない	無回答
全体	7.7	20.5	2.5	7.6	8.5	10.6	4.7	8.9
視覚障害	6.7	11.7	—	6.7	6.7	13.3	6.7	11.7
聴覚・平衡機能障害	9.2	18.4	3.9	13.2	7.9	7.9	3.9	9.2
音声・言語・そしゃく機能障害	10.1	18.8	—	4.3	8.7	5.8	—	8.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	9.3	20.9	3.1	7.6	7.1	7.8	3.1	5.9
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	6.2	20.1	2.6	5.1	8.0	11.7	5.5	9.1
知的障害	15.2	21.4	0.9	13.4	11.6	8.0	4.5	9.8
発達障害	11.7	23.4	1.3	15.6	9.1	14.3	5.2	9.1
精神障害	19.4	25.8	1.6	16.1	22.6	11.3	4.8	9.7
高次脳機能障害	6.9	20.8	2.8	6.9	6.9	2.8	5.6	8.3
難病(特定疾病)	5.9	18.8	3.0	6.6	7.4	14.8	2.6	8.5
その他	9.8	17.1	—	4.9	4.9	9.8	9.8	7.3

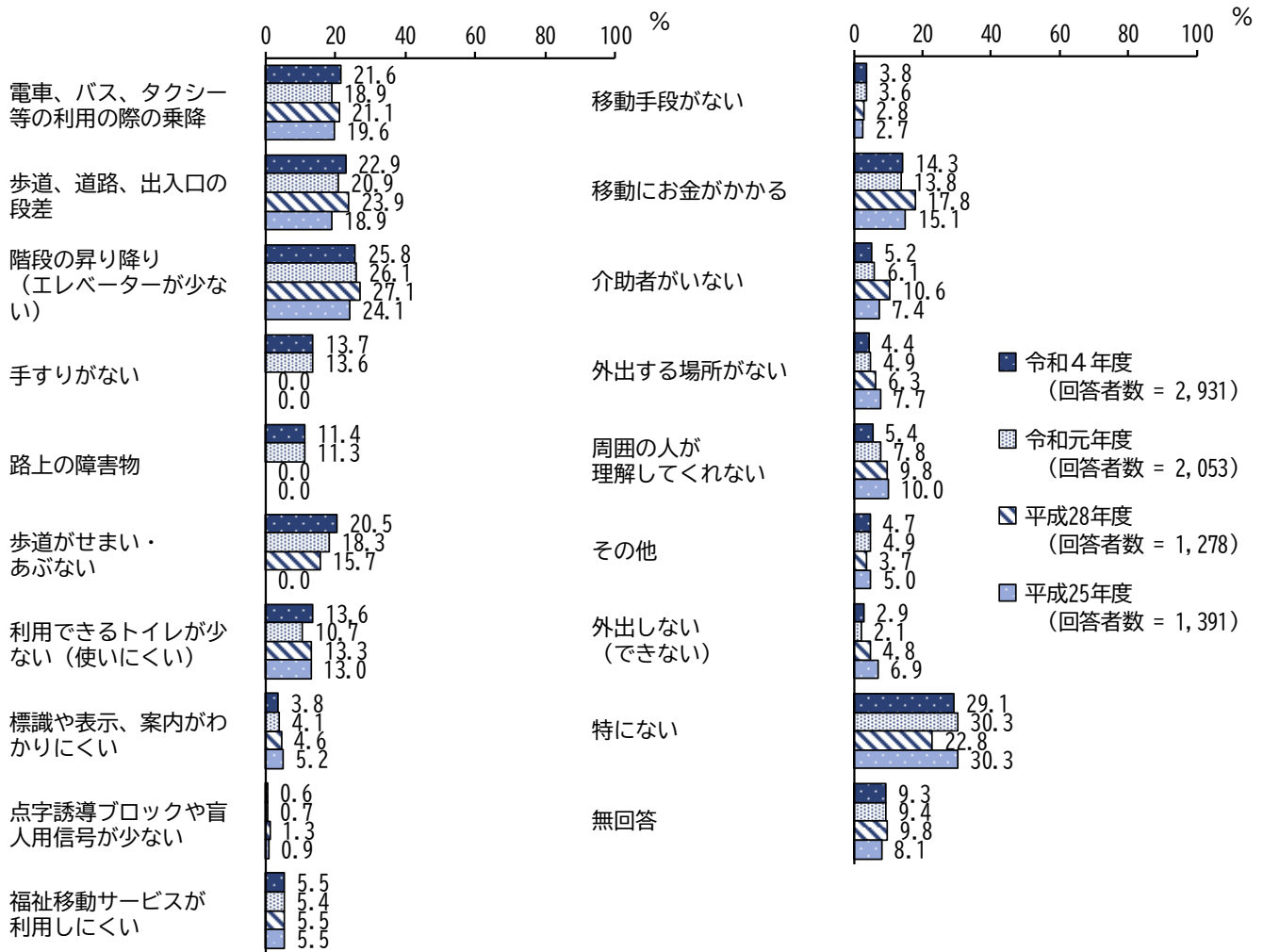
前ページの続き 表

問 27 あなたが外出するときに、困ったり、不便に思うのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」の割合が 25.8%、「歩道、道路、出入口の段差」の割合が 22.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、90歳以上で「電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降」の割合が、10歳未満で「歩道がせまい・あぶない」の割合が、80歳～89歳で「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」の割合が高くなっています。また、20歳～29歳で「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」の割合が、10歳～19歳で「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」「手すりがない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り（エレベーターが少ない）	手すりがない	路上の障害物	歩道がせまい・あぶない	利用できるトイレが少ない（使いにくい）	標識や表示、案内がわかりにくい	点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない
全 体	2931	21.6	22.9	25.8	13.7	11.4	20.5	13.6	3.8	0.6
10歳未満	172	18.0	12.2	14.5	5.2	7.0	29.7	16.9	4.7	0.6
10歳～19歳	167	18.0	13.2	10.8	1.2	9.0	19.2	13.2	9.0	0.6
20歳～29歳	123	9.8	10.6	7.3	2.4	4.9	9.8	10.6	2.4	—
30歳～39歳	169	14.8	13.6	14.2	4.7	8.3	15.4	12.4	5.9	0.6
40歳～49歳	236	14.4	16.1	23.3	11.0	11.4	19.1	12.7	5.1	0.4
50歳～59歳	359	18.1	21.2	23.4	15.6	13.1	18.9	13.6	4.7	0.8
60歳～69歳	429	21.0	27.3	31.0	16.6	16.1	26.3	11.7	3.5	0.7
70歳～79歳	556	24.5	27.7	32.7	17.4	13.7	22.5	13.8	3.1	0.7
80歳～89歳	513	29.4	29.8	34.7	19.5	9.6	18.1	16.6	1.9	0.6
90歳以上	155	32.3	27.1	23.9	13.5	7.7	15.5	11.0	2.6	—

単位：％

区分	福祉移動サービスが 利用しにくい	移動手段がない	移動にお金がかかる	介助者がいない	外出する場所がない	周囲の人が理解して くれない	その他	外出しない(できない)	特にない	無回答
全 体	5.5	3.8	14.3	5.2	4.4	5.4	4.7	2.9	29.1	9.3
10歳未満	5.8	3.5	9.3	4.1	6.4	18.0	5.2	—	40.7	5.8
10歳～19歳	11.4	4.2	12.0	13.8	9.6	14.4	3.6	1.2	29.3	7.2
20歳～29歳	5.7	—	17.1	5.7	8.9	10.6	8.1	1.6	43.1	6.5
30歳～39歳	6.5	1.2	16.0	6.5	6.5	7.7	6.5	0.6	35.5	8.9
40歳～49歳	3.8	3.8	13.1	5.5	5.5	8.9	6.8	1.7	31.4	11.0
50歳～59歳	3.6	2.2	18.1	4.2	3.9	5.8	5.3	0.8	40.4	7.0
60歳～69歳	4.9	2.8	15.6	4.0	1.6	4.0	4.0	2.3	34.7	5.4
70歳～79歳	4.5	4.0	13.3	3.2	1.4	1.3	5.0	3.6	24.5	10.3
80歳～89歳	5.8	5.8	13.6	6.0	5.3	1.9	3.9	4.5	16.6	11.1
90歳以上	8.4	7.1	16.1	5.8	5.8	—	0.6	11.0	14.8	13.5

前ページの続き 表

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「路上の障害物」「歩道、道路、出入口の段差」の割合が、高次脳機能障害で「歩道、道路、出入口の段差」の割合が高くなっています。また、発達障害で「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」「歩道、道路、出入口の段差」の割合が、知的障害で「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り(エレベーターが少ない)	手すりがない	路上の障害物	歩道がせまい・あぶない	利用できるトイレが少ない(使いにくい)	標識や表示、案内がわかりにくい	点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない
全体	2931	21.6	22.9	25.8	13.7	11.4	20.5	13.6	3.8	0.6
視覚障害	138	23.2	42.0	33.3	18.1	31.2	32.6	21.7	17.4	10.1
聴覚・平衡機能障害	181	22.7	27.1	32.0	14.9	9.4	27.1	16.6	3.9	0.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	31.5	35.4	32.3	19.2	20.0	29.2	22.3	6.2	0.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	36.9	40.7	38.2	22.8	18.7	30.3	20.9	3.4	0.2
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	19.4	20.8	32.4	11.7	7.6	16.7	12.0	1.1	0.1
知的障害	417	18.7	14.1	14.4	5.0	9.6	19.7	15.6	6.5	0.2
発達障害	367	11.2	7.9	7.4	4.1	5.7	19.9	9.8	6.8	0.3
精神障害	145	17.2	13.1	15.2	6.9	7.6	11.7	13.1	5.5	—
高次脳機能障害	130	27.7	40.8	33.8	23.8	24.6	32.3	20.8	6.9	—
難病(特定疾病)	677	23.2	23.9	25.1	14.0	11.5	22.0	14.9	2.5	—
その他	95	25.3	28.4	31.6	23.2	13.7	23.2	11.6	4.2	—

単位：%

区分	福祉移動サービスが利用しにくい	移動手段がない	移動にお金がかかる	介助者がいない	外出する場所がない	周囲の人が理解してくれない	その他	外出しない(できない)	特にない	無回答
全体	5.5	3.8	14.3	5.2	4.4	5.4	4.7	2.9	29.1	9.3
視覚障害	7.2	7.2	12.3	6.5	4.3	5.8	3.6	2.9	10.9	8.7
聴覚・平衡機能障害	6.1	7.2	17.1	3.9	5.0	5.5	3.9	3.9	18.2	12.2
音声・言語・そしゃく機能障害	12.3	9.2	19.2	5.4	10.0	5.4	5.4	10.8	17.7	6.9
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	10.1	6.5	19.1	7.3	5.4	4.2	4.6	4.2	15.4	7.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	3.3	4.1	13.7	3.6	2.5	2.3	4.8	2.5	34.1	6.6
知的障害	9.1	3.8	12.2	12.0	10.6	16.1	4.8	1.7	25.2	12.9
発達障害	5.4	2.7	13.1	6.3	8.4	16.1	5.4	0.8	34.1	11.4
精神障害	8.3	5.5	31.7	6.9	9.7	9.7	11.0	2.8	25.5	6.9
高次脳機能障害	10.8	11.5	26.2	12.3	8.5	6.9	6.9	7.7	12.3	10.8
難病(特定疾病)	4.4	3.5	15.5	5.2	4.1	4.7	5.8	3.8	32.3	7.1
その他	3.2	4.2	12.6	7.4	5.3	3.2	9.5	3.2	28.4	4.2

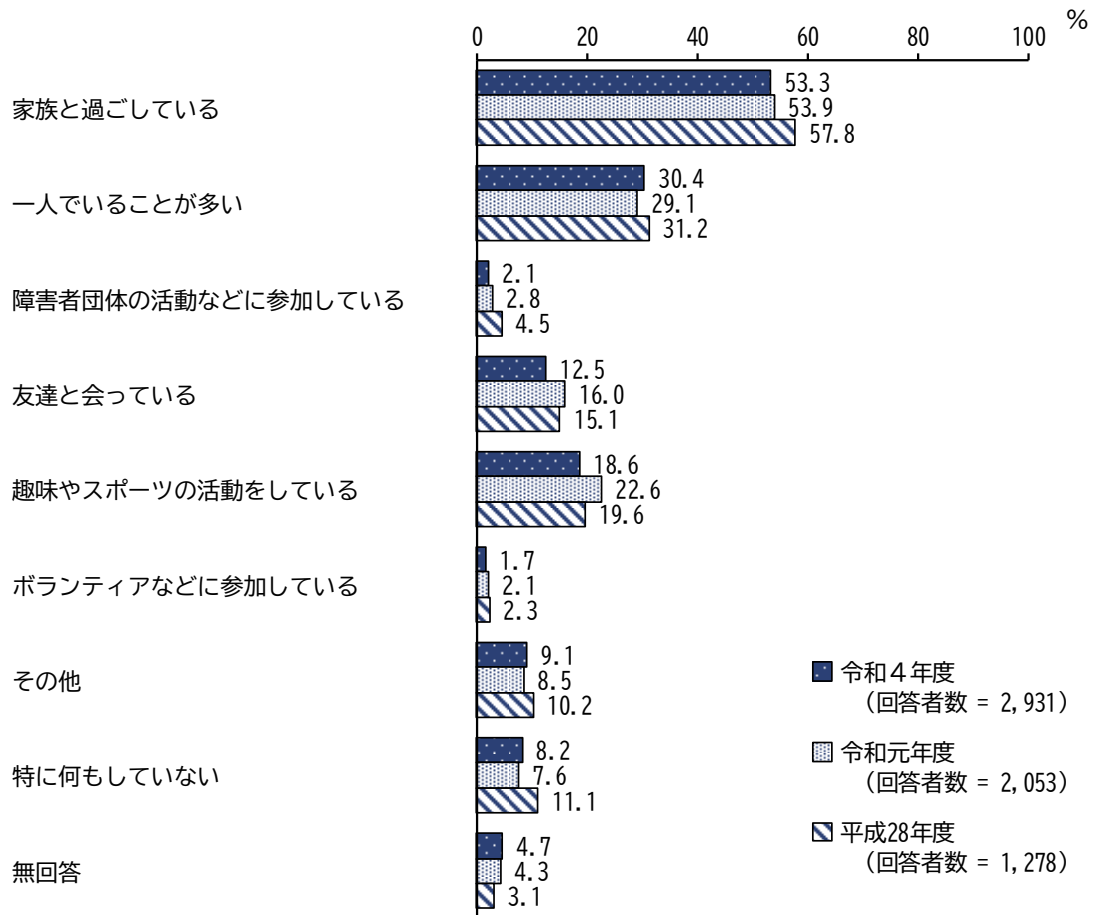
前ページの続き 表

問 28 あなたは、仕事や学校、施設等に通ったりする以外に何をすることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族と過ごしている」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「一人でいることが多い」の割合が 30.4%、「趣味やスポーツの活動をしている」の割合が 18.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳未満で「家族と過ごしている」の割合が、10歳～19歳で「家族と過ごしている」の割合が、20歳～29歳で「趣味やスポーツの活動をしている」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「一人であることが多い」の割合が、10歳～19歳で「一人であることが多い」の割合が、90歳以上で「趣味やスポーツの活動をしている」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族と過ごしている	一人であることが多い	障害者団体の活動などに参加している	友達と会っている	趣味やスポーツの活動をしている	ボランティアなどに参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	2931	53.3	30.4	2.1	12.5	18.6	1.7	9.1	8.2	4.7
10歳未満	172	92.4	4.7	1.2	11.6	14.5	—	3.5	1.7	1.2
10歳～19歳	167	87.4	9.6	3.0	13.8	24.0	—	7.8	1.8	0.6
20歳～29歳	123	67.5	28.5	2.4	23.6	35.0	—	7.3	4.1	0.8
30歳～39歳	169	61.5	33.7	5.3	18.3	20.7	2.4	9.5	5.3	3.6
40歳～49歳	236	57.6	35.6	3.0	14.4	19.5	1.7	7.2	7.2	2.1
50歳～59歳	359	44.8	40.9	2.2	10.3	21.4	1.9	9.2	8.4	2.8
60歳～69歳	429	44.5	36.6	3.0	12.4	22.6	2.6	9.6	6.1	4.0
70歳～79歳	556	46.9	29.0	0.9	11.9	18.0	2.7	9.9	12.1	4.7
80歳～89歳	513	47.0	30.6	1.4	11.5	13.5	1.6	10.3	10.5	7.2
90歳以上	155	38.1	35.5	1.3	5.2	2.6	—	15.5	14.8	9.7

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「一人であることが多い」の割合が、知的障害で「家族と過ごしている」の割合が、発達障害で「家族と過ごしている」の割合が高くなっています。また、精神障害で「家族と過ごしている」の割合が、知的障害で「一人であることが多い」の割合が、視覚障害で「趣味やスポーツの活動をしている」の割合が低くなっています。

単位：%

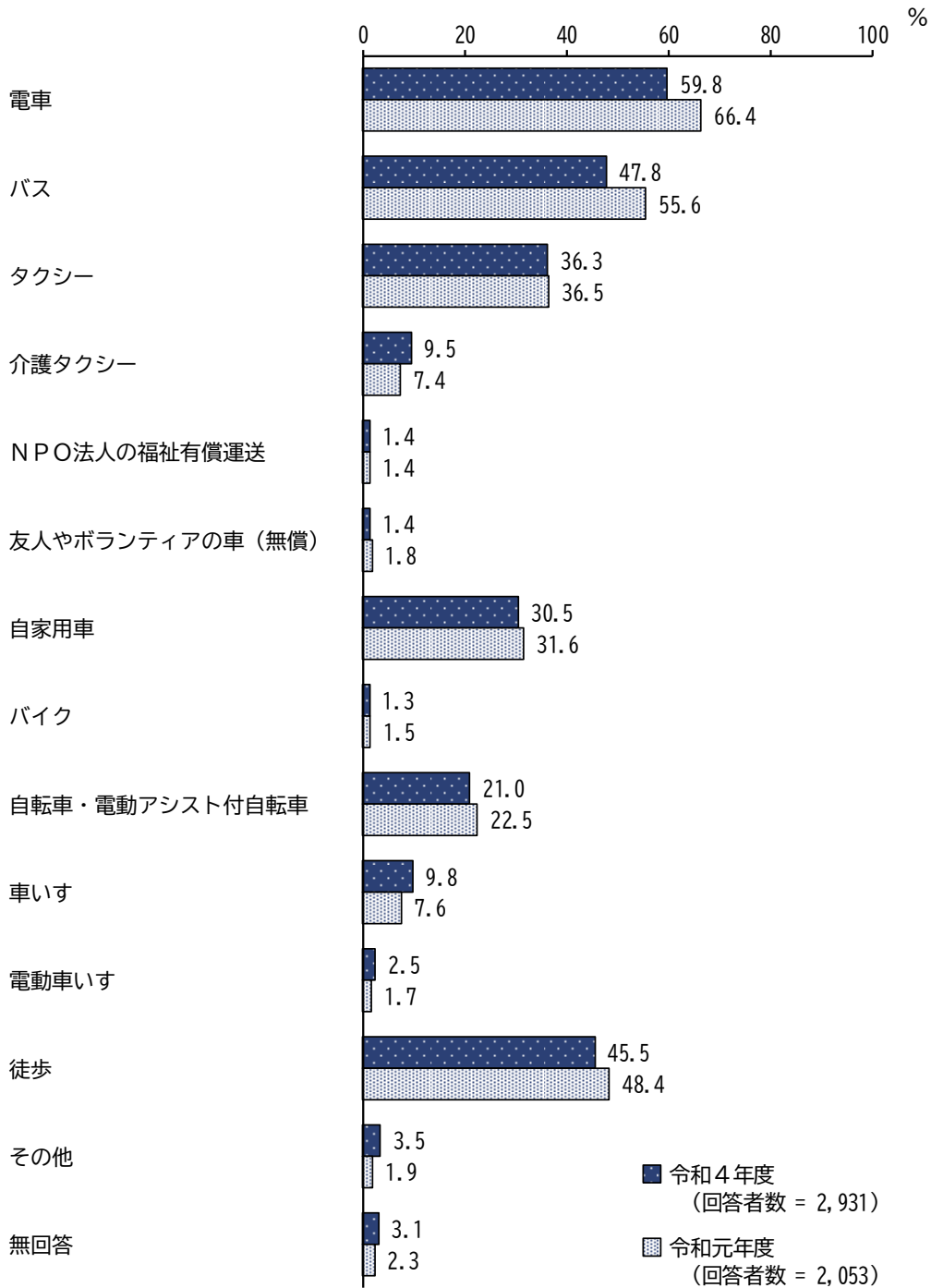
区分	回答者数 (件)	家族と過ごしている	一人であることが多い	障害者団体の活動などに参加している	友達と会っている	趣味やスポーツの活動をしている	ボランティアなどに参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	2931	53.3	30.4	2.1	12.5	18.6	1.7	9.1	8.2	4.7
視覚障害	138	47.8	28.3	4.3	6.5	7.2	2.9	7.2	14.5	6.5
聴覚・平衡機能障害	181	49.2	34.8	2.8	12.2	13.3	1.1	9.9	11.0	6.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	57.7	22.3	3.1	6.9	12.3	—	11.5	14.6	1.5
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	47.5	32.7	1.9	10.7	14.8	2.0	11.0	11.3	3.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	51.4	30.8	1.1	14.1	19.6	1.7	8.0	7.6	4.7
知的障害	417	78.7	17.7	4.8	6.0	15.6	0.2	7.9	5.0	2.4
発達障害	367	77.4	19.3	3.0	12.5	19.3	0.5	7.1	3.3	3.5
精神障害	145	29.0	62.1	2.8	13.1	19.3	3.4	9.0	8.3	4.8
高次脳機能障害	130	42.3	29.2	3.8	4.6	12.3	1.5	10.0	17.7	6.2
難病(特定疾病)	677	51.4	33.1	0.9	12.4	19.8	1.5	10.5	7.2	4.7
その他	95	46.3	35.8	1.1	14.7	10.5	1.1	12.6	7.4	1.1

問 29 外出のときの移動手段等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「電車」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「バス」の割合が 47.8%、「徒歩」の割合が 45.5% となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「電車」「バス」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「自転車・電動アシスト付自転車」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「タクシー」の割合が、精神障害で「徒歩」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「電車」「バス」の割合が、精神障害で「自家用車」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	電車	バス	タクシー	介護 タクシー	NPO法人の福祉 有償運送	友人やボランティア の車(無償)	自家用車	バイク	自転車・電動アシ スト付自転車	車 いす	電動 車いす	徒歩	その他	無 回 答
全 体	2931	59.8	47.8	36.3	9.5	1.4	1.4	30.5	1.3	21.0	9.8	2.5	45.5	3.5	3.1
視覚障害	138	45.7	44.9	42.8	13.8	2.2	5.1	25.4	—	10.1	13.8	1.4	42.0	4.3	2.9
聴覚・平衡機能 障害	181	53.6	44.8	32.0	14.9	1.7	2.2	23.8	1.1	14.9	12.2	1.1	39.8	2.8	4.4
音声・言語・そし やく機能障害	130	41.5	30.8	30.0	23.8	6.2	0.8	33.8	0.8	10.8	25.4	3.8	25.4	6.2	3.1
肢体不自由（上 肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動 機能障害等）	908	46.6	38.2	36.9	18.3	3.5	2.0	33.9	0.8	11.3	22.4	6.8	31.1	5.0	2.1
内部障害（心臓、 じん臓、呼吸器、 肝臓、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫 機能等）	725	59.9	49.4	50.9	11.0	1.7	1.2	29.9	2.2	18.1	9.2	1.0	46.3	2.8	2.1
知的障害	417	69.1	56.8	24.2	4.6	1.9	1.2	41.0	0.2	23.7	7.9	1.0	55.4	4.1	2.2
発達障害	367	73.8	56.9	24.3	1.4	0.3	0.3	36.2	0.5	43.9	1.6	0.3	58.9	3.5	3.3
精神障害	145	72.4	53.1	22.1	4.8	2.1	2.8	9.7	2.1	24.8	4.8	2.8	60.0	1.4	2.8
高次脳機能障害	130	37.7	26.9	30.0	23.8	2.3	2.3	30.8	—	8.5	20.0	8.5	25.4	5.4	3.8
難病（特定疾病）	677	59.7	43.9	36.3	9.5	1.3	1.0	33.5	1.8	21.9	11.5	2.5	42.8	4.6	2.7
その他	95	57.9	56.8	42.1	10.5	—	1.1	26.3	1.1	23.2	4.2	—	37.9	10.5	1.1

問 30 これまでに参加したことがある活動はありますか。また、今後参加したいものがありますか。(①～⑨について参加したもの、参加してみたいものそれぞれ1つに○)

参加したことがありますか

参加したことがある活動は「④旅行」が61.0%と最も高く、次いで「①コンサートや映画の鑑賞」が52.8%、「⑤学習や趣味、文化・芸術活動」が39.6%、「②スポーツなどの観戦」が30.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
①コンサートや映画の鑑賞 令和4年度	2931	52.8	31.4	15.8
②スポーツなどの観戦 令和4年度	2931	30.0	49.6	20.4
③スポーツ活動 令和4年度	2931	28.4	50.6	21.0
令和元年度	2053	31.1	47.8	21.1
平成28年度	1278	30.8	48.3	21.0
④旅行 令和4年度	2931	61.0	24.6	14.4
令和元年度	2053	60.0	25.0	15.1
平成28年度	1278	60.1	24.8	15.1
⑤学習や趣味、文化・芸術活動 令和4年度	2931	39.6	41.9	18.5
令和元年度	2053	40.9	39.3	19.8
平成28年度	1278	42.4	37.4	20.2
⑥ボランティアなどの社会貢献活動 令和4年度	2931	14.5	63.1	22.4
令和元年度	2053	10.8	64.6	24.5
平成28年度	1278	12.3	63.5	24.2
⑦地域での交流、自治会などの活動 令和4年度	2931	16.3	61.7	21.9
令和元年度	2053	18.5	58.3	23.3
平成28年度	1278	17.5	58.3	24.2
⑧障害者団体などの活動 令和4年度	2931	12.4	65.6	21.9
令和元年度	2053	12.8	62.5	24.7
平成28年度	1278	20.3	56.7	22.9
⑨SNS等を使った活動 令和4年度	2931	8.2	68.4	23.3

※令和元年度の調査では『①コンサートや映画の鑑賞』と『②スポーツなどの観戦』の選択肢が『①コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学』となっておりました。また、『⑨SNS等を使った活動』の選択はありませんでした。

① コンサートや映画の鑑賞

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、その他で「いいえ」の割合が、難病（特定疾病）で「はい」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	52.8	31.4	15.8
視覚障害	138	40.6	36.2	23.2
聴覚・平衡機能障害	181	37.0	34.3	28.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	42.3	38.5	19.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	48.3	35.4	16.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	49.1	33.0	17.9
知的障害	417	58.0	30.7	11.3
発達障害	367	59.9	28.9	11.2
精神障害	145	58.6	29.7	11.7
高次脳機能障害	130	45.4	42.3	12.3
難病（特定疾病）	677	60.7	26.9	12.4
その他	95	46.3	42.1	11.6

② スポーツなどの観戦

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	30.0	49.6	20.4
視覚障害	138	18.8	52.9	28.3
聴覚・平衡機能障害	181	22.7	44.8	32.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	21.5	53.8	24.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	26.3	51.3	22.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	29.9	46.8	23.3
知的障害	417	28.1	57.8	14.1
発達障害	367	23.7	62.4	13.9
精神障害	145	37.2	48.3	14.5
高次脳機能障害	130	20.8	60.8	18.5
難病（特定疾病）	677	36.5	45.9	17.6
その他	95	28.4	55.8	15.8

③ スポーツ活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「はい」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	28.4	50.6	21.0
視覚障害	138	18.1	55.1	26.8
聴覚・平衡機能障害	181	24.9	42.5	32.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	18.5	56.9	24.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	20.5	56.2	23.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	24.4	52.0	23.6
知的障害	417	38.8	46.3	14.9
発達障害	367	41.1	45.2	13.6
精神障害	145	31.7	53.8	14.5
高次脳機能障害	130	15.4	66.9	17.7
難病（特定疾病）	677	30.0	51.1	18.9
その他	95	21.1	60.0	18.9

④ 旅行

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「はい」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	61.0	24.6	14.4
視覚障害	138	52.9	26.1	21.0
聴覚・平衡機能障害	181	50.3	25.4	24.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	48.5	35.4	16.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	54.6	31.1	14.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	56.4	28.1	15.4
知的障害	417	78.7	12.7	8.6
発達障害	367	80.4	10.6	9.0
精神障害	145	64.1	24.1	11.7
高次脳機能障害	130	46.2	40.0	13.8
難病（特定疾病）	677	63.7	24.7	11.7
その他	95	60.0	29.5	10.5

⑤ 学習や趣味、文化・芸術活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「はい」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	39.6	41.9	18.5
視覚障害	138	34.8	42.0	23.2
聴覚・平衡機能障害	181	32.6	40.3	27.1
音声・言語・そしゃく機能障害	130	33.1	42.3	24.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	34.5	45.7	19.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	38.1	41.9	20.0
知的障害	417	40.5	44.6	14.9
発達障害	367	49.0	38.1	12.8
精神障害	145	50.3	37.9	11.7
高次脳機能障害	130	31.5	51.5	16.9
難病（特定疾病）	677	44.3	40.5	15.2
その他	95	41.1	43.2	15.8

⑥ ボランティアなどの社会貢献活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、精神障害で「はい」の割合が、その他で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、その他で「はい」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	14.5	63.1	22.4
視覚障害	138	15.2	56.5	28.3
聴覚・平衡機能障害	181	17.1	49.2	33.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	10.0	61.5	28.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	13.2	63.2	23.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	14.2	60.7	25.1
知的障害	417	11.3	72.2	16.5
発達障害	367	15.3	70.0	14.7
精神障害	145	23.4	60.7	15.9
高次脳機能障害	130	10.8	70.0	19.2
難病（特定疾病）	677	16.7	63.8	19.5
その他	95	7.4	71.6	21.1

⑦ 地域での交流、自治会などの活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	16.3	61.7	21.9
視覚障害	138	19.6	52.2	28.3
聴覚・平衡機能障害	181	17.7	50.8	31.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	13.8	58.5	27.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	15.4	60.7	23.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	17.1	59.6	23.3
知的障害	417	16.1	67.1	16.8
発達障害	367	19.1	66.2	14.7
精神障害	145	15.2	71.0	13.8
高次脳機能障害	130	11.5	70.0	18.5
難病（特定疾病）	677	15.1	65.4	19.5
その他	95	17.9	61.1	21.1

⑧ 障害者団体などの活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「はい」の割合が、精神障害で「はい」の割合が、難病（特定疾病）で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	12.4	65.6	21.9
視覚障害	138	18.1	55.1	26.8
聴覚・平衡機能障害	181	14.9	50.8	34.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	18.5	55.4	26.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	12.2	64.4	23.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	5.5	68.4	26.1
知的障害	417	33.3	55.2	11.5
発達障害	367	18.3	68.9	12.8
精神障害	145	23.4	62.1	14.5
高次脳機能障害	130	20.0	61.5	18.5
難病（特定疾病）	677	6.6	73.3	20.1
その他	95	9.5	67.4	23.2

⑨ SNS 等を使った活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、他に比べ、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	8.2	68.4	23.3
視覚障害	138	2.9	68.1	29.0
聴覚・平衡機能障害	181	6.6	57.5	35.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	3.1	67.7	29.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	7.9	67.0	25.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	8.0	66.1	25.9
知的障害	417	4.1	79.6	16.3
発達障害	367	10.1	75.7	14.2
精神障害	145	17.2	66.9	15.9
高次脳機能障害	130	6.9	71.5	21.5
難病（特定疾病）	677	10.2	69.0	20.8
その他	95	7.4	72.6	20.0

今後（も）参加したいですか

参加したい活動は、「④旅行」が 62.1%と最も高く、次いで「①コンサートや映画の鑑賞」が 55.1%、「⑤学習や趣味、文化・芸術活動」が 45.6%、「②スポーツなどの観戦」が 37.3%となっている。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
①コンサートや映画の鑑賞 令和4年度	2931	55.1	20.3	24.6
②スポーツなどの観戦 令和4年度	2931	37.3	33.5	29.2
③スポーツ活動 令和4年度	2931	31.0	38.8	30.1
令和元年度	2053	33.6	36.3	30.1
平成28年度	1278	35.1	34.9	30.0
④旅行 令和4年度	2931	62.1	15.9	22.0
令和元年度	2053	58.3	18.9	22.8
平成28年度	1278	61.0	15.2	23.9
⑤学習や趣味、文化・芸術活動 令和4年度	2931	45.6	27.5	26.9
令和元年度	2053	47.6	24.4	28.0
平成28年度	1278	50.8	21.8	27.4
⑥ボランティアなどの社会貢献活動 令和4年度	2931	26.0	43.0	31.0
令和元年度	2053	23.2	44.0	32.8
平成28年度	1278	26.1	40.0	33.9
⑦地域での交流、自治会などの活動 令和4年度	2931	22.9	46.8	30.3
令和元年度	2053	24.2	43.3	32.5
平成28年度	1278	27.2	39.7	33.2
⑧障害者団体などの活動 令和4年度	2931	19.8	49.6	30.6
令和元年度	2053	20.0	46.8	33.2
平成28年度	1278	28.5	38.9	32.6
⑨SNS等を使った活動 令和4年度	2931	13.9	54.0	32.1

※令和元年度の調査では『①コンサートや映画の鑑賞』と『②スポーツなどの観戦』の選択肢が『①コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学』となっておりました。また、『⑨SNS等を使った活動』の選択はありませんでした。

① コンサートや映画の鑑賞

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が、その他で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	55.1	20.3	24.6
視覚障害	138	43.5	27.5	29.0
聴覚・平衡機能障害	181	35.4	25.4	39.2
音声・言語・そしゃく機能障害	130	54.6	19.2	26.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	51.8	23.0	25.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	51.9	23.2	25.0
知的障害	417	64.0	14.4	21.6
発達障害	367	68.4	12.3	19.3
精神障害	145	54.5	24.1	21.4
高次脳機能障害	130	53.8	23.1	23.1
難病（特定疾病）	677	59.7	18.5	21.9
その他	95	45.3	24.2	30.5

② スポーツなどの観戦

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「はい」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	37.3	33.5	29.2
視覚障害	138	24.6	40.6	34.8
聴覚・平衡機能障害	181	27.1	28.7	44.2
音声・言語・そしゃく機能障害	130	33.8	33.1	33.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	32.5	36.6	30.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	35.6	34.2	30.2
知的障害	417	43.4	32.1	24.5
発達障害	367	46.0	31.1	22.9
精神障害	145	36.6	37.2	26.2
高次脳機能障害	130	32.3	37.7	30.0
難病（特定疾病）	677	40.0	33.8	26.1
その他	95	35.8	30.5	33.7

③ スポーツ活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、知的障害で「いいえ」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	31.0	38.8	30.1
視覚障害	138	16.7	44.9	38.4
聴覚・平衡機能障害	181	24.3	33.1	42.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	43.1	32.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	22.6	44.9	32.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	22.2	45.8	32.0
知的障害	417	51.8	23.3	24.9
発達障害	367	54.0	24.5	21.5
精神障害	145	36.6	38.6	24.8
高次脳機能障害	130	22.3	47.7	30.0
難病（特定疾病）	677	33.2	38.7	28.1
その他	95	27.4	36.8	35.8

④ 旅行

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	62.1	15.9	22.0
視覚障害	138	54.3	20.3	25.4
聴覚・平衡機能障害	181	49.7	15.5	34.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	62.3	13.8	23.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	58.7	19.1	22.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	59.4	18.2	22.3
知的障害	417	76.0	6.5	17.5
発達障害	367	77.1	7.6	15.3
精神障害	145	55.9	23.4	20.7
高次脳機能障害	130	59.2	18.5	22.3
難病（特定疾病）	677	65.0	16.1	18.9
その他	95	60.0	15.8	24.2

⑤ 学習や趣味、文化・芸術活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「はい」の割合が高くなっています。また、発達障害で「いいえ」の割合が、その他で「はい」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	45.6	27.5	26.9
視覚障害	138	36.2	33.3	30.4
聴覚・平衡機能障害	181	38.7	24.3	37.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	42.3	27.7	30.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	41.3	30.5	28.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	41.1	31.0	27.9
知的障害	417	52.8	23.3	24.0
発達障害	367	63.2	16.3	20.4
精神障害	145	52.4	25.5	22.1
高次脳機能障害	130	37.7	35.4	26.9
難病（特定疾病）	677	50.8	25.4	23.8
その他	95	34.7	30.5	34.7

⑥ ボランティアなどの社会貢献活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	26.0	43.0	31.0
視覚障害	138	23.2	41.3	35.5
聴覚・平衡機能障害	181	22.7	34.8	42.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	16.9	43.8	39.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	21.3	45.9	32.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	21.9	45.2	32.8
知的障害	417	33.1	40.3	26.6
発達障害	367	37.6	39.5	22.9
精神障害	145	26.9	47.6	25.5
高次脳機能障害	130	19.2	50.0	30.8
難病（特定疾病）	677	29.4	42.2	28.4
その他	95	23.2	41.1	35.8

⑦ 地域での交流、自治会などの活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	22.9	46.8	30.3
視覚障害	138	20.3	44.2	35.5
聴覚・平衡機能障害	181	24.3	35.9	39.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	19.2	45.4	35.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	19.4	47.9	32.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	20.8	47.7	31.4
知的障害	417	34.8	40.0	25.2
発達障害	367	35.4	44.4	20.2
精神障害	145	20.7	53.8	25.5
高次脳機能障害	130	16.2	52.3	31.5
難病（特定疾病）	677	22.0	50.5	27.5
その他	95	23.2	41.1	35.8

⑧ 障害者団体などの活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「はい」の割合が、発達障害で「はい」の割合が、精神障害で「はい」の割合が高くなっています。また、知的障害で「いいえ」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	19.8	49.6	30.6
視覚障害	138	18.1	45.7	36.2
聴覚・平衡機能障害	181	20.4	35.9	43.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	22.3	42.3	35.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	18.5	48.7	32.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	10.9	54.8	34.3
知的障害	417	44.8	33.1	22.1
発達障害	367	34.9	43.9	21.3
精神障害	145	27.6	46.2	26.2
高次脳機能障害	130	24.6	45.4	30.0
難病（特定疾病）	677	15.2	57.0	27.8
その他	95	14.7	46.3	38.9

⑨ SNS 等を使った活動

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「はい」の割合が、発達障害で「はい」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が、視覚障害で「はい」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	13.9	54.0	32.1
視覚障害	138	7.2	55.1	37.7
聴覚・平衡機能障害	181	12.2	41.4	46.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	12.3	48.5	39.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	11.8	53.5	34.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	11.9	54.6	33.5
知的障害	417	14.4	57.8	27.8
発達障害	367	23.4	53.7	22.9
精神障害	145	25.5	47.6	26.9
高次脳機能障害	130	14.6	51.5	33.8
難病（特定疾病）	677	15.4	56.0	28.7
その他	95	11.6	49.5	38.9

問 30 で「趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加したことがある」とお答えの方におたずねします。

問 30-1 参加したことがある趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などは何ですか。

参加したことがある趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動等は、「音楽に関する活動」が 205 件と最も高く、次いで「映画鑑賞等」が 103 件、「水泳・水中運動」が 94 件、「美術館等での鑑賞」が 79 件となっています。その他は下表の通りです。

<参加したことがある活動の集計結果>

名称	件数	名称	件数
音楽に関する活動	205	ヨガ	12
映画鑑賞等	103	麻雀	12
水泳・水中運動	94	障害者団体の活動	12
美術館等での鑑賞	79	マラソン	12
旅行	60	バスケットボール	12
野球	59	スキー	10
絵画	56	塾	10
サッカー観戦	53	陶芸	9
ゴルフ	52	合唱	9
テニス	40	英語	9
体操	36	習字	8
ダンス	35	手話	8
観劇・ミュージカル鑑賞	31	手芸	8
町会活動	24	ラグビー	8
卓球	22	スポーツ観戦	8
英会話	21	俳句	8
ウォーキング等	21	茶道	7
読書	20	バレーボール	7
ピアノ	19	囲碁	7
スポーツジム	18	登山	6
地域や学校での活動	17	ミュージカル	6
ボッチャ	17	ボランティア	6
洋裁	17	バレエ	6
カラオケ	15	スポーツ	6
書道	14	スポーツ観戦	6
ゲームなど	14	サイクリング	6
区の催し	14	ボウリング	6
料理	14	釣り	6
パソコン・パソコン教室等	17	展覧会	5
博物館	13	短歌	5

名称	件数	名称	件数
生涯大学	5	能楽	3
講演会	5	水族館鑑賞	3
公文	5	バレエ	3
剣道	5	園芸	3
バドミントン	5	囲碁	3
ギター	5	老人会	2
大学・専門学校等	5	朗読	2
競馬	5	輪投げ	2
社会活動	4	療育	2
合気道	4	落語	2
華道	4	民謡	2
ゲートボール	4	部活動	2
語学	4	舞台観賞	2
動物園	4	吹矢	2
陸上	4	将棋	2
博物館見学とか	4	芝居	2
ボランティア活動	4	詩吟	2
日本舞踊	4	山登り	2
老人会（社会活動町内）	4	空手	2
太極拳	3	筋トレ	2
書道教室	3	学習	2
写真撮影	3	格闘技	2
写真	3	街歩き	2
フラワーアレンジ	3	外国語学習	2
フライングディスク	3	花道	2
スペシャルオリンピックス	3	運動教室	2
ジョギング	3	リハビリ	2
くもん	3	ラジコン	2
中国語	3	プログラミング	2
習い事	3	ビリヤード	2

名称	件数	名称	件数
ラジコン	2	同趣味の友、同級会、当事者研究、東北	各1件 計344件
プログラミング	2	震災のボランティア、東深沢スポーツ文	
ビリヤード	2	化クラブ、東京農業大学附属、東京都障	
ピラティス	2	がい者スポーツ大会、東京腎臓協会（患	
バトミントン	2	者会の活動）、東京障害者スポーツ大	
ネイル	2	会、東京ドーム、東京2020パラリンピッ	
ドライブ	2	クボランティア、都立大の聴講生、渡辺	
ディズニーランド	2	謙のミュージカル、電車をみる、電車の	
そろばん	2	スタンプラリー、点毎購読、点字通訳、	
セントラルスポーツクラブ	2	展覧会鑑賞、展示物を観賞、展らん会の	
セミナー	2	見学、鉄道子ども会キャンプ、鉄道撮	
スポーツクラブ	2	影、通訳訓練校（プロ養成）、著作、仲	
スペイン語	2	間と飲み会、着付け、知的障害者仲間の	
スノーボード	2	サークル、知的障害者の集まり、知的障	
ゲーム	2	害者のスポーツ支援、団地清掃、読みき	
キックボクシング	2	かせの会、退職職員地域幹事、体力維持	
カメラ	2	の為の筋肉トレーニング、多摩美の講	
カーブス	2	座、多摩川ゴミ拾い、卒業した高校のイ	
いずみ学級	2	イベント、卒業した学校での卒業生の集ま	
民謡	2	り（スポーツなど）、創作活動、川柳	
民生委員	2	、千葉、切めこみ人形、赤十字活動、赤	
放課後デイサービス	2	い羽根募金活動、赤い羽根、斉藤和義の	
日赤の献血	2	ライブ、生活と健康を守る会の憲法の学	
短歌	2	習会、生涯学習、生け花、清掃、整理収	
世田谷パブリックシアター	2	納（片付け）、水元青年の家、推し活	
マシニング	2	動、神宮球場、神楽舞、森林整備、心理	
フットサル	2	の学習、食事会、食べ歩きイベントな	
朗読	2	ど、色鉛筆画、職業訓練／就職支援セミ	
舞台鑑賞	2	ナー、織り物教室、植物観察会、植物	
ねん土	2	画、植物園、上智大学ソフィア祭知人と	
デイサービス	2	ぶどう狩り、消防団、少林寺拳法、小学	
お茶	2	校ボランティア、女性史学習会、書道な	
生け花	2	ど、所属するキリスト教会での学習会、	
和裁、歴史勉強会、輪読会、輪投げ、療	各1件 計344件	初動負荷、出身地の交流会、宗教団体の	
育教室、落語の一門の会、幼児教室、食		会合、若者メンタルサポート協会、車の	
事会、友人との交流、夜間中学校、木		イベント、写真、芝居の観劇、実験、七	
彫、毛毬の作成、娘の運動会、民間の協		宝焼、自立支援の活動の文化祭やバ	
会のアドバイス、民間スクールへの通		ザー、自転車修理、寺院奉仕、雑誌投	
学、民家園のボランティア、盆栽教室、		稿、雑居まつり、作業所のクッキー販	
防犯ピラくぱり地域活動、防災活動、防		売、作家の講演会、祭り、災害時非常無	
災委員、法律勉強会、放送大学、募金活		線連絡訓練等、砂浜のゴミ拾い、混声合	
動、勉強会、米、文化祭実行委員会		唱、昆虫採集、今では自分は出来なく	
会で地域貢献、仏像彫刻、福祉サロン、福		なったテレビ観戦ぐらい、高齢者の傾聴	
岡、風景スケッチ、部活、百人一首、飛行		の行い方の講習会、高齢者サークル参加	
機、皮工芸、畑、買い物、農業のセミ		趣味同好者サークル参加、行政書士試験	
ナー、脳トレ、粘土教室、猫カフェへい		に向けての勉強、航空博物館にてパイ	
く、認知症予防活動、入所施設フェア、		ロットシュミレーター体験、公文など習	
日本語音読会、日本語を教えるボラン		いごと、公益社団法人銀鈴会、交友会、	
ティア、日本教育事務学会で、日本共産		語学習得や異文化交流、語学研修、語学	
党の学習会、日本画、日大文理学部の聴		学習（外国語）、後輩のオウエン、孤児	
講生、日ハムの応援、難民支援等、難病		院ボランティア、古文書、古布のつるし	
相談センターでのパッチワーク、難病の		雛作り（ケヤキネット加入）、古典芸能	
交流「友の会」への参加、読売、特別支		鑑賞、個人的なたんかの会、個人所有の	
援学校への通学、特別支援学校、童謡、		車のメンテ（個人活動）、弦楽合奏、研	
同人誌即売会		究指導ボランティア活動、犬の散歩グ	
		ループ、建築施工管理技士の受験の為の	
		講座	

名称	件数	名称	件数
<p>駒沢オリンピック公園総合運動場（トレーニングジム・スタジオプログラム）、銀鈴会、金継、近所の大学の文化祭、近所のデイサービスで囲碁ボランティア、教会の学習会、教育事務の学習、教育テレビでの学習、魚突き、技術、寄附、韓国語会話、鑑賞・観覧、鑑賞、観劇やスポーツ観戦、観劇（歌舞伎、環境、患者会（リウマチ友の会）、患者会、楽器、楽々クラブへのボランティア、各種展覧会見学、各種展覧会、街頭活動、外食、外出訓練、外国人に日本語を教えるボランティア、外国語会話、外国語サークル、家庭での障害改善への取り組み学習、駅周辺の花だんの手入れ、芦花ホームでの傾聴活動、わなげ町内会300、ワナゲ、ロウの花、レモネードスタンド、レザークラフト、リハスポ、リトミック、リコーダー、ランバイク講習、ラテン語、ライブ・トークショーへの参加、ヨガ大学が一般向けに提供する授業色々、ヨガ教室、ゆるキャライベント、ユニセフへの寄付、モザイクに、メンネールコールけやき合唱団、むつみ会高齢者に食事を（お弁当）作り、ミュージカル鑑賞、ミニバス、ミニデいかみきた倶楽部、みなせた（演劇団体）、マンツーマンST・OT、まんが読む、マンガ教室、また学校で知った地域のイベント・まつばらデイキャンプ・いちごの栽培講習会・ハンドアーチエリー体験、ボタニカルアート、ボクシング観戦、ベビー教室、ペタンク、ヘアドネーション、プロレス、プレ幼稚園、プレーパーク活動、プリザーブドフラワー、プリザーブドアレンジ、フラワーアレンジメントスクール、フラワーアレンジメント、プラレール会、プラモデルの展示会、プラバン作り体験、プラネタリウム、プシケ（編物）、フィギュアスケート、ピクニック（一人で平気）、柔道、ハンドベル、ハワイアンキルト、バラ等の庭園見学、バッグ作りの講座、バザー参加、ハイチの子供への支援活動、のり鉄、ねぶた参加、ネット・ピア、ネコカフェに行った、ナンプレ、ナノブロック、トレーディングカード、ドライフラワー作り、トライアスロンチーム、ドットの会（PCの学習）、トールペイント、ドーム、ドイツ語の翻訳、ツイッター、ダーツバー、そしがやカルチャースクール、スペシャルオリンピックスのバスケットプログラム、スペシャルオリンピックスのバスケット、ジャパンホームベーキングスクール、シニアクラブ、さくらんぼ教室、サイマルアカデミーのオンライン講座受講中</p>	<p>各1件 計344件</p>	<p>サーフィン、コントラクト・ブリッジ、コンタクトブリッジ、コミュニケーション勉強会、コミックマーケット、コミケでコスプレ（自分で服を作って）、こどもちゃれんじ、こどもチャレンジ、ゴスペルグループに参加、ゴールドリボンウォークへの参加、コアラ・ハヤブサ運動教室、けやき学級、ケアサービス、グループで低山歩き・地域の交通安全、グループで一緒に食事する会、クリスマス会や新年会その他沢山、キャンプ、カナダ、カトリック教会への活動、カウンセリングの元、ガーデニング、おとなの学校、オストミー協会、オジンボランティアクラブ、おしばい、オープンカレッジ（早稲田大学）、エホバの証人の研究を行っています、うめとびあマシーン、ウィーキャン世田谷、インラインスケート、インターネットでの勉強会、インスタグラム、アロマセラピー、ある政党の活動、アメリカンフットボール、アプリゲーム、あそびじゅつ、アクセサリー作り、アイススケート鑑賞、アイアイサークル、YMCAフィットネス、UBOUND、Tokyo Rainbow Pride、TOHOシネマ、TENOH ASI調理補助（生活困窮者支援団体）、SSCK（成城セカンドコミュニティ）、SDGSのイベント、PDカフェ、NPO法人子育て支援グループamjgoのarteatreat、NPO法人タートル、NHK文化センター、NHK通信講座（古文書）、LEGOスクール、DVD、DSなど、canra、ALSの団体活動、29才までは美容師を普通にしていました、24時間テレビのボランティア、20才までは学生、「がん哲学外来」、「学友の会」を主催、（ボランティア）観光ガイド</p>	<p>各1件 計344件</p>

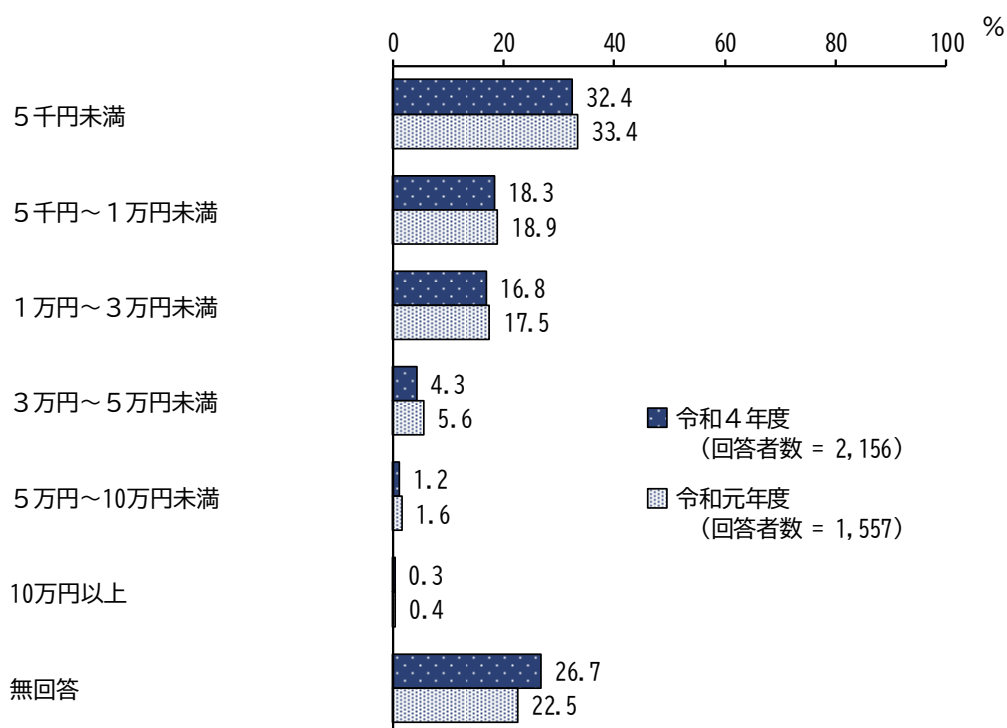
問 30 で「趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加したことがある」とお答えの方におたずねします。

問 30-2 趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに使っているお金は、1 か月平均で何円くらいですか。(1 つに○)

「5 千円未満」の割合が 32.4% と最も高く、次いで「5 千円～1 万円未満」の割合が 18.3%、「1 万円～3 万円未満」の割合が 16.8% となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「5千円未満」の割合が、精神障害で「5千円未満」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「5千円未満」の割合が高くなっています。また、精神障害で「5千円～1万円未満」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「5千円～1万円未満」の割合が、その他で「1万円～3万円未満」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	5千円未満	5千円～ 1万円未満	1万円～ 3万円未満	3万円～ 5万円未満	5万円～ 10万円未満	10万円以上	無回答
全 体	2156	32.4	18.3	16.8	4.3	1.2	0.3	26.7
視覚障害	88	34.1	20.5	15.9	—	—	—	29.5
聴覚・平衡機能障害	124	32.3	14.5	17.7	2.4	2.4	—	30.6
音声・言語・そしゃく機能障害	80	47.5	11.3	12.5	2.5	—	—	26.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性 麻痺・移動機能障害等）	607	33.9	18.8	13.7	5.1	0.8	0.2	27.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝 臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能 等）	510	30.0	18.8	17.5	5.1	1.2	0.4	27.1
知的障害	365	35.9	14.5	12.6	2.7	1.1	0.5	32.6
発達障害	320	32.2	13.1	20.9	3.1	1.9	0.9	27.8
精神障害	117	47.9	10.3	13.7	2.6	0.9	0.9	23.9
高次脳機能障害	82	56.1	12.2	11.0	—	1.2	—	19.5
難病（特定疾病）	509	29.9	22.2	17.3	4.5	1.0	0.2	25.0
その他	71	38.0	16.9	9.9	4.2	1.4	—	29.6

問 31 やってみたいまたは今後も続けたい趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などは何ですか。

やってみたいまたは今後も続けたい趣味、学習、スポーツ、社会活動等は、「音楽に関する活動」が164件と最も高く、次いで「旅行」が105件、「アート・芸術に関する活動」が78件、「スポーツ・運動全般に関する活動」が76件となっています。その他は下表の通りです。

<やってみたい、今後も続けたい活動の集計結果>

名称	件数	名称	件数
音楽に関する活動	164	陶芸	6
旅行	105	趣味	6
アート・芸術に関する活動	78	料理・料理教室	5
スポーツ・運動全般に関する活動	76	編物	5
水中運動・水泳	68	地域のイベント	4
ダンス・ヨガ・ストレッチ・体操等の運動	63	スキー・スケートに関すること	4
映画	59	手話	4
ゴルフに関する活動	41	俳句	3
学習・勉強・教育施設に関すること	31	バレーボール	3
演劇	29	バスケットボール	3
サッカー・フットサル観戦、プレー、指導等	24	図書館	3
PC・スマホ・IT・デジタルゲーム	22	サイクリング	3
ボランティア活動	22	社会活動	3
野球観戦・プレー・指導等	22	カーブス	2
テニス	21	バドミントン	2
囲碁・将棋・麻雀等のゲーム	18	ハイキング	2
ウォーキング・エクササイズ・エアロビクス等の運動	18	ラグビー	2
書道	17	手工芸	2
読書	15	太極拳	2
茶道・着付・生け花など日本の伝統芸能に関すること	12	朗読	2
卓球	12	空手	2
手芸	12	ボーリング	2
英語・英会話	11	DIY	2
トレーニングに関すること	7	刺繍	2
ボッチャ	7	テレビ	2
車・バイクに関すること	7	競馬観戦	2
マラソン・ランニング等	6	経済	2
釣り	6	詩吟	2
植物を育てる	6	落語	2
習字	6		

<やってみたい、今後も続けたい活動の集計結果>

その他、各1件

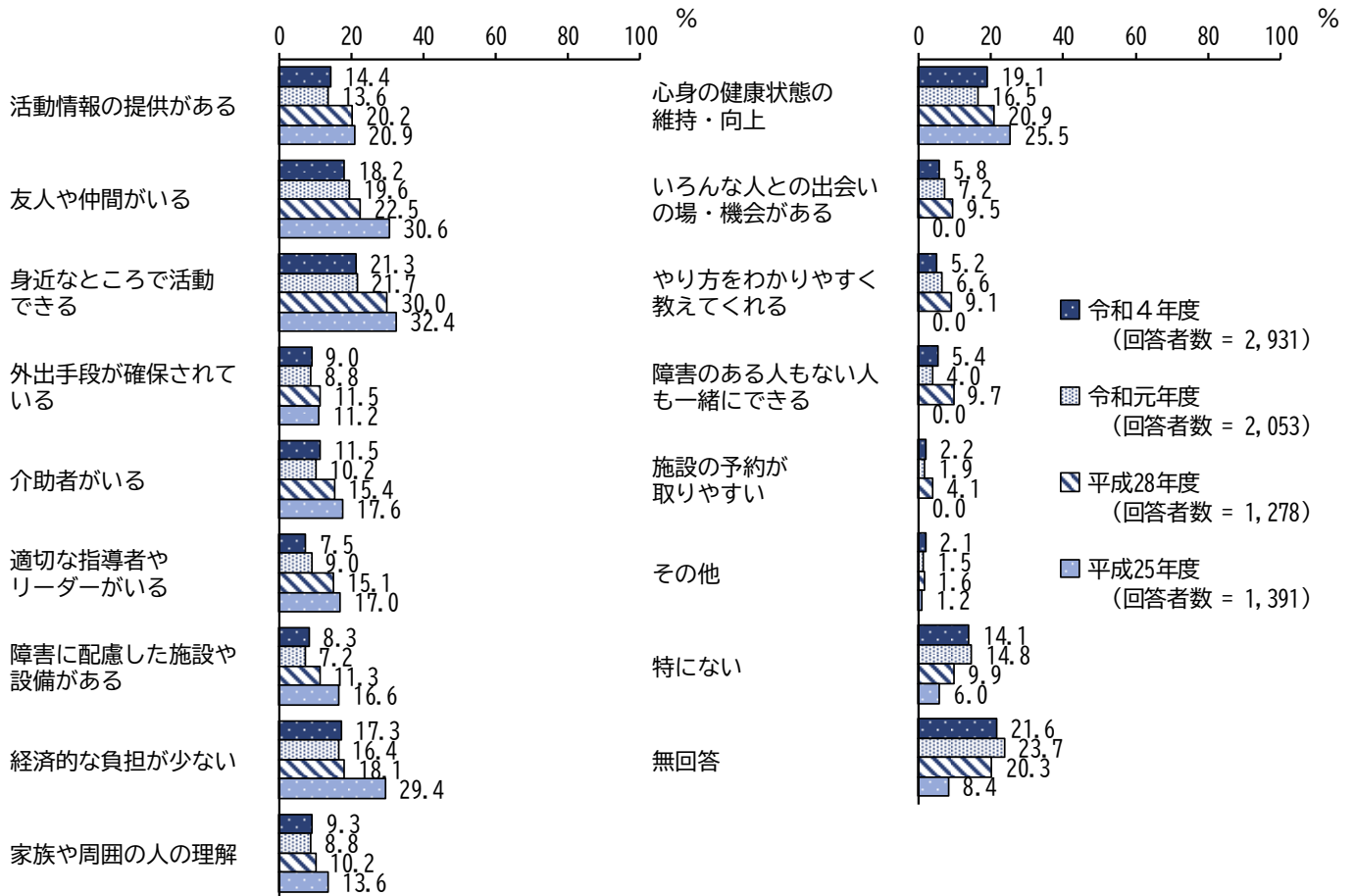
名称	件数	名称	件数
<p>アマチュア無線、ツーリング、ボーイスカウト、ラジオ、寺院・神社・仏閣に関すること、自転車、乗馬、買い物、登山、Tボール、バレエ、ボルダリング、新聞を読む、水族館、福祉施設・病状回復に向けての取り組み等、公文、鉄道に関すること、canra、RCラジコン、SDGSやエコや温暖化などのイベント、アニメ、アレンジメントフラワー、いろいろ試してみたい段階、いろんな資格の取得、エホバの証人の活動、おしばい(少年Komplex)、おとなの学校、カーリング、カメラ、キャンプ、ケアセンターウイズでやってること、コミックマーケット、オープンカレッジに通いたい、古文書(休眠中)、身近な所から体験してみたい、シェア農業、ジブリパークに行きたい、スペシャルオリンピックス、すわってできる作業、たき火をしたい、デジカメ、ドイツ語、トリアスロン大会参加し完走、トレーニングカード、ドローンの操縦、ナンプレ、ネイル、バイブル、ファミリー農園、プラモデル、モーターショウ、プラモデルの展示会→作品提出、フラワーアレンジメント、ペタンク、ミニバス、モチつき、ゆるキャライベントヨットセーリング、ライフに行く、ラジコン、リハスポ、一眼レフ、一人散歩、音声芝居、化石発掘体験、家族での外出、会合参加、海外交流、外出、街歩き、指導員付、格闘技、機械関係またはそのフォーラム参加、気の合う同世代の友人と安心したかんきょうで、メイクやおしゃれのこうしゅう会など、金継、芸能見物、展覧会見学、健康になった、剣道、古典芸能の鑑賞、すもう観戦、博物館(作品に寄る)、語学、公園でのあそび、公共交通の充実(車いすで乗れる設備のついたもの)を導入したい、工作、工場見学など、硬筆、講演会(高次脳・障害)、講談等、高次脳機能障害の自助グループ支援、合気道、今通っている区内のゆずりは(介護サービス)には続けられる迄行きたいと思っています、撮影、散文の執筆、史跡の保護、整備、補助の活動など、史跡廻り</p>	<p>各1件 計193 件</p>	<p>子どもとできるもの、施行、資格をとり、在宅でできる仕事をする、資格を取得、児童の見守り活動、自宅で盆栽、自分と同じ障害を持ったあつまる場所をつくりたい、写真、社会学をとことんつきつめる、社会学研究、手作りパン教室、ジャパンホームベーキングスクール、習い事、障害のある子も参加できるワークショップ、障害児運動教室、障害者のあつまり、パッチワーク、色々お話をききたい、神楽舞、人形劇、世界こぼれ話の補足添削(終活)1年後完成目標、世田谷の空間生活について皆で研究している成城100祭実行委員会、整理収納(片づけ)活動、声楽、子供食堂(興味があります)、声優さんのイベントを見たい、赤十字社、川柳、創作活動、体調管理に役立つため食育健康アドバイザーの取得を目指す、知的障害者の支援、茶会、町会活動、聴講生の継続、哲学や社会学の学びを深めたい、電動車いすホッケー、同人誌即売会、都市の緑地や農地の保全について学んでみたい、舞台観賞、宝塚を見る、盆栽、毛氈の作成、小供らとの交流参加、遊戯王の日、歴史、講演会(政治、安全保諸問題、社会問題、国益に関する問題、等)への参加 又北朝鮮による拉致被害者救出運動(区が主催して映画「めぐみ」を上映したことはこれまでであったのでしょうか?) 他に名所旧跡巡り、藤井風に関する活動、交際の間、障害者支援、福祉活動、ペーパークラフト、障害者団体での活動、親子リトミックコンサート、世田谷区自立支援協議会、ビリヤード、アートトリート、障がい者団体の活動、楽しくて疲れない事なら何でも、クレーンゲーム、ヨット、独学でウクライナ語を勉強している、ひまわり荘、文学館、商店ガイ巡り、音声で小説を聞く、健康維持に関する事、リベラルアーツ、宝塚観劇、生涯大学同窓会、観劇、美術館めぐり、写真、自宅でやれること、町歩き</p>	<p>各1件 計193 件</p>

問 32 あなたが趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するためには、何が必要ですか。(3つまで○)

「身近なところで活動できる」の割合が21.3%と最も高く、次いで「心身の健康状態の維持・向上」の割合が19.1%、「友人や仲間がいる」の割合が18.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「経済的な負担が少ない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「介助者がいる」の割合が、高次脳機能障害で「介助者がいる」の割合が高くなっています。また、知的障害で「心身の健康状態の維持・向上」の割合が、発達障害で「心身の健康状態の維持・向上」の割合が、視覚障害で「経済的な負担が少ない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある	経済的な負担が少ない
全体	2931	14.4	18.2	21.3	9.0	11.5	7.5	8.3	17.3
視覚障害	138	13.8	15.9	16.7	10.9	18.1	8.0	8.0	10.1
聴覚・平衡機能障害	181	12.2	17.7	17.1	11.0	9.9	4.4	8.8	13.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	12.3	13.1	19.2	16.2	25.4	4.6	20.0	12.3
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	12.4	14.9	19.1	14.4	18.5	6.1	14.8	14.6
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	14.6	19.7	19.3	7.0	5.2	4.3	5.4	18.2
知的障害	417	16.3	17.0	27.6	9.6	24.0	19.2	16.5	14.6
発達障害	367	18.3	15.3	30.8	5.7	12.0	15.3	10.1	21.8
精神障害	145	15.9	20.0	24.1	6.2	5.5	11.0	5.5	32.4
高次脳機能障害	130	14.6	16.2	22.3	22.3	24.6	5.4	28.5	13.8
難病(特定疾病)	677	13.1	19.8	18.8	8.9	11.5	4.0	7.2	21.4
その他	95	8.4	15.8	20.0	3.2	10.5	4.2	8.4	13.7

単位：%

区分	家族や周囲の人の理解	心身の健康状態の維持・向上	いろいろな人との出会う機会がある	やり方をわかりやすく教えてくれる	障害のある人も一緒にできる	施設の予約が取りやすい	その他	特になし	無回答
全体	9.3	19.1	5.8	5.2	5.4	2.2	2.1	14.1	21.6
視覚障害	10.9	13.8	3.6	5.1	5.8	0.7	2.2	14.5	22.5
聴覚・平衡機能障害	6.6	18.2	8.3	6.1	9.9	—	2.2	9.9	28.7
音声・言語・そしゃく機能障害	11.5	19.2	1.5	2.3	3.8	1.5	3.8	15.4	19.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	7.5	19.9	5.0	2.3	5.3	2.1	2.1	14.2	22.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	8.3	23.9	6.2	2.1	3.3	2.6	2.5	17.8	20.3
知的障害	13.2	7.9	5.3	9.6	11.0	2.2	1.2	5.3	23.3
発達障害	16.6	8.4	6.5	17.7	10.4	2.7	2.5	4.9	22.3
精神障害	9.7	29.0	9.7	8.3	5.5	0.7	5.5	6.9	20.0
高次脳機能障害	6.2	16.9	2.3	3.1	3.1	1.5	3.1	10.0	22.3
難病（特定疾病）	8.6	24.2	6.2	3.7	2.7	2.5	1.9	15.7	19.5
その他	8.4	28.4	5.3	5.3	2.1	2.1	2.1	17.9	24.2

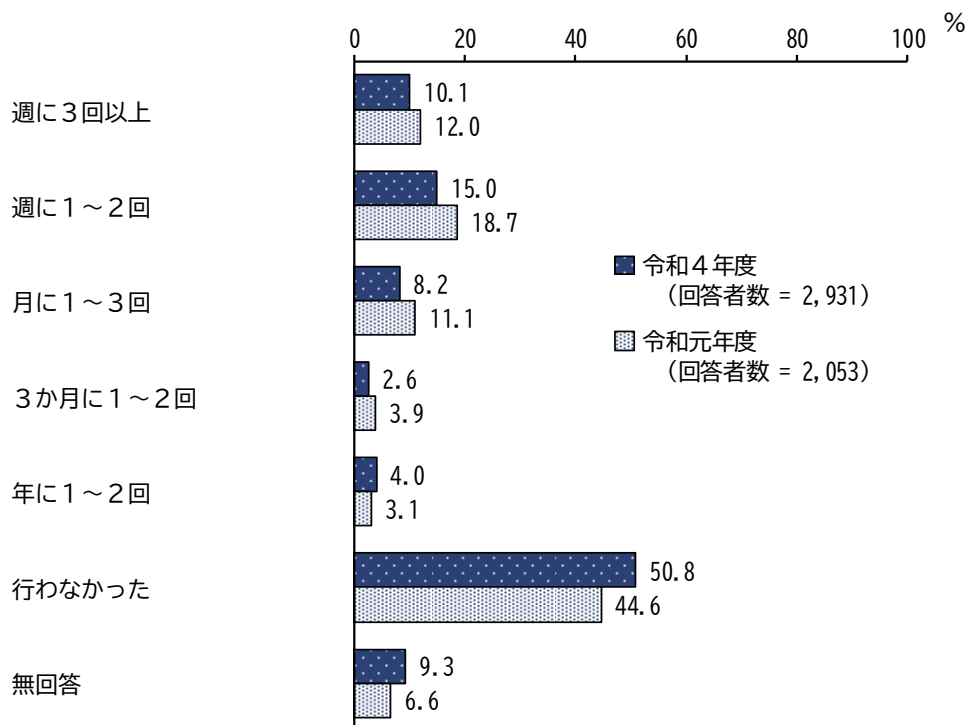
前ページの続き 表

問 33 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、パラスポーツに注目が集まっていますが、あなたがこの1年間にスポーツや運動（軽い体操やレクリエーション等を含む。）を行った回数は何回ですか。（1つに○）

「行わなかった」の割合が50.8%と最も高く、次いで「週に1～2回」の割合が15.0%、「週に3回以上」の割合が10.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「行わなかった」の割合が増加しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「行わなかった」の割合が、発達障害で「週に1～2回」の割合が、精神障害で「行わなかった」の割合が高くなっています。また、発達障害で「行わなかった」の割合が、知的障害で「行わなかった」の割合が、高次脳機能障害で「週に3回以上」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	3か月に1～2回	年に1～2回	行わなかった	無回答
全体	2931	10.1	15.0	8.2	2.6	4.0	50.8	9.3
視覚障害	138	5.1	10.9	7.2	2.9	3.6	58.7	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	9.9	16.6	4.4	2.8	4.4	51.9	9.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	9.2	15.4	3.8	1.5	4.6	58.5	6.9
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	8.3	12.3	6.9	2.3	3.7	57.6	8.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	8.7	12.0	8.0	2.3	4.0	54.2	10.8
知的障害	417	12.7	19.7	12.2	2.6	5.0	40.5	7.2
発達障害	367	18.3	24.5	10.1	3.3	4.9	30.5	8.4
精神障害	145	9.0	11.7	7.6	1.4	4.1	59.3	6.9
高次脳機能障害	130	3.8	16.2	3.8	2.3	1.5	66.2	6.2
難病（特定疾病）	677	9.3	15.8	9.3	3.1	3.2	52.9	6.4
その他	95	7.4	14.7	7.4	1.1	5.3	54.7	9.5

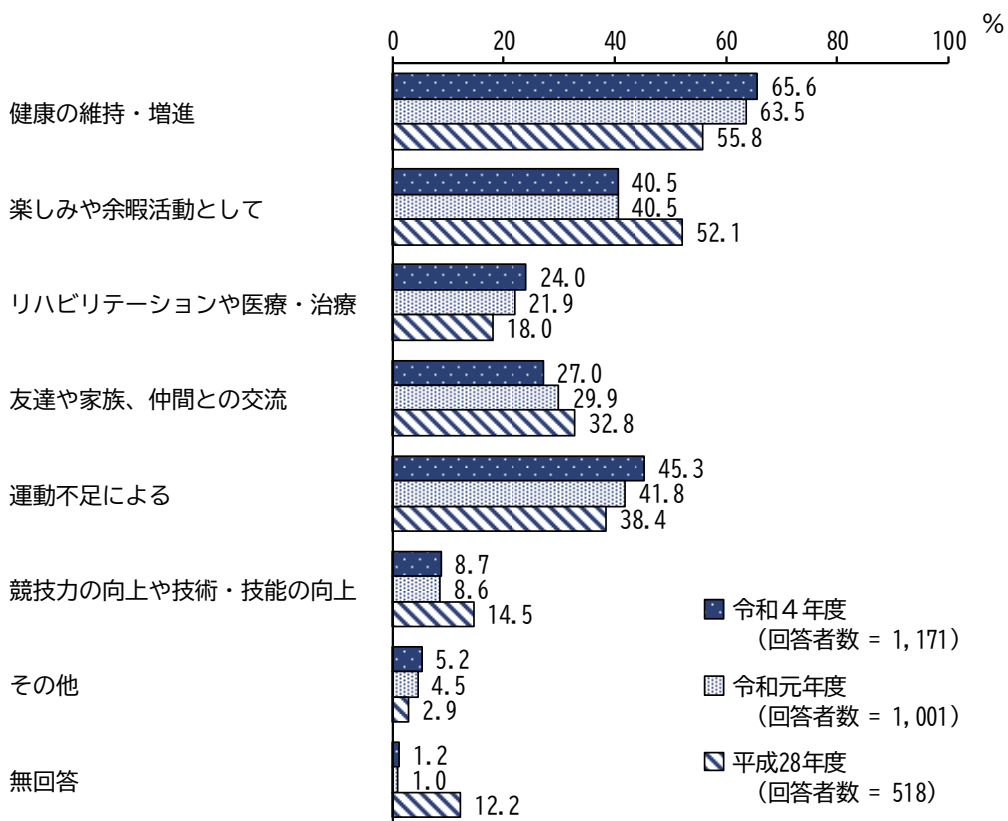
問 33 で「1」～「5」に○を付けた方におたずねします。

問 33-1 あなたがスポーツや運動をする目的は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「健康の維持・増進」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「運動不足による」の割合が 45.3%、「楽しみや余暇活動として」の割合が 40.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「リハビリテーションや医療・治療」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「リハビリテーションや医療・治療」の割合が、高次脳機能障害で「リハビリテーションや医療・治療」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「友達や家族、仲間との交流」の割合が高くなっています。また、発達障害で「健康の維持・増進」の割合が、知的障害で「健康の維持・増進」の割合が、視覚障害で「楽しみや余暇活動として」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	健康の維持・増進	楽しみや余暇活動として	リハビリテーションや医療・治療	友達や家族、仲間との交流	運動不足による	術・技能の向上や競技力の向上や技	その他	無回答
全 体	1171	65.6	40.5	24.0	27.0	45.3	8.7	5.2	1.2
視覚障害	41	75.6	26.8	26.8	26.8	39.0	7.3	2.4	—
聴覚・平衡機能障害	69	66.7	30.4	23.2	44.9	44.9	5.8	4.3	—
音声・言語・そしゃく機能障害	45	62.2	35.6	44.4	33.3	35.6	6.7	13.3	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	305	66.2	36.4	45.6	20.3	42.0	6.9	5.2	1.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	254	75.2	33.1	23.6	22.4	52.4	5.5	3.5	1.6
知的障害	218	50.5	57.8	16.1	38.5	41.7	12.4	9.2	1.4
発達障害	224	44.2	50.9	14.3	37.1	33.5	17.0	9.8	1.8
精神障害	49	65.3	44.9	20.4	16.3	57.1	6.1	6.1	—
高次脳機能障害	36	75.0	33.3	44.4	13.9	44.4	8.3	5.6	2.8
難病（特定疾病）	276	74.6	38.8	29.7	21.0	47.1	6.9	3.3	1.1
その他	34	64.7	44.1	38.2	38.2	38.2	17.6	5.9	—

問 34 あなたが興味がある（やっている、やってみたいまたは観戦したい）スポーツはどれですか。（3つまでに○）

「特にない」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「野球」の割合が 12.7%、「水泳」の割合が 11.9%となっています。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「水泳」の割合が、知的障害で「水泳」の割合が、その他で「サッカー」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「水泳」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「水泳」の割合が、高次脳機能障害で「水泳」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	アーチェリー	陸上競技	バドミントン	ボッチャ	カヌー	自転車 トラック・レ ース	馬術	サッカー	ゴールボール	柔道	グ パ ワ ー リ フ テ ィ ン	ボート	射撃
全 体	2931	2.1	3.9	3.6	5.0	0.8	0.9	3.9	10.7	0.5	1.6	0.2	0.3	2.3
視覚障害	138	2.2	2.2	1.4	6.5	1.4	0.7	5.1	8.0	2.2	—	—	—	1.4
聴覚・平衡機能障害	181	1.7	4.4	4.4	4.4	0.6	—	2.2	7.7	—	0.6	—	0.6	3.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	0.8	2.3	1.5	9.2	0.8	0.8	3.1	9.2	2.3	0.8	—	—	2.3
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	2.0	4.1	1.5	7.6	0.6	0.2	3.5	8.4	0.7	1.8	0.1	0.4	2.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	2.3	4.4	3.6	2.9	0.1	1.0	2.5	9.8	0.4	2.8	0.3	0.4	2.3
知的障害	417	0.5	4.1	3.1	14.1	0.2	1.0	4.6	12.7	1.0	1.4	0.2	0.5	0.7
発達障害	367	1.9	4.4	4.1	4.4	0.8	2.5	6.3	14.7	0.3	0.8	0.3	0.3	3.0
精神障害	145	1.4	2.1	6.9	6.2	1.4	0.7	4.8	12.4	0.7	—	—	—	2.8
高次脳機能障害	130	0.8	1.5	0.8	5.4	—	—	3.1	8.5	0.8	3.1	0.8	—	1.5
難病(特定疾病)	677	1.9	3.2	5.2	4.6	1.2	1.0	6.2	11.5	0.3	1.8	0.1	0.1	2.7
その他	95	1.1	3.2	2.1	3.2	1.1	—	5.3	16.8	—	—	—	—	1.1

単位：％

区分	バレーボール	水泳	卓球	テコンドー	トライアスロン	バスケットボール	野球	フェンシング	ラグビー	テニス	体操	その他	特にない	無回答
全体	3.0	11.9	5.1	0.1	0.3	4.1	12.7	0.5	4.1	5.8	6.5	10.6	32.8	15.6
視覚障害	1.4	7.2	1.4	－	－	－	10.9	0.7	2.2	3.6	3.6	12.3	37.0	19.6
聴覚・平衡機能障害	2.8	6.1	6.6	－	0.6	3.3	11.0	－	3.9	6.6	6.1	11.6	35.4	15.5
音声・言語・そしゃく機能障害	1.5	6.2	6.2	－	－	0.8	13.1	0.8	6.2	8.5	4.6	18.5	36.2	13.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	3.1	9.4	4.6	0.1	0.2	2.5	11.5	0.4	4.2	5.1	4.6	9.5	38.7	15.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2.5	7.6	5.0	－	0.4	4.0	13.8	0.4	6.1	4.4	5.9	10.1	35.4	17.1
知的障害	3.1	23.3	4.8	－	0.5	6.0	8.2	0.2	2.2	4.3	6.7	12.9	25.9	15.6
発達障害	1.9	25.1	3.5	0.3	－	6.3	10.4	0.8	1.6	5.4	8.7	11.4	24.3	14.7
精神障害	4.8	11.0	6.9	0.7	－	9.7	15.2	1.4	3.4	10.3	6.2	15.2	24.8	10.3
高次脳機能障害	4.6	6.2	4.6	0.8	－	0.8	10.0	－	5.4	6.2	5.4	10.8	43.1	13.8
難病（特定疾病）	2.8	8.3	5.0	－	0.3	4.4	12.9	0.4	5.5	6.5	5.8	12.3	32.2	13.7
その他	6.3	11.6	7.4	－	－	4.2	15.8	－	3.2	6.3	10.5	11.6	33.7	12.6

前ページの続き 表

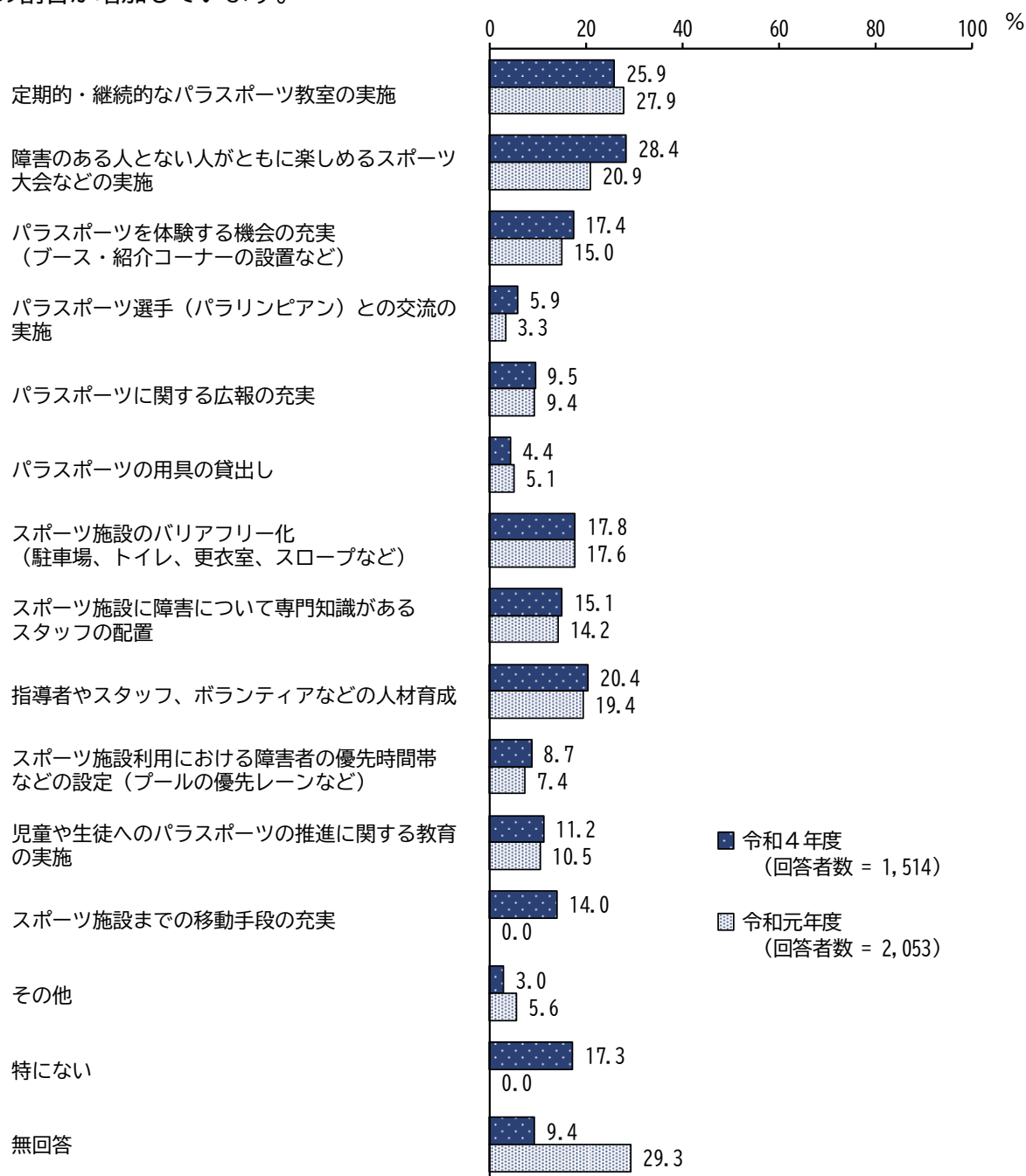
問 34 で「1」～「25」に○を付けた方におたずねします。

問 35 あなたは、パラスポーツの推進に向けて、どのような取組みが必要だと思いますか。（3つまでに○）

「障害のある人とない人がともに楽しめるスポーツ大会などの実施」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「定期的・継続的なパラスポーツ教室の実施」の割合が 25.9%、「指導者やスタッフ、ボランティアなどの人材育成」の割合が 20.4%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「障害のある人とない人がともに楽しめるスポーツ大会などの実施」の割合が増加しています。



※前回は「スポーツ施設までの移動手段の充実」「特にない」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「スポーツ施設までの移動手段の充実」「スポーツ施設のバリアフリー化（駐車場、トイレ、更衣室、スロープなど）」の割合が、知的障害で「スポーツ施設に障害について専門知識があるスタッフの配置」の割合が高くなっています。また、その他で「スポーツ施設のバリアフリー化（駐車場、トイレ、更衣室、スロープなど）」「パラスポーツを体験する機会の充実（ブース・紹介コーナーの設置など）」の割合が、高次脳機能障害で「定期的・継続的なパラスポーツ教室の実施」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	定期的・継続的なパラスポーツ教室の実施	障害のある人となない人がともに楽しめるスポーツ大会などの実施	パラスポーツを体験する機会の充実（ブース・紹介コーナーの設置など）	交流の実施	パラスポーツ選手（パラリンピアン）との交流の実施	パラスポーツに関する広報の充実	パラスポーツの用具の貸出し	トイレ、更衣室、スロープなど	スポーツ施設のバリアフリー化（駐車場、トイレ、更衣室、スロープなど）	あるスタッフの配置	スポーツ施設に障害について専門知識があるスタッフの配置	育成	指導者やスタッフ、ボランティアなどの人材	間帯などの設定（プールの優先レーンなど）	スポーツ施設利用における障害者の優先時間帯などの設定（プールの優先レーンなど）	児童や生徒へのパラスポーツの推進に関する教育の実施	スポーツ施設までの移動手段の充実	その他	特になし	無回答
全体	1514	25.9	28.4	17.4	5.9	9.5	4.4	17.8	15.1	20.4	8.7	11.2	14.0	3.0	17.3	9.4					
視覚障害	60	16.7	31.7	15.0	1.7	6.7	8.3	16.7	23.3	15.0	11.7	11.7	21.7	1.7	18.3	10.0					
聴覚・平衡機能障害	89	25.8	31.5	16.9	4.5	7.9	4.5	12.4	12.4	16.9	6.7	9.0	14.6	2.2	22.5	14.6					
音声・言語・そしゃく機能障害	65	16.9	24.6	20.0	3.1	4.6	4.6	24.6	16.9	16.9	12.3	9.2	15.4	3.1	16.9	13.8					
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	421	22.6	26.1	17.6	5.5	7.4	6.2	26.4	12.6	18.1	9.7	6.9	18.3	4.3	16.4	10.9					
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	344	25.0	26.2	13.1	5.8	13.1	2.9	20.9	12.8	18.6	8.1	8.4	17.2	2.3	21.5	8.4					
知的障害	244	36.1	27.9	17.6	6.1	8.2	2.5	11.5	27.5	30.3	16.8	13.1	13.9	3.3	7.8	9.4					
発達障害	224	35.3	28.1	20.1	5.8	5.8	3.1	8.9	21.9	25.9	10.7	22.3	9.4	4.9	11.2	8.5					
精神障害	94	18.1	25.5	23.4	6.4	9.6	5.3	11.7	18.1	21.3	6.4	4.3	11.7	4.3	20.2	10.6					
高次脳機能障害	56	16.1	25.0	23.2	5.4	3.6	1.8	30.4	23.2	12.5	8.9	5.4	26.8	7.1	10.7	12.5					
難病（特定疾病）	366	23.8	28.7	20.2	6.0	11.5	4.4	20.8	16.4	19.9	6.8	12.0	12.0	3.0	16.4	9.3					
その他	51	19.6	25.5	7.8	9.8	7.8	3.9	7.8	9.8	17.6	3.9	15.7	11.8	2.0	29.4	11.8					

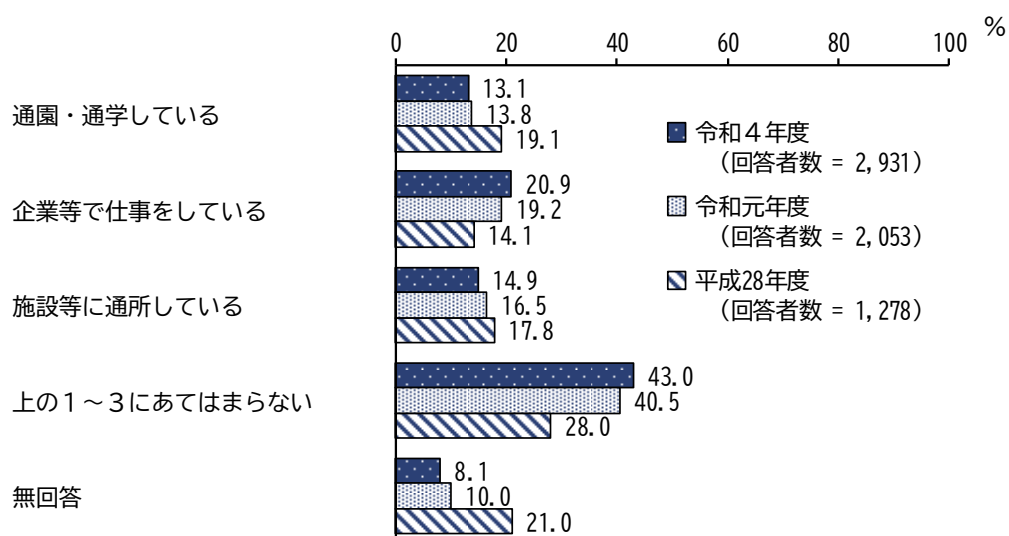
(7) 通園・通学や就労の状況について

問 36 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。(1つに○)

「上の1～3にあてはまらない」の割合が43.0%と最も高く、次いで「企業等で仕事をしている」の割合が20.9%、「施設等に通所している」の割合が14.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「通園・通学している」の割合が、精神障害で「施設等に通所している」の割合が、知的障害で「通園・通学している」の割合が高くなっています。また、知的障害で「上の1～3にあてはまらない」の割合が、発達障害で「上の1～3にあてはまらない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「企業等で仕事をしている」の割合が、高次脳機能障害で「企業等で仕事をしている」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	通園・通学している	企業等で仕事をしている	施設等に通所している	上の1～3にあてはまらない	無回答
全 体	2931	13.1	20.9	14.9	43.0	8.1
視覚障害	138	9.4	13.0	13.8	50.0	13.8
聴覚・平衡機能障害	181	11.0	12.2	14.9	48.1	13.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	15.4	10.0	22.3	43.8	8.5
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	6.3	15.5	18.3	51.4	8.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	4.6	23.2	7.2	56.7	8.4
知的障害	417	40.8	14.6	32.9	8.9	2.9
発達障害	367	59.7	10.6	15.0	10.9	3.8
精神障害	145	4.1	13.1	48.3	32.4	2.1
高次脳機能障害	130	3.8	10.0	32.3	47.7	6.2
難病(特定疾病)	677	4.7	31.5	7.8	49.2	6.8
その他	95	16.8	10.5	17.9	51.6	3.2

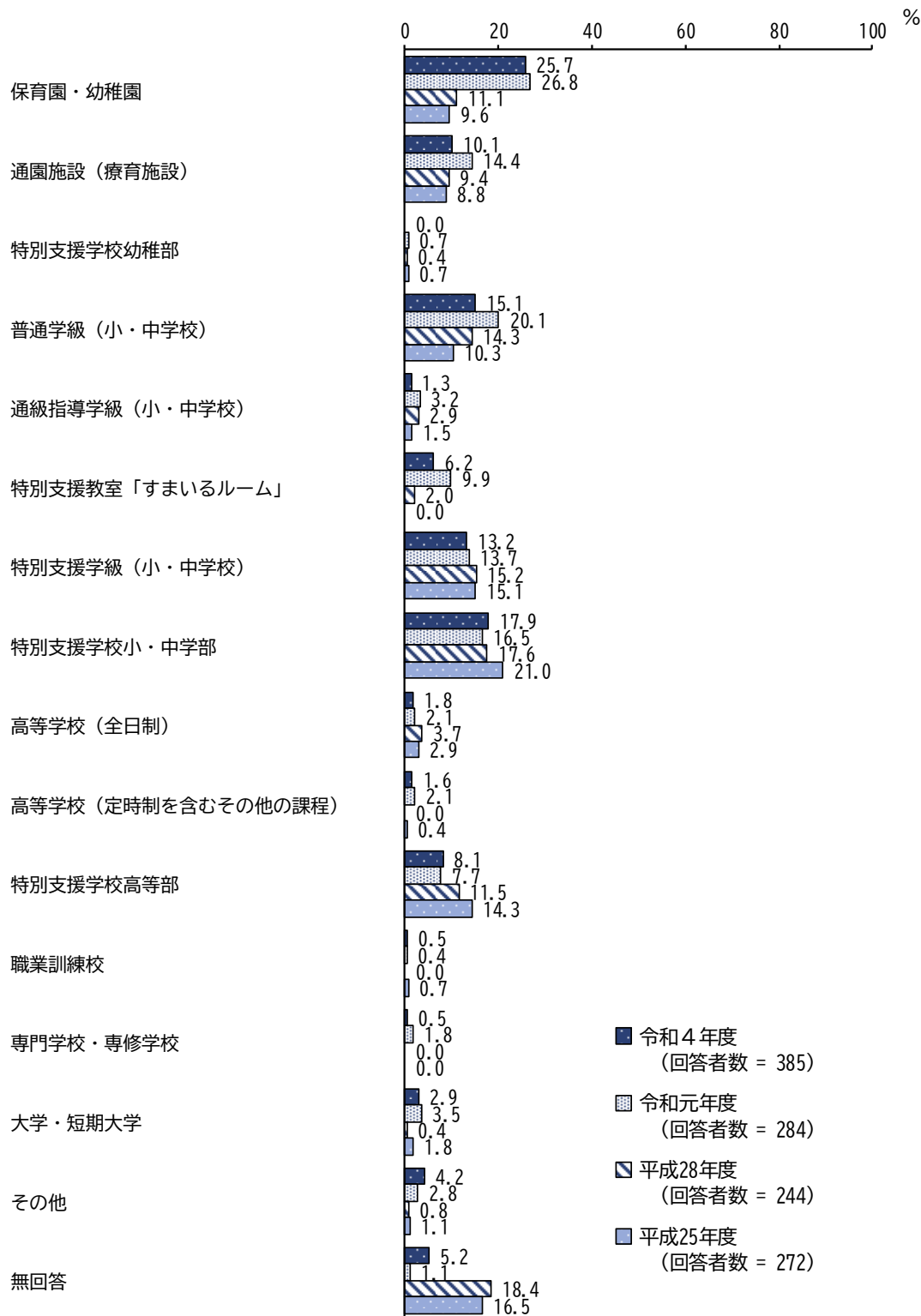
問 36 で「1. 通園・通学している」とお答えの方におたずねします

問 36-1 あなたが通園・通学しているところはどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

「保育園・幼稚園」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「特別支援学校小・中学部」の割合が 17.9%、「普通学級（小・中学校）」の割合が 15.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「普通学級（小・中学校）」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「特別支援学校小・中学部」の割合が、その他で「保育園・幼稚園」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「特別支援学校小・中学部」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「特別支援学校小・中学部」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「保育園・幼稚園」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「保育園・幼稚園」の割合が、知的障害で「保育園・幼稚園」の割合が低くなっています。

単位：％

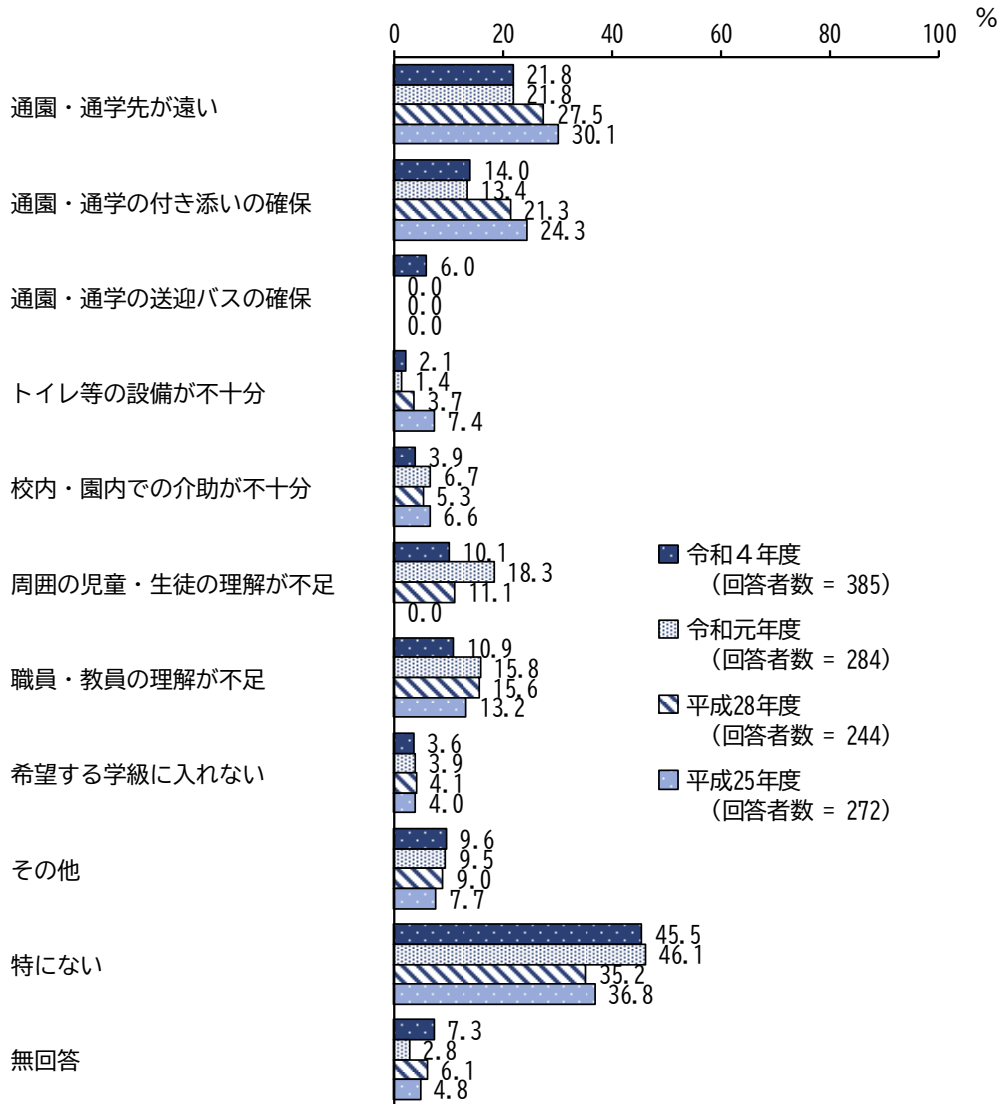
区分	回答者数（件）	保育園・幼稚園	通園施設（療育施設）	特別支援学校幼稚部	普通学級（小・中学校）	通級指導学級（小・中学校）	特別支援教室 「すまいるルーム」	特別支援学級（小・中学校）	特別支援学校小・中学部	高等学校（全日制）	高等学校（定時制を含む その他の課程）	特別支援学校高等部	職業訓練校	専門学校・専修学校	大学・短期大学	その他	無回答
全体	385	25.7	10.1	—	15.1	1.3	6.2	13.2	17.9	1.8	1.6	8.1	0.5	0.5	2.9	4.2	5.2
視覚障害	13	15.4	15.4	—	—	7.7	—	7.7	46.2	—	7.7	—	—	—	7.7	7.7	—
聴覚・平衡機能障害	20	10.0	10.0	—	15.0	5.0	—	—	40.0	—	—	5.0	—	—	10.0	15.0	—
音声・言語・そしゃく機能障害	20	20.0	10.0	—	10.0	5.0	—	10.0	40.0	—	—	5.0	—	—	—	—	10.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	57	12.3	8.8	—	7.0	—	—	8.8	38.6	—	—	14.0	—	1.8	1.8	8.8	7.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	33	6.1	6.1	—	15.2	—	3.0	6.1	18.2	6.1	—	12.1	—	—	3.0	12.1	21.2
知的障害	170	11.8	11.2	—	2.4	0.6	—	21.2	33.5	1.2	1.2	17.6	0.6	—	1.2	2.9	2.4
発達障害	219	36.1	12.3	—	18.3	0.9	10.0	12.3	16.0	2.3	1.8	5.0	0.9	—	1.4	1.4	0.9
精神障害	6	—	—	—	—	—	—	16.7	50.0	—	—	16.7	—	—	—	16.7	—
高次脳機能障害	5	—	—	—	—	—	—	—	60.0	20.0	—	—	—	—	—	20.0	—
難病（特定疾病）	32	12.5	15.6	—	6.3	—	—	12.5	15.6	3.1	—	12.5	—	3.1	12.5	9.4	9.4
その他	16	50.0	18.8	—	12.5	—	6.3	—	6.3	—	6.3	6.3	—	—	—	6.3	6.3

問 36-2 通園・通学をする上で、困っていることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「通園・通学先が遠い」の割合が 21.8%、「通園・通学の付き添いの確保」の割合が 14.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「周囲の児童・生徒の理解が不足」の割合が減少しています。



※前回は「通園・通学の送迎バスの確保」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「通園・通学先が遠い」の割合が、知的障害で「通園・通学先が遠い」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「通園・通学の付き添いの確保」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「通園・通学の付き添いの確保」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「職員・教員の理解が不足」の割合が、視覚障害で「通園・通学の付き添いの確保」の割合が低くなっています。

単位：％

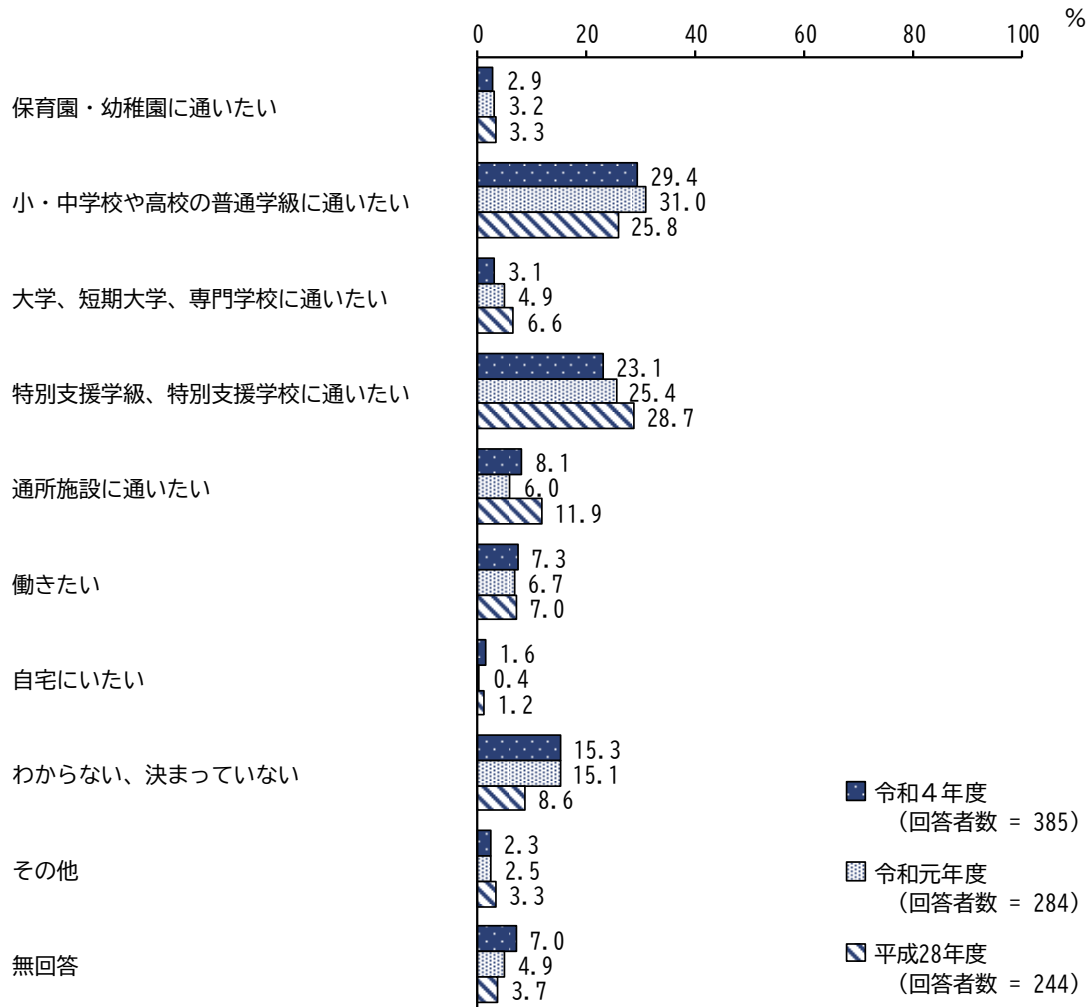
区分	回答者数 (件)	通園・通学先が遠い	通園・通学の 付き添いの確保	通園・通学の送迎 バスの確保	トイレ等の設備が 不十分	校内・園内での 介助が不十分	周囲の児童・生徒の 理解が不足	職員・教員の理解が 不足	希望する学級に 入れない	その他	特にな い	無回 答
全 体	385	21.8	14.0	6.0	2.1	3.9	10.1	10.9	3.6	9.6	45.5	7.3
視覚障害	13	23.1	7.7	15.4	—	7.7	15.4	—	—	15.4	38.5	—
聴覚・平衡機能障害	20	20.0	10.0	5.0	—	—	5.0	5.0	5.0	10.0	60.0	5.0
音声・言語・そしゃく 機能障害	20	20.0	5.0	5.0	—	—	5.0	—	—	15.0	50.0	10.0
肢体不自由（上肢・下 肢・体幹・脳性麻痺・ 移動機能障害等）	57	21.1	22.8	12.3	5.3	7.0	7.0	8.8	3.5	12.3	35.1	12.3
内部障害（心臓、じん 臓、呼吸器、肝臓、ぼ うこう・直腸、小腸、 免疫機能等）	33	18.2	12.1	6.1	3.0	3.0	—	3.0	—	6.1	42.4	24.2
知的障害	170	34.7	19.4	9.4	1.8	4.7	7.1	12.4	3.5	14.1	35.9	3.5
発達障害	219	20.1	12.3	2.3	0.9	2.7	12.8	12.3	3.7	10.5	48.9	2.7
精神障害	6	33.3	—	—	—	—	—	—	—	50.0	16.7	—
高次脳機能障害	5	—	—	20.0	—	20.0	—	20.0	—	20.0	20.0	20.0
難病（特定疾病）	32	37.5	15.6	18.8	12.5	15.6	—	9.4	—	6.3	37.5	3.1
その他	16	—	12.5	—	—	6.3	18.8	—	—	25.0	50.0	12.5

問 36-3 現在通っている学校・園などの次にどのような生活を希望しますか。
(1つに○)

「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」の割合が29.4%と最も高く、次いで「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」の割合が23.1%、「わからない、決まっていない」の割合が15.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「入所施設に入りたい」の選択肢がありましたが、「その他」に含め、記載しています。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」の割合が、視覚障害で「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」「わからない、決まっていない」の割合が高くなっています。また、知的障害で「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」の割合が低くなっています。

単位：％

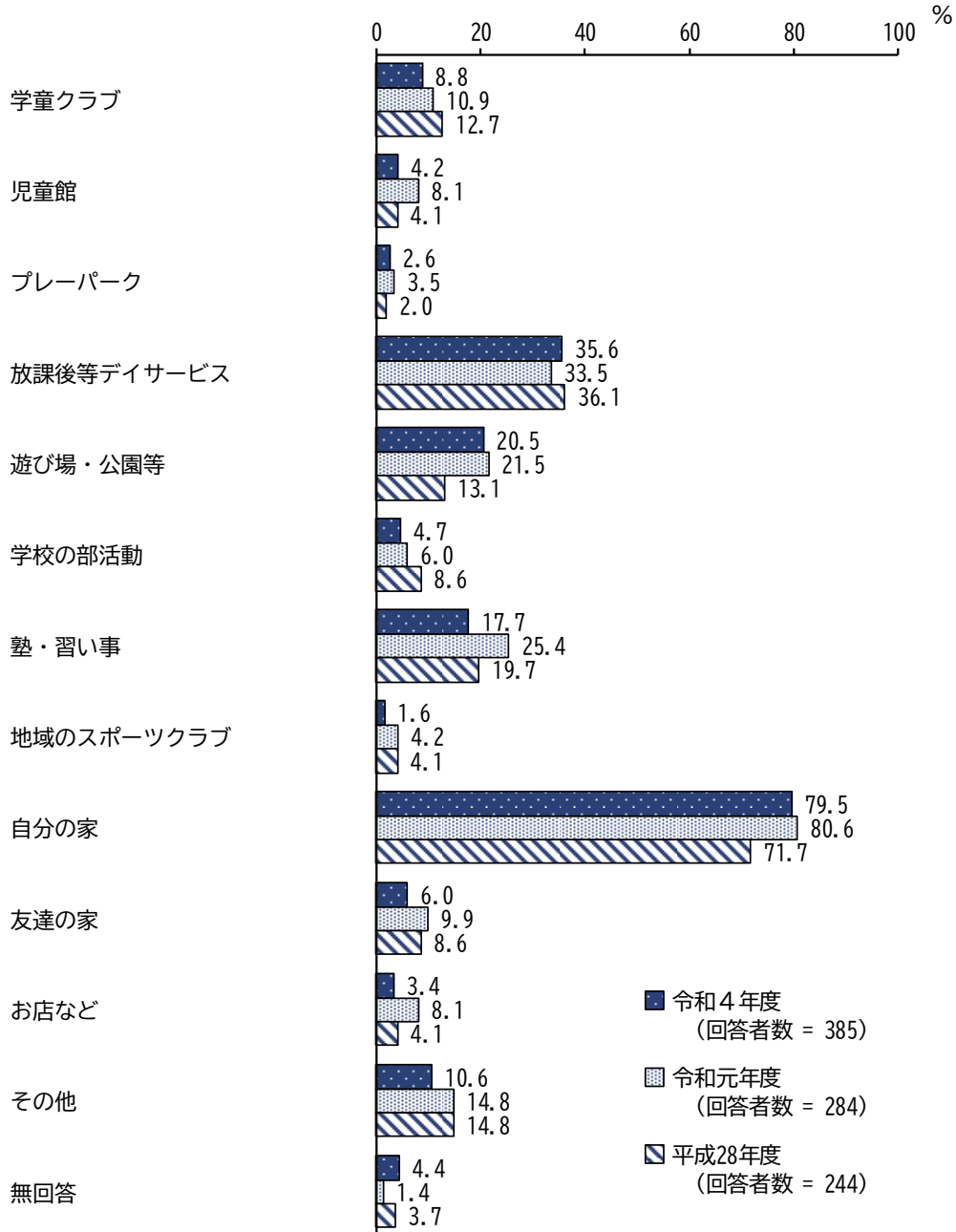
区分	回答者数 (件)	保育園・幼稚園に通いたい	小・中学校や高校の普通学級に通いたい	大学、短期大学、専門学校に通いたい	特別支援学級、特別支援学校に通いたい	通所施設に通いたい	働きたい	自宅にいたい	わからない、決まっていない	その他	無回答
全 体	385	2.9	29.4	3.1	23.1	8.1	7.3	1.6	15.3	2.3	7.0
視覚障害	13	—	15.4	7.7	38.5	—	7.7	—	23.1	—	7.7
聴覚・平衡機能障害	20	—	25.0	—	25.0	20.0	10.0	—	5.0	5.0	10.0
音声・言語・そしゃく機能障害	20	—	20.0	—	25.0	25.0	—	10.0	5.0	10.0	5.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	57	—	12.3	1.8	26.3	24.6	5.3	1.8	17.5	1.8	8.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	33	—	12.1	6.1	15.2	15.2	9.1	9.1	6.1	3.0	24.2
知的障害	170	1.2	9.4	1.8	38.8	15.3	10.0	1.2	17.1	1.2	4.1
発達障害	219	4.1	36.5	3.7	25.6	4.6	5.0	—	16.0	1.4	3.2
精神障害	6	—	—	—	50.0	—	16.7	—	33.3	—	—
高次脳機能障害	5	—	—	—	40.0	—	20.0	—	20.0	—	20.0
難病（特定疾病）	32	—	12.5	3.1	25.0	18.8	12.5	—	18.8	3.1	6.3
その他	16	12.5	31.3	—	18.8	6.3	—	—	18.8	6.3	6.3

問 36-4 あなたは放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の家」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 35.6%、「遊び場・公園等」の割合が 20.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「塾・習い事」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「放課後等デイサービス」の割合が、その他で「遊び場・公園等」の割合が、視覚障害で「放課後等デイサービス」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「放課後等デイサービス」の割合が、その他で「放課後等デイサービス」の割合が、視覚障害で「自分の家」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学童クラブ	児童館	プレーパーク	放課後等 デイサービス	遊び場・公園等	学校の部活動	塾・習い事	地域のスポーツクラブ	自分の家	友達の家	お店など	その他	無回答
全 体	385	8.8	4.2	2.6	35.6	20.5	4.7	17.7	1.6	79.5	6.0	3.4	10.6	4.4
視覚障害	13	7.7	－	－	46.2	15.4	－	23.1	－	61.5	7.7	－	7.7	－
聴覚・平衡機能障害	20	5.0	5.0	－	40.0	10.0	15.0	10.0	5.0	65.0	5.0	－	5.0	10.0
音声・言語・そしゃく機能障害	20	－	－	－	35.0	5.0	－	5.0	5.0	65.0	－	－	10.0	10.0
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	57	3.5	1.8	－	43.9	8.8	3.5	3.5	－	77.2	3.5	3.5	8.8	5.3
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	33	6.1	－	－	12.1	3.0	6.1	9.1	－	66.7	15.2	3.0	12.1	21.2
知的障害	170	10.0	－	－	60.6	10.0	3.5	8.8	－	80.0	3.5	2.9	10.0	1.8
発達障害	219	9.1	6.4	3.7	35.6	27.9	5.5	20.5	1.8	84.9	5.9	2.7	11.4	0.9
精神障害	6	16.7	－	－	50.0	－	16.7	16.7	－	50.0	－	－	－	－
高次脳機能障害	5	－	－	－	20.0	－	－	－	－	80.0	－	－	－	－
難病(特定疾病)	32	6.3	－	－	34.4	12.5	3.1	6.3	－	84.4	9.4	9.4	6.3	6.3
その他	16	6.3	6.3	12.5	12.5	43.8	－	25.0	－	75.0	－	6.3	12.5	－

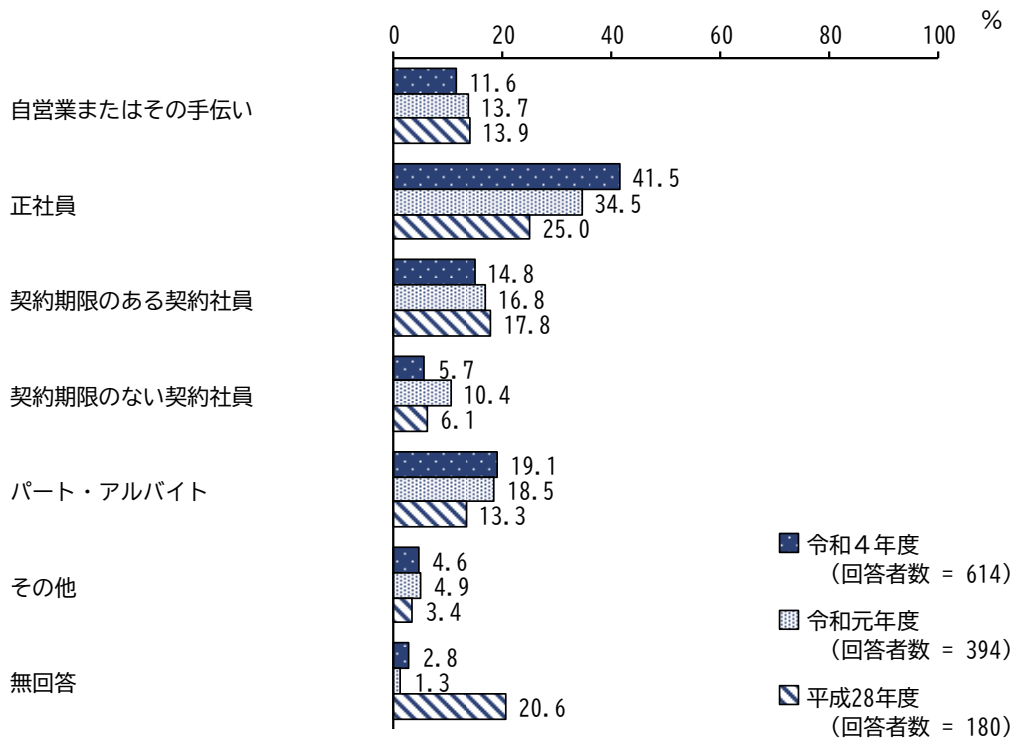
問 36 で「2. 企業等で仕事をしている」とお答えの方におたずねします

問 36-5 あなたはどのように働いていますか。(1つに○)

「正社員」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 19.1%、「契約期限のある契約社員」の割合が 14.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「正社員」の割合が増加しています。



※前回は「在宅勤務、内職」の選択肢がありました、「その他」に含め、記載しています。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、その他で「パート・アルバイト」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「正社員」の割合が、知的障害で「契約期限のある契約社員」の割合が高くなっています。また、その他で「正社員」の割合が、知的障害で「正社員」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「パート・アルバイト」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自営業 またはその 手伝い	正社員	契約期限 のある契 約社員	契約期限 のない契 約社員	パート・ アルバイト	その他	無回 答
全 体	614	11.6	41.5	14.8	5.7	19.1	4.6	2.8
視覚障害	18	11.1	44.4	16.7	5.6	16.7	—	5.6
聴覚・平衡機能障害	22	13.6	31.8	13.6	4.5	22.7	9.1	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	13	—	61.5	7.7	15.4	7.7	7.7	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性 麻痺・移動機能障害等）	141	10.6	45.4	16.3	6.4	12.8	4.3	4.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝 臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能 等）	168	19.0	39.3	10.1	6.5	16.7	6.5	1.8
知的障害	61	—	26.2	32.8	13.1	19.7	3.3	4.9
発達障害	39	2.6	33.3	25.6	7.7	30.8	—	—
精神障害	19	—	31.6	15.8	10.5	36.8	5.3	—
高次脳機能障害	13	—	38.5	23.1	7.7	23.1	7.7	—
難病（特定疾病）	213	11.3	46.5	11.3	5.6	21.1	3.3	0.9
その他	10	10.0	10.0	—	—	50.0	20.0	10.0

【障害支援区分別】

障害支援区分別にみると、他に比べ、区分2で「契約期限のある契約社員」の割合が、区分1で「正社員」の割合が、区分3で「契約期限のある契約社員」の割合が高くなっています。また、区分2で「正社員」「パート・アルバイト」の割合が、区分3で「パート・アルバイト」の割合が低くなっています。

単位：%

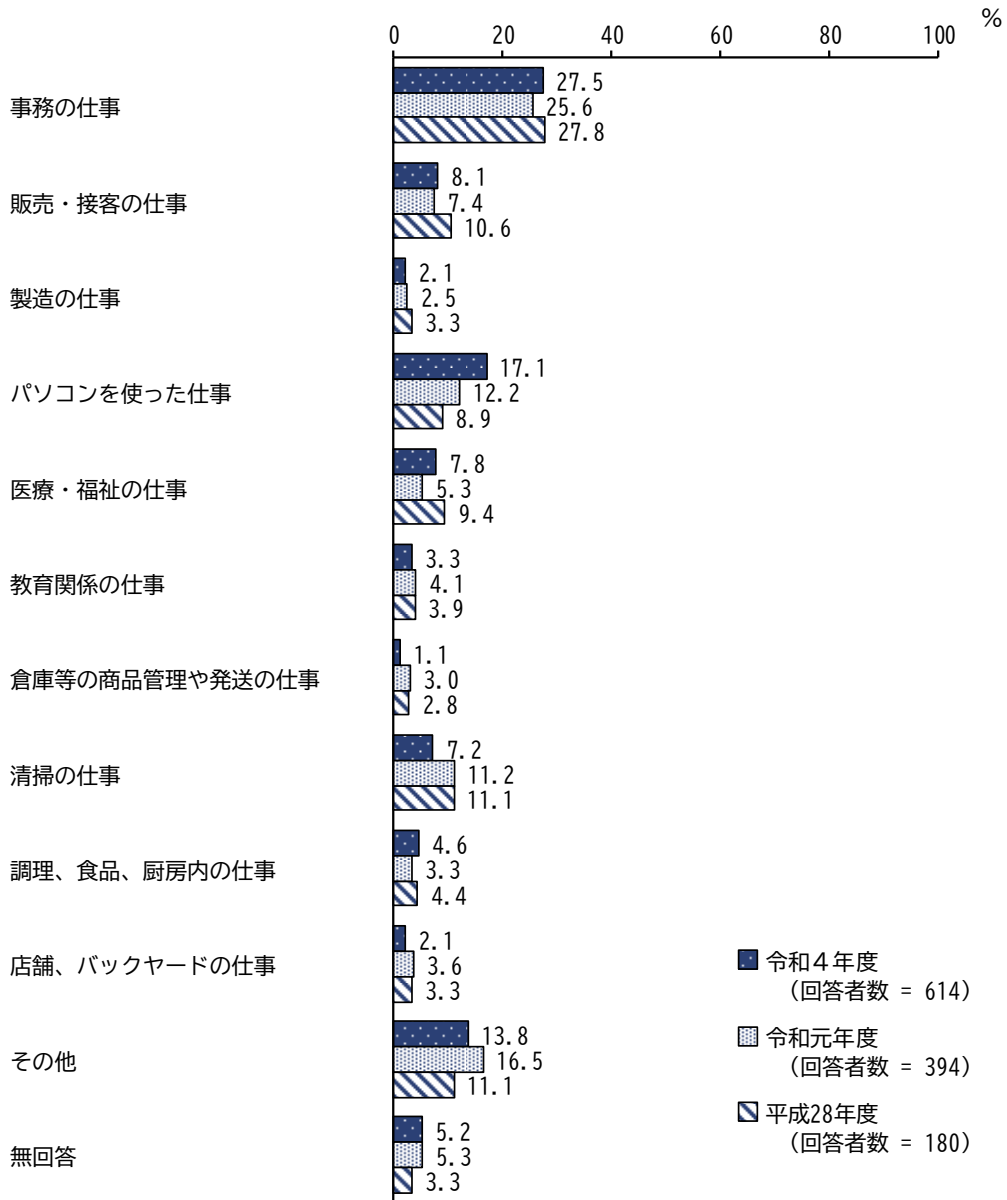
区分	回答者数 (件)	自営業またはその 手伝い	正社員	契約期限のある 契約社員	契約期限のない 契約社員	パート・アルバイト	その他	無回答
全 体	614	11.6	41.5	14.8	5.7	19.1	4.6	2.8
区分1	14	21.4	64.3	—	—	14.3	—	—
区分2	20	10.0	10.0	45.0	25.0	5.0	5.0	—
区分3	12	—	33.3	33.3	8.3	8.3	—	16.7
区分4	7	14.3	14.3	—	—	57.1	—	14.3
区分5	4	—	25.0	—	25.0	25.0	25.0	—
区分6	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—
認定を受けていない (児童や非該当の方を含む)	349	8.6	49.3	13.8	6.3	16.3	4.6	1.1

問 36-6 どのような仕事をしていますか。(主なもの1つに○)

「事務の仕事」の割合が27.5%と最も高く、次いで「パソコンを使った仕事」の割合が17.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「わからない」の選択肢がありましたが、「その他」に含め、記載しています。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「事務の仕事」「パソコンを使った仕事」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「パソコンを使った仕事」の割合が高くなっています。また、発達障害で「パソコンを使った仕事」の割合が、視覚障害で「パソコンを使った仕事」の割合が、その他で「事務の仕事」の割合が低くなっています。

単位：％

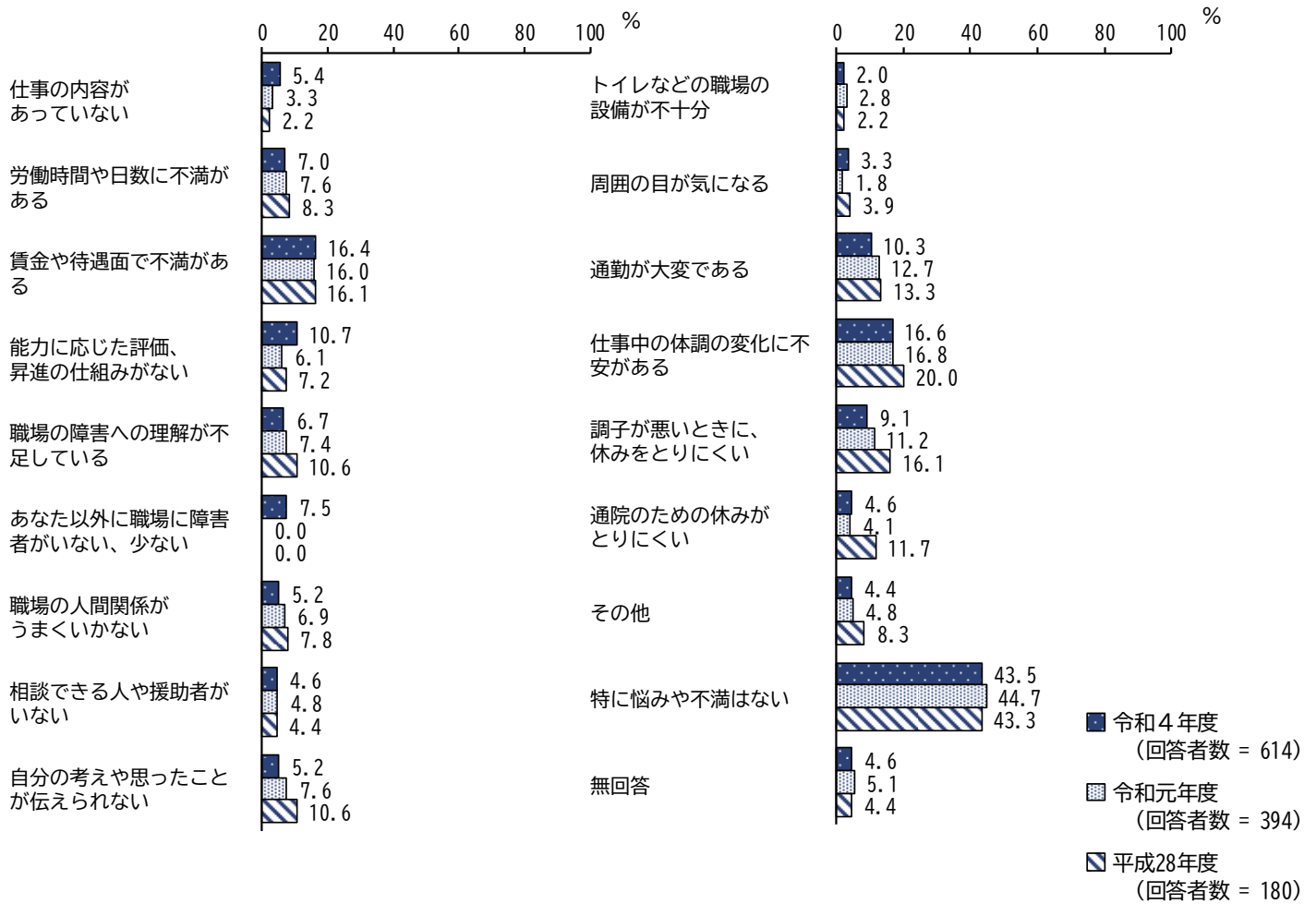
区分	回答者数(件)	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	パソコンを使った仕事	医療・福祉の仕事	教育関係の仕事	倉庫等の商品管理や発送の仕事	清掃の仕事	調理、食品、厨房内の仕事	店舗、バックヤードの仕事	その他	無回答
全体	614	27.5	8.1	2.1	17.1	7.8	3.3	1.1	7.2	4.6	2.1	13.8	5.2
視覚障害	18	27.8	16.7	—	5.6	11.1	11.1	—	11.1	5.6	—	11.1	—
聴覚・平衡機能障害	22	27.3	—	4.5	27.3	—	4.5	—	4.5	—	4.5	18.2	9.1
音声・言語・そしゃく機能障害	13	46.2	—	—	23.1	7.7	—	—	7.7	7.7	7.7	—	—
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	141	29.1	9.2	2.1	22.7	2.1	5.0	—	5.7	2.8	1.4	13.5	6.4
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	168	26.8	8.3	1.8	17.9	8.3	3.0	0.6	4.8	5.4	—	17.9	5.4
知的障害	61	24.6	3.3	4.9	—	3.3	—	3.3	31.1	8.2	8.2	9.8	3.3
発達障害	39	33.3	—	2.6	2.6	—	—	7.7	17.9	10.3	7.7	12.8	5.1
精神障害	19	26.3	5.3	—	10.5	15.8	—	—	31.6	10.5	—	—	—
高次脳機能障害	13	23.1	7.7	7.7	15.4	—	—	—	15.4	7.7	7.7	15.4	—
難病(特定疾病)	213	24.9	8.9	1.9	23.0	13.1	2.8	0.9	1.9	4.2	2.3	12.2	3.8
その他	10	20.0	20.0	—	—	—	10.0	—	20.0	—	—	10.0	20.0

問 36-7 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「特に悩みや不満はない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「工作中的体調の変化に不安がある」の割合が 16.6%、「賃金や待遇面で不満がある」の割合が 16.4%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「あなた以外に職場に障害者がいない、少ない」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「賃金や待遇面で不満がある」「仕事中の体調の変化に不安がある」の割合が、発達障害で「通勤が大変である」の割合が高くなっています。また、精神障害で「特に悩みや不満はない」の割合が、その他で「特に悩みや不満はない」の割合が、高次脳機能障害で「特に悩みや不満はない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事の内容があつていない	労働時間や日数に不満がある	賃金や待遇面で不満がある	能力に応じた評価、昇進の仕組みがない	職場の障害への理解が不足している	あなた以外に職場に障害者がいない、少ない	職場の人間関係がうまくいかない	相談できる人や援助者がいない	自分の考えや思ったことが伝えられない
全体	614	5.4	7.0	16.4	10.7	6.7	7.5	5.2	4.6	5.2
視覚障害	18	5.6	11.1	16.7	11.1	16.7	16.7	5.6	11.1	5.6
聴覚・平衡機能障害	22	4.5	13.6	18.2	13.6	4.5	13.6	—	—	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	13	—	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	—	—	7.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	141	4.3	7.8	17.7	10.6	7.1	9.2	3.5	6.4	3.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	168	4.2	6.0	16.1	10.1	7.1	7.7	4.8	4.8	1.2
知的障害	61	9.8	4.9	4.9	4.9	13.1	8.2	14.8	6.6	24.6
発達障害	39	12.8	7.7	12.8	10.3	12.8	7.7	12.8	7.7	20.5
精神障害	19	10.5	15.8	42.1	21.1	21.1	10.5	15.8	26.3	10.5
高次脳機能障害	13	—	—	15.4	—	15.4	15.4	—	—	23.1
難病(特定疾病)	213	6.1	8.9	20.7	15.5	6.1	8.9	6.6	5.2	3.8
その他	10	10.0	10.0	10.0	—	—	10.0	—	—	—

単位：％

区分	トイレなどの職場の設備が不十分	周囲の目が気になる	通勤が大変である	仕事中の体調の変化に不安がある	調子が悪いときに、休みをとりにくい	通院のための休みがとりにくい	その他	特に悩みや不満はない	無回答
全 体	2.0	3.3	10.3	16.6	9.1	4.6	4.4	43.5	4.6
視覚障害	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	—	55.6	—
聴覚・平衡機能障害	—	4.5	—	18.2	—	—	4.5	36.4	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	—	7.7	7.7	7.7	7.7	—	—	30.8	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	2.8	3.5	14.9	15.6	7.1	2.1	2.1	46.8	5.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1.2	2.4	9.5	14.9	11.9	7.1	6.5	44.6	4.8
知的障害	—	3.3	18.0	6.6	6.6	1.6	1.6	42.6	9.8
発達障害	—	7.7	23.1	15.4	5.1	5.1	5.1	35.9	5.1
精神障害	—	31.6	15.8	36.8	26.3	5.3	5.3	15.8	—
高次脳機能障害	—	—	7.7	7.7	—	—	15.4	23.1	—
難病（特定疾病）	3.3	2.8	10.8	24.9	12.7	6.6	3.8	39.9	2.8
その他	—	—	10.0	10.0	—	10.0	50.0	20.0	10.0

前ページの続き 表

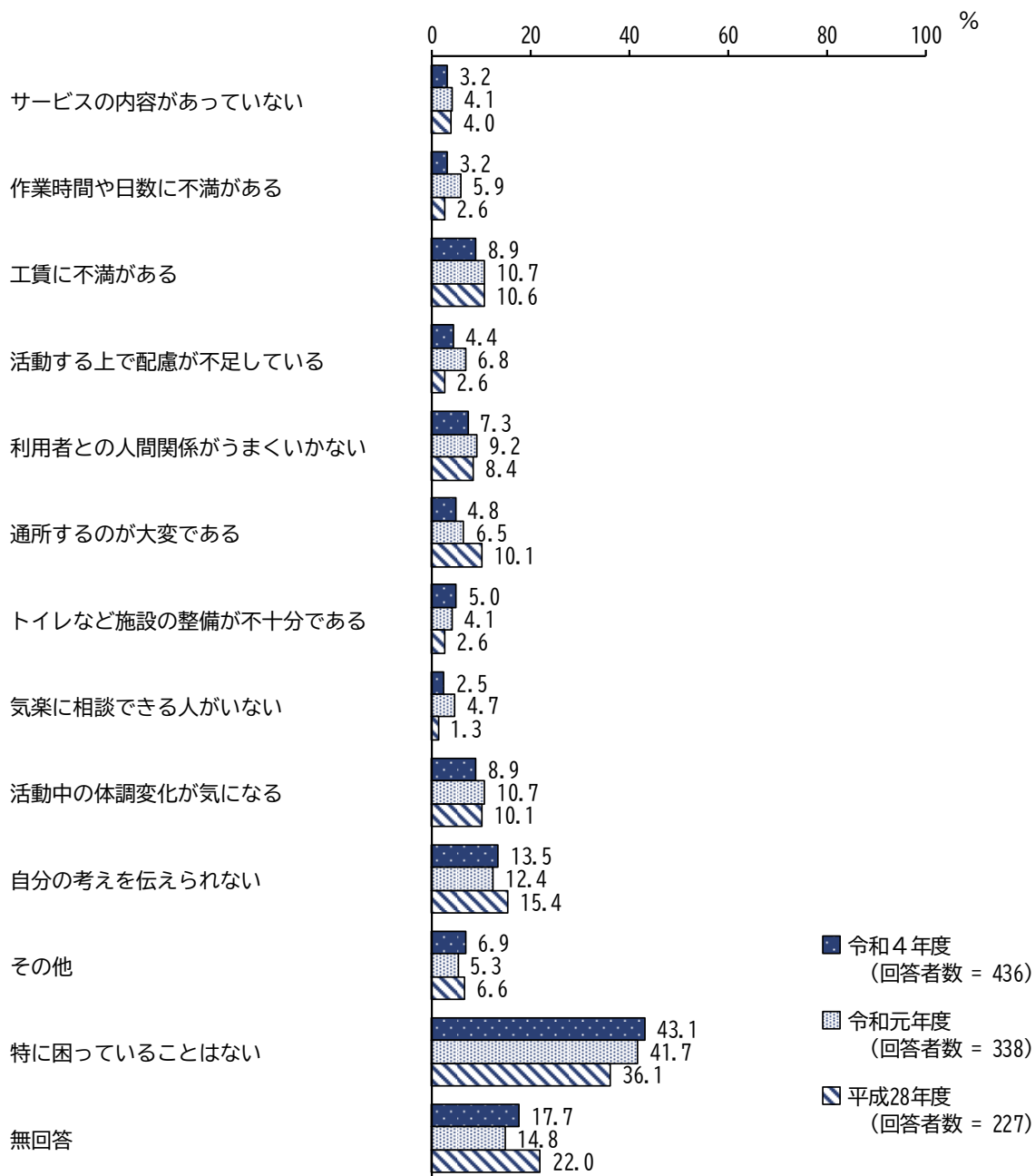
問 36 で「3. 施設等に通所している」とお答えの方におたずねします

問 36-8 通所する上で何か困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「特に困っていることはない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「自分の考えを伝えられない」の割合が 13.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「自分の考えを伝えられない」の割合が、その他で「特に困っていることはない」の割合が、高次脳機能障害で「特に困っていることはない」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「特に困っていることはない」の割合が、視覚障害で「特に困っていることはない」の割合が、発達障害で「特に困っていることはない」の割合が低くなっています。

単位：％

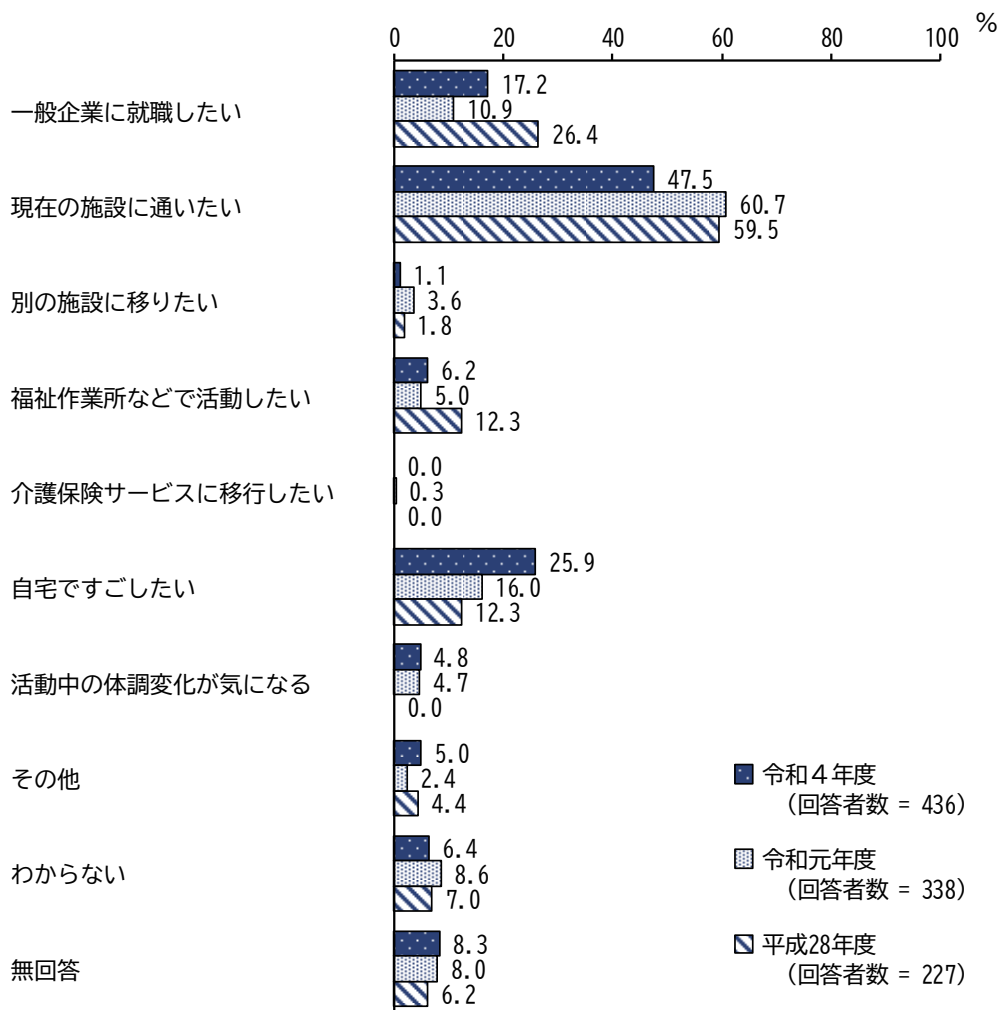
区分	回答者数（件）	サービスの内容があっていない	作業時間や日数に不満がある	工賃に不満がある	活動する上で配慮が不足している	利用者との人間関係がうまくいかない	通所するのが大変である	トイレなど施設の整備が不十分である	気楽に相談できる人がいない	活動中の体調変化が気になる	自分の考えを伝えられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	436	3.2	3.2	8.9	4.4	7.3	4.8	5.0	2.5	8.9	13.5	6.9	43.1	17.7
視覚障害	19	—	10.5	5.3	—	5.3	—	5.3	5.3	15.8	5.3	10.5	31.6	31.6
聴覚・平衡機能障害	27	—	3.7	7.4	—	—	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	55.6	29.6
音声・言語・そしゃく機能障害	29	3.4	6.9	3.4	3.4	—	6.9	—	6.9	—	34.5	3.4	34.5	13.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	166	3.6	3.0	3.6	4.8	3.0	4.8	4.8	3.0	7.2	12.7	8.4	42.8	18.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	52	1.9	—	—	3.8	3.8	5.8	1.9	—	3.8	5.8	9.6	28.8	50.0
知的障害	137	4.4	2.9	10.9	6.6	9.5	5.1	8.8	1.5	7.3	24.1	6.6	43.8	5.8
発達障害	55	9.1	3.6	9.1	5.5	18.2	12.7	5.5	3.6	16.4	20.0	9.1	32.7	14.5
精神障害	70	2.9	5.7	27.1	2.9	18.6	5.7	5.7	1.4	17.1	11.4	10.0	32.9	11.4
高次脳機能障害	42	9.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	4.8	4.8	2.4	9.5	9.5	57.1	4.8
難病（特定疾病）	53	1.9	1.9	5.7	3.8	3.8	5.7	—	3.8	15.1	13.2	9.4	39.6	24.5
その他	17	5.9	—	5.9	—	5.9	5.9	5.9	—	5.9	—	5.9	58.8	17.6

問 36-9 あなたは、今後どのような過ごし方を希望していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「現在の施設に通いたい」の割合が47.5%と最も高く、次いで「自宅ですごしたい」の割合が25.9%、「一般企業に就職したい」の割合が17.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「一般企業に就職したい」「自宅ですごしたい」の割合が増加しています。一方、「現在の施設に通いたい」の割合が減少しています。



※前回は「入所施設に入りたい」の選択肢がありましたが、今回はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「一般企業に就職したい」の割合が、知的障害で「現在の施設に通いたい」の割合が、その他で「一般企業に就職したい」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「現在の施設に通いたい」の割合が、知的障害で「自宅ですごしたい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「一般企業に就職したい」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	一般企業に就職したい	現在の施設に通いたい	別の施設に移りたい	福祉作業所などで活動したい	介護保険サービスに移行したい	自宅ですごしたい	活動中の体調変化が気になる	その他	わからない	無回答
全 体	436	17.2	47.5	1.1	6.2	—	25.9	4.8	5.0	6.4	8.3
視覚障害	19	15.8	42.1	5.3	5.3	—	21.1	21.1	10.5	—	10.5
聴覚・平衡機能障害	27	3.7	40.7	3.7	—	—	37.0	3.7	3.7	11.1	7.4
音声・言語・そしゃく機能障害	29	3.4	62.1	—	—	—	24.1	10.3	17.2	6.9	10.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	166	8.4	45.8	0.6	1.2	—	34.9	4.8	5.4	6.6	11.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	52	3.8	25.0	1.9	1.9	—	40.4	7.7	5.8	9.6	13.5
知的障害	137	12.4	67.9	—	10.9	—	4.4	3.6	2.2	5.1	6.6
発達障害	55	34.5	49.1	3.6	7.3	—	14.5	5.5	7.3	3.6	7.3
精神障害	70	48.6	38.6	1.4	7.1	—	20.0	4.3	11.4	4.3	5.7
高次脳機能障害	42	23.8	59.5	—	7.1	—	19.0	4.8	9.5	7.1	4.8
難病（特定疾病）	53	15.1	37.7	—	5.7	—	39.6	7.5	7.5	7.5	15.1
その他	17	35.3	35.3	—	5.9	—	23.5	5.9	11.8	5.9	11.8

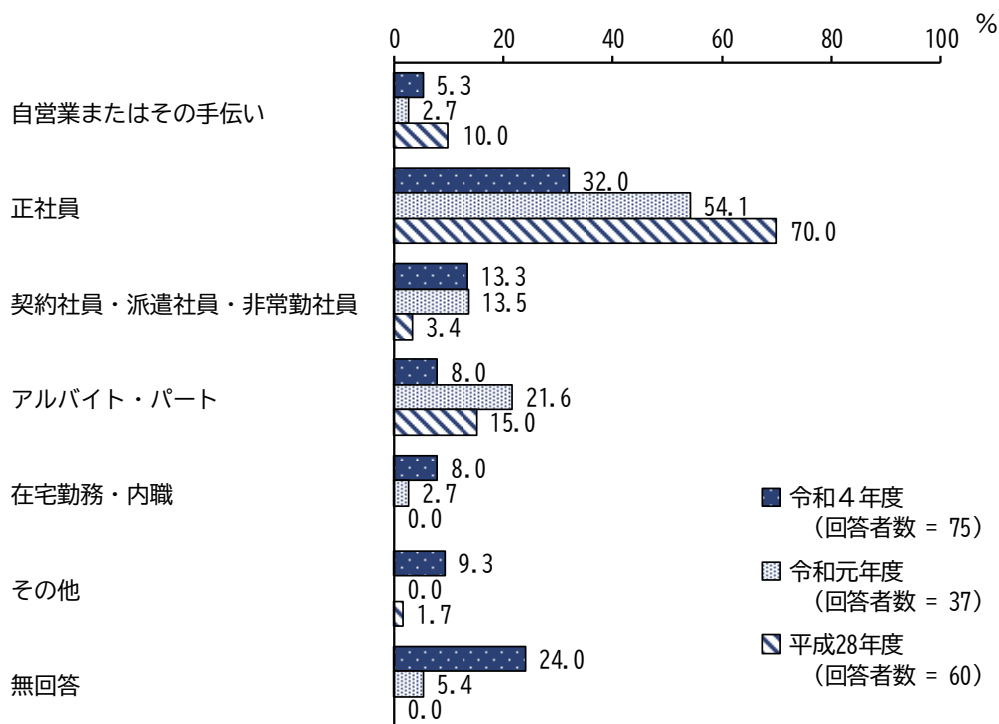
問 36-9 で「1. 一般企業に就職したい」とお答えの方におたずねします。

問 36-9-1 あなたは、どのような働き方をしたいですか。(1つに○)

「正社員」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「契約社員・派遣社員・非常勤社員」の割合が 13.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「在宅勤務・内職」の割合が増加しています。一方、「正社員」「アルバイト・パート」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「契約社員・派遣社員・非常勤社員」「正社員」の割合が、高次脳機能障害で「正社員」の割合が高くなっています。

単位：％

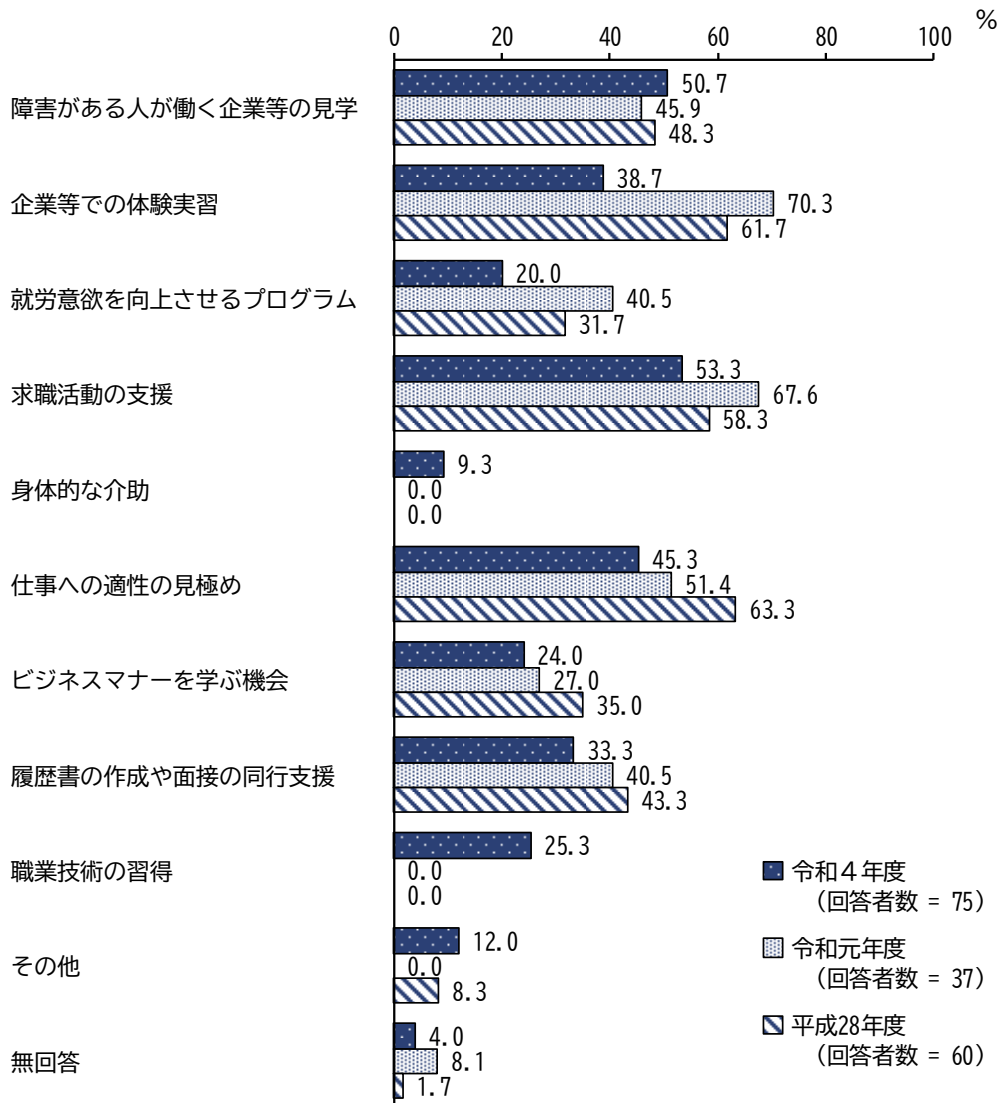
区分	回答者数 (件)	自営業またはその 手伝い	正社員	契約社員・派遣社員・ 非常勤社員	アルバイト・パート	在宅勤務・内職	その他	無回答
全 体	75	5.3	32.0	13.3	8.0	8.0	9.3	24.0
視覚障害	3	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3
聴覚・平衡機能障害	1	—	—	—	—	—	—	100.0
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・ 脳性麻痺・移動機能障害等）	14	7.1	28.6	14.3	—	7.1	14.3	28.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、 ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0
知的障害	17	5.9	41.2	23.5	—	—	11.8	17.6
発達障害	19	10.5	36.8	15.8	—	5.3	15.8	15.8
精神障害	34	2.9	38.2	8.8	14.7	11.8	11.8	11.8
高次脳機能障害	10	—	40.0	20.0	—	10.0	10.0	20.0
難病（特定疾病）	8	25.0	12.5	—	12.5	12.5	—	37.5
その他	6	16.7	33.3	—	16.7	—	16.7	16.7

問 36-9-2 あなたは就職にあたりどんな支援を希望しますか。(あてはまるものに○)

「求職活動の支援」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「障害がある人が働く企業等の見学」の割合が 50.7%、「仕事への適性を見極め」の割合が 45.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「企業等での体験実習」「就労意欲を向上させるプログラム」「求職活動の支援」「仕事への適性を見極め」「履歴書の作成や面接の同行支援」の割合が減少しています。



※前回は「身体的な介助」「職業技術の習得」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「履歴書の作成や面接の同行支援」「ビジネスマナーを学ぶ機会」の割合が、精神障害で「求職活動の支援」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「求職活動の支援」「企業等での体験実習」「障害がある人が働く企業等の見学」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害がある人が働く企業等の見学	企業等での体験実習	就労意欲を向上させるプログラム	求職活動の支援	身体的な介助	仕事への適性の見極め	機会	履歴書の作成や面接の同行支援	職業技術の習得	その他	無回答
全体	75	50.7	38.7	20.0	53.3	9.3	45.3	24.0	33.3	25.3	12.0	4.0
視覚障害	3	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—	33.3	33.3
聴覚・平衡機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	14	28.6	14.3	7.1	28.6	14.3	35.7	7.1	14.3	21.4	28.6	7.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0
知的障害	17	64.7	52.9	17.6	35.3	—	35.3	17.6	47.1	23.5	5.9	5.9
発達障害	19	68.4	52.6	26.3	68.4	—	57.9	47.4	57.9	36.8	10.5	—
精神障害	34	55.9	44.1	29.4	73.5	2.9	52.9	38.2	41.2	32.4	14.7	—
高次脳機能障害	10	50.0	30.0	20.0	50.0	20.0	40.0	10.0	20.0	—	20.0	—
難病（特定疾病）	8	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5
その他	6	33.3	33.3	16.7	33.3	—	66.7	16.7	16.7	16.7	33.3	—

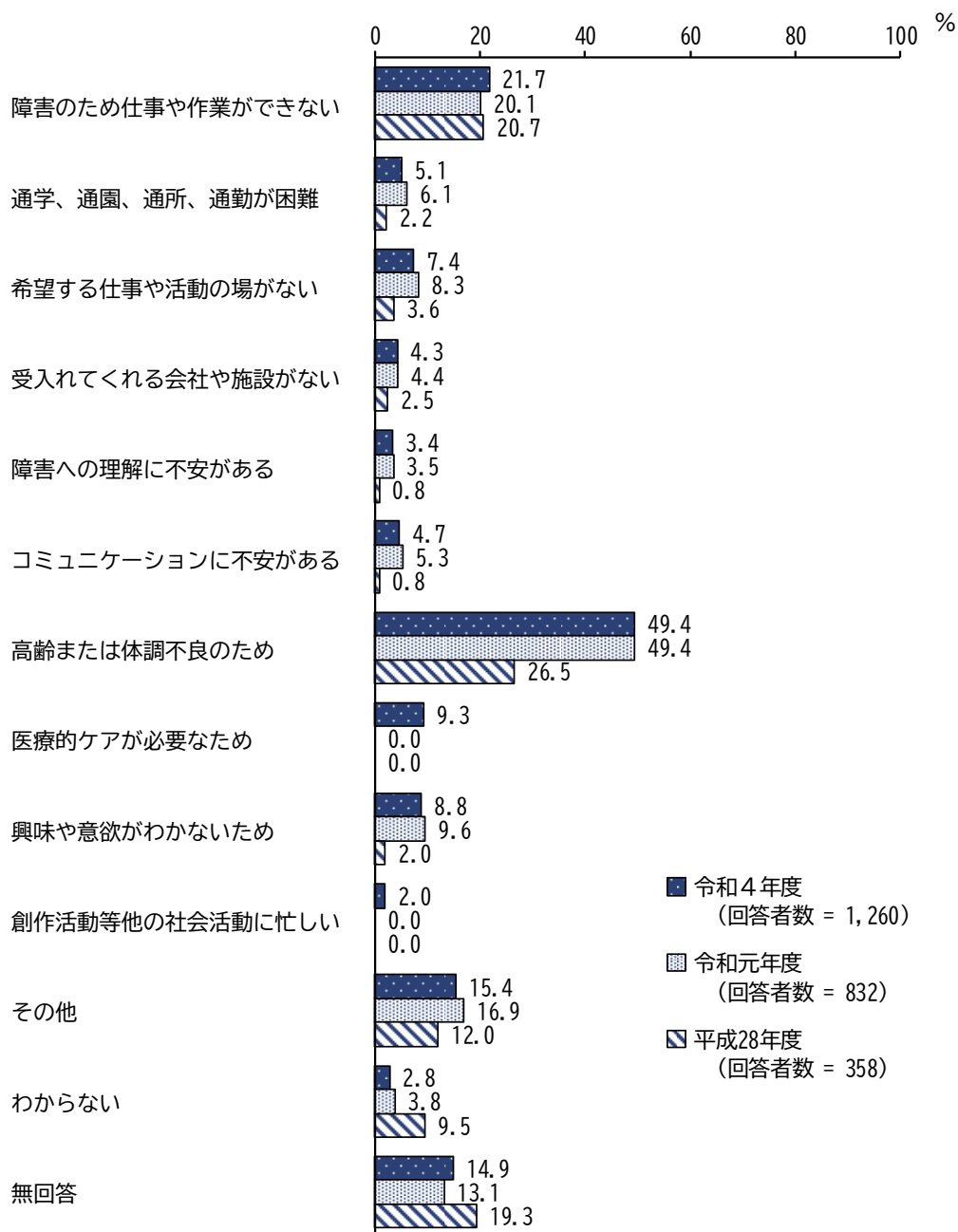
問 36 で「4. 上の 1～3 にあてはまらない」とお答えの方におたずねします。

問 36-10 あなたが、通園、通学、通所、仕事等をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢または体調不良のため」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「障害のため仕事や作業ができない」の割合が 21.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「医療的ケアが必要なため」「創作活動等他の社会活動に忙しい」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「障害のため仕事や作業ができない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「障害のため仕事や作業ができない」の割合が、精神障害で「障害のため仕事や作業ができない」の割合が高くなっています。また、知的障害で「高齢または体調不良のため」の割合が、発達障害で「高齢または体調不良のため」の割合が、高次脳機能障害で「高齢または体調不良のため」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	障害のため仕事や作業ができない	困難 通学、通園、通所、通勤が	希望する仕事や活動の場がない	受入れてくれる会社や施設がない	障害への理解に不安がある	コミュニケーションに不安がある	高齢または体調不良のため	医療的ケアが必要なため	興味や意欲がわかないため	創作活動等他の社会活動に忙しい	その他	わからない	無回答
全体	1260	21.7	5.1	7.4	4.3	3.4	4.7	49.4	9.3	8.8	2.0	15.4	2.8	14.9
視覚障害	69	26.1	5.8	7.2	4.3	1.4	2.9	37.7	8.7	2.9	1.4	15.9	1.4	23.2
聴覚・平衡機能障害	87	23.0	5.7	5.7	4.6	2.3	16.1	56.3	9.2	10.3	1.1	9.2	2.3	14.9
音声・言語・そしゃく機能障害	57	47.4	7.0	8.8	7.0	7.0	15.8	43.9	22.8	7.0	3.5	15.8	1.8	10.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	467	31.3	8.4	6.0	4.7	2.8	4.1	48.2	9.0	8.4	2.1	12.4	3.0	14.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	411	16.5	3.6	6.1	3.6	3.2	2.9	54.5	15.6	8.8	1.9	14.8	1.5	15.6
知的障害	37	16.2	10.8	2.7	8.1	2.7	16.2	18.9	10.8	16.2	—	35.1	2.7	18.9
発達障害	40	27.5	7.5	20.0	7.5	7.5	25.0	25.0	5.0	32.5	2.5	17.5	5.0	17.5
精神障害	47	42.6	8.5	27.7	12.8	14.9	21.3	40.4	4.3	29.8	4.3	19.1	—	17.0
高次脳機能障害	62	51.6	9.7	4.8	8.1	8.1	14.5	35.5	19.4	9.7	1.6	4.8	1.6	16.1
難病（特定疾病）	333	25.5	4.8	9.0	5.1	3.6	2.1	49.5	9.9	6.9	1.5	18.9	2.7	11.7
その他	49	14.3	4.1	2.0	—	6.1	2.0	51.0	2.0	2.0	—	20.4	6.1	18.4

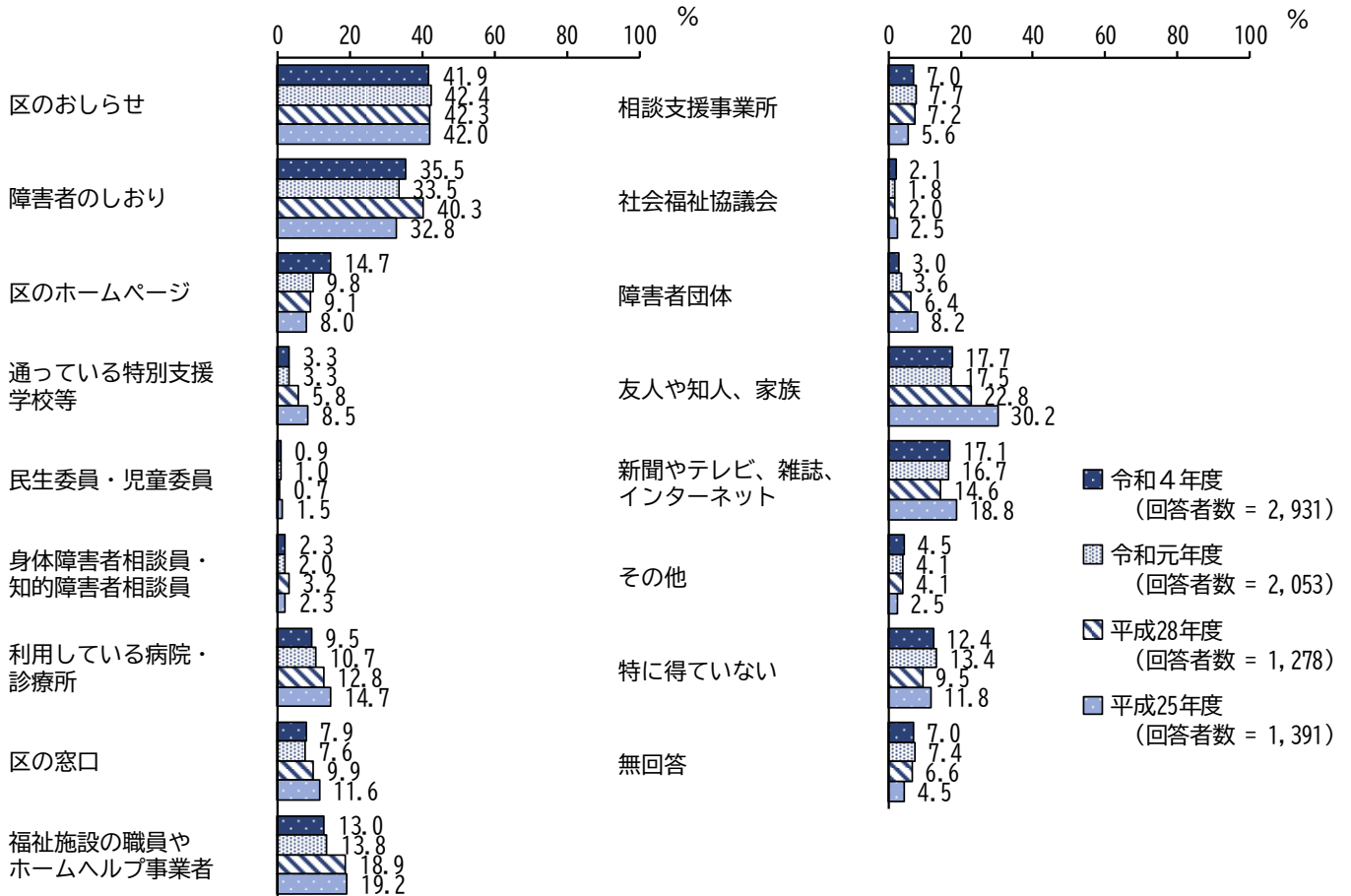
(8) 福祉の相談やサービス情報について

問 37 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから（だれから）得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「区のおしらせ」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「障害者のしおり」の割合が 35.5%、「友人や知人、家族」の割合が 17.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、10歳～19歳で「友人や知人、家族」の割合が、10歳未満で「友人や知人、家族」の割合が、20歳～29歳で「友人や知人、家族」の割合が高くなっています。また、10歳未満で「障害者のしおり」「区のおしらせ」の割合が、10歳～19歳で「区のおしらせ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	区のおしらせ	障害者のしおり	区のホームページ	通っている特別支援学校等	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	利用している病院・診療所	区の窓口
全体	2931	41.9	35.5	14.7	3.3	0.9	2.3	9.5	7.9
10歳未満	172	28.5	16.3	26.7	17.4	0.6	1.7	11.0	11.6
10歳～19歳	167	26.3	35.9	18.0	32.9	－	3.6	8.4	10.2
20歳～29歳	123	31.7	38.2	19.5	0.8	－	5.7	6.5	7.3
30歳～39歳	169	33.7	32.5	21.9	0.6	－	2.4	10.1	11.8
40歳～49歳	236	32.6	29.2	20.3	1.3	－	4.2	12.3	8.5
50歳～59歳	359	38.4	40.4	22.0	1.4	0.6	3.1	9.5	10.9
60歳～69歳	429	43.4	41.0	16.3	－	0.5	1.9	9.3	6.8
70歳～79歳	556	52.7	42.6	8.5	0.2	1.1	1.4	9.5	6.8
80歳～89歳	513	51.5	32.9	7.8	－	2.7	1.6	9.9	5.8
90歳以上	155	41.9	28.4	3.9	－	0.6	0.6	8.4	4.5

単位：％

区分	福祉施設の職員や ホームヘルプ事業者	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	友人や知人、家族	新聞やテレビ、雑誌、 インターネット	その他	特に得ていない	無回答
全 体	13.0	7.0	2.1	3.0	17.7	17.1	4.5	12.4	7.0
10歳未満	11.0	23.8	0.6	4.1	35.5	25.0	5.8	9.3	1.7
10歳～19歳	7.2	17.4	0.6	12.0	48.5	17.4	5.4	9.0	1.8
20歳～29歳	17.1	16.3	1.6	7.3	31.7	13.8	2.4	14.6	3.3
30歳～39歳	23.1	15.4	1.2	8.9	27.8	11.8	4.1	11.2	1.8
40歳～49歳	10.6	11.0	2.5	3.0	13.1	19.5	4.7	19.1	5.1
50歳～59歳	11.1	3.3	1.1	1.9	9.7	19.5	2.5	17.0	4.2
60歳～69歳	11.0	3.3	2.1	1.4	10.3	19.3	5.8	16.1	4.2
70歳～79歳	10.3	2.9	2.3	1.3	11.3	17.1	3.6	9.9	9.2
80歳～89歳	17.2	2.9	4.1	1.2	17.7	15.4	4.7	8.2	10.9
90歳以上	18.7	3.9	1.9	0.6	16.1	9.0	8.4	10.3	14.2

前ページの続き 表

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「友人や知人、家族」の割合が、高次脳機能障害で「福祉施設の職員やホームヘルプ事業者」の割合が、発達障害で「友人や知人、家族」の割合が高くなっています。また、発達障害で「障害者のしおり」「区のおしらせ」の割合が、精神障害で「障害者のしおり」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	区のおしらせ	障害者のしおり	区のホームページ	通っている特別支援学校等	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	利用している病院・診療所	区の窓口
全体	2931	41.9	35.5	14.7	3.3	0.9	2.3	9.5	7.9
視覚障害	138	37.0	36.2	7.2	5.1	1.4	2.2	10.9	10.9
聴覚・平衡機能障害	181	48.6	39.2	16.0	3.9	1.1	2.2	8.3	8.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	30.8	34.6	14.6	5.4	0.8	2.3	10.0	11.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	43.8	45.0	13.4	2.6	0.8	3.7	8.5	7.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	51.9	43.2	15.9	0.8	1.1	0.3	11.4	8.3
知的障害	417	30.7	37.2	14.6	16.8	0.2	7.0	6.2	10.8
発達障害	367	29.2	19.9	18.3	12.5	0.3	3.5	10.1	12.0
精神障害	145	31.0	20.7	13.1	3.4	0.7	3.4	10.3	13.8
高次脳機能障害	130	35.4	34.6	13.1	2.3	0.8	4.6	7.7	9.2
難病（特定疾病）	677	42.2	30.1	16.4	0.9	1.3	1.6	14.8	9.3
その他	95	38.9	27.4	6.3	3.2	—	1.1	8.4	4.2

単位：%

区分	福祉施設の職員や ホームヘルプ事業者	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	友人や知人、家族	新聞やテレビ、雑誌、 インターネット	その他	特に得ていない	無回答
全 体	13.0	7.0	2.1	3.0	17.7	17.1	4.5	12.4	7.0
視覚障害	20.3	4.3	4.3	8.7	22.5	16.7	3.6	9.4	8.7
聴覚・平衡機能障害	13.8	3.3	1.1	4.4	21.0	17.7	3.9	8.8	8.3
音声・言語・そしゃく 機能障害	20.8	7.7	1.5	5.4	20.8	16.9	8.5	16.2	5.4
肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹・脳性麻痺・ 移動機能障害等）	17.8	7.2	3.4	3.0	18.9	18.4	6.4	9.9	7.8
内部障害（心臓、じん臓、 呼吸器、肝臓、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫機能等）	8.3	3.2	1.8	1.2	12.1	18.2	3.6	11.6	6.6
知的障害	20.4	22.5	1.9	11.5	41.5	16.5	5.3	7.9	5.0
発達障害	12.3	17.7	2.2	4.6	29.7	20.4	6.0	9.3	5.4
精神障害	24.8	15.2	4.1	2.8	20.7	15.9	9.7	10.3	6.2
高次脳機能障害	26.9	7.7	3.8	3.1	20.0	14.6	12.3	16.2	6.2
難病（特定疾病）	12.0	5.3	2.2	1.5	13.4	16.5	4.4	16.4	4.6
その他	12.6	6.3	1.1	3.2	17.9	15.8	8.4	16.8	6.3

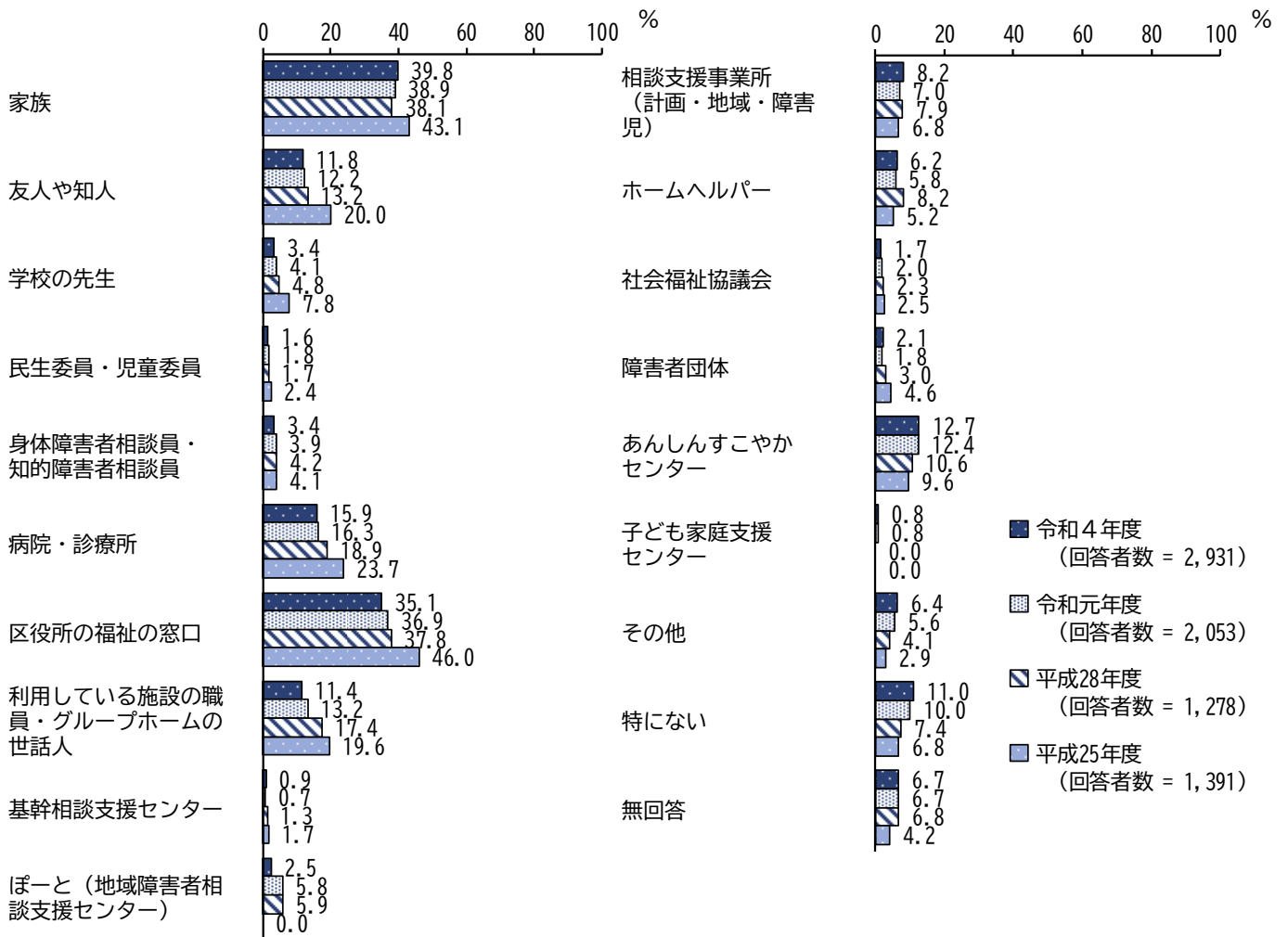
前ページの続き 表

問 38 福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

「家族」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「区役所の福祉の窓口」の割合が 35.1%、「病院・診療所」の割合が 15.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、他に比べ、30歳～39歳で「利用している施設の職員・グループホームの世話人」の割合が、10歳～19歳で「友人や知人」の割合が、10歳未満で「友人や知人」の割合が高くなっています。また、90歳以上で「区役所の福祉の窓口」の割合が、10歳未満で「あんしんすこやかセンター」の割合が、10歳～19歳で「あんしんすこやかセンター」の割合が、30歳～39歳で「あんしんすこやかセンター」の割合が、40歳～49歳で「あんしんすこやかセンター」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族	友人や知人	学校の先生	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	病院・診療所	区役所の福祉の窓口	利用している施設の職員・グループホームの世話人	基幹相談支援センター
全 体	2931	39.8	11.8	3.4	1.6	3.4	15.9	35.1	11.4	0.9
10歳未満	172	52.3	27.9	21.5	0.6	2.3	19.8	36.0	23.8	1.2
10歳～19歳	167	53.9	28.1	31.1	—	6.6	17.4	31.1	12.0	1.8
20歳～29歳	123	46.3	10.6	—	—	8.1	14.6	37.4	21.1	1.6
30歳～39歳	169	50.9	14.8	1.8	0.6	4.7	22.5	38.5	29.6	2.4
40歳～49歳	236	33.5	10.6	2.1	—	4.2	16.5	37.7	12.7	0.4
50歳～59歳	359	36.2	8.9	0.8	0.6	4.7	18.9	46.0	10.6	0.8
60歳～69歳	429	30.5	12.8	—	0.7	2.3	16.8	40.1	6.8	0.5
70歳～79歳	556	32.6	9.7	0.2	2.3	2.3	14.2	36.7	5.4	1.3
80歳～89歳	513	46.0	6.6	—	4.5	2.5	12.3	27.9	9.4	0.6
90歳以上	155	51.0	4.5	—	2.6	1.3	14.2	11.6	12.9	—

単位：%

区分	ぽーと（地域障害者 相談支援センター）	相談支援事業所 （計画・地域・障害児）	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやかセンター	子ども家庭支援センター	その他	特になし	無回答
全 体	2.5	8.2	6.2	1.7	2.1	12.7	0.8	6.4	11.0	6.7
10歳未満	8.1	32.6	2.9	0.6	2.9	0.6	6.4	6.4	5.8	1.7
10歳～19歳	3.6	24.0	4.2	0.6	4.2	0.6	1.8	5.4	6.0	1.8
20歳～29歳	2.4	20.3	5.7	0.8	4.1	—	—	4.1	11.4	3.3
30歳～39歳	4.7	18.3	5.9	1.2	5.3	0.6	1.8	5.3	4.7	1.2
40歳～49歳	4.7	12.3	3.4	2.5	3.0	1.3	1.3	7.2	14.4	4.7
50歳～59歳	2.2	3.9	4.2	1.1	1.7	3.3	0.3	6.4	15.9	3.9
60歳～69歳	1.9	4.4	6.1	1.4	1.4	11.4	—	7.7	14.5	3.5
70歳～79歳	1.6	1.4	7.9	2.7	1.8	21.6	0.2	6.1	11.3	8.8
80歳～89歳	0.8	2.1	8.0	1.9	1.0	28.5	0.2	5.8	9.4	9.7
90歳以上	0.6	2.6	10.3	1.9	—	22.6	—	9.7	7.1	16.1

前ページの続き 表

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「利用している施設の職員・グループホームの世話人」の割合が、知的障害で「利用している施設の職員・グループホームの世話人」の割合が、高次脳機能障害で「利用している施設の職員・グループホームの世話人」の割合が高くなっています。また、知的障害で「あんしんすこやかセンター」の割合が、その他で「区役所の福祉の窓口」の割合が、発達障害で「あんしんすこやかセンター」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	友人や知人	学校の先生	民生委員・児童委員	知的障害者相談員・ 身体障害者相談員・	病院・診療所	区役所の福祉の窓 口	利用している施設 の職員・グループホ ームの世話人	基幹相談支援セン ター
全 体	2931	39.8	11.8	3.4	1.6	3.4	15.9	35.1	11.4	0.9
視覚障害	138	38.4	13.0	2.2	0.7	4.3	18.1	37.0	14.5	0.7
聴覚・平衡機能障害	181	40.3	14.4	2.8	2.2	3.9	13.8	33.7	9.9	1.1
音声・言語・そしゃ く機能障害	130	33.8	12.3	1.5	—	4.6	13.1	36.9	19.2	1.5
肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹・脳性麻 痺・移動機能障害 等）	908	39.2	13.2	2.3	1.7	4.8	13.5	34.5	12.7	1.1
内部障害（心臓、じん 臓、呼吸器、肝臓、 ぼうこう・直腸、小 腸、免疫機能等）	725	40.7	9.0	0.8	2.1	2.2	20.3	37.2	5.0	0.6
知的障害	417	45.8	22.3	13.2	0.2	8.2	11.3	34.3	27.8	1.7
発達障害	367	48.2	19.1	16.9	0.3	4.6	15.5	31.9	21.3	1.4
精神障害	145	32.4	12.4	2.8	—	2.1	21.4	31.0	28.3	1.4
高次脳機能障害	130	39.2	10.0	1.5	0.8	4.6	10.0	29.2	26.9	0.8
難病（特定疾病）	677	37.4	11.2	0.6	1.6	1.5	22.5	42.7	6.4	0.6
その他	95	47.4	5.3	5.3	2.1	5.3	9.5	24.2	15.8	3.2

単位：%

区分	ぽーと（地域障害者 相談支援センター）	相談支援事業所（計 画・地域・障害児）	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやか センター	子ども家庭支援セ ンター	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	2.5	8.2	6.2	1.7	2.1	12.7	0.8	6.4	11.0	6.7
視覚障害	—	5.8	7.2	4.3	5.8	14.5	0.7	4.3	10.9	5.8
聴覚・平衡機能障害	2.2	3.9	5.5	0.6	1.7	23.8	0.6	4.4	9.9	7.2
音声・言語・そしゃ く機能障害	2.3	10.8	8.5	1.5	5.4	12.3	—	14.6	12.3	4.6
肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹・脳性麻 痺・移動機能障害 等）	1.9	8.7	12.7	2.5	2.2	16.4	0.6	9.1	9.6	7.3
内部障害（心臓、じ ん臓、呼吸器、肝臓、 ぼうこう・直腸、小 腸、免疫機能等）	1.4	3.2	3.9	1.4	1.5	17.0	—	5.7	12.3	6.6
知的障害	5.0	29.0	5.3	1.7	6.5	1.4	1.7	5.3	6.5	4.3
発達障害	7.4	22.9	2.2	1.6	1.6	1.9	3.3	6.5	6.8	4.6
精神障害	10.3	14.5	9.7	3.4	2.1	6.2	1.4	11.7	9.0	5.5
高次脳機能障害	—	10.0	7.7	1.5	2.3	13.8	—	20.0	7.7	6.9
難病（特定疾病）	1.9	6.6	6.6	1.9	1.9	13.3	0.6	6.8	11.2	4.7
その他	4.2	6.3	10.5	2.1	2.1	16.8	—	9.5	14.7	7.4

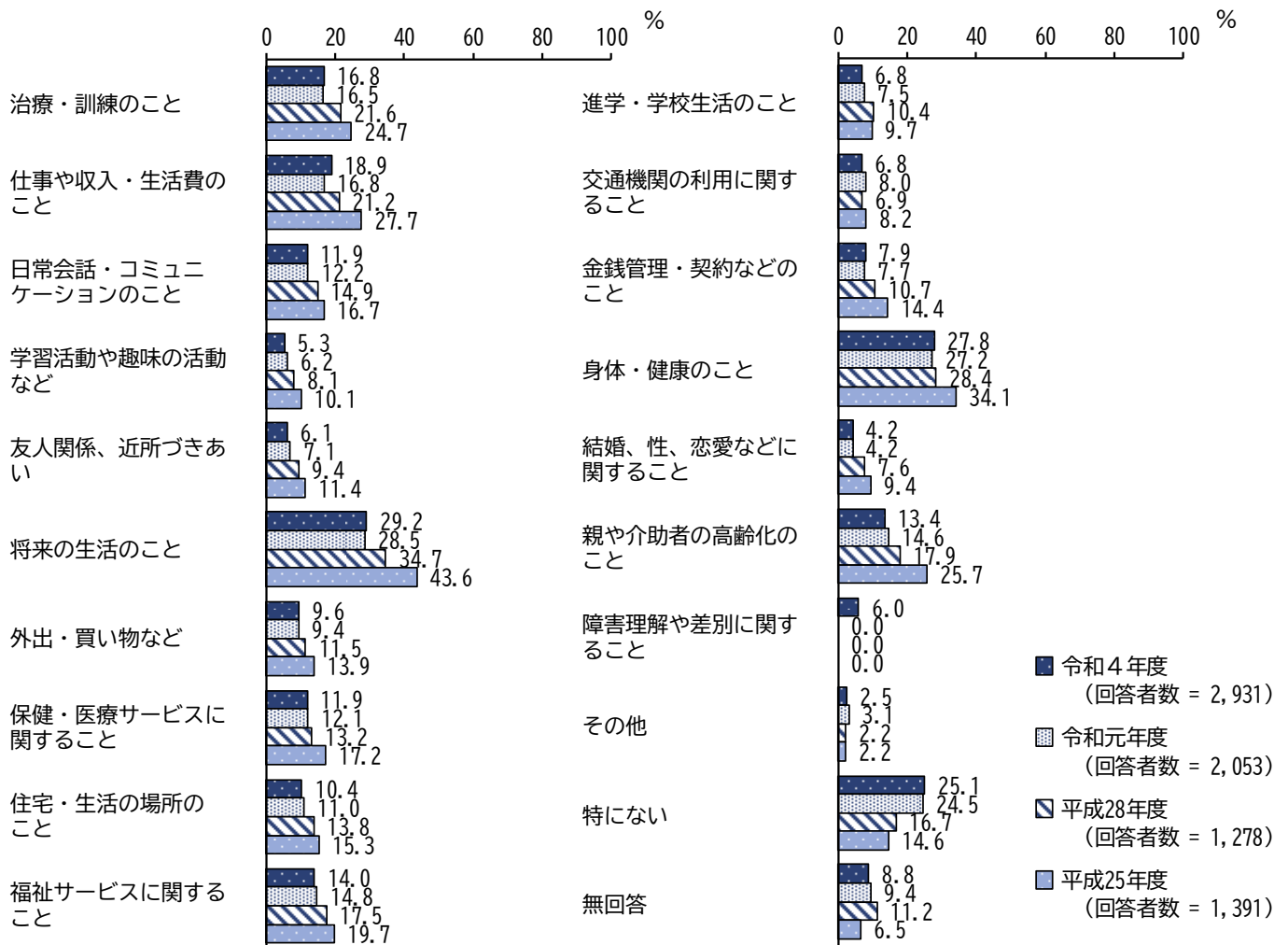
前ページの続き 表

問 39 あなたがふだんの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「将来の生活のこと」の割合が29.2%と最も高く、次いで「身体・健康のこと」の割合が27.8%、「特にない」の割合が25.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回は「障害理解や差別に関すること」の選択肢はありませんでした。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「仕事や収入・生活費のこと」「将来の生活のこと」の割合が、発達障害で「日常会話・コミュニケーションのこと」の割合が高くなっています。また、発達障害で「身体・健康のこと」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「日常会話・コミュニケーションのこと」「将来の生活のこと」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
全体	2931	16.8	18.9	11.9	5.3	6.1	29.2	9.6	11.9	10.4	14.0
視覚障害	138	18.8	17.4	10.1	6.5	5.8	26.8	15.9	12.3	12.3	18.1
聴覚・平衡機能障害	181	17.7	13.3	22.1	6.6	5.5	24.3	9.9	12.7	9.4	21.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	30.0	13.8	32.3	6.2	5.4	30.0	13.1	22.3	11.5	22.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	20.6	17.0	9.4	4.0	2.8	28.4	11.1	14.5	11.2	18.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	14.9	16.1	3.7	1.4	2.6	22.2	7.2	13.8	10.2	12.3
知的障害	417	17.5	19.4	33.3	12.9	11.5	50.6	18.2	13.4	16.3	19.9
発達障害	367	20.2	22.3	36.5	18.8	22.1	46.0	11.7	10.4	10.9	15.0
精神障害	145	26.2	47.6	26.2	12.4	20.7	54.5	20.0	17.9	21.4	21.4
高次脳機能障害	130	30.0	31.5	21.5	6.9	3.1	34.6	15.4	13.8	11.5	18.5
難病（特定疾病）	677	22.0	23.6	6.2	2.8	3.4	29.0	8.7	14.0	10.2	13.3
その他	95	18.9	15.8	10.5	6.3	7.4	32.6	7.4	10.5	13.7	8.4

単位：%

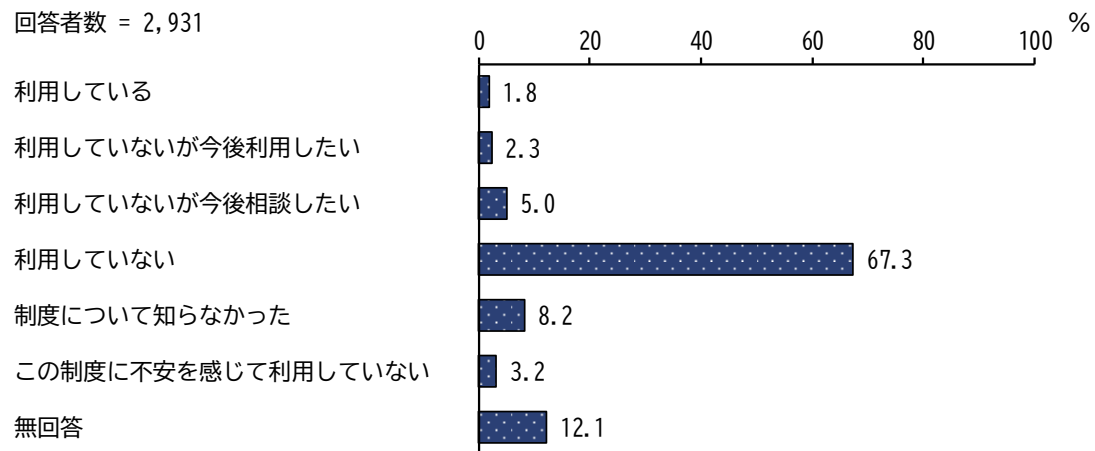
区分	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	障害理解や差別に関すること	その他	特にない	無回答
全体	6.8	6.8	7.9	27.8	4.2	13.4	6.0	2.5	25.1	8.8
視覚障害	6.5	13.8	6.5	29.0	1.4	13.0	7.2	4.3	20.3	8.7
聴覚・平衡機能障害	5.0	7.7	6.6	32.6	2.2	13.8	7.2	1.7	18.2	8.3
音声・言語・そしゃく機能障害	6.2	6.9	8.5	36.2	3.1	23.1	9.2	3.1	21.5	6.2
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	2.9	8.7	5.1	31.6	2.4	14.3	5.1	2.2	24.0	9.3
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	1.5	6.1	4.7	31.6	1.5	11.6	2.9	2.3	30.8	8.6
知的障害	17.5	10.3	22.1	22.8	11.0	31.2	13.4	2.9	14.1	6.7
発達障害	37.3	9.0	18.8	17.2	10.9	17.4	15.3	3.3	13.1	6.3
精神障害	3.4	14.5	24.1	40.7	22.8	22.1	17.2	5.5	11.0	4.8
高次脳機能障害	0.8	10.8	11.5	39.2	3.8	23.8	9.2	1.5	13.1	7.7
難病(特定疾病)	2.4	7.5	5.9	32.9	2.8	13.4	4.4	3.1	23.8	8.1
その他	7.4	10.5	5.3	32.6	3.2	10.5	2.1	2.1	33.7	6.3

前ページの続き 表

問 40 あなたの「成年後見制度（後見、保佐、補助）」の利用状況を教えてください。
（1つに○）

「利用していない」の割合が67.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,931



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「利用していない」の割合が、発達障害で「利用していない」の割合が、精神障害で「利用していない」の割合が低くなっています。

単位：％

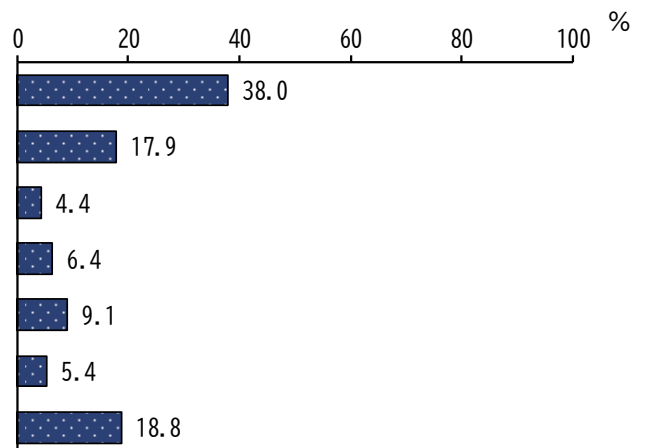
区分	回答者数(件)	利用している	利用していないが今後利用したい	利用していないが今後相談したい	利用していない	制度について知らなかった	この制度に不安を感じて利用していない	無回答
全 体	2931	1.8	2.3	5.0	67.3	8.2	3.2	12.1
視覚障害	138	0.7	4.3	3.6	69.6	4.3	0.7	16.7
聴覚・平衡機能障害	181	2.2	1.1	6.1	64.6	7.7	2.2	16.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	4.6	3.1	3.1	69.2	7.7	4.6	7.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	2.2	2.4	4.6	68.6	6.6	3.5	12.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	1.2	1.4	2.2	70.1	8.1	2.5	14.5
知的障害	417	3.1	7.9	16.8	52.5	7.9	7.2	4.6
発達障害	367	1.6	3.8	11.2	58.3	13.4	4.6	7.1
精神障害	145	4.1	2.8	6.9	58.6	11.7	4.1	11.7
高次脳機能障害	130	6.9	0.8	4.6	69.2	6.2	4.6	7.7
難病(特定疾病)	677	1.8	1.8	4.3	69.7	8.1	2.8	11.5
その他	95	2.1	1.1	3.2	69.5	5.3	3.2	15.8

問 41 あなたは、今後、生活をしていく上で、区にどのような機能を強化してほしいですか。（1つに○）

「あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能」の割合が38.0%と最も高く、次いで「あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 2,931

- あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能
- あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能
- グループホーム等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能
- 専門的な対応（支援を行う）人材の養成や確保をする機能
- 地域の様々な要望に対応できるサービスを提供する仕組みや地域の事業所同士が連携する仕組みを作る機能
- その他
- 無回答



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能」の割合が、知的障害で「あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能」の割合が、高次脳機能障害で「あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能」の割合が高くなっています。また、知的障害で「あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能」の割合が、高次脳機能障害で「あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能	あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能	グループホーム等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会、場を提供する機能	専門的な対応（支援を行う）人材の養成や確保をする機能	地域の様々な要望に対応できるサービスを提供する仕組みや地域の事業所同士が連携する仕組みを作る機能	その他	無回答
全体	2931	38.0	17.9	4.4	6.4	9.1	5.4	18.8
視覚障害	138	36.2	17.4	4.3	2.9	10.9	7.2	21.0
聴覚・平衡機能障害	181	38.7	16.6	5.5	9.4	5.0	6.1	18.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	23.8	33.1	3.8	8.5	7.7	8.5	14.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	33.1	23.5	3.6	5.7	9.5	5.3	19.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	41.4	15.3	2.5	4.6	9.0	6.2	21.1
知的障害	417	21.8	32.1	17.0	5.5	7.4	3.6	12.5
発達障害	367	32.7	17.4	8.2	12.0	10.6	3.3	15.8
精神障害	145	41.4	17.9	4.8	7.6	6.9	6.2	15.2
高次脳機能障害	130	28.5	30.0	6.2	6.2	6.9	6.2	16.2
難病（特定疾病）	677	44.8	17.3	1.6	7.4	9.0	3.8	16.1
その他	95	41.1	18.9	2.1	3.2	4.2	11.6	18.9

(9) 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について

問 42 障害福祉のサービス等の利用状況と満足度等についておたずねします。

A. 現在、利用しているサービスに○をつけてください。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が、高次脳機能障害で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が高くなっています。また、他に比べ、発達障害で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	施設入所支援
全 体	2931	12.6	2.0	1.9	1.5	0.7	1.7	4.3	4.2	2.5	1.4	0.6	4.6	0.9	1.9
視覚障害	138	13.8	—	10.9	2.9	—	2.2	2.9	3.6	3.6	0.7	—	1.4	—	2.2
聴覚・平衡機能障害	181	12.2	1.7	0.6	1.1	0.6	3.3	3.9	5.0	1.7	0.6	0.6	1.1	0.6	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	28.5	6.9	2.3	2.3	2.3	8.5	10.0	9.2	4.6	0.8	0.8	3.1	0.8	6.9
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	23.9	4.7	3.1	2.1	1.4	3.6	7.8	8.7	4.0	1.3	0.6	2.4	0.7	3.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	9.8	0.8	1.4	1.1	0.6	1.5	1.8	3.6	0.7	0.3	0.4	0.3	0.6	1.7
知的障害	417	11.0	1.7	1.0	3.8	0.5	0.5	11.5	0.7	3.4	2.4	1.2	15.3	1.9	2.4
発達障害	367	6.8	0.3	0.5	1.6	0.3	0.5	3.8	0.8	2.2	3.3	0.8	7.4	2.5	0.8
精神障害	145	20.7	—	1.4	1.4	—	2.8	3.4	5.5	7.6	5.5	1.4	31.7	2.1	2.1
高次脳機能障害	130	26.2	3.1	1.5	0.8	2.3	3.1	9.2	12.3	11.5	3.8	—	6.9	0.8	8.5
難病（特定疾病）	677	12.3	3.4	1.2	0.9	0.6	1.9	3.7	4.6	1.2	0.4	0.4	1.2	0.3	1.3
その他	95	9.5	1.1	—	—	—	1.1	4.2	2.1	2.1	1.1	1.1	1.1	—	—

単位：％

区分	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(シヨートステイ)	計画相談支援《個別計画》	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援	障害児相談支援	住宅入居等支援	意思疎通支援(手話通訳者等派遣)
全 体	1.1	1.9	6.2	7.4	0.4	0.4	4.3	0.3	6.3	0.3	0.6	0.3	1.4	0.4	0.5
視覚障害	0.7	1.4	7.2	5.8	—	—	2.9	—	5.8	—	0.7	0.7	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2.2	2.8	8.3	8.8	0.6	0.6	1.7	0.6	5.0	0.6	0.6	0.6	1.1	0.6	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	2.3	1.5	16.9	12.3	0.8	0.8	3.8	0.8	7.7	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5	0.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	1.9	2.0	10.4	7.9	0.9	0.8	1.8	0.7	4.0	0.4	0.6	0.6	1.8	0.7	0.6
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	1.1	0.6	2.6	2.3	0.4	0.4	0.8	0.3	1.5	0.1	0.3	0.1	0.6	0.4	0.1
知的障害	0.5	5.0	23.0	29.5	—	0.2	8.4	0.7	26.6	0.7	1.4	0.5	5.8	0.2	0.2
発達障害	0.8	2.2	8.4	18.0	0.3	0.3	25.1	0.3	26.4	0.3	2.7	0.3	4.6	—	—
精神障害	4.1	5.5	4.1	15.9	0.7	—	—	—	4.8	—	—	—	—	0.7	—
高次脳機能障害	0.8	3.1	10.0	6.2	—	—	—	—	1.5	—	—	—	—	0.8	—
難病(特定疾病)	0.6	0.4	4.3	5.0	0.3	0.1	1.0	0.3	2.8	0.1	—	0.3	0.9	0.3	—
その他	—	2.1	3.2	6.3	—	—	8.4	—	6.3	—	—	—	2.1	1.1	—

前ページの続き 表

単位：%

区分	日常生活用具給付等	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活体験（なかまっ ち、松原けやき寮）	巡回支援専門員の相談	点字・声の広報等発行	自動車運転免許取得・自 動車改造費助成	更生訓練費給付	成年後見制度	あんしん事業（地域福祉 権利擁護事業）	無回答
全 体	5.0	6.9	0.6	0.5	2.8	0.6	0.8	0.3	0.3	0.6	0.2	1.1	0.8	59.0
視覚障害	5.8	6.5	0.7	—	4.3	0.7	0.7	—	2.2	—	—	—	—	59.4
聴覚・平衡機能障害	10.5	6.1	0.6	0.6	3.9	1.1	1.1	1.7	0.6	1.1	0.6	1.1	2.2	61.3
音声・言語・そしゃく機能障 害	13.8	10.8	0.8	0.8	9.2	1.5	4.6	1.5	0.8	1.5	0.8	3.8	0.8	36.9
肢体不自由（上肢・下肢・体 幹・脳性麻痺・移動機能障害 等）	9.1	8.8	0.9	0.9	6.2	1.2	1.3	0.6	0.4	0.9	0.3	1.3	1.0	51.9
内部障害（心臓、じん臓、呼 吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、 小腸、免疫機能等）	6.9	2.8	0.4	0.4	1.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.6	0.1	0.4	1.4	75.7
知的障害	4.8	26.9	1.0	0.2	1.7	1.7	3.1	0.2	0.2	0.2	0.2	2.9	0.2	21.3
発達障害	1.6	12.0	0.3	0.3	—	—	1.4	—	—	0.3	—	1.1	—	24.3
精神障害	1.4	10.3	0.7	—	0.7	—	2.1	—	—	—	—	3.4	0.7	24.8
高次脳機能障害	5.4	18.5	3.1	—	8.5	0.8	0.8	0.8	—	—	—	5.4	0.8	30.8
難病（特定疾病）	5.9	5.3	0.1	0.4	4.9	0.3	0.7	0.1	—	—	—	0.7	0.6	73.1
その他	5.3	4.2	1.1	1.1	3.2	—	—	—	—	—	—	—	—	60.0

前ページの続き 表

B. 利用しているサービスに満足していますか。(あてはまる番号に○)

利用しているサービスの満足度のうち、「満足」については、『あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）』が41.7%と最も高く、次いで『地域活動支援センター』が38.9%となっています。

「ほぼ満足」については、『児童発達支援』が41.6%と最も高く、次いで『重度障害者等包括支援』と『医療型児童発達支援』が40.0%となっています。

「ふつう」については、『療養介護』が36.7%と最も高く、次いで『地域定着支援』が36.4%となっています。

「やや不満」については、『障害児入所支援』が20.0%と最も高く、次いで『重度訪問介護』が16.9%となっています。

「不満」については、『住宅入居等支援』が25.0%と最も高く、次いで『成年後見制度』が18.8%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
1. 居宅介護（ホームヘルプ） 令和4年度	368	28.8	38.6	22.6	4.3	2.7	3.0
令和元年度	229	33.6	31.0	25.3	7.4	1.7	0.9
平成28年度	157	38.2	20.4	25.5	6.4	2.5	7.0
2. 重度訪問介護 令和4年度	59	30.5	27.1	18.6	16.9	3.4	3.4
令和元年度	27	22.2	29.6	33.3	11.1	3.7	0.0
平成28年度	16	50.0	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0
3. 同行援護 令和4年度	57	36.8	21.1	24.6	3.5	5.3	8.8
令和元年度	44	20.5	18.2	40.9	9.1	11.4	0.0
平成28年度	24	54.2	16.7	12.5	0.0	4.2	12.5
4. 行動援護 令和4年度	43	18.6	32.6	32.6	7.0	4.7	4.7
令和元年度	30	26.7	23.3	36.7	13.3	0.0	0.0
平成28年度	14	28.6	21.4	35.7	0.0	0.0	14.3
5. 重度障害者等包括支援 令和4年度	20	15.0	40.0	35.0	0.0	5.0	5.0
令和元年度	12	16.7	25.0	41.7	8.3	8.3	0.0
平成28年度	7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
6. 療養介護 令和4年度	49	30.6	18.4	36.7	4.1	4.1	6.1
令和元年度	31	29.0	22.6	38.7	6.5	3.2	0.0
平成28年度	17	41.2	23.5	23.5	11.8	0.0	0.0

単位：％

7. 生活介護	令和4年度	127	24.4	39.4	26.8	3.9	2.4	3.1
	令和元年度	116	25.9	37.1	25.9	6.0	2.6	2.6
	平成28年度	72	38.9	29.2	18.1	8.3	0.0	5.6
8. 自立訓練（機能訓練）	令和4年度	124	30.6	32.3	26.6	4.0	3.2	3.2
	令和元年度	76	30.3	28.9	31.6	5.3	3.9	0.0
	平成28年度	55	25.5	30.9	27.3	5.5	0.0	10.9
9. 自立訓練（生活訓練）	令和4年度	73	24.7	30.1	28.8	5.5	5.5	5.5
	令和元年度	41	26.8	24.4	29.3	12.2	4.9	2.4
	平成28年度	46	37.0	21.7	26.1	6.5	4.3	4.3
10. 就労移行支援	令和4年度	42	31.0	33.3	11.9	11.9	4.8	7.1
	令和元年度	31	19.4	32.3	35.5	6.5	6.5	0.0
	平成28年度	29	34.5	31.0	17.2	6.9	3.4	6.9
11. 就労継続支援（A型）	令和4年度	17	17.6	29.4	17.6	5.9	11.8	17.6
	令和元年度	22	31.8	22.7	27.3	9.1	9.1	0.0
	平成28年度	7	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
12. 就労継続支援（B型）	令和4年度	135	36.3	23.0	24.4	9.6	3.0	3.7
	令和元年度	105	36.2	25.7	23.8	7.6	3.8	2.9
	平成28年度	85	42.4	25.9	22.4	2.4	3.5	3.5
13. 就労定着支援	令和4年度	26	34.6	26.9	19.2	7.7	3.8	7.7
	令和元年度	28	42.9	10.7	32.1	7.1	7.1	0.0
14. 施設入所支援	令和4年度	56	28.6	25.0	21.4	7.1	10.7	7.1
	令和元年度	40	17.5	32.5	32.5	10.0	5.0	2.5
	平成28年度	12	50.0	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3
15. 自立生活援助	令和4年度	32	21.9	34.4	21.9	6.3	6.3	9.4
	令和元年度	26	15.4	19.2	46.2	7.7	7.7	3.8
16. 共同生活援助（グループホーム）	令和4年度	55	36.4	18.2	21.8	9.1	7.3	7.3
	令和元年度	38	31.6	23.7	31.6	7.9	2.6	2.6
	平成28年度	19	42.1	26.3	15.8	5.3	5.3	5.3
17. 短期入所（ショートステイ）	令和4年度	181	12.7	36.5	23.8	13.8	8.8	4.4
	令和元年度	144	20.8	31.3	26.4	13.9	4.9	2.8
	平成28年度	103	21.4	22.3	14.6	28.2	10.7	2.9
18. 計画相談支援《個別計画》	令和4年度	216	34.3	30.1	25.5	4.2	2.3	3.7
	令和元年度	129	30.2	31.8	28.7	6.2	2.3	0.8

前ページの続き 表

単位：％

19. 地域移行支援							
令和4年度	13	23.1	23.1	30.8	0.0	7.7	15.4
令和元年度	11	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	9.1
20. 地域定着支援							
令和4年度	11	9.1	27.3	36.4	0.0	9.1	18.2
令和元年度	9	22.2	11.1	55.6	0.0	0.0	11.1
21. 児童発達支援							
令和4年度	125	34.4	41.6	10.4	8.0	2.4	3.2
令和元年度	102	32.4	39.2	8.8	12.7	6.9	0.0
平成28年度	37	32.4	13.5	21.6	27.0	2.7	2.7
22. 居宅訪問型児童発達支援							
令和4年度	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0
令和元年度	6	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
23. 放課後等デイサービス							
令和4年度	186	34.9	35.5	12.4	10.2	5.9	1.1
令和元年度	136	27.9	41.2	18.4	8.8	2.9	0.7
平成28年度	111	36.0	34.2	8.1	13.5	5.4	2.7
24. 障害児入所支援							
令和4年度	10	0.0	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0
令和元年度	7	14.3	14.3	57.1	0.0	14.3	0.0
平成28年度	10	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0	30.0
25. 保育所等訪問支援							
令和4年度	17	23.5	29.4	29.4	0.0	5.9	11.8
令和元年度	9	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0
26. 医療型児童発達支援							
令和4年度	10	10.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0
令和元年度	10	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0
27. 障害児相談支援							
令和4年度	42	33.3	21.4	23.8	4.8	9.5	7.1
令和元年度	23	34.8	21.7	21.7	13.0	0.0	8.7
28. 住宅入居等支援							
令和4年度	12	8.3	8.3	25.0	16.7	25.0	16.7
令和元年度	14	21.4	14.3	42.9	7.1	14.3	0.0
平成28年度	9	11.1	0.0	33.3	22.2	0.0	33.3
29. 意思疎通支援(手話通訳者等派遣)							
令和4年度	14	7.1	28.6	28.6	7.1	7.1	21.4
令和元年度	7	14.3	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0
平成28年度	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
30. 日常生活用具給付等							
令和4年度	147	29.9	29.3	25.9	8.8	2.7	3.4
令和元年度	89	27.0	34.8	24.7	9.0	4.5	0.0
平成28年度	36	19.4	36.1	22.2	8.3	5.6	8.3
31. 移動支援							
令和4年度	203	26.6	34.5	16.7	12.8	4.4	4.9
令和元年度	149	28.9	35.6	25.5	7.4	2.0	0.7
平成28年度	104	34.6	21.2	18.3	10.6	9.6	5.8

前ページの続き 表

単位：％

32. 地域活動支援センター 令和4年度	18	38.9	22.2	16.7	0.0	11.1	11.1
令和元年度	19	31.6	10.5	47.4	0.0	10.5	0.0
平成28年度	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0
33. 福祉ホーム 令和4年度	14	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4
令和元年度	10	20.0	10.0	50.0	10.0	10.0	0.0
平成28年度	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
34. 訪問入浴サービス 令和4年度	82	35.4	29.3	20.7	4.9	3.7	6.1
令和元年度	46	43.5	23.9	23.9	6.5	0.0	2.2
平成28年度	29	34.5	24.1	13.8	10.3	6.9	10.3
35. 日中一時支援事業 令和4年度	17	17.6	23.5	29.4	11.8	5.9	11.8
令和元年度	15	13.3	26.7	53.3	6.7	0.0	0.0
平成28年度	10	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0
36. 自立生活体験(なかまっち、松原げやき寮) 令和4年度	24	25.0	29.2	8.3	12.5	8.3	16.7
令和元年度	25	12.0	28.0	32.0	8.0	12.0	8.0
37. 巡回支援専門員の相談 令和4年度	10	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
令和元年度	7	57.1	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
平成28年度	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
38. 点字・声の広報等発行 令和4年度	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0
令和元年度	7	14.3	0.0	71.4	0.0	14.3	0.0
平成28年度	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
39. 自動車運転免許取得・自動車改造費助成 令和4年度	17	23.5	23.5	23.5	5.9	11.8	11.8
令和元年度	17	29.4	23.5	35.3	5.9	0.0	5.9
平成28年度	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
40. 更生訓練費給付 令和4年度	6	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3
令和元年度	6	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7
平成28年度	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
41. 成年後見制度 令和4年度	32	21.9	12.5	34.4	3.1	18.8	9.4
令和元年度	29	24.1	13.8	34.5	0.0	17.2	10.3
平成28年度	13	38.5	30.8	0.0	15.4	7.7	7.7
42. あんしん事業(地域福祉権利擁護事業) 令和4年度	24	41.7	12.5	33.3	0.0	4.2	8.3
令和元年度	17	35.3	11.8	35.3	11.8	5.9	0.0
平成28年度	9	33.3	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1

前ページの続き 表

1. 居宅介護（ホームヘルプ）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「ふつう」「満足」の割合が、発達障害で「満足」の割合が高くなっています。また、精神障害で「ほぼ満足」の割合が、発達障害で「ほぼ満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	368	28.8	38.6	22.6	4.3	2.7	3.0
視覚障害	19	31.6	42.1	15.8	5.3	—	5.3
聴覚・平衡機能障害	22	22.7	31.8	27.3	9.1	4.5	4.5
音声・言語・そしゃく機能障害	37	18.9	43.2	27.0	5.4	—	5.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	217	28.6	41.5	21.7	4.1	1.8	2.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	71	31.0	36.6	21.1	5.6	4.2	1.4
知的障害	46	21.7	37.0	28.3	8.7	4.3	—
発達障害	25	36.0	24.0	28.0	4.0	8.0	—
精神障害	30	40.0	13.3	36.7	3.3	6.7	—
高次脳機能障害	34	29.4	44.1	26.5	—	—	—
難病（特定疾病）	83	26.5	42.2	18.1	8.4	2.4	2.4
その他	9	44.4	22.2	11.1	11.1	—	11.1

2. 重度訪問介護

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「満足」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	59	30.5	27.1	18.6	16.9	3.4	3.4
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	3	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	9	11.1	33.3	22.2	22.2	—	11.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	43	34.9	20.9	18.6	18.6	4.7	2.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	6	16.7	16.7	33.3	—	16.7	16.7
知的障害	7	28.6	28.6	14.3	28.6	—	—
発達障害	1	—	—	100.0	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—
難病（特定疾病）	23	39.1	26.1	17.4	13.0	4.3	—
その他	1	—	—	—	100.0	—	—

3. 同行援護

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ほぼ満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ふつう」の割合が、視覚障害で「ほぼ満足」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「ふつう」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	57	36.8	21.1	24.6	3.5	5.3	8.8
視覚障害	15	40.0	26.7	6.7	－	13.3	13.3
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	3	－	－	66.7	－	－	33.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	28	28.6	21.4	32.1	7.1	3.6	7.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	10	30.0	40.0	20.0	－	－	10.0
知的障害	4	50.0	25.0	－	25.0	－	－
発達障害	2	50.0	－	－	50.0	－	－
精神障害	2	50.0	－	50.0	－	－	－
高次脳機能障害	2	50.0	50.0	－	－	－	－
難病（特定疾病）	8	37.5	12.5	37.5	－	12.5	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

4. 行動援護

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ふつう」の割合が高くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が、知的障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	43	18.6	32.6	32.6	7.0	4.7	4.7
視覚障害	4	－	50.0	25.0	25.0	－	－
聴覚・平衡機能障害	2	－	50.0	50.0	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	3	－	－	66.7	－	－	33.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	19	15.8	26.3	47.4	－	5.3	5.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	8	12.5	37.5	37.5	－	－	12.5
知的障害	16	12.5	31.3	37.5	12.5	6.3	－
発達障害	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	－
精神障害	2	－	50.0	－	50.0	－	－
高次脳機能障害	1	－	－	100.0	－	－	－
難病（特定疾病）	6	33.3	33.3	33.3	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

5. 重度障害者等包括支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	20	15.0	40.0	35.0	—	5.0	5.0
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	3	—	33.3	33.3	—	—	33.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	13	23.1	23.1	38.5	—	7.7	7.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	4	25.0	25.0	50.0	—	—	—
知的障害	2	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	1	—	—	100.0	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	3	—	66.7	33.3	—	—	—
難病（特定疾病）	4	25.0	25.0	50.0	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

6. 療養介護

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「ほぼ満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「ふつう」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「満足」の割合が高くなっています。また、難病（特定疾病）で「満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ふつう」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	49	30.6	18.4	36.7	4.1	4.1	6.1
視覚障害	3	33.3	—	66.7	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	6	33.3	33.3	33.3	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	11	18.2	18.2	45.5	—	9.1	9.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	33	30.3	15.2	39.4	6.1	6.1	3.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	11	36.4	9.1	27.3	—	9.1	18.2
知的障害	2	50.0	—	50.0	—	—	—
発達障害	2	50.0	—	50.0	—	—	—
精神障害	4	25.0	—	75.0	—	—	—
高次脳機能障害	4	100.0	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	13	15.4	38.5	30.8	7.7	7.7	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

7. 生活介護

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「満足」の割合が、発達障害で「満足」の割合が、難病（特定疾病）で「ほぼ満足」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ほぼ満足」の割合が、発達障害で「ほぼ満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	127	24.4	39.4	26.8	3.9	2.4	3.1
視覚障害	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	7	28.6	57.1	14.3	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	13	23.1	30.8	30.8	7.7	—	7.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	71	23.9	36.6	31.0	4.2	1.4	2.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	13	30.8	23.1	30.8	—	—	15.4
知的障害	48	20.8	47.9	18.8	6.3	4.2	2.1
発達障害	14	35.7	28.6	28.6	—	7.1	—
精神障害	5	20.0	20.0	60.0	—	—	—
高次脳機能障害	12	41.7	33.3	25.0	—	—	—
難病（特定疾病）	25	28.0	48.0	20.0	4.0	—	—
その他	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—

8. 自立訓練（機能訓練）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「ふつう」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」「ほぼ満足」の割合が、高次脳機能障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	124	30.6	32.3	26.6	4.0	3.2	3.2
視覚障害	5	20.0	40.0	—	20.0	20.0	—
聴覚・平衡機能障害	9	44.4	11.1	22.2	22.2	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	12	16.7	25.0	41.7	8.3	—	8.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	79	27.8	30.4	29.1	3.8	5.1	3.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	26	34.6	30.8	23.1	7.7	—	3.8
知的障害	3	—	33.3	—	66.7	—	—
発達障害	3	33.3	—	—	33.3	33.3	—
精神障害	8	50.0	12.5	25.0	12.5	—	—
高次脳機能障害	16	25.0	31.3	31.3	12.5	—	—
難病（特定疾病）	31	35.5	32.3	25.8	3.2	—	3.2
その他	2	—	100.0	—	—	—	—

9. 自立訓練（生活訓練）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「満足」「ふつう」の割合が、高次脳機能障害で「満足」の割合が高くなっています。また、精神障害で「ほぼ満足」の割合が、知的障害で「ふつう」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	73	24.7	30.1	28.8	5.5	5.5	5.5
視覚障害	5	40.0	40.0	—	—	20.0	—
聴覚・平衡機能障害	3	—	66.7	33.3	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	6	16.7	16.7	50.0	—	—	16.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	36	22.2	30.6	27.8	5.6	8.3	5.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	5	—	—	60.0	20.0	—	20.0
知的障害	14	28.6	35.7	21.4	7.1	—	7.1
発達障害	8	25.0	12.5	37.5	—	25.0	—
精神障害	11	36.4	18.2	36.4	9.1	—	—
高次脳機能障害	15	33.3	33.3	33.3	—	—	—
難病（特定疾病）	8	—	37.5	25.0	37.5	—	—
その他	2	—	50.0	50.0	—	—	—

10. 就労移行支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「満足」「やや不満」の割合が、知的障害で「ふつう」の割合が高くなっています。また、知的障害で「ほぼ満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が、発達障害で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	42	31.0	33.3	11.9	11.9	4.8	7.1
視覚障害	1	－	100.0	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	1	－	－	－	－	－	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	12	8.3	33.3	16.7	8.3	16.7	16.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	－	50.0	－	－	－	50.0
知的障害	10	40.0	10.0	30.0	20.0	－	－
発達障害	12	58.3	16.7	－	25.0	－	－
精神障害	8	25.0	62.5	－	12.5	－	－
高次脳機能障害	5	20.0	60.0	20.0	－	－	－
難病（特定疾病）	3	33.3	66.7	－	－	－	－
その他	1	－	100.0	－	－	－	－

11. 就労継続支援（A型）

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	17	17.6	29.4	17.6	5.9	11.8	17.6
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	5	—	40.0	20.0	—	20.0	20.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	—	66.7	—	—	—	33.3
知的障害	5	60.0	—	20.0	20.0	—	—
発達障害	3	33.3	—	—	—	33.3	33.3
精神障害	2	—	50.0	50.0	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	3	33.3	66.7	—	—	—	—
その他	1	—	100.0	—	—	—	—

12. 就労継続支援（B型）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が高くなっています。また、発達障害で「ふつう」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が、精神障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	135	36.3	23.0	24.4	9.6	3.0	3.7
視覚障害	2	50.0	50.0	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	50.0	—	50.0	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	4	25.0	25.0	—	25.0	—	25.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	22	45.5	13.6	22.7	9.1	4.5	4.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	—	—	50.0	—	—	50.0
知的障害	64	39.1	23.4	26.6	7.8	—	3.1
発達障害	27	33.3	18.5	14.8	22.2	3.7	7.4
精神障害	46	30.4	23.9	28.3	13.0	2.2	2.2
高次脳機能障害	9	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	—
難病（特定疾病）	8	37.5	37.5	25.0	—	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

13. 就労定着支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	26	34.6	26.9	19.2	7.7	3.8	7.7
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	6	—	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	4	—	50.0	25.0	—	—	25.0
知的障害	8	50.0	12.5	25.0	12.5	—	—
発達障害	9	44.4	33.3	22.2	—	—	—
精神障害	3	66.7	33.3	—	—	—	—
高次脳機能障害	1	—	—	100.0	—	—	—
難病（特定疾病）	2	—	100.0	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

14. 施設入所支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害で「ふつう」の割合が、知的障害で「満足」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「ほぼ満足」の割合が、知的障害で「ほぼ満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	56	28.6	25.0	21.4	7.1	10.7	7.1
視覚障害	3	33.3	—	33.3	33.3	—	—
聴覚・平衡機能障害	7	14.3	28.6	57.1	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	9	22.2	—	66.7	—	—	11.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	30	20.0	26.7	23.3	10.0	13.3	6.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	12	33.3	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3
知的障害	10	50.0	10.0	20.0	—	10.0	10.0
発達障害	3	100.0	—	—	—	—	—
精神障害	3	33.3	66.7	—	—	—	—
高次脳機能障害	11	27.3	9.1	63.6	—	—	—
難病（特定疾病）	9	11.1	33.3	33.3	—	22.2	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

15. 自立生活援助

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ふつう」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	32	21.9	34.4	21.9	6.3	6.3	9.4
視覚障害	1	—	—	100.0	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	3	—	—	33.3	—	—	66.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	17	17.6	23.5	29.4	5.9	11.8	11.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	8	12.5	25.0	37.5	12.5	—	12.5
知的障害	2	—	100.0	—	—	—	—
発達障害	3	66.7	33.3	—	—	—	—
精神障害	6	33.3	50.0	16.7	—	—	—
高次脳機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
難病（特定疾病）	4	—	—	25.0	50.0	—	25.0
その他	—	—	—	—	—	—	—

16. 共同生活援助(グループホーム)

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ふつう」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	55	36.4	18.2	21.8	9.1	7.3	7.3
視覚障害	2	50.0	50.0	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	5	40.0	20.0	20.0	－	－	20.0
音声・言語・そしゃく機能障害	2	50.0	－	－	－	－	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	18	22.2	16.7	27.8	11.1	11.1	11.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	4	25.0	25.0	－	25.0	－	25.0
知的障害	21	42.9	14.3	19.0	14.3	9.5	－
発達障害	8	37.5	－	37.5	12.5	12.5	－
精神障害	8	62.5	－	25.0	12.5	－	－
高次脳機能障害	4	75.0	25.0	－	－	－	－
難病（特定疾病）	3	33.3	33.3	－	33.3	－	－
その他	2	50.0	－	50.0	－	－	－

17. 短期入所（ショートステイ）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「やや不満」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「やや不満」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「ほぼ満足」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「やや不満」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」の割合が、発達障害で「ふつう」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	181	12.7	36.5	23.8	13.8	8.8	4.4
視覚障害	10	20.0	40.0	20.0	10.0	—	10.0
聴覚・平衡機能障害	15	6.7	46.7	20.0	13.3	—	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	22	4.5	31.8	22.7	27.3	4.5	9.1
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	94	13.8	34.0	23.4	13.8	9.6	5.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	19	10.5	42.1	31.6	5.3	5.3	5.3
知的障害	96	11.5	40.6	18.8	15.6	10.4	3.1
発達障害	31	12.9	29.0	16.1	29.0	12.9	—
精神障害	6	—	—	66.7	33.3	—	—
高次脳機能障害	13	15.4	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7
難病（特定疾病）	29	17.2	34.5	31.0	6.9	6.9	3.4
その他	3	—	—	33.3	33.3	—	33.3

18. 計画相談支援《個別計画》

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、聴覚・平衡機能障害で「満足」の割合が、精神障害で「ふつう」の割合が、難病（特定疾病）で「ほぼ満足」の割合が高くなっています。また、難病（特定疾病）で「満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	216	34.3	30.1	25.5	4.2	2.3	3.7
視覚障害	8	62.5	25.0	—	—	—	12.5
聴覚・平衡機能障害	16	43.8	31.3	25.0	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	16	31.3	25.0	31.3	6.3	—	6.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	72	37.5	27.8	25.0	5.6	1.4	2.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	17	35.3	29.4	29.4	—	—	5.9
知的障害	123	32.5	30.1	28.5	3.3	2.4	3.3
発達障害	66	34.8	34.8	24.2	4.5	—	1.5
精神障害	23	34.8	26.1	34.8	—	4.3	—
高次脳機能障害	8	37.5	25.0	25.0	—	12.5	—
難病（特定疾病）	34	23.5	38.2	23.5	8.8	—	5.9
その他	6	33.3	33.3	16.7	—	—	16.7

19. 地域移行支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	13	23.1	23.1	30.8	—	7.7	15.4
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	8	12.5	25.0	37.5	—	12.5	12.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	33.3	—	33.3	—	—	33.3
知的障害	—	—	—	—	—	—	—
発達障害	1	100.0	—	—	—	—	—
精神障害	1	—	—	100.0	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	2	50.0	—	50.0	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

20. 地域定着支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	11	9.1	27.3	36.4	—	9.1	18.2
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	7	14.3	14.3	42.9	—	14.3	14.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	—	33.3	33.3	—	—	33.3
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	1	100.0	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	1	—	—	100.0	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

21. 児童発達支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「ふつう」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が高くなっています。また、知的障害で「満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	125	34.4	41.6	10.4	8.0	2.4	3.2
視覚障害	4	—	25.0	25.0	25.0	—	25.0
聴覚・平衡機能障害	3	—	66.7	33.3	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	5	20.0	20.0	40.0	—	—	20.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	16	43.8	31.3	—	6.3	6.3	12.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	6	66.7	—	16.7	—	—	16.7
知的障害	35	20.0	45.7	20.0	8.6	2.9	2.9
発達障害	92	32.6	45.7	8.7	9.8	2.2	1.1
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	7	71.4	28.6	—	—	—	—
その他	8	50.0	50.0	—	—	—	—

22. 居宅訪問型児童発達支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0
視覚障害	－	－	－	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	1	－	－	－	－	－	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	6	16.7	33.3	16.7	－	16.7	16.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	50.0	－	－	－	－	50.0
知的障害	3	33.3	－	33.3	33.3	－	－
発達障害	1	－	－	－	100.0	－	－
精神障害	－	－	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－
難病（特定疾病）	2	50.0	－	50.0	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

23. 放課後等デイサービス

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」「ふつう」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ふつう」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほぼ満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	186	34.9	35.5	12.4	10.2	5.9	1.1
視覚障害	8	37.5	25.0	12.5	25.0	—	—
聴覚・平衡機能障害	9	44.4	33.3	22.2	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	10	50.0	10.0	20.0	10.0	—	10.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	36	38.9	16.7	25.0	11.1	5.6	2.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	11	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1
知的障害	111	33.3	34.2	11.7	13.5	7.2	—
発達障害	97	35.1	37.1	9.3	12.4	6.2	—
精神障害	7	42.9	42.9	14.3	—	—	—
高次脳機能障害	2	50.0	—	50.0	—	—	—
難病（特定疾病）	19	36.8	36.8	15.8	5.3	5.3	—
その他	6	50.0	50.0	—	—	—	—

24. 障害児入所支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	10	－	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0
視覚障害	－	－	－	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	2	－	－	50.0	－	－	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	4	－	－	－	50.0	25.0	25.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	－	－	－	－	－	100.0
知的障害	3	－	33.3	66.7	－	－	－
発達障害	1	－	100.0	－	－	－	－
精神障害	－	－	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－
難病（特定疾病）	1	－	－	100.0	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

25. 保育所等訪問支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「満足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	17	23.5	29.4	29.4	—	5.9	11.8
視覚障害	1	100.0	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	2	—	—	50.0	—	—	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	5	20.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	—	—	50.0	—	—	50.0
知的障害	6	16.7	33.3	50.0	—	—	—
発達障害	10	40.0	30.0	30.0	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

26. 医療型児童発達支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	10	10.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0
視覚障害	1	－	100.0	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	2	－	50.0	－	－	－	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	5	20.0	20.0	－	20.0	20.0	20.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	－	－	－	－	－	100.0
知的障害	2	－	50.0	50.0	－	－	－
発達障害	1	－	100.0	－	－	－	－
精神障害	－	－	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－
難病（特定疾病）	2	－	100.0	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

27. 障害児相談支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が、発達障害で「ほぼ満足」の割合が、知的障害で「ほぼ満足」の割合が高くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が、発達障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	42	33.3	21.4	23.8	4.8	9.5	7.1
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	50.0	50.0	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	4	25.0	—	50.0	—	—	25.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	16	43.8	6.3	25.0	6.3	12.5	6.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	4	50.0	—	—	—	—	50.0
知的障害	24	37.5	29.2	25.0	4.2	4.2	—
発達障害	17	23.5	29.4	29.4	5.9	11.8	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	6	50.0	—	50.0	—	—	—
その他	2	50.0	50.0	—	—	—	—

28. 住宅入居等支援

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	12	8.3	8.3	25.0	16.7	25.0	16.7
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	2	—	—	—	—	50.0	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	6	—	—	33.3	33.3	16.7	16.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	33.3	—	—	—	33.3	33.3
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	1	—	—	—	—	100.0	—
高次脳機能障害	1	—	—	—	—	100.0	—
難病（特定疾病）	2	—	—	—	50.0	50.0	—
その他	1	—	—	—	100.0	—	—

29. 意思疎通支援(手話通訳者等派遣)

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	14	7.1	28.6	28.6	7.1	7.1	21.4
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	7	14.3	57.1	14.3	—	—	14.3
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	5	—	—	40.0	20.0	20.0	20.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	1	—	—	—	—	—	100.0
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病(特定疾病)	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

30. 日常生活用具給付等

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「ふつう」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「ふつう」の割合が高くなっています。また、知的障害で「満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	147	29.9	29.3	25.9	8.8	2.7	3.4
視覚障害	8	37.5	25.0	25.0	12.5	—	—
聴覚・平衡機能障害	19	26.3	31.6	31.6	10.5	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	18	16.7	27.8	38.9	11.1	—	5.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	83	27.7	28.9	25.3	10.8	3.6	3.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	50	28.0	28.0	22.0	12.0	4.0	6.0
知的障害	20	15.0	30.0	30.0	20.0	5.0	—
発達障害	6	33.3	33.3	33.3	—	—	—
精神障害	2	—	50.0	50.0	—	—	—
高次脳機能障害	7	28.6	14.3	28.6	28.6	—	—
難病（特定疾病）	40	25.0	32.5	25.0	15.0	2.5	—
その他	5	—	60.0	40.0	—	—	—

31. 移動支援

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「満足」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「満足」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「満足」の割合が高くなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「ほぼ満足」「ふつう」の割合が、発達障害で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	203	26.6	34.5	16.7	12.8	4.4	4.9
視覚障害	9	55.6	11.1	—	11.1	—	22.2
聴覚・平衡機能障害	11	36.4	36.4	9.1	18.2	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	14	42.9	21.4	7.1	14.3	—	14.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	80	28.8	28.8	17.5	13.8	5.0	6.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	20	50.0	40.0	—	5.0	—	5.0
知的障害	112	24.1	33.0	21.4	13.4	5.4	2.7
発達障害	44	18.2	34.1	15.9	20.5	6.8	4.5
精神障害	15	26.7	26.7	20.0	20.0	6.7	—
高次脳機能障害	24	33.3	29.2	16.7	16.7	—	4.2
難病（特定疾病）	36	25.0	36.1	22.2	11.1	2.8	2.8
その他	4	25.0	—	50.0	—	—	25.0

32. 地域活動支援センター

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	18	38.9	22.2	16.7	—	11.1	11.1
視覚障害	1	—	100.0	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	8	12.5	37.5	12.5	—	25.0	12.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	66.7	—	—	—	—	33.3
知的障害	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—
発達障害	1	100.0	—	—	—	—	—
精神障害	1	100.0	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—
難病（特定疾病）	1	100.0	—	—	—	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

33. 福祉ホーム

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	14	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	8	25.0	12.5	—	12.5	25.0	25.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	—	33.3	—	33.3	—	33.3
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	1	—	—	—	—	—	100.0
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	3	33.3	33.3	—	33.3	—	—
その他	1	100.0	—	—	—	—	—

34. 訪問入浴サービス

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「満足」の割合が、高次脳機能障害で「ほぼ満足」「ふつう」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「満足」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ほぼ満足」の割合が、難病（特定疾病）で「ふつう」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	82	35.4	29.3	20.7	4.9	3.7	6.1
視覚障害	6	33.3	66.7	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	7	57.1	28.6	14.3	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	12	41.7	25.0	16.7	8.3	－	8.3
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	56	35.7	26.8	19.6	7.1	5.4	5.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	10	70.0	20.0	－	－	－	10.0
知的障害	7	28.6	42.9	14.3	14.3	－	－
発達障害	－	－	－	－	－	－	－
精神障害	1	－	－	100.0	－	－	－
高次脳機能障害	11	9.1	45.5	36.4	9.1	－	－
難病（特定疾病）	33	48.5	24.2	12.1	6.1	3.0	6.1
その他	3	－	66.7	33.3	－	－	－

35. 日中一時支援事業

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「やや不満」の割合が高くなっています。また、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	17	17.6	23.5	29.4	11.8	5.9	11.8
視覚障害	1	－	100.0	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	2	－	50.0	－	50.0	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	2	－	50.0	－	－	－	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	11	18.2	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	33.3	33.3	－	－	－	33.3
知的障害	7	28.6	14.3	42.9	14.3	－	－
発達障害	－	－	－	－	－	－	－
精神障害	－	－	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
難病（特定疾病）	2	50.0	－	50.0	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

36. 自立生活体験(なかまっち、松原けやき寮)

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「ほぼ満足」の割合が、知的障害で「満足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	24	25.0	29.2	8.3	12.5	8.3	16.7
視覚障害	1	100.0	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	50.0	—	—	—	50.0
音声・言語・そしゃく機能障害	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	12	—	41.7	8.3	16.7	16.7	16.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	—	50.0	—	—	—	50.0
知的障害	13	30.8	30.8	7.7	15.4	—	15.4
発達障害	5	20.0	40.0	—	20.0	—	20.0
精神障害	3	33.3	—	33.3	33.3	—	—
高次脳機能障害	1	—	—	—	—	100.0	—
難病（特定疾病）	5	20.0	40.0	20.0	20.0	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

37. 巡回支援専門員の相談

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	10	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	3	66.7	33.3	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	2	50.0	—	—	—	—	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	5	20.0	—	20.0	20.0	20.0	20.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	—	—	—	—	—	100.0
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	1	100.0	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	1	100.0	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

38. 点字・声の広報等発行

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0
視覚障害	3	33.3	66.7	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	1	－	100.0	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	1	－	－	－	－	－	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	4	－	－	25.0	25.0	25.0	25.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	－	－	－	－	－	100.0
知的障害	1	－	－	100.0	－	－	－
発達障害	－	－	－	－	－	－	－
精神障害	－	－	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－
難病（特定疾病）	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

39. 自動車運転免許取得・自動車改造費助成

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	17	23.5	23.5	23.5	5.9	11.8	11.8
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	2	—	50.0	—	—	—	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	8	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	4	25.0	—	25.0	—	25.0	25.0
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	1	100.0	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

40. 更生訓練費給付

【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	6	16.7	16.7	16.7	—	16.7	33.3
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	1	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	3	33.3	—	—	—	33.3	33.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	—	—	—	—	—	100.0
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

41. 成年後見制度

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「不満」「ふつう」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「不満」の割合が高くなっています。また、知的障害で「満足」の割合が、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「満足」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	32	21.9	12.5	34.4	3.1	18.8	9.4
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	100.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	5	—	—	40.0	—	40.0	20.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	12	16.7	16.7	33.3	—	25.0	8.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	3	—	33.3	—	—	33.3	33.3
知的障害	12	8.3	8.3	41.7	—	33.3	8.3
発達障害	4	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—
精神障害	5	20.0	—	40.0	20.0	20.0	—
高次脳機能障害	7	42.9	—	28.6	—	28.6	—
難病（特定疾病）	5	60.0	—	20.0	—	—	20.0
その他	—	—	—	—	—	—	—

42. あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ふつう」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	24	41.7	12.5	33.3	—	4.2	8.3
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	4	25.0	25.0	50.0	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	—	100.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	9	55.6	11.1	11.1	—	11.1	11.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	10	40.0	—	50.0	—	—	10.0
知的障害	1	—	—	100.0	—	—	—
発達障害	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	1	100.0	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	1	100.0	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	4	50.0	50.0	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

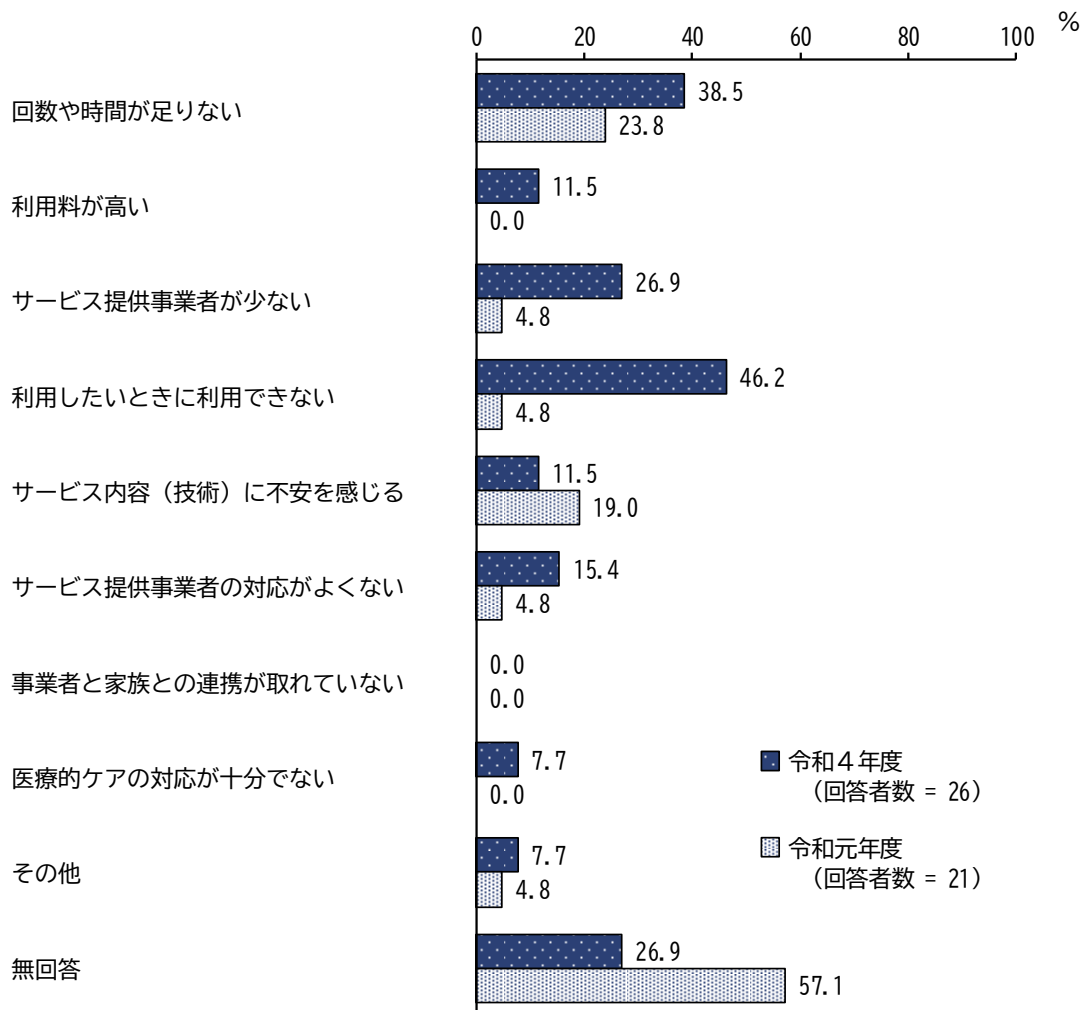
C. 不満なサービスは、その理由をP. 22 の下の欄からいくつでも選んでご記入ください。

1. 居宅介護（ホームヘルプ）

「利用したいときに利用できない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「回数や時間が足りない」の割合が38.5%、「サービス提供事業者が少ない」の割合が26.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」「サービス提供事業者が少ない」「利用したいときに利用できない」「サービス提供事業者の対応がよくない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。一方、「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「回数や時間が足りない」「利用したいときに利用できない」の割合が高くなっています。

単位：％

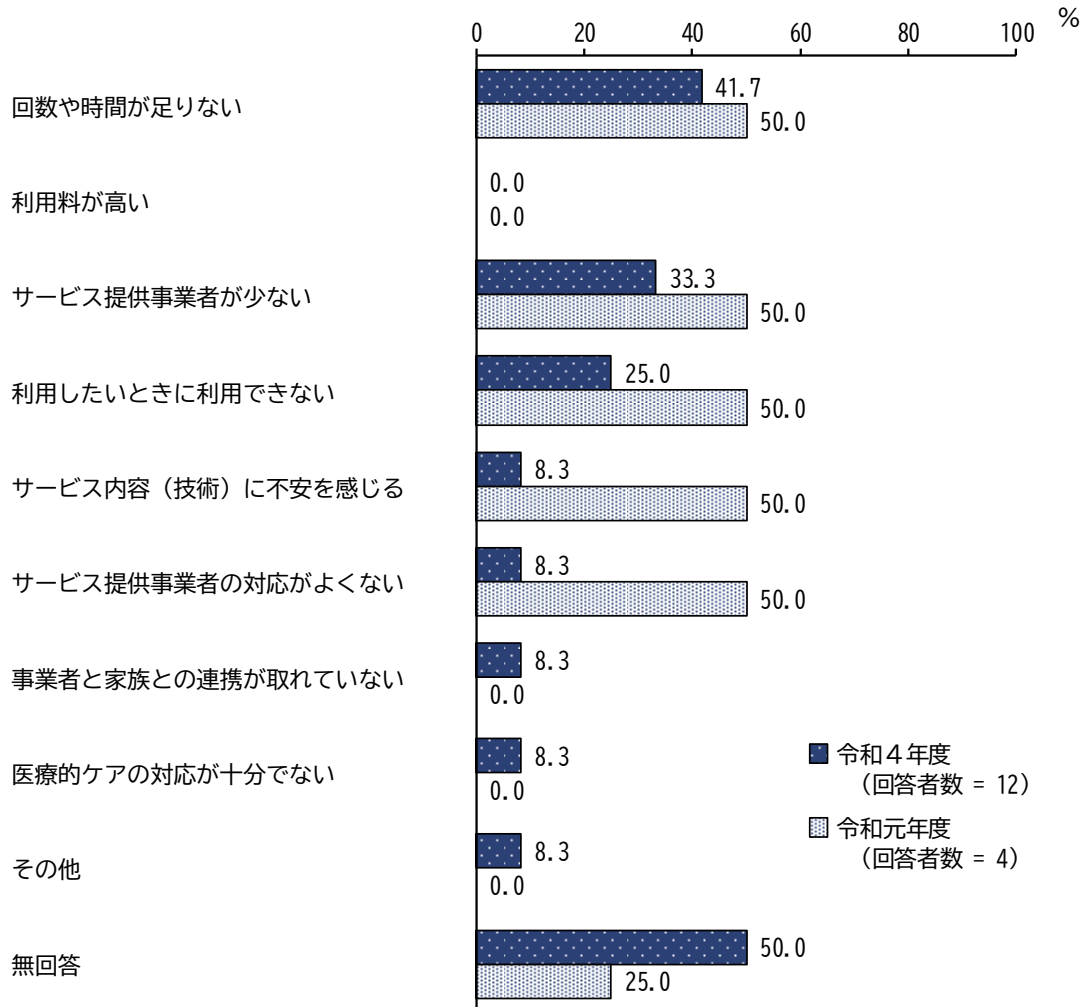
区分	回答者数（件）	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容（技術）に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	26	38.5	11.5	26.9	46.2	11.5	15.4	－	7.7	7.7	26.9
視覚障害	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
聴覚・平衡機能障害	3	66.7	－	－	66.7	－	－	－	33.3	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	2	50.0	－	50.0	50.0	50.0	50.0	－	－	－	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	13	46.2	－	30.8	53.8	7.7	15.4	－	7.7	－	30.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	7	57.1	28.6	28.6	42.9	14.3	－	－	－	－	42.9
知的障害	6	50.0	－	66.7	83.3	16.7	33.3	－	16.7	16.7	－
発達障害	3	－	－	33.3	66.7	－	－	－	－	33.3	33.3
精神障害	3	33.3	－	－	－	－	－	－	－	－	66.7
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
難病（特定疾病）	9	55.6	11.1	44.4	55.6	11.1	11.1	－	11.1	11.1	11.1
その他	1	100.0	－	100.0	100.0	－	－	－	100.0	－	－

2. 重度訪問介護

「回数や時間が足りない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「サービス提供事業者が少ない」の割合が33.3%、「利用したいときに利用できない」の割合が25.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。一方、「回数や時間が足りない」「サービス提供事業者が少ない」「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「回数や時間が足りない」「サービス提供事業者が少ない」「利用したいときに利用できない」の割合が高くなっています。

単位：％

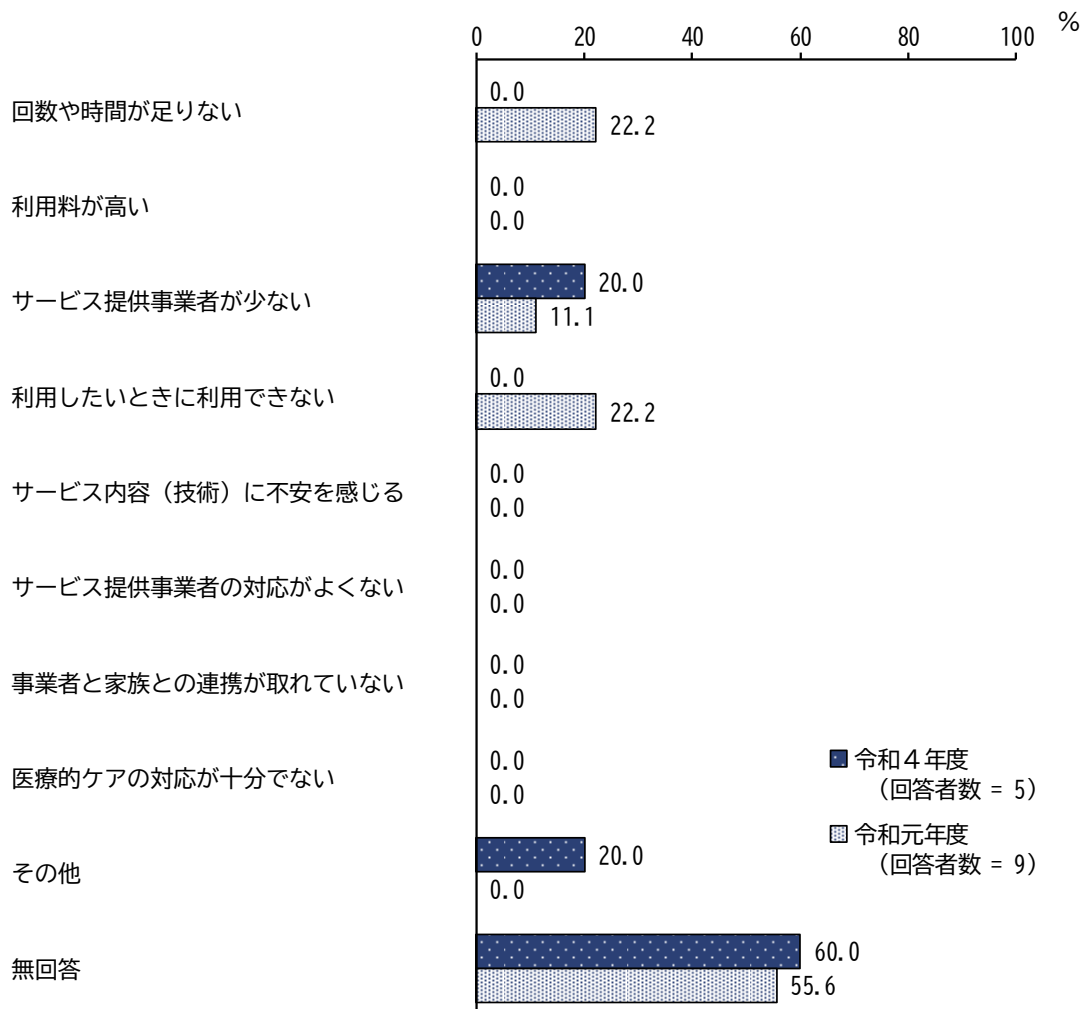
区分	回答者数（件）	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容（技術）に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	12	41.7	—	33.3	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	50.0
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	2	50.0	—	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	10	50.0	—	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
知的障害	2	50.0	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	50.0
発達障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
難病（特定疾病）	4	50.0	—	50.0	50.0	25.0	25.0	—	25.0	—	50.0
その他	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—

3. 同行援護

「サービス提供事業者が少ない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者が少ない」の割合が増加しています。一方、「回数や時間が足りない」「利用したいときに利用できない」の割合が減少しています。

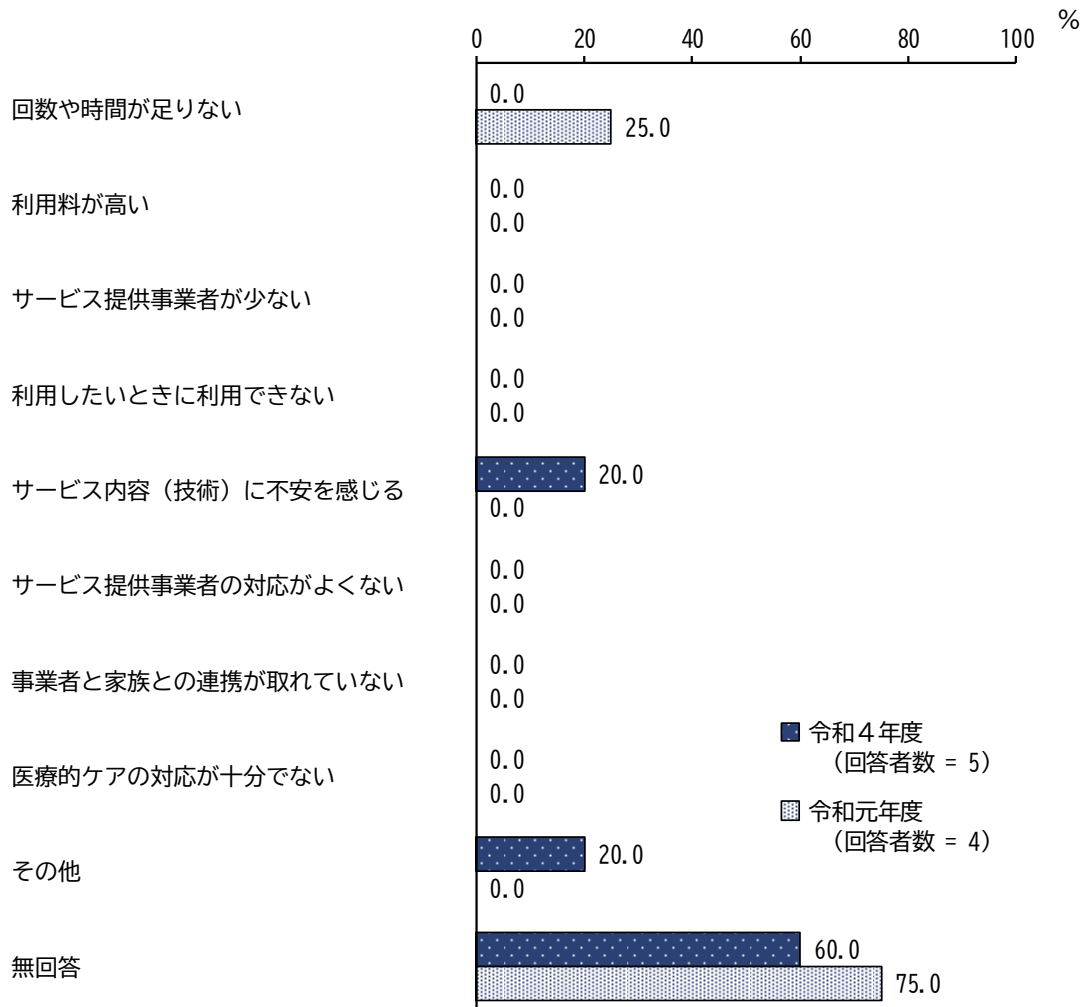


4. 行動援護

「サービス内容（技術）に不安を感じる」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が増加しています。一方、「回数や時間が足りない」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容(技術)に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	5	－	－	－	－	20.0	－	－	－	20.0	60.0
視覚障害	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
聴覚・平衡機能障害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
音声・言語・そしゃく機能障害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
知的障害	3	－	－	－	－	33.3	－	－	－	33.3	33.3
発達障害	2	－	－	－	－	50.0	－	－	－	50.0	－
精神障害	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
高次脳機能障害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
難病(特定疾病)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

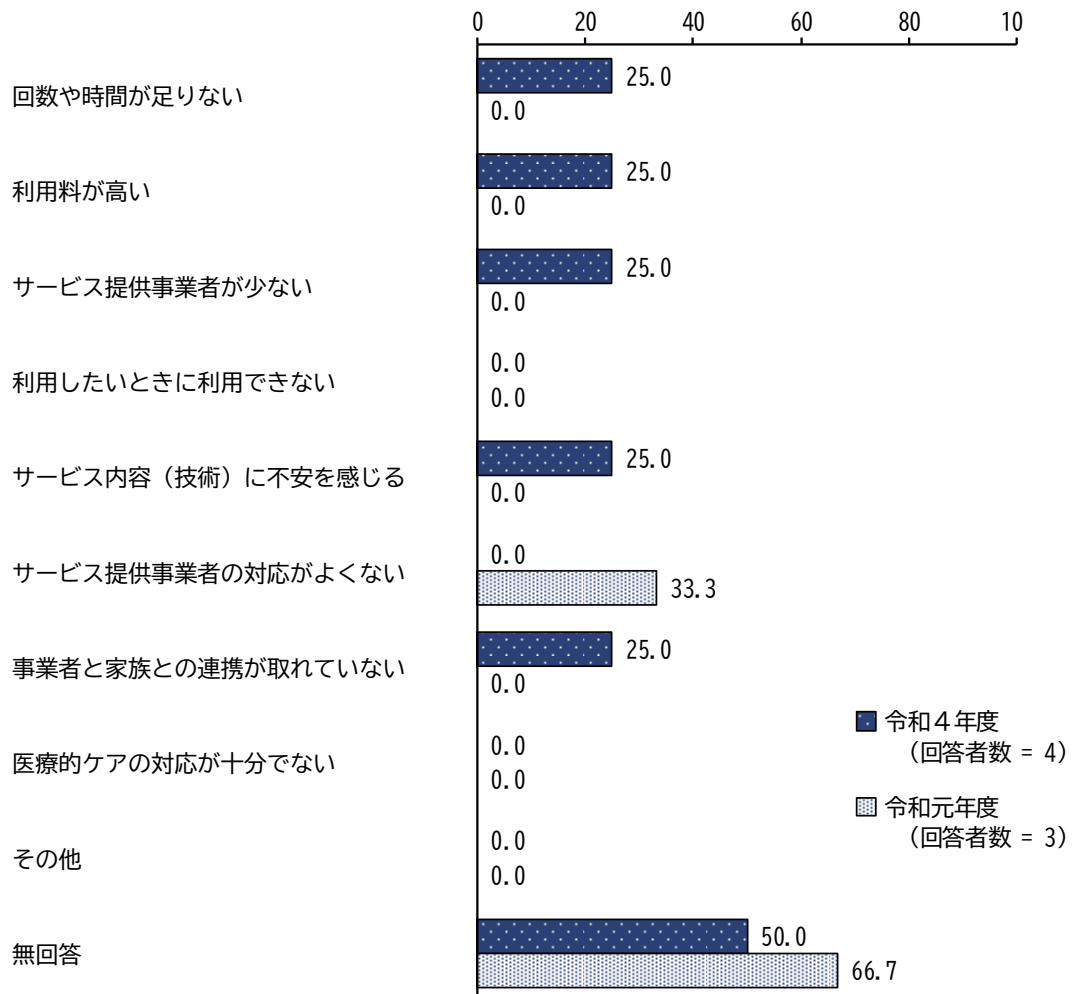
5. 重度障害者等包括支援
有効回答がありませんでした。

6. 療養介護

「回数や時間が足りない」、「利用料が高い」、「サービス提供事業者が少ない」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「事業者と家族との連携が取れていない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」「サービス提供事業者が少ない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が増加しています。一方、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。

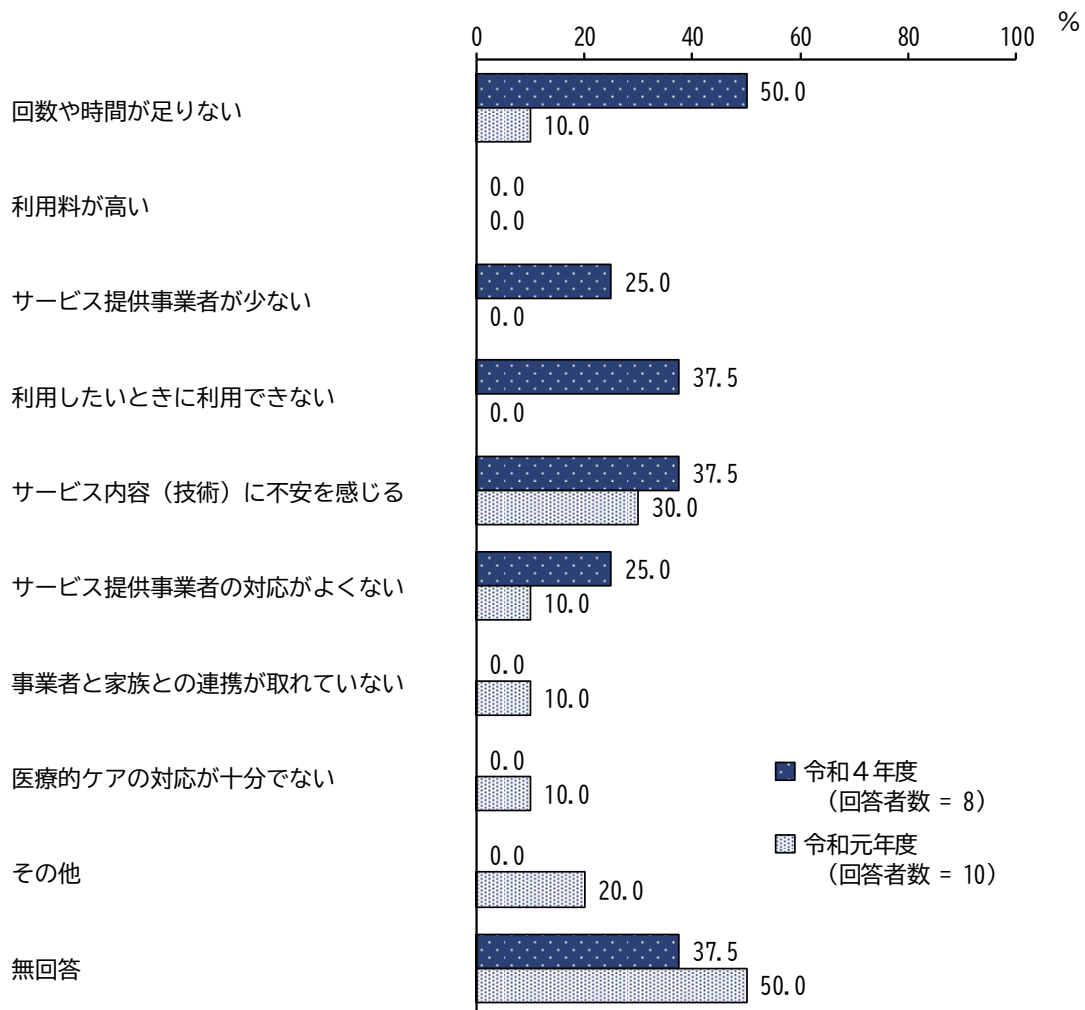


7. 生活介護

「回数や時間が足りない」が4件となっています。「利用したいときに利用できない」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」が3件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「サービス提供事業者が少ない」「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が増加しています。一方、「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が減少しています。

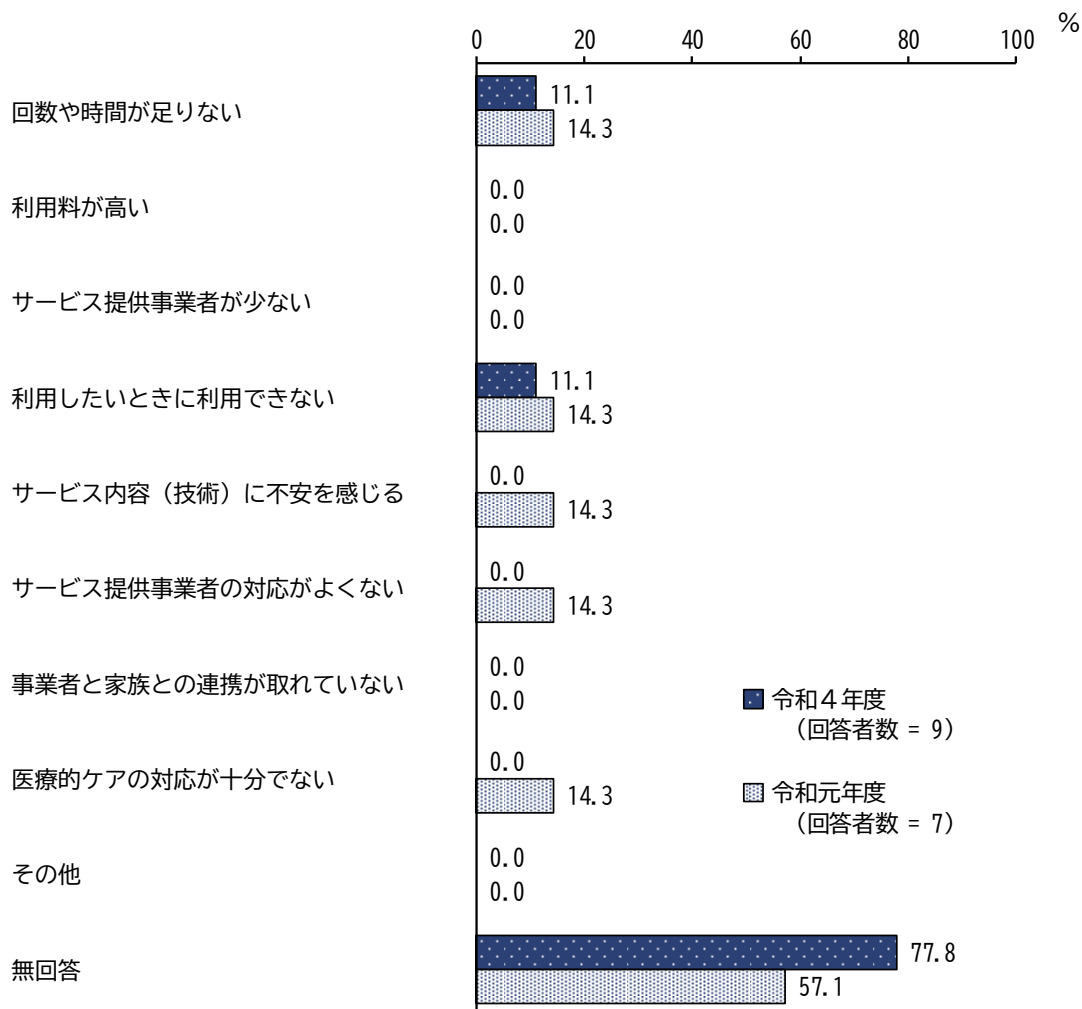


8. 自立訓練（機能訓練）

「回数や時間が足りない」、「利用したいときに利用できない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が減少しています。

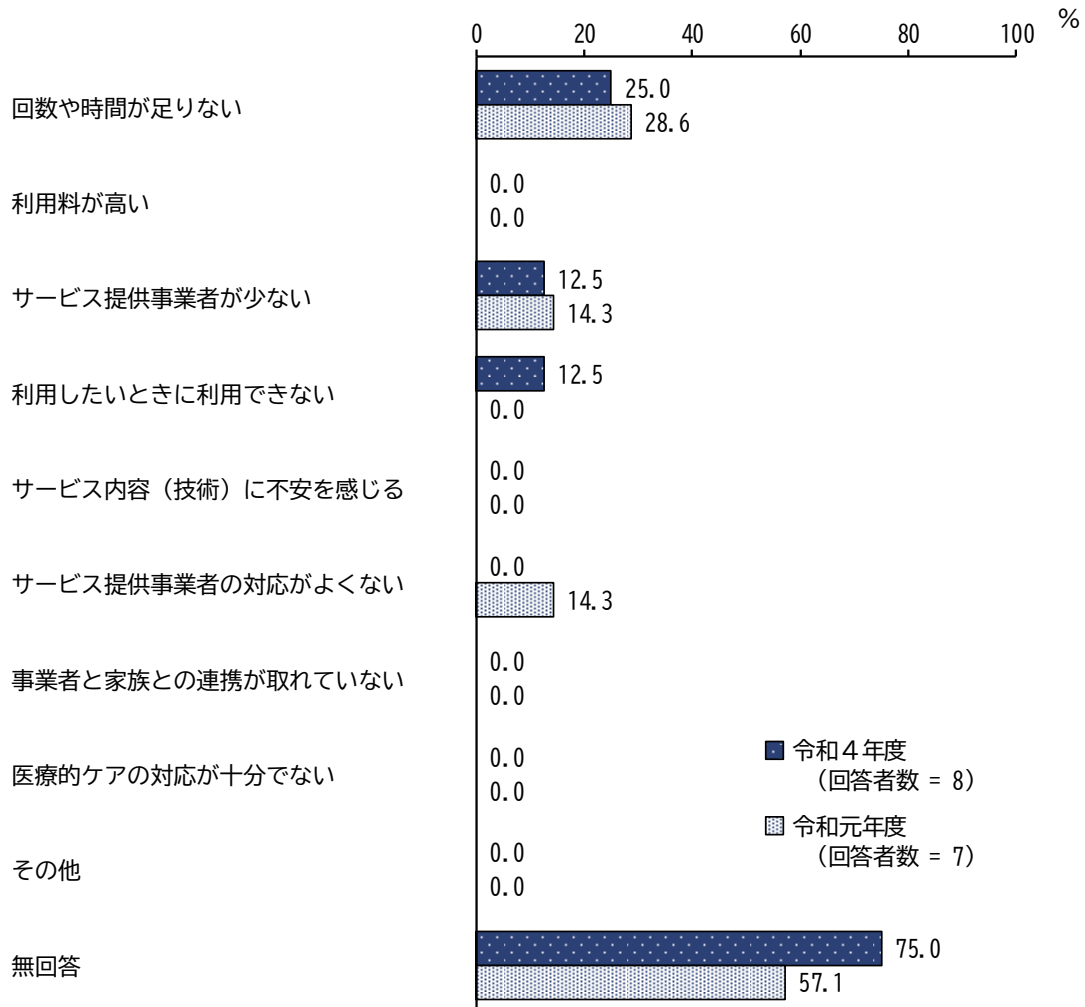


9. 自立訓練（生活訓練）

「回数や時間が足りない」が2件となっています。「サービス提供事業者が少ない」、「利用したいときに利用できない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「利用したいときに利用できない」の割合が増加しています。一方、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。

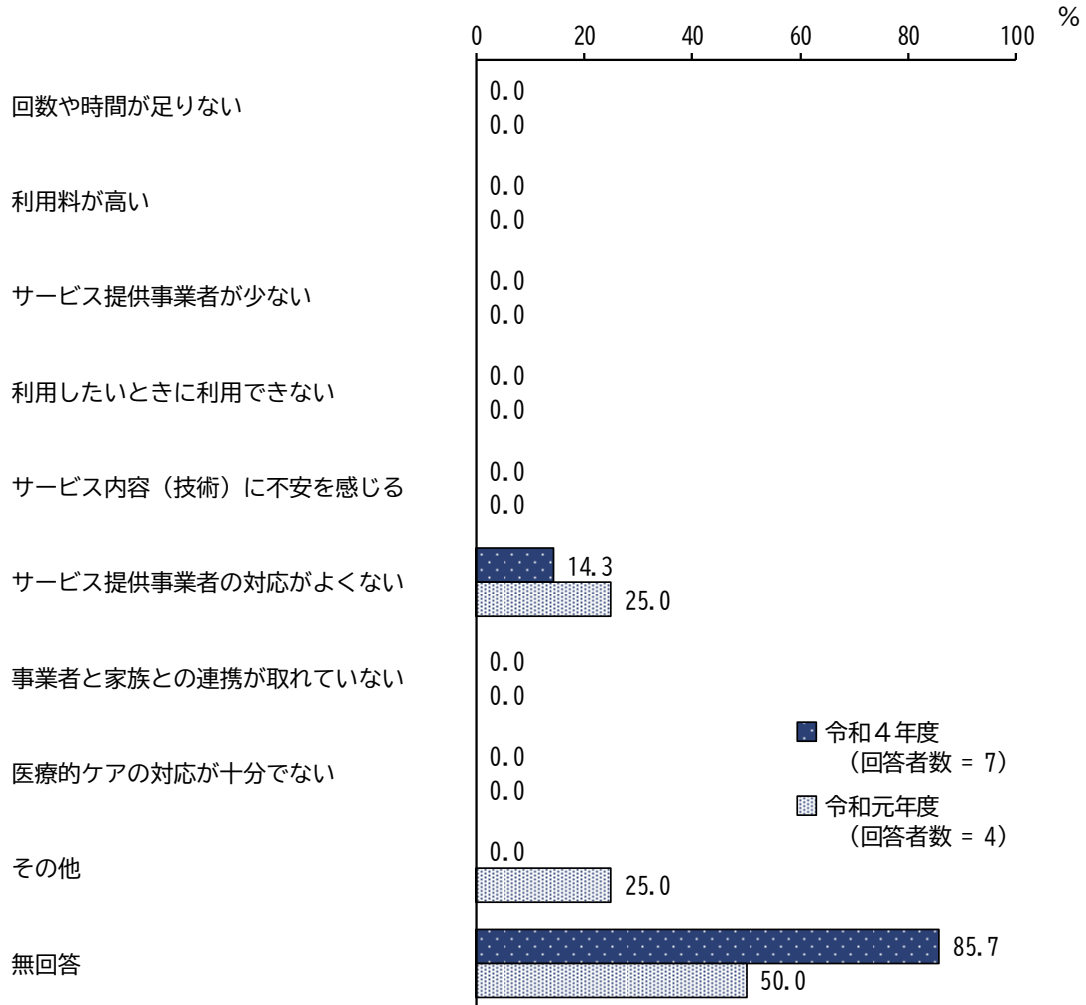


10. 就労移行支援

「サービス提供事業者の対応がよくない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。

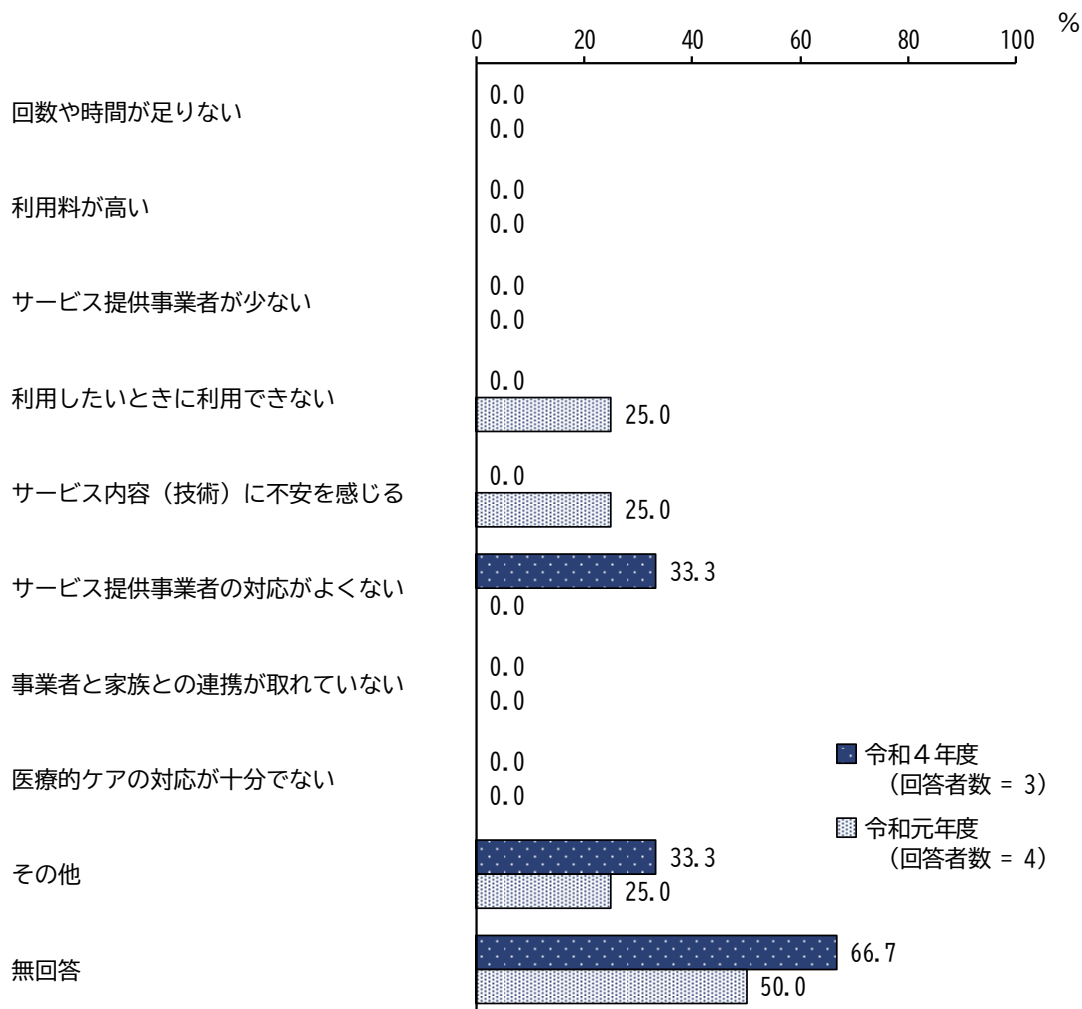


11. 就労継続支援（A型）

「サービス提供事業者の対応がよくない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が増加しています。一方、「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。

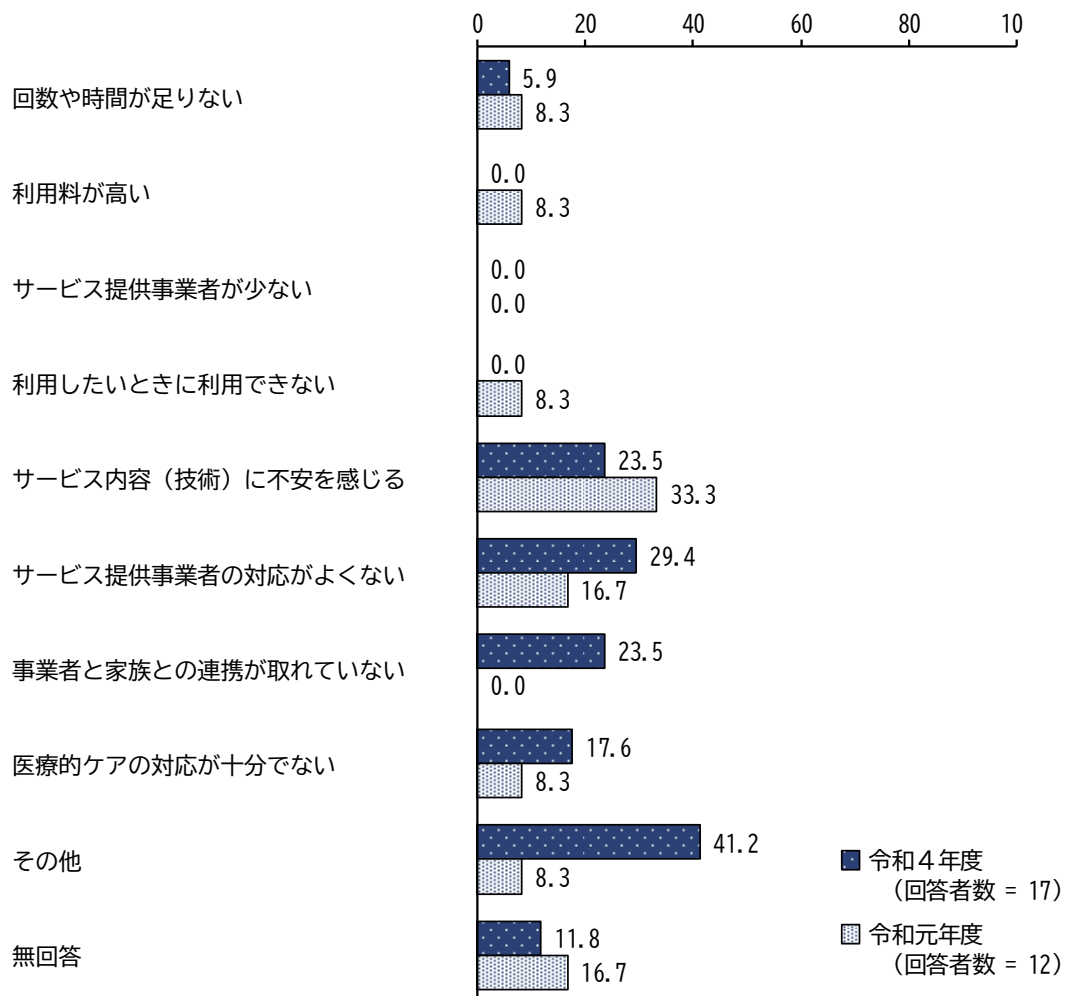


12. 就労継続支援（B型）

「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が29.4%と最も高く、次いで「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が23.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者の対応がよくない」「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。一方、「利用料が高い」「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。

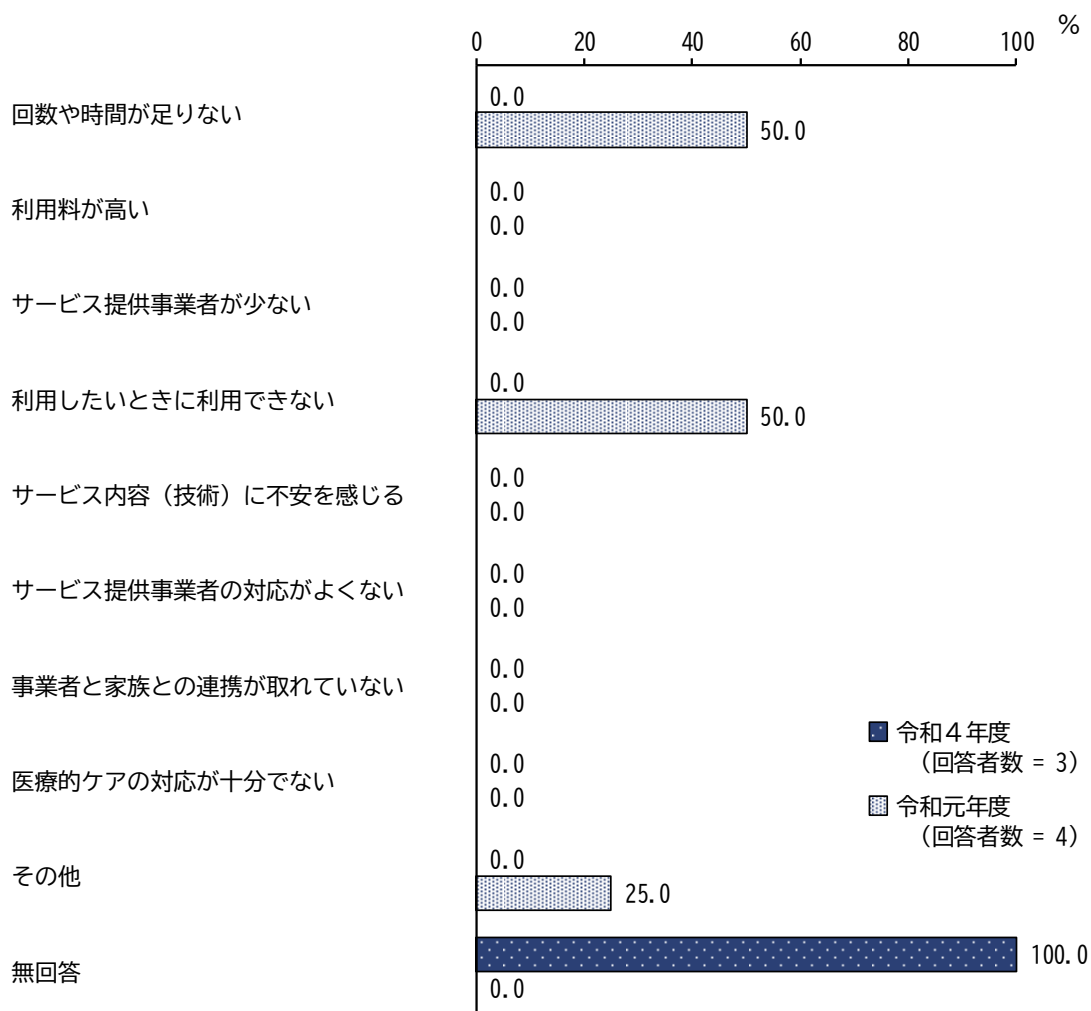


13. 就労定着支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用したいときに利用できない」の割合が減少しています。

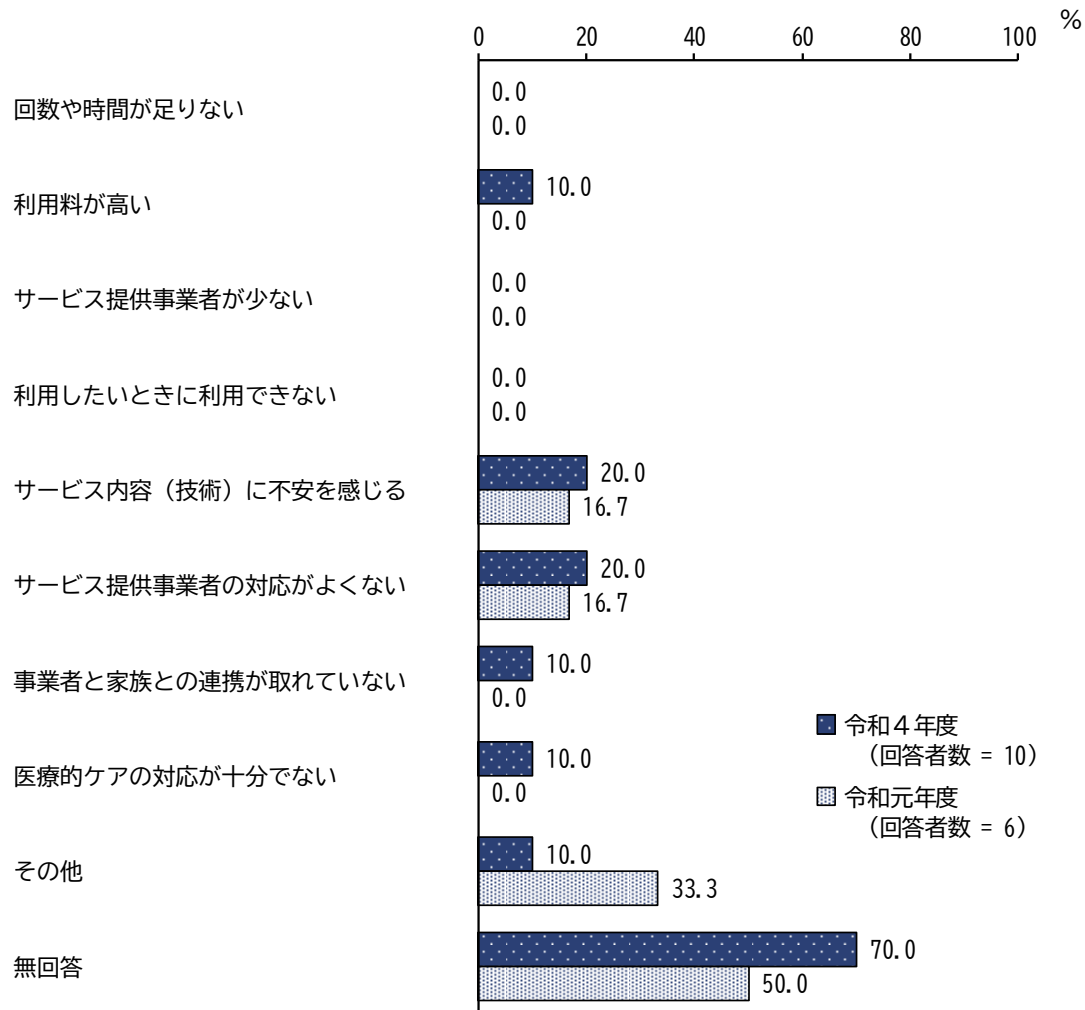


14. 施設入所支援

「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が20.0%と最も高く、次いで「利用料が高い」、「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が10.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「利用料が高い」「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。

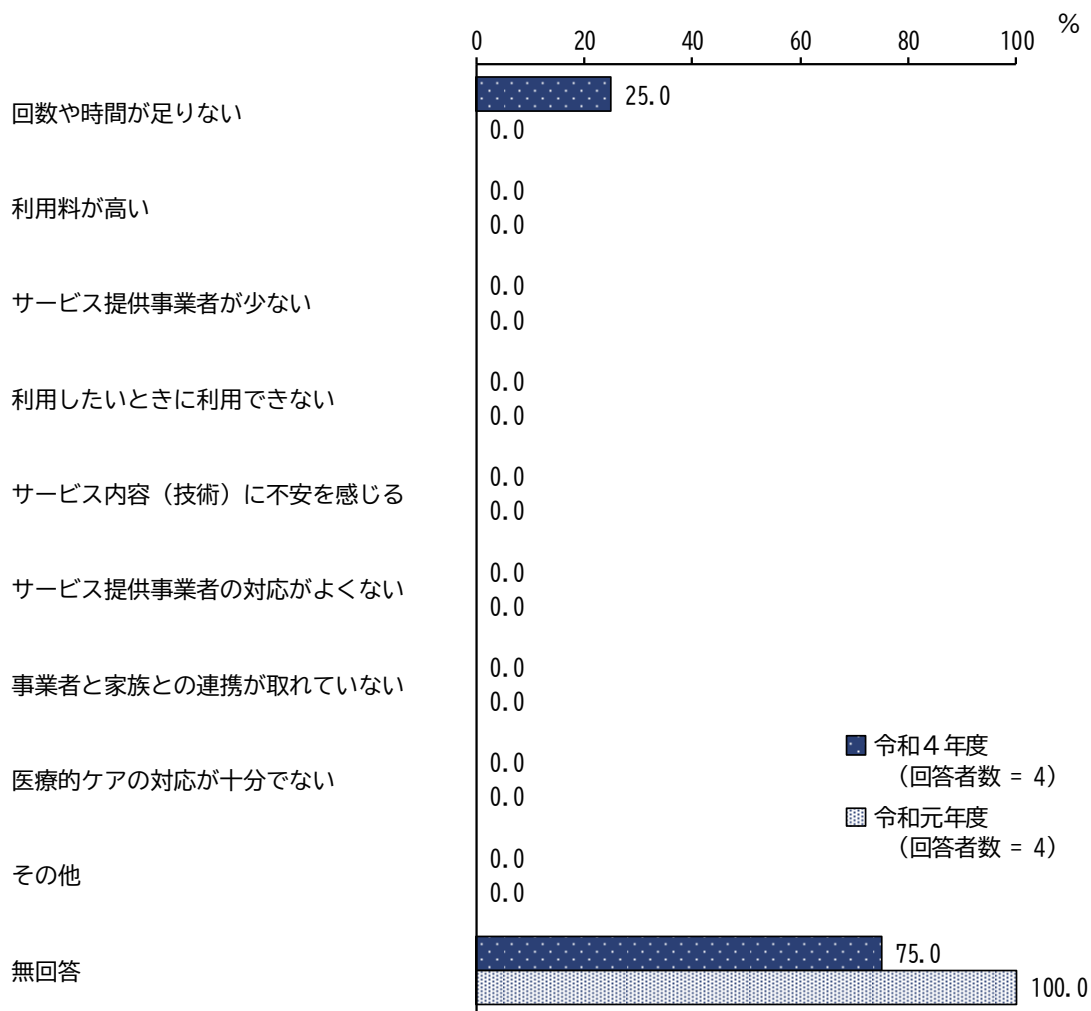


15. 自立生活援助

「回数や時間が足りない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」の割合が増加しています。

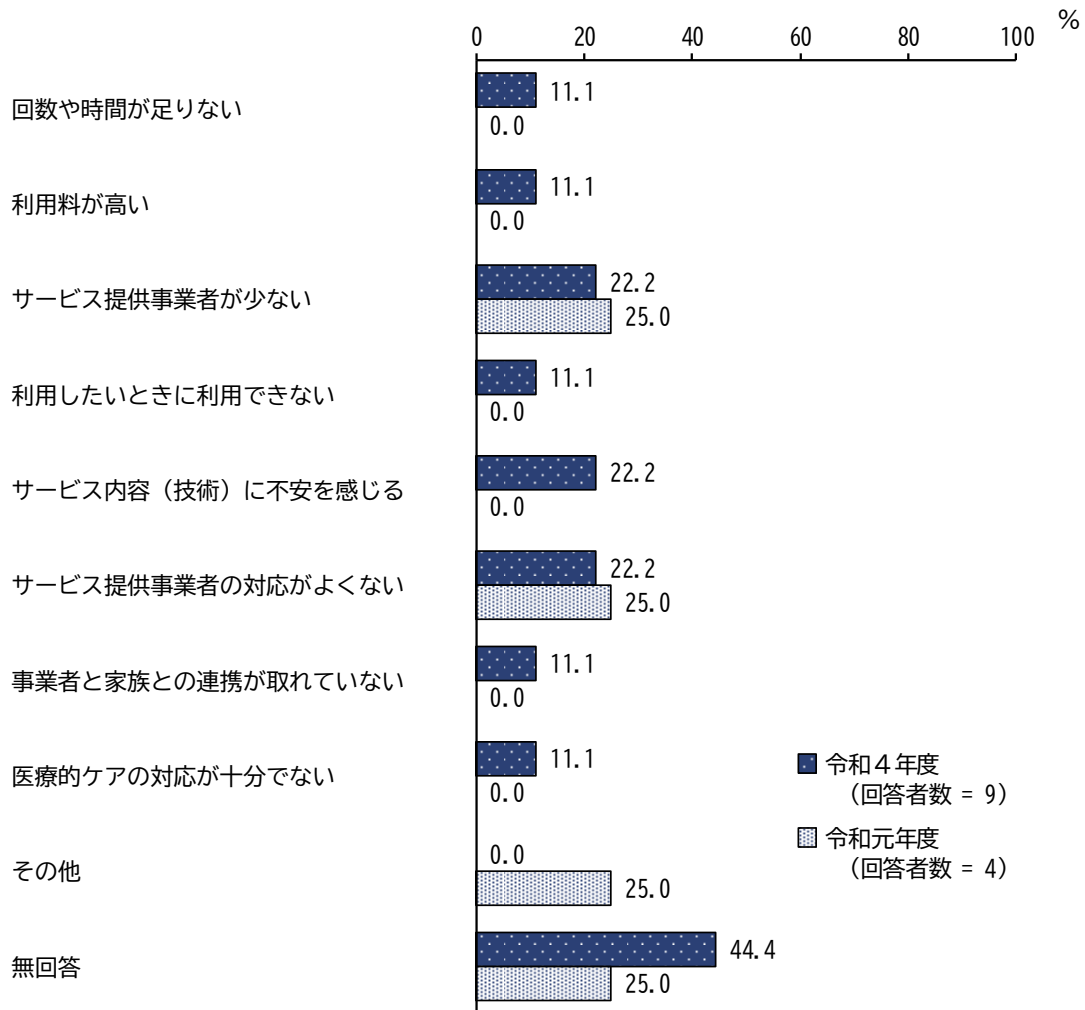


16. 共同生活援助(グループホーム)

「サービス提供事業者が少ない」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「サービス提供事業者の対応がよくない」が2件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。

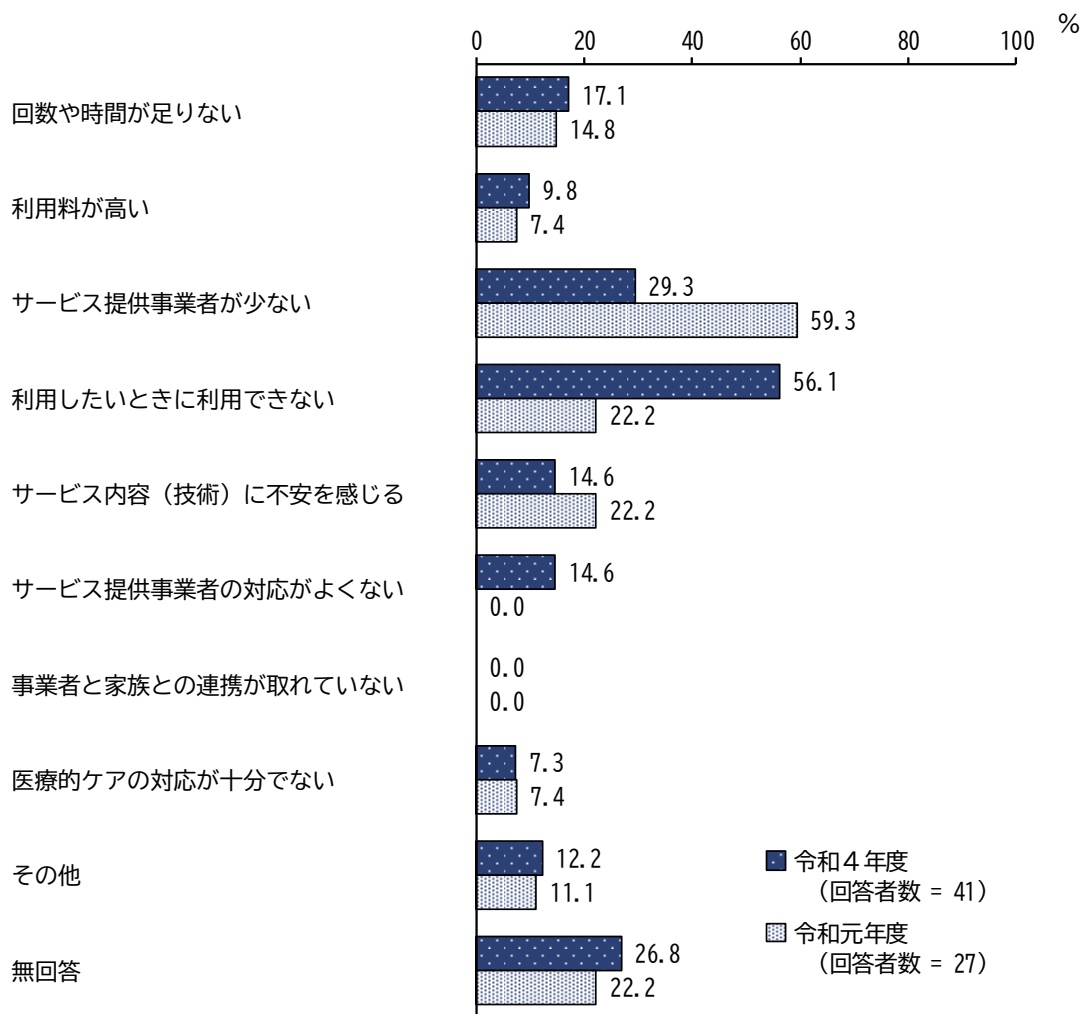


17. 短期入所（ショートステイ）

「利用したいときに利用できない」の割合が56.1%と最も高く、次いで「サービス提供事業者が少ない」の割合が29.3%、「回数や時間が足りない」の割合が17.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「利用したいときに利用できない」「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が増加しています。一方、「サービス提供事業者が少ない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「利用したいときに利用できない」「回数や時間が足りない」の割合が、発達障害で「利用したいときに利用できない」の割合が高くなっています。また、肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）で「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が、発達障害で「サービス提供事業者が少ない」の割合が低くなっています。

単位：％

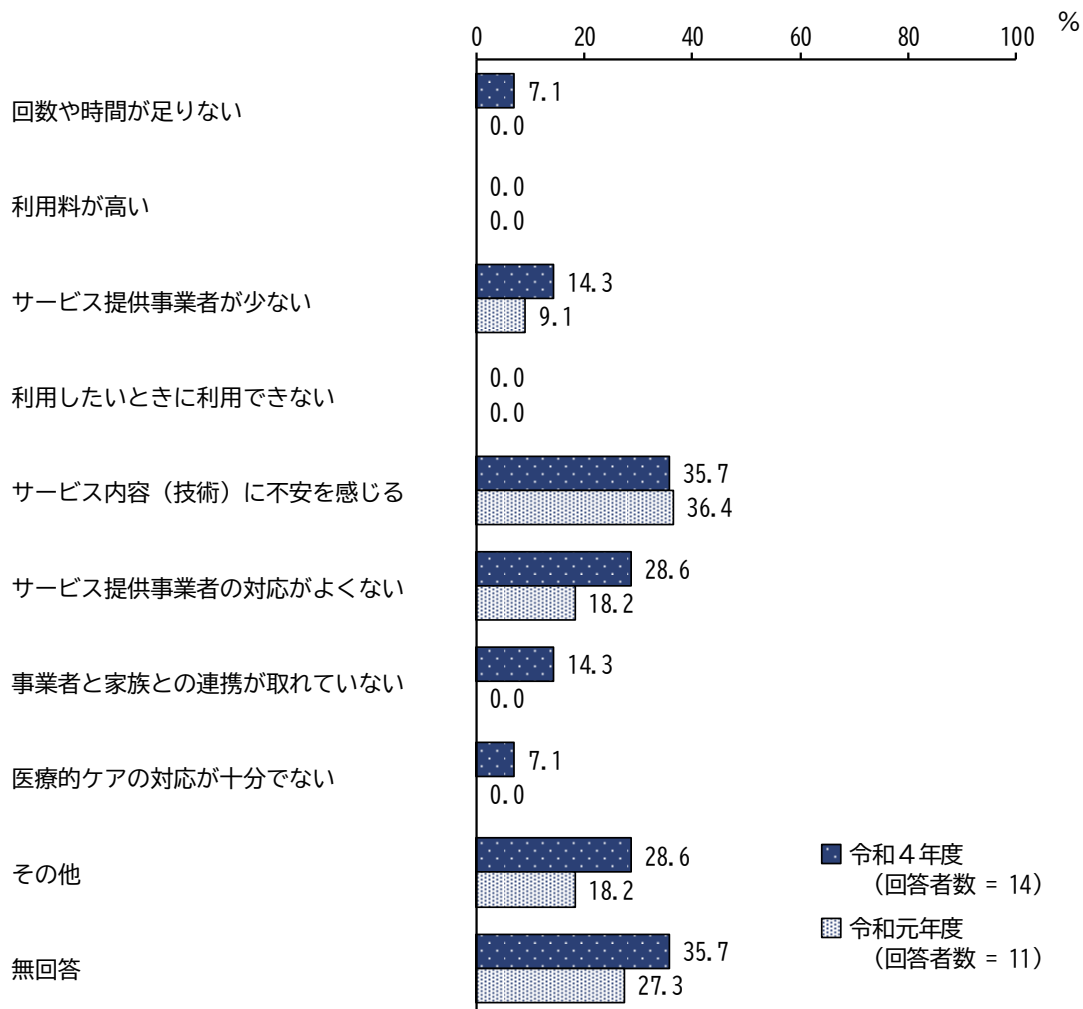
区分	回答者数（件）	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容（技術）に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	41	17.1	9.8	29.3	56.1	14.6	14.6	—	7.3	12.2	26.8
視覚障害	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	2	—	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0
音声・言語・そしゃく機能障害	7	14.3	—	42.9	28.6	28.6	42.9	—	28.6	—	42.9
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	22	13.6	4.5	31.8	36.4	9.1	13.6	—	9.1	13.6	40.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—
知的障害	25	24.0	8.0	36.0	72.0	16.0	12.0	—	—	16.0	12.0
発達障害	13	15.4	15.4	23.1	69.2	15.4	15.4	—	—	23.1	7.7
精神障害	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	50.0
高次脳機能障害	2	50.0	—	50.0	50.0	—	50.0	—	100.0	—	—
難病（特定疾病）	4	—	—	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	25.0	50.0
その他	1	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—

18. 計画相談支援《個別計画》

「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が35.7%と最も高く、次いで「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が28.6%、「サービス提供事業者が少ない」、「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が14.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「サービス提供事業者が少ない」「サービス提供事業者の対応がよくない」「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。



【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容(技術)に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	14	7.1	—	14.3	—	35.7	28.6	14.3	7.1	28.6	35.7
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	1	—	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	5	—	—	—	—	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	60.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
知的障害	7	—	—	14.3	—	28.6	14.3	14.3	—	28.6	42.9
発達障害	3	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—	66.7	—
精神障害	1	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—
高次脳機能障害	1	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—
難病(特定疾病)	3	33.3	—	—	—	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

19. 地域移行支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度も有効な回答はありませんでした。

20. 地域定着支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

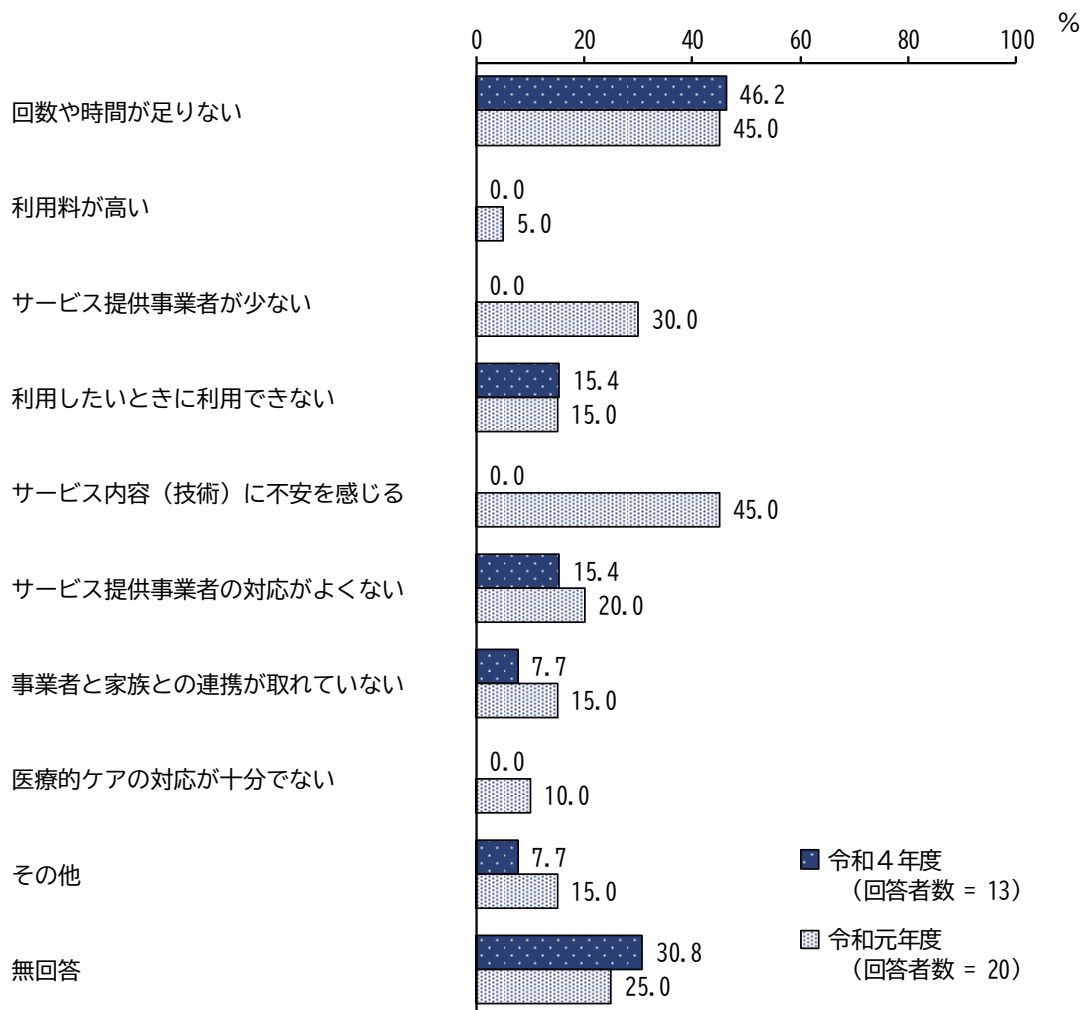
令和元年度も有効な回答はありませんでした。

21. 児童発達支援

「回数や時間が足りない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「利用したいときに利用できない」、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が15.4%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者が少ない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「事業者と家族との連携が取れていない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が減少しています。

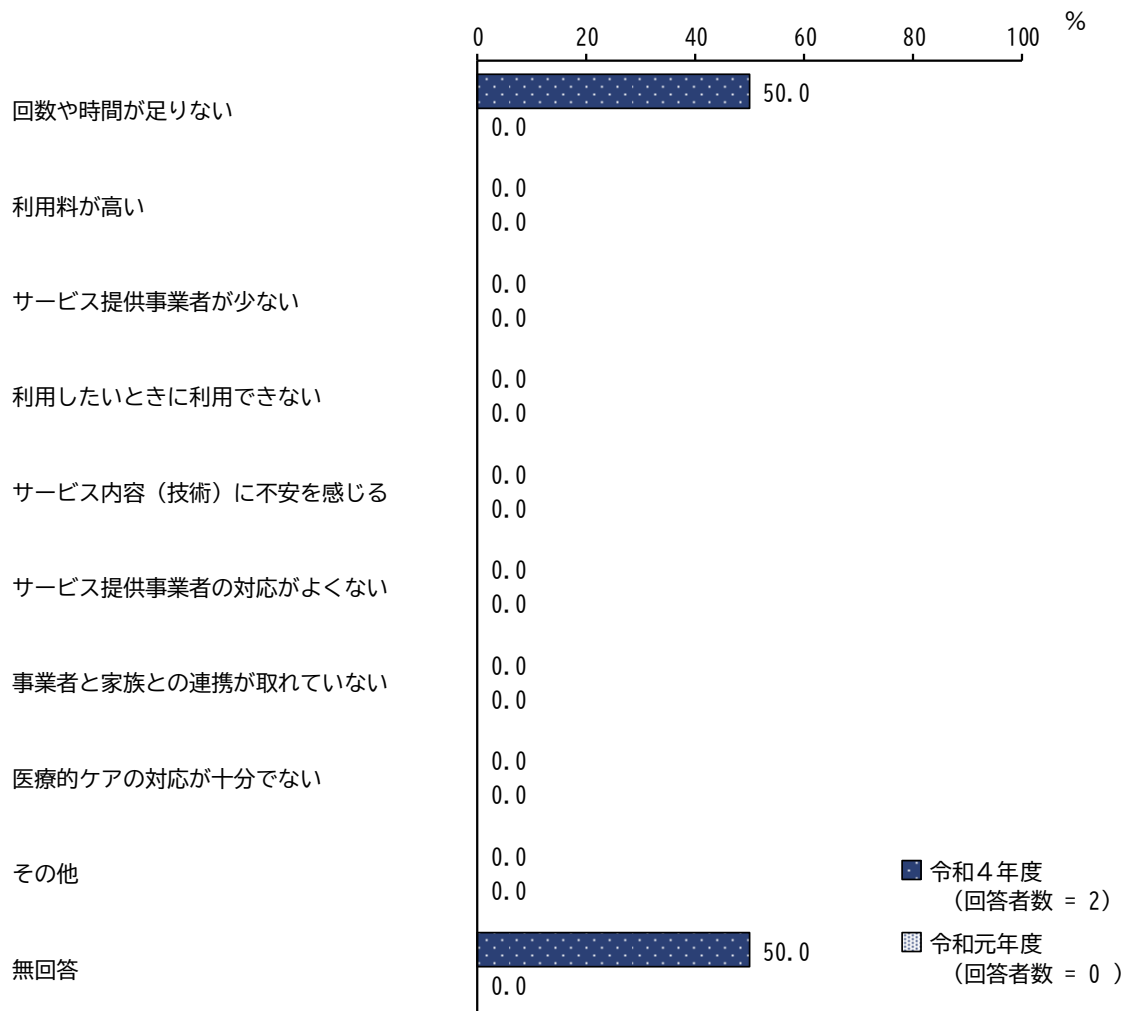


22. 居宅訪問型児童発達支援

「回数や時間が足りない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」の割合が増加しています。

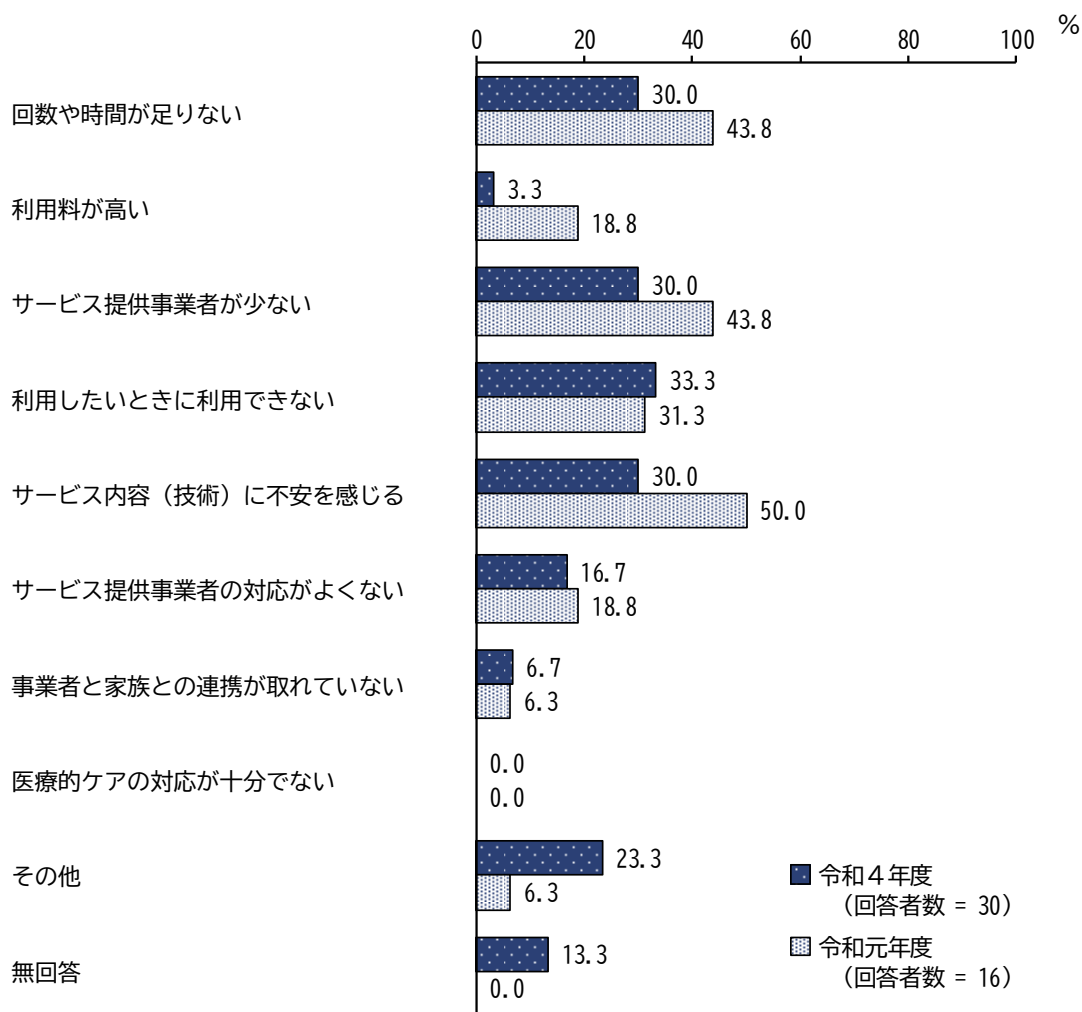


23. 放課後等デイサービス

「利用したいときに利用できない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「回数や時間が足りない」、「サービス提供事業者が少ない」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が30.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」「サービス提供事業者が少ない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。



24. 障害児入所支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度も有効な回答はありませんでした。

25. 保育所等訪問支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度も有効な回答はありませんでした。

26. 医療型児童発達支援

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

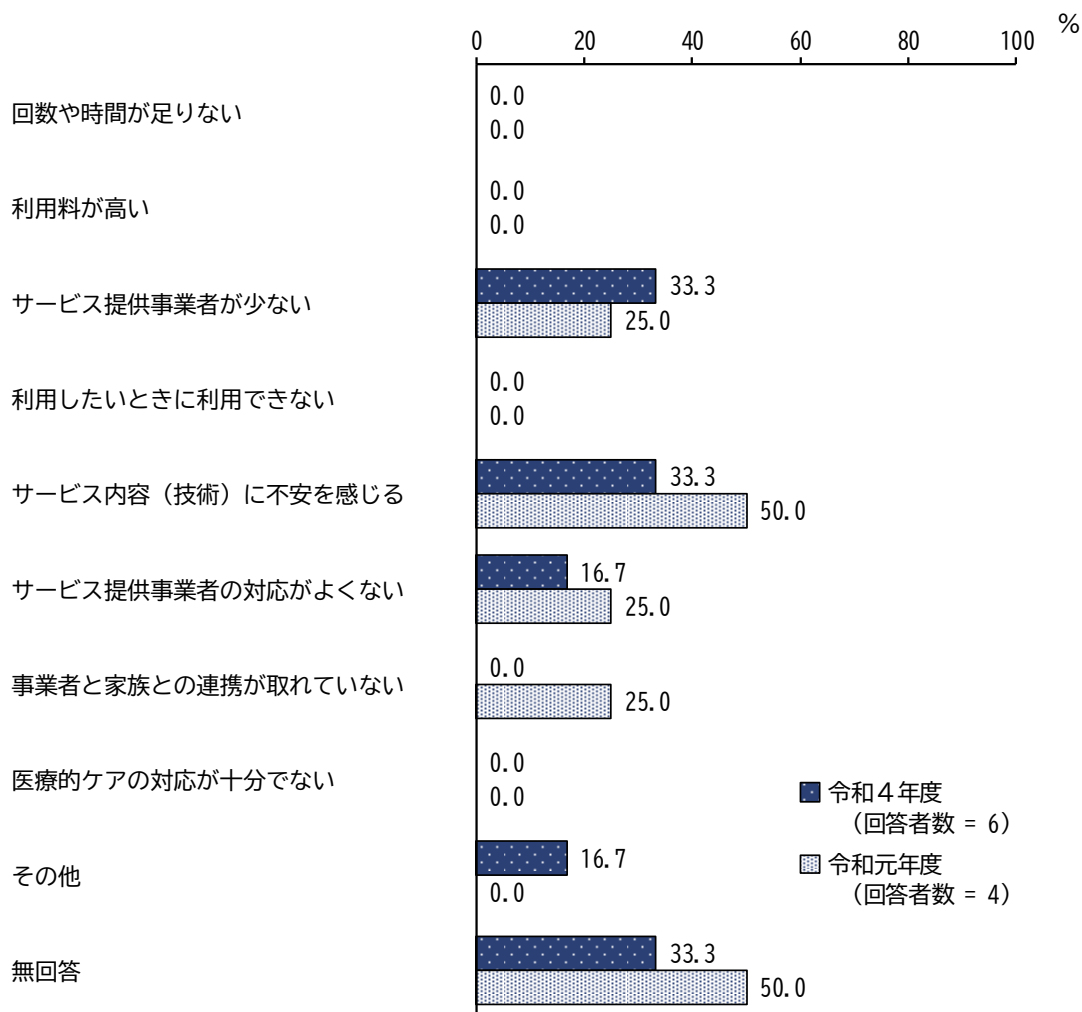
令和元年度も有効な回答はありませんでした。

27. 障害児相談支援

「サービス提供事業者が少ない」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」が2件となっています。「サービス提供事業者の対応がよくない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者が少ない」の割合が増加しています。一方、「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が減少しています。

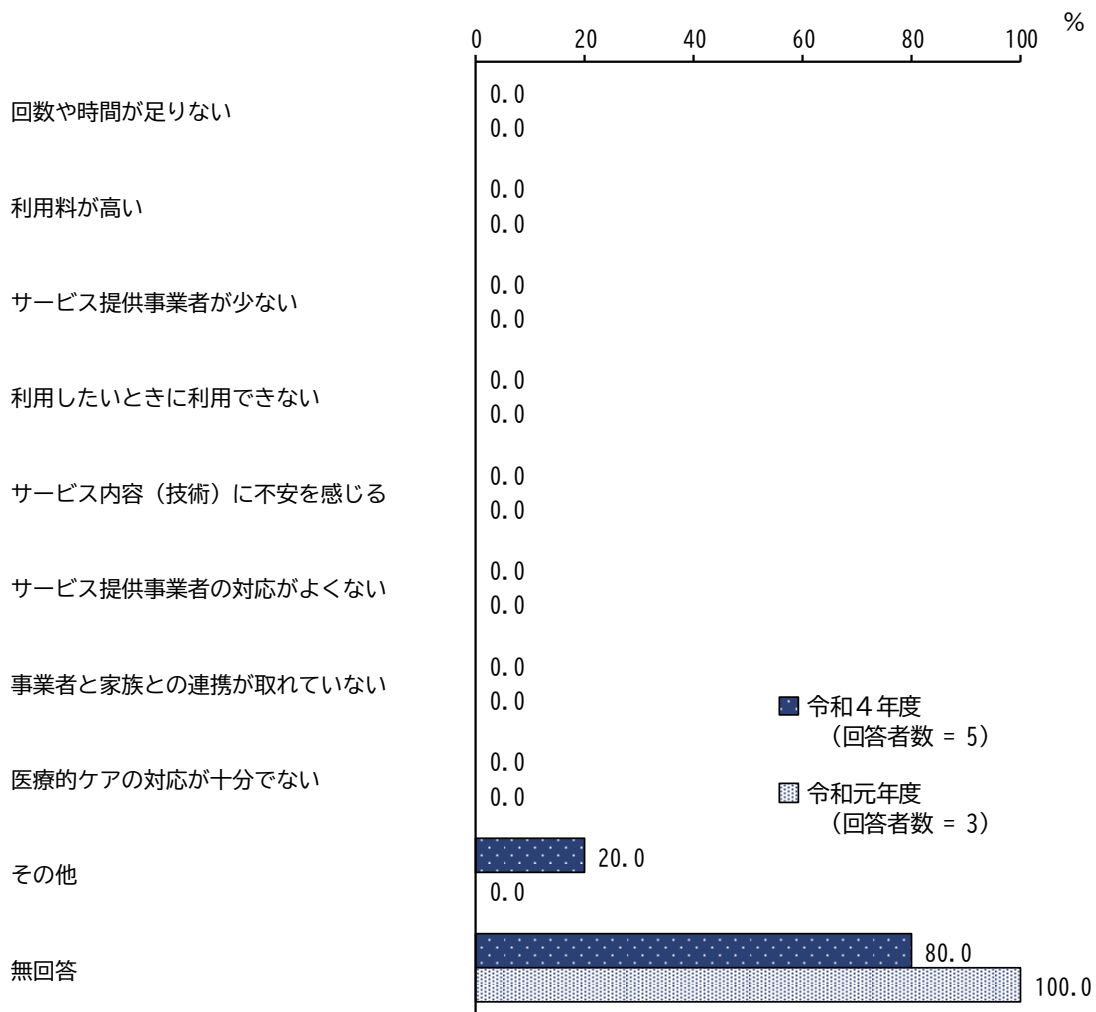


28. 住宅入居等支援

「その他」が1件でした。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

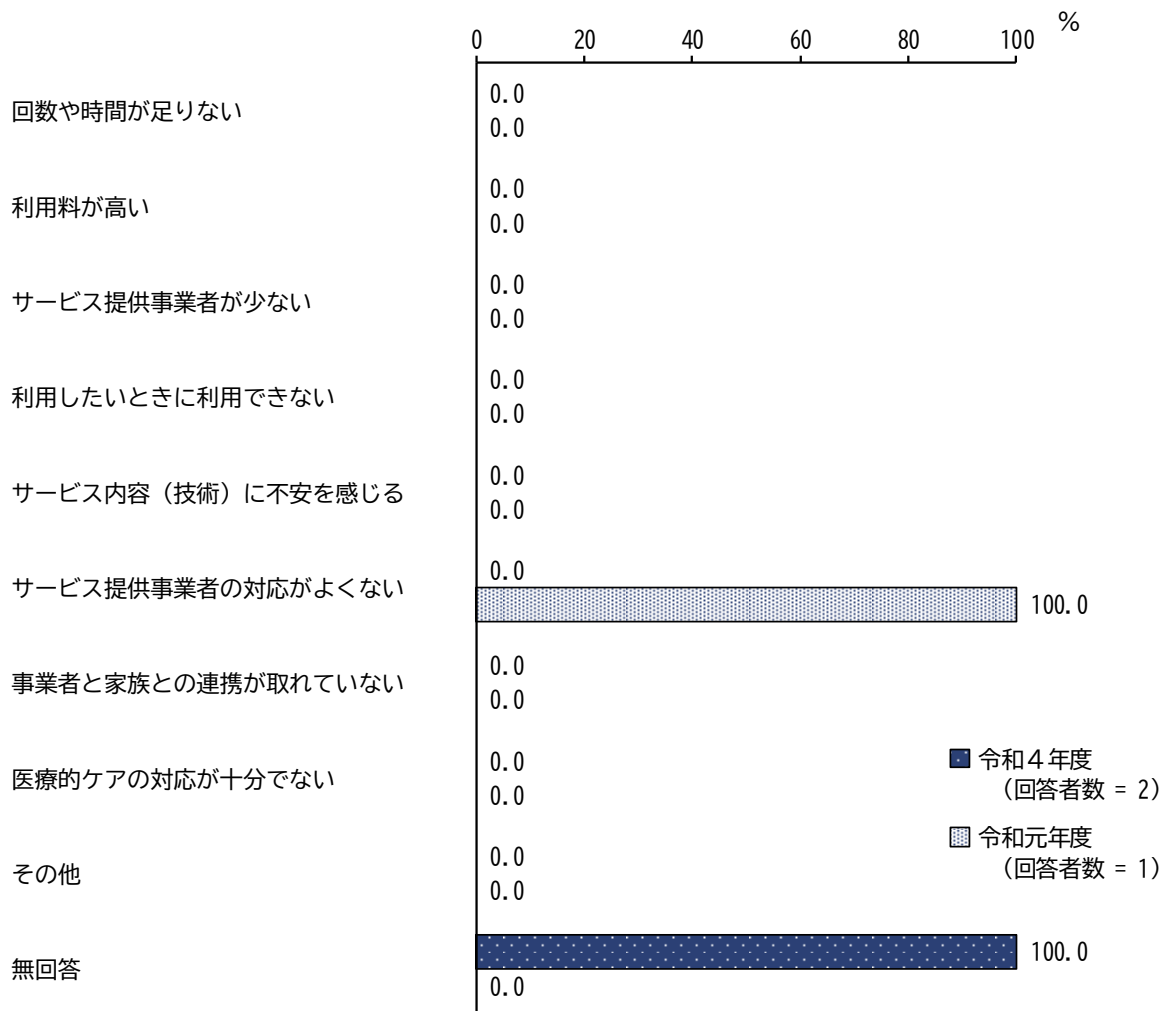
障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容(技術)に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
全体	5	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0
視覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聴覚・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
知的障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
発達障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
高次脳機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
難病(特定疾病)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

29. 意思疎通支援(手話通訳者等派遣)
有効回答がありませんでした。

【経年比較】

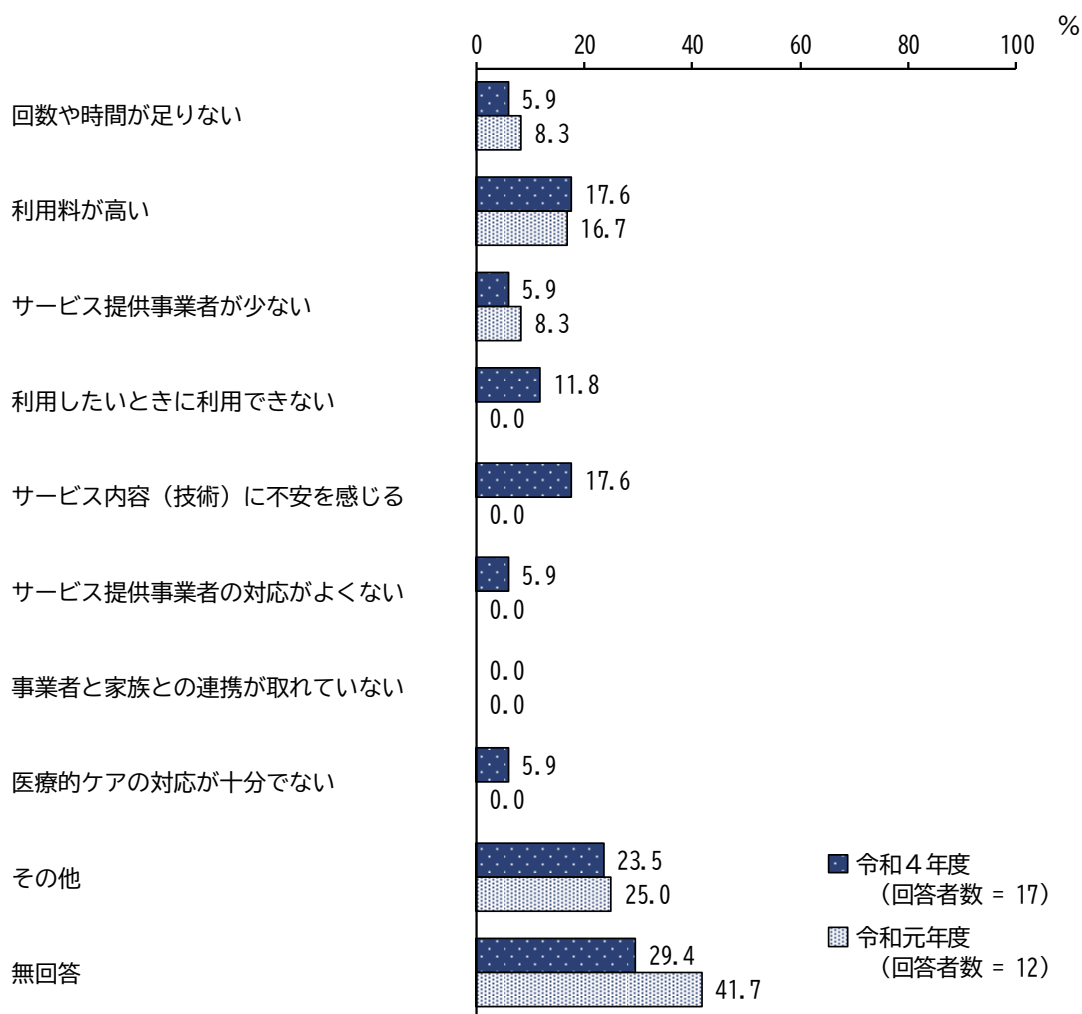


30. 日常生活用具給付等

「利用料が高い」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が17.6%と最も高く、次いで「利用したいときに利用できない」の割合が11.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。

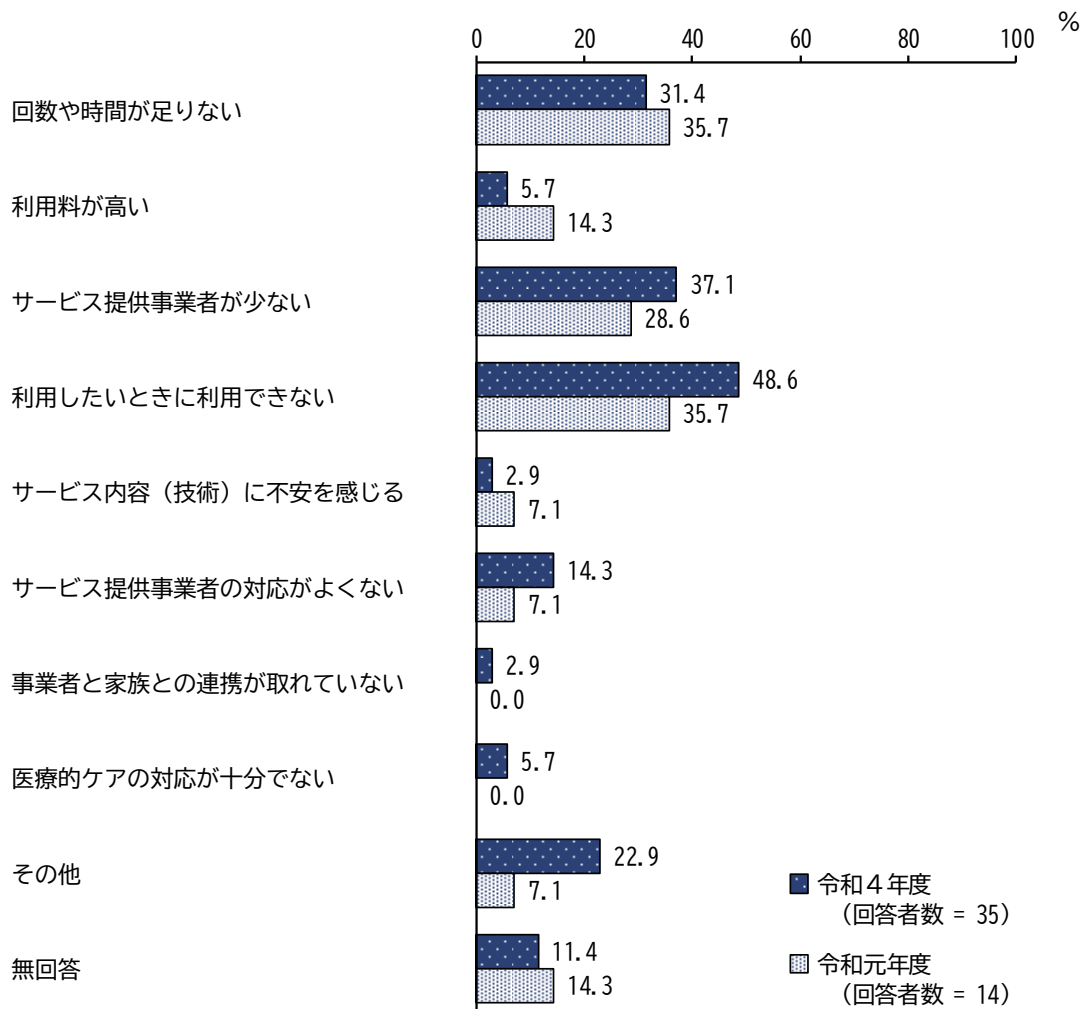


31. 移動支援

「利用したいときに利用できない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「サービス提供事業者が少ない」の割合が37.1%、「回数や時間が足りない」の割合が31.4%となっています。

【経年比較】

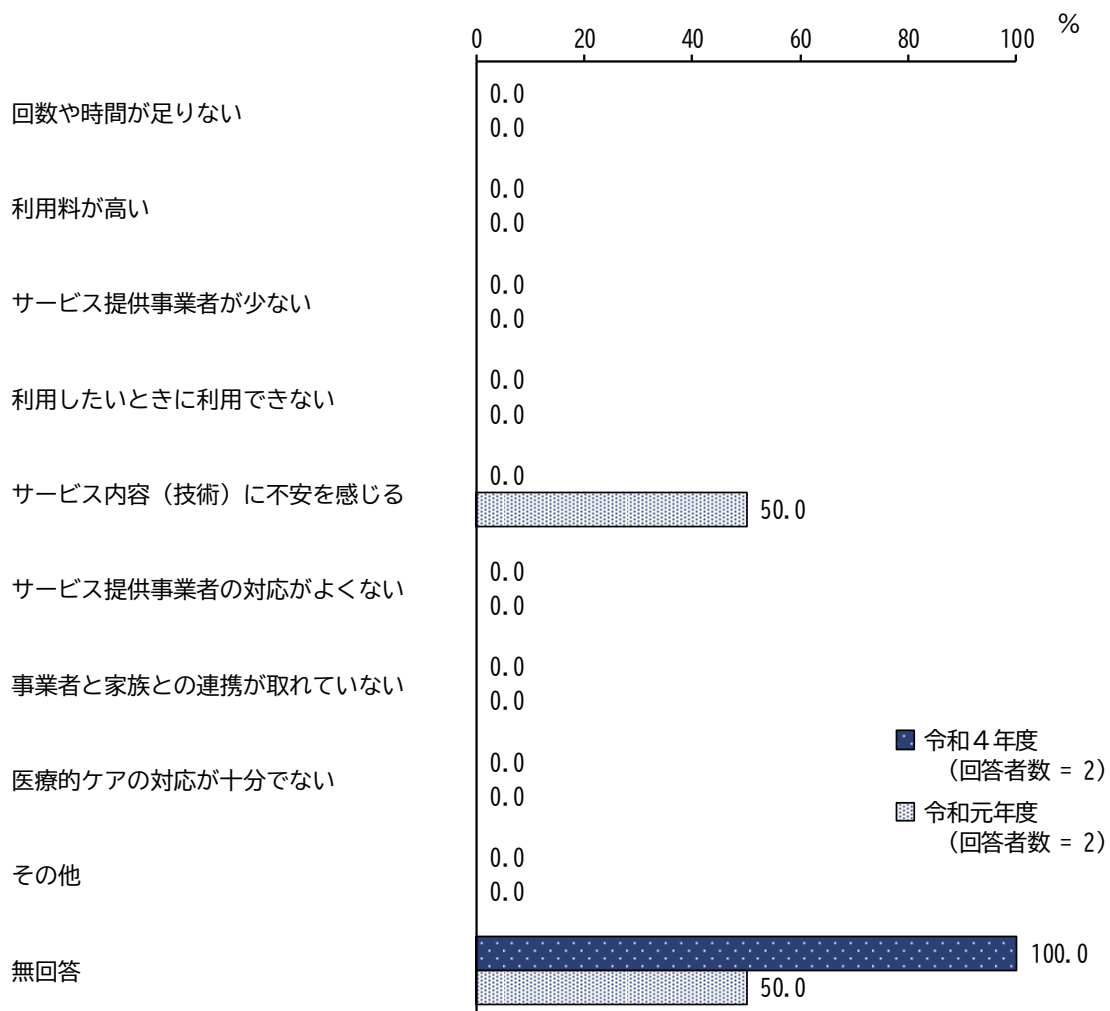
令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者が少ない」「利用したいときに利用できない」「サービス提供事業者の対応がよくない」「医療的ケアの対応が十分でない」の割合が増加しています。一方、「利用料が高い」の割合が減少しています。



32. 地域活動支援センター
有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス内容（技術）に不安を感じる」の割合が減少しています。

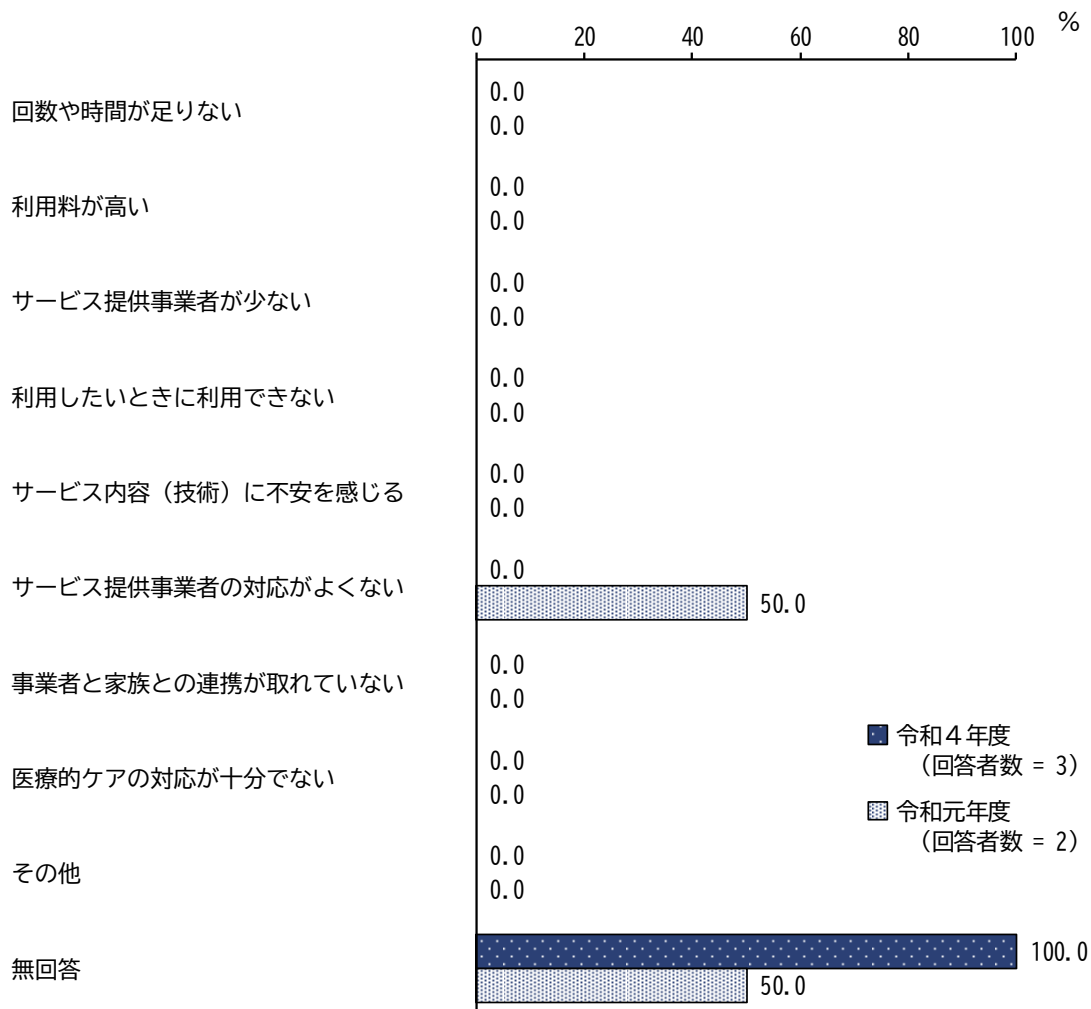


33. 福祉ホーム

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。

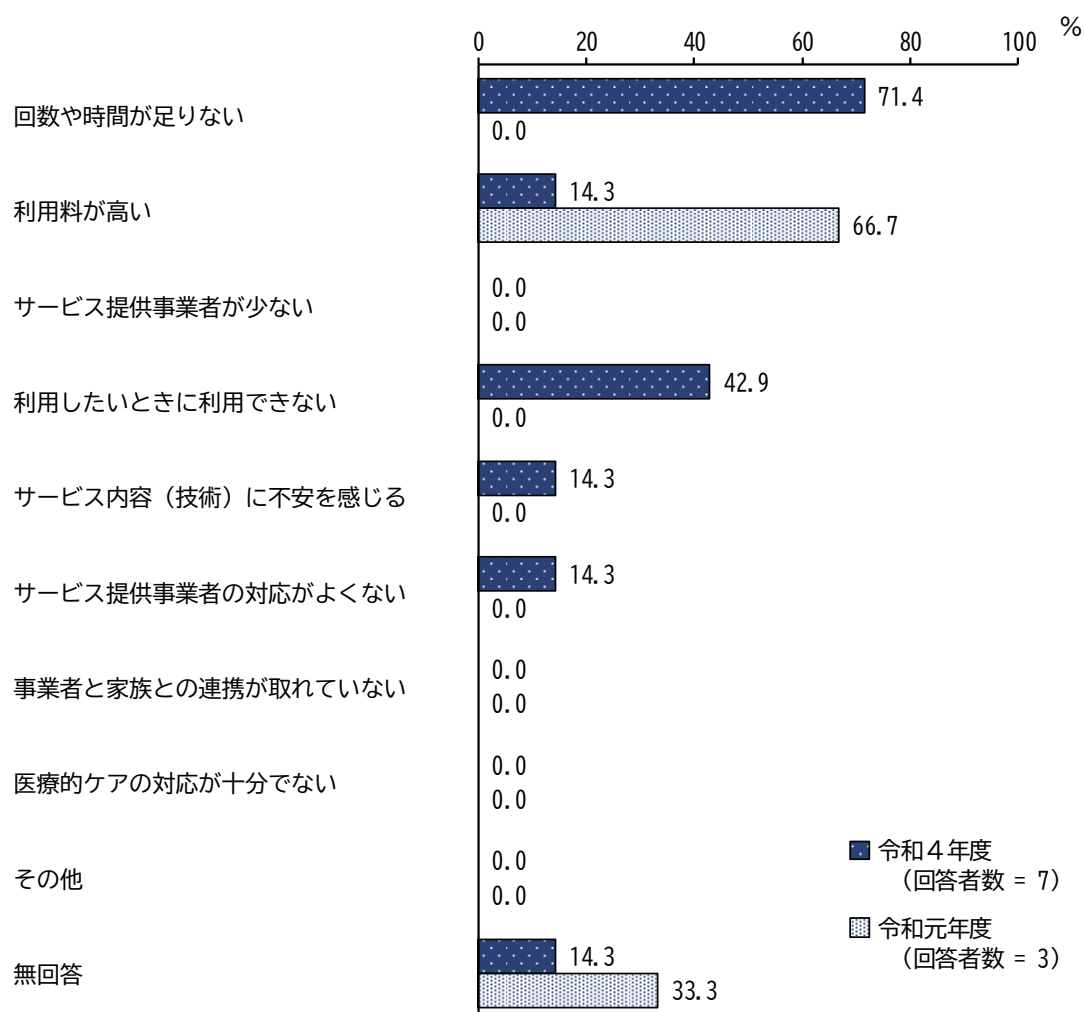


34. 訪問入浴サービス

「回数や時間が足りない」が5件となっています。「利用したいときに利用できない」が3件、「利用料が高い」、「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「サービス提供事業者の対応がよくない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用したいときに利用できない」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が増加しています。一方、「利用料が高い」の割合が減少しています。

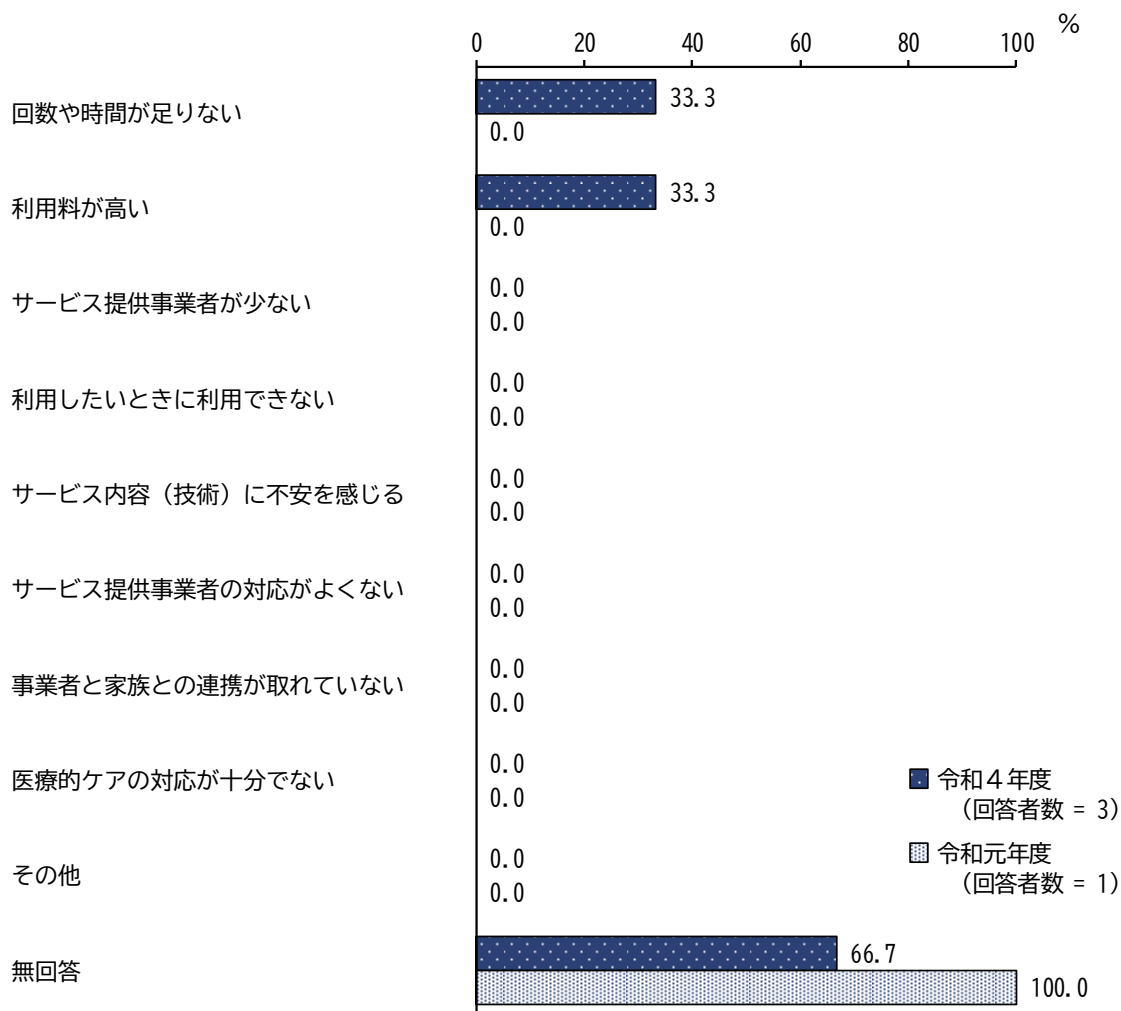


35. 日中一時支援事業

「回数や時間が足りない」、「利用料が高い」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」の割合が増加しています。

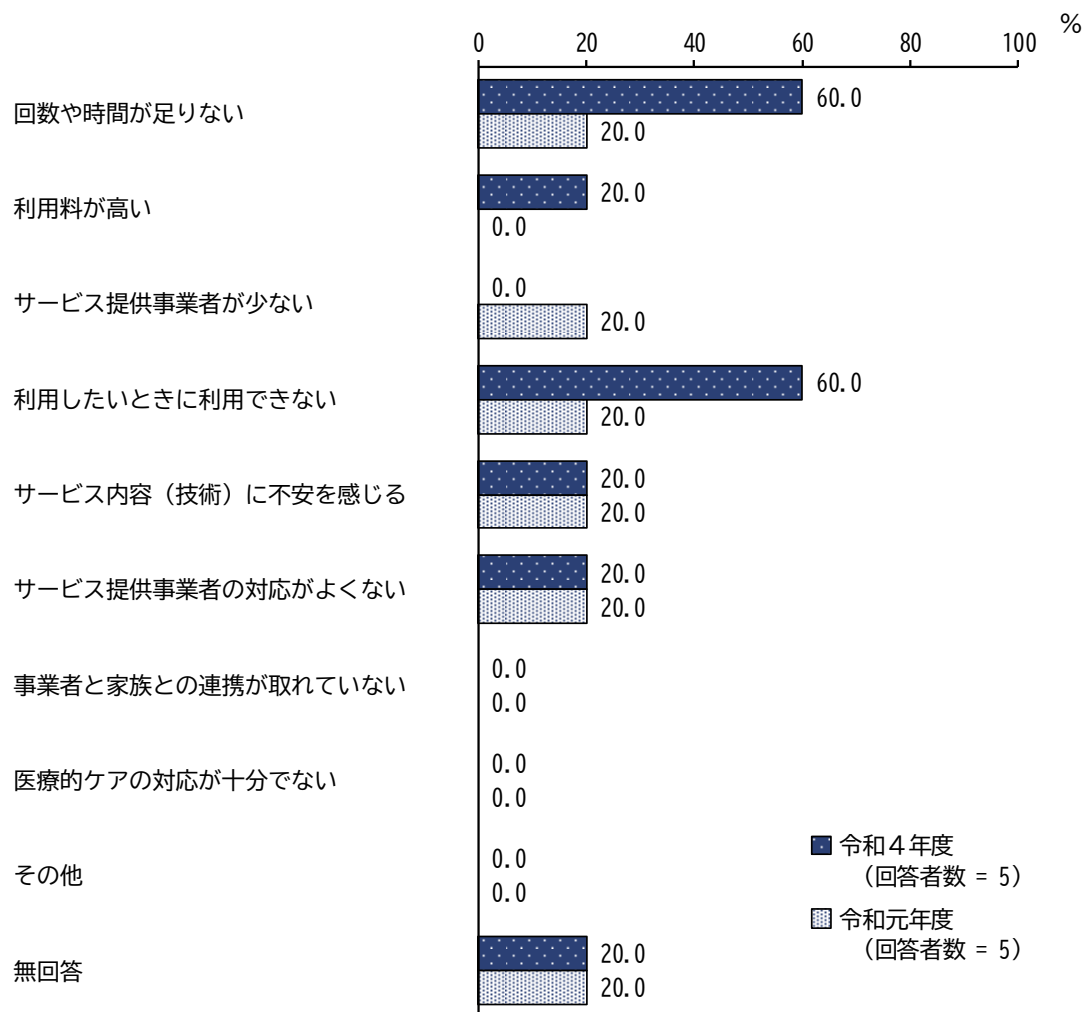


36. 自立生活体験(なかまっち、松原けやき寮)

「回数や時間が足りない」、「利用したいときに利用できない」が3件となっています。「利用料が高い」、「サービス内容(技術)に不安を感じる」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「回数や時間が足りない」「利用料が高い」「利用したいときに利用できない」の割合が増加しています。一方、「サービス提供事業者が少ない」の割合が減少しています。



37. 巡回支援専門員の相談
有効回答がありませんでした。

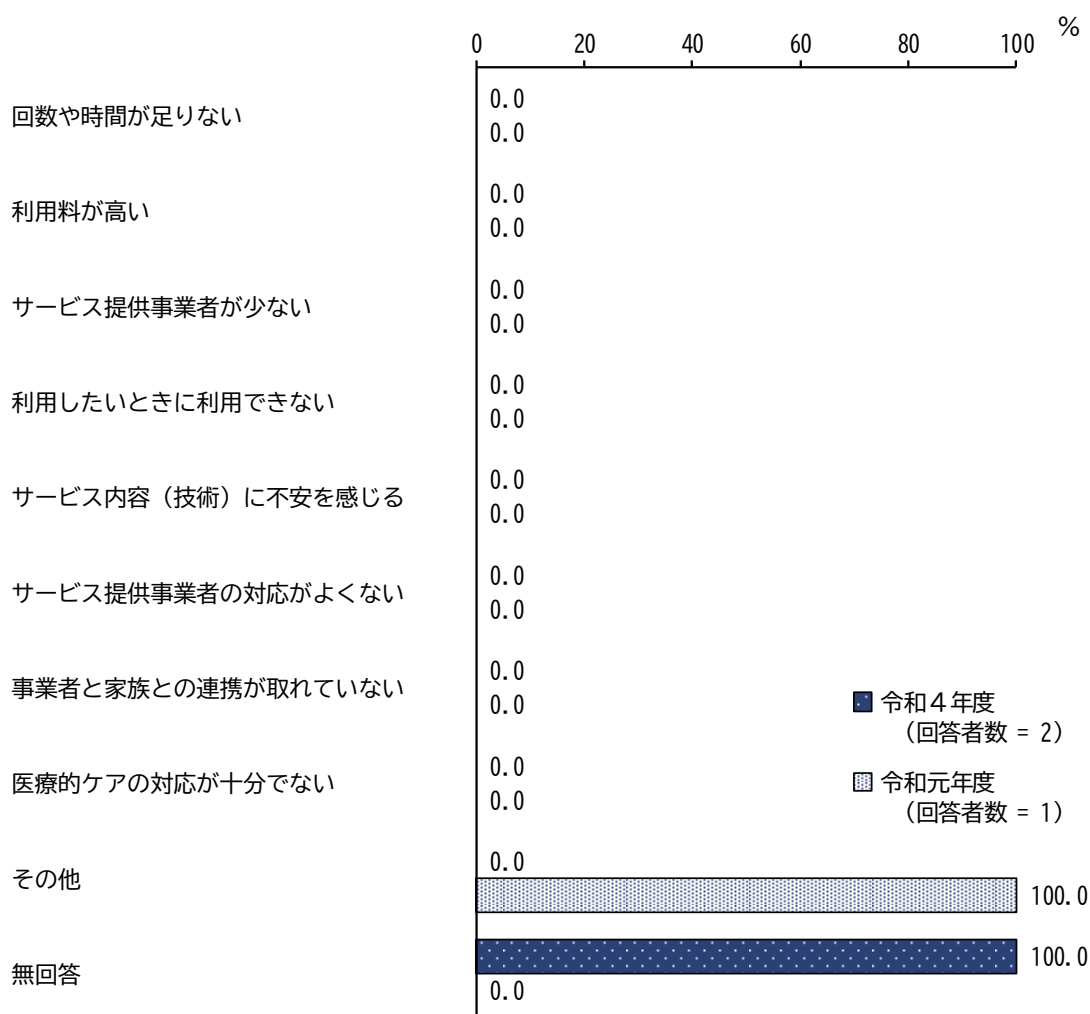
【経年比較】

令和元年度も有効な回答はありませんでした。

38. 点字・声の広報等発行
有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



39. 自動車運転免許取得・自動車改造費助成
有効回答がありませんでした。

【経年比較】

令和元年度も有効な回答はありませんでした。

40. 更生訓練費給付
有効回答がありませんでした。

【経年比較】

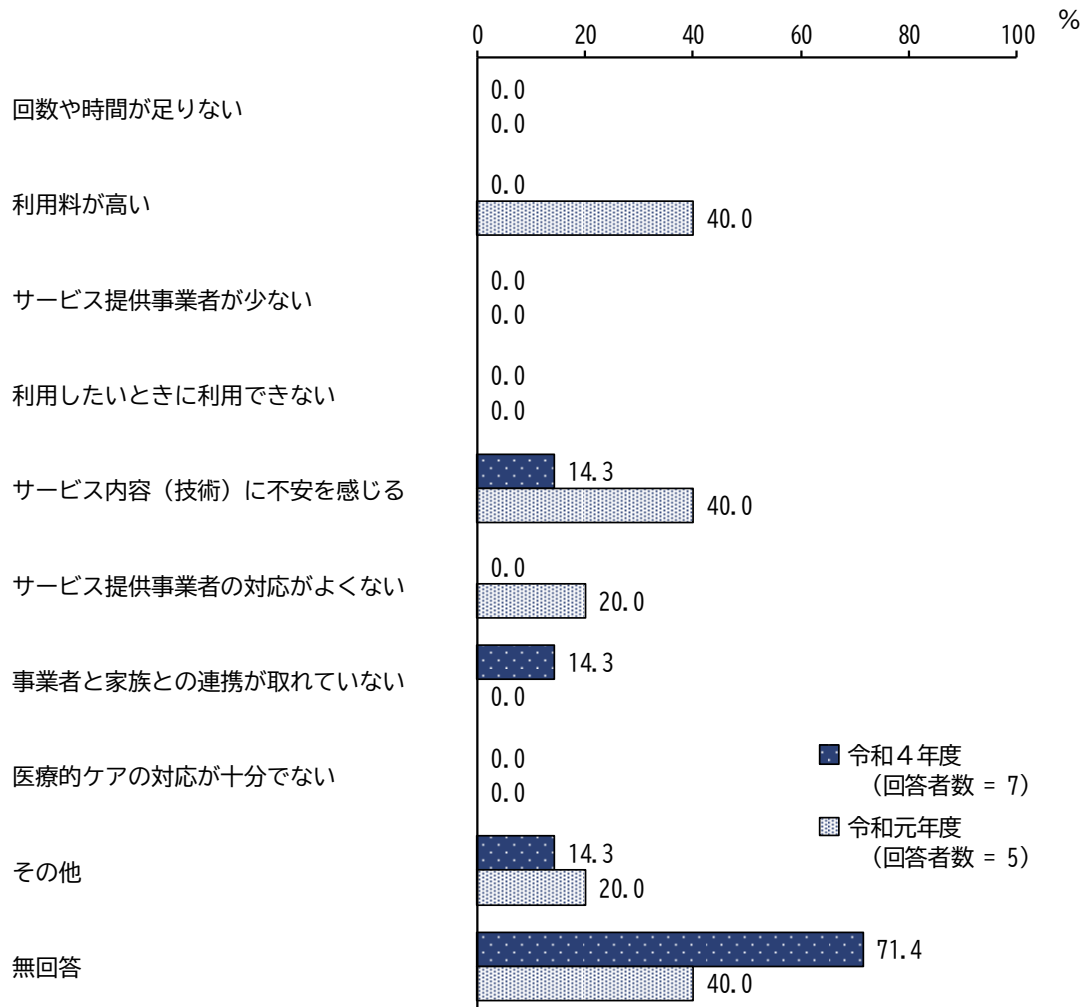
令和元年度も有効な回答はありませんでした。

41. 成年後見制度

「サービス内容（技術）に不安を感じる」、「事業者と家族との連携が取れていない」が1件となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「事業者と家族との連携が取れていない」の割合が増加しています。一方、「利用料が高い」「サービス内容（技術）に不安を感じる」「サービス提供事業者の対応がよくない」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	回数や時間が 足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が 少ない	利用したいときに利用 できない	サービス内容(技術) に不安を感じる	サービス提供事業者の 対応がよくない	事業者と家族との連携 が取れていない	医療的ケアの対応が十 分でない	その他	無回答
全 体	7	-	-	-	-	14.3	-	14.3	-	14.3	71.4
視覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聴覚・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく 機能障害	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
肢体不自由(上肢・下 肢・体幹・脳性麻痺・ 移動機能障害等)	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7
内部障害(心臓、じん 臓、呼吸器、肝臓、ぼ うこう・直腸、小腸、 免疫機能等)	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
知的障害	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	75.0
発達障害	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-
精神障害	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
高次脳機能障害	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
難病(特定疾病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

42. あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)

有効回答がありませんでした。

【経年比較】

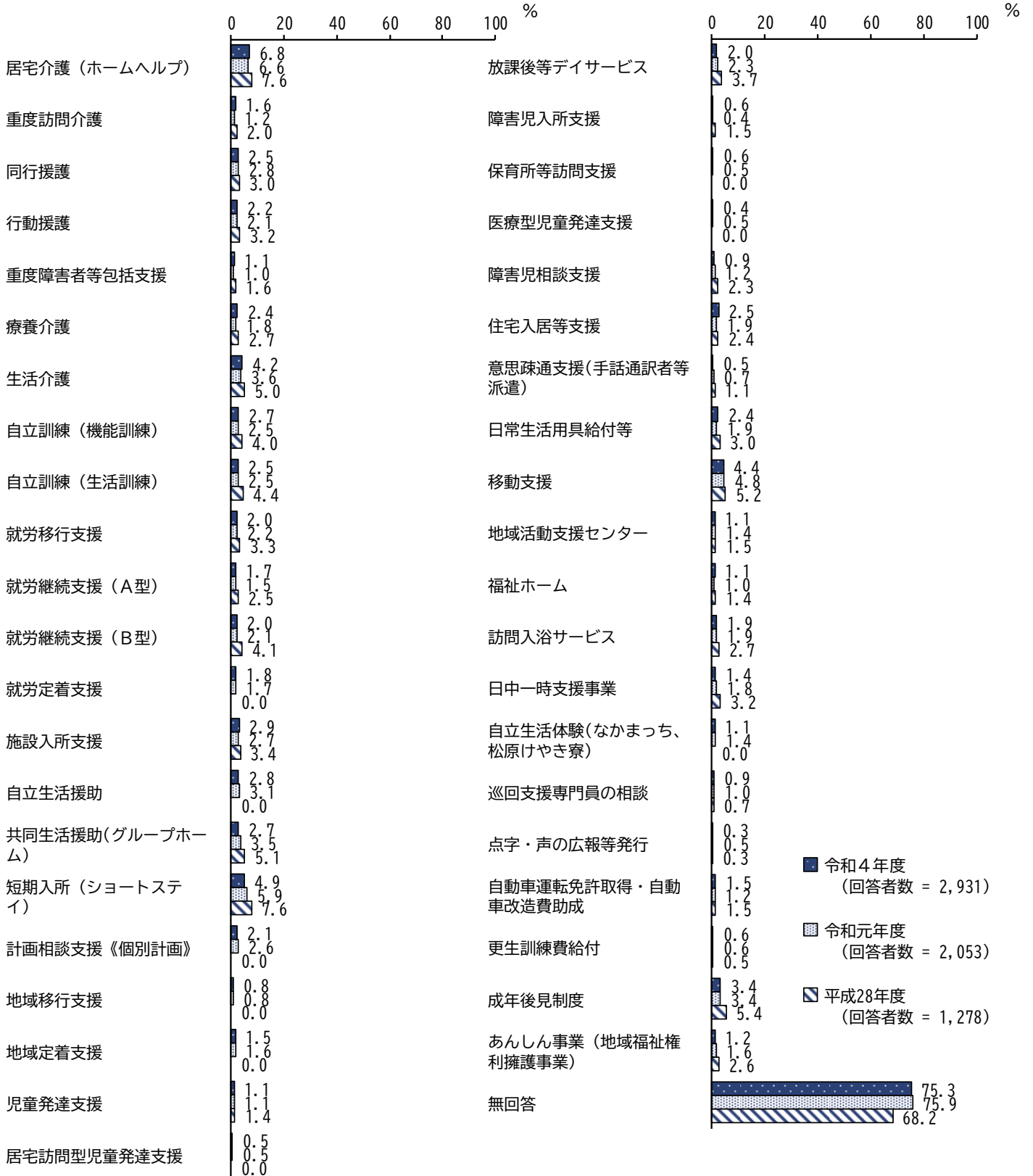
令和元年度も有効な回答はありませんでした。

D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスに○をつけてください。

「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が6.8%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	施設入所支援
全体	2931	6.8	1.6	2.5	2.2	1.1	2.4	4.2	2.7	2.5	2.0	1.7	2.0	1.8	2.9
視覚障害	138	8.7	3.6	9.4	5.1	2.2	2.2	5.8	2.9	2.9	1.4	0.7	0.7	0.7	5.1
聴覚・平衡機能障害	181	5.0	2.2	1.7	1.7	0.6	2.2	3.3	2.8	1.7	—	0.6	1.1	0.6	2.2
音声・言語・そしゃく機能障害	130	6.2	3.1	6.9	3.8	3.8	3.8	6.9	4.6	3.1	1.5	1.5	0.8	0.8	5.4
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	8.9	2.5	3.3	2.5	1.9	3.3	5.7	4.2	2.2	1.2	1.0	1.1	0.6	3.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	8.1	2.2	2.3	1.4	1.5	3.0	4.7	2.5	1.4	0.8	1.2	0.8	0.8	3.7
知的障害	417	6.0	1.9	3.1	5.3	1.4	1.9	6.2	3.1	8.2	6.7	4.8	7.2	5.3	4.1
発達障害	367	4.1	0.5	1.6	3.8	0.8	0.8	3.3	2.5	5.7	6.3	4.1	5.7	5.4	2.2
精神障害	145	6.9	0.7	0.7	2.8	0.7	0.7	2.8	3.4	3.4	2.8	2.8	4.1	2.8	1.4
高次脳機能障害	130	9.2	6.2	6.2	3.8	6.2	3.8	3.8	3.8	3.8	3.1	3.8	4.6	2.3	3.8
難病(特定疾病)	677	6.1	2.1	2.2	2.1	1.6	2.7	4.0	2.7	2.1	2.2	2.2	1.5	1.3	3.1
その他	95	7.4	1.1	2.1	1.1	1.1	2.1	6.3	4.2	5.3	2.1	3.2	3.2	4.2	2.1

単位：％

区分	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(シヨートステイ)	計画相談支援《個別計画》	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援	障害児相談支援	住宅入居等支援	意思疎通支援(手話通訳者等派遣)
全 体	2.8	2.7	4.9	2.1	0.8	1.5	1.1	0.5	2.0	0.6	0.6	0.4	0.9	2.5	0.5
視覚障害	3.6	3.6	4.3	2.9	1.4	1.4	0.7	1.4	0.7	—	—	—	—	1.4	0.7
聴覚・平衡機能障害	1.7	2.2	2.2	1.7	—	1.7	1.1	—	0.6	—	1.1	0.6	0.6	2.2	1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	2.3	2.3	5.4	1.5	—	1.5	—	—	2.3	0.8	—	0.8	1.5	3.1	0.8
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	2.6	2.4	5.9	1.7	0.6	1.2	0.2	0.3	1.0	0.2	0.3	0.4	0.3	1.7	0.1
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	2.5	1.1	3.4	2.1	0.6	1.5	0.1	—	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	3.4	0.1
知的障害	5.0	12.0	15.1	6.0	1.9	2.6	1.7	1.0	5.5	2.6	0.7	1.0	2.6	2.4	0.7
発達障害	4.9	6.3	7.9	5.2	1.6	1.6	6.0	1.9	9.5	2.5	1.9	1.1	4.4	3.0	0.5
精神障害	3.4	3.4	4.8	2.1	—	1.4	—	—	—	—	—	—	0.7	2.8	—
高次脳機能障害	2.3	3.8	8.5	1.5	2.3	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.3	2.3
難病(特定疾病)	2.5	2.5	3.7	1.6	1.2	2.1	0.3	0.4	1.5	0.6	0.4	0.7	0.4	2.8	0.7
その他	4.2	4.2	3.2	5.3	—	—	1.1	—	3.2	—	—	—	—	1.1	—

前ページの続き 表

単位：％

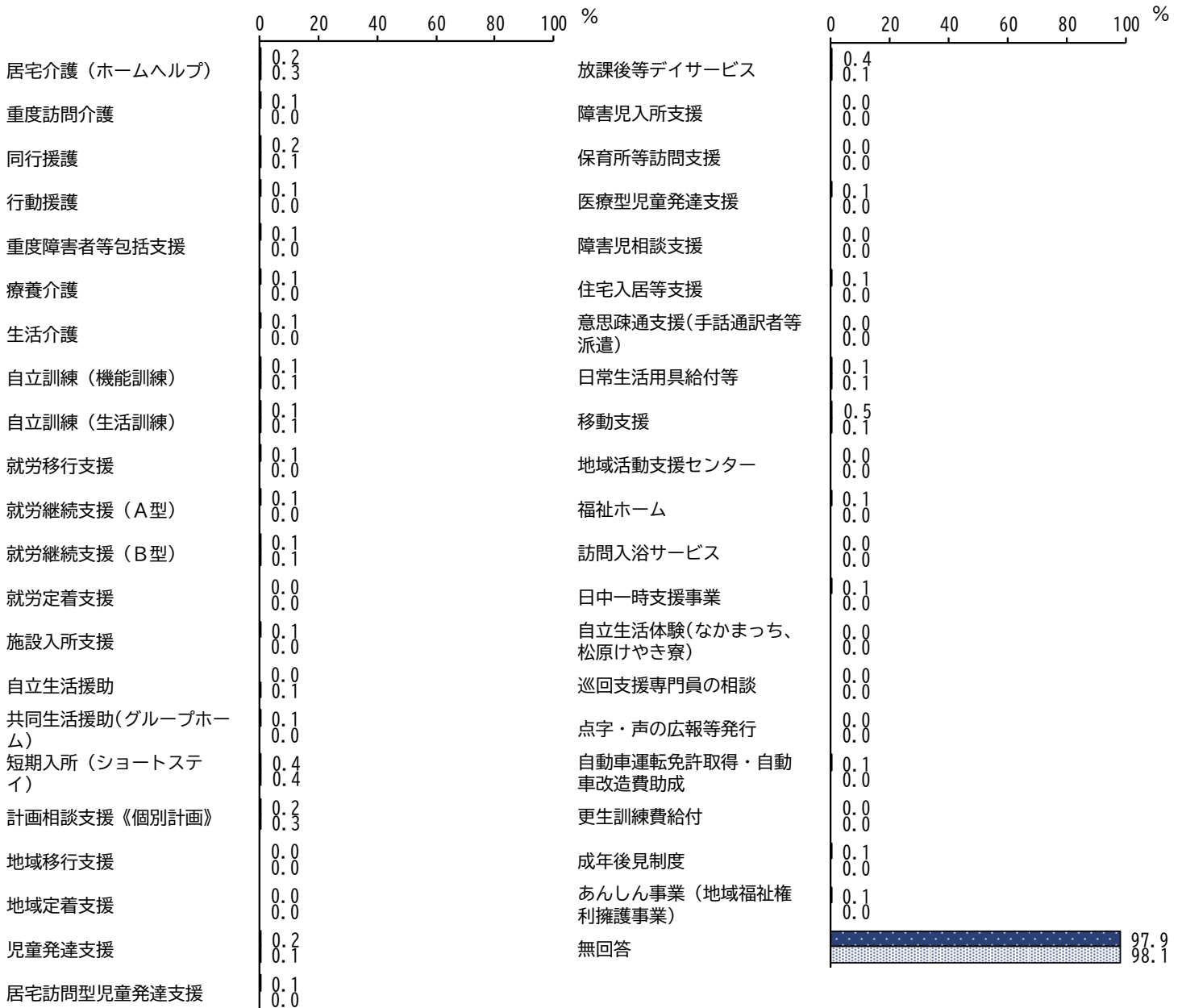
区分	日常生活用具給付等	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活体験(なかま つち、松原けやき寮)	巡回支援専門員の相談	点字・声の広報等発行	自動車運転免許取得・ 自動車改造費助成	更生訓練費給付	成年後見制度	あんしん事業(地域福 祉権利擁護事業)	無回答
全 体	2.4	4.4	1.1	1.1	1.9	1.4	1.1	0.9	0.3	1.5	0.6	3.4	1.2	75.3
視覚障害	1.4	9.4	1.4	0.7	3.6	2.9	1.4	1.4	1.4	0.7	—	2.9	1.4	72.5
聴覚・平衡機能障害	3.3	2.8	0.6	—	0.6	1.1	0.6	0.6	—	0.6	—	1.1	1.1	80.7
音声・言語・そしゃく機能 障害	2.3	7.7	—	0.8	3.1	3.8	—	0.8	—	0.8	—	3.8	1.5	75.4
肢体不自由(上肢・下肢・ 体幹・脳性麻痺・移動機能 障害等)	3.7	5.6	0.4	0.6	3.2	2.1	1.1	0.7	0.1	1.9	0.7	3.4	1.7	73.3
内部障害(心臓、じん臓、 呼吸器、肝臓、ぼうこう・ 直腸、小腸、免疫機能等)	3.0	3.3	0.8	1.1	2.2	1.2	0.4	1.2	0.1	1.2	0.8	1.7	1.4	79.6
知的障害	1.0	11.0	2.9	2.9	1.7	3.6	5.5	1.0	0.2	1.7	1.2	13.9	3.1	53.2
発達障害	1.1	7.9	3.0	2.5	0.8	1.9	3.8	1.4	0.3	3.0	0.8	9.5	2.7	59.1
精神障害	—	2.8	—	0.7	0.7	—	—	0.7	—	2.8	—	5.5	0.7	73.1
高次脳機能障害	2.3	7.7	2.3	1.5	3.8	1.5	1.5	1.5	1.5	2.3	1.5	4.6	2.3	72.3
難病(特定疾病)	2.8	3.8	1.3	1.0	2.5	1.3	1.0	0.9	0.3	1.5	0.4	2.7	1.0	80.8
その他	3.2	5.3	2.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	—	1.1	1.1	2.1	1.1	71.6

前ページの続き 表

E. サービスの利用を断られたことがある場合は、断られたサービスに○をつけてください。
「移動支援」の割合が0.5%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



■ 令和4年度
（回答者数 = 2,931）
▨ 令和元年度
（回答者数 = 2,053）

単位：％

区分	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(シヨートステイ)	計画相談支援《個別計画》	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援	障害児相談支援	住宅入居等支援	意思疎通支援(手話通訳者等派遣)
全 体	—	0.1	0.4	0.2	—	—	0.2	0.1	0.4	—	—	0.1	—	0.1	—
視覚障害	—	—	—	0.7	—	—	—	0.7	—	—	—	—	—	—	—
聴覚・平衡機能障害	—	—	0.6	0.6	—	—	—	0.6	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	2.3	0.8	—	—	0.8	0.8	0.8	—	—	0.8	—	—	—
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	—	—	0.6	0.3	—	—	0.1	0.1	0.3	—	—	—	—	0.1	—
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	—	0.1	0.3	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.1	—
知的障害	0.2	0.2	1.9	1.2	0.2	0.2	1.0	0.5	2.4	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2
発達障害	—	—	0.8	0.3	—	—	1.1	0.3	1.4	—	—	—	—	—	—
精神障害	—	—	0.7	0.7	—	—	—	0.7	—	—	—	—	—	—	—
高次脳機能障害	—	—	0.8	0.8	—	—	—	0.8	—	—	—	—	—	—	—
難病(特定疾病)	—	—	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	—	—	0.1	—	0.1	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	—	—	—	—	—	—

前ページの続き 表

単位：％

区分	日常生活用具給付等	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活体験（なかまつち、松原けやき寮）	巡回支援専門員の相談	点字・声の広報等発行	自動車運転免許取得・自動車改造費助成	更生訓練費給付	成年後見制度	あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）	無回答
全 体	0.1	0.5	—	0.1	—	0.1	—	—	—	0.1	—	0.1	0.1	97.9
視覚障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	97.8
聴覚・平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96.7
音声・言語・そしゃく機能障害	—	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	0.1	0.8	—	—	—	0.1	—	—	—	0.1	—	—	—	97.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98.9
知的障害	0.2	2.4	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	92.6
発達障害	—	1.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	95.6
精神障害	—	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96.6
高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	—	—	—	94.6
難病（特定疾病）	—	0.6	—	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	0.1	0.1	97.8
その他	—	—	—	—	—	1.1	—	—	—	—	—	—	—	98.9

前ページの続き 表

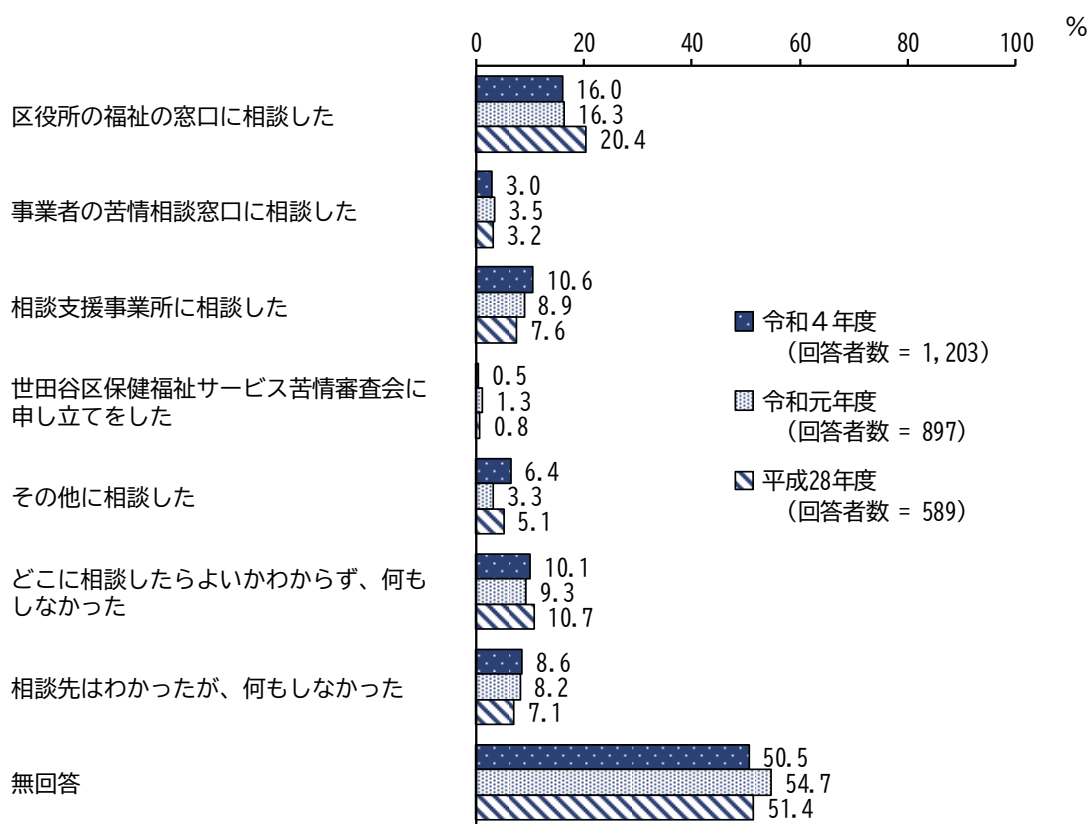
問 43 から問 46 は、障害福祉サービス等を利用している方におたずねします

問 43 サービスに満足できないときに、どちらかに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「区役所の福祉の窓口相談した」の割合が 16.0%と最も高く、次いで「相談支援事業所に相談した」の割合が 10.6%、「どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった」の割合が 10.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった」の割合が、知的障害で「相談支援事業所に相談した」の割合が、視覚障害で「区役所の福祉の窓口で相談した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった」の割合が低くなっています。

単位：%

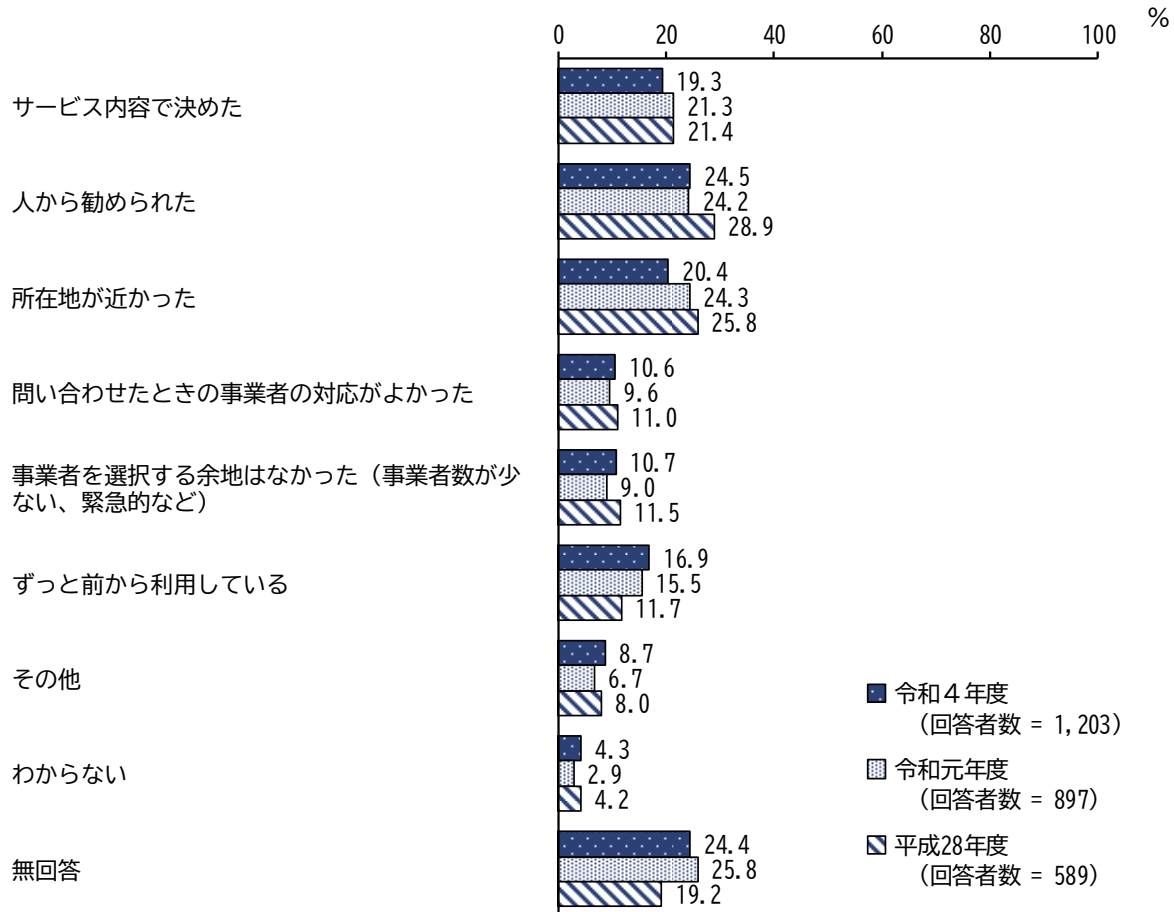
区分	回答者数(件)	区役所の福祉の窓口で相談した	事業者の苦情相談窓口で相談した	相談支援事業所に相談した	世田谷区保健福祉サービス苦情審査会に申し立てをした	その他に相談した	どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった	相談先はわかったが、何もしなかった	無回答
全体	1203	16.0	3.0	10.6	0.5	6.4	10.1	8.6	50.5
視覚障害	56	23.2	3.6	10.7	—	10.7	10.7	10.7	41.1
聴覚・平衡機能障害	70	12.9	2.9	12.9	—	7.1	5.7	8.6	54.3
音声・言語・そしゃく機能障害	82	17.1	4.9	14.6	1.2	17.1	2.4	4.9	46.3
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	437	16.9	3.2	11.0	0.7	9.8	7.8	6.4	50.3
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	176	13.1	2.3	6.3	—	5.1	7.4	5.7	63.6
知的障害	328	21.0	4.9	20.1	0.6	5.5	9.8	11.0	39.9
発達障害	278	15.1	2.2	13.3	1.1	2.9	15.1	15.5	42.1
精神障害	109	15.6	3.7	12.8	0.9	8.3	21.1	5.5	36.7
高次脳機能障害	90	14.4	4.4	7.8	—	13.3	10.0	5.6	48.9
難病(特定疾病)	182	20.3	2.2	12.6	0.5	8.8	7.1	6.0	48.4
その他	38	18.4	2.6	10.5	—	10.5	10.5	13.2	36.8

問 44 あなたが、現在利用しているサービス提供事業者を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「人から勧められた」の割合が24.5%と最も高く、次いで「所在地が近かった」の割合が20.4%、「サービス内容で決めた」の割合が19.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「事業者を選択する余地はなかった（事業者数が少ない、緊急的など）」の割合が、知的障害で「所在地が近かった」の割合が、発達障害で「サービス内容で決めた」「所在地が近かった」の割合が高くなっています。また、その他で「ずっと前から利用している」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「人から勧められた」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「サービス内容で決めた」の割合が低くなっています。

単位：％

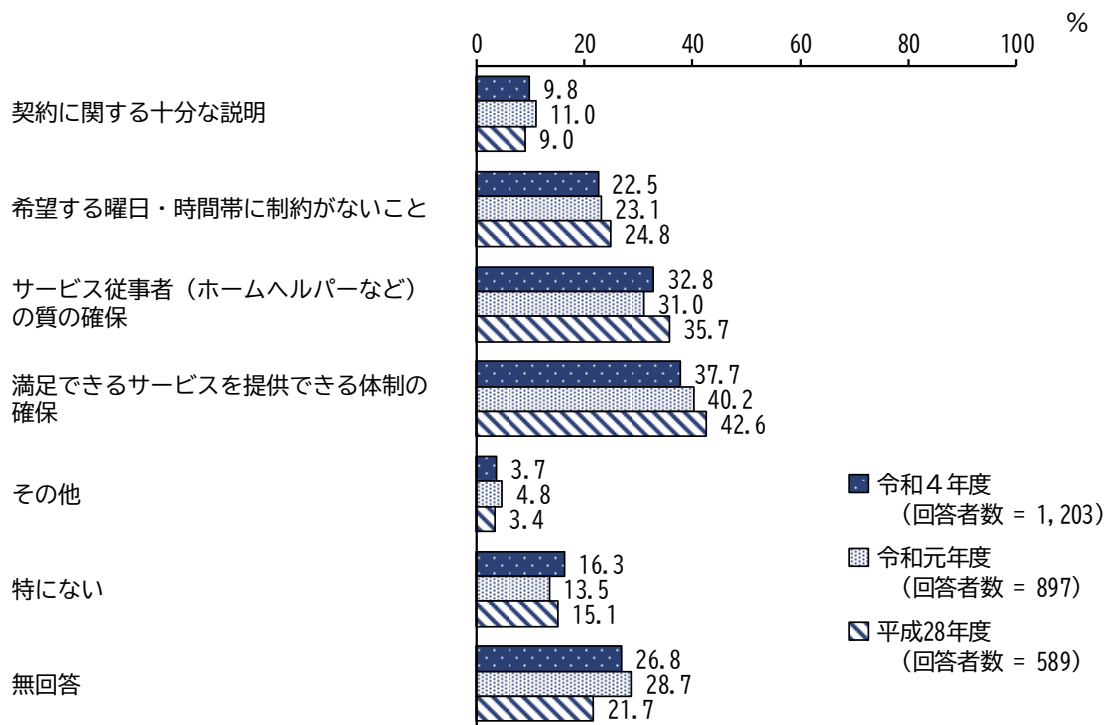
区分	回答者数（件）	サービス内容で決めた	人から勧められた	所在地が近かった	問い合わせたときの事業者の対応がよかった	事業者を選択する余地はなかった（事業者数が少ない、緊急的など）	ずっと前から利用している	その他	わからない	無回答
全 体	1203	19.3	24.5	20.4	10.6	10.7	16.9	8.7	4.3	24.4
視覚障害	56	14.3	25.0	28.6	12.5	16.1	17.9	7.1	7.1	21.4
聴覚・平衡機能障害	70	11.4	18.6	15.7	10.0	7.1	21.4	8.6	2.9	30.0
音声・言語・そしゃく機能障害	82	14.6	26.8	20.7	14.6	20.7	18.3	11.0	2.4	24.4
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	437	14.6	25.4	19.0	12.4	10.3	17.8	10.8	5.5	23.8
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	176	13.1	16.5	14.2	7.4	8.5	13.1	9.7	3.4	40.3
知的障害	328	27.4	29.0	29.9	11.3	16.8	25.3	7.0	3.0	13.7
発達障害	278	28.8	26.6	29.1	12.9	15.5	18.3	6.8	3.6	15.8
精神障害	109	25.7	27.5	18.3	15.6	11.9	14.7	9.2	7.3	15.6
高次脳機能障害	90	16.7	20.0	20.0	14.4	11.1	23.3	12.2	3.3	21.1
難病（特定疾病）	182	21.4	28.6	14.3	9.3	11.0	17.6	9.9	6.6	24.7
その他	38	18.4	28.9	28.9	15.8	10.5	7.9	10.5	5.3	15.8

問 45 あなたが、サービス提供事業者に対して望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「満足できるサービスを提供できる体制の確保」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」の割合が 32.8%、「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が 22.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「満足できるサービスを提供できる体制の確保」「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が、発達障害で「満足できるサービスを提供できる体制の確保」の割合が、視覚障害で「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「満足できるサービスを提供できる体制の確保」「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「満足できるサービスを提供できる体制の確保」の割合が低くなっています。

単位：％

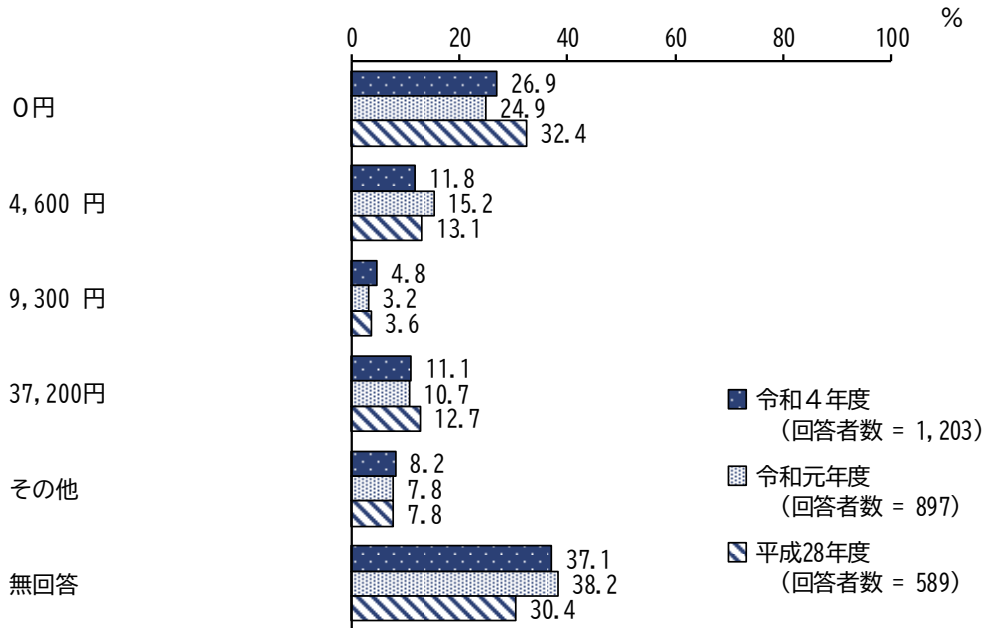
区分	回答者数(件)	契約に関する十分な説明	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者(ホームヘルパーなど)の質の確保	満足できるサービスを提供できる体制の確保	その他	特になし	無回答
全体	1203	9.8	22.5	32.8	37.7	3.7	16.3	26.8
視覚障害	56	14.3	35.7	39.3	39.3	7.1	14.3	23.2
聴覚・平衡機能障害	70	10.0	14.3	30.0	25.7	7.1	15.7	31.4
音声・言語・そしゃく機能障害	82	8.5	19.5	32.9	36.6	11.0	12.2	29.3
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	437	9.4	20.6	35.0	34.3	6.2	16.2	27.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	176	9.1	13.6	27.3	21.6	5.1	17.0	40.9
知的障害	328	8.5	32.3	46.0	51.8	4.3	13.1	16.2
発達障害	278	12.9	30.6	39.9	51.8	4.3	9.0	17.3
精神障害	109	15.6	22.0	23.9	33.9	6.4	23.9	20.2
高次脳機能障害	90	8.9	17.8	33.3	32.2	5.6	17.8	22.2
難病(特定疾病)	182	11.5	20.9	36.3	36.8	3.8	18.1	29.1
その他	38	7.9	15.8	34.2	36.8	2.6	26.3	15.8

問 46 あなたの月額負担上限額はいくらですか。(1つに○)
障害福祉サービスの受給者証に記入されている金額をお答えください。

「0円」の割合が26.9%と最も高く、次いで「4,600円」の割合が11.8%、「37,200円」の割合が11.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「0円」の割合が、発達障害で「4,600円」の割合が、知的障害で「0円」の割合が高くなっています。また、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「0円」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「0円」の割合が、高次脳機能障害で「4,600円」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	0円	4,600円	9,300円	37,200円	その他	無回答
全体	1203	26.9	11.8	4.8	11.1	8.2	37.1
視覚障害	56	32.1	8.9	7.1	10.7	8.9	32.1
聴覚・平衡機能障害	70	15.7	10.0	1.4	12.9	8.6	51.4
音声・言語・そしゃく機能障害	82	17.1	8.5	2.4	12.2	12.2	47.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	437	23.1	6.4	5.3	9.8	10.5	44.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	176	14.8	6.3	6.8	4.5	13.1	54.5
知的障害	328	42.1	19.2	1.2	19.5	1.5	16.5
発達障害	278	30.6	27.7	2.9	16.9	3.2	18.7
精神障害	109	50.5	4.6	6.4	6.4	7.3	24.8
高次脳機能障害	90	24.4	1.1	11.1	7.8	13.3	42.2
難病（特定疾病）	182	22.5	8.8	5.5	7.7	17.6	37.9
その他	38	26.3	10.5	2.6	18.4	18.4	23.7

その他の金額

「50,000円」の割合が58.6%と最も高くなっています。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「50,000円」の割合が高くなっています。また、他に比べ、高次脳機能障害で「50,000円」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	50,000円	100,000円	100,000円超	無回答
全体	99	58.6	1.0	2.0	38.4
視覚障害	5	60.0	—	—	40.0
聴覚・平衡機能障害	6	66.7	—	—	33.3
音声・言語・そしゃく機能障害	10	60.0	—	—	40.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	46	54.3	—	2.2	43.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	23	56.5	4.3	—	39.1
知的障害	5	60.0	—	—	40.0
発達障害	9	44.4	—	—	55.6
精神障害	8	100.0	—	—	—
高次脳機能障害	12	50.0	—	—	50.0
難病（特定疾病）	32	71.9	—	6.3	21.9
その他	7	14.3	—	—	85.7

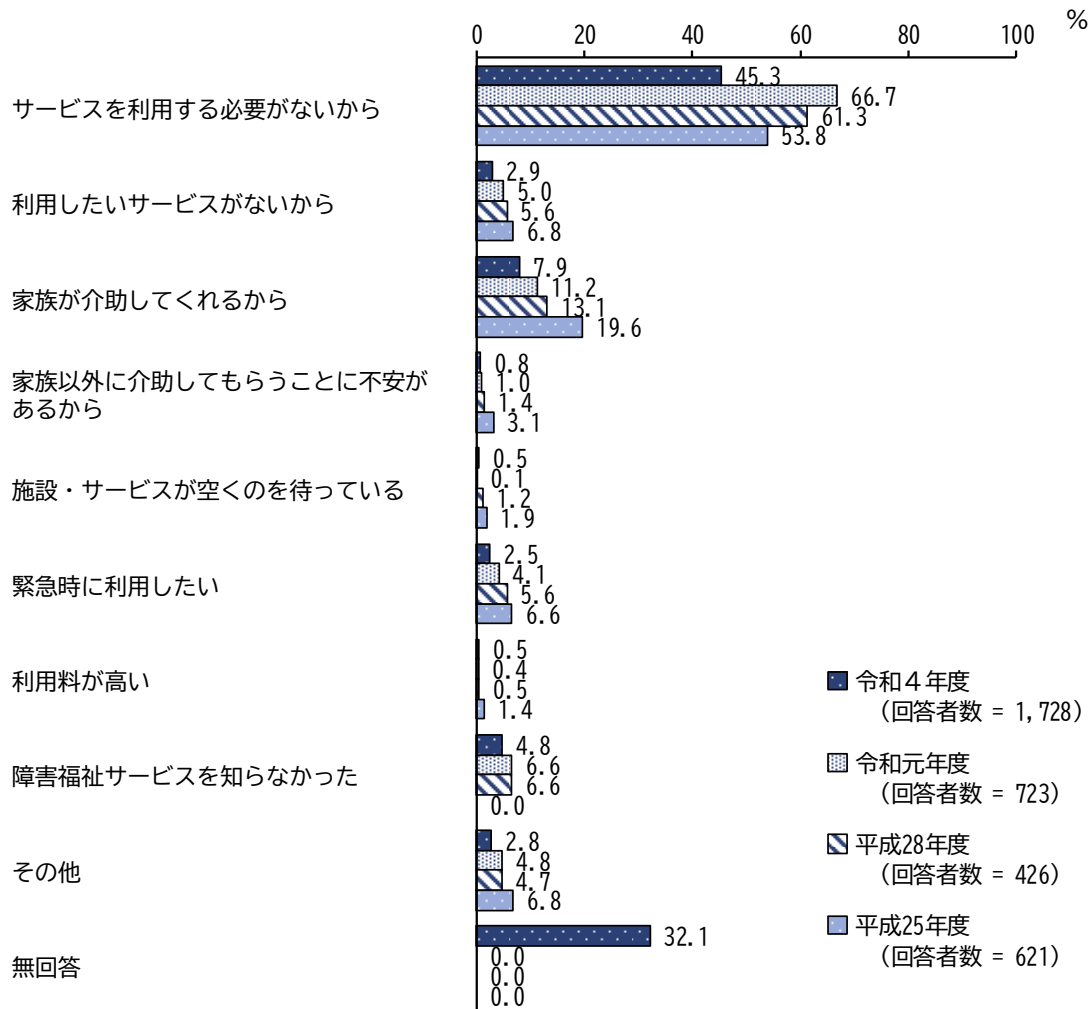
問 47 は障害福祉サービス等を利用していない方におたずねします

問 47 サービスを利用していない理由は何ですか。(1つに○)

「サービスを利用する必要がないから」の割合が45.3%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「サービスを利用する必要がないから」の割合が減少しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、難病（特定疾病）で「サービスを利用する必要がないから」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「サービスを利用する必要がないから」の割合が高くなっています。また、精神障害で「サービスを利用する必要がないから」の割合が、高次脳機能障害で「サービスを利用する必要がないから」の割合が、発達障害で「サービスを利用する必要がないから」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	サービスを利用する 必要がないから	利用したいサービ スがないから	家族が介助して くれるから	家族以外に介助し てもらおうこと に不安があるから	施設・サービスが空 くのを待っている	緊急時に利用した い	利用料が高い	障害福祉サービ スを知らなかった	その他	無回 答
全 体	1728	45.3	2.9	7.9	0.8	0.5	2.5	0.5	4.8	2.8	32.1
視覚障害	82	34.1	2.4	12.2	1.2	—	1.2	2.4	2.4	3.7	40.2
聴覚・平衡機能障害	111	31.5	4.5	10.8	0.9	0.9	3.6	0.9	10.8	2.7	33.3
音声・言語・そしゃく 機能障害	48	37.5	4.2	4.2	2.1	—	—	—	6.3	10.4	35.4
肢体不自由（上肢・下 肢・体幹・脳性麻痺・ 移動機能障害等）	471	34.4	4.2	10.4	0.6	0.2	3.8	1.1	7.0	5.7	32.5
内部障害（心臓、じん 臓、呼吸器、肝臓、ぼ うこう・直腸、小腸、 免疫機能等）	549	51.4	1.5	8.4	1.1	0.4	2.0	0.4	4.6	1.6	28.8
知的障害	89	30.3	2.2	15.7	4.5	3.4	1.1	2.2	6.7	4.5	29.2
発達障害	89	27.0	1.1	14.6	4.5	3.4	3.4	1.1	3.4	2.2	39.3
精神障害	36	13.9	5.6	11.1	8.3	—	2.8	—	5.6	—	52.8
高次脳機能障害	40	15.0	5.0	10.0	2.5	—	7.5	—	5.0	10.0	45.0
難病（特定疾病）	495	52.5	3.6	6.1	0.4	0.4	1.2	0.4	3.2	2.6	29.5
その他	57	33.3	—	10.5	—	—	7.0	—	7.0	1.8	40.4

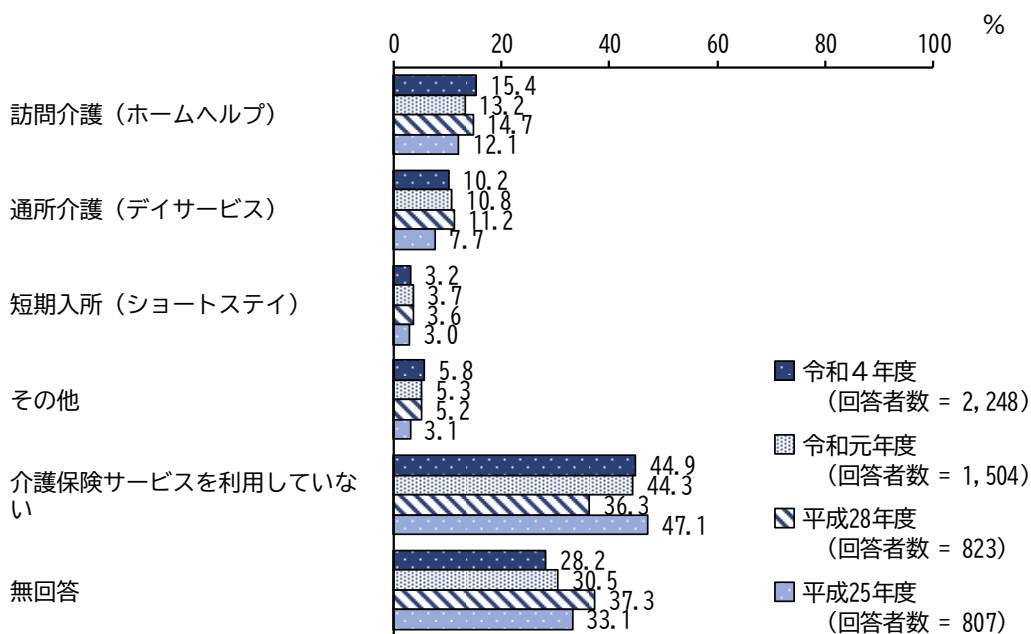
40歳以上の方全員におたずねします

問 48 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険サービスを利用していない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が15.4%、「通所介護（デイサービス）」の割合が10.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「通所介護（デイサービス）」の割合が、高次脳機能障害で「通所介護（デイサービス）」「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「介護保険サービスを利用していない」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「介護保険サービスを利用していない」の割合が、発達障害で「介護保険サービスを利用していない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	訪問介護 (ホームヘルプ)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他	介護保険サービス を利用していない	無回答
全体	2248	15.4	10.2	3.2	5.8	44.9	28.2
視覚障害	116	18.1	11.2	4.3	6.9	38.8	27.6
聴覚・平衡機能障害	150	14.7	12.7	6.7	8.0	40.7	25.3
音声・言語・そしゃく機能障害	107	28.0	32.7	12.1	10.3	26.2	18.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	787	24.5	17.9	5.5	9.0	35.2	22.6
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	667	12.1	6.9	1.6	4.8	51.4	27.4
知的障害	118	7.6	4.2	11.0	1.7	46.6	33.1
発達障害	87	9.2	5.7	1.1	2.3	34.5	49.4
精神障害	100	24.0	4.0	—	2.0	37.0	33.0
高次脳機能障害	116	29.3	30.2	9.5	17.2	23.3	18.1
難病(特定疾病)	586	14.7	7.8	2.0	4.8	51.0	26.5
その他	74	17.6	9.5	1.4	14.9	36.5	29.7

問 49 一般的にサービス提供事業者職員の人材が不足していると言われますが、それについて考えがあればお書きください。

※一部抜粋

(1) 賃金について

- ・負担が大きい割に賃金が低い。
- ・賃金が安く定職として安定しない。
- ・大変な業務にかかわらずそれに見合った賃金やケアが低いと思います。
- ・能力に伴う給料ステップアップが必要。

(2) 職業のイメージについて

- ・福祉の仕事の意味の社会的認識を高める必要がある。
- ・「障害」のことをよく知らないため、障害者と関わる仕事を選択しないのではないか。
- ・福祉に対する理解不足。

(3) 働く環境について

- ・処遇改善が必要
- ・精神的なサポートが足りていないのではないか。
- ・しっかりとした研修の徹底が必要。
- ・キツイ、つらい仕事に対して誰でも良いからと入れると、虐待につながると思う。まず働く人の環境を良くしてほしい。
- ・働き手のポジティブな感情を引き出し、メリットある働き方が出来るのが一番良い。

(4) その他

- ・療育など専門的知識を持ってなくても志があるなら人材を受け入れれば良いと思う。
- ・人材を募集していること、人手不足であることを知られていないのではないか。
- ・働く人どおしの交流が少ないから人材が離れていくのではないか。
- ・会社としての成熟度が一般企業に比べて高くないことが人材不足の一因ではないか。

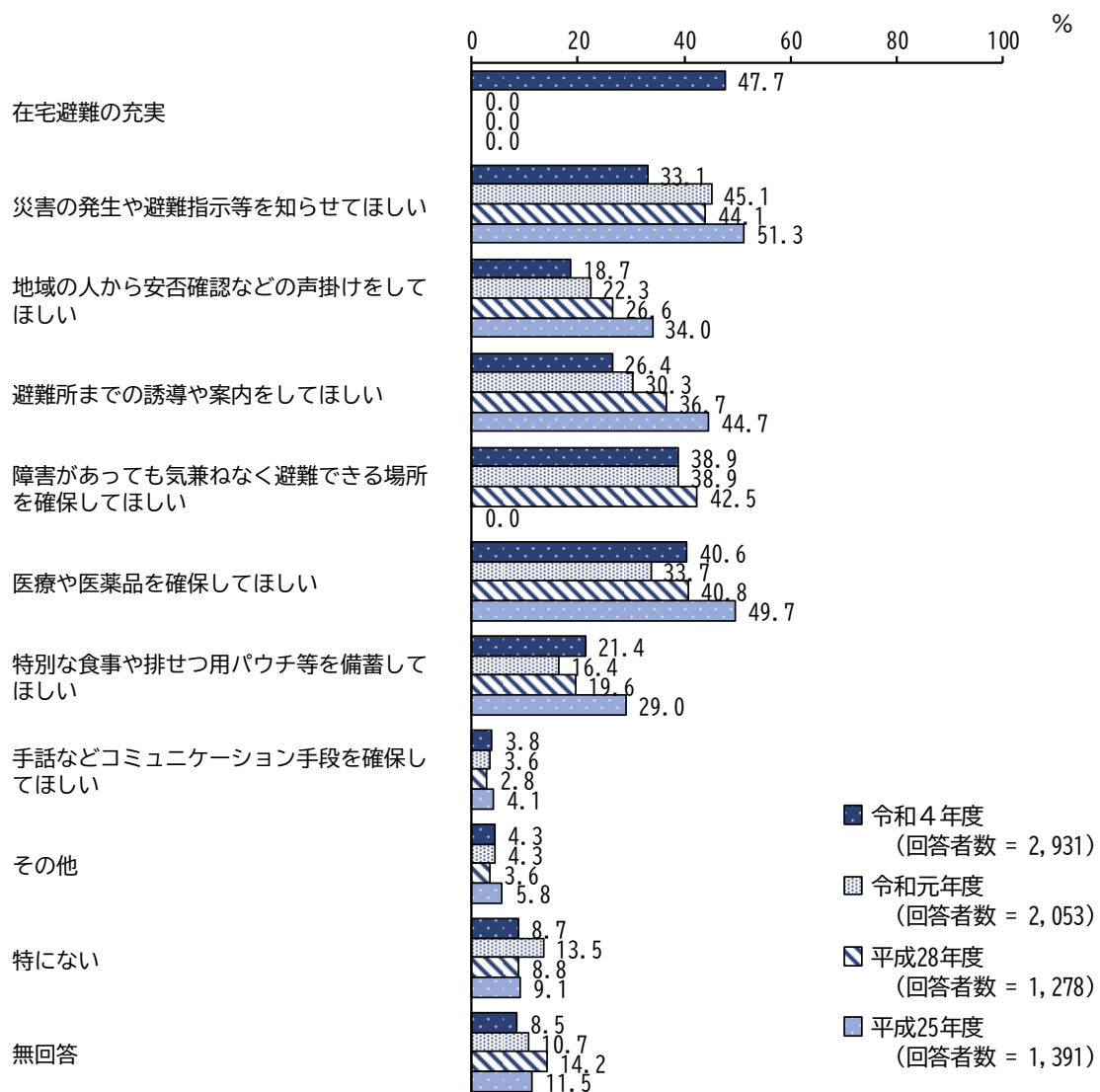
(10) 災害対策について

問 50 あなたは、地震などの災害が発生したとき、必要だと思われることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「在宅避難の充実」の割合が47.7%と最も高く、次いで「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が40.6%、「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が38.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が増加しています。一方、「災害の発生や避難指示等を知らせてほしい」の割合が減少しています。



※前回は「在宅避難の充実」の選択肢はありませんでした。

【同居人別】

同居人別にみると、他に比べ、父で「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が、母で「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が、兄弟姉妹で「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が高くなっています。また、その他で「在宅避難の充実」の割合が、兄弟姉妹で「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が、父で「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	在宅避難の充実	災害の発生や避難指示等を知らせてほしい	地域の人から安否確認などの声掛けをしてほしい	避難所までの誘導や案内をしてほしい	障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい	医療や医薬品を確保してほしい	特別な食事や排せつ用パウチ等を備蓄してほしい	手話などコミュニケーション手段を確保してほしい	その他	特にない	無回答
全体	2931	47.7	33.1	18.7	26.4	38.9	40.6	21.4	3.8	4.3	8.7	8.5
ひとり暮らし	595	43.0	33.6	23.4	27.2	36.1	42.9	21.2	3.9	4.7	11.3	10.3
配偶者	1204	51.5	33.8	15.6	24.7	33.8	45.8	21.7	3.0	3.8	7.7	8.0
父	546	50.0	35.0	20.5	28.9	51.6	31.1	18.9	4.6	4.8	7.1	2.9
母	723	50.3	34.2	19.9	29.5	50.2	33.1	19.4	3.9	5.0	7.9	3.9
子(子の配偶者を含む)	690	51.9	31.4	14.9	24.1	32.6	42.3	24.9	3.8	4.1	10.3	6.8
兄弟姉妹	400	48.5	32.5	17.8	26.8	50.3	29.5	17.3	5.0	3.8	7.8	3.8
祖父母	47	57.4	40.4	12.8	29.8	40.4	34.0	21.3	8.5	8.5	6.4	8.5
父母以外の保護者	4	100.0	25.0	—	25.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—
その他	182	36.3	25.3	15.4	23.6	44.0	43.4	29.1	7.1	8.8	8.8	12.1

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が、高次脳機能障害で「障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「特別な食事や排せつ用パウチ等を備蓄してほしい」の割合が高くなっています。また、その他で「在宅避難の充実」「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が、発達障害で「医療や医薬品を確保してほしい」の割合が低くなっています。

単位：％

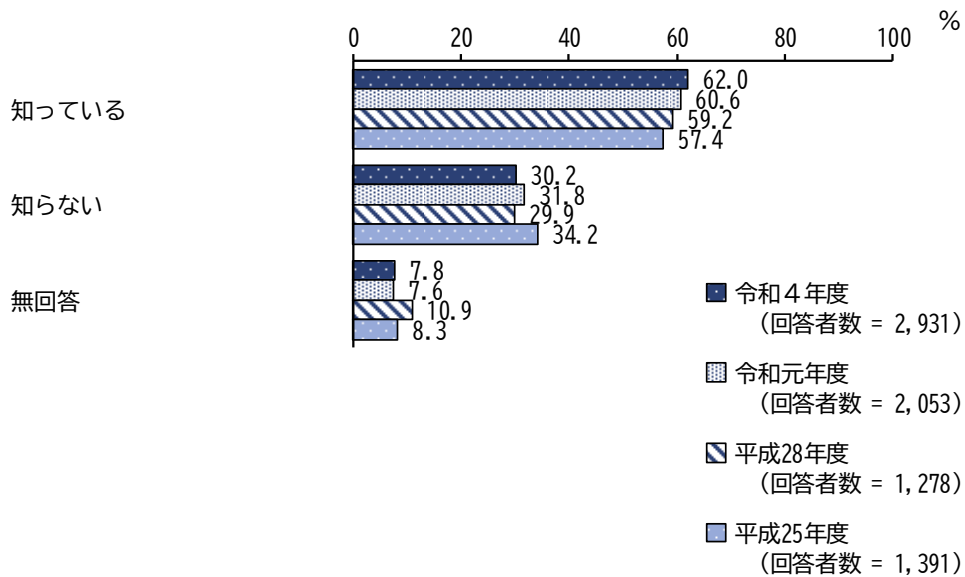
区分	回答者数(件)	在宅避難の充実	災害の発生や避難指示等を知らせしてほしい	地域の人から安否確認などの声掛けをしてほしい	避難所までの誘導や案内をしてほしい	障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい	医療や医薬品を確保してほしい	特別な食事や排せつ用パウチ等を備蓄してほしい	手話などコミュニケーション手段を確保してほしい	その他	特にない	無回答
全体	2931	47.7	33.1	18.7	26.4	38.9	40.6	21.4	3.8	4.3	8.7	8.5
視覚障害	138	50.0	37.7	25.4	38.4	43.5	37.0	28.3	3.6	2.9	6.5	10.9
聴覚・平衡機能障害	181	48.6	37.6	24.9	31.5	42.5	37.6	28.2	22.1	5.5	5.5	11.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	48.5	30.8	22.3	28.5	50.0	44.6	38.5	4.6	8.5	10.0	6.2
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	48.9	30.9	19.7	27.9	47.9	39.1	25.4	2.9	5.0	9.8	8.1
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	47.7	33.2	18.2	23.6	34.3	49.5	23.3	2.2	5.1	7.9	8.4
知的障害	417	50.8	34.3	23.7	35.3	63.3	31.2	24.2	4.3	5.0	5.3	5.5
発達障害	367	49.9	33.8	18.0	25.3	47.7	27.0	18.5	3.3	3.5	7.4	6.0
精神障害	145	49.7	40.7	23.4	32.4	44.8	50.3	20.0	4.1	5.5	9.0	7.6
高次脳機能障害	130	43.1	24.6	17.7	28.5	58.5	43.8	30.8	2.3	8.5	6.9	8.5
難病(特定疾病)	677	52.9	32.1	16.0	23.6	32.3	54.5	23.0	3.1	4.6	6.4	5.9
その他	95	32.6	37.9	22.1	33.7	40.0	30.5	25.3	4.2	6.3	10.5	9.5

問 51 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が62.0%、「知らない」の割合が30.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害、精神障害、高次脳機能障害で「知らない」の割合が高くなっています。また、知的障害で「知っている」の割合が、高次脳機能障害で「知っている」の割合が、精神障害で「知っている」の割合が低くなっています。

単位：％

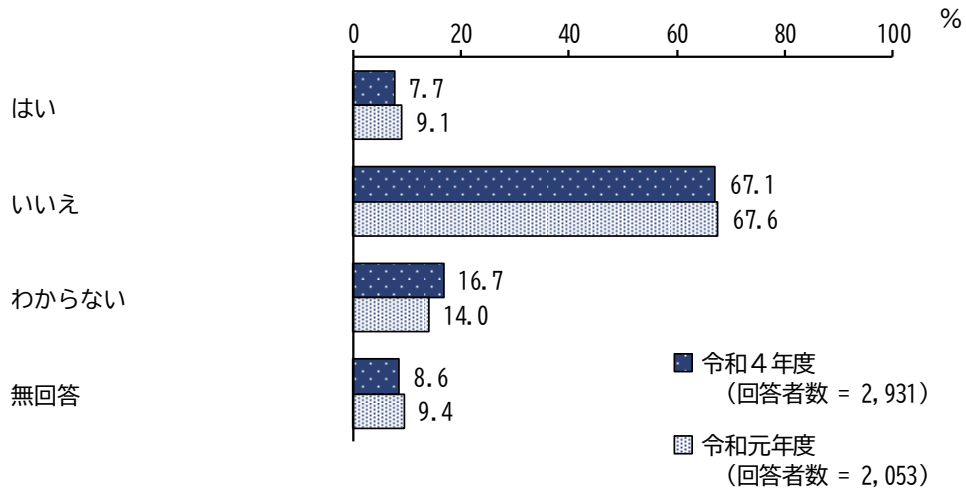
区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	2931	62.0	30.2	7.8
視覚障害	138	60.9	29.7	9.4
聴覚・平衡機能障害	181	56.9	32.6	10.5
音声・言語・そしゃく機能障害	130	56.2	35.4	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	60.5	31.8	7.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	67.7	25.2	7.0
知的障害	417	52.3	41.2	6.5
発達障害	367	58.0	36.8	5.2
精神障害	145	54.5	37.9	7.6
高次脳機能障害	130	53.8	36.9	9.2
難病（特定疾病）	677	67.7	26.1	6.2
その他	95	62.1	29.5	8.4

問 52 地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人に、あなたが要援護者であることを申し出ていますか。(1つに○)

「いいえ」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 16.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、高次脳機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害で「わからない」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「いいえ」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「いいえ」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	わからない	無回答
全 体	2931	7.7	67.1	16.7	8.6
視覚障害	138	19.6	55.8	15.9	8.7
聴覚・平衡機能障害	181	9.4	60.8	20.4	9.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	16.2	51.5	23.1	9.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	12.2	60.1	19.6	8.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	5.7	72.1	13.5	8.7
知的障害	417	13.9	60.9	19.9	5.3
発達障害	367	5.7	71.4	16.3	6.5
精神障害	145	5.5	67.6	17.9	9.0
高次脳機能障害	130	15.4	50.8	23.8	10.0
難病（特定疾病）	677	6.5	71.6	14.9	6.9
その他	95	3.2	65.3	17.9	13.7

問 53 災害対策に対する現状についてお答えください。(それぞれ1つに○)

『①ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持っていますか。』『③日常備蓄・ローリングストックを理解していますか。』『⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を理解していますか。』『⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を理解していますか。』『⑧避難を支援してくれる人はいますか。』で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
①ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持っていますか。	2931	51.4	39.1	9.5
②防災アプリ（東京都防災、区防災マップ）、気象情報アプリ（ウェザーニューズ、ヤフー等）を利用していますか。	2931	40.0	49.5	10.5
③日常備蓄・ローリングストックを理解していますか。	2931	51.1	37.6	11.3
④蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはありますか。	2931	38.0	51.9	10.1
⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を理解していますか。	2931	48.4	40.5	11.2
⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等 を理解していますか。	2931	51.7	38.4	9.9
⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか理解していますか。	2931	33.7	55.9	10.4
⑧避難を支援してくれる人はいますか。	2931	49.0	41.4	9.6

①ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持っていますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「いいえ」の割合が、その他で「いいえ」の割合が、難病（特定疾病）で「はい」の割合が高くなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、その他で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	51.4	39.1	9.5
視覚障害	138	47.8	39.1	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	42.5	44.2	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	53.8	35.4	10.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	54.6	35.2	10.1
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	50.1	40.7	9.2
知的障害	417	53.0	41.2	5.8
発達障害	367	54.2	39.8	6.0
精神障害	145	46.9	45.5	7.6
高次脳機能障害	130	50.8	39.2	10.0
難病（特定疾病）	677	57.0	35.0	8.0
その他	95	44.2	45.3	10.5

②防災アプリ（東京都防災、区防災マップ）、気象情報アプリ（ウェザーニューズ、ヤフー等）を利用していますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、難病（特定疾病）で「はい」の割合が、視覚障害で「いいえ」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	40.0	49.5	10.5
視覚障害	138	30.4	55.8	13.8
聴覚・平衡機能障害	181	30.9	55.8	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	43.1	46.9	10.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	38.1	51.7	10.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	38.9	50.2	10.9
知的障害	417	42.0	51.6	6.5
発達障害	367	52.3	40.9	6.8
精神障害	145	37.9	54.5	7.6
高次脳機能障害	130	39.2	50.8	10.0
難病（特定疾病）	677	47.9	43.0	9.2
その他	95	33.7	50.5	15.8

③日常備蓄・ローリングストックを理解していますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「いいえ」の割合が、知的障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、精神障害で「はい」の割合が、その他で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	51.1	37.6	11.3
視覚障害	138	52.2	32.6	15.2
聴覚・平衡機能障害	181	44.8	40.9	14.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	48.5	40.0	11.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	51.2	36.8	12.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	55.7	32.7	11.6
知的障害	417	42.9	49.4	7.7
発達障害	367	53.7	39.2	7.1
精神障害	145	35.2	56.6	8.3
高次脳機能障害	130	42.3	47.7	10.0
難病（特定疾病）	677	59.4	30.9	9.7
その他	95	36.8	45.3	17.9

④蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはありますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、精神障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、その他で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	38.0	51.9	10.1
視覚障害	138	34.8	52.2	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	31.5	54.1	14.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	34.6	54.6	10.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	38.7	50.4	10.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	39.9	50.6	9.5
知的障害	417	36.5	55.9	7.7
発達障害	367	43.6	50.4	6.0
精神障害	145	28.3	63.4	8.3
高次脳機能障害	130	33.1	56.9	10.0
難病（特定疾病）	677	42.4	49.6	8.0
その他	95	32.6	55.8	11.6

⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を理解していますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、精神障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、高次脳機能障害で「はい」の割合が、その他で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	48.4	40.5	11.2
視覚障害	138	53.6	33.3	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	45.3	39.8	14.9
音声・言語・そしゃく機能障害	130	46.2	42.3	11.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	50.1	38.2	11.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	56.7	32.3	11.0
知的障害	417	33.8	58.5	7.7
発達障害	367	41.4	51.5	7.1
精神障害	145	33.1	57.2	9.7
高次脳機能障害	130	40.0	50.0	10.0
難病（特定疾病）	677	54.5	35.2	10.3
その他	95	40.0	45.3	14.7

⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を理解していますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、知的障害で「はい」の割合が、精神障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	51.7	38.4	9.9
視覚障害	138	52.2	36.2	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	48.1	38.7	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	42.3	46.9	10.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	50.0	39.3	10.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	57.8	33.1	9.1
知的障害	417	36.2	56.1	7.7
発達障害	367	48.0	45.8	6.3
精神障害	145	40.0	51.7	8.3
高次脳機能障害	130	43.8	44.6	11.5
難病（特定疾病）	677	58.5	32.6	8.9
その他	95	51.6	35.8	12.6

⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか理解していますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、知的障害で「はい」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「はい」の割合が、精神障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	33.7	55.9	10.4
視覚障害	138	34.1	52.9	13.0
聴覚・平衡機能障害	181	27.1	59.7	13.3
音声・言語・そしゃく機能障害	130	31.5	57.7	10.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	33.6	55.5	10.9
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	39.4	51.0	9.5
知的障害	417	24.0	68.8	7.2
発達障害	367	27.8	65.7	6.5
精神障害	145	27.6	64.1	8.3
高次脳機能障害	130	30.0	58.5	11.5
難病（特定疾病）	677	37.4	52.3	10.3
その他	95	32.6	55.8	11.6

⑧避難を支援してくれる人はいますか。

【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「はい」の割合が、知的障害で「はい」の割合が、精神障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、知的障害で「いいえ」の割合が、発達障害で「いいえ」の割合が、精神障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2931	49.0	41.4	9.6
視覚障害	138	57.2	32.6	10.1
聴覚・平衡機能障害	181	43.6	44.8	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	47.7	43.8	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	48.3	42.0	9.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	44.1	47.3	8.6
知的障害	417	63.3	29.7	7.0
発達障害	367	64.0	30.2	5.7
精神障害	145	37.9	53.1	9.0
高次脳機能障害	130	51.5	39.2	9.2
難病（特定疾病）	677	47.1	43.3	9.6
その他	95	46.3	40.0	13.7

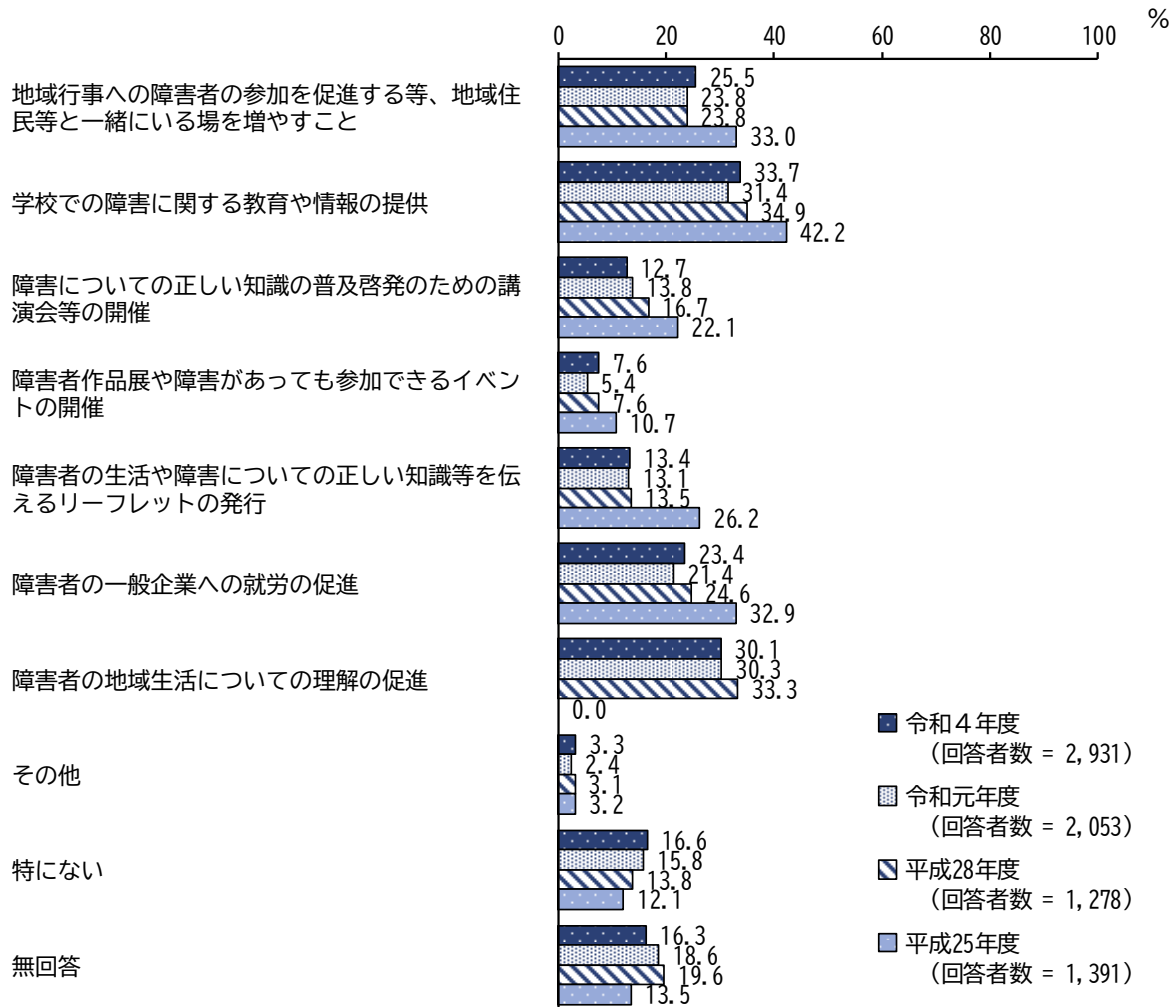
(11) 障害理解、差別の解消や権利擁護について

問 54 あなたは、障害のある人もない人も共に住み慣れた地域で生活できるように地域の理解を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

「学校での障害に関する教育や情報の提供」の割合が33.7%と最も高く、次いで「障害者の地域生活についての理解の促進」の割合が30.1%、「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等と一緒にいる場を増やすこと」の割合が25.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、発達障害で「学校での障害に関する教育や情報の提供」「障害者の一般企業への就労の促進」の割合が、知的障害で「学校での障害に関する教育や情報の提供」「障害者の地域生活についての理解の促進」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「学校での障害に関する教育や情報の提供」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「障害者の一般企業への就労の促進」の割合が、その他で「障害者の地域生活についての理解の促進」の割合が低くなっています。

単位：％

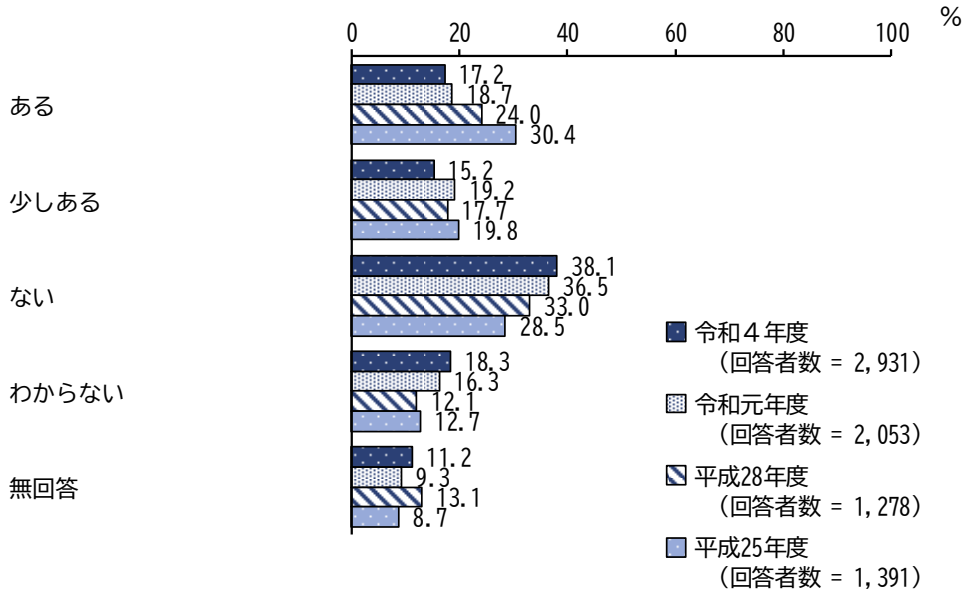
区分	回答者数（件）	地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等と一緒にいる場を増やすこと	学校での障害に関する教育や情報の提供	障害に関する啓発のための正しい講演会等の開催	障害者作品展や障害があっても参加できるイベントの開催	障害者の生活や障害に関する正しい知識等を伝えるリーフレットの発行	障害者の一般企業への就労の促進	障害者の地域生活についての理解の促進	その他	特になし	無回答
全体	2931	25.5	33.7	12.7	7.6	13.4	23.4	30.1	3.3	16.6	16.3
視覚障害	138	21.0	25.4	10.9	7.2	10.1	21.0	30.4	1.4	16.7	20.3
聴覚・平衡機能障害	181	23.8	28.7	14.4	7.2	21.0	16.0	29.3	2.8	14.9	22.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	24.6	32.3	10.8	7.7	14.6	17.7	32.3	4.6	22.3	14.6
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	26.3	30.1	10.4	7.6	12.3	18.6	29.6	3.5	19.5	17.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	24.8	29.7	12.6	6.1	14.6	21.7	27.6	1.5	20.8	16.1
知的障害	417	31.9	48.9	11.8	11.5	13.9	32.1	45.3	4.6	6.0	10.3
発達障害	367	23.2	53.4	13.1	6.0	13.4	36.5	38.1	4.9	9.3	10.4
精神障害	145	20.7	31.7	20.0	13.1	13.1	30.3	30.3	5.5	13.1	17.9
高次脳機能障害	130	28.5	30.8	12.3	8.5	10.8	22.3	40.8	3.8	13.1	13.8
難病（特定疾病）	677	27.5	34.4	14.3	8.7	13.9	23.8	28.4	3.8	14.2	16.1
その他	95	27.4	29.5	9.5	9.5	13.7	18.9	23.2	6.3	25.3	11.6

問 55 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。
(1つに○)

「ない」の割合が38.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.3%、「ある」の割合が17.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「ある」の割合が、知的障害で「ある」の割合が、内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）で「ない」の割合が高くなっています。また、知的障害で「ない」の割合が、発達障害で「ない」の割合が、精神障害で「ない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全 体	2931	17.2	15.2	38.1	18.3	11.2
視覚障害	138	23.2	13.8	30.4	18.8	13.8
聴覚・平衡機能障害	181	18.8	16.0	30.9	19.9	14.4
音声・言語・そしゃく機能障害	130	20.0	20.8	26.9	23.1	9.2
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	18.5	17.8	34.3	17.7	11.7
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	9.7	9.7	55.4	15.0	10.2
知的障害	417	35.5	24.7	12.7	19.9	7.2
発達障害	367	31.1	24.3	17.2	21.0	6.5
精神障害	145	41.4	15.2	18.6	14.5	10.3
高次脳機能障害	130	19.2	18.5	23.8	26.2	12.3
難病（特定疾病）	677	13.6	12.0	42.1	20.8	11.5
その他	95	6.3	16.8	48.4	20.0	8.4

【手帳別】

手帳別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「ある」の割合が、愛の手帳で「ある」「少しある」の割合が高くなっています。また、愛の手帳で「ない」の割合が、精神障害者保健福祉手帳で「ない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全 体	2931	17.2	15.2	38.1	18.3	11.2
身体障害者手帳	1972	16.3	13.9	42.0	16.6	11.1
愛の手帳	417	33.1	26.1	15.3	19.9	5.5
精神障害者保健福祉手帳	153	43.1	16.3	18.3	13.7	8.5
手帳は所持していない	538	13.2	13.8	39.8	23.2	10.0

【障害が発生した時期別】

障害が発生した時期別にみると、他に比べ、出生前または出生時で「ある」「少しある」の割合が、わからないで「わからない」の割合が高くなっています。また、出生前または出生時で「ない」の割合が、わからないで「ない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全 体	2931	17.2	15.2	38.1	18.3	11.2
出生前または出生時	340	34.1	25.9	17.6	14.4	7.9
歳くらいのとき	2155	14.9	14.4	42.6	17.9	10.2
わからない	278	17.6	14.0	31.3	28.1	9.0

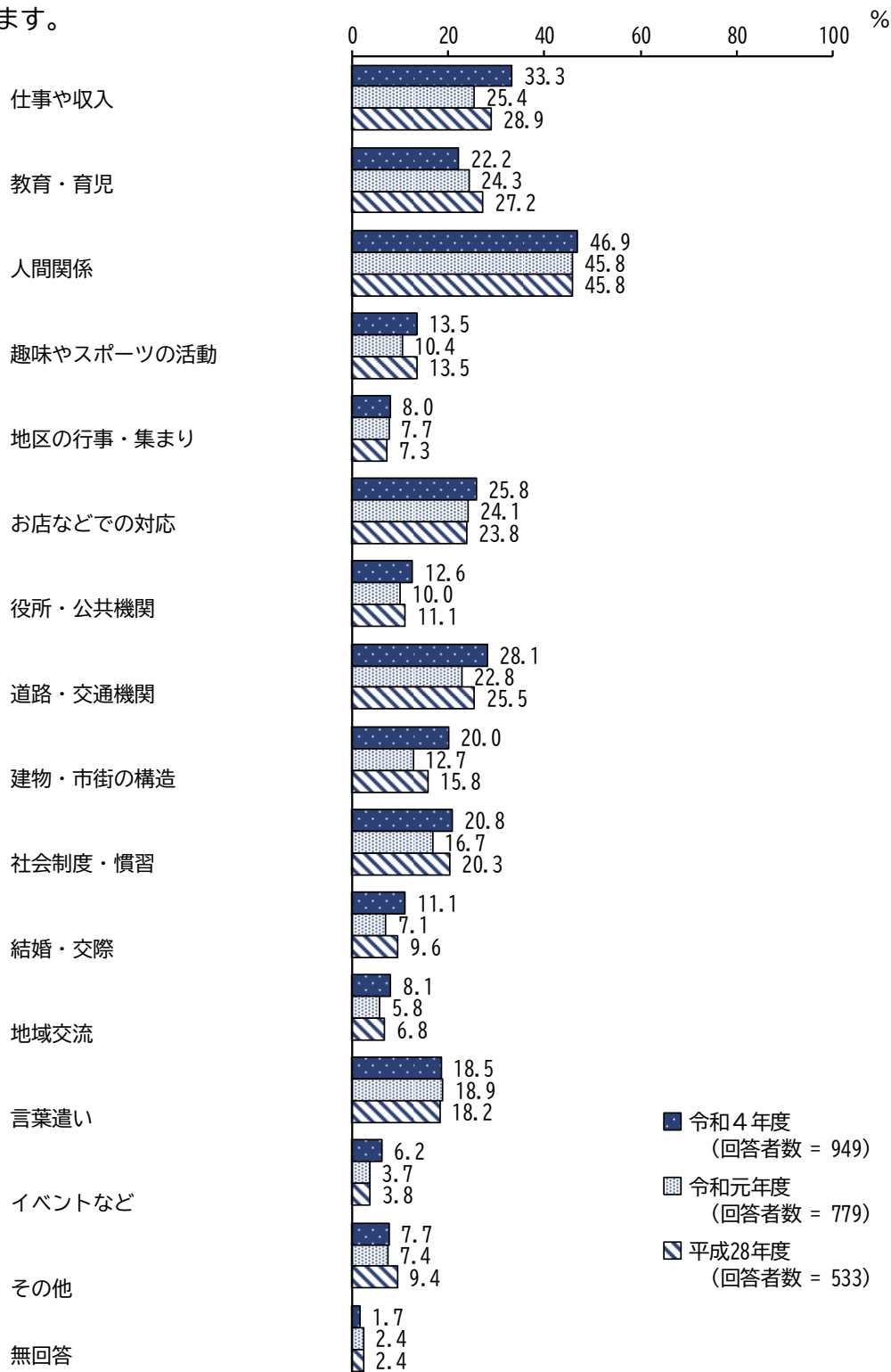
問 55 で「1. ある」、「2. 少しある」とお答えの方におたずねします

問 55-1 差別や偏見を感じたのはどのような場面ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「人間関係」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「仕事や収入」の割合が 33.3%、「道路・交通機関」の割合が 28.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「仕事や収入」「道路・交通機関」「建物・市街の構造」の割合が増加しています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「人間関係」「結婚・交際」「仕事や収入」の割合が高くなっています。また、視覚障害で「仕事や収入」の割合が、精神障害で「建物・市街の構造」の割合が、発達障害で「建物・市街の構造」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	仕事や収入	教育・育児	人間関係	趣味やスポーツ の活動	地区の行事・集 まり	応 お店などでの対	役所・公共機関	道路・交通機関
全 体	949	33.3	22.2	46.9	13.5	8.0	25.8	12.6	28.1
視覚障害	51	17.6	21.6	47.1	9.8	11.8	33.3	19.6	43.1
聴覚・平衡機能障害	63	28.6	19.0	54.0	17.5	12.7	41.3	15.9	25.4
音声・言語・そしゃく機能障害	53	30.2	17.0	39.6	9.4	7.5	32.1	13.2	35.8
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性 麻痺・移動機能障害等）	330	30.0	15.8	36.4	12.7	7.9	26.7	11.8	40.3
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝 臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能 等）	140	40.0	11.4	40.7	12.1	3.6	20.0	13.6	28.6
知的障害	251	25.1	37.8	49.8	17.1	12.0	31.5	10.8	24.7
発達障害	203	25.1	43.8	55.2	15.8	12.3	29.1	13.3	21.7
精神障害	82	56.1	14.6	73.2	22.0	9.8	26.8	17.1	18.3
高次脳機能障害	49	40.8	16.3	38.8	12.2	8.2	20.4	20.4	40.8
難病（特定疾病）	173	40.5	18.5	45.7	13.9	6.4	23.1	13.9	37.0
その他	22	27.3	22.7	54.5	13.6	4.5	36.4	13.6	22.7

区分	造 建物 ・市街の構	社会 制度・慣習	結 婚・交際	地 域交流	言 葉遣い	イ ベントなど	そ の他	無 回 答
全 体	20.0	20.8	11.1	8.1	18.5	6.2	7.7	1.7
視覚障害	27.5	27.5	5.9	13.7	23.5	11.8	3.9	5.9
聴覚・平衡機能障害	15.9	25.4	11.1	17.5	38.1	11.1	6.3	3.2
音声・言語・そしゃく機能障害	28.3	28.3	13.2	3.8	24.5	13.2	11.3	—
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性 麻痺・移動機能障害等）	35.5	20.3	10.0	8.5	16.1	8.2	7.9	0.6
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝 臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能 等）	25.7	22.1	7.1	5.7	10.0	2.1	9.3	0.7
知的障害	13.1	22.7	9.2	12.0	22.3	8.8	8.8	1.6
発達障害	7.9	20.2	10.8	9.4	18.2	5.9	10.3	2.0
精神障害	7.3	25.6	34.1	12.2	20.7	9.8	9.8	1.2
高次脳機能障害	32.7	28.6	10.2	4.1	14.3	6.1	8.2	—
難病（特定疾病）	23.1	23.7	12.7	8.7	14.5	6.9	6.4	0.6
その他	9.1	9.1	9.1	—	18.2	4.5	18.2	9.1

【手帳別】

手帳別にみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「人間関係」「結婚・交際」「仕事や収入」の割合が高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「建物・市街の構造」「道路・交通機関」の割合が、愛の手帳で「建物・市街の構造」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事や収入	教育・育児	人間関係	趣味やスポーツの活動	地区の行事・集まり	お店などでの対応	役所・公共機関	道路・交通機関	建物・市街の構造	社会制度・慣習	結婚・交際	地域交流	言葉遣い	イベントなど	その他	無回答
全体	949	33.3	22.2	46.9	13.5	8.0	25.8	12.6	28.1	20.0	20.8	11.1	8.1	18.5	6.2	7.7	1.7
身体障害者手帳	597	36.3	14.2	45.9	13.9	7.4	25.8	13.7	31.8	25.6	20.9	12.4	8.7	18.6	7.0	7.4	1.7
愛の手帳	247	25.9	34.8	51.0	16.6	12.1	30.4	8.9	23.5	10.9	20.6	9.3	10.9	21.1	7.7	7.3	1.6
精神障害者保健福祉手帳	91	53.8	18.7	72.5	24.2	11.0	25.3	23.1	18.7	7.7	28.6	31.9	13.2	22.0	9.9	9.9	2.2
手帳は所持していない	145	29.7	37.9	46.9	9.7	6.2	20.0	11.7	23.4	16.6	17.9	9.0	4.8	13.8	3.4	8.3	0.7

【障害が発生した時期】

障害が発生した時期別にみると、他に比べ、出生前または出生時で「教育・育児」の割合が、わからないで「人間関係」「役所・公共機関」の割合が高くなっています。また、出生前または出生時で「仕事や収入」の割合が、わからないで「建物・市街の構造」の割合が低くなっています。

単位：％

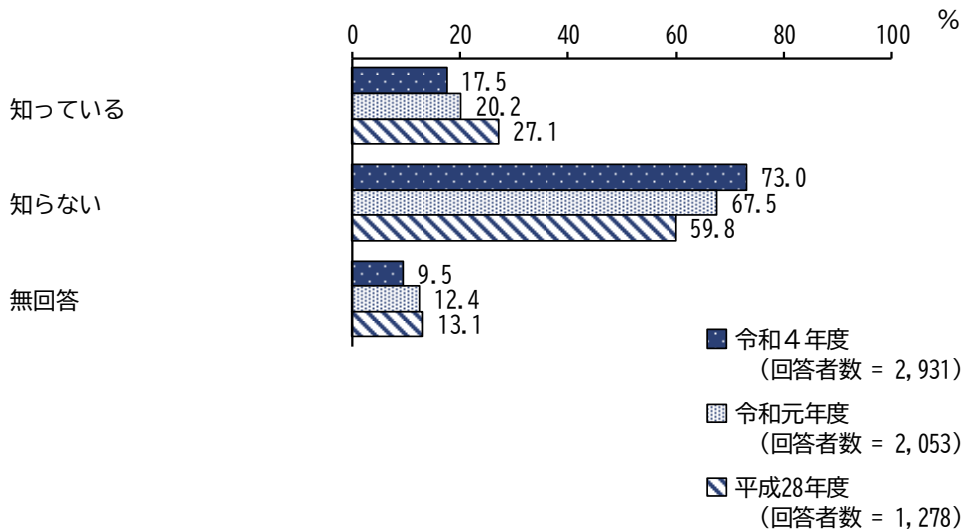
区分	回答者数(件)	仕事や収入	教育・育児	人間関係	趣味やスポーツの活動	地区の行事・集まり	お店などでの対応	役所・公共機関	道路・交通機関	建物・市街の構造	社会制度・慣習	結婚・交際	地域交流	言葉遣い	イベントなど	その他	無回答
全体	949	33.3	22.2	46.9	13.5	8.0	25.8	12.6	28.1	20.0	20.8	11.1	8.1	18.5	6.2	7.7	1.7
出生前または出生時	204	24.0	38.7	50.0	14.7	7.4	26.0	12.7	27.0	21.1	22.1	12.7	10.8	24.5	8.3	8.3	1.5
歳くらいのとき	631	35.5	17.7	44.8	13.6	8.1	26.6	11.1	29.2	20.8	20.1	11.1	7.1	17.0	5.4	7.4	1.4
わからない	88	39.8	19.3	58.0	13.6	10.2	21.6	21.6	26.1	13.6	25.0	9.1	11.4	17.0	8.0	8.0	1.1

問 56 平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

「知っている」の割合が 17.5%、「知らない」の割合が 73.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



【障害別】

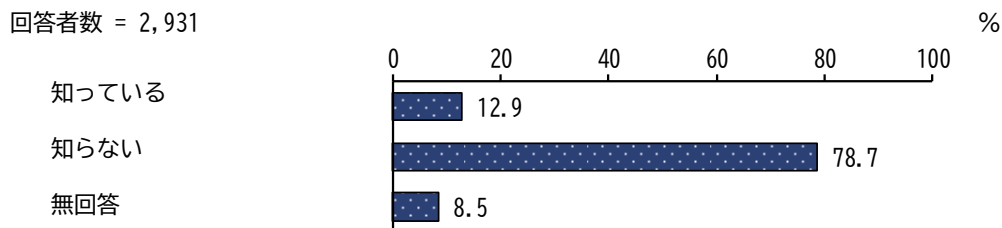
障害別にみると、他に比べ、知的障害で「知っている」の割合が、その他で「知らない」の割合が、視覚障害で「知っている」の割合が高くなっています。また、その他で「知っている」の割合が、聴覚・平衡機能障害で「知らない」の割合が、視覚障害で「知らない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	2931	17.5	73.0	9.5
視覚障害	138	23.9	67.4	8.7
聴覚・平衡機能障害	181	19.3	66.9	13.8
音声・言語・そしゃく機能障害	130	16.2	75.4	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	22.1	68.5	9.4
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	14.5	77.1	8.4
知的障害	417	26.4	69.1	4.6
発達障害	367	19.3	75.7	4.9
精神障害	145	16.6	75.2	8.3
高次脳機能障害	130	22.3	67.7	10.0
難病（特定疾病）	677	16.4	74.3	9.3
その他	95	9.5	81.1	9.5

問 57 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が12.9%、「知らない」の割合が78.7%となっています。



【障害別】

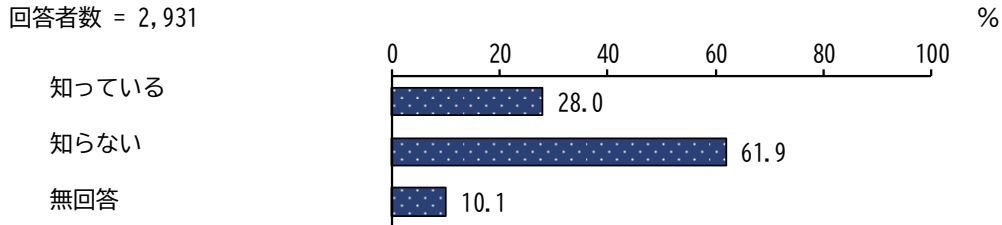
障害別にみると、他に比べ、視覚障害で「知っている」の割合が、その他で「知らない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、聴覚・平衡機能障害で「知らない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	知っている	知らない	無回答
全 体	2931	12.9	78.7	8.5
視覚障害	138	19.6	74.6	5.8
聴覚・平衡機能障害	181	16.0	72.9	11.0
音声・言語・そしゃく機能障害	130	12.3	80.0	7.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	14.2	77.2	8.6
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	12.4	79.9	7.7
知的障害	417	16.8	78.9	4.3
発達障害	367	15.5	80.1	4.4
精神障害	145	9.0	82.8	8.3
高次脳機能障害	130	10.8	79.2	10.0
難病(特定疾病)	677	9.7	81.8	8.4
その他	95	8.4	84.2	7.4

問 58 世田谷区に虐待の相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が28.0%、「知らない」の割合が61.9%となっています。



【障害別】

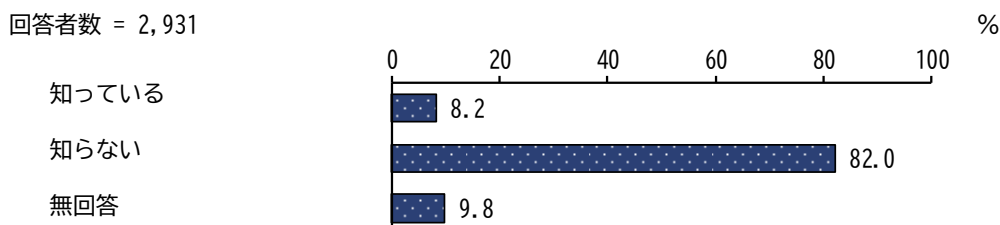
障害別にみると、他に比べ、発達障害で「知っている」の割合が、知的障害で「知っている」の割合が、精神障害で「知らない」の割合が高くなっています。また、発達障害で「知らない」の割合が、その他で「知っている」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	2931	28.0	61.9	10.1
視覚障害	138	26.1	59.4	14.5
聴覚・平衡機能障害	181	23.8	59.7	16.6
音声・言語・そしゃく機能障害	130	26.9	64.6	8.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）	908	27.5	62.4	10.0
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）	725	24.0	66.3	9.7
知的障害	417	36.9	59.2	3.8
発達障害	367	45.2	49.9	4.9
精神障害	145	24.1	66.9	9.0
高次脳機能障害	130	29.2	59.2	11.5
難病（特定疾病）	677	28.5	62.0	9.5
その他	95	22.1	66.3	11.6

問 59 世田谷区では、様々な状況及び状態にある区民が多様性を尊重し、価値観を相互に認め合い、安心して暮らし続けることができる地域共生社会を実現するため、「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が公布されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が8.2%、「知らない」の割合が82.0%となっています。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、音声・言語・そしゃく機能障害で「知らない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、視覚障害で「知らない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	知っている	知らない	無回答
全 体	2931	8.2	82.0	9.8
視覚障害	138	13.0	75.4	11.6
聴覚・平衡機能障害	181	8.8	78.5	12.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	5.4	87.7	6.9
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	8.6	81.4	10.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	7.3	83.7	9.0
知的障害	417	11.0	83.7	5.3
発達障害	367	7.6	85.6	6.8
精神障害	145	7.6	83.4	9.0
高次脳機能障害	130	6.9	83.1	10.0
難病(特定疾病)	677	6.9	83.2	9.9
その他	95	7.4	85.3	7.4

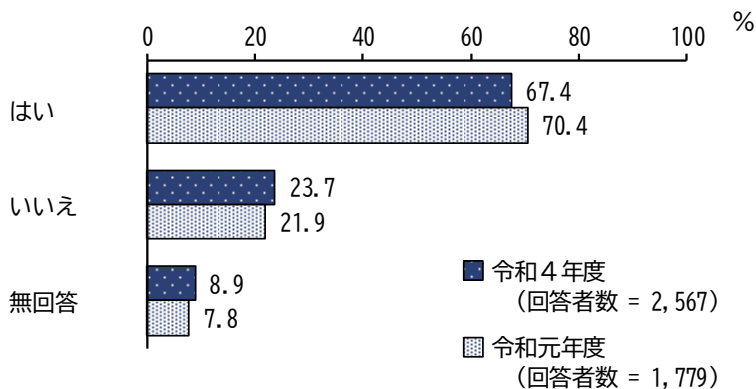
18歳以上の方におたずねします。

問 60 あなたは、選挙で投票していますか。(1つに○)

「はい」の割合が67.4%、「いいえ」の割合が23.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、知的障害で「いいえ」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「いいえ」の割合が、高次脳機能障害で「いいえ」の割合が高くなっています。また、知的障害で「はい」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「はい」の割合が、発達障害で「はい」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	2567	67.4	23.7	8.9
視覚障害	122	60.7	26.2	13.1
聴覚・平衡機能障害	161	69.6	19.9	10.6
音声・言語・そしゃく機能障害	112	45.5	43.8	10.7
肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	844	63.3	27.8	8.9
内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	695	76.4	15.8	7.8
知的障害	276	35.9	54.3	9.8
発達障害	174	49.4	35.1	15.5
精神障害	135	69.6	22.2	8.1
高次脳機能障害	121	49.6	43.0	7.4
難病 (特定疾病)	649	71.8	20.2	8.0
その他	79	65.8	29.1	5.1

問 60-1 投票の際に困ったことはありますか。

※一部抜粋

(1) 投票所について

- ・投票所が遠い。
- ・手すり等の設置。
- ・入口がせまい。投票が高い。スロープが急でこわい所があった。
- ・投票箱の高さが高い。手伝ってもらわないと投票できない。記入する時の低い机の数が少ない。
- ・順番がわからない。誘導してほしい。
- ・順路に紙表示だけでなく人を立たせてほしい。
- ・いくつかの選挙がある時順番がわからない。
- ・指が動かない時に、えんぴつの筆圧が出なくて書くのが大変。
- ・投票用紙が小さく、おさえて書きづらい。
- ・字が書けない。
- ・音声で本人確認をされるが、聴覚障害と伝えても筆談等の対応が遅い。
- ・いつも一緒にいる人に介助してもらいたい。
- ・立候補者が多い場合に記入場所の名簿の字（文字）が小さくて見えない。
- ・親が投票している短い時間の見守りがほしい。
- ・投票場で大声を出さないで欲しい。
- ・デイサービスのように交通手段があるとよい。
- ・雨天時など地方のように自動車での投票も可能になれば嬉しい。

(2) 選挙に関する情報について

- ・誰に投票したらよいか理解できない。
- ・立候補者の簡潔な情報が知りたかった。

(3) その他

- ・特にない。
- ・郵送投票の手続が面倒だった。
- ・郵送を利用しているので困ってない。
- ・期日前投票をしている。

問 60-2 投票に行くにはどのようなサポートが必要ですか。

※一部抜粋

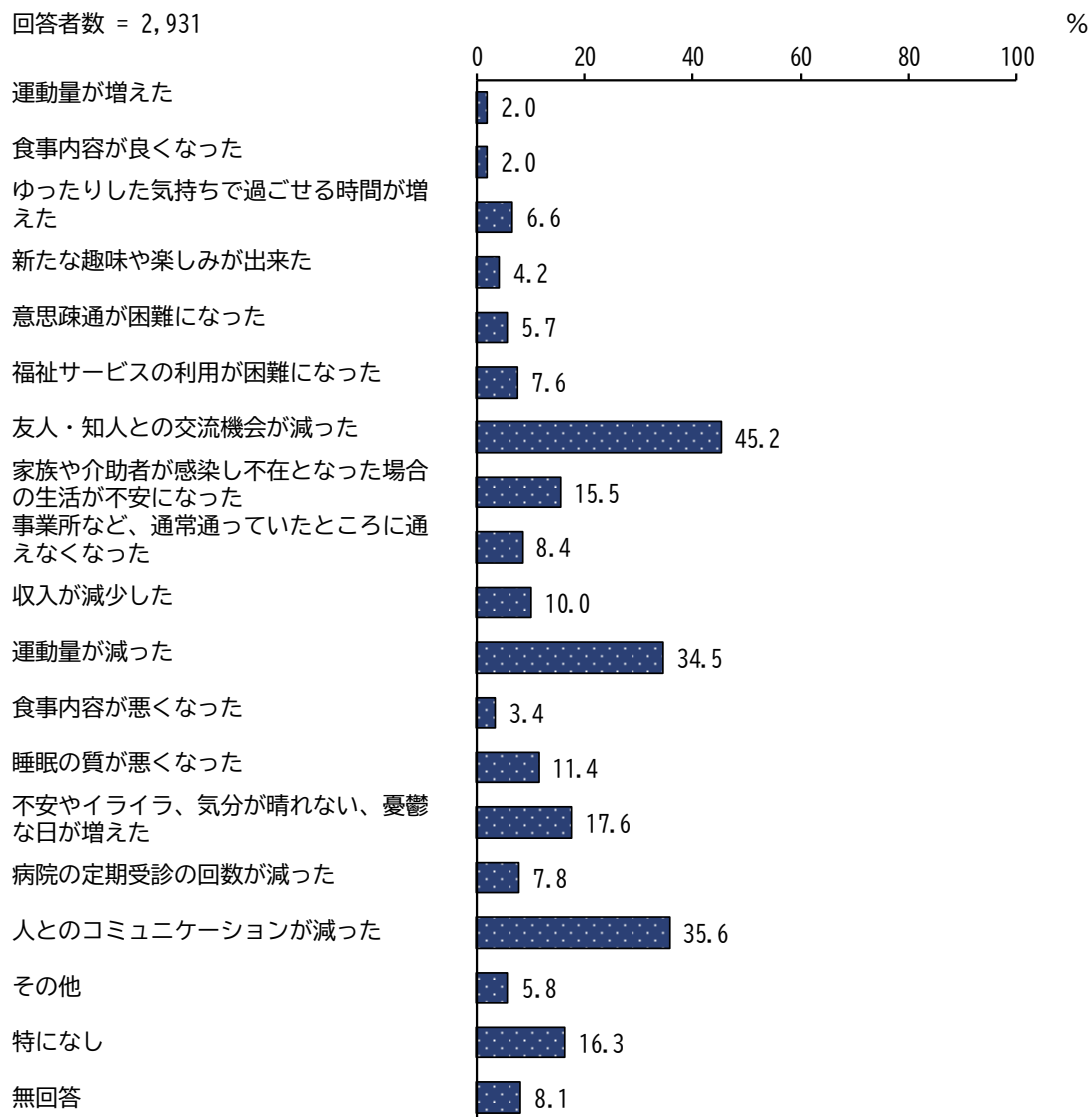
- ・記入の介助をする人が必要。
- ・車いすのサポート。
- ・本人の状況がわかって同行してくれる人、介助してくれる人。
- ・投票へ行く手段がない。
- ・介護をしているので（家族）一人では外出できない。
- ・介助がなければ行くことができない為。
- ・迎えに来てくれたら行けます。
- ・できれば足を運ばないで投票できれば良い。
- ・障害に理解のない方にサポートをされ困った。それからは行かなくなった。親と一緒になぜだめなのか？
- ・不在投票に該当しないと投票させてもらえなかった。
- ・言葉が話せなくても本人の意志を慮って同行者が代筆できる制度。
- ・本人に意思確認が困難なので。
- ・立候補者の政策を理解しやすい言葉で説明してくれるシステム。
- ・名前だけでなく写真を指さして意思を伝えられると良い。
- ・失語症の為、会話が出来ず、記入も思うように出来ない。
- ・投票に行く意志がない。

(12) その他について

問 61 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における、あなたの生活の変化をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人との交流機会が減った」の割合が45.2%と最も高く、次いで「人とのコミュニケーションが減った」の割合が35.6%、「運動量が減った」の割合が34.5%となっています。

回答者数 = 2,931



【障害別】

障害別にみると、他に比べ、精神障害で「不安やイライラ、気分が晴れない、憂鬱な日が増えた」「睡眠の質が悪くなった」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「家族や介助者が感染し不在となった場合の生活が不安になった」の割合が高くなっています。また、高次脳機能障害で「友人・知人との交流機会が減った」「運動量が減った」の割合が、音声・言語・そしゃく機能障害で「友人・知人との交流機会が減った」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	運動量が増えた	食事内容が良くなった	ゆったりとした気持ちで過ごせる時間が増えた	新たな趣味や楽しみが出来た	意思疎通が困難になった	福祉サービスの利用が困難になった	友人・知人との交流機会が減った	家族や介助者が感染し不在となった場合の生活が不安になった	事業所など、通常通っていたところに通えなくなった
全 体	2931	2.0	2.0	6.6	4.2	5.7	7.6	45.2	15.5	8.4
視覚障害	138	0.7	1.4	5.8	2.2	7.2	6.5	44.9	25.4	5.1
聴覚・平衡機能障害	181	2.2	2.8	7.2	3.3	13.8	7.2	43.1	18.8	7.7
音声・言語・そしゃく機能障害	130	0.8	1.5	3.1	0.8	10.0	20.8	34.6	30.0	16.2
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	908	1.2	1.4	5.1	2.0	5.7	9.7	43.1	19.5	10.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	725	2.5	1.5	4.8	3.2	6.5	4.3	51.7	16.7	5.1
知的障害	417	1.0	2.2	7.4	4.8	3.8	23.3	37.6	21.1	23.5
発達障害	367	1.1	2.2	8.7	6.5	4.1	13.4	40.9	14.7	17.2
精神障害	145	1.4	5.5	11.0	11.7	10.3	14.5	40.0	16.6	12.4
高次脳機能障害	130	0.8	—	3.8	—	10.8	13.1	33.8	19.2	10.8
難病(特定疾病)	677	2.7	2.1	7.2	4.7	4.9	7.2	48.2	13.7	6.2
その他	95	1.1	3.2	8.4	3.2	8.4	9.5	45.3	14.7	9.5

単位：%

区分	収入が減少した	運動量が減った	食事内容が悪くなった	睡眠の質が悪くなった	不安やイライラ、気分が晴れない、憂鬱な日が増えた	病院の定期受診の回数が減った	人とのコミュニケーションが減った	その他	特になし	無回答
全体	10.0	34.5	3.4	11.4	17.6	7.8	35.6	5.8	16.3	8.1
視覚障害	10.9	31.2	5.1	12.3	25.4	11.6	35.5	2.9	18.1	8.7
聴覚・平衡機能障害	6.1	32.6	5.0	13.3	17.7	7.7	34.3	4.4	15.5	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	11.5	28.5	3.8	9.2	19.2	9.2	40.8	10.0	15.4	7.7
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	7.7	29.6	3.5	11.7	16.6	9.3	34.5	7.7	18.5	8.0
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等)	12.0	37.1	4.0	12.7	17.1	6.2	41.1	4.4	14.3	8.0
知的障害	7.4	46.3	2.4	7.2	19.2	8.9	33.6	10.1	15.8	4.3
発達障害	6.0	37.6	3.5	9.3	19.3	7.6	34.3	8.7	17.7	4.9
精神障害	10.3	37.9	9.0	23.4	33.1	11.7	35.9	8.3	14.5	8.3
高次脳機能障害	7.7	25.4	1.5	10.0	18.5	9.2	33.8	9.2	20.8	10.0
難病(特定疾病)	13.1	32.6	3.5	12.9	18.8	8.9	38.1	4.6	14.6	7.4
その他	8.4	33.7	1.1	11.6	16.8	8.4	31.6	8.4	17.9	4.2

前ページの続き 表

問 62 最後に、日常的な困りごとや区の障害者福祉施策について、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

分類回答	件数
1 療育教育	23
2 雇用就業	30
3 保健医療	47
4 福祉サービス	504
5 相談情報提供	10
6 地域福祉	27
7 生活環境	37
8 障害者施策推進体制	11
9 その他	29
回答者数	718

2 事業所

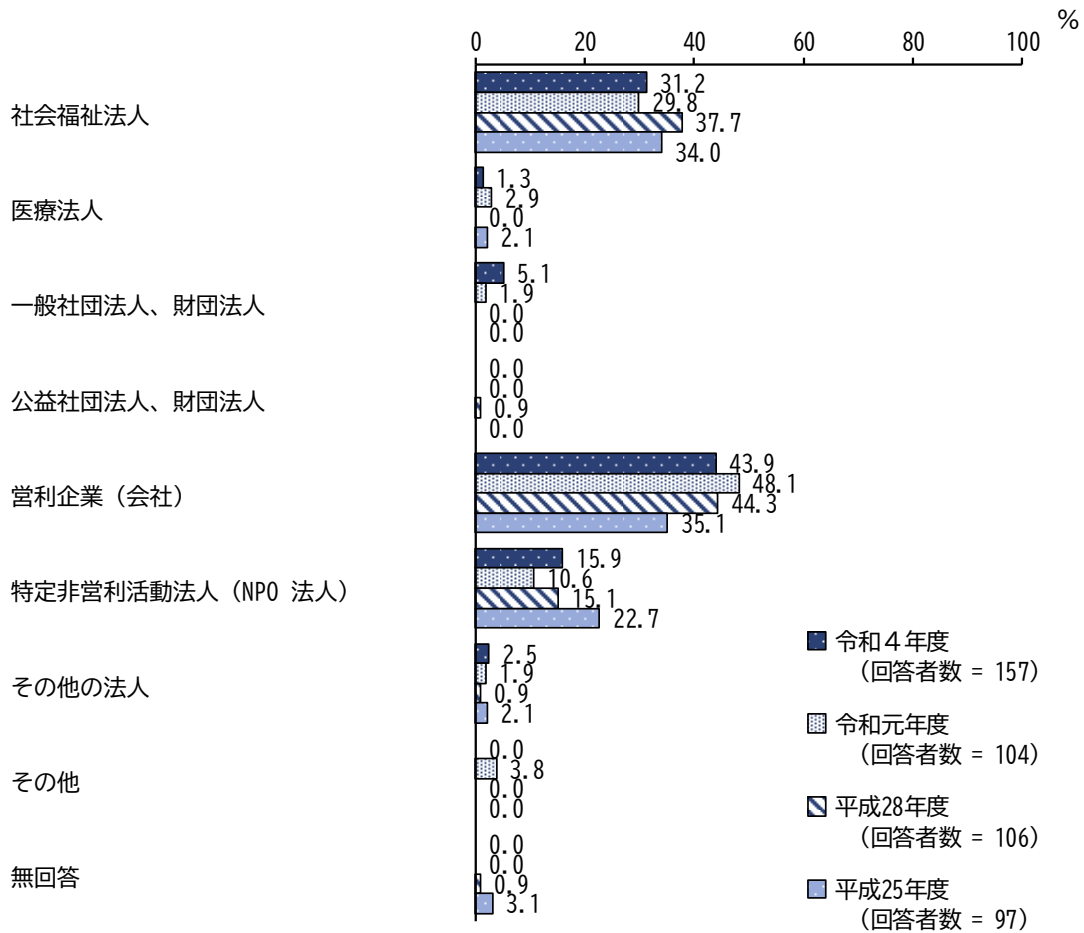
(1) 貴事業所の概要について

問1 貴事業所の法人格は何ですか。(1つに○)

「営利企業（会社）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が 31.2%、「特定非営利活動法人（NPO 法人）」の割合が 15.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「特定非営利活動法人（NPO 法人）」の割合が増加しています。

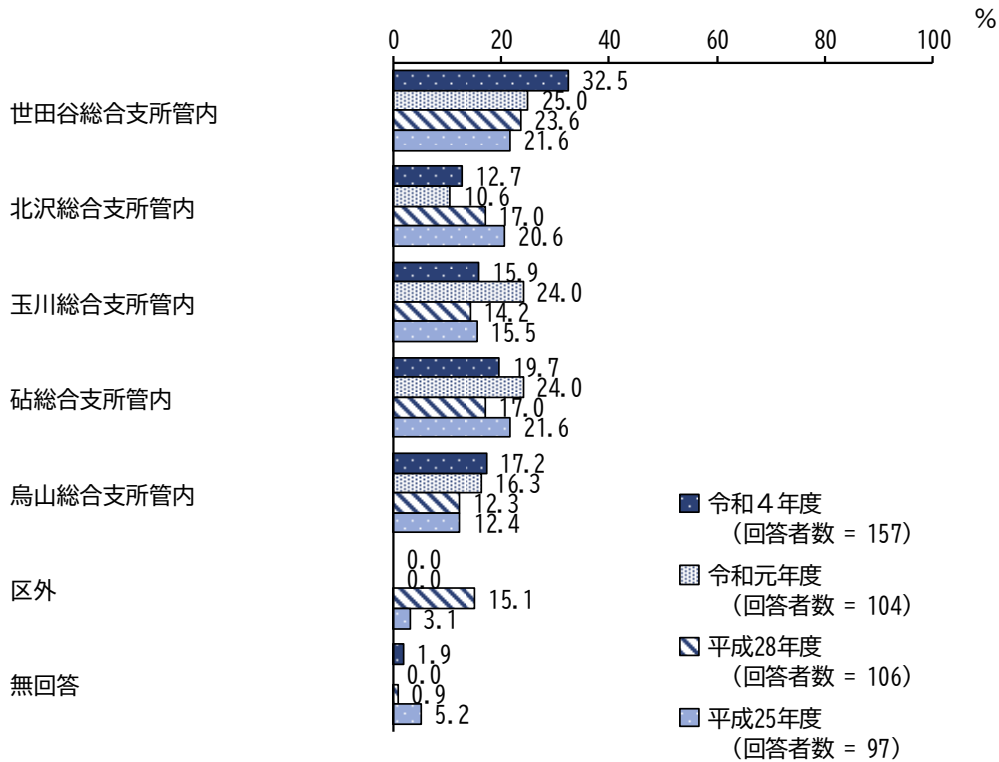


問2 貴事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

「世田谷総合支所管内」の割合が32.5%と最も高く、次いで「砧総合支所管内」の割合が19.7%、「烏山総合支所管内」の割合が17.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「世田谷総合支所管内」の割合が増加しています。一方、「玉川総合支所管内」の割合が減少しています。

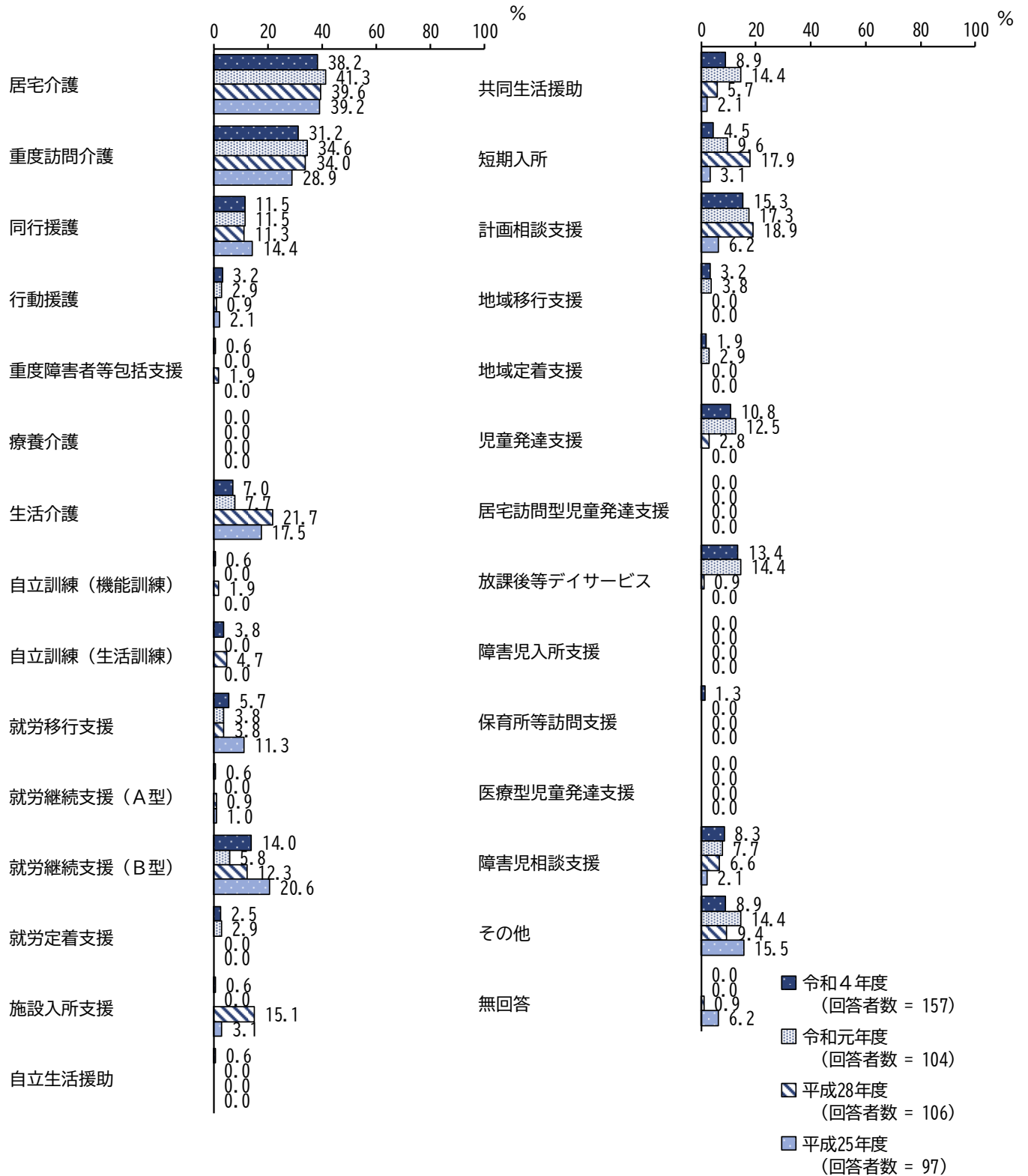


問3 提供しているサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「居宅介護」の割合が38.2%と最も高く、次いで「重度訪問介護」の割合が31.2%、「計画相談支援」の割合が15.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「就労継続支援（B型）」の割合が増加しています。

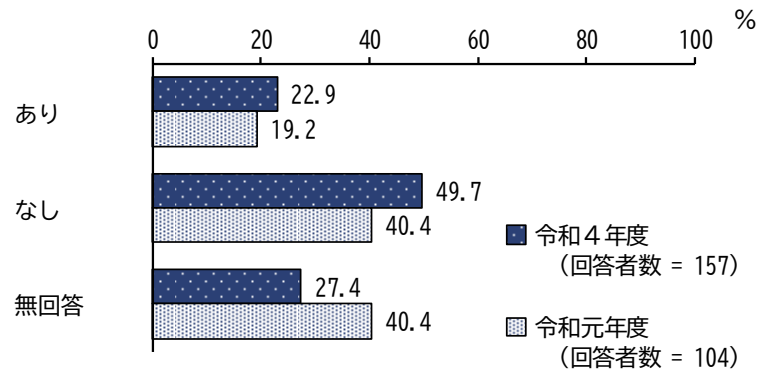


従たる事業所の有無（いずれかに○）

「あり」の割合が22.9%、「なし」の割合が49.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「なし」の割合が増加しています。



問4 サービスごとの世田谷区民利用者の内訳をご記入ください。なお、重複障害は主たる障害でカウントしてください。

サービスごとの利用者内訳については、下表の通りです。

サービス名	回答件数	1事業所平均利用者数（単位：名）					
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	高次脳機能障害者	障害児
居宅介護	48	5.25	1.71	2.27	0.06	0.29	0.81
重度訪問介護	32	2.66	0.34	0.13	-	0.06	-
同行援護	12	3.25	-	-	-	-	-
行動援護	2	-	1.00	-	-	-	-
生活介護	9	12.00	18.22	0.11	-	0.56	-
自立訓練（生活訓練）	4	2.00	2.00	1.50	0.25	2.00	-
就労移行支援	9	1.22	3.67	1.33	2.33	0.22	-
就労継続支援（A型）	1	1.00	1.00	13.00	-	-	-
就労継続支援（B型）	22	1.73	17.91	10.23	1.27	0.09	-
就労定着支援	4	-	9.75	1.25	-	-	-
施設入所支援	1	5.00	16.00	2.00	9.00	6.00	-
共同生活援助	13	0.77	4.85	4.69	0.54	0.08	-
短期入所	6	6.50	34.83	0.17	-	0.33	11.17
計画相談支援	16	4.13	27.81	30.69	0.38	3.75	0.31
地域移行支援	3	-	0.33	1.00	-	-	-
児童発達支援	14	-	0.43	-	3.79	-	51.50
放課後等デイサービス	20	0.65	4.95	0.05	6.70	-	20.95
保育所等訪問支援	1	-	-	-	-	-	11.00
障害児相談支援	6	0.67	2.50	-	86.00	-	13.17
その他	41	1.12	4.83	2.02	0.46	1.34	0.56

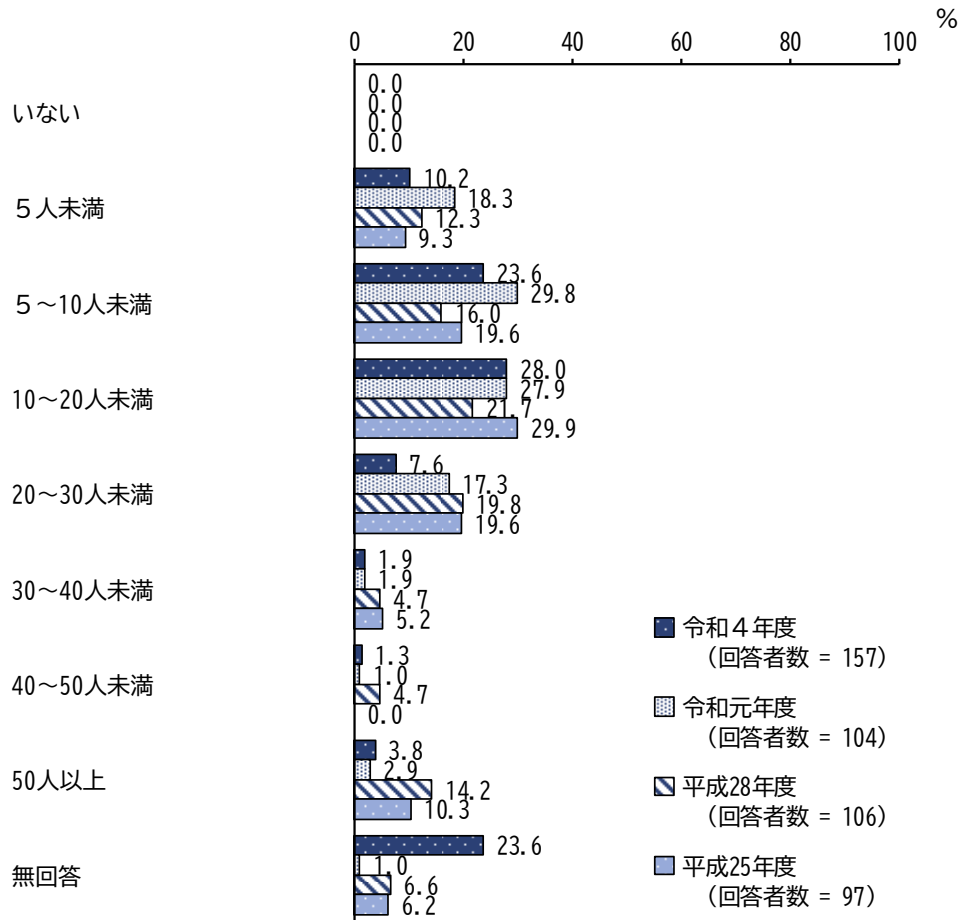
問5 令和4年4月1日現在の職員数をご記入ください。(実人数)

総人数

「10～20人未満」の割合が28.0%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が23.6%、「5人未満」の割合が10.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「5人未満」「5～10人未満」「20～30人未満」の割合が減少しています。

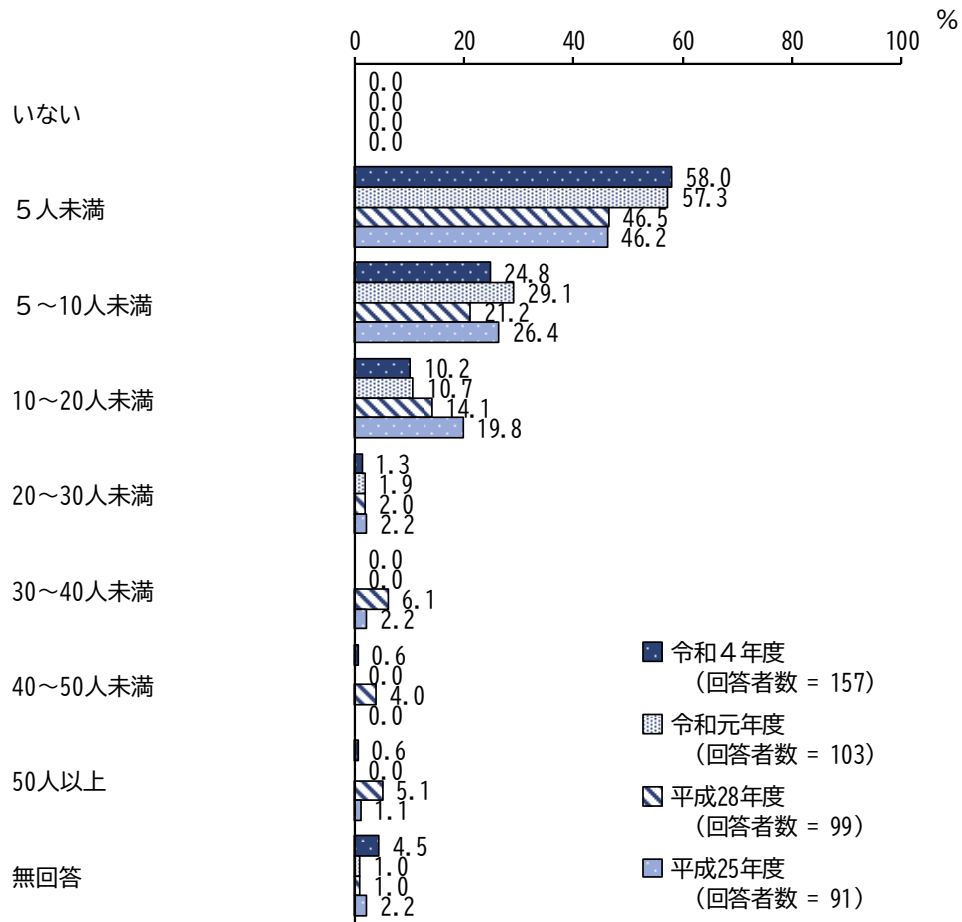


人数（常勤）

「5人未満」の割合が58.0%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が24.8%、「10～20人未満」の割合が10.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。

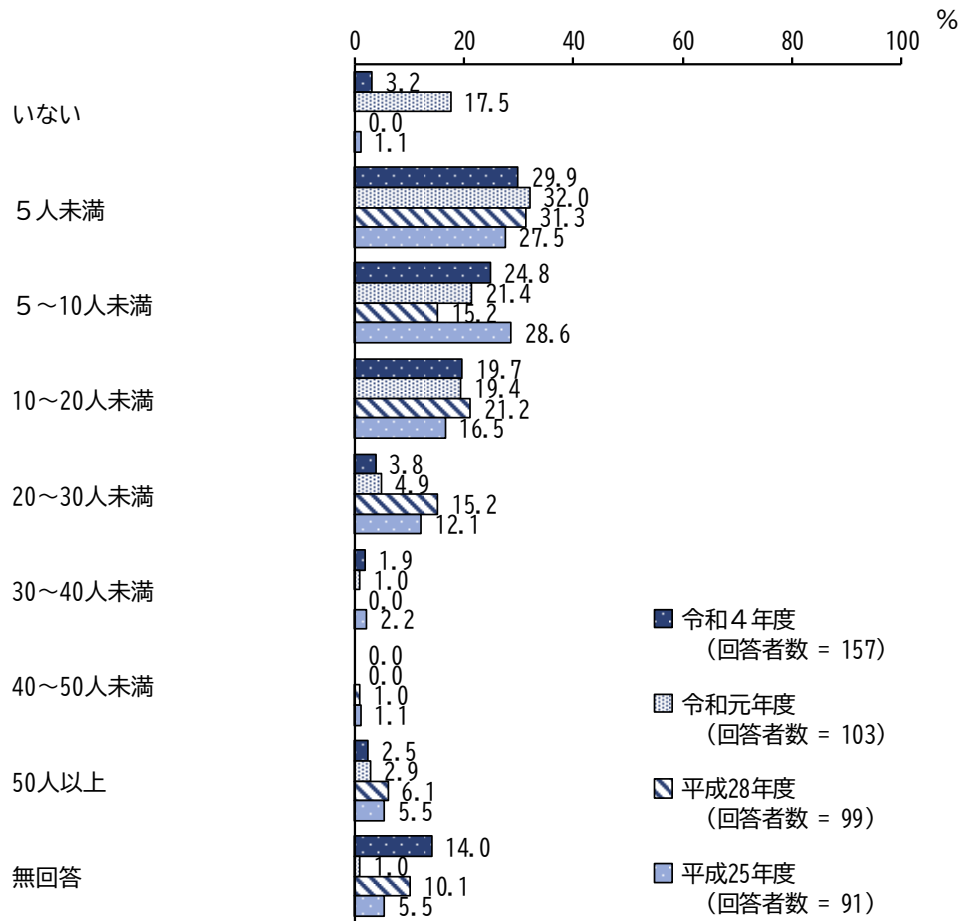


人数（非常勤）

「5人未満」の割合が29.9%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が24.8%、「10～20人未満」の割合が19.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

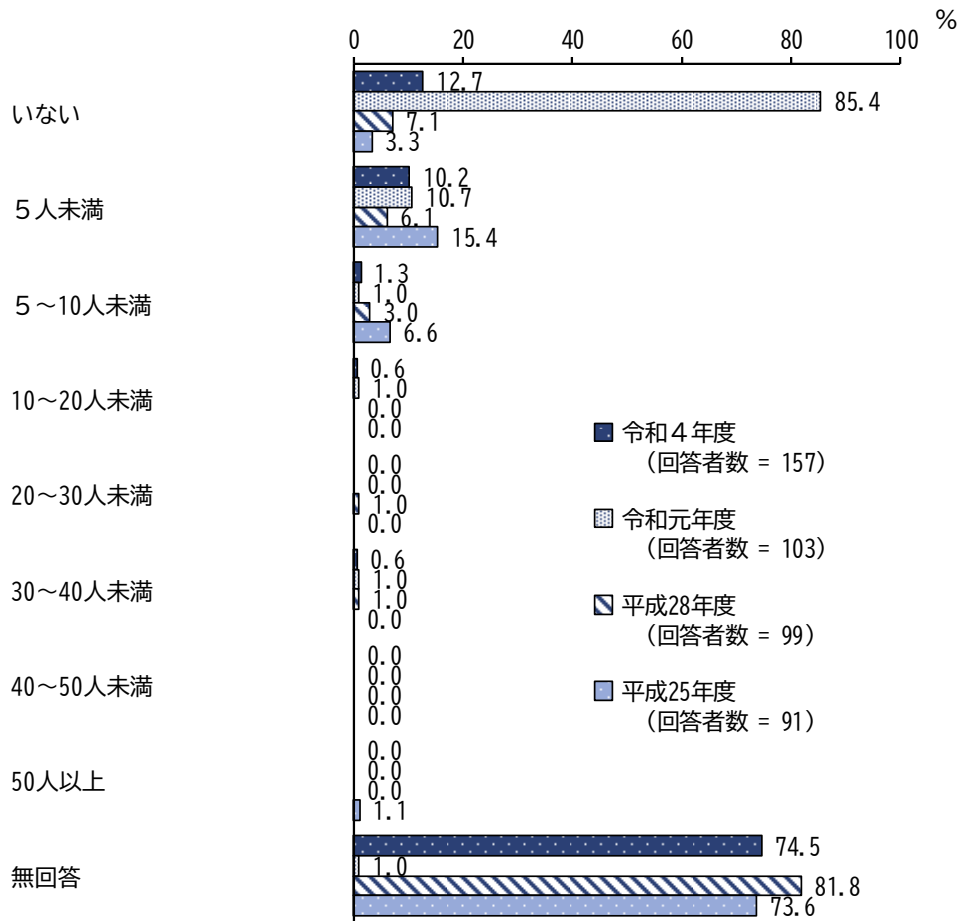


人数（その他）

「いない」の割合が12.7%と最も高く、次いで「5人未満」の割合が10.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。



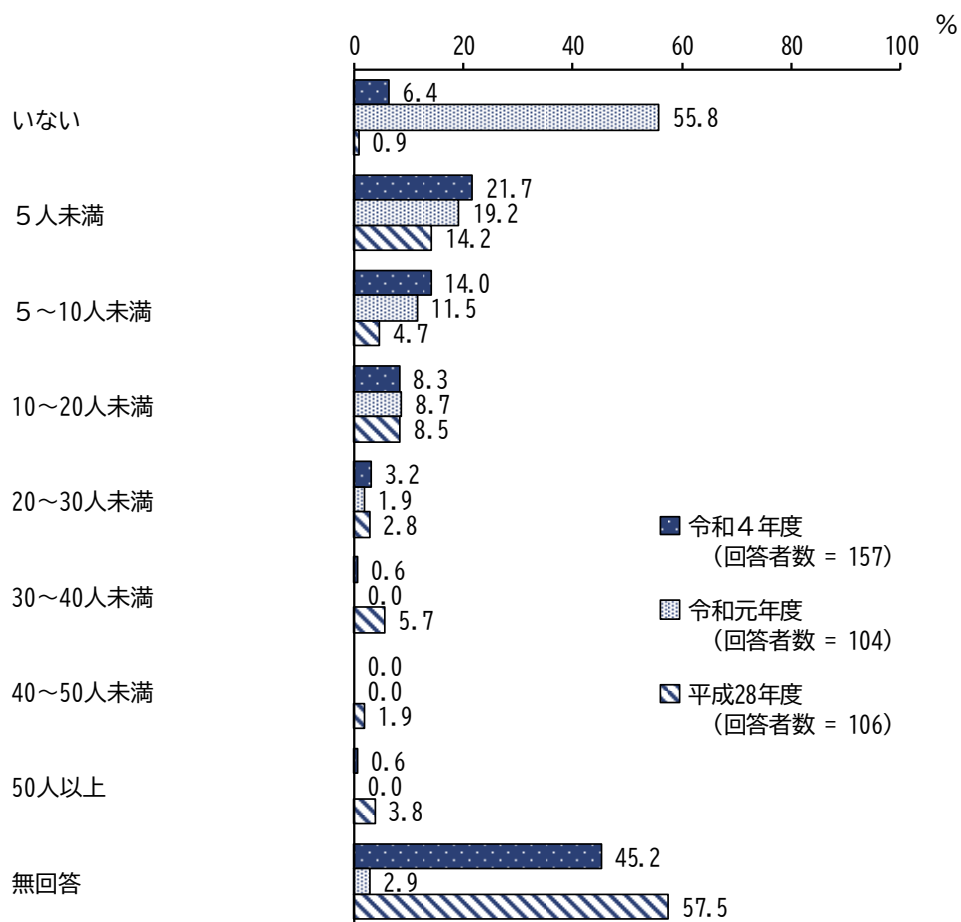
問6 令和4年4月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。

生活支援員

「5人未満」の割合が21.7%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が14.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

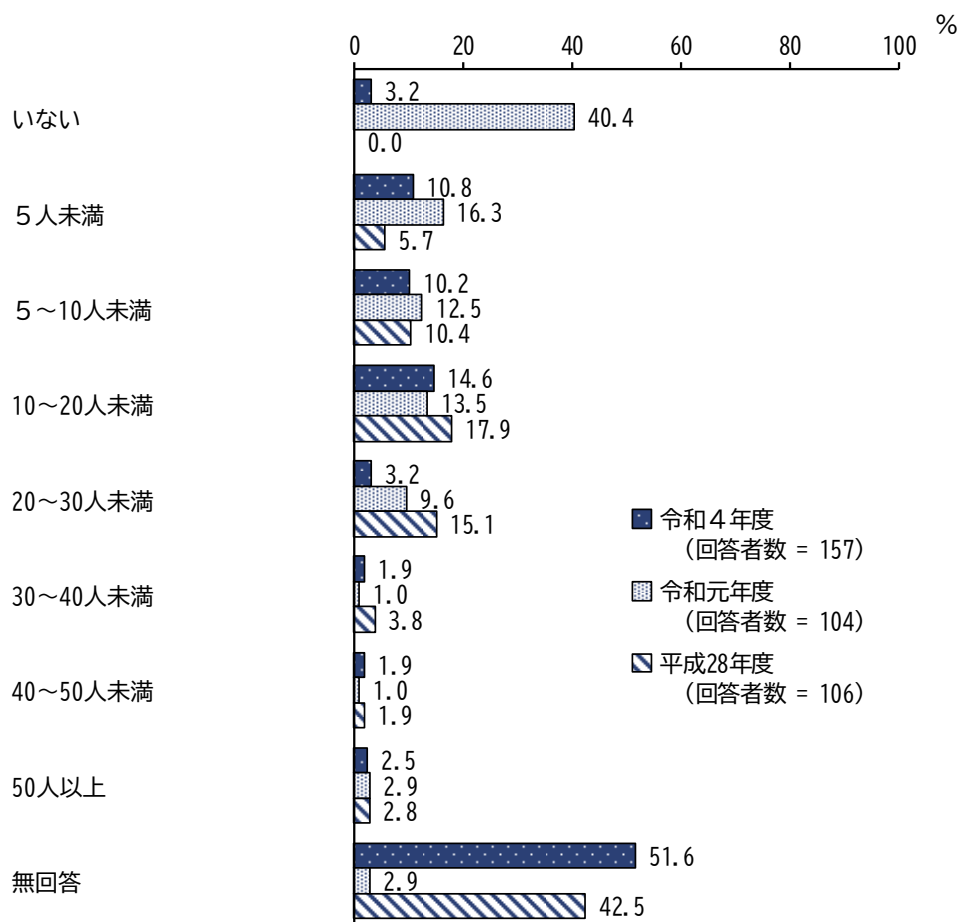


介護職員

「10～20人未満」の割合が14.6%と最も高く、次いで「5人未満」の割合が10.8%、「5～10人未満」の割合が10.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」「5人未満」「20～30人未満」の割合が減少しています。

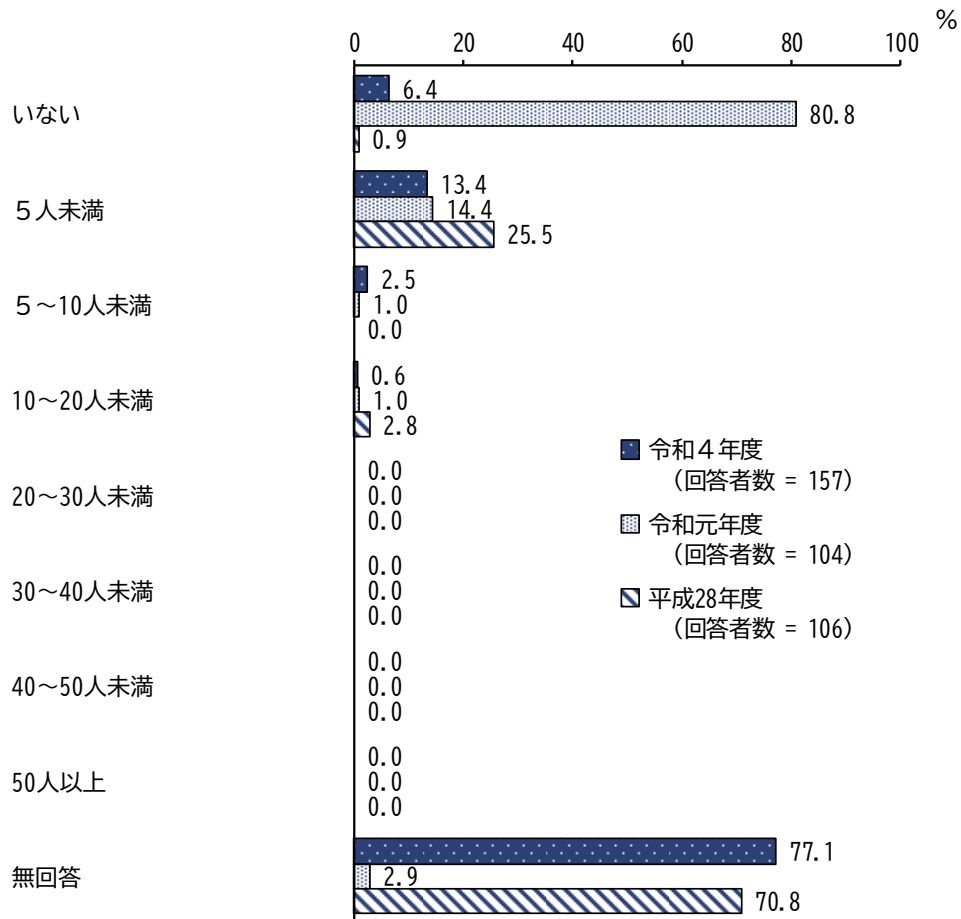


看護師

「5人未満」の割合が13.4%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

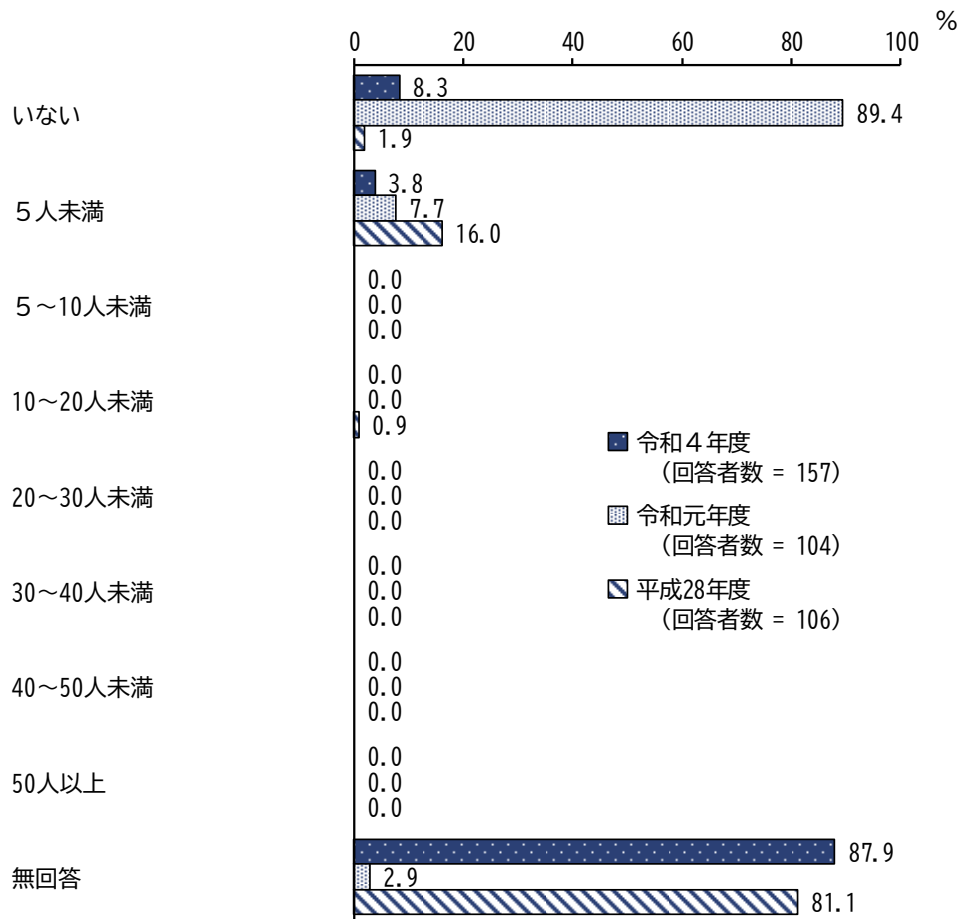


栄養士

「いない」の割合が8.3%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

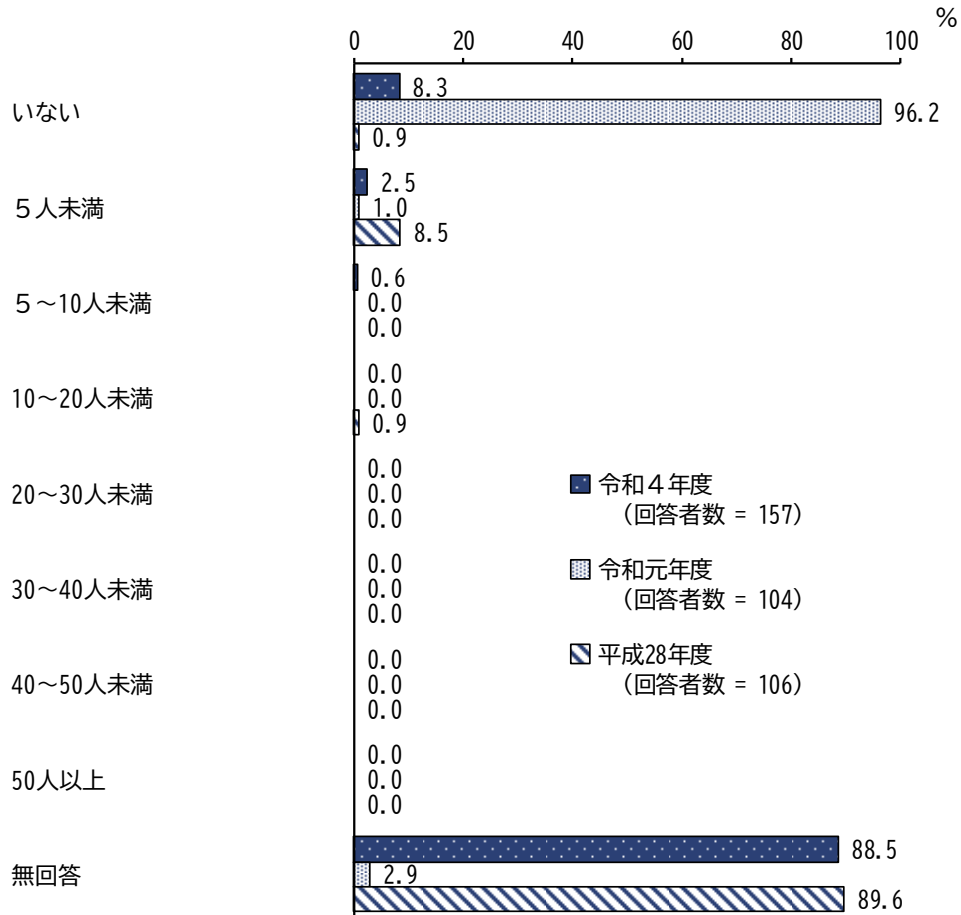


理学療法士

「いない」の割合が8.3%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

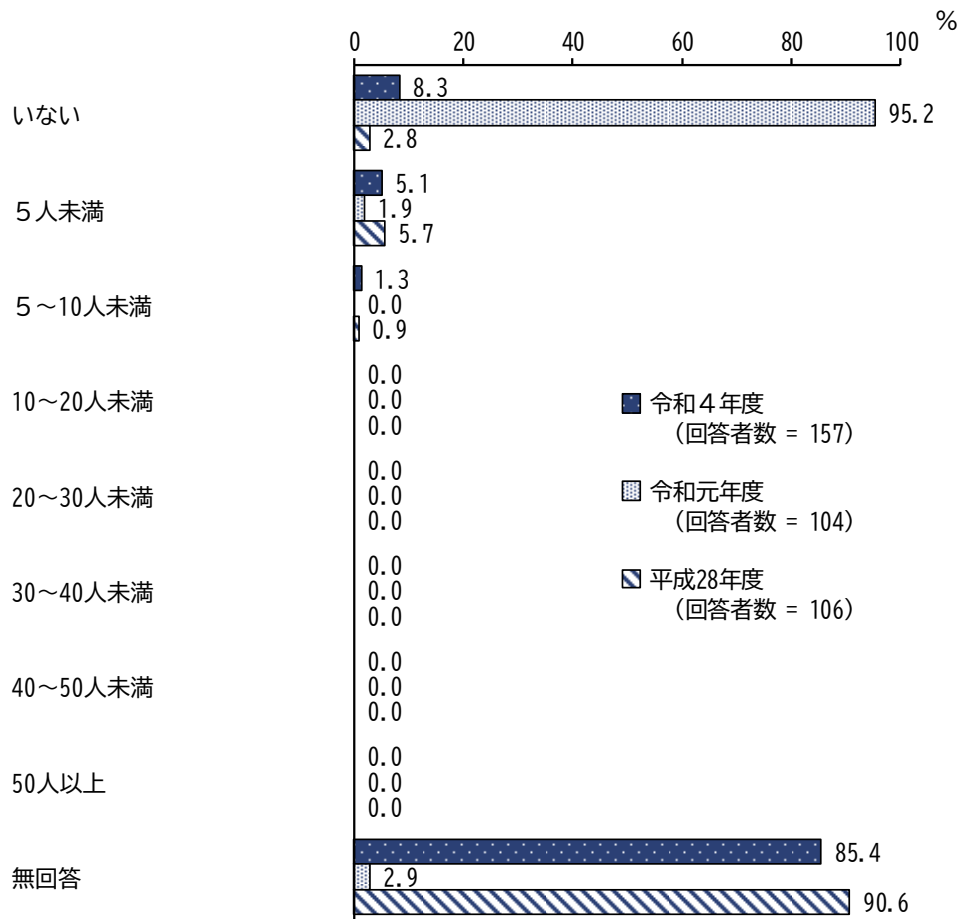


作業療法士

「いない」の割合が8.3%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

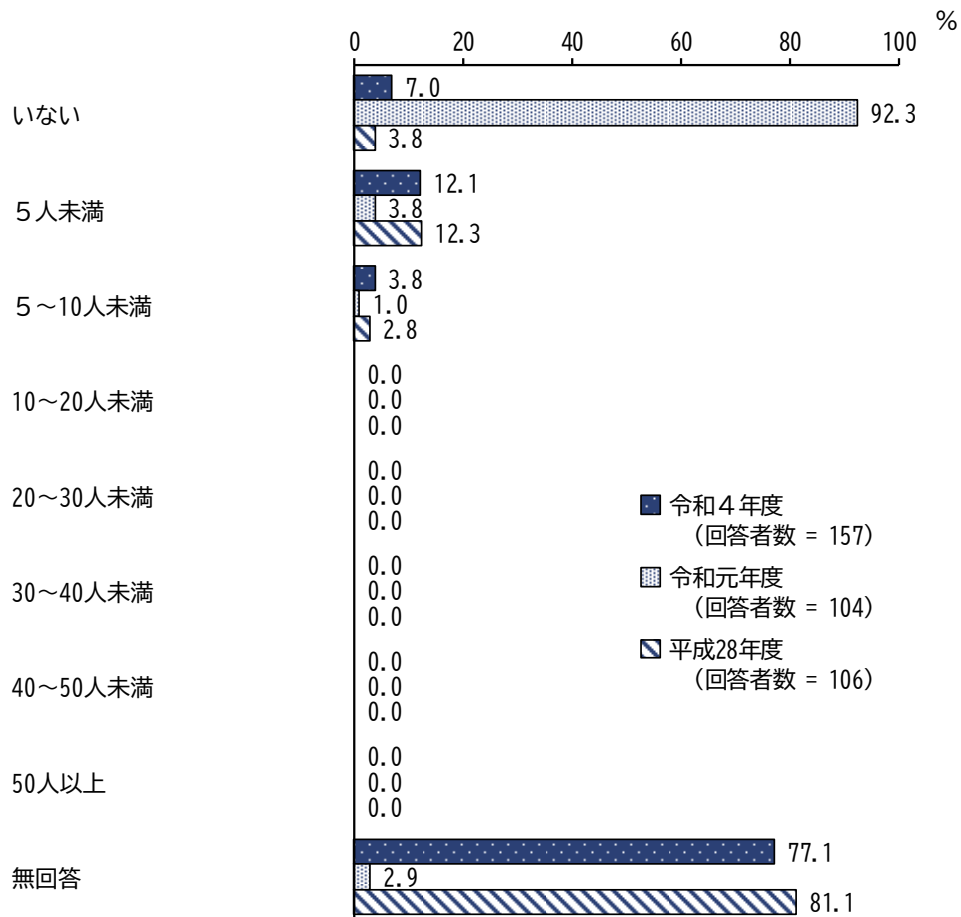


職業指導員

「5人未満」の割合が12.1%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「5人未満」の割合が増加しています。一方、「いない」の割合が減少しています。

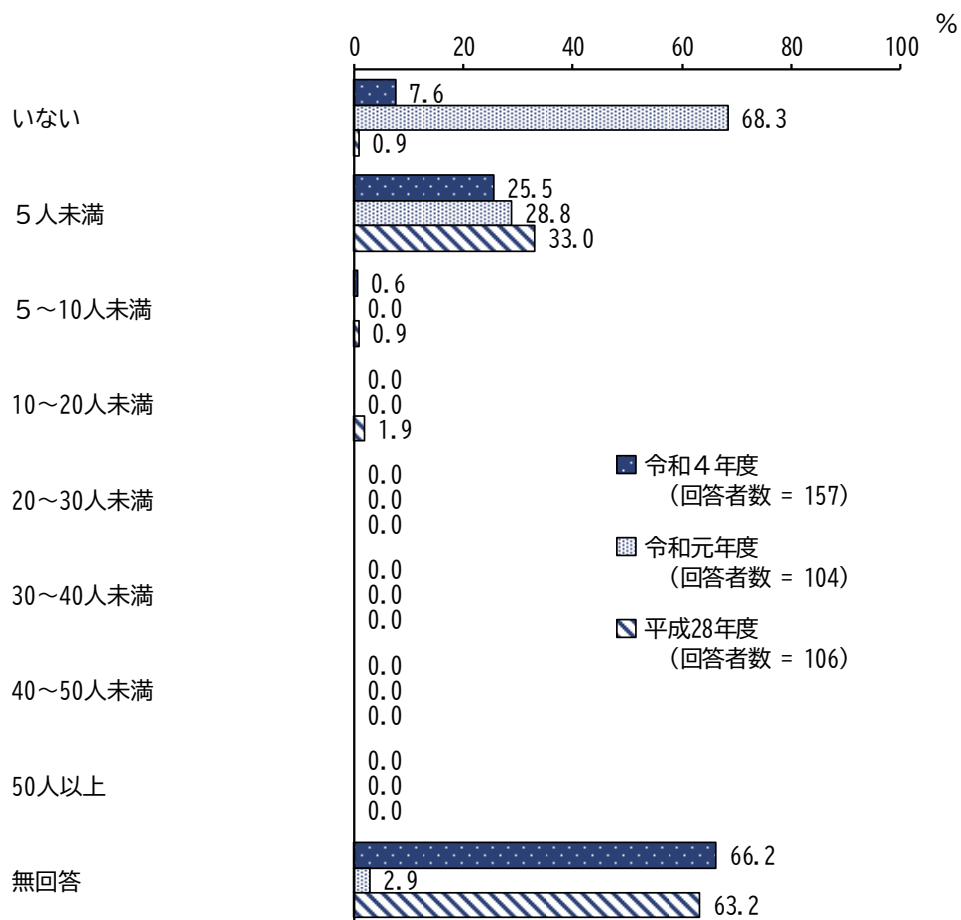


事務職員

「5人未満」の割合が25.5%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

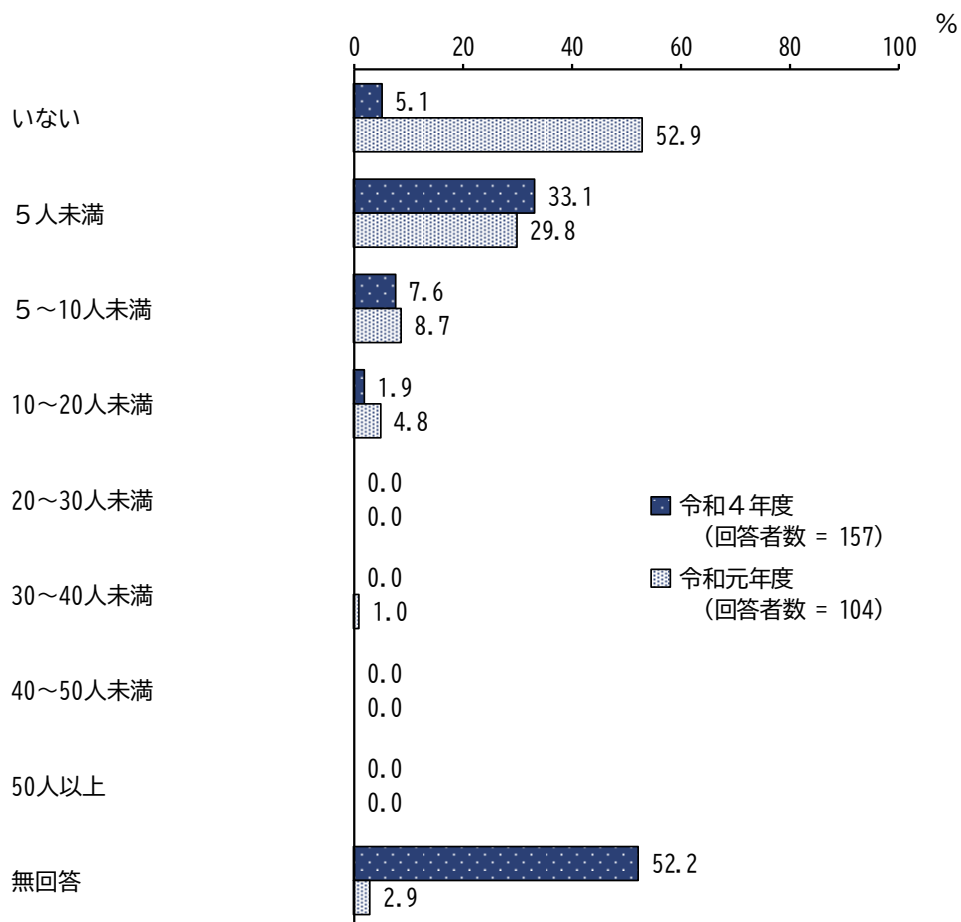


その他

「5人未満」の割合が33.1%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。



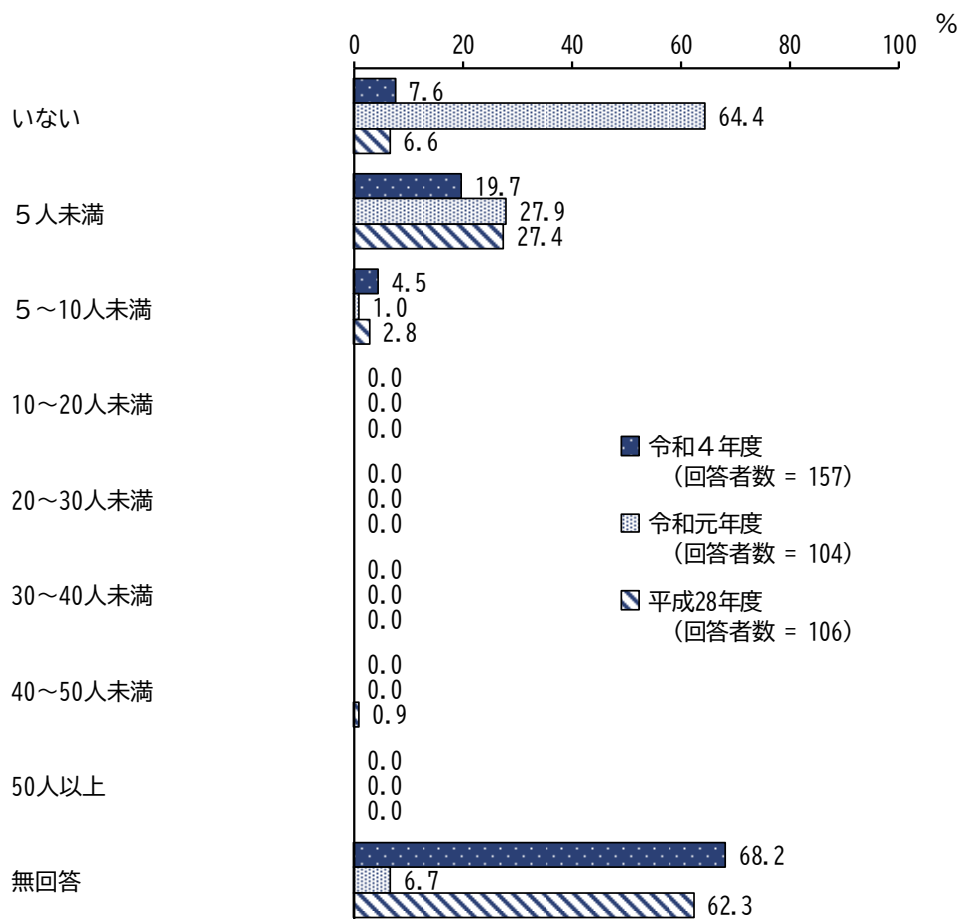
問7 令和4年4月1日現在の経験年数（貴事業所での年数に限らず）別の職員数をご記入ください。

6か月未満

「5人未満」の割合が19.7%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」「5人未満」の割合が減少しています。

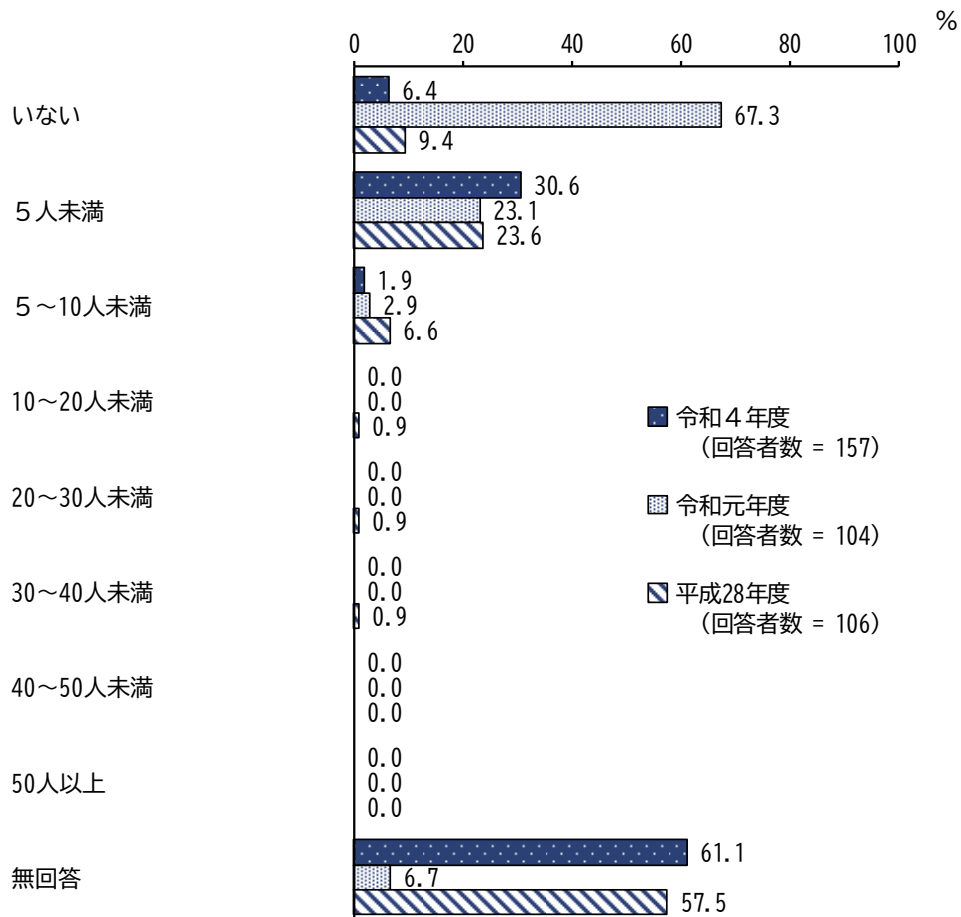


6か月以上1年未満

「5人未満」の割合が30.6%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「5人未満」の割合が増加しています。一方、「いない」の割合が減少しています。

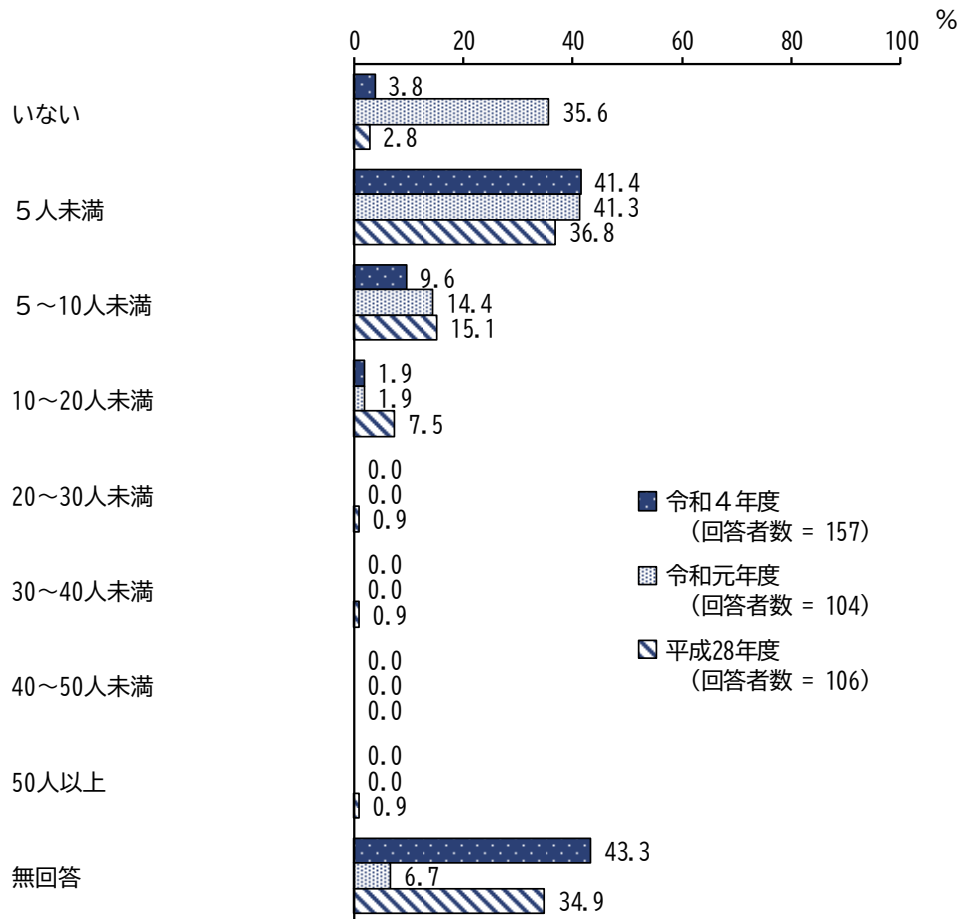


1年以上3年未満

「5人未満」の割合が41.4%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

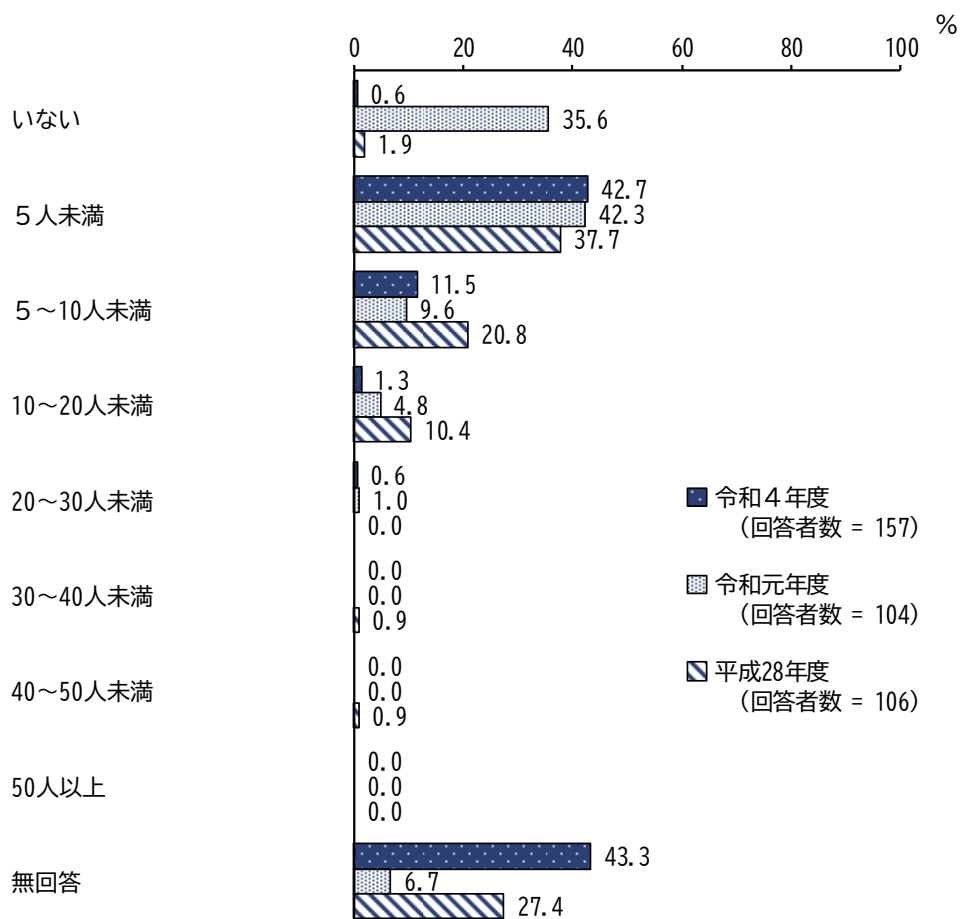


3年以上5年未満

「5人未満」の割合が42.7%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が11.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

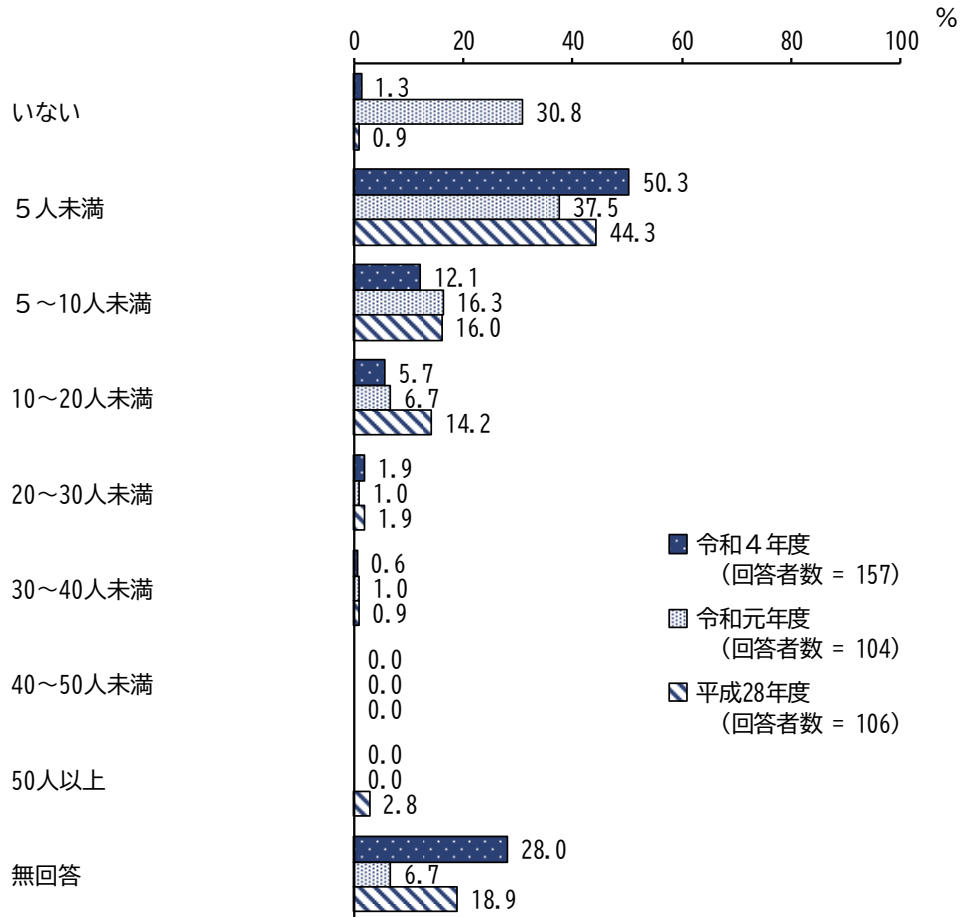


5年以上10年未満

「5人未満」の割合が50.3%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が12.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「5人未満」の割合が増加しています。一方、「5～10人未満」「いない」の割合が減少しています。

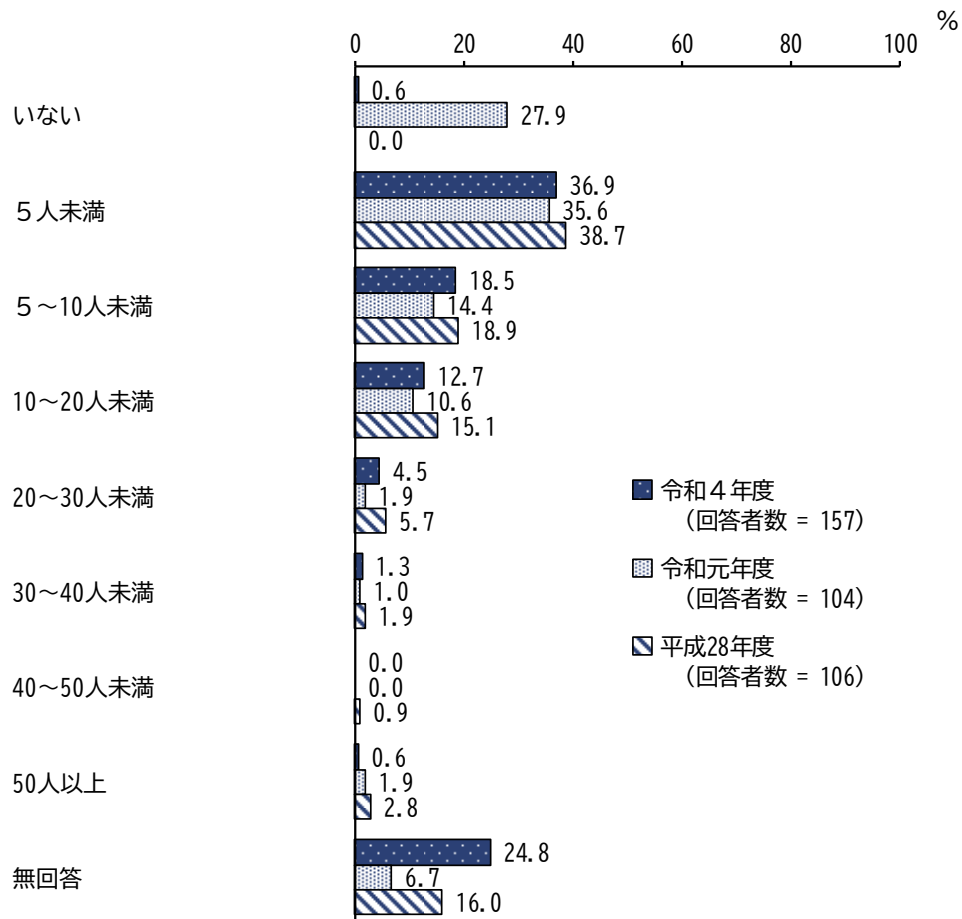


10年以上

「5人未満」の割合が36.9%と最も高く、次いで「5～10人未満」の割合が18.5%、「10～20人未満」の割合が12.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。

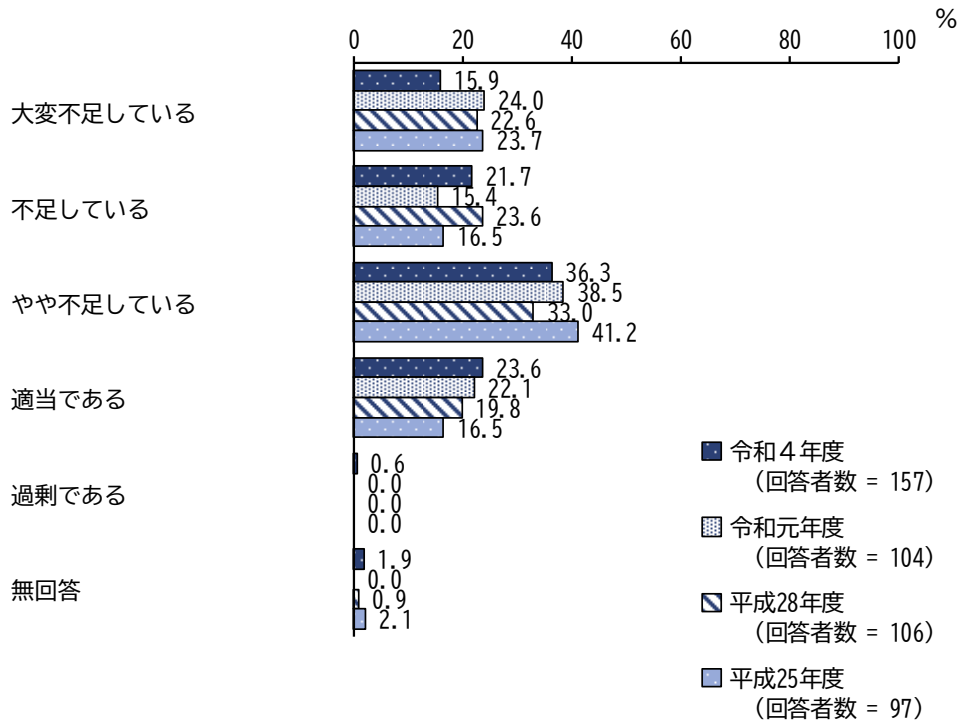


問8 現在、職員の過不足の状況はどれですか。(1つに○)

「やや不足している」の割合が36.3%と最も高く、次いで「適当である」の割合が23.6%、「不足している」の割合が21.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「不足している」の割合が増加しています。一方、「大変不足している」の割合が減少しています。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、社会福祉法人で「適当である」の割合が高くなっています。また、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「不足している」の割合が、営利企業（会社）で「適当である」の割合が、社会福祉法人で「大変不足している」の割合が低くなっています。

単位：％

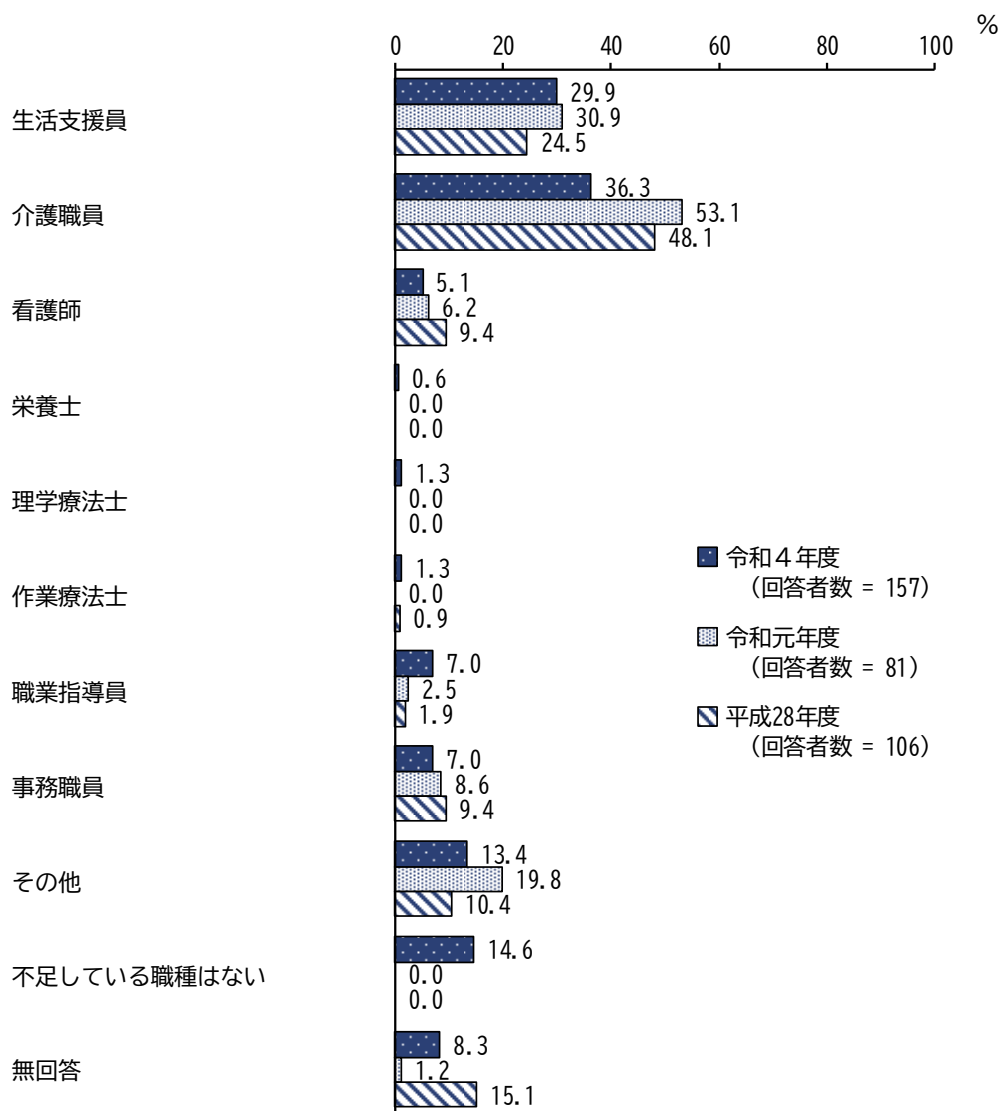
区分	回答者数 (件)	大変不足している	不足している	やや不足している	適当である	過剰である	無回答
全 体	157	15.9	21.7	36.3	23.6	0.6	1.9
社会福祉法人	49	10.2	22.4	38.8	28.6	—	—
医療法人	2	—	—	50.0	50.0	—	—
一般社団法人、財団法人	8	25.0	25.0	12.5	25.0	—	12.5
公益社団法人、財団法人	—	—	—	—	—	—	—
営利企業（会社）	69	18.8	24.6	36.2	17.4	—	2.9
特定非営利活動法人（NPO 法人）	25	16.0	12.0	40.0	28.0	4.0	—
その他の法人	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

問9 不足している職員の職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護職員」の割合が36.3%と最も高く、次いで「生活支援員」の割合が29.9%、「不足している職種はない」の割合が14.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「不足している職種はない」の割合が増加しています。一方、「介護職員」の割合が減少しています。



※前回は「不足している職種はない」の選択肢はありませんでした。

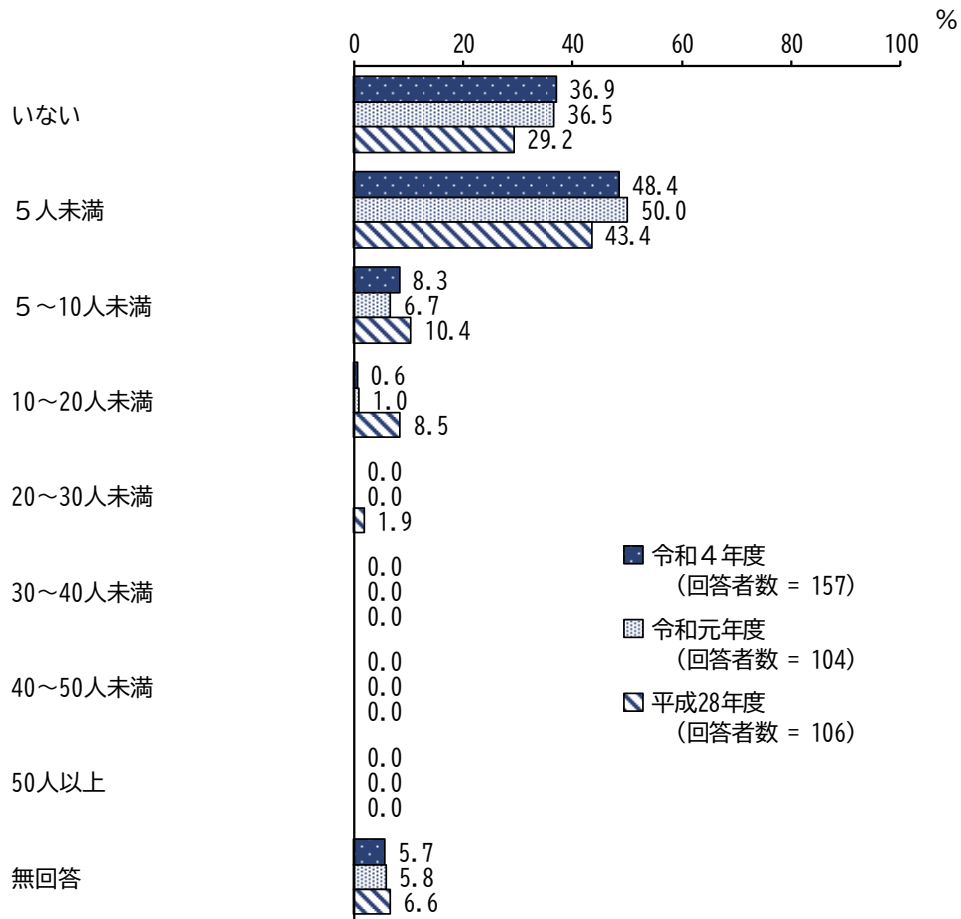
問 10 令和3年度中の退職者数をご記入ください。(実人数)

退職者総数

「5人未満」の割合が48.4%と最も高く、次いで「いない」の割合が36.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。

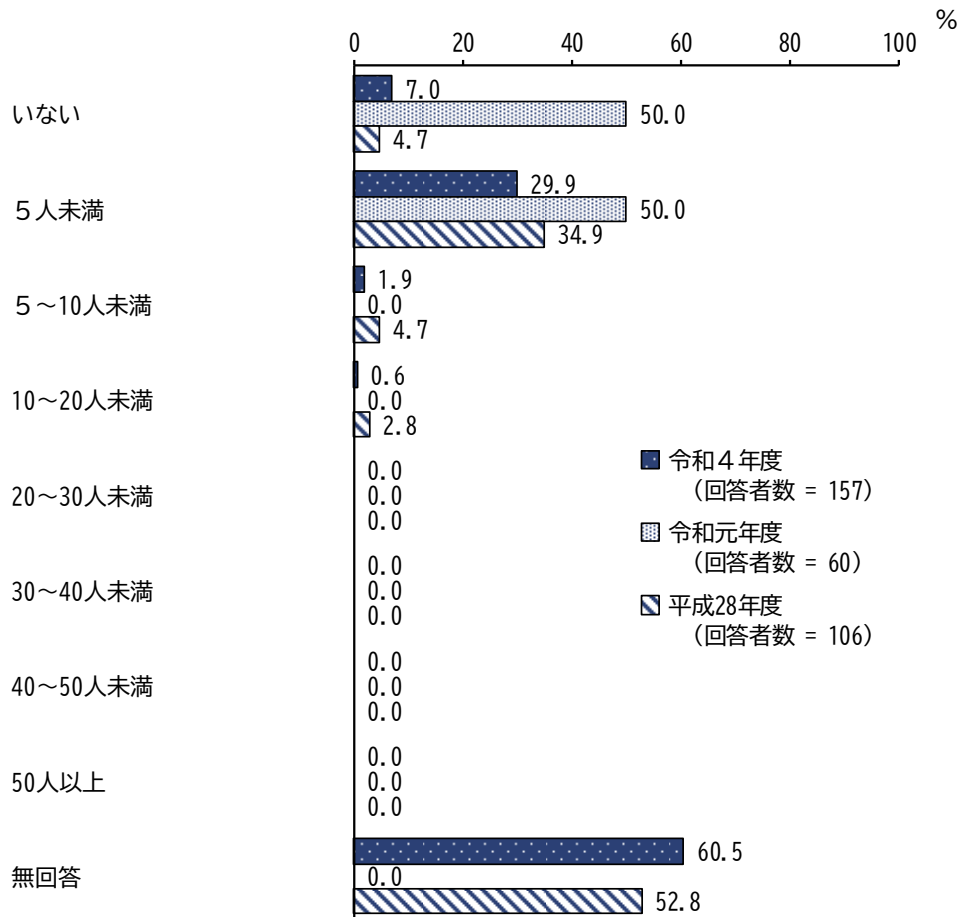


退職者数（常勤）

「5人未満」の割合が29.9%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」「5人未満」の割合が減少しています。

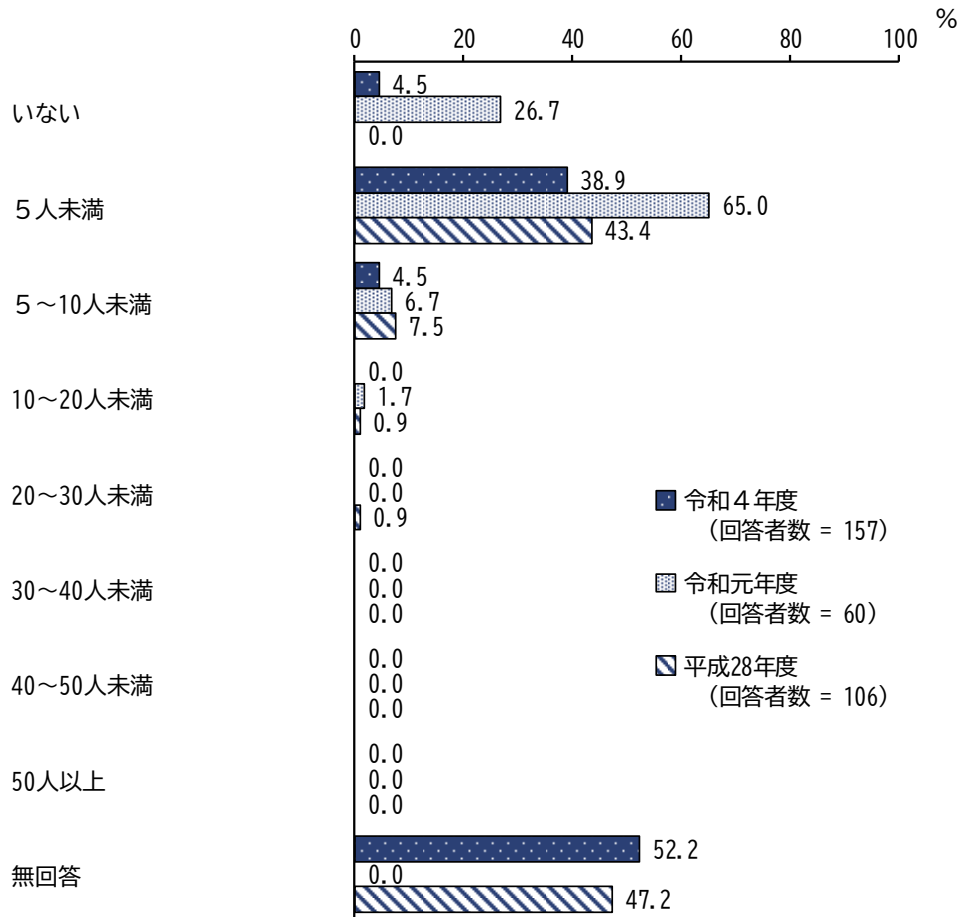


退職者数（非常勤）

「5人未満」の割合が38.9%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」「5人未満」の割合が減少しています。

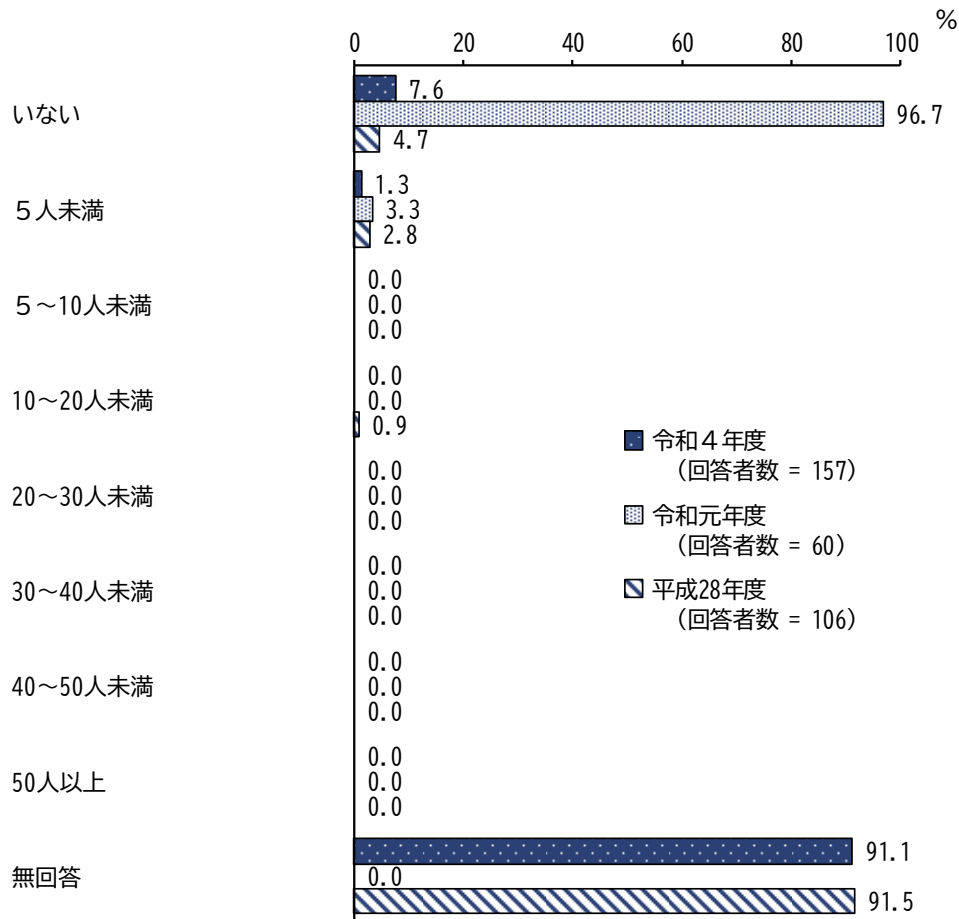


退職者数（その他）

「いない」の割合が7.6%と最も高くなっています。

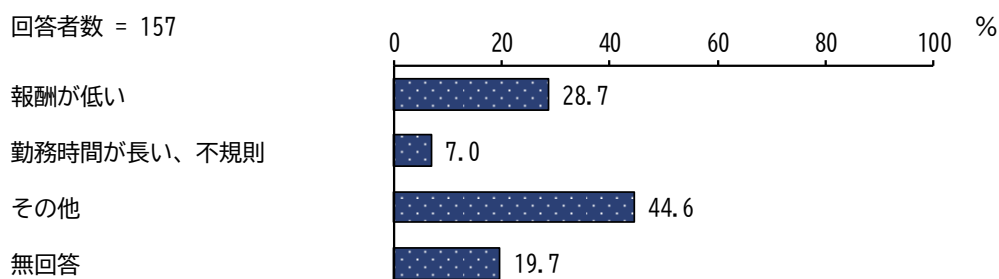
【経年比較】

令和元年度と比較すると、「いない」の割合が減少しています。



問 11 一般的に従業員の退職が多い理由について、貴事業所（法人）では、どのように考えていますか。（1つに○）

「報酬が低い」の割合が28.7%、「勤務時間が長い、不規則」の割合が7.0%となっています。



問12 地域の事業者が一体となって取り組む人材確保・育成・定着の取り組みについて、アイデアや要望などありましたらご記入ください（自由記入）

※一部抜粋

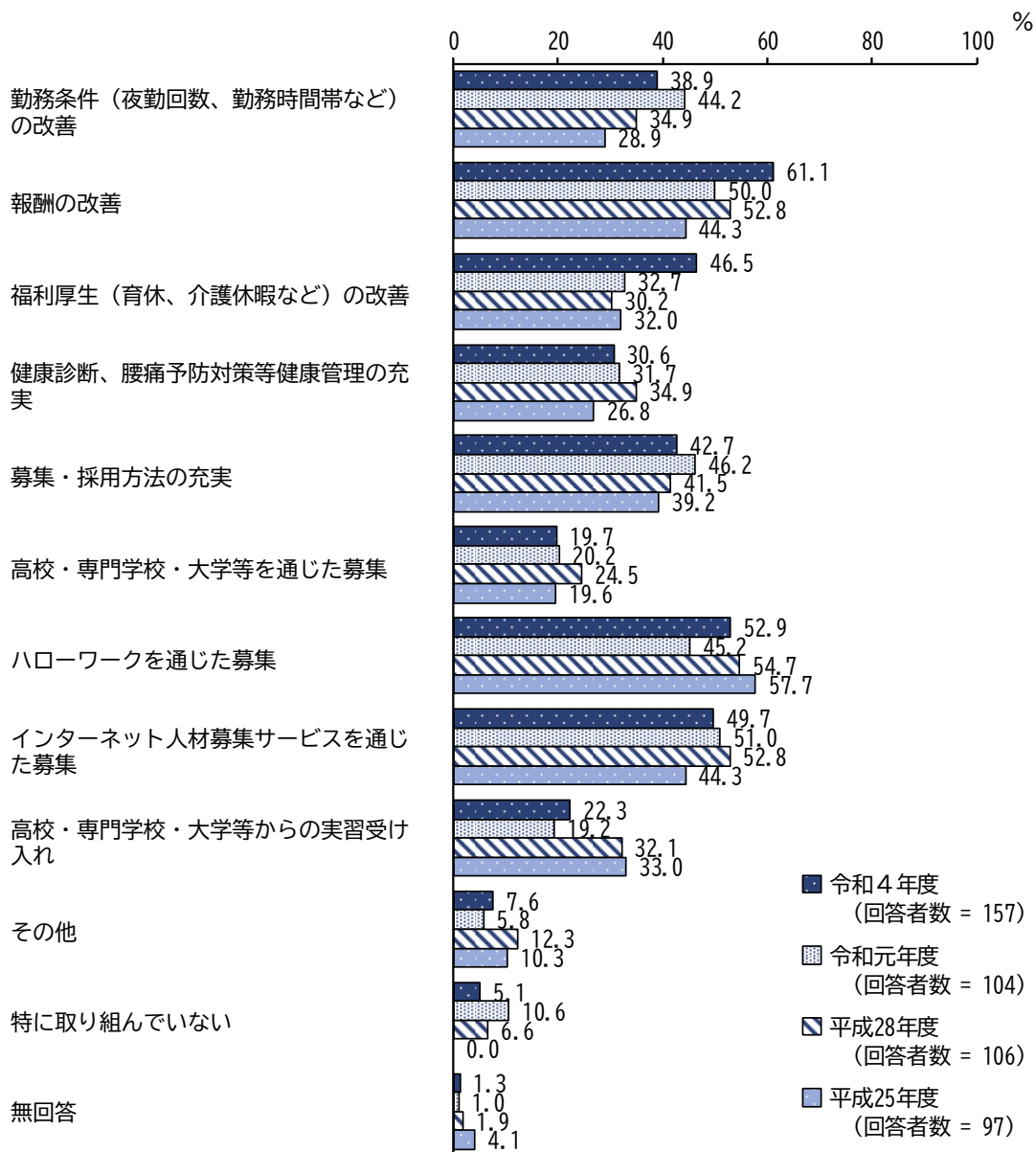
- ・学生のボランティア体験。
- ・各学校、大学へのリクルート活動、事業所紹介。
- ・福祉系学校と連携して実習生を受け入れる。
- ・求職者に対する事業所ツアーを行い、実際に雰囲気を感じてもらいながら応募につなげていくこと。
- ・送迎を一事業所だけで行うのは経費・人員ともに困難なので、地域ごとの乗合いサービスのようなのがあるとよい。
- ・グループホーム連絡会の機会をつくり、情報交換、交流、テーマごとの話し合いを行えるようにすること。
- ・職員をプールでき、派遣できる業務育成体制の構築。
- ・事業所が相互の見学、研修の機会をもつ。
- ・比較的経験の浅い職員が多いので研修の機会を多くとりたい。オンラインでもっと多くの機会があるとよい。

問13 貴事業所（法人）では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

「報酬の改善」の割合が61.1%と最も高く、次いで「ハローワークを通じた募集」の割合が52.9%、「インターネット人材募集サービスを通じた募集」の割合が49.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「報酬の改善」「福利厚生（育休、介護休暇など）の改善」「ハローワークを通じた募集」の割合が増加しています。一方、「勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善」「特に取り組んでいない」の割合が減少しています。

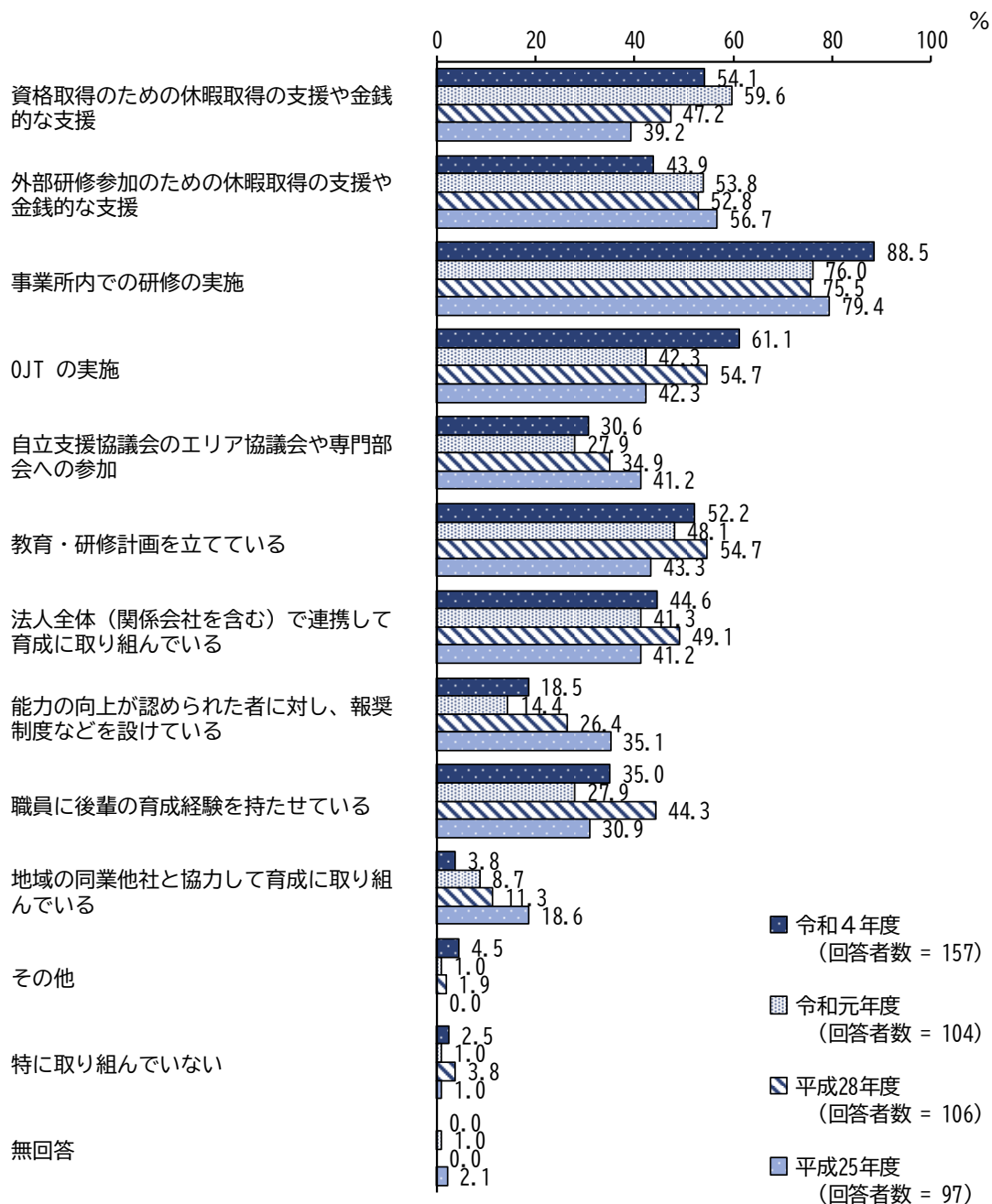


問 14 貴事業所（法人）では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

「事業所内での研修の実施」の割合が88.5%と最も高く、次いで「OJT の実施」の割合が61.1%、「資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援」の割合が54.1%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「事業所内での研修の実施」「OJT の実施」「職員に後輩の育成経験を持たせている」の割合が増加しています。一方、「資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援」「外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援」の割合が減少しています。

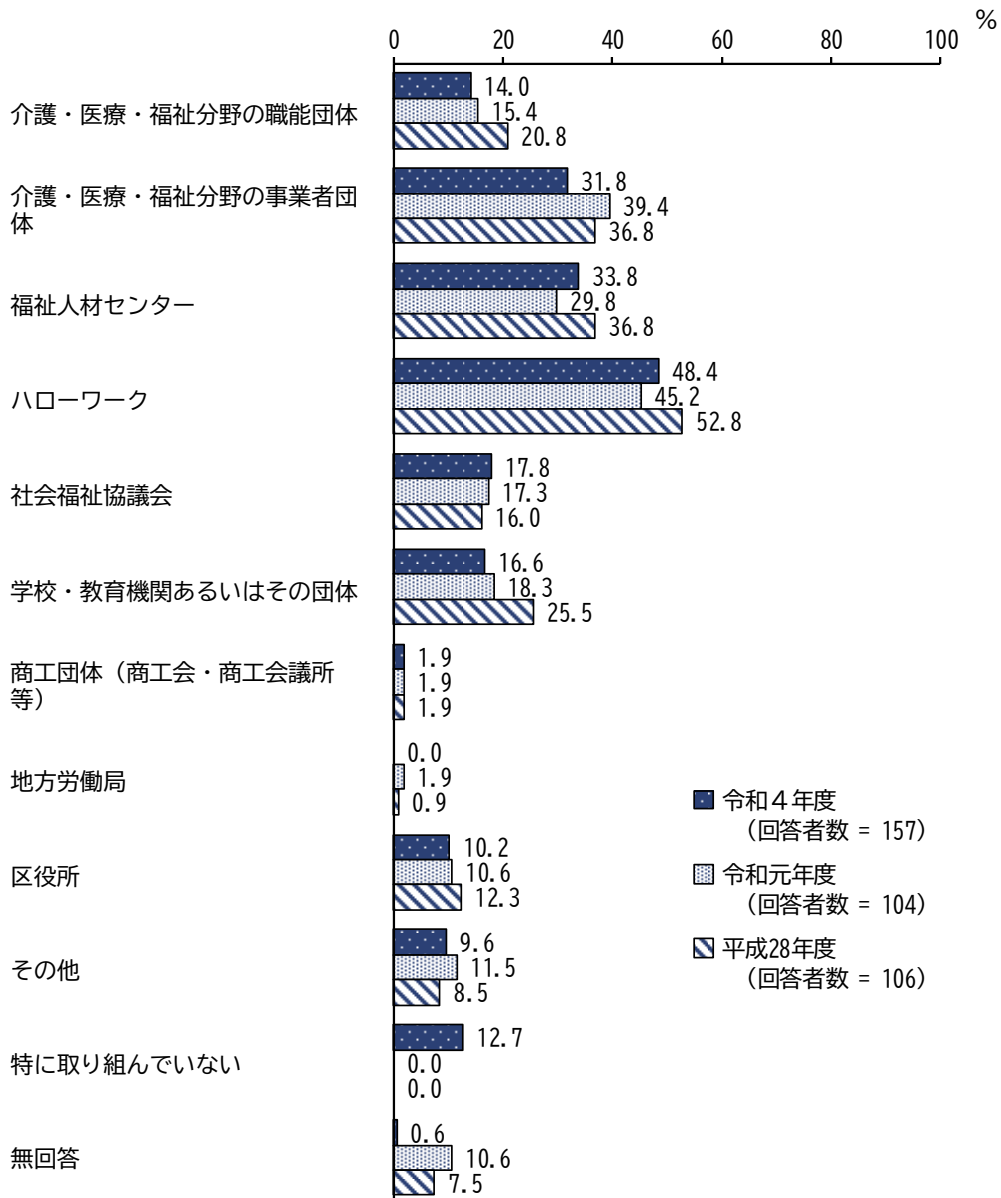


問 15 貴事業所（法人）では、人材の確保や質の向上に向けて、どのような機関や団体と連携して取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

「ハローワーク」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「福祉人材センター」の割合が 33.8%、「介護・医療・福祉分野の事業者団体」の割合が 31.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「介護・医療・福祉分野の事業者団体」の割合が減少しています。



※前回は「特に取り組んでいない」の選択肢はありませんでした。

(2) 事業運営の概要について

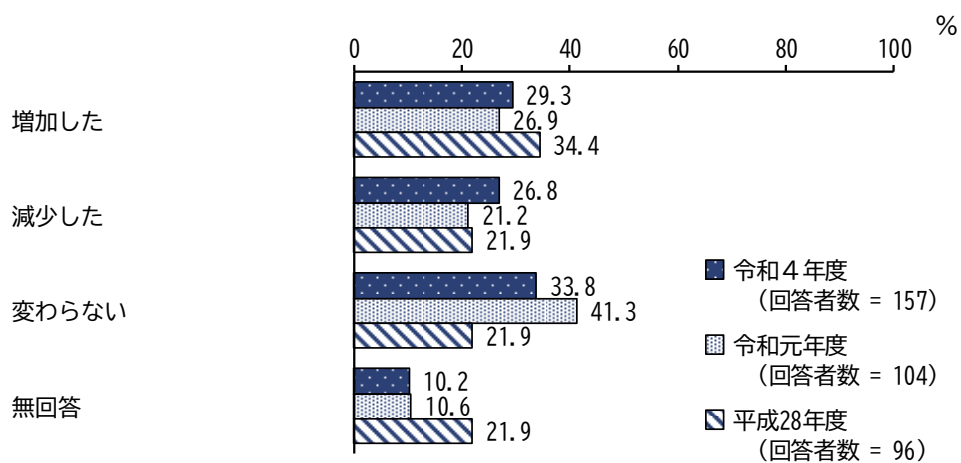
問 16 貴事業所における令和3年度の収入及び支出の状況は、令和2年度と比較してどうでしたか。(各1つに○)

<収入>

「変わらない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「増加した」の割合が29.3%、「減少した」の割合が26.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「減少した」の割合が増加しています。一方、「変わらない」の割合が減少しています。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、社会福祉法人で「増加した」の割合が、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「減少した」の割合が、営利企業（会社）で「変わらない」の割合が高くなっています。また、営利企業（会社）で「増加した」の割合が、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「変わらない」「増加した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全 体	157	29.3	26.8	33.8	10.2
社会福祉法人	49	42.9	26.5	28.6	2.0
医療法人	2	50.0	－	50.0	－
一般社団法人、財団法人	8	25.0	37.5	25.0	12.5
公益社団法人、財団法人	－	－	－	－	－
営利企業（会社）	69	20.3	23.2	39.1	17.4
特定非営利活動法人（NPO 法人）	25	24.0	40.0	28.0	8.0
その他の法人	4	50.0	－	50.0	－
その他	－	－	－	－	－

【職員数別】

職員数別にみると、他に比べ、20～30人未満で「増加した」の割合が、5～10人未満で「減少した」の割合が、5人未満で「増加した」の割合が高くなっています。また、5人未満で「減少した」の割合が、5～10人未満で「変わらない」の割合が、20～30人未満で「変わらない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	29.3	26.8	33.8	10.2
いない	—	—	—	—	—
5人未満	16	37.5	12.5	37.5	12.5
5～10人未満	37	32.4	35.1	24.3	8.1
10～20人未満	44	25.0	31.8	29.5	13.6
20～30人未満	12	50.0	25.0	25.0	—
30～40人未満	3	66.7	—	33.3	—
40～50人未満	2	100.0	—	—	—
50人以上	6	50.0	33.3	16.7	—

【職員数別（常勤人数別）】

職員数別（常勤人数別）にみると、他に比べ、10～20人未満で「増加した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、10～20人未満で「減少した」「変わらない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	29.3	26.8	33.8	10.2
いない	—	—	—	—	—
5人未満	91	27.5	29.7	36.3	6.6
5～10人未満	39	25.6	25.6	38.5	10.3
10～20人未満	16	56.3	12.5	25.0	6.3
20～30人未満	2	50.0	50.0	—	—
30～40人未満	—	—	—	—	—
40～50人未満	1	100.0	—	—	—
50人以上	1	—	100.0	—	—

【職員数別（非常勤人数別）】

職員数別（非常勤人数別）にみると、他に比べ、5～10人未満で「減少した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、5～10人未満で「増加した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	29.3	26.8	33.8	10.2
いない	5	40.0	20.0	40.0	—
5人未満	47	31.9	23.4	31.9	12.8
5～10人未満	39	23.1	41.0	30.8	5.1
10～20人未満	31	25.8	29.0	35.5	9.7
20～30人未満	6	33.3	16.7	50.0	—
30～40人未満	3	33.3	—	66.7	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	4	50.0	25.0	25.0	—

【職員数別（その他の人数別）】

職員数別（その他の人数別）にみると、有効な回答がありませんでした。

単位：％

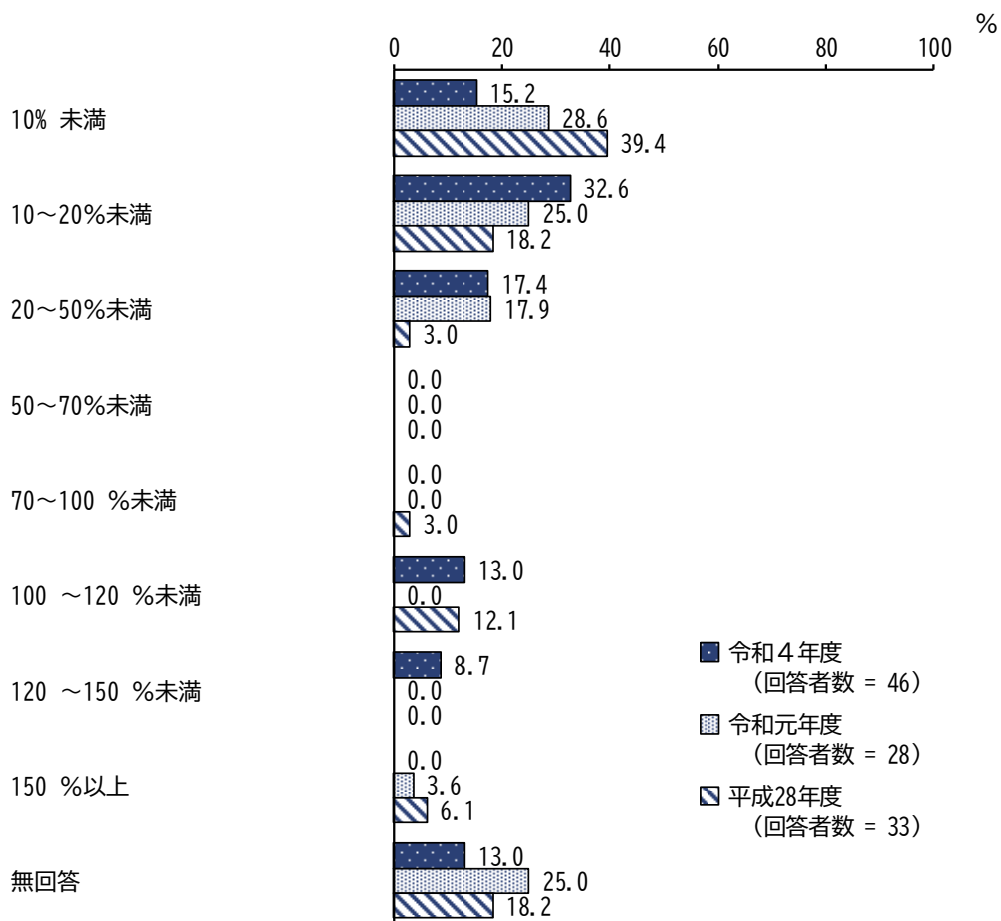
区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	29.3	26.8	33.8	10.2
いない	20	25.0	40.0	30.0	5.0
5人未満	16	31.3	37.5	25.0	6.3
5～10人未満	2	50.0	—	50.0	—
10～20人未満	1	—	—	100.0	—
20～30人未満	—	—	—	—	—
30～40人未満	1	100.0	—	—	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	—	—	—	—	—

収入増加

「10～20%未満」の割合が32.6%と最も高く、次いで「20～50%未満」の割合が17.4%、「10%未満」の割合が15.2%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「10～20%未満」「100～120%未満」「120～150%未満」の割合が増加しています。一方、「10%未満」の割合が減少しています。

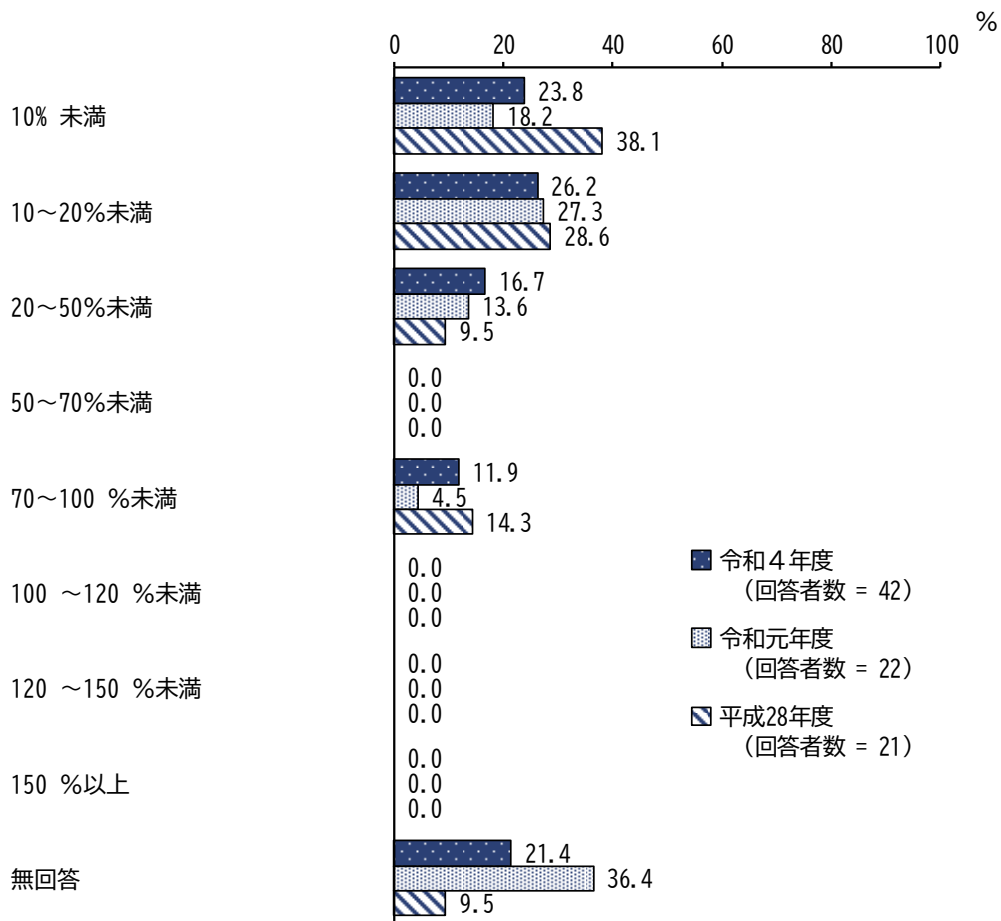


収入減少

「10～20%未満」の割合が26.2%と最も高く、次いで「10% 未満」の割合が23.8%、「20～50% 未満」の割合が16.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「10% 未満」「70～100 %未満」の割合が増加しています。

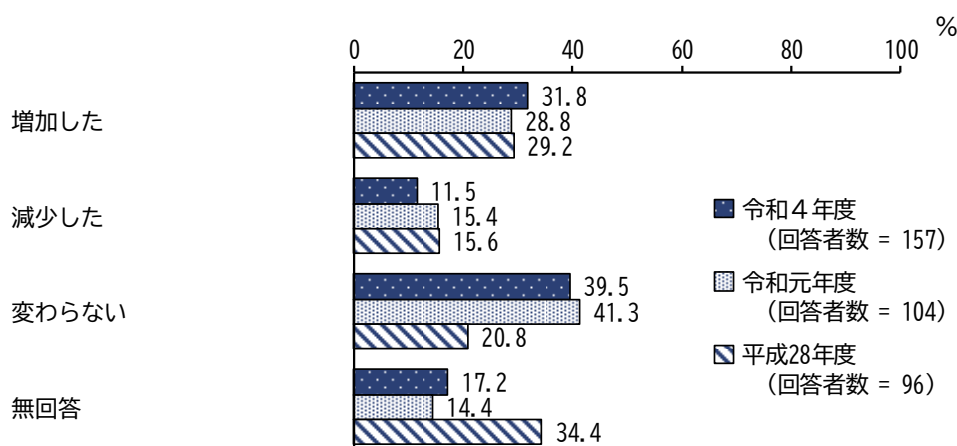


<支出>

「変わらない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「増加した」の割合が31.8%、「減少した」の割合が11.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「減少した」の割合が、社会福祉法人で「増加した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「増加した」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全 体	157	31.8	11.5	39.5	17.2
社会福祉法人	49	40.8	8.2	40.8	10.2
医療法人	2	50.0	—	50.0	—
一般社団法人、財団法人	8	25.0	12.5	50.0	12.5
公益社団法人、財団法人	—	—	—	—	—
営利企業（会社）	69	29.0	8.7	36.2	26.1
特定非営利活動法人（NPO 法人）	25	20.0	28.0	44.0	8.0
その他の法人	4	50.0	—	25.0	25.0
その他	—	—	—	—	—

【職員数別】

職員数別にみると、他に比べ、20～30人未満で「増加した」の割合が、5～10人未満で「増加した」の割合が高くなっています。また、20～30人未満で「変わらない」の割合が、5～10人未満で「変わらない」の割合が、5人未満で「増加した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	31.8	11.5	39.5	17.2
いない	—	—	—	—	—
5人未満	16	25.0	12.5	43.8	18.8
5～10人未満	37	40.5	13.5	32.4	13.5
10～20人未満	44	34.1	11.4	40.9	13.6
20～30人未満	12	50.0	8.3	25.0	16.7
30～40人未満	3	66.7	—	33.3	—
40～50人未満	2	50.0	—	50.0	—
50人以上	6	33.3	33.3	33.3	—

【職員数別（常勤人数別）】

職員数別にみると、他に比べ、10～20人未満で「増加した」の割合が、5人未満で「変わらない」の割合が、5～10人未満で「増加した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、10～20人未満で「変わらない」「減少した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	31.8	11.5	39.5	17.2
いない	—	—	—	—	—
5人未満	91	27.5	12.1	46.2	14.3
5～10人未満	39	38.5	7.7	35.9	17.9
10～20人未満	16	56.3	6.3	31.3	6.3
20～30人未満	2	50.0	50.0	—	—
30～40人未満	—	—	—	—	—
40～50人未満	1	—	—	100.0	—
50人以上	1	—	100.0	—	—

【職員数別（非常勤人数別）】

職員数別にみると、他に比べ、5～10人未満で「変わらない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	31.8	11.5	39.5	17.2
いない	5	40.0	—	60.0	—
5人未満	47	34.0	8.5	36.2	21.3
5～10人未満	39	30.8	12.8	48.7	7.7
10～20人未満	31	29.0	16.1	35.5	19.4
20～30人未満	6	33.3	—	50.0	16.7
30～40人未満	3	—	33.3	66.7	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	4	50.0	—	50.0	—

【職員数別（その他の人数別）】

職員数別にみると、他に比べ、5人未満で「増加した」の割合が、いないで「減少した」「増加した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、5人未満で「減少した」の割合が低くなっています。

単位：％

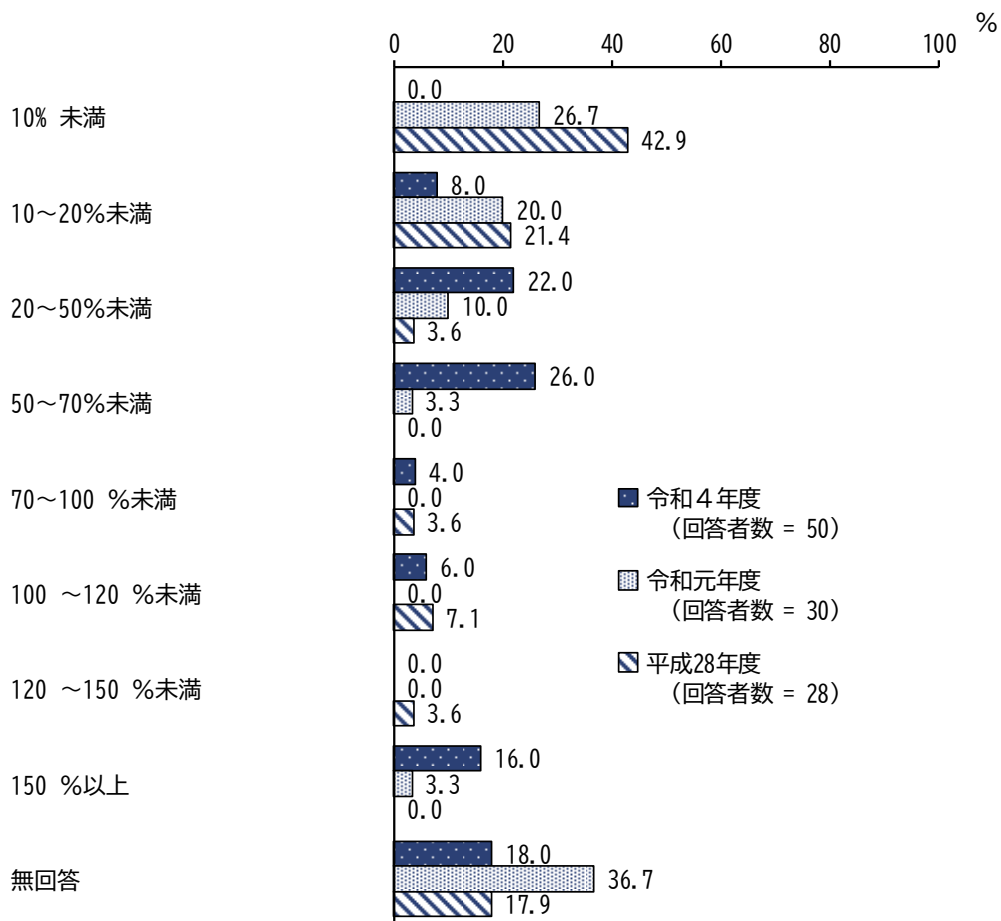
区分	回答者数 (件)	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	157	31.8	11.5	39.5	17.2
いない	20	40.0	20.0	35.0	5.0
5人未満	16	50.0	6.3	37.5	6.3
5～10人未満	2	50.0	—	50.0	—
10～20人未満	1	—	—	—	100.0
20～30人未満	—	—	—	—	—
30～40人未満	1	100.0	—	—	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	—	—	—	—	—

支出増加

「50～70%未満」の割合が26.0%と最も高く、次いで「20～50%未満」の割合が22.0%、「150 %以上」の割合が16.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「50～70%未満」「150 %以上」の割合が増加しています。一方、「10%未満」「10～20%未満」の割合が減少しています。

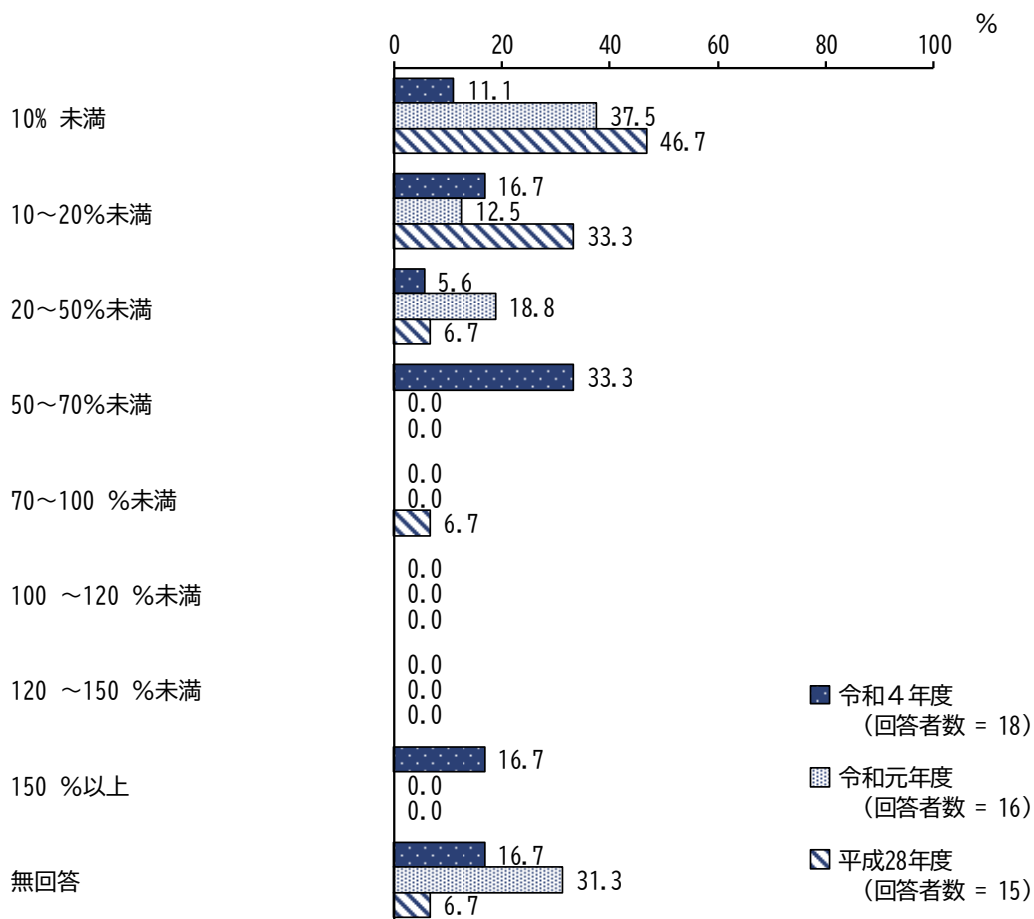


支出減少

「50～70%未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「10～20%未満」、「150%以上」の割合が16.7%となっています。

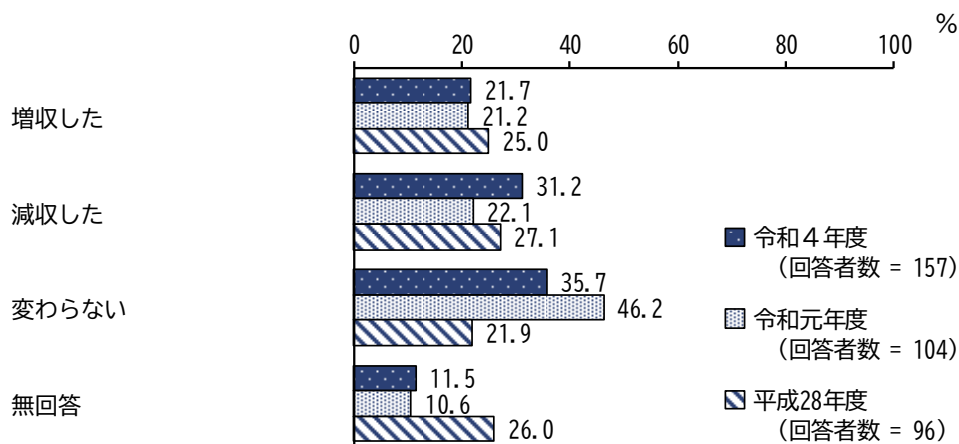
【経年比較】

令和元年度と比較すると、「50～70%未満」「150%以上」の割合が増加しています。一方、「20～50%未満」の割合が減少しています。



問 16-1 問 16 の結果、収支の状況はどうでしたか。(1つに○)

「変わらない」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「減収した」の割合が 31.2%、「増収した」の割合が 21.7%となっています。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、社会福祉法人で「増収した」の割合が、特定非営利活動法人 (NPO 法人) で「減収した」の割合が高くなっています。また、営利企業 (会社) で「増収した」の割合が、社会福祉法人で「減収した」「変わらない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	増収した	減収した	変わらない	無回答
全 体	157	21.7	31.2	35.7	11.5
社会福祉法人	49	38.8	22.4	30.6	8.2
医療法人	2	—	50.0	50.0	—
一般社団法人、財団法人	8	12.5	37.5	37.5	12.5
公益社団法人、財団法人	—	—	—	—	—
営利企業 (会社)	69	10.1	31.9	39.1	18.8
特定非営利活動法人 (NPO 法人)	25	20.0	48.0	32.0	—
その他の法人	4	50.0	—	50.0	—
その他	—	—	—	—	—

【職員数別】

職員数別にみると、他に比べ、20～30人未満で「増収した」の割合が、5～10人未満で「減収した」の割合が高くなっています。また、20～30人未満で「変わらない」の割合が、5人未満で「減収した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	157	21.7	31.2	35.7	11.5
いない	—	—	—	—	—
5人未満	16	31.3	25.0	37.5	6.3
5～10人未満	37	16.2	40.5	29.7	13.5
10～20人未満	44	22.7	31.8	31.8	13.6
20～30人未満	12	41.7	33.3	25.0	—
30～40人未満	3	33.3	33.3	33.3	—
40～50人未満	2	100.0	—	—	—
50人以上	6	16.7	50.0	33.3	—

【職員数別（常勤人数別）】

職員数別にみると、他に比べ、10～20人未満で「増収した」の割合が、5～10人未満で「変わらない」の割合が高くなっています。また、5～10人未満で「増収した」の割合が、10～20人未満で「減収した」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	157	21.7	31.2	35.7	11.5
いない	—	—	—	—	—
5人未満	91	23.1	33.0	36.3	7.7
5～10人未満	39	12.8	33.3	43.6	10.3
10～20人未満	16	31.3	25.0	31.3	12.5
20～30人未満	2	100.0	—	—	—
30～40人未満	—	—	—	—	—
40～50人未満	1	100.0	—	—	—
50人以上	1	—	100.0	—	—

【職員数別（非常勤人数別）】

職員数別にみると、他に比べ、5～10人未満で「減収した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	157	21.7	31.2	35.7	11.5
いない	5	20.0	20.0	60.0	—
5人未満	47	25.5	27.7	31.9	14.9
5～10人未満	39	17.9	38.5	35.9	7.7
10～20人未満	31	22.6	29.0	38.7	9.7
20～30人未満	6	16.7	50.0	33.3	—
30～40人未満	3	—	—	100.0	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	4	25.0	50.0	25.0	—

【職員数別（その他の人数別）】

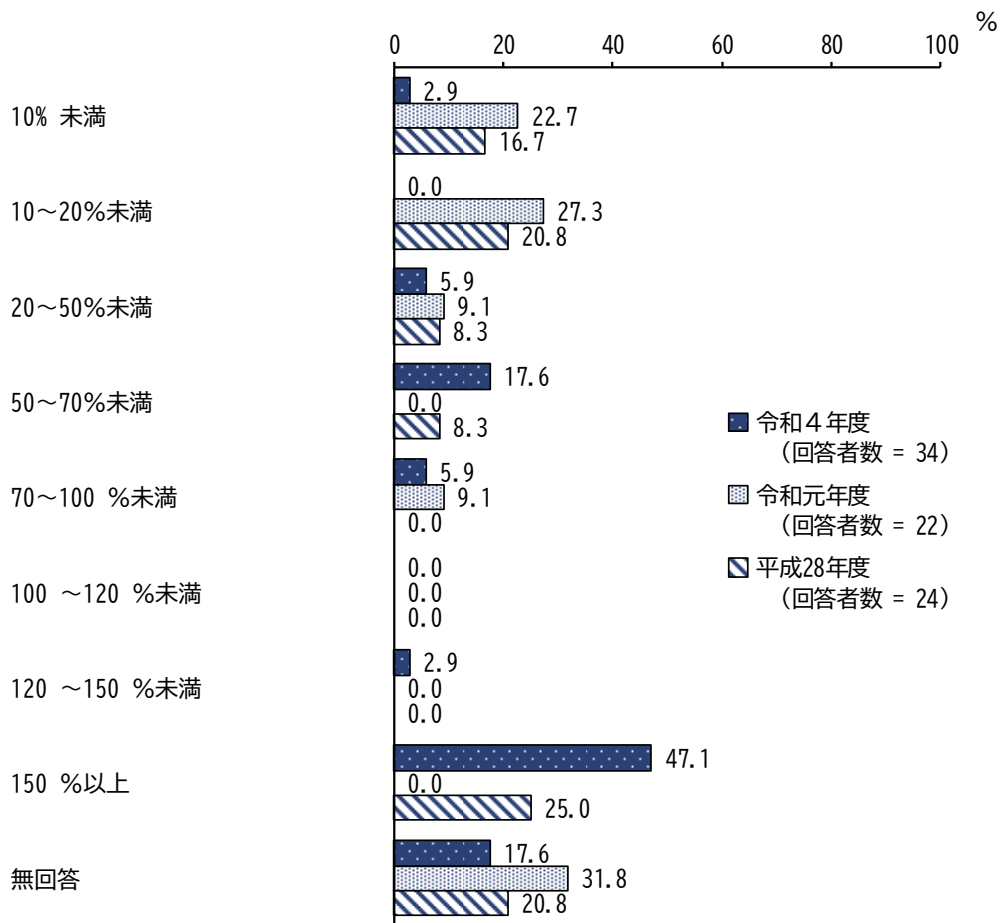
職員数別にみると、他に比べ、5人未満で「減収した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	157	21.7	31.2	35.7	11.5
いない	20	25.0	35.0	35.0	5.0
5人未満	16	25.0	37.5	37.5	—
5～10人未満	2	—	50.0	50.0	—
10～20人未満	1	—	—	100.0	—
20～30人未満	—	—	—	—	—
30～40人未満	1	100.0	—	—	—
40～50人未満	—	—	—	—	—
50人以上	—	—	—	—	—

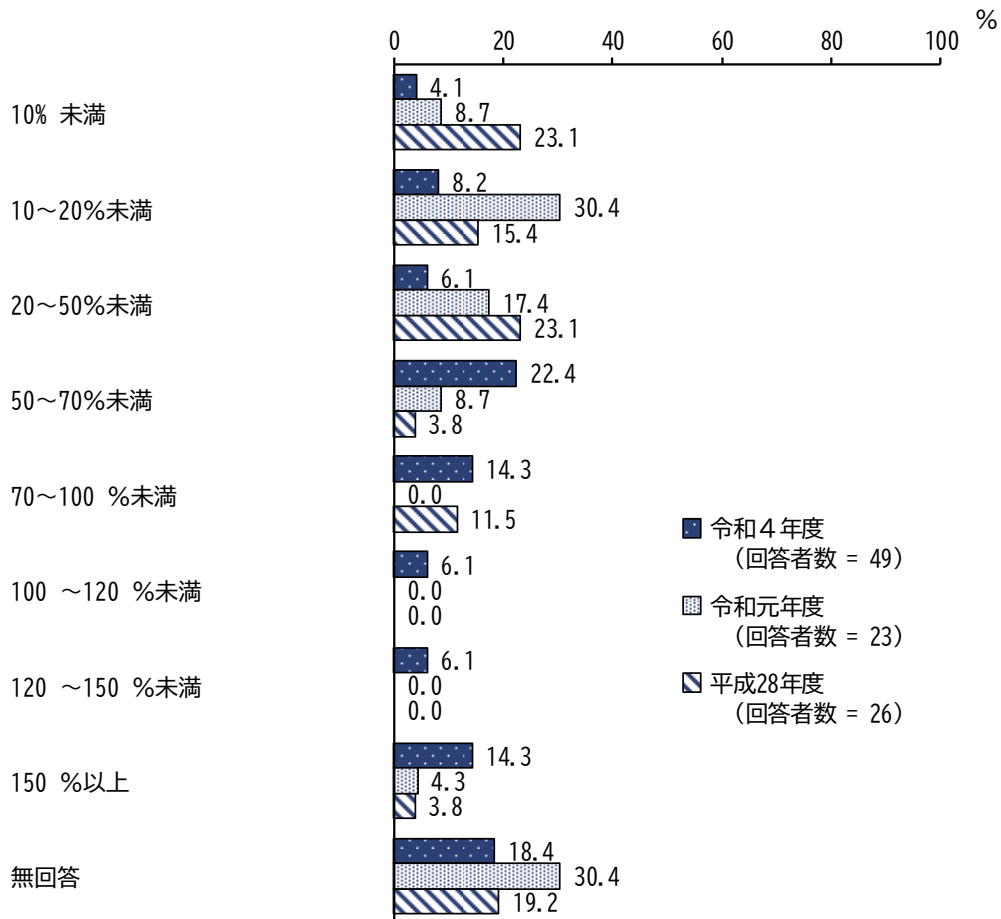
増収

「150 %以上」の割合が47.1%と最も高く、次いで「50~70%未満」の割合が17.6%となっています。



減収

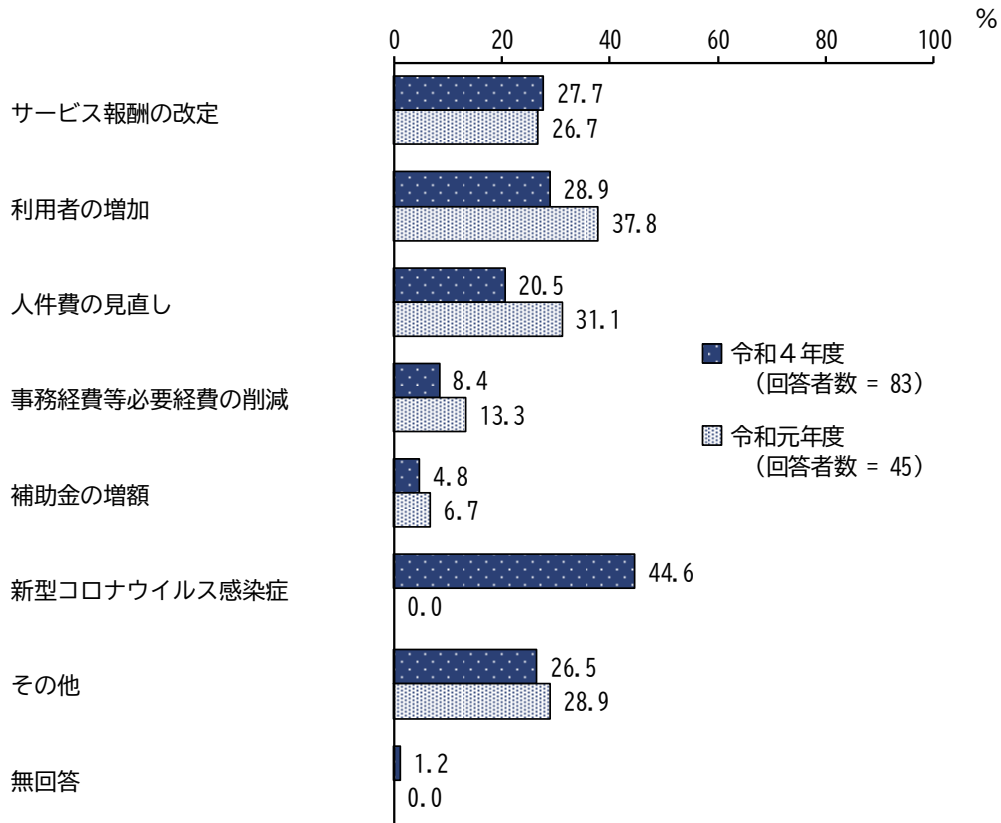
「50～70%未満」の割合が22.4%と最も高く、次いで「70～100 %未満」の割合が14.3%となっています。



[問 16-1 で「1. 増収した」又は「2. 減収した」とお答えの方におたずねします]

問 16-2 増収又は減収の主な理由は何ですか。(3つまで○)

「新型コロナウイルス感染症」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「利用者の増加」の割合が 28.9%、「サービス報酬の改定」の割合が 27.7%となっています。



【職員数別】

職員数別にみると、5～10人未満で「サービス報酬の改定」「利用者の増加」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	サービス報酬の改定	利用者の増加	人件費の見直し	事務経費等必要経費の削減	補助金の増額	新型コロナウイルス感染症	その他	無回答
全体	83	27.7	28.9	20.5	8.4	4.8	44.6	26.5	1.2
いない	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5人未満	9	44.4	44.4	22.2	—	—	33.3	—	11.1
5～10人未満	21	19.0	23.8	19.0	14.3	14.3	47.6	28.6	—
10～20人未満	24	25.0	29.2	16.7	12.5	—	41.7	20.8	—
20～30人未満	9	33.3	33.3	44.4	—	—	44.4	33.3	—
30～40人未満	2	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—
40～50人未満	2	50.0	50.0	—	—	50.0	100.0	50.0	—
50人以上	4	25.0	—	50.0	—	—	50.0	75.0	—

【職員数別（常勤人数別）】

職員数別（常勤人数別）にみると、他に比べ、5～10人未満で「サービス報酬の改定」の割合が高くなっています。

単位：％

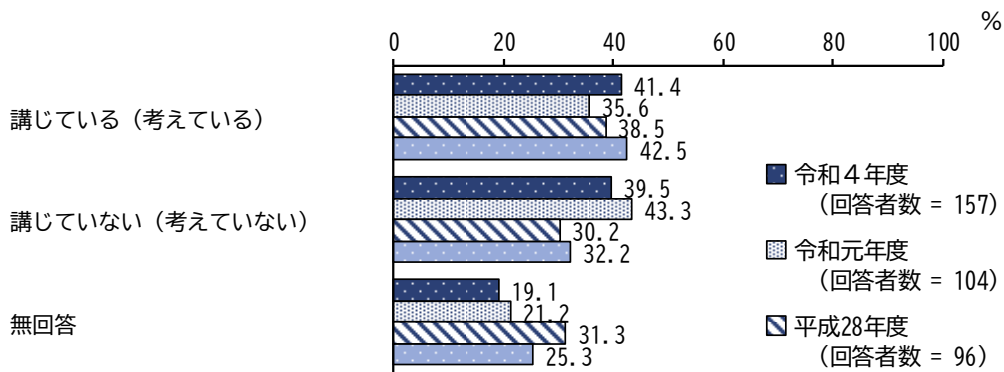
区分	回答者数(件)	サービス報酬の改定	利用者の増加	人件費の見直し	事務経費等必要経費の削減	補助金の増額	新型コロナウイルス感染症	その他	無回答
全体	83	27.7	28.9	20.5	8.4	4.8	44.6	26.5	1.2
いない	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5人未満	51	25.5	29.4	19.6	9.8	3.9	43.1	27.5	2.0
5～10人未満	18	33.3	27.8	22.2	11.1	5.6	44.4	11.1	—
10～20人未満	9	33.3	33.3	22.2	—	11.1	44.4	33.3	—
20～30人未満	2	—	—	50.0	—	—	50.0	50.0	—
30～40人未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40～50人未満	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—
50人以上	1	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—

問 17 貴事業所では、問 16 の収入の変化に対する対応策を講じていますか。又は考えていますか。(1つに○)

「講じている(考えている)」の割合が41.4%、「講じていない(考えていない)」の割合が39.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「講じている(考えている)」の割合が増加しています。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、特定非営利活動法人(NPO法人)で「講じている(考えている)」の割合が、営利企業(会社)で「講じていない(考えていない)」の割合が高くなっています。また、特定非営利活動法人(NPO法人)で「講じていない(考えていない)」の割合が、営利企業(会社)で「講じている(考えている)」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	講じている(考えている)	講じていない(考えていない)	無回答
全 体	157	41.4	39.5	19.1
社会福祉法人	49	42.9	40.8	16.3
医療法人	2	50.0	50.0	—
一般社団法人、財団法人	8	62.5	25.0	12.5
公益社団法人、財団法人	—	—	—	—
営利企業(会社)	69	29.0	49.3	21.7
特定非営利活動法人(NPO法人)	25	68.0	12.0	20.0
その他の法人	4	25.0	50.0	25.0
その他	—	—	—	—

問 17-1 対応策の内容をお聞かせください。

※一部抜粋

(1) サービス内容について

- ・利用者増加の工夫。
- ・利用者定着のための工夫。
- ・営業活動の拡充。
- ・新規事業。
- ・短期入所の空室の情報提供。
- ・利用者通所回数のアップ。
- ・事業の縮小。

(2) 人材について

- ・職員配置の見直し。
- ・処遇改善費取得額のアップ。
- ・人材採用の基準の見直し。

(3) 運営について

- ・経費削減、必要経費の見直し。
- ・加算を可能な限り算定する。

(4) その他

- ・全体収支の検討。
- ・寄付金の呼びかけ。
- ・施設のあり方の検討。
- ・法人全体の調整（複数の事業所間との調整）。

[問 18 から問 20 は、利用定員が定められている事業所におたずねします]

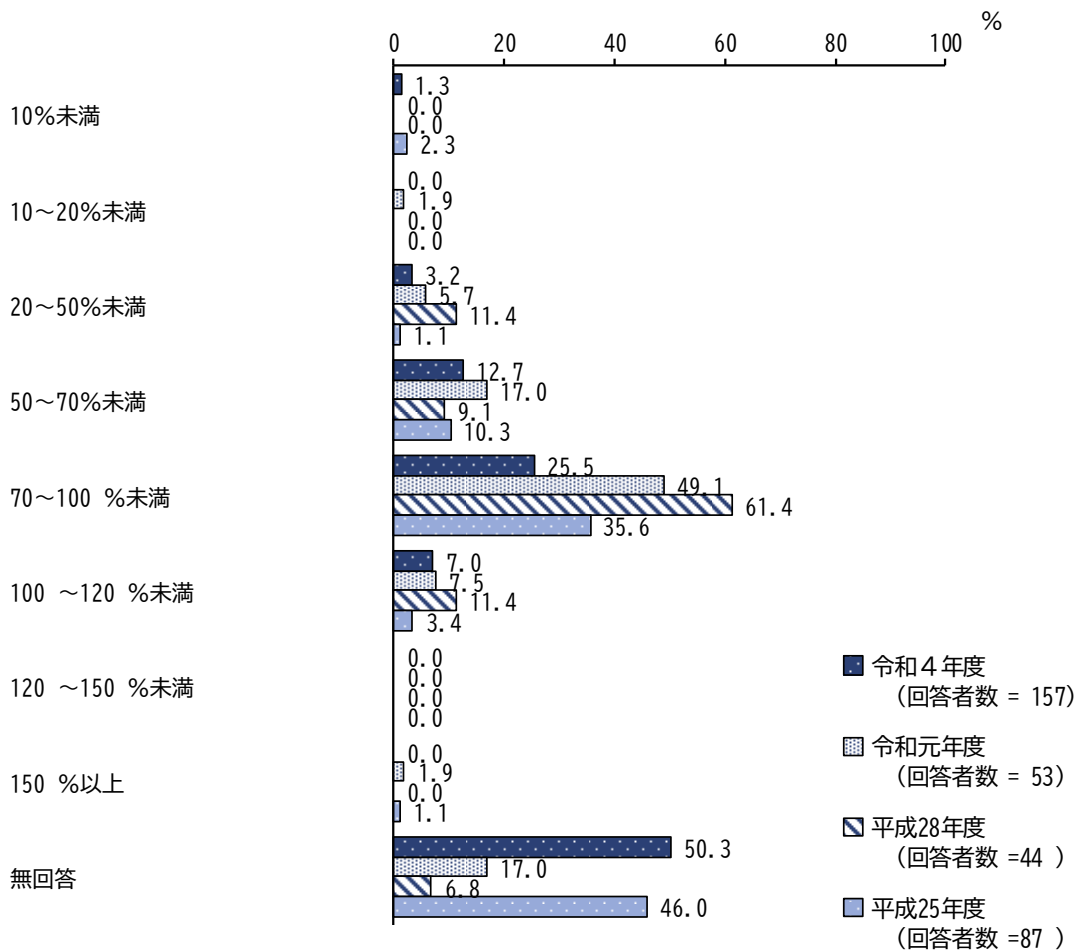
問 18 貴事業所における令和4年4月から7月までの平均利用率はおおよそ何%くらいですか。

事業全体

「70～100%未満」の割合が25.5%と最も高く、次いで「50～70%未満」の割合が12.7%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「70～100%未満」の割合が減少しています。



事業所内訳（一部抜粋）

就労継続支援B型で「70～100%未満」が5件と最も多くなっています。

事業名	10%未満	10%～20%未満	20%～50%未満	50%～70%未満	70%～100%未満	100%～120%未満	120%～150%未満	150%以上
移動支援	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
居宅介護	0件	0件	2件	0件	1件	0件	0件	0件
共同生活援助	0件	0件	0件	0件	4件	4件	0件	0件
行動援護	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件
指定特定相談支援	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
施設入所支援	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件
児童発達支援	1件	0件	0件	2件	2件	0件	0件	1件
自立生活訓練	0件	0件	2件	2件	1件	0件	0件	0件
就労移行支援	0件	1件	0件	3件	1件	1件	0件	0件
就労継続支援B型	1件	0件	1件	4件	5件	1件	0件	1件
重度訪問介護	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
障害児相談支援	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
生活介護	0件	0件	0件	2件	4件	0件	0件	0件
短期入所	0件	0件	0件	0件	4件	0件	1件	0件
同行援護	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件
放課後等デイサービス	0件	0件	1件	1件	4件	1件	0件	0件

問 18-1 上記の利用率についてどのようにお考えですか。

※一部抜粋

(1) サービス内容について

- ・ 自立訓練の通所率向上が課題。
- ・ コロナ禍の在宅支援が含まれたため利用率は上がった。

(2) 職員について

- ・ 人材に対して概ね対応出来ているが新規までは難しい。
- ・ 加配の人員をつけて安定的に運営することは厳しく感じている。
- ・ 職員の休職。
- ・ 送迎や保育に必要なスタッフが不足している。現体制で受け入れられるギリギリでやっている。スタッフの増強ができればもう少し増やせる。

(3) 利用者について

- ・ 毎日、お休みの子が2～3人いるので経営的に厳しい。
- ・ 曜日によってバラツキが大きい。
- ・ 長期間、自宅に引きこもってしまい、長期欠席となっている方に加え、コロナ禍で感染状況に合わせて登所を控える利用者も増えている。
- ・ 長期欠席をしている利用者が増加しているため、在宅でもできる作業を提供できることが望ましいと考えているが現実的には厳しい。
- ・ 現在は安定しているが利用児童の歳がかたよっているため卒業生が一斉に出てしまうと利用率が下がってしまうかもしれない。
- ・ 利用者がすくないため、キャンセルが出てもくり上がる人が少ない。
- ・ 利用者の入院等により昨年より減少傾向にある。

(4) その他

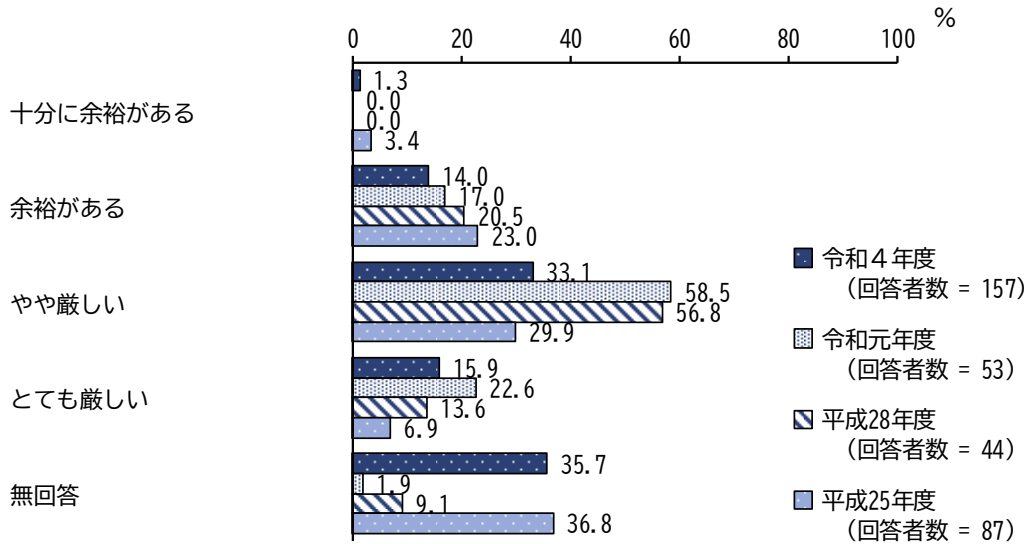
- ・ コロナの影響で低い利用率となっている。
- ・ ようやくコロナ禍以前の利用率に戻りつつあるが、これが安定して継続できるか不安も多い。
- ・ 本人ニーズ、家族ニーズと利用率はイコールではない。
- ・ 以前より増えているので、満足度が向上していると考えている。
- ・ 就労B型は、まだまだ利用率を上げたい。
- ・ 利用者の日数を増やすのは難しいが登録者を増やすことは可能だと思っている。
- ・ 不安定である。
- ・ ちょうど良い。
- ・ 低い。
- ・ 安心してご利用いただけていると考えている。

問 19 貴事業所では、事業の採算性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

「やや厳しい」の割合が33.1%と最も高く、次いで「とても厳しい」の割合が15.9%、「余裕がある」の割合が14.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「やや厳しい」「とても厳しい」の割合が減少しています。



【法人格別】

法人格別にみると、他に比べ、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「やや厳しい」の割合が、社会福祉法人で「余裕がある」「とても厳しい」の割合が高くなっています。また、営利企業（会社）で「やや厳しい」「とても厳しい」の割合が、特定非営利活動法人（NPO 法人）で「余裕がある」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	十分に余裕がある	余裕がある	やや厳しい	とても厳しい	無回答
全 体	157	1.3	14.0	33.1	15.9	35.7
社会福祉法人	49	—	26.5	32.7	24.5	16.3
医療法人	2	—	—	—	—	100.0
一般社団法人、財団法人	8	—	—	62.5	12.5	25.0
公益社団法人、財団法人	—	—	—	—	—	—
営利企業（会社）	69	2.9	10.1	23.2	8.7	55.1
特定非営利活動法人(NPO 法人)	25	—	8.0	56.0	24.0	12.0
その他の法人	4	—	—	25.0	—	75.0
その他	—	—	—	—	—	—

【職員数別】

職員数別にみると、他に比べ、20～30人未満で「やや厳しい」の割合が、5人未満で「とても厳しい」の割合が高くなっています。また、5人未満で「やや厳しい」の割合が、20～30人未満で「とても厳しい」「余裕がある」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	十分に 余裕が ある	余裕が ある	やや 厳しい	とても 厳しい	無 回答
全 体	157	1.3	14.0	33.1	15.9	35.7
いない	—	—	—	—	—	—
5人未満	16	—	—	18.8	31.3	50.0
5～10人未満	37	—	10.8	40.5	18.9	29.7
10～20人未満	44	4.5	11.4	38.6	15.9	29.5
20～30人未満	12	—	8.3	50.0	8.3	33.3
30～40人未満	3	—	66.7	—	—	33.3
40～50人未満	2	—	—	50.0	—	50.0
50人以上	6	—	16.7	16.7	33.3	33.3

【職員数別（常勤人数別）】

職員数別（常勤人数別）にみると、他に比べ、10～20人未満で「やや厳しい」の割合が、5～10人未満で「やや厳しい」の割合が高くなっています。また、他に比べ、10～20人未満で「とても厳しい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	十分に 余裕が ある	余裕が ある	やや 厳しい	とても 厳しい	無 回答
全 体	157	1.3	14.0	33.1	15.9	35.7
いない	—	—	—	—	—	—
5人未満	91	1.1	9.9	30.8	16.5	41.8
5～10人未満	39	2.6	15.4	38.5	15.4	28.2
10～20人未満	16	—	18.8	50.0	6.3	25.0
20～30人未満	2	—	50.0	—	50.0	—
30～40人未満	—	—	—	—	—	—
40～50人未満	1	—	—	100.0	—	—
50人以上	1	—	—	—	100.0	—

【職員数別（非常勤人数別）】

職員数別（非常勤人数別）にみると、他に比べ、5～10人未満で「やや厳しい」の割合が、5人未満で「やや厳しい」の割合が高くなっています。また、10～20人未満で「余裕がある」の割合が、5人未満で「とても厳しい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	十分に 余裕が ある	余裕が ある	やや 厳しい	とても 厳しい	無 回答
全 体	157	1.3	14.0	33.1	15.9	35.7
いない	5	－	－	40.0	20.0	40.0
5人未満	47	－	14.9	38.3	10.6	36.2
5～10人未満	39	－	12.8	46.2	17.9	23.1
10～20人未満	31	6.5	6.5	29.0	19.4	38.7
20～30人未満	6	－	33.3	16.7	－	50.0
30～40人未満	3	－	－	－	33.3	66.7
40～50人未満	－	－	－	－	－	－
50人以上	4	－	25.0	25.0	－	50.0

【職員数別（その他の人数別）】

職員数別（その他の人数別）にみると、いないで「やや厳しい」「余裕がある」割合が低くなっています。

単位：％

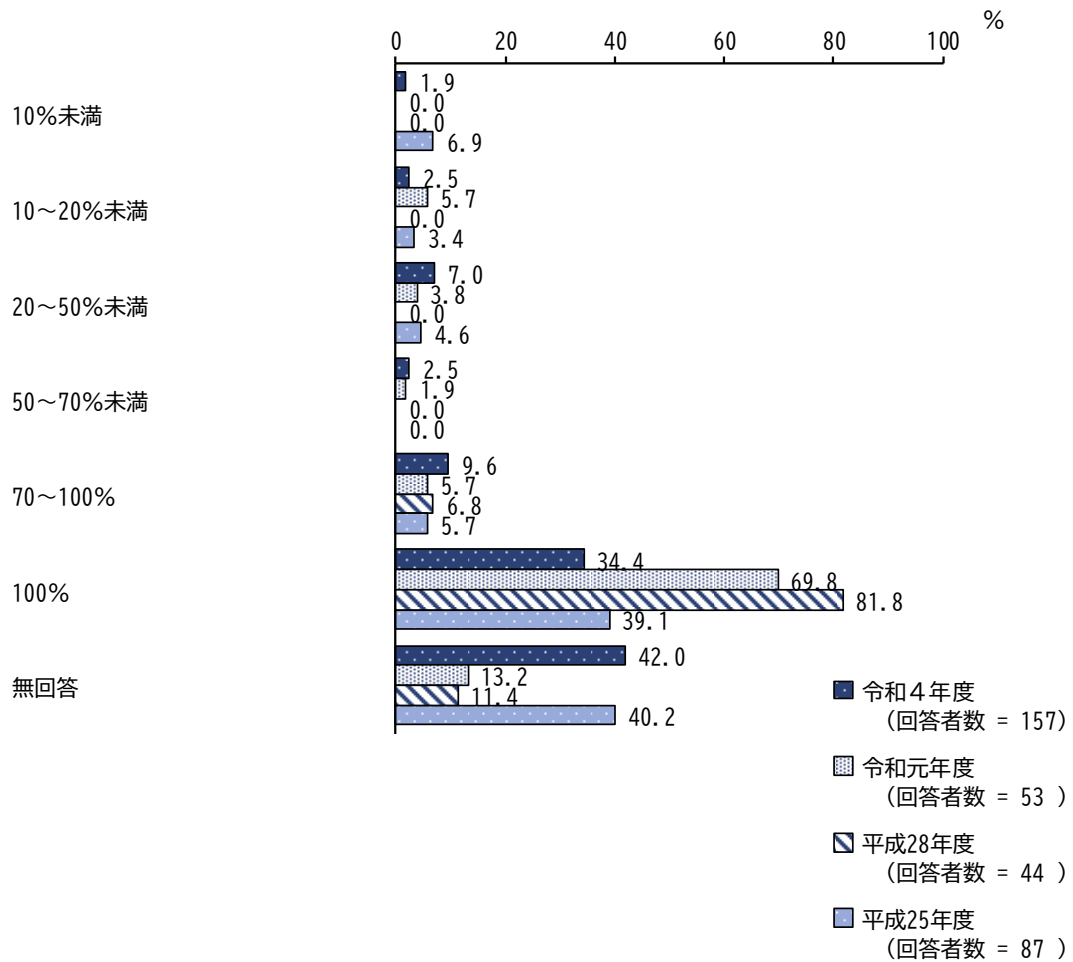
区分	回答者数 (件)	十分に 余裕が ある	余裕が ある	やや 厳しい	とても 厳しい	無 回答
全 体	157	1.3	14.0	33.1	15.9	35.7
いない	20	－	5.0	20.0	20.0	55.0
5人未満	16	－	18.8	37.5	18.8	25.0
5～10人未満	2	－	－	100.0	－	－
10～20人未満	1	－	－	－	－	100.0
20～30人未満	－	－	－	－	－	－
30～40人未満	1	－	－	－	－	100.0
40～50人未満	－	－	－	－	－	－
50人以上	－	－	－	－	－	－

問 20 貴事業所では、サービス供給量全体の中で障害者サービスの占める割合はおおよそ何%くらいですか。

「100%」の割合が 34.4%と最も高くなっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「100%」の割合が減少しています。



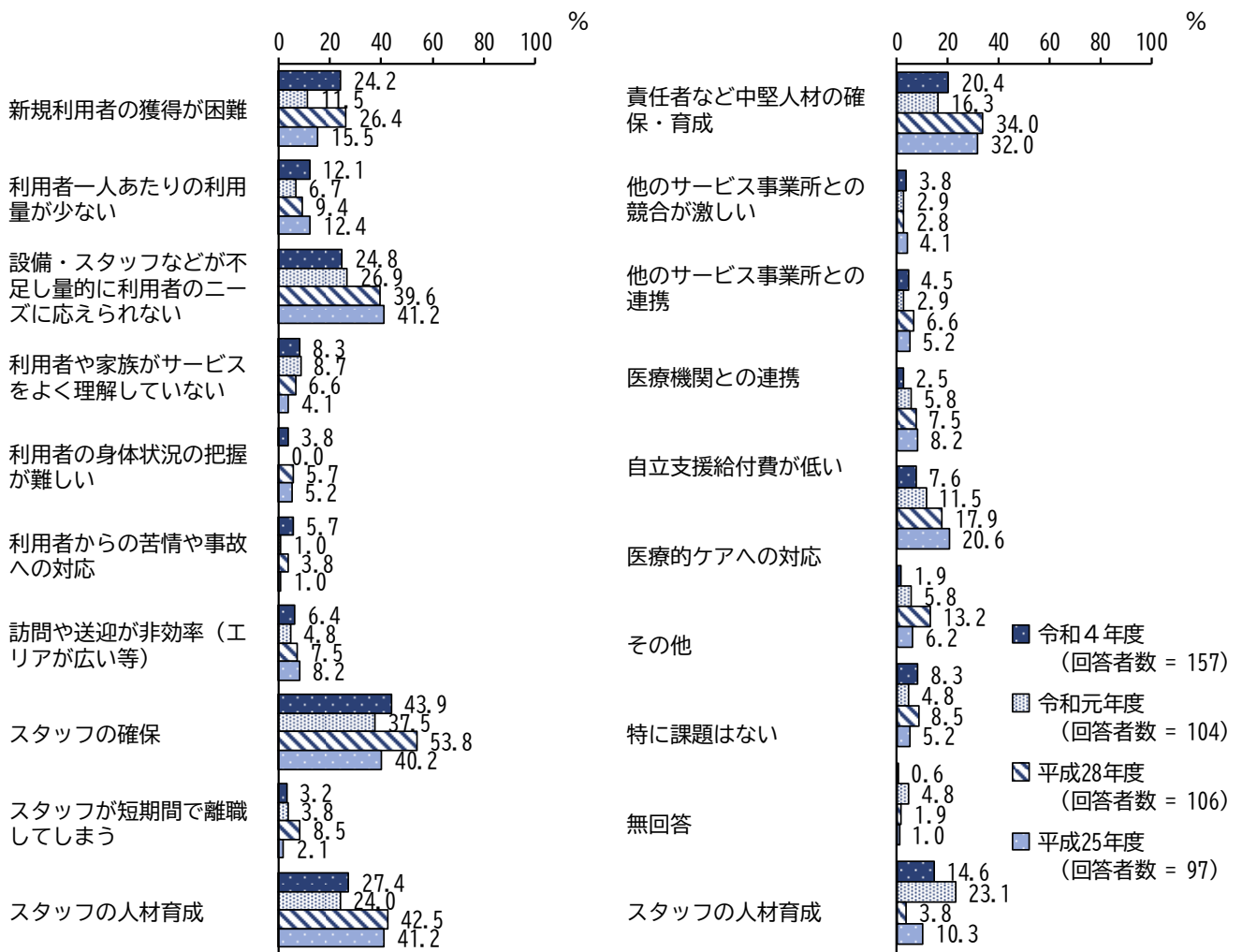
[以降は再びすべての事業所がお答えください]

問 21 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。(3つまで○)

「スタッフの確保」の割合が43.9%と最も高く、次いで「スタッフの人材育成」の割合が27.4%、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」の割合が24.8%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「新規利用者の獲得が困難」「利用者一人あたりの利用量が少ない」「スタッフの確保」の割合が増加しています。



(3) 貴事業所におけるサービスの提供体制について

問 22 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。(3つまで○)

1 か月平均の各サービス提供体制(提供可能量と実際の提供量)については、下表の通りです。

【障害福祉サービス】

サービス名	A 1か月平均のサービス提供可能量			B 1か月平均の実際のサービス提供量		
	件数	時間	単位	件数	時間	単位
居宅介護	49	298.83	時間	56	193.45	時間
重度訪問介護	35	243.08	時間	39	312.83	時間
同行援護	14	174.36	時間	15	140.01	時間
行動援護	3	16.47	時間	3	13.00	時間
重度障害者等包括支援	1	1.00	時間	1	1.00	時間
生活介護	9	314.89	日	9	252.33	日
自立訓練(機能訓練)	1	220.00	日	1	176.00	日
自立訓練(生活訓練)	5	141.40	日	5	90.40	日
就労移行支援	9	128.67	日	9	78.89	日
就労継続支援(A型)	2	29.00	日	1	30.00	日
就労継続支援(B型)	20	145.85	日	20	164.77	日
就労定着支援	3	18.67	人	3	13.33	人
施設入所支援	1	1800	日	1	1200	日
自立生活援助	1	17.00	人	2	9.00	人
共同生活援助	12	66.08	人	11	125.00	人
短期入所	7	143.43	日	7	74.30	日
計画相談支援	19	28.53	人	19	23.37	人
地域移行支援	4	1.75	人	4	1.00	人
地域定着支援	2	0.50	人	2	0.50	人
児童発達支援	16	36.34	日	16	22.28	日
放課後等デイサービス	20	34.99	日	20	23.79	日
保育所等訪問支援	1	20.00	日	1	20.00	日
障害児相談支援	14	21.07	人	14	13.75	人

【地域生活支援事業】

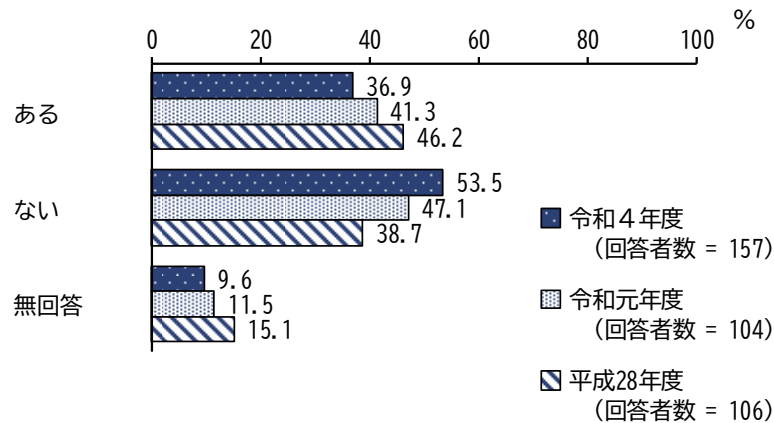
サービス名	C 1か月平均の実利用者数		
	回答件数	回答平均	
障害者相談支援事業	5	5.00	人
移動支援事業	28	16.24	人
地域生活支援センター	1	20.00	人
日中一時支援事業	2	18.00	人

問 23 これまでに、問 22 で回答したサービスを提供しようとして、できなかったことはありますか。(1つに○)

「ある」の割合が 36.9%、「ない」の割合が 53.5%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



問 23-1 その理由は何ですか。

※一部抜粋

(1) サービス内容について

- ・長時間の時間調整ができない。
- ・利用者が望む時間が集中する。

(2) 人材について

- ・人材不足。
- ・スタッフの技量不足。
- ・スタッフの専門性の違い。
- ・スタッフの年齢。

(3) 報酬について

- ・サービス時間が短く、移動時間など考慮すると不採算となるため。

(4) 利用者について

- ・利用者とのコミュニケーションが取りづらく、サービス提供困難と判断。
- ・注力ケースが発生すると、月内にモニタリングが終わらないこともある。
- ・利用者都合のキャンセル。

(5) その他

- ・コロナ。
- ・台風などの自然災害。

問 24 その他、サービス提供上の課題、サービス提供を行っていく上で必要と考える施策などについてご記入ください。

※一部抜粋

(1) 人材について

- ・人材育成で、ワンオペで運営する小さな事業所に関して、育成が難しいこともある。事業所のみで行えないこともあるので、そのような課題に対して、法人としてどのような工夫をしていくか、区としても問いかけていってほしい。
- ・一時的な定員増を認める施策。
- ・質の良い人材の確保。
- ・オンラインで空き時間に受講できるような研修。

(2) 報酬について

- ・日中支援加算について、土日も支援を要する人がいるのに平日のみなのはおかしいのではないかと。土日も請求できる必要がある。
- ・就労している利用者で、このサービスの対象とならない方にはボランティアとなっており、そこをカバーできる制度があることで手厚い支援を行うことができる。
- ・そもそもの報酬が低いので、職員の増員が難しい。赤字の事業なので、法人内でも改善すべき事業としての位置付けが低い。報酬の改定を強く望む。
- ・待遇向上（加算増）への支援。
- ・報酬基準の抜本的改定。
- ・モニタリング月だけ算定する形は継続的支援を難しくしている。
- ・報酬が日払い制であることにもかかわらず、曜日、時間を固定で人材を確保しなければならないこと。
- ・体調不良時の欠席保障のような給付金等。
- ・キャンセルに対応した際の加算の創設。
- ・動ける医療的ケア児受け入れに対する補助金。
- ・超重症児等を入浴させることに対する報酬の新設。
- ・日中活動支援加算の増額。
- ・時間と労力に報酬が見合わない。相談支援は重要なサービスであるが、採算が合わないため専従の職員を増やせない。
- ・企業事業所に任せるのではなく処遇改善加算の加配のような形で直接処遇アップできる施策。
- ・中規模・大規模事業所といっても、支援員数を大きく減らすことはできません。小規模と同等の基本報酬が必要。

(3) 医療的ケアについて

- ・医ケア児を含む重度の障害児が欠席する場合の補助。
- ・医ケア児が来所する時に看護師が派遣されるシステム。

(4) その他について

- ・送迎における複数施設乗合サービスの提供。
- ・産休育休中の経営支援。
- ・ご利用者と事業者が直接やり取りをする機会が非常に多くある。介護保険のようにケアマネジャーがほぼ必ず存在していれば、容易に解決できそうな問題もトラブルに発展しやすい。第三者の目を入れる様にして欲しい。
- ・書類作成やそのチェックなどのやり方で効率のよいやり方を追い求めていく必要がある。
- ・事務的業務に人手と時間ととられて、現場の労働力は奪われてしまいます。そして、そういった施策のために中間業者を挟むためコストもかさむ。
- ・工賃アップや作業支援よりは、利用者の生活面での支援・介助に職員が多くの時間を要している。B型と生活介護の利用定員の設定については、区の担当（所管課）と相談をしていきたい。
- ・個別サポート加算対象者の判定が保護者の記入するチェックシートをもとになっており、家庭と集団の場での本人の自立度や困りごとにひらきがある。
- ・利用者の高齢化への対応。
- ・他事業所との連携、協力体制の確立。
- ・共同生活援助に使える物件の確保。

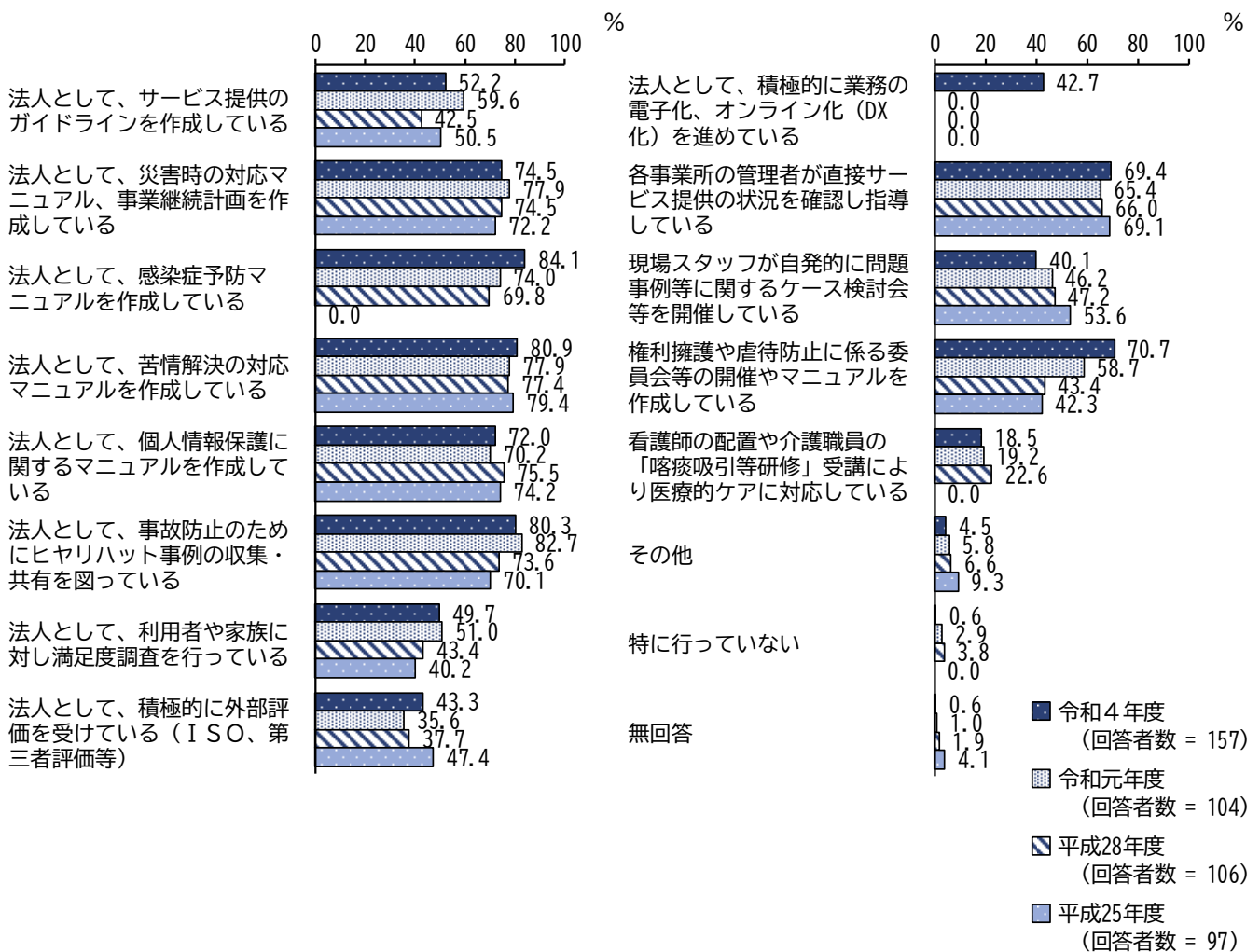
(4) サービスの質の向上のための取り組みについて

問25 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「法人として、感染症予防マニュアルを作成している」の割合が84.1%と最も高く、次いで「法人として、苦情解決の対応マニュアルを作成している」の割合が80.9%、「法人として、事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」の割合が80.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「法人として、感染症予防マニュアルを作成している」「法人として、積極的に外部評価を受けている（ISO、第三者評価等）」「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している」の割合が増加しています。一方、「法人として、サービス提供のガイドラインを作成している」「現場スタッフが自発的に問題事例等に関するケース検討会等を開催している」の割合が減少しています。



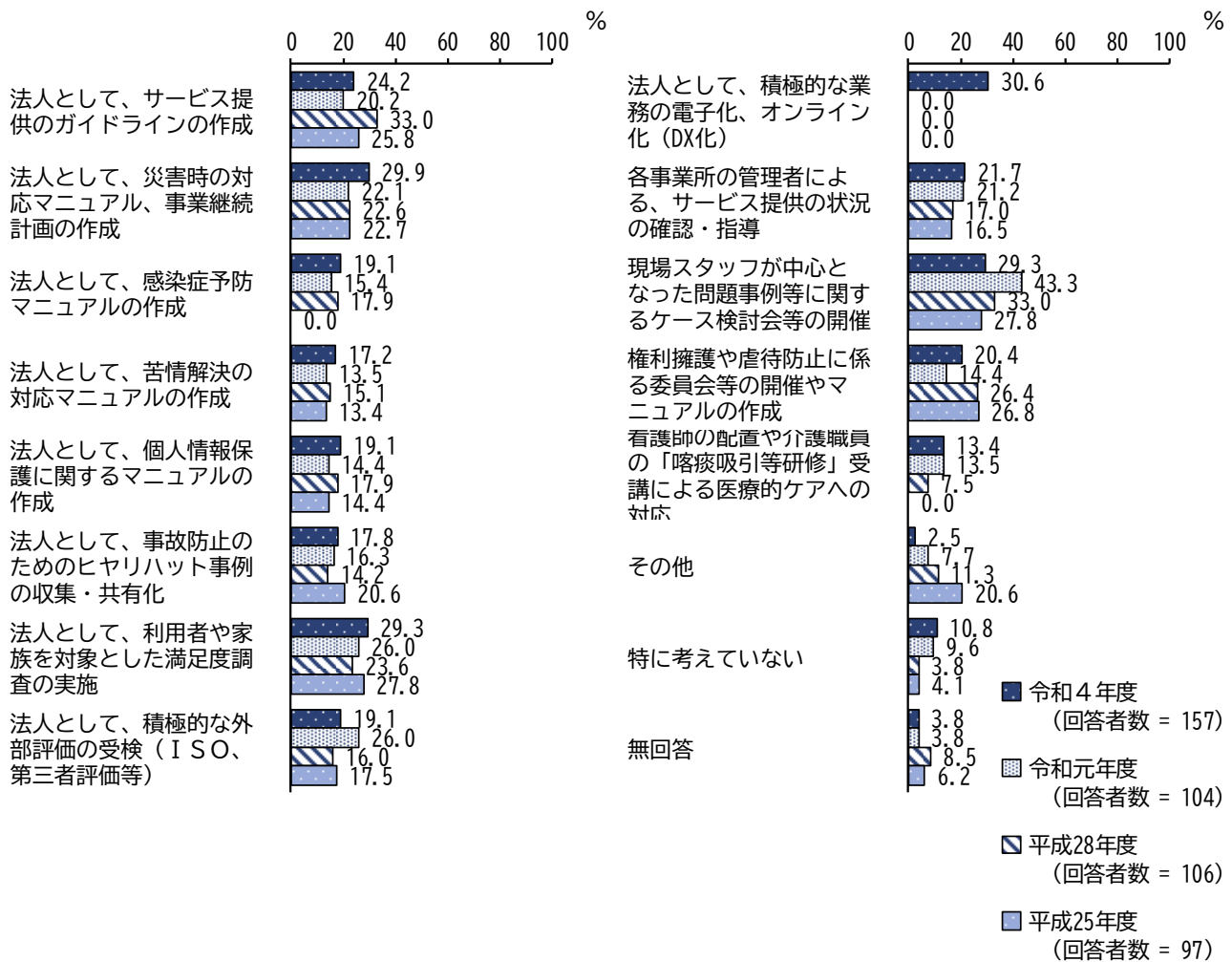
※前回は「法人として、積極的に業務の電子化、オンライン化（DX化）を進めている」の選択肢はありませんでした。

問 26 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていかうとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化 (DX 化)」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成」の割合が 29.9%、「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」、「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」の割合が 29.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成」「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成」の割合が増加しています。一方、「法人として、積極的な外部評価の受検 (ISO、第三者評価等)」「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」の割合が減少しています。



※前回は「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化 (DX 化)」の選択肢はありませんでした。

問 27 現在、日本では積極的に IT 機器といったデジタルを活用し、社会を変容させようとするデジタルトランスフォーメーション（DX）が推進されており、それは介護業界や障害福祉業界でも例外ではありません。
DXを進めるにあたり課題となることはありますか。ご自由にお書きください。

※一部抜粋

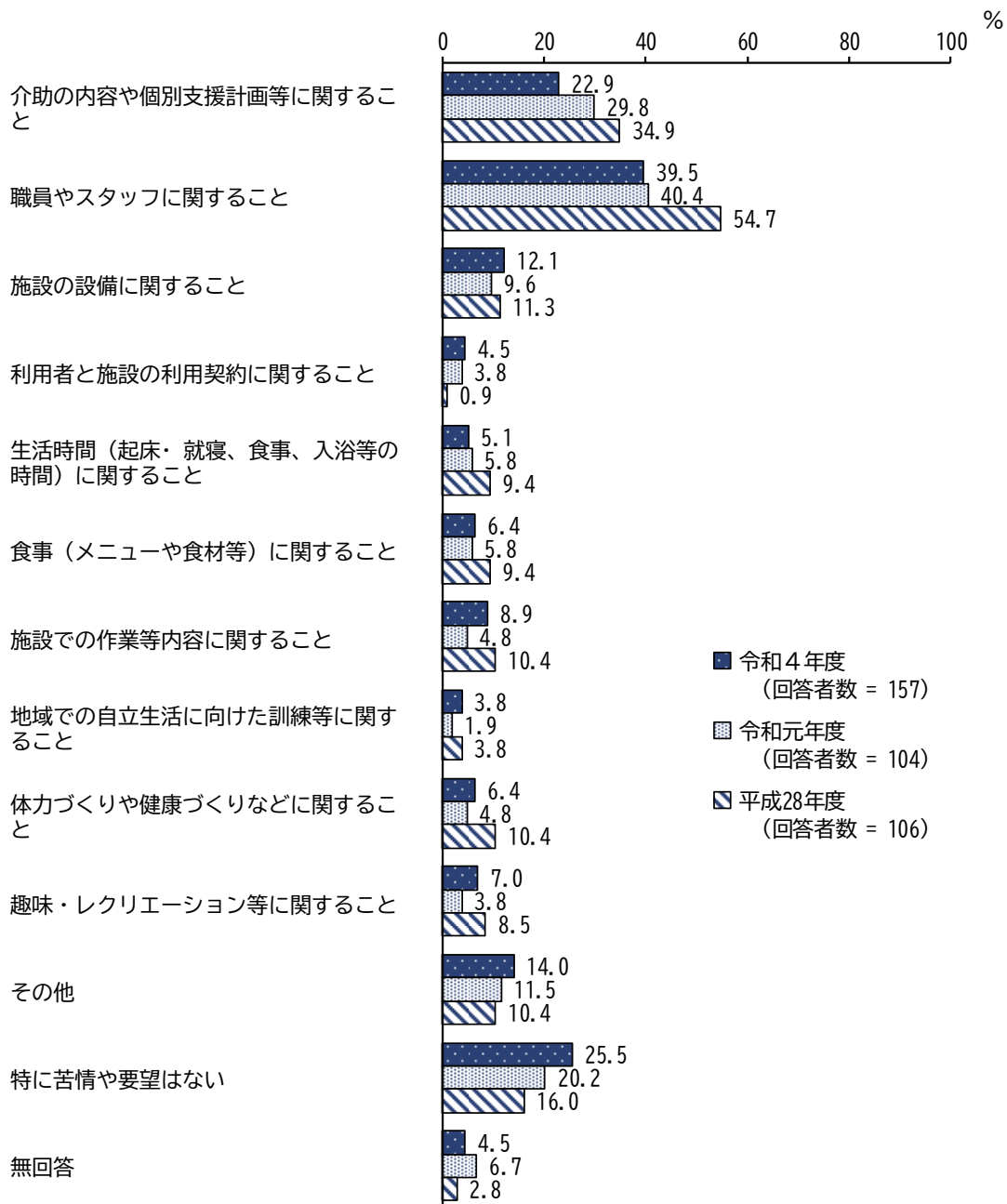
- ・端末の購入などの導入費用。
- ・職員の IT スキルの向上。
- ・研修時間の確保。
- ・制度の簡素化。
- ・デジタルの得手不得手が必ずあるので強制参加にならないようにしてほしい。
- ・帳票類が紙ベースのため、入力と印刷の二度手間。
- ・紙ファイルから電子ファイル化していくための初期フェーズで発生するマンパワーが足りない。
- ・業務の効率化につながると思うが利用者一人ひとりに対する個別的な支援や利用者との関わりの部分が簡略化されないよう、職員への周知や理解が必要と思われる。
- ・事務関係がDXにより質が向上しても対人サービスでのサービス向上につながるとは限らない。
- ・個人情報保護の確保。
- ・非常勤職員が中心となる職場で業務の中で IT 機器を必要とする場面が少ないため導入していく必要性を感じられない。
- ・具体的にはどのようなものなのかがイメージしにくい。

問 28 貴事業所では、利用者から寄せられる苦情や要望として、どのようなことが多いですか。（3つまで〇）

「職員やスタッフに関すること」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「特に苦情や要望はない」の割合が 25.5%、「介助の内容や個別支援計画等に関すること」の割合が 22.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「特に苦情や要望はない」の割合が増加しています。一方、「介助の内容や個別支援計画等に関すること」の割合が減少しています。

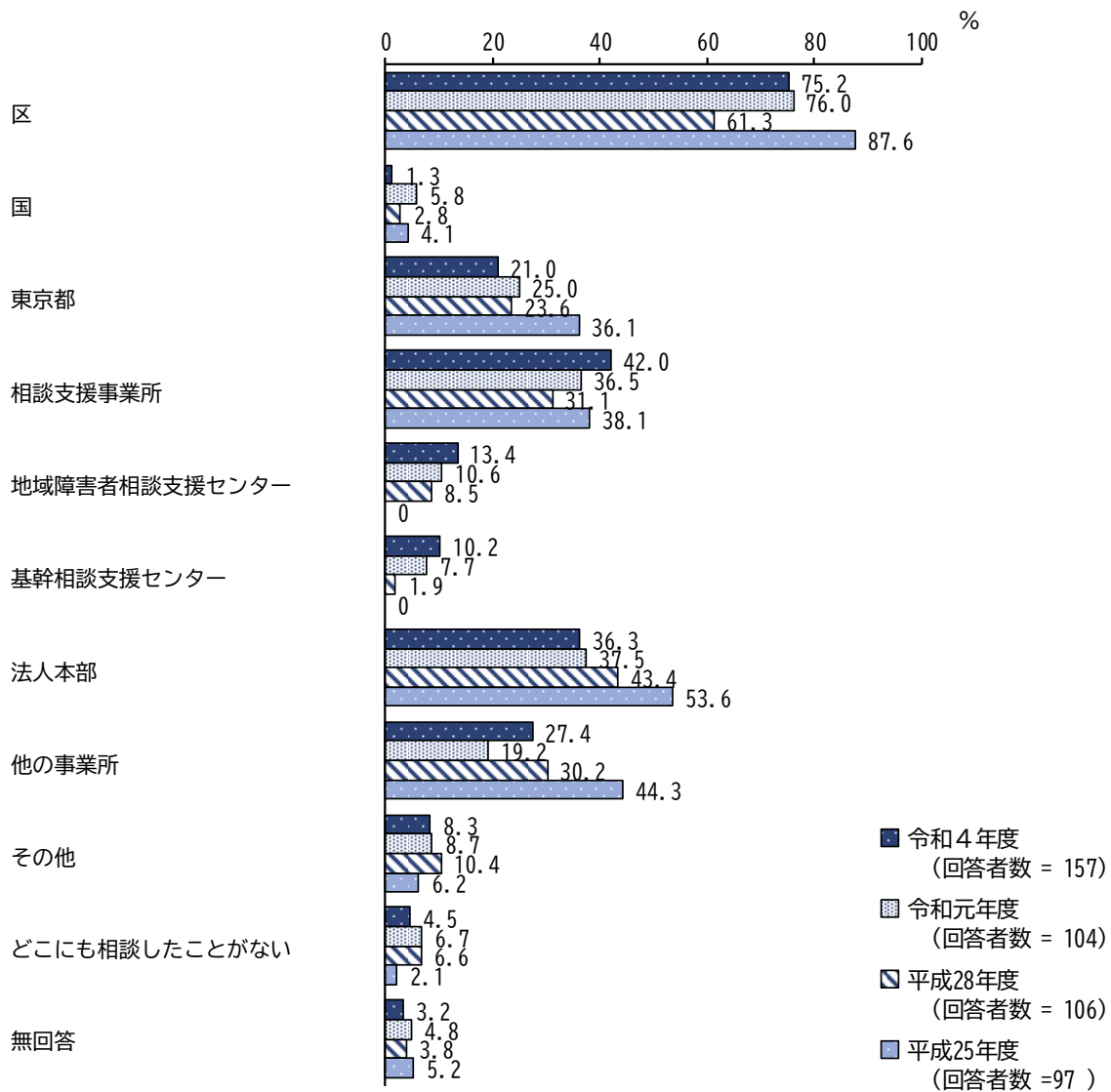


問 29 何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「区」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「相談支援事業所」の割合が 42.0%、「法人本部」の割合が 36.3%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「相談支援事業所」「他の事業所」の割合が増加しています。

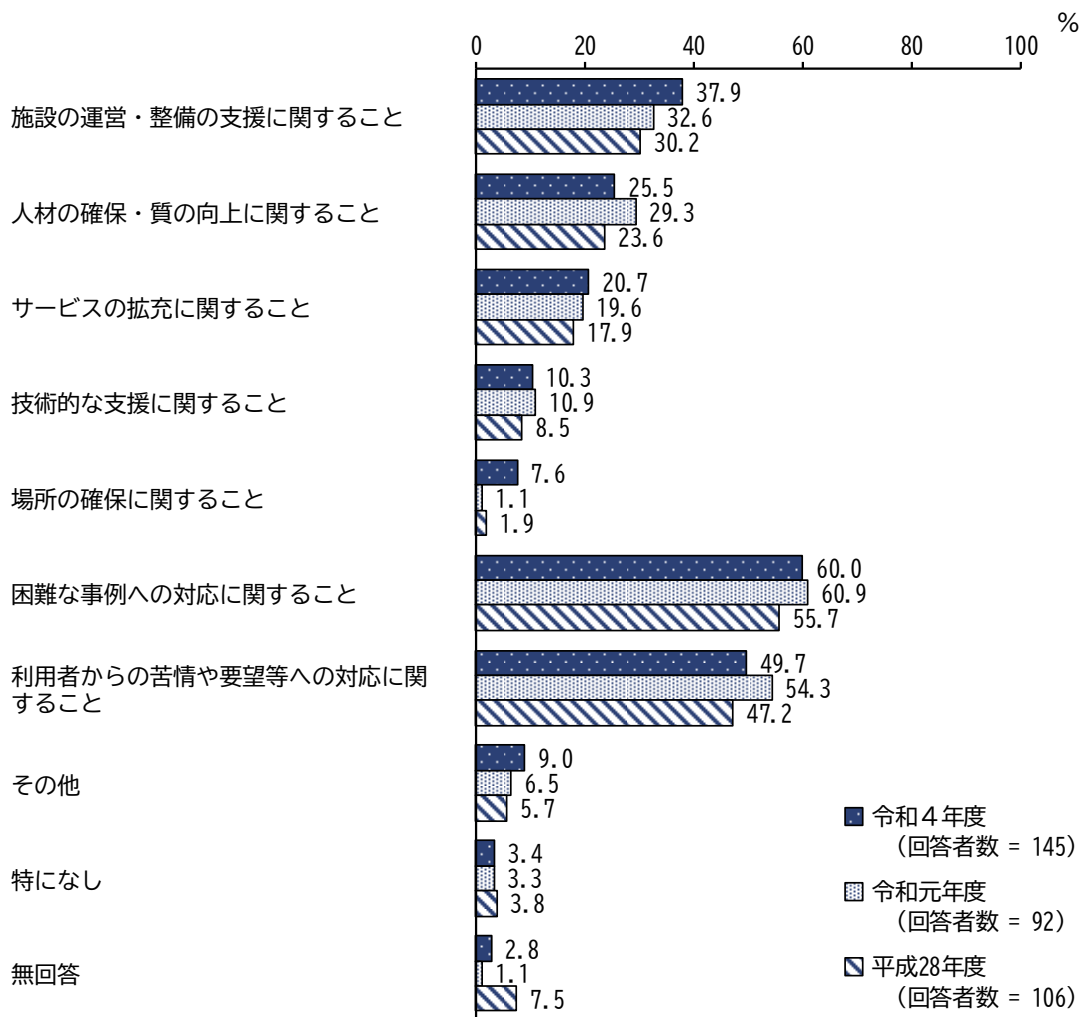


問 30 問 29 で相談されたのは、主にどのような内容ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「困難な事例への対応に関すること」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」の割合が 49.7%、「施設の運営・整備の支援に関すること」の割合が 37.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「施設の運営・整備の支援に関すること」「場所の確保に関すること」の割合が増加しています。

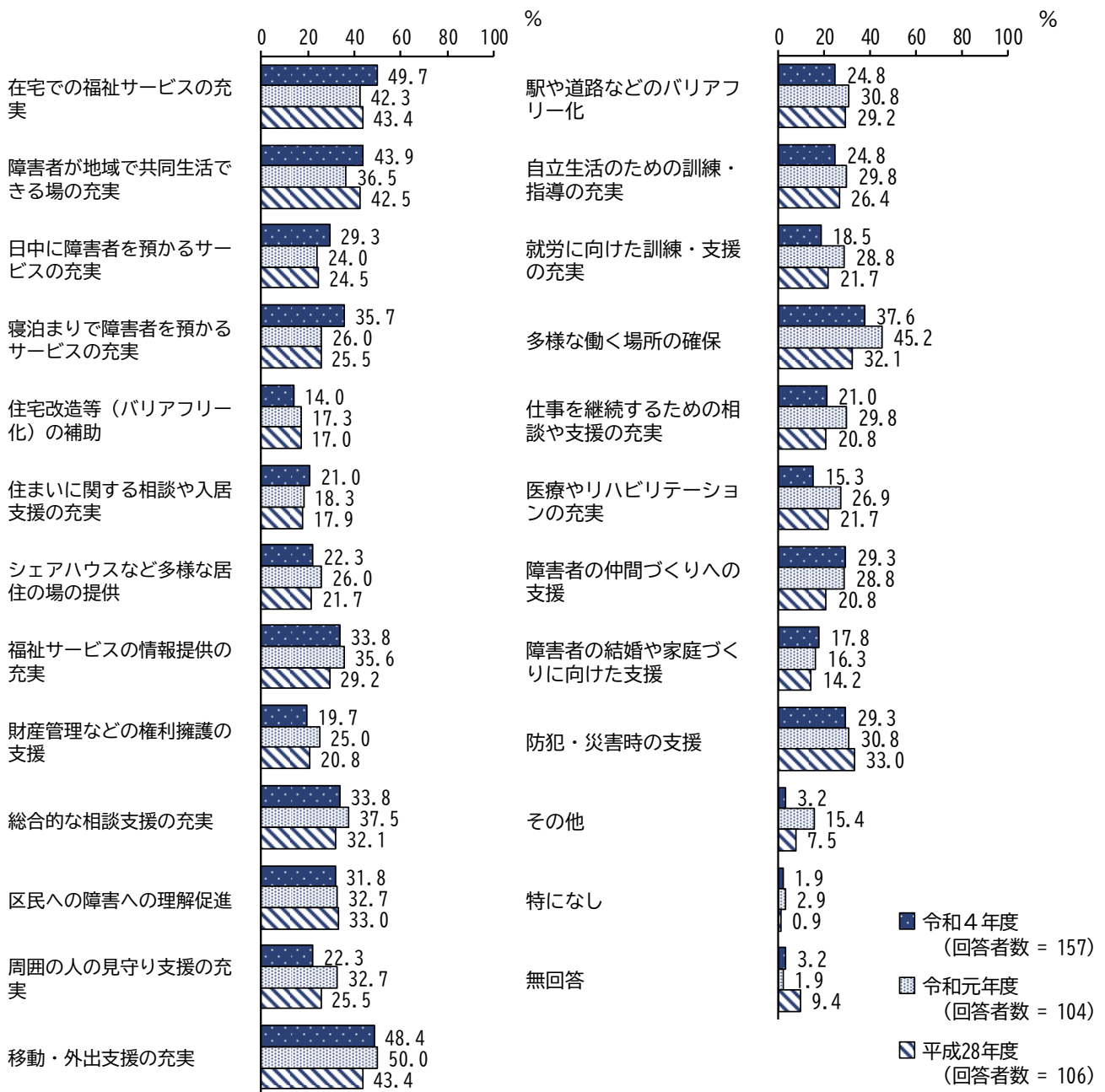


問 31 区では、障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後どのようなサービスや支援に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「在宅での福祉サービスの充実」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「移動・外出支援の充実」の割合が 48.4%、「障害者が地域で共同生活できる場の充実」の割合が 43.9%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「在宅での福祉サービスの充実」「障害者が地域で共同生活できる場の充実」「日中に障害者を預かるサービスの充実」「寝泊まりで障害者を預かるサービスの充実」の割合が増加しています。一方、「財産管理などの権利擁護の支援」「周囲の人の見守り支援の充実」の割合が減少しています。



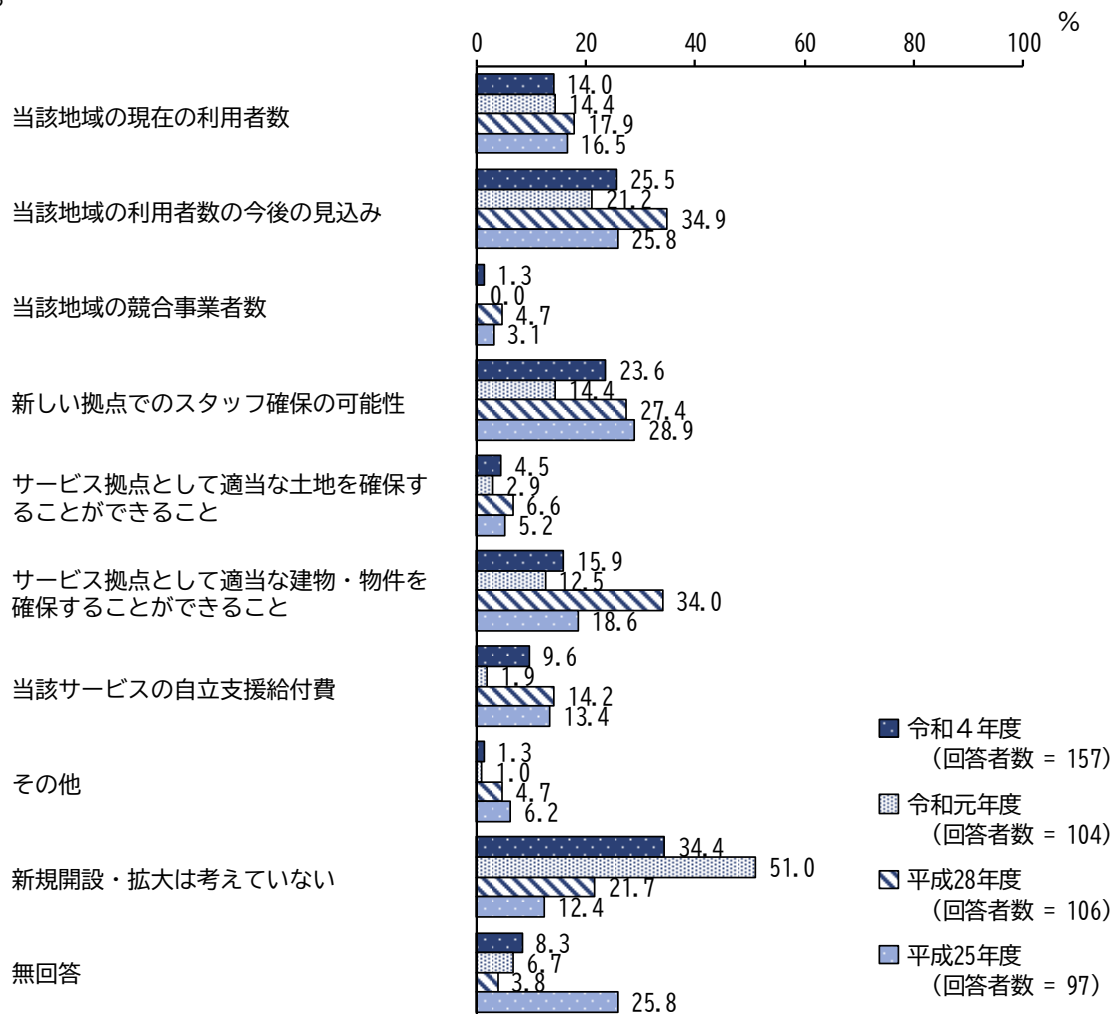
(5) 今後の事業展開について

問 32 貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。
(2つまでに○)

「新規開設・拡大は考えていない」の割合が34.4%と最も高く、次いで「当該地域の利用者数の今後の見込み」の割合が25.5%、「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」の割合が23.6%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」「当該サービスの自立支援給付費」の割合が増加しています。一方、「新規開設・拡大は考えていない」の割合が減少しています。

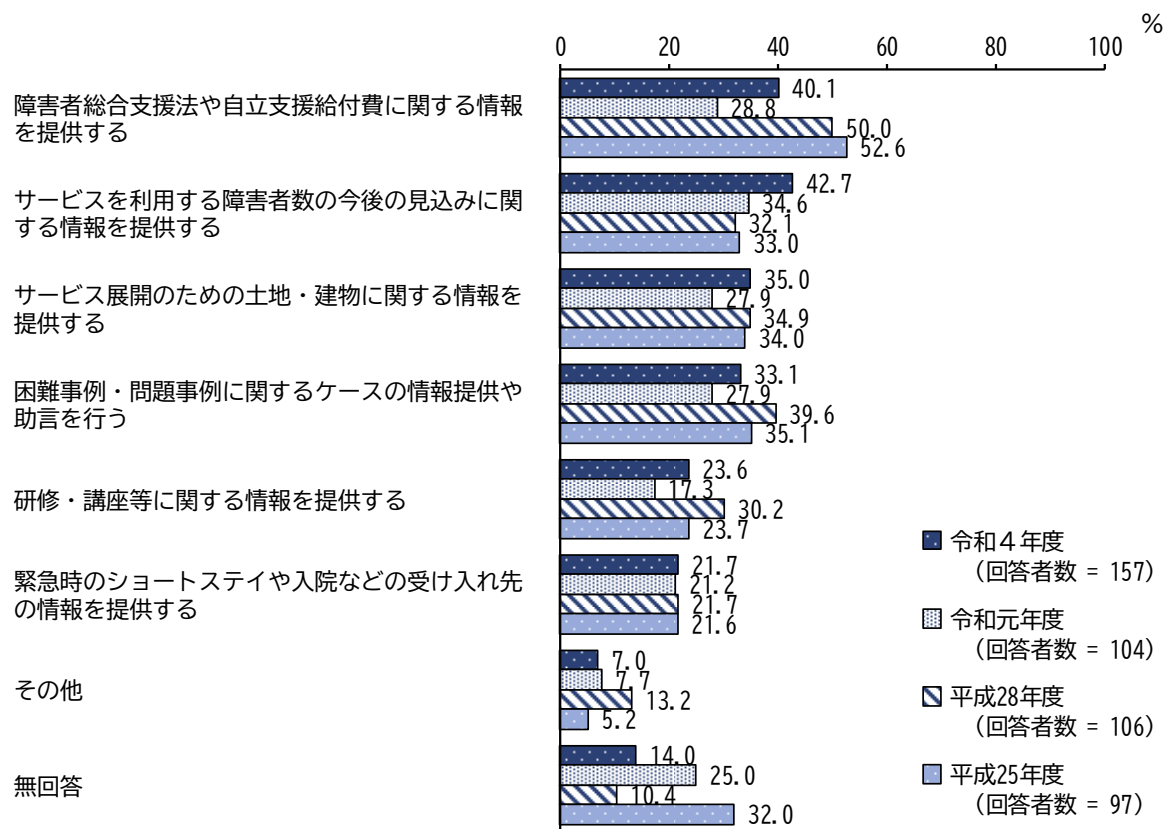


問 33 貴事業所では、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報を提供する」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報を提供する」の割合が 40.1%、「サービス展開のための土地・建物に関する情報を提供する」の割合が 35.0%となっています。

【経年比較】

令和元年度と比較すると、「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報を提供する」「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報を提供する」「サービス展開のための土地・建物に関する情報を提供する」「困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言を行う」「研修・講座等に関する情報を提供する」の割合が増加しています。



問 34 貴事業所において、今後4か年に新たに開始又は拡大する予定のサービスの番号すべてに○をつけ、分かる範囲で1か月あたりの受け入れ予定数（時間、日、人）をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

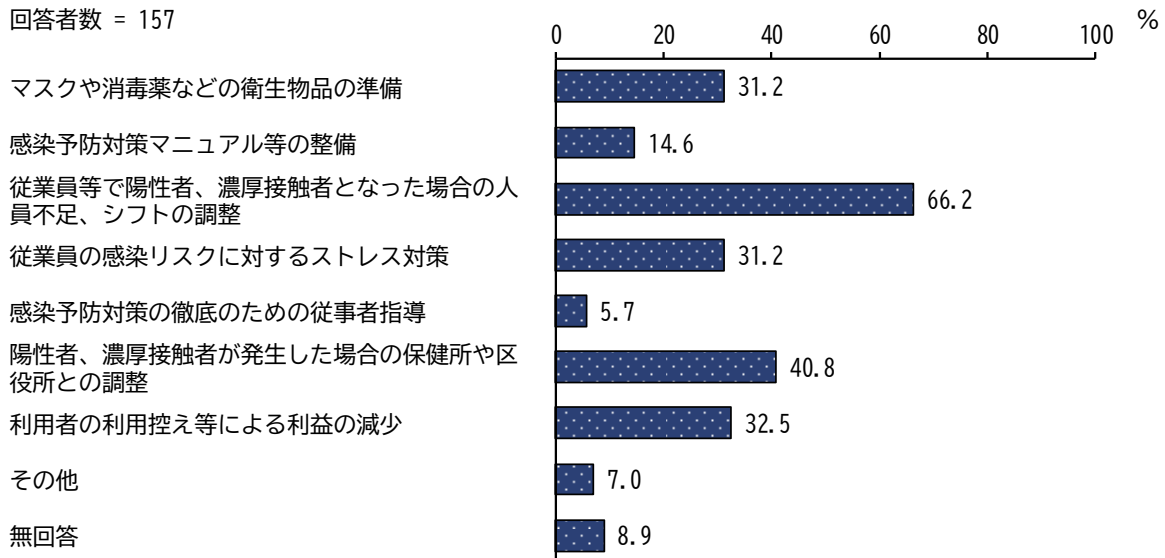
今後4か年に新たに開始又は拡大する予定のサービスの受け入れ予定数については、下表の通りです。

サービス名	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
居宅介護（ホームヘルプ）	10	70.90 時間	9	76.00 時間	8	92.38 時間	8	100.50 時間
重度訪問介護	3	70.00 時間	3	76.67 時間	2	115.00 時間	2	125.00 時間
同行援護	2	212.00 時間	2	218.00 時間	2	224.00 時間	2	230.00 時間
行動援護	1	24.00 時間	1	36.00 時間	1	48.00 時間	1	60.00 時間
生活介護	2	13.00 日	-	- 日	-	- 日	-	- 日
就労移行支援	1	400.00 日	1	400.00 日	1	400.00 日	1	400.00 日
就労継続支援（B型）	2	21.50 日	3	23.33 日	2	21.50 日	2	21.50 日
就労定着支援	1	10.00 人	1	10.00 人	1	10.00 人	1	10.00 人
自立生活援助	1	3.00 人	3	2.67 人	3	4.33 人	3	5.00 人
共同生活援助	5	164.00 人	5	164.20 人	4	235.75 人	4	237.50 人
計画相談支援	1	25.00 人	1	25.00 人	1	25.00 人	1	25.00 人
児童発達支援	3	18.33 日	2	17.50 日	2	17.50 日	2	17.50 日
放課後等デイサービス	4	42.50 日	4	48.25 日	3	68.33 日	3	75.00 日
障害児相談支援	1	5.00 人	1	5.00 人	1	5.00 人	1	5.00 人

問 35 今般の新型コロナウイルス感染症拡大により、困ったことはどのようなことですか。(3つまでに○)

「従業員等で陽性者、濃厚接触者となった場合の人員不足、シフトの調整」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「陽性者、濃厚接触者が発生した場合の保健所や区役所との調整」の割合が 40.8%、「利用者の利用控え等による利益の減少」の割合が 32.5%となっています。

回答者数 = 157



問 36 最後に、区の障害者福祉をよりよいものとし、区の障害者の地域生活をより豊かなものとしていくために必要な支援等について、ご意見等をお聞かせください。

分類回答	件数
1 雇用・就業	3
2 保健・医療	3
3 福祉サービス	50
4 地域福祉	2
5 その他	2
回答者数	60

IV 調査票

障害者（児）実態調査 ご協力をお願い

区民の皆様におかれましては、白旗から区政にご協力をいただき深くお礼申し上げます。さて、世田谷区では、令和6年度からの障害福祉施策に対する計画の策定に向け、実態調査を実施いたします。本調査は、令和4年10月1日時点で区内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方、障害福祉サービスの支給決定を受けている方、障害福祉サービスの利用の対象となる難病指定を受けている方等から5,500人を無作為に選り、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、世田谷区個人情報保護条例に基づき、秘密の保持には努めを怠くすとともに、調査の目的以外には使用いたしません。いただいた回答は、集計した上で、計画策定の参考資料とさせていただきますとともに、報告書にまとの区の公式ホームページに掲載します。

つきましては、お忙しい中を誠に恐縮ですが、回答にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和4年11月

世田谷区

調査・集計作業は、(株)名前に委託して実施していますので、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、(株)名前が設置する下記コールセンターまでお願いします。

【お問い合わせ】アンケート調査問合せコールセンター

電話：0120-756-555（フリーダイヤル）
FAX：03-5432-3021

受付時間：8時半～17時（土日、祝日は除く）

世田谷区 障害福祉部 障害福祉推進課



ご記入にあたってのお願い

1. 調査には、あて者の方（ご本人）がお答えください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、主に介護をなさっている方やご家族の方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. 主な介護者等に対する質問は、介護者等に確認して回答いただくか、介護者等の方が直接回答をお願いします。
3. 調査票中の「あなた」とは、調査票が送られたあて者の方を指します。
4. 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問ごとに（1つに○）（あてはまるものすべてに○）などの指示がありますので、それにのりつけて回答してください。
5. 質問の回答が「その他」である場合は、具体的な内容を（ ）内に記入してください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
6. 回答は、最初から1問ずつお答えください。中には「前の問だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印（→）や説明にしたがって回答してください。
7. この調査票の記入にあたっては、令和4年10月1日現在の状況でお答えください。
8. ご記入が済みましたら、封封の返信前封筒（切手は不要、差出人（あなた）の姓前・氏名の記入は不要）に入れて、**11月30日（水）**までにお近くのポストにご投函ください。
9. インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
下記のURLにアクセスするか、右のQRコードを読み込んでください。
URL：<https://questant.jp/q/22356f80>
・入力する際は、IDを入力してください。
ID：*****



・インターネットを利用して回答していただく場合は調査票の返送は不要です。



この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. あなた (ご本人) | 4. 子 (子の配偶者を含む) |
| 2. 配偶者 | 5. 兄弟姉妹 |
| 3. 父母 | 6. その他 () |

最初に、あなた (ご本人) のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)

歳 () 歳

問3 あなたは、どなたと一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. ひとり暮らし (←問4へ進む) | 6. 兄弟姉妹 |
| 2. 配偶者 | 7. 相父母 |
| 3. 父 | 8. 父母以外の親族者 |
| 4. 母 | 9. その他 () |
| 5. 子 (子の配偶者を含む) | |

【問3で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします】

問3-1 あなたと同居しているご家族は、あなたを含め合計で何人ですか。(数字を記入)

() 人

問4 あなたが現在のお住まい (親等のご家族と同居の場合は、その方のお住まい) は次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 持ち家 | 5. グループホーム (生活費を含む) |
| 2. 民間賃貸住宅 | 6. 入所施設 |
| 3. 公営住宅・区営住宅 | 7. シェアハウス・ホームシェア |
| 4. 社宅・公営賃貸等 | 8. その他 () |

問5 あなたのお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 世田谷地域 | 4. 宮地域 |
| 2. 北沢地域 | 5. 蒲田地域 |
| 3. 三軒地区 | |
- ※ この地域かわからない場合は、以下にお住まいの地名をお書きください。
(例) 上野



問6 あなたの障害は次のどれに該当しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 視覚障害 | 6. 知的障害 |
| 2. 聴覚・平衡機能障害 | 7. 発達障害 (←問6-1へ) |
| 3. 言語・言語・しゃく機能障害 | 8. 精神障害 |
| 4. 肢体不自由 (上肢・下肢・足趾・腕・肘・手) | 9. 高次脳機能障害 |
| 5. 脳性病変・運動機能障害等 | 10. 難病 (特定疾病) (←問6-2へ) |
| 6. 内部障害 (気風、心臓病、糖尿病、高血圧、小児遺尿、認知症等) | 11. その他 () |

【問6で「7. 発達障害」とお答えの方におたずねします】

問6-1 発達障害の種類は次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. 自閉スペクトラム症 (ASD) | 4. その他 |
| 2. 注意欠陥多動性障害 (ADHD) | 5. わからない |
| 3. 学習障害 (LD) | |

【問6で「10. 難病 (特定疾病)」とお答えの方におたずねします】

問6-2 あなたの難病 (特定疾病) は何ですか。疾病名についてご記入ください。

疾病名 ()

問7 心身の状態について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|--------------|------------|-------------|--------------|--------|
| 1) 座位保持 (体幹) | 1. 座位保持できる | 2. 座位保持できない | | |
| 2) 運動機能 (下肢) | 1. 走れる | 2. 歩ける | 3. 片足があれば歩ける | 4. その他 |

- | | |
|-------------------|---|
| 3) 日常必要なコミュニケーション | 1. コミュニケーションに支障がない |
| | 2. コミュニケーションが困難 |
| | 3. 言語以外の方法を使用する (サインや写真、音声伝達装置、コミュニケーションボード等) |

問8 あなたが、現在お持ちの手術の等級は何級または何級ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 身体障害者手術 | (1級 2級 3級 4級 5級 6級) |
| 2. 装の手帳 | (1度 2度 3度 4度) |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳 | (1級 2級 3級) |
| 4. 手帳は所持していない | |

問9 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1. 出生前または出生時 | 2. () 歳くらい | 3. わからない |
|--------------|-------------|----------|



- 問10 あなたの雑音者検査法での雑音受検区分は次のどれですか。(1つに○)
1. 区分1
 2. 区分2
 3. 区分3
 4. 区分4
 5. 区分5
 6. 区分6
 7. 設定を受けていない(音量や非該当の音を含む)

【介護保険を受けている方におたすねします】

問11 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。(1つに○)

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護1
6. 要介護2
7. 要介護5

日常生活に関することについておたすねします

問12 あなたは、次の項目について一人でできることができますか。(それぞれ1つに○)
補装具や特別な技術、用具等を使用している場合も、「できる」とします。

	一人でできる	補助をければ一人でできる	一人でできない 部分的に補助が必要 いつも補助が必要
①食事	1	2	3
②洗濯・干しや物干し	1	2	3
③着替え・身だしなみ	1	2	3
④入浴	1	2	3
⑤トイレ	1	2	3
⑥室内の移動	1	2	3
⑦外出	1	2	3
⑧日常の買い物	1	2	3
⑨掃除	1	2	3
⑩洗濯	1	2	3
⑪服薬の管理	1	2	3
⑫お金の管理	1	2	3
⑬交通手段の利用	1	2	3
⑭火災や地震などのときの避難	1	2	3
⑮入浴のコミュニケーション	1	2	3

問13 あなたは、他の人とのように簡単なコミュニケーションを行っていますか。
(おたすねするものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. 特別な技術や用具を使わずともできる | 8. パソコン(電子メール等)、携帯電話・スマートフォン・タブレット |
| 2. 口話 | 9. 携帯電話・通話機器・発音補助器具 |
| 3. 手話・指字 | 10. その他() |
| 4. 補助器や人工内耳等の補助機器 | 11. 特別な技術や用具を使っても困難 |
| 5. 筆談・契約筆記 | |
| 6. 文字盤 | |
| 7. 点字 | |



問14 あなたは情報を入手する際にインターネットを活用していますか。(1つに○)

1. はい(→問14-1)
2. いいえ(→問14-2)

【問14で「1」とお答えの方におたすねします】

問14-1 あなたがインターネットを活用する際に使用する機能を教えてください。
(おたすねするものすべてに○)

1. スピーク機能
2. テキスト読み
3. パソコン
4. その他()

問14-2 あなたが問14-1でお答えいただいた機能を使用する際に活用する機能、ソフト(アプリ)、周辺機器等を教えてください。(おたすねするものすべてに○)

1. 特に使用していない
2. 音声認識機能・ソフト(アプリ)
3. 音声読み上げ機能・ソフト(アプリ)
4. キーボード補助具・マウス補助具
5. スクリーンキーボード
6. その他()

問15 あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることはありますか。
(5つまで○)

1. 点字・音声の出版物が少ない
 2. 音声による情報が少ない
 3. 検索(障害者向けの行政の広報誌等)が手に入りにくい
 4. ウェブ上(スマートフォンやパソコン)からの情報入手が難しい
 5. 車中で十分に意思を伝えることに限界がある
 6. 筆談で十分に意思を伝えることに限界がある
 7. 字書付きのテレビ・動画・雑誌等が少ない
 8. 手話付きのテレビ・動画・雑誌等が少ない
 9. 重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
 10. 初めて行くところでは、不安になる
 11. 公共施設の案内がわかりにくい
 12. 案内等での緊急時・非常時の情報が取りにくい
 13. まわりの人と意思疎通が十分にできない
 14. 補助器を購入したいが費用が高い
 15. インターネットやメールの使い方がよくわからない
 16. 問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスがない
 17. 特に困らない
- (そのを困っていることがあれば、自由に記載ください)



問17-8 主な介護者または支援者の方は、おてまの介護が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 周囲の人の理解への支援 | 11. 医師やリハビリテーションスタッフの充実 |
| 2. 財産管理や見守り等の支援 | 12. 移動支援の充実 |
| 3. 相談支援の充実 | 13. 駅や道路などのバリアフリー化 |
| 4. サービスの情報提供の充実 | 14. 自立生活のための訓練・指導 |
| 5. ホームヘルプサービスの充実 | 15. 暮らしながら自立生活が体験できる場 |
| 6. 住宅改修等(バリアフリー化)の補助 | 16. 働くための訓練・就労に向けた支援 |
| 7. 住まいに関する相談や支援の充実 | 17. 多様な働く場面の確保 |
| 8. ショートステイの整備 | 18. 仕事を継続するための相談や支援 |
| 9. グループホームの整備 | 19. 防災・災害時の支援 |
| 10. 介護施設の整備 | 20. その他 () |
| | 21. 特になし |

健康と医療についておたずねします

問18 あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。

(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 定期的に通院している | 4. 入院している |
| 2. ときどき通院している | 5. 特に出張はしていない |
| 3. 自宅で訪問診療や訪問看護を受けている | 6. その他 () |

問19 あなたには、継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。(1つに○)

1. ある (→問9-1A) 2. ない (→問9-1B)

《問19で「1. ある」にお答えの方におたずねします》

問19-1 どのような医療機関ですか。

(おてはまるものすべてに○をシ、受診料をご記入ください)

- | |
|-------------------------|
| 1. 区内の診療所や医師 (受診料:) |
| 2. 区内の総合病院や大学病院 (受診料:) |
| 3. 区外の診療所や医師 (受診料:) |
| 4. 区外の総合病院や大学病院 (受診料:) |



問20 あなたは、医師的な支援（医師ケア）を受けていますか。(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 受けていない | 7. 気管切開部の衛生管理 |
| 2. 経管栄養（胃置チューブ・胃ろう・腸ろう） | 8. 胃ろう・腸ろう部の衛生管理 |
| 3. 吸引（口鼻吸引・エラージェイブ・気管吸引） | 9. 定時の薬液吸入 |
| 4. 酸素管理 | 10. 人工呼吸器の圧動状態の確認および緊急時の連絡等 |
| 5. エラージェイブの管理 | 11. その他 () |
| 6. 導尿 | |

問21 あなたは、過去1年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。(おてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 受けていない |
| 2. 区民健診・障害者施設健診を受けた（区の特設で受診） |
| 3. 特定健診・長寿健診を受けた（区内医療機関等で受診） |
| 4. その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診） |
| 5. 就学時健診や学校での健康診断を受けた |
| 6. 歯科検診を受けた |

問22 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じることはありませんか。(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 障害が重化したり障害が悪化している | 11. 定期的に健康診断を受けられない |
| 2. 健康増進や服薬の管理が難しい | 12. 障害に訪じた必要な治療を受けられない |
| 3. 近所に来てくれる医師がいない | 13. 受診手続きや案内などへの配慮が不十分 |
| 4. 専門的な医療機関が近くにない | 14. 医療費の負担が大きい |
| 5. 通院の行き先を決めてくれない | 15. 入浴のとき付き添いや傾重を要いられる |
| 6. 医師等との意思疎通がうまくとれない | 16. 訪問看護などの、住みサービスが不十分 |
| 7. 医師等の障害に対する理解が不十分 | 17. 一人暮らしによる緊急時への不安 |
| 8. 診療を断られる | 18. その他 () |
| 9. 住診を頼める医師がいない | 19. 特になし |
| 10. 歯科検診を受けられない | |

あなたの住まいや暮らし方についておたずねします

問23 あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが18歳未満の場合は、18歳以降のことを想定してお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 今の家庭と暮らしたい | 5. グループホームで暮らしたい |
| 2. 新たに家族を持って暮らしたい | 6. 入居施設で暮らしたい |
| 3. ひとりで暮らしたい | 7. その他 () |
| 4. 友達等と個室をシェアするなどして暮らしたい | 8. わからぬ |



問24 あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(5つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 雇用の人の経営への理解 | 13. 移動支援の充実 |
| 2. 前住管理や売却等の支援 | 14. 駅や道路などのバリアフリー化 |
| 3. 相談支援の充実 | 15. 自立生活のための訓練・指導 |
| 4. サービスの情報提供の充実 | 16. 暮らしながら自立生活が体験できる場 |
| 5. ホームヘルプサービスの充実 | 17. 働くための訓練・就労に向けた支援 |
| 6. 住宅改修等（バリアフリー化）の補助 | 18. 多様な働く場所の確保 |
| 7. 住まいに関する相談や支援の充実 | 19. 仕事を継続するための相談や支援 |
| 8. ショートステイの整備 | 20. 防犯・災害時の支援 |
| 9. グループホームの整備 | 21. 前住になっても通える場所の充実 |
| 10. 介護施設の整備 | 22. その他（ |
| 11. 交通の場の充実 | 23. 特にない |
| 12. 医療やリハビリテーションの充実 | |

問25 あなたが1か月の平均収入（総込み）はどのくらいですか。（1つに○）

※ご本人が18歳未満の場合は、世帯の1か月の平均収入をお答えください。
※世帯によっては収入や住居所の収入のほか、年金・手当による収入等を含みます。
※ボーナスは月割に置いて、含めて計算してください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 収入はない（→問26へ） | 6. 月に10～15万円未満 |
| 2. 月に1万円未満 | 7. 月に15～20万円未満 |
| 3. 月に1～3万円未満 | 8. 月に20～30万円未満 |
| 4. 月に3～5万円未満 | 9. 月に30万円以上 |
| 5. 月に5～10万円未満 | 10. わからない（→問26へ） |

【問25で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします】

問25-1 あなたの収入の増減はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- 18歳未満の場合は、「8. 世帯の収入」に○をつけてください。
- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 働いて収入（給料・工賃・事業収入） | 5. 親族の家族からの支援 |
| 2. 年金 | 6. 生活保護 |
| 3. 手当 | 7. その他（ |
| 4. 財産収入（地代・家賃・印刷料等の収入） | 8. 世帯の収入 |



日中の活動についておたずねします

問26 あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。
(それぞれ1つに○)

① レジャー・趣味・食育など、余暇やつきまじりの外出	② 買い物、通学・通院、通所など、日常の生活に必要な外出
1. ほぼ毎日	1. ほぼ毎日
2. 週3～6日程度	2. 週3～6日程度
3. 週1～2日程度	3. 週1～2日程度
4. 1か月に数回	4. 1か月に数回
5. ほとんどしない（→問26-1へ）	5. ほとんどしない（→問26-1へ）

【問26で「5. ほとんどしない」とお答えの方におたずねします。】

問26-1 外出しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 道室が重いため | 9. 外出する場所がないため |
| 2. 要領のため | 10. 外出する用事があったため |
| 3. 準備がよくなかったため | 11. 外出を止められていたため |
| 4. 外に出たくないため | 12. 友人や知人がいないため |
| 5. 外に出るのが不安なため | 13. 興味のあることがなかったため |
| 6. 付き添ってくれる人がいないため | 14. その他（ |
| 7. 移動の手段がないため | 15. 特に理由はない |
| 8. 新型コロナウイルスの影響 | |

問27 あなたが外出するときに、雨ったり、不便に思うのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降 | 10. 福祉移動サービスが利用しにくい |
| 2. 歩道、道路、出入口の段差 | 11. 移動手段がない |
| 3. 階段の昇り降り（エレベーターが少ない） | 12. 移動にお金がかかる |
| 4. 手すりがない | 13. 介助者がいない |
| 5. 路上の障害物 | 14. 外出する場所がない |
| 6. 歩道がせまい・あぶない | 15. 周囲の人の理解してくれない |
| 7. 利用できるトイレが少ない（狭い・小さい） | 16. その他（ |
| 8. 標識や表示、案内がわかりにくい | 17. 外出しない（できない） |
| 9. 点字誘導ブロックや盲文用信号が少ない | 18. 特にない |

問28 あなたは、仕事や学校、施設等に選んだりする以外に何をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 家族と遊んでいる | 5. 趣味やスポーツの活動をしている |
| 2. 一人でいることが多い | 6. ボランティアなどに参加している |
| 3. 障壁者団体の活動などに参加している | 7. その他（ |
| 4. 友達と会っている | 8. 前に向していない |



問29 外出のときの移動手段等は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 徒歩 | 7. 自転車 |
| 2. バス | 8. バイク |
| 3. タクシー | 9. 自転車・電動アシスト付自転車 |
| 4. 介護タクシー | 10. 車いす |
| 5. NPO法人の福祉有償運送 | 11. 電動車いす |
| 6. 友人やボランティアの手 (無償) | 12. 徒歩 |
| | 13. その他 () |

問30 これまでに参加したことのある活動はありますか。また、今後参加したいものはありますか。

(①～⑨について参加したものを、参加してみたいものそれぞれ1つに○)

趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動など	参加したことがありますか	今後(も)参加してみたいですか
① コンサートや映画の鑑賞	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② スポーツなどの観戦	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ スポーツ活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ 旅行	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ 学習や趣味、文化・芸術活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥ ボランティアなどの社会貢献活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 地域での交遊、自治会などの活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ 障害者団体などの活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨ SNS等を使った活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

【問30で「趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加したことがある」とお答えの方におたずねします。】

問30-1 参加したことがある趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などは何ですか。

名前などを具体的に記入してください。

()

問30-2 趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに使っているお金は、1か月平均で何円<5万ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 5万円未満 | 4. 3万円～5万円未満 |
| 2. 5万円～10万円未満 | 5. 5万円～10万円未満 |
| 3. 10万円～30万円未満 | 6. 10万円以上 |

問31 やってみたいまたは今後も続けたい趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などは何ですか。

名前などを具体的に記入してください。

()

問32 あなたが趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するためには、何か必要ですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 活動情報の提供がある | 9. 家族や周囲の人の理解 |
| 2. 友人や仲間がいる | 10. 心身の健康状態の維持・向上 |
| 3. 身元などで活動できる | 11. いる人々との出会いの場・機会がある |
| 4. 外出手段が確保されている | 12. やり方をわかりやすく教えてくれる |
| 5. 介助者がいる | 13. 障害のある人を含む人々と一緒にできる |
| 6. 適切な指導者やリーダーがいる | 14. 施設の手続きが取りやすい |
| 7. 障害に配慮した施設や設備がある | 15. その他 () |
| 8. 経済的な負担が少ない | 16. 特になし |

問33 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、パラスポーツに注目が高まっていますか。あなたがこの1年間にスポーツや運動(軽い体操やレクリエーション等を含む。)を行った回数は何回ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に3回以上 | 4. 3か月に1～2回 |
| 2. 週に1～2回 | 5. 月に1～2回 |
| 3. 月に1～3回 | 6. 行わなかった |

【問33で「1」～「5」に○を付けた方におたずねします。】

問33-1 あなたがスポーツや運動をする目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 健康の維持・増進 | 5. 運動不足による |
| 2. 楽しみや余暇活動として | 6. 競技力の向上や技術・技能の向上 |
| 3. リハビリテーションや医療・保健 | 7. その他 () |
| 4. 友達や家族、仲間との交流 | |

問34 あなたが興味がある(やっている、やってみたいまたは続けたい)スポーツはどれですか。(3つまでに○)

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1. フォーテリ | 10. 乗道 | 19. バスケットボール |
| 2. 陸上競技 | 11. パラリンピック | 20. 野球 |
| 3. バドミントン | 12. ボート | 21. フェンシング |
| 4. ホッケー | 13. 射撃 | 22. ラグビー |
| 5. カヌー | 14. パレーボール | 23. テニス |
| 6. 自転車トラック・ロード | 15. 水泳 | 24. 保齡 |
| 7. 馬術 | 16. 卓球 | 25. その他 () |
| 8. サッカー | 17. テンニール | |
| 9. ゴールボール | 18. トライアスロン | 26. 特になし |

【問34】で「1」～「25」に○を付けた方におたずねします。】

問35 あなたは、パラスポーツの推進に向けて、どのような取組みが必要だと感じますか。

(3つまでに○)

1. 定期的・継続的なパラスポーツ教室の実施
2. 障害のある人だけでなく誰もが楽しめるスポーツ大会などの実施
3. パラスポーツを体験する機会の充実（ツアー・紹介コーナーの設置など）
4. パラスポーツ選手（パラリンピアン）との交流の実施
5. パラスポーツに関する広報の充実
6. パラスポーツ用具の貸出し
7. スポーツ施設のパブリック化（貸車庫、トイレ、更衣室、スロープなど）
8. スポーツ施設に障害について専門知識があるスタッフの配置
9. 指導者やスタッフ、ボランティアなどの人材育成
10. スポーツ施設利用における障害者の優先時間帯などの設定（ゴールの優先レーンなど）
11. 児童や生徒へのパラスポーツの推進に関する教育の実施
12. スポーツ施設までの移動手段の充実
13. その他（ ）
14. 特になし

【通前・通学や就労の状況】についておたずねします

問36 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。(1つに○)

1. 通前・通学している (→問36-1へ)
2. 登校等で仕事をしている (→問36-5へ)
3. 施設等に通所している (→問36-8へ)
4. 上の1～3にあてはまらない (→問36-10へ)

【問36】で「1. 通前・通学している」とお答えの方におたずねします。】

問36-1 あなたが通前・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 保育園・幼稚園 | 9. 高等学校（全日制） |
| 2. 通前施設（療育施設） | 10. 専門学校（定時制を含むその他の課程） |
| 3. 特別支援学校の特別部 | 11. 特別支援学校高等部 |
| 4. 普通学級（小・中学校） | 12. 職業訓練校 |
| 5. 通前指導学級（小・中学校） | 13. 専門学校・専修学校 |
| 6. 特別支援教室「すまいるルーム」 | 14. 大学・短期大学 |
| 7. 特別支援学級（小・中学校） | 15. その他（ ） |
| 8. 特別支援学校「小・中学部」 | |

問36-2 通前・通学をする上で、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通前・通学先が遠い
2. 通前・通学の付き添いの確保
3. 通前・通学の送迎バスの確保
4. トイレ等の整備が不十分
5. 校内・園内の介助が不十分
6. 席間の児童・生徒の理解が不足
7. 職員・教員の理解が不足
8. 希望する学級に入れない
9. その他（ ）
10. 特になし

問36-3 現在通っている学校・園などの次にどのような生活を希望しますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 保育園・幼稚園に通いたい | 6. 働きたい |
| 2. 小・中学校や高校の普通学級に通いたい | 7. 自宅にいたい |
| 3. 大学、短期大学、専門学校に通いたい | 8. わからない、決まっていない |
| 4. 特別支援学級、特別支援学校に通いたい | 9. その他（ ） |
| 5. 通前施設に通いたい | |



問36-4 あなたは退職後や定休みなどの長期休暇では、主としてどのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 学習クラブ | 7. 塾・習い事 |
| 2. 児童館 | 8. 地域のスポーツクラブ |
| 3. プレーパーク | 9. 自分の家 |
| 4. 退職後等デイサービス | 10. 友達の家 |
| 5. 遊び場・公園等 | 11. お店など |
| 6. 学校の部活動 | 12. その他() |

【→問37A】

問36-5 「2. 企業等で仕事をしている」とお答えの方におたずねします

問36-5 あなたはどのように働いていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 自営業またはその手伝い | 4. 契約関係のない契約社員 |
| 2. 正社員 | 5. パート・アルバイト |
| 3. 契約期間のある契約社員 | 6. その他() |

問36-6 どのような仕事をしていますか。(主なものを1つに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 事務の仕事 | 7. 倉庫等の商品管理や発送の仕事 |
| 2. 販売・接客の仕事 | 8. 清掃の仕事 |
| 3. 製造の仕事 | 9. 調理・食品・販売等の仕事 |
| 4. パソコンを使った仕事 | 10. 店舗、パソコンやネットの仕事 |
| 5. 医療・福祉の仕事 | 11. その他() |
| 6. 教育関係の仕事 | |

問36-7 複数の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 仕事の内容があつていない | 10. トイレなどの施設の設備が不十分 |
| 2. 労働時間や日数に不満がある | 11. 周囲の目が気になる |
| 3. 賃金や待遇面での不満がある | 12. 通勤が大変である |
| 4. 能力に合った評価、昇進の仕組みがない | 13. 仕事中の体調の変化に不安がある |
| 5. 組織の働きへの理解が不足している | 14. 調子が悪いときに、休みをとりにくい |
| 6. あなた以外に組織に障害者がいない、少ない | 15. 通学のための休みがとりにくい |
| 7. 組織の人間関係がうまくいかない | 16. その他() |
| 8. 相談できる人や援助者がいない | 17. 特に困りや不満はない |
| 9. 自分の考えや思ったことが伝えられない | |

【→問37A】

問36-8 通所する上で何か困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. サービスの内容及び日数に不満がある | 7. トイレなど施設の設備が不十分である |
| 2. 作業時間や日数に不満がある | 8. 気軽に相談できる人がいない |
| 3. 工賃に不満がある | 9. 活動中の体調変化が気になる |
| 4. 活動する上で設備が不足している | 10. 自分の考えを伝えられない |
| 5. 利用者との人間関係がうまくいかない | 11. その他() |
| 6. 通所するものが大変である | 12. 特に困っていることはない |

問36-9 あなたは、今後どのような通所先を希望していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 一般企業に就職したい | 6. 自宅で過ごしたい |
| 2. 現在の施設に通いたい | 7. 活動中の体調変化が気になる |
| 3. 別の施設に移りたい | 8. その他() |
| 4. 福祉作業所などで活動したい | 9. わからない |
| 5. 介護施設サービスに移行したい | |

問36-9で「1. 一般企業に就職したい」とお答えの方におたずねします。

問36-9-1 あなたは、どのような働き方をしたいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 自営業またはその手伝い | 4. アルバイト・パート |
| 2. 正社員 | 5. 在宅勤務・内職 |
| 3. 契約社員・派遣社員・非常勤社員 | 6. その他() |

問36-9-2 あなたは、企業においてどんな支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 働きがある人が働く企業等の見学 | 6. 仕事への動機や意欲の向上 |
| 2. 企業等での体験実習 | 7. ビジネスマナーを学ぶ機会 |
| 3. 経営相談を向上させるプログラム | 8. 履歴書の作成や面接の同行支援 |
| 4. 求職活動の支援 | 9. 就業技術の習得 |
| 5. 身体的な介助 | 10. その他() |

問36-10 あなたが、通学、通所、通所、仕事をしたい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 通学のため仕事や作業ができる | 7. 施設または仲間関係のため |
| 2. 通学、通所、通所、通所が目標 | 8. 居場所や居場所が必要のため |
| 3. 希望する仕事や活動の場がない | 9. 健康や意欲がわかないため |
| 4. 受け入れてくれる会社や施設がない | 10. 創作活動等の社会活動に忙しい |
| 5. 通所への理解に不安がある | 11. その他() |
| 6. コミュニケーションに不安がある | 12. わからない |

福祉の相談やサービス情報についておたずねします

問37 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから（だから）得ていますか。

（おてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 区のおしらせ | 9. 福祉施設の職員やホームヘルプ事業者 |
| 2. 障害者のしおり | 10. 相談支援事業所 |
| 3. 区のホームページ | 11. 社会福祉協議会 |
| 4. 通っている特別支援学校等 | 12. 障害者団体 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 13. 友人や知人、家族 |
| 6. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 14. 新聞やテレビ、雑誌、インターネット |
| 7. 利用している病院・診療所 | 15. その他（ ） |
| 8. 区の窓口 | 16. 特に待てない |

問38 福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談しますか。（おてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 家族 | 9. 最終相談支援センター |
| 2. 友人や知人 | 10. ほーと（地域障害者相談支援センター） |
| 3. 学校の先生 | 11. 相談支援事業所（計画・地域・障害者） |
| 4. 民生委員・児童委員 | 12. ホームヘルパー |
| 5. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 13. 社会福祉協議会 |
| 6. 病院・診療所 | 14. 障害者団体 |
| 7. 区役所の福祉の窓口 | 15. あんしんすこやかセンター |
| 8. 利用している施設の職員・グループホームの世話人 | 16. 子ども家庭支援センター |
| | 17. その他（ ） |
| | 18. 特にない |

問39 あなたがあなたの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることは

どのようなことですか。（おてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 送迎・移動のこと | 11. 通学・学校生活のこと |
| 2. 仕事や収入・生活費のこと | 12. 交通機関の利用に関すること |
| 3. 日常生活・コミュニケーションのこと | 13. 金銭管理・契約などのこと |
| 4. 学習活動や趣味の活動など | 14. 身体・健康のこと |
| 5. 友人関係、近所づきあい | 15. 結婚、住、施設などに関すること |
| 6. 野菜の生活のこと | 16. 親や介護者の高齢化のこと |
| 7. 外出・買い物など | 17. 障害理解や差別に関すること |
| 8. 保健・医療サービスに関すること | 18. その他（ ） |
| 9. 住宅・生活の場所のこと | 19. 特にない |
| 10. 福祉サービスに関すること | |

問40 あなたの「成年後見制度（後見、保佐、補助）※」の利用状況を教えてください。

（1つに○）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 利用している | 4. 利用していない |
| 2. 利用しているが今後利用したい | 5. 制度について知らなかった |
| 3. 利用していないが今後相談したい | 6. この制度に不安を感じて利用していない |

※判断能力に依りて以下の3つの類型があります。
 成年後見人（成年後見制度）
 保佐：判断能力が著しく不十分な人
 補助：判断能力が不十分な人

問41 あなたは、今後、生活をしていく上で、区にどのような機能を強化してほしいですか。

（1つに○）

- | |
|--|
| 1. あなたが生活をしていく上で、生活を続けることが難しいときにすぐに相談できる機能 |
| 2. あなたを支援してくれる人が、急に支援をできなくなったときに、ヘルパーの派遣や一時的な宿泊施設への受入対応を行う機能 |
| 3. グループホーム等の運営福祉サービスの利用や入居らしの体験の機会・場を確保する機能 |
| 4. 専門的な対応（支援を行う）人材の養成や確保をする機能 |
| 5. 地域の様々な要望に対応できるサービスを提供する仕組みや地域の事業所同士が連携する仕組みを作る機能 |
| 6. その他（ ） |



障害福祉サービスの利用状況と利用意向についておたずねします

障 害 福 祉 の サ ー ビ ス 等 の 利 用 状 況 と 利 用 意 向 に つ い て お た ず ね し ま す

- 障 害 福 祉 の サ ー ビ ス 等 の 利 用 状 況 と 利 用 意 向 に つ い て お た ず ね し ま す
- A. 現在、利用しているサービスに○を付けてください。
 - B. 利用しているサービスに満足していませんか、(あてはまる番号に○)
 - C. 不満足なサービスは、その理由をP. 22の下の欄からいくつか選んで記入ください。
 - D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスに○を付けてください。
 - E. サービスの利用を断られたことがある場合は、断られたサービスに○を付けてください。
- ※サービスの認識についてこの調査票の巻末「資料(P. 28以降)【障害福祉サービス等の内容】」を参照してください。

サービス名	A 利用している	B 利用している場合に○			C 不満、「不満足」の理由(P. 22の下にある欄のどれかいくつか記入してください)	D 今後利用したい	E 利用を断られた
		満足 している	満足 しない	満足 しない理由			
例) 1. 居宅介護(ホームヘルプ)	○	1	2	3	④	5	
2. 通達訪問介護		1	2	3	4	5	
3. 同行介護		1	2	3	4	5	
4. 行動介護		1	2	3	4	5	
5. 通達介護者等包括支援		1	2	3	4	5	
6. 療養介護		1	2	3	4	5	
7. 生活介護		1	2	3	4	5	
8. 自立訓練(機能訓練)		1	2	3	4	5	
9. 自立訓練(生活訓練)		1	2	3	4	5	
10. 就労移行支援		1	2	3	4	5	
11. 就労継続支援(A型)		1	2	3	4	5	
12. 就労継続支援(B型)		1	2	3	4	5	
13. 就労定着支援		1	2	3	4	5	
14. 施設入所支援		1	2	3	4	5	
15. 自立生活援助		1	2	3	4	5	
16. 共生生活援助(グループホーム)		1	2	3	4	5	
17. 船舶入所(ショートステイ)		1	2	3	4	5	
18. 計画相談支援(個別計画)		1	2	3	4	5	
19. 地域移行支援		1	2	3	4	5	
20. 地域定着支援		1	2	3	4	5	



サービス名

サービス名	A 利用している	B 利用している場合に○			C 不満、「不満足」の理由(P. 22の下にある欄のどれかいくつか記入してください)	D 今後利用したい	E 利用を断られた
		満足 している	満足 しない	満足 しない理由			
21. 舟着発着支援		1	2	3	4	5	
22. 居宅訪問型地域発達支援		1	2	3	4	5	
23. 放課後等デイサービス		1	2	3	4	5	
24. 障害児入所支援		1	2	3	4	5	
25. 保育所等訪問支援		1	2	3	4	5	
26. 医療型児童発達支援		1	2	3	4	5	
27. 障害児相談支援		1	2	3	4	5	
28. 住宅入居等支援		1	2	3	4	5	
29. 意思疎通支援 (手話通訳者等派遣)		1	2	3	4	5	
30. 日常生活用具給付等		1	2	3	4	5	
31. 移動支援		1	2	3	4	5	
32. 地域活動支援センター		1	2	3	4	5	
33. 福祉ホーム		1	2	3	4	5	
34. 訪問入浴サービス		1	2	3	4	5	
35. 日中一時支援事業		1	2	3	4	5	
36. 自立生活体験(なかまつち、 松原けやき業)		1	2	3	4	5	
37. 巡回支援専門員の相談		1	2	3	4	5	
38. 点字・盲の点検等移行		1	2	3	4	5	
39. 自動車運転免許取得・ 自動車改造補助		1	2	3	4	5	
40. 更生訓練給付		1	2	3	4	5	
41. 成年後見制度		1	2	3	4	5	
42. あんしん事業 (地域定着支援推進事業)		1	2	3	4	5	

「C」欄に記入する理由はここからお選びください

1. 回数や時間がない
2. 利用料が高い
3. サービス提供事業者が少ない
4. 利用したいときに利用できない
5. サービス内容(技術)に不満足を感じる
6. サービス提供事業者の対応がよくない
7. 事業者と家族との連携が取れていない
8. 医師的ケアの対応が十分でない
9. その他()



【問43から問46は、障害福祉サービス等を利用している方におたずねします】

問43 サービスに満足できないときに、どちらかに相談しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所の福祉の窓口相談した
2. 事業者の苦情相談窓口相談した
3. 相談支援事業所に相談した
4. 世田谷区保健福祉サービス苦情相談室に申し立てをした
5. その他()に相談した
6. どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった
7. 相談先はわかっていたが、何もしなかった

問44 あなたが、現在利用しているサービス提供事業者を選んだ理由は何か。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス内容で決めた
2. 人から勧められた
3. 所在地が近かった
4. 問い合わせたときの事業者の対応がよかった
5. 事業者を選定する余地はなかった(事業者数が少ない、緊急的など)
6. すっと前から利用している
7. その他()
8. わからない

問45 あなたが、サービス提供事業者に対して望むことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 契約に関する十分な説明
2. 希望する曜日・時間帯に制約がないこと
3. サービス従事者(ホームヘルパーなど)の質の確保
4. 満足できるサービスを提供できる体制の確保
5. その他()
6. 特になし

問46 あなたの月額負担上限額はいくらですか。(1つに○)

※障害福祉サービスの要給者量に記入されている金額をお答えください。

1. 0円
2. 4,600円
3. 9,300円
4. 31,200円
5. その他()円



【問47は障害福祉サービス等を利用していない方におたずねします】

問47 サービスを利用していない理由は何ですか。(1つに○)

1. サービスを利用する必要がないから
2. 利用したいサービスがないから
3. 家族が介助してくれるから
4. 家族以外に介助してもらうことに不安があるから
5. 施設・サービスが空くのを待っている
6. 緊急時に利用したい
7. 利用料が高い
8. 障害福祉サービスを知らなかった
9. その他()

【40歳以上の方全員におたずねします】

問48 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護(ホームヘルプ)
2. 通所介護(デイサービス)
3. 短期入所(ショートステイ)
4. その他()
5. 介護保険サービスを利用していない

問49 一般的にサービス提供事業者職員の人材が不足していると聞われますが、それについて考えがあればお書きください。

(具体的に記入してください。)



災害対策についておたずねします

問50 あなたは、地震などの災害が発生したとき、必要だと感じられることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 在宅避難の充実
2. 災害の発生や避難指示等を知らせてほしい
3. 地域の欠から安否確認などの声掛けをしてほしい
4. 避難所までの誘導や案内をしてほしい
5. 障害があっても気兼ねなく避難できる場所を確保してほしい
6. 医師や医薬品を確保してほしい
7. 特別な食事や排せつ用(ワチ等)を確保してほしい
8. 手話などコミュニケーション手段を確保してほしい
9. その他 ()
10. 特にない

問51 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問52 地震など災害が発生したときのために、町営・自治会や民生委員等組織の人に、あなたが要援護者であることを申し出ていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問53 災害対策に対する現状についてお答えください。(それぞれ1つに○)

項目	いずれかに○	
①ハザードマップ(洪水、土砂)、防災マップ等を持っていますか。	1. はい	2. いいえ
②防災アプリ(東京都防災、区防災マップ)、気象情報アプリ(ウェザーニューズ、ヤフー天気)を利用していますか。	1. はい	2. いいえ
③日傘・備前・ローリングスタップを直観していますか。	1. はい	2. いいえ
④発電機、発電機、モバイルバッテリー、停電に対する備えはありますか。	1. はい	2. いいえ
⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を理解していますか。	1. はい	2. いいえ
⑥一時集会所、広域避難場所、指定避難所等を理解していますか。	1. はい	2. いいえ
⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか理解していますか。	1. はい	2. いいえ
⑧避難を支援してくれる人はいいますか。	1. はい	2. いいえ



障害理解、差別の解消や権利擁護についておたずねします

問54 あなたは、障害のある人もない人も共に住み慣れた地域で生活できるように地域の理解を促していくためには、どのようなことが必要だと感じますか。(3つまで○)

1. 地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等と一緒にいる場を増やすこと
2. 学校での障害に関する教育や情報の提供
3. 障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催
4. 障害者作業所や通所があっても参加できるイベントの開催
5. 障害者の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行
6. 障害者の一般企業への就労の促進
7. 障害者の地域生活についての理解の促進
8. その他 ()
9. 特にない

問55 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。(1つに○)

1. ある } (→問55-1ハ)
2. 少しある } (→問55-1ハ)
3. ない } (→問56ハ)
4. わからない } (→問56ハ)

【問55で「1. ある」「2. 少しある」とお答えの方におたずねします】

問55-1 差別や偏見を感じたのはどのような場面ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や収入
2. 教育・育児
3. 人間関係
4. 趣味やスポーツの活動
5. 地区の行事・集まり
6. お店などでの対応
7. 役所・公共機関
8. 道路・交通機関
9. 建物・市街の構造
10. 社会制度・慣習
11. 結婚・交際
12. 地域交流
13. 言葉遣い
14. イベントなど
15. その他 ()

問56 平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問57 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口がありますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない



問58 世田谷区に産得の相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)
 1. 知っている 2. 知らない

問59 世田谷区では、様々な状況及び状態にある区民が多様性を尊重し、価値観を相互に認め合い、安心して暮らしていただける地域共生社会を築くため、「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が公布されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)
 1. 知っている 2. 知らない

【8歳以上の方におたずねします。】
 問60 あなたは、選挙で投票していますか。(1つに○)
 1. はい(→問60-1へ) 2. いいえ(→問60-2へ)

【問60で「1. はい」とお答えの方におたずねします。】
 問60-1 投票の際に困ったことはありませんか。
 (質問前に記入してください。)

【問60で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします。】
 問60-2 投票に行くにはどのようなサポートが必要ですか。
 (質問前に記入してください。)

その他についておたずねします
 問61 新型コロナウイルス感染症の感染拡大における、あなたの生活の変化をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 運動量が減った | 10. 収入が減った |
| 2. 食事内容が悪くなった | 11. 運動量が減った |
| 3. わつたりした気持ちで過ごせる時間が減った | 12. 食事内容が悪くなった |
| 4. 新たな趣味や楽しみが生まれた | 13. 睡眠の質が悪くなった |
| 5. 意思疎通が困難になった | 14. 不安やイライラ、気分が晴れない、憂鬱な日が増えた |
| 6. 福祉サービスの利用が困難になった | 15. 病院の定期受診の回数が増えた |
| 7. 友人・知人との交流機会が減った | 16. 人とのコミュニケーションが減った |
| 8. 家族や介護者が感染し不在となった場合の生活が不安になった | 17. その他() |
| 9. 買い物など、通常通っていたところに通えなくなった | 18. 特になし |



問62 最後に、日常のなごりことや区の障害者福祉施策について、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

◆障害福祉サービスの内容(問42関連)

サービス名	サービスの内容
1. 居宅介護	自宅で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
2. 通所訪問介護	重度の肢体不自由者等に介護を必要とする次に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援等を総合的に行います。
3. 同行支援	就業施設により、移動に苦しい困難を有する次に、移動に必要な情報の提供、移動の促進等の外出支援を行います。
4. 行動支援	行動に苦しい困難を有する知的障害者や精神障害者が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。
5. 重度障害者等支援支援	介護の必要性がとて高い次に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行います。
6. 療養介護	医療と療養介護を必要とする次に、医療機関で継続訓練、療養上の管理、輸送、介護及び日常生活の支援を行います。
7. 生活介護	常に介護を必要とする次に昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作活動等は生活活動の機会を提供します。
8. 自立訓練(機能訓練)	身体障害者に対して、自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の向上のために必要な訓練を行います。
9. 自立訓練(生活訓練)	知的障害者・精神障害者に対して、自立した日常生活又は社会生活ができるよう、生活能力の向上のために必要な訓練を行います。



障害者（児）実態調査 （サービス提供事業所調査用） ご協力をお願いします

サービス提供事業者の皆様には、日頃から世田谷区の障害福祉施策推進のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、この度、本区では、令和6年度からの新たな障害福祉に関する計画の策定に向け、実態調査を実施します。

本調査は、世田谷区民に対してサービスを提供されている事業所から無作為に300事業所を抽出し、経営上の課題やサービス提供に伴う取組みについてご意見をあうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理いたします。世田谷区個人情報保護条例に基づき、秘密の保持には万全を尽くすとともに、調査の目的以外には使用いたしません。

いただいた回答は、集計した上で、計画策定の基礎資料とさせていただきます。報告書にまとめる区公式ホームページに掲載します。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣意をご理解いただき、ご協力願いますようお願い申し上げます。

令和4年11月

世田谷区

調査・集計作業は、（株）各型に委託して実施していますので、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、（株）各型が設置する下部コールセンターまでお問い合わせください。

【お問い合わせ】アンケート調査問合せコールセンター

電話：0120-756-555（フリーダイヤル）

FAX：03-5432-3021

受付時間：8時半～17時（土日、祝日は除く）

世田谷区 障害福祉課 障害施策推進課

-1-



（ご記入にあたってのお願い）

1. 回答は、特に説明のない限り、あてはまる番号に○をつけてください。質問ごとに（1つに○）（3つまで○）（あてはまるものすべてに○）などの指示がありますので、それにしたがって回答してください。
2. 回答が「その他」である場合は、具体的な内容を（ ）内に記入してください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
3. 回答は、最初から1度ずつお答えください。中には一部の事業者のみが答えいただく質問もありますが、その場合は矢印（→）や説明にしたがって回答してください。
4. 主たる事業所と従たる事業所を一体的に経営している場合は、従たる事業所分ちあわせて回答をお願いします。

5. この調査票の記入にあたっては、特に指定がない限り、令和4年10月1日現在の状況でお答えください。

6. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要、集入名不要）に入れて、

11月30日（水）までにお返しのポストにご投函ください。

7. インターネットを利用して/VVJパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
・下記のURLにアクセスするか、右のQRコードを読み込んでください。

URL：https://questant.jp/a/SHTKYRJ1

・入力する際は、IDを入力してください。

ID：*****



・インターネットを利用して回答していただく場合は調査票の返送は不要です。



-2-

【貴事業所の概要についておたずねします】

問1 貴事業所の法人種は何ですか。(1コ正)

1. 社会福祉法人	5. 営利企業(会社)
2. 医療法人	6. 特定非営利活動法人(NPO法人)
3. 一般社団法人、財団法人	7. その他の法人
4. 公益社団法人、財団法人	8. その他()

問2 貴事業所の所在地はどこですか。(1コ正)

1. 世田谷総合支所管内	4. 板橋区支所管内
2. 北沢総合支所管内	5. 鶴山総合支所管内
3. 玉川総合支所管内	6. 区 外

※どこも総合支所管内からわからない場合は、以下に所在地をお書きください。

問3 提供しているサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護	16. 共同生活援助
2. 重症訪問介護	17. 短期入所
3. 同行援護	18. 計画相談支援
4. 行動援護	19. 地域移行支援
5. 重症障害者等包括支援	20. 地域定着支援
6. 療養介護	21. 居宅介護支援
7. 生活介護	22. 居宅訪問型居宅介護支援
8. 自立訓練(機能訓練)	23. 放課後等デイサービス
9. 自立訓練(生活訓練)	24. 障害者入所支援
10. 就労移行支援	25. 保育所等訪問支援
11. 就労継続支援(A型)	26. 医療型居宅介護支援
12. 就労継続支援(B型)	27. 障害児相談支援
13. 就労定着支援	28. その他()
14. 施設入所支援	
15. 自立生活援助	

定たる事業所の有無(いずれかに○) あり なし

問4 サービスごとの世田谷区民利用者の内訳をご記入ください。なお、重複利用は主たる障害でカウントしてください。

サービス名: (身体障害者 (発達障害者 サービス名: (身体障害者 (発達障害者 サービス名: (身体障害者 (発達障害者 サービス名: (身体障害者 (発達障害者	名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、知的障害者 名、高次脳機能障害者	名、精神障害者 名、障害児 名、精神障害者 名、障害児 名、精神障害者 名、障害児 名、精神障害者 名、障害児
--	--	--

問5 令和4年4月1日現在の職員数をご記入ください。(実人数)

名(内訳：常勤 名、非常勤 名、その他 名)

問6 令和4年4月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。

1. 生活支援員*1 ()名	6. 作業療法士 ()名
2. 介護職員*2 ()名	7. 職業指導員 ()名
3. 看護士 ()名	8. 事務職員 ()名
4. 栄養士 ()名	9. その他 ()名
5. 理学療法士 ()名	

*1 社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などの有資格者および無資格者を含む。
*2 介護福祉士、実務者研修(研修終了)、介護職員初任者研修(研修終了)の有資格者。

問7 令和4年4月1日現在の経験年数(貴事業所での年数に限らず)別の職員数をご記入ください。

1. 6か月未満 ()名	4. 3年以上5年未満 ()名
2. 6か月以上1年未満 ()名	5. 5年以上10年未満 ()名
3. 1年以上3年未満 ()名	6. 10年以上 ()名

問8 現在、職員の過不足の状況はどれですか。(1コ正)

1. 大変不足している	3. やや不足している	5. 過剰である
2. 不足している	4. 適当である	



問9 不足している職員の職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 生活支援員*1 | 6. 作業療法士 |
| 2. 介護職員*2 | 7. 職業指導員 |
| 3. 看護師 | 8. 事務職員 |
| 4. 栄養士 | 9. その他() |
| 5. 理学療法士 | 10. 不足している職種はない |

*1 社会福祉士、精神保健福祉士、保健士などの有資格者および無資格者を含む。

*2 介護福祉士、実務者研修(研修終了)、介護職員初任者研修(研修終了)の有資格者。

問10 令和3年度中の退職者数を記入ください。(実人数)

- | | | | |
|-----|-----------|---------|---------|
| () | 名(内訳：常勤) | 名、非常勤) | 名、その他) |
|-----|-----------|---------|---------|

問11 一般的に従業員の退職が多い理由について、貴事業所(法人)では、どのように考えていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 報酬が良い | 3. その他() |
| 2. 勤務時間が長い、不規則 | |

問12 地域の事業者が一体となって取り組む人材確保・育成・定着の取組について、アイデアや要望などがありましたら、ご記入ください。(自由記入)

--

問13 貴事業所(法人)では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 勤務条件(夜勤回数、勤務時間帯など)の改善 |
| 2. 報酬の改善 |
| 3. 福利厚生(育児、介護休暇など)の改善 |
| 4. 健康診断、接遇予約対策等健康管理の充実 |
| 5. 募集・採用方法の充実 |
| 6. 高校・専門学校・大学等を通じた募集 |
| 7. ハローワークを通じた募集 |
| 8. インターネット人材検索サービスを通じた募集 |
| 9. 高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ |
| 10. その他() |
| 11. 特に取り組んでいます |

問14 貴事業所(法人)では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 資格取得のための休職取得の支援や金銭的な支援 |
| 2. 外部研修参加のための休職取得の支援や金銭的な支援 |
| 3. 事業所内での研修の実施 |
| 4. OJTの実施 |
| 5. 自立支援協議会のエリア協議会や専門部会への参加 |
| 6. 教育・研修計画を立てている |
| 7. 法人全体(関係会社を含む)で連携して育成に取り組んでいる |
| 8. 能力の向上が認められた者に対し、報酬制度などを設けている |
| 9. 職員に後輩の育成経験を待たせている |
| 10. 地域の事業者と協力して育成に取り組んでいる |
| 11. その他() |
| 12. 特に取り組んでいます |

問15 貴事業所(法人)では、人材の確保や質の向上に向けて、どのような機関や団体と連携して取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 介護・医療・福祉分野の協働団体 |
| 2. 介護・医療・福祉分野の事業者団体 |
| 3. 福祉人材センター |
| 4. ハローワーク |
| 5. 社会福祉協議会 |
| 6. 学校・教育機関あるいはその団体 |
| 7. 役員団体(商工会・商工会議所等) |
| 8. 地方労働局 |
| 9. 区役所 |
| 10. その他() |
| 11. 特に取り組んでいます |



【サービスの質の向上のための取り組みについておたずねします】

問25 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。

(おてはまるものすべてに○)

1. 法人として、災害時の対応マニュアルを作成している
2. 法人として、感染症予防マニュアルを作成している
3. 法人として、感染予防マニュアルを作成している
4. 法人として、苦情解決の対応マニュアルを作成している
5. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルを作成している
6. 法人として、事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
7. 法人として、利用者や家族に対し満足度調査を行っている
8. 法人として、積極的に外部評価を受けている(ISO、第三者評価等)
9. 法人として、積極的に業務の電子化、オンライン化(DX化)を進めている。
10. 各事業所の管理者が恒常サービス提供の状況を把握し指導している
11. 現場スタッフが自動的に当該事例等に閉するゲートス検知会等を開催している
12. 権利保護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している
13. 書類上の配置や介護職員の「格別吸引研修」受講により医師向けプログラムに対応している
14. その他()
15. 特に行っていません

問26 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行うこととお考えですか。

(おてはまるものすべてに○)

1. 法人として、サービス提供のガイドラインの作成
2. 法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成
3. 法人として、感染症予防マニュアルの作成
4. 法人として、苦情解決の対応マニュアルの作成
5. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成
6. 法人として、事故防止のためのヒヤリハット事例の収集・共有化
7. 法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施
8. 法人として、積極的な外部評価の受検(ISO、第三者評価等)
9. 法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化(DX化)
10. 各事業所の管理者による、サービス提供の状況の把握・指導
11. 現場スタッフが中心となった問題事例等に閉するゲートス検知会等の開催
12. 権利保護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成
13. 書類上の配置や介護職員の「格別吸引研修」受講による医師向けプログラムの実施
14. その他()
15. 特に考えていません



問27 現在、日本では積極的にIT機器といったデジタルを活用し、社会を豊かにしようとする

デジタルトランスフォーメーション(DX)が推進されており、それは介護業界や障害福祉業界でも例外ではありません。

DXを進めるにあたり課題となることはありますか。ご自由にお書きください。

問28 貴事業所では、利用者から寄せられる苦情や要望として、どのようなことが多いですか。

(3つまで)

1. 介助の内容や車庫支援計画等に関すること
2. 職員やスタッフが関すること
3. 施設の設備に関すること
4. 利用者や施設の利用契約に関すること
5. 生活時間(起床・就寝、食事、入浴等の時間)に関すること
6. 食事(メニューや食料等)に関すること
7. 施設での作業や活動に関すること
8. 地域での自立生活に向けた訓練等に関すること
9. 体力づくりや健康づくりなどに関すること
10. 趣味・レクリエーション等に関すること
11. その他()
12. 特に苦情や要望はない

問29 何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先はどこですか。

(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 区 | 6. 専門相談支援センター |
| 2. 市 | 7. 法人本部 |
| 3. 東京都 | 8. 他の事業所 |
| 4. 相談支援事業所 | 9. その他() |
| 5. 聴覚障害者相談支援センター | 10. どこにも相談したことがない |

問30 問29で相談されたのは、主にどのような内容ですか。(おてはまるものすべてに○)

1. 施設の種類・整備の状況に関すること
2. 人材の確保・質の向上に関すること
3. サービスの拡充に関すること
4. 技術的な支援に関すること
5. 場所の確保に関すること
6. 困難な事例への対応に関すること
7. 利用者からの苦情や要望等への対応に関すること
8. その他()
9. 特になし



問31 区では、障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後どのようなサービスや支援に力を入れていくべきだとお考えですか。(おてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 在宅での福祉サービスの充実 | 13. 移動・外出支援の充実 |
| 2. 障害者が地域で共同生活できる場の充実 | 14. 駅や道路などのバリアフリー化 |
| 3. 日中に障害者を預かるサービスの充実 | 15. 自立生活のための訓練・指導の充実 |
| 4. 曜日まわりで障害者を預かるサービスの充実 | 16. 就労に向けた訓練・支援の充実 |
| 5. 住宅改修等（バリアフリー化）の補助 | 17. 多様な働く場所の確保 |
| 6. 住まいに關する相談や入居支援の充実 | 18. 仕事を継続するための相談や支援の充実 |
| 7. シニアバリエなど多様な居住の場の提供 | 19. 医療やリハビリテーションの充実 |
| 8. 福祉サービスの情報提供の充実 | 20. 障害者の仲間づくりの支援 |
| 9. 財産管理などの権利保護の充実 | 21. 障害者の結婚や家庭づくりに向けた支援 |
| 10. 総合的な相談支援の充実 | 22. 訪問・災害時の支援 |
| 11. 区民への障害への理解促進 | 23. その他（ ） |
| 12. 周囲の人の聞き取り支援の充実 | 24. 特になし |

【今後の事業展開についておたすねします】

問32 貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。(2つまでで○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 当該地域の現在の利用者数 |
| 2. 当該地域の利用者数の今後の見込み |
| 3. 当該地域の総合事業者数 |
| 4. 新しい拠点でのスタッフ確保の可能性 |
| 5. サービス拠点として適当な土地を確保することができると |
| 6. サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができると |
| 7. 当該サービスの自立支援給付費 |
| 8. その他（ ） |
| 9. 新規開設・拡大は考えたくない |

問33 貴事業所では、今後障害者に対するサービスの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。(おてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報を提供する |
| 2. サービスを利用する障害者数の今後の見込みに關する情報を提供する |
| 3. サービス展開のための土地・建物に關する情報を提供する |
| 4. 困難事例・問題事例に關するケースワーカーの情報提供や助言を行う |
| 5. 研修・講座等に關する情報を提供する |
| 6. 緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先の情報を提供する |
| 7. その他（ ） |

問34 貴事業所において、今後4か年に新たに開始又は拡大する予定のサービスの番号すべてに○をつけ、分かる範囲で1か月あたりの受け入れ予定数（時間、日、人）をご記入ください。(おてはまるものすべてに○)

サービス名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 サービス名（サービス名）	時間	時間	時間	時間
2 サービス名	時間	時間	時間	時間
3 サービス名	時間	時間	時間	時間
4 サービス名	時間	時間	時間	時間
5 サービス名	時間	時間	時間	時間
6 サービス名	人	人	人	人
7 サービス名	日	日	日	日
8 サービス名	日	日	日	日
9 サービス名	日	日	日	日
10 サービス名	日	日	日	日
11 サービス名	日	日	日	日
12 サービス名	日	日	日	日
13 サービス名	人	人	人	人
14 サービス名	日	日	日	日
15 サービス名	人	人	人	人
16 サービス名	人	人	人	人
17 サービス名	日	日	日	日
18 サービス名	人	人	人	人
19 サービス名	人	人	人	人
20 サービス名	人	人	人	人
21 サービス名	日	日	日	日
22 サービス名	日	日	日	日
23 サービス名	日	日	日	日
24 サービス名	日	日	日	日
25 サービス名	日	日	日	日
26 サービス名	日	日	日	日
27 サービス名	人	人	人	人
28 サービス名	人	人	人	人
29 その他・参入予定など))))
()))))
()))))

世田谷区障害者（児）実態調査 報告書

令和5年3月

発行 世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課
東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号
電話：03（5432）2958
ファクシミリ：03（5432）3021

実施 株式会社名豊
愛知県名古屋市中区松原2丁目2番33号
電話：052（322）0071（代表）
ファクシミリ：052（322）0130

